

杉並区自然環境調査報告書

(第 7 次)

令和 2 年 3 月

杉並区環境部環境課

はじめに

杉並区では、区内に残された自然環境を把握することを目的に生物調査を行ってきました。第1次調査は1985年度から開始し、その後約5年ごとに行い、それぞれ「自然環境調査報告書」として取りまとめ発行してきました。これらの調査結果は、生活環境の質を考える際のひとつの指標であり、区内に残された自然の保全と新たなみどりの創出を計画する上で目安となるものです。

本報告書「杉並区自然環境調査報告書(第7次)」は2018年度に調査した結果と、クモ類と昆虫類については補足調査として2019年度にも調査した結果について取りまとめました。調査対象は第6次調査と同様、植物、クモ類、昆虫類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類としました。杉並区における自然環境の実態を理解していただく一助となれば幸いです。

目 次

はじめに

I 調査の概要	1
II 調査地域の概況	3
1. 位置と面積	3
2. 地形・地質・土壌	4
3. 水系	6
4. 気候	8
5. 大気汚染	11
6. 植生	12
7. 土地利用・みどりの変遷	14
III 杉並の生物	18
1. 植物（維管束植物）	18
2. 動物	58
〔1〕 クモ類	58
〔2〕 昆虫類	84
〔3〕 鳥類	123
〔4〕 両生類・爬虫類・哺乳類	163
3. 杉並区の生物相の特性	194
4. 杉並区における指標生物	216
引用・参考文献等	226

資料

I 調査の概要

第7次杉並区自然環境調査は、植物^{*1}、クモ類^{*2}、昆虫類^{*3}、鳥類^{*4}については専門調査員が調査を行い、両生類、は虫類、ほ乳類については区民の協力によるアンケート調査の結果をとりまとめた。

杉並区自然環境調査は表 I-1-1 に示したように、1985 年に第1次調査が開始され、今回が第7次調査となる。これらの結果をもとに杉並区の生物特性を明らかにした。

第7次調査では表 I-1-2 に示したように、植物が1140種類、クモ類が197種類、昆虫類が1009種類、鳥類が57種類、両生類6種類、爬虫類9種類、哺乳類6種類の合計2424種類の生き物が確認された。

表 I-1-1 調査内容

分類		第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
		1985年度	1986年度	1990年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2005年度	2006年度	2012年度	2013年度	2018年度	2019年度
植物	維管束植物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	蘚苔類	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
動物	クモ類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	昆虫類	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
	鳥類	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
	哺乳類 ^{*1} 両生類 爬虫類	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

*1 哺乳類、両生類、爬虫類の調査：区民の協力による「すぎなみの生き物アンケート」で実施。

*2 昆虫類の調査期間：むさしの自然史研究会からの資料提供の協力により、下記期間の調査記録も採用した。

第5次：2002年1月から2005年3月、2007年4月から9月（一部）

第6次：2007年4月から2012年3月、第7次：2013年4月から2018年3月

*1 植物の調査者：第1次から第4次までの調査者は杉並植生研究会、第5次と第6次調査の調査者は杉並植生新研究会、第7次調査の調査者は、杉並植生新研究会および株式会社愛植物設計事務所。

*2 クモ類の調査者：杉並蜘蛛研究会。

*3 昆虫類の調査者：むさしの自然史研究会。

*4 鳥類の調査者：第1次から第5次までの調査者は杉並鳥類研究会、第6次調査以降の調査者はむさしの自然史研究会。

表 I-1-2 第1次調査から第7次調査における調査対象項目ごとの確認種類数

分類		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	合計
植物	維管束植物 ^{*1}	792種	977種	985種	866種	868種	1072種	1140種	1647種
	蘚苔類	139種	112種	66種	—	—	—	—	177種
動物	クモ類	142種	154種	156種	152種	140種	183種	197種	276種
	昆虫類	358種	477種	509種	409種	1095種	1143種	1009種	1882種
	鳥類 ^{*2}	57種	30種	41種	42種	50種	53種	57種	75種
	両生類 ^{*3}	3種	3種	4種	3種	6種	4種	6種	7種
	爬虫類 ^{*4}	6種・種群	6種・種群	7種・種群	6種・種群	12種・種群	8種	9種	12種・種群
	哺乳類 ^{*5}	3種・種群	3種・種群	4種・種群	4種・種群	7種・種群	5種・種群	6種	7種・種群
	魚類 ^{*6}	11種(1982)	10種(1988)	14種(1994)	15種(2000)	15種(2004)	17種(2010)	16種(2015)	32種

*1 種類数：種、亜種、変種、品種、雑種の種類数を含む。不明種（～属の一種等）は原則として含まないが、種との重複を避け一部の種群を含む。新発見に基づき複数の品種を統合するなどの見直しにより、第6次報告書の値と異なる。

*2 鳥類の種類数：「オナガガモ×カルガモ」、「マガモ×カルガモ」、「サメビタキ類」、「ムシクイ類」、「ヒタキ科」を除く。

*3 両生類の種類数：「カエル類」の記録は種類まで特定されていないため、除く。

*4 爬虫類の種類数：個別の種類についての記録が無く、「～類」としてのみ記録されている種類については1種群として計算した。第5次調査では6種の外来カメ類が確認されたが、これらも1種群として計算した。なお、第5次調査報告書では外来カメ類を種数の集計対象外としていたため、本表の値と異なる。

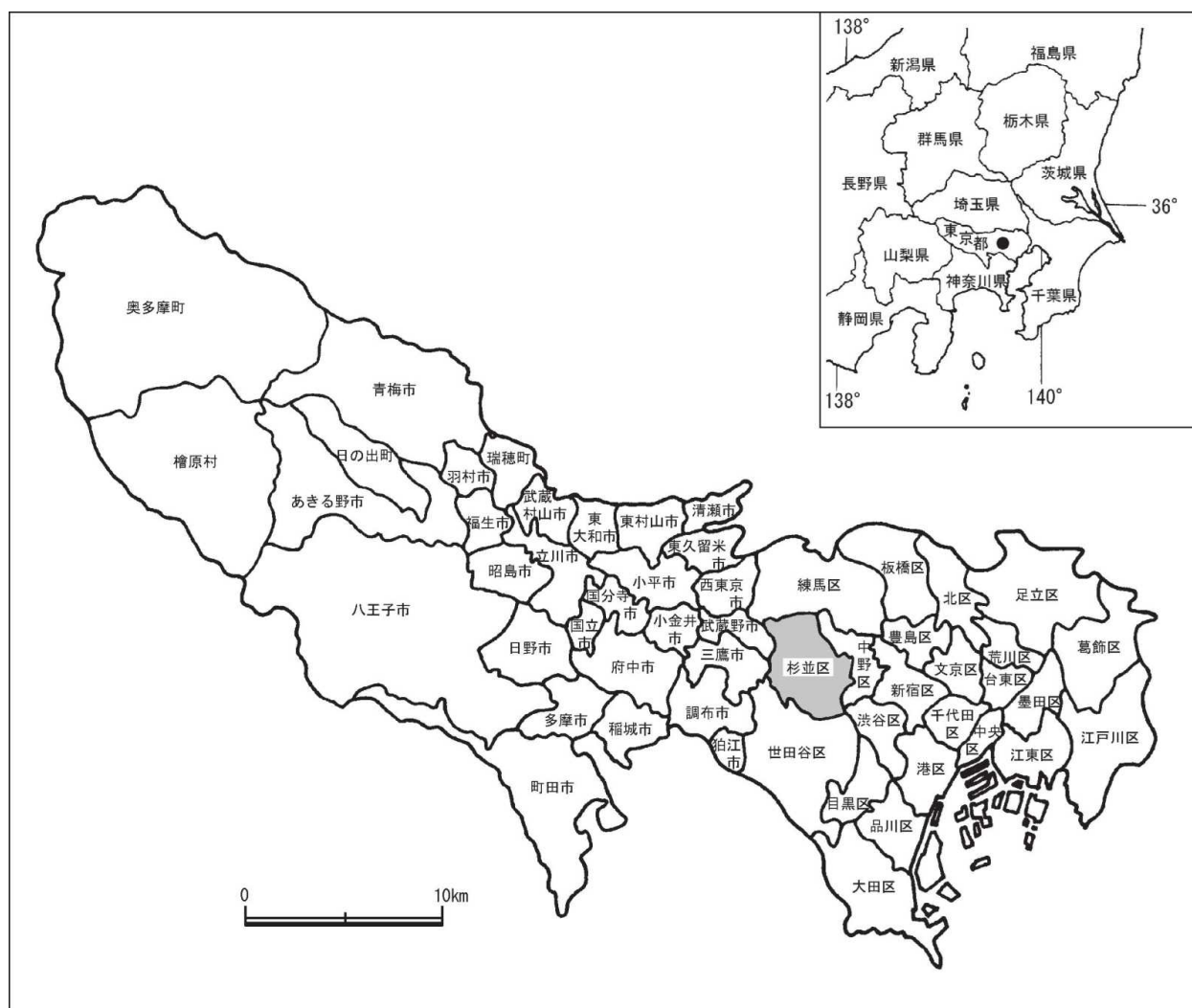
*5 哺乳類の種類数：「ネズミ類」は1種群として計算した。なお、第5次調査報告書では「ネズミ類」を種数の集計対象外としていたため、本表の値と異なる。

*6 魚類の種類数：「杉並区 河川の生物」の報告書から引用した。（ ）内は調査年度。

Ⅱ 調査地域の概況

1. 位置と面積

杉並区は関東地方の南部、東京都 23 区の西部に位置し（北緯 35 度 39 分から 44 分、東経 139 度 35 分から 41 分）、北は練馬区、東は中野区と渋谷区、南は世田谷区、西は武蔵野市と三鷹市に接している（図Ⅱ-1-1）。杉並区は東西約 7.5km、南北約 7.2km に広がり、面積は 34.06km² で 23 区では 8 番目の大きさである。



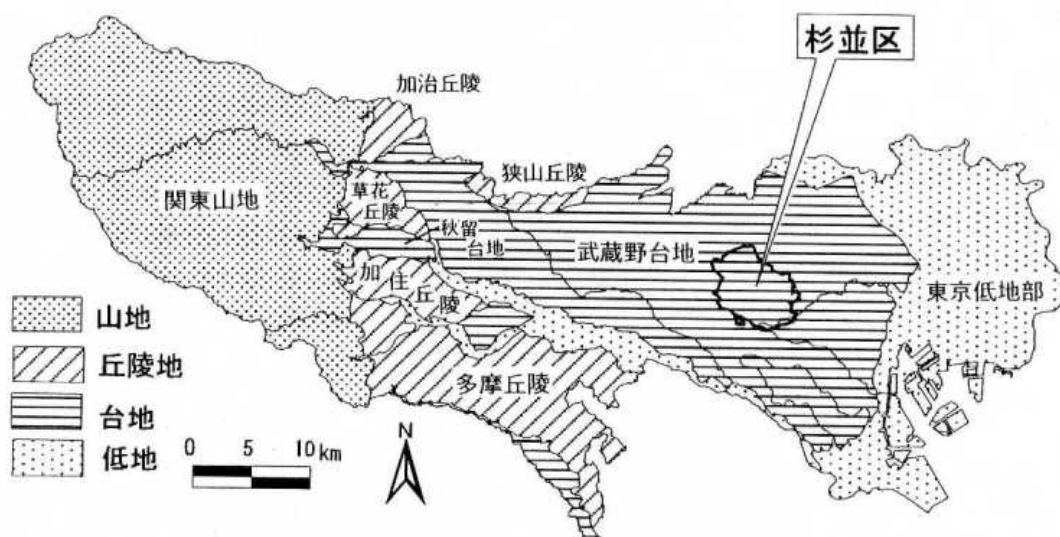
図Ⅱ-1-1 杉並区の位置

2. 地形・地質・土壌

【地形】

杉並区は、東京都中央部の大部分を占める武蔵野台地上にある(図Ⅱ-2-1)。武蔵野台地は厚いローム層に覆われた洪積台地で、北西を入間川、北東を荒川、南を多摩川の各低地に囲まれており、東京都を中心に埼玉県西南部にまで広がっている(図Ⅱ-2-2)。また、武蔵野台地は多摩川が形成した扇状地であり、東京都青梅市付近に扇頂をもち、東へ向かって緩やかに傾斜している。武蔵野台地上にある杉並区の地形はほぼ平坦で、海拔は西部が約50m、東部は約40m、河川の谷底低地では東部で30m台である。

北部には区内の妙正寺池を水源とする妙正寺川が、また南部には隣接する三鷹市の井の頭池に水源を発する神田川が、さらに中央部には区内の善福寺池を水源とする善福寺川が、それぞれ西から東に向かって流れている。これらの河川は、台地を浸食して低地をつくっている。このため、杉並区の地形は、図Ⅱ-2-3に示すように台地と谷底低地とから成っている。また、台地と谷底低地の境界は斜面となり、川沿いに斜面が連続してみられる。



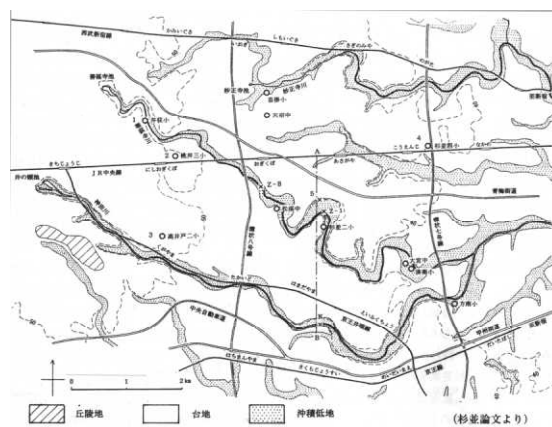
図Ⅱ-2-1 東京都の地形区分と杉並区の位置

(出典：土地分類図13(東京都))



図Ⅱ-2-2 武蔵野台地周辺の地形区分

(出典：新修杉並区史(上巻))



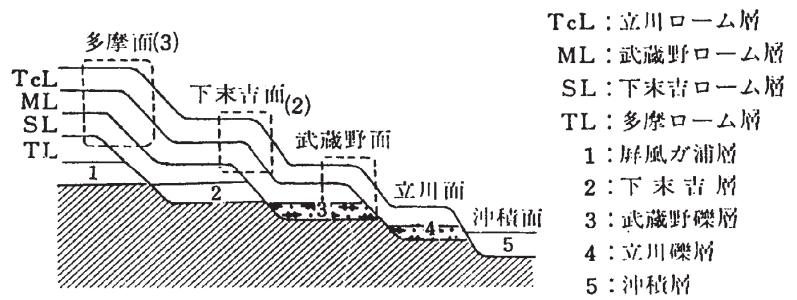
図Ⅱ-2-3 杉並区の地形

(出典：杉並の地形・地質と水環境のうつりかわり)

【地質】

武蔵野台地は、図Ⅱ-2-2、図Ⅱ-2-4に示すように、異なる時代に形成された段丘が複合して形成されており、古い順に多摩面、下末吉面、武蔵野面、立川面などが段丘崖を境として現れている。杉並区は武蔵野段丘上（武蔵野面）に位置しており、表層は武蔵野ローム層と立川ローム層に覆われている（図Ⅱ-2-4）。ローム層の下層にはローム質粘土層、さらにその下には武蔵野礫層とよばれる、

過去の多摩川の河床礫層がある（図Ⅱ-2-5）。武蔵野礫層からは区内河川の源となる湧水が湧き出ている。これらの礫層やローム層などの基盤をなしているのは、上総層群（三浦層群）とよばれる、第三紀後半から第四紀前半に堆積した地層である。

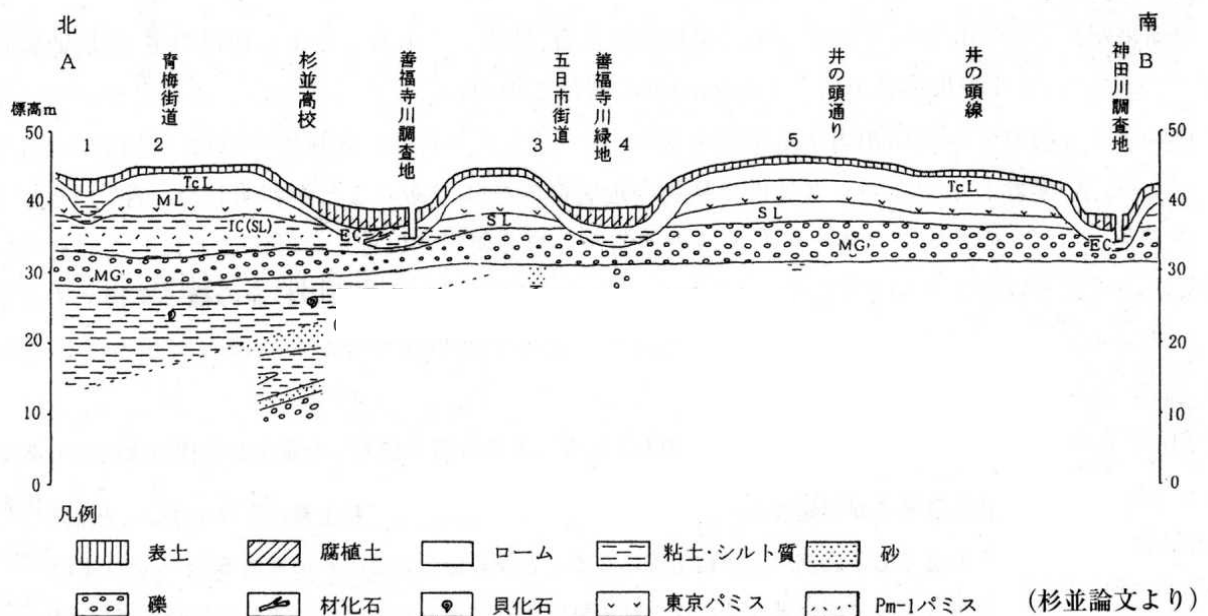


図Ⅱ-2-4 武蔵野台地の段丘概念図

(出典：新修杉並区史（上巻）)

【土壌】

武蔵野台地のローム層は、火山灰起源の赤土の地層であるが、さらに表層には、このロームを起源とする土壌が形成され、台地上を広く覆っている。この土壌は黒ボク土とよばれ、ススキ、ササ、チガヤ等の草本植物に由来する腐植に富んでいる。



図Ⅱ-2-5 杉並区の地質断面図(A-Bは図Ⅱ-2-3に対応)

(出典：杉並の地形・地質と水環境のうつりかわり)

3. 水系

杉並区の河川には、荒川水系に属する自然河川である妙正寺川・善福寺川・神田川と、人工水路である玉川上水がある。また表流水が見えない暗渠には、妙正寺池付近で妙正寺川に注ぐ井草川と、中野区内で神田川に注ぐ桃園川がある(図Ⅱ-3-1)。

【自然河川】

妙正寺川は、区内の妙正寺池を源として東へ流れ、中野区北部で江古田川を合わせてから、高田馬場付近で神田川に合流する。善福寺川は、区内北西部の上井草、善福寺池に源を発し、区のほぼ中央部を蛇行しながら東へ流れ、中野区との区境付近で神田川に合流する。神田川は、西に隣接する三鷹市の井の頭池に源を発し、善福寺川・桃園川・妙正寺川と合流して東へ流れ、水道橋駅付近で日本橋川を分け隅田川にいたる。

妙正寺川・善福寺川・神田川の水源は、武蔵野礫層の地下水による湧水であるが、現在では湧水量が減少し、これら河川の平常時の水量は、都内各河川と比べてかなり少ない。また、これら神田川水系は、戦前より洪水の排水路として改修工事が行われ、昭和56年に1時間に30mm規模の降雨に対応できる護岸整備が完了したが、流域の市街化がさらに進み、水害が頻発するようになったため、現在は1時間に50mm規模の降雨に対応できるように河道の拡幅や掘削などの改修が進められている。この護岸整備の中で、水辺の生き物の生育・生息に配慮したワンドと親水護岸と一体的となった済美公園も整備されている。

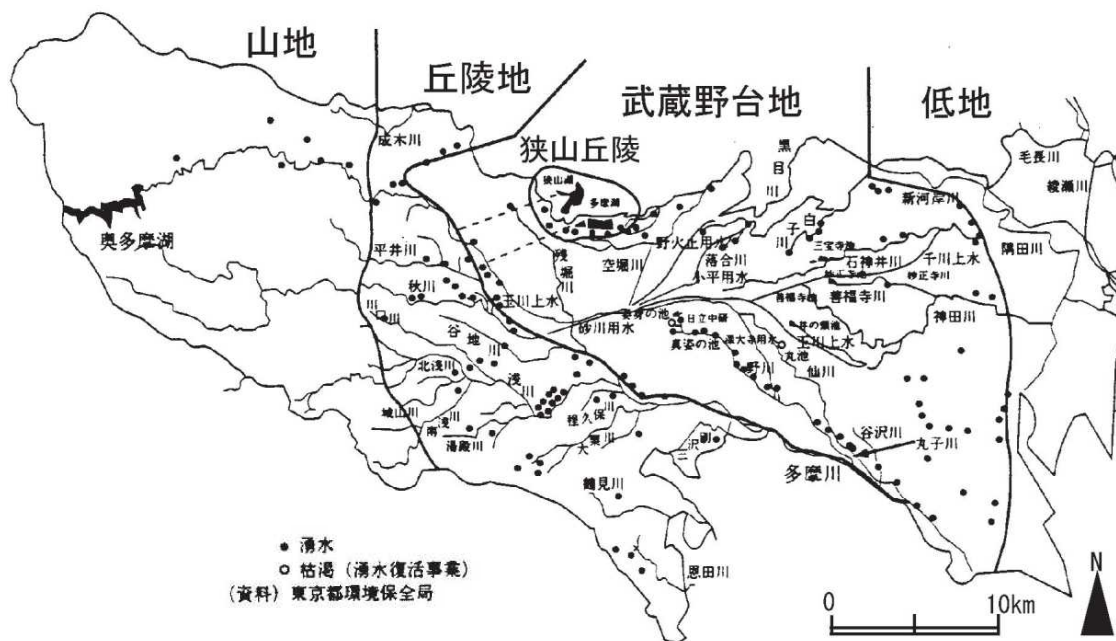
【人工水路】

玉川上水は、東京都羽村市の取水堰にて多摩川より分流し、都内を東へ流れ、杉並区内で暗渠となり、さら



図Ⅱ-3-1 杉並区の河川

(「平成9年度緑化基本調査報告書」より作成)



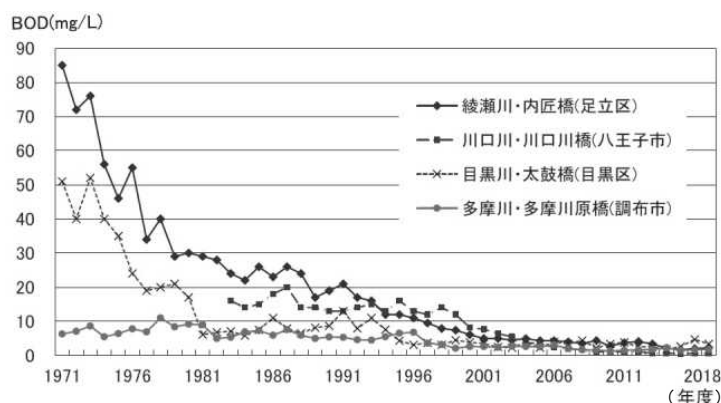
図Ⅱ-3-2 東京都の河川と湧水 (出典：平成11年度東京都環境白書(資料集))

に東方で神田川に合流する。かつては東京最古の上水道で、神田上水と呼ばれ、17世紀初めの江戸時代に開設されて以来、1901年まで飲用に使用されていた。現在は、最上流部を除く開渠部分の全域が東京都歴史環境保全地域に指定されている。

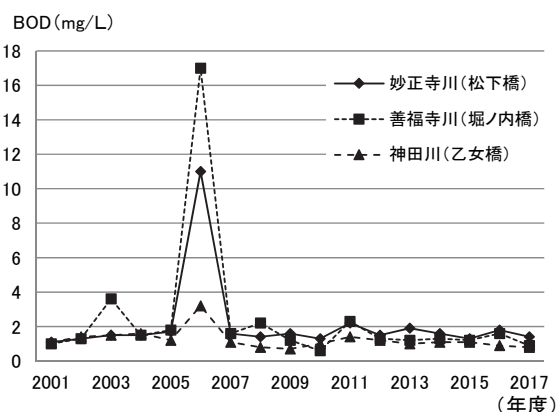
【河川の水質】

東京都内の多くの河川がそうであるように、杉並区内の河川も高度経済成長期に著しく水質が悪化したが、昭和40年代後半（1970年代）から、工場などの発生源規制や下水道の普及などにより改善した（杉並区2017、図Ⅱ-3-3、図Ⅱ-3-4）。

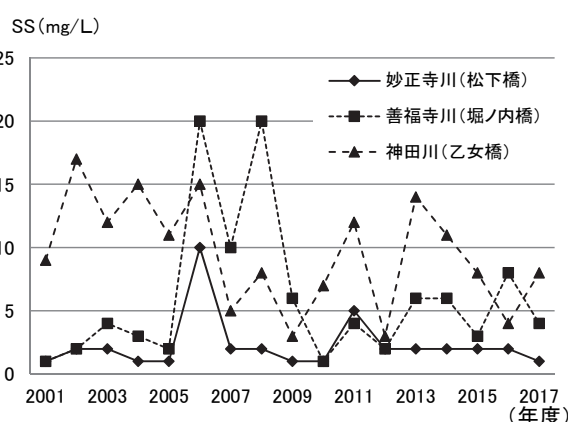
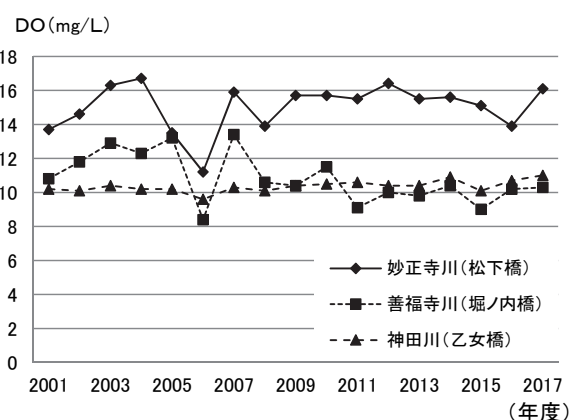
妙正寺川と善福寺川が合流する神田川は、環境基本法に基づく生活環境の保全に関する環境基準（河川）においてAAからEの6段階に分けられた水域類型のDに指定されていたが、1997年5月に基準のより厳しい水域類型C（生物化学的酸素要求量BOD：5mg/l以下、溶存酸素量DO：5mg/l以上）に変更された。また2017年度の見直しにより、神田川上流にあたる妙正寺川の環境基準が新たに神田川よりも1段階厳しい水域類型B（生物化学的酸素要求量BOD：3mg/l以下、浮遊物質量SS：25mg/l以下）に指定された（東京都2017）。2018年度の調査では、神田川および妙正寺川はこれらの環境基準を満たしている（東京都2019）。また、杉並区の河川水質調査によると、妙正寺川、善福寺川、神田川の各調査地点では、水域類型BおよびCの環境基準を通常は満たしている（図Ⅱ-3-4）。基準値を超過した値は、豪雨時に合流式下水道のオーバーフローによる一時的な水質悪化と考えられている（杉並区2017）。



図Ⅱ-3-3 都内河川のBODの推移(年度平均値)
(出典：東京都環境白書2019)



図Ⅱ-3-4 妙正寺川、善福寺川、神田川のBODの推移
(杉並区統計書より作成)



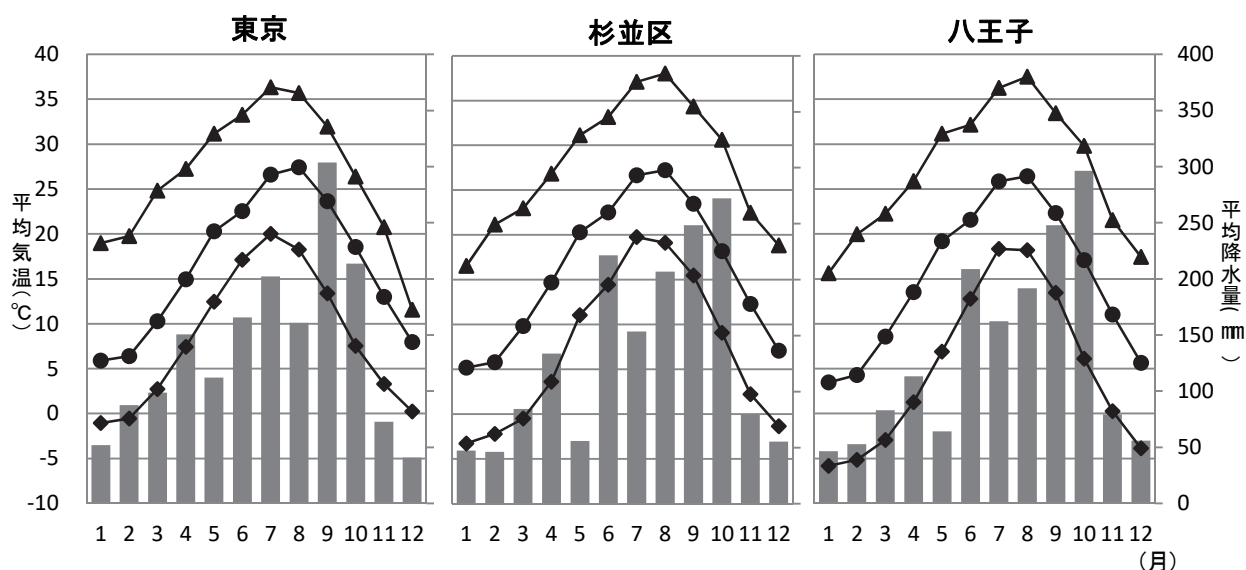
図Ⅱ-3-5 妙正寺川、善福寺川、神田川のDO・SSの推移
(杉並区統計書より作成)

4. 気候

【気温・降水量】

杉並区内の観測値^{*1}および気象庁による観測データをもとに、杉並区、東京、八王子の月別気温と月別降水量を図Ⅱ-4-1に示した。観測値は2013年1月から2017年12月までのデータを使用し、5カ年の平均値で示した。東京は海洋性の気候、八王子は内陸性の気候の特徴を示し、東京湾から15kmほど内陸に位置する杉並区は、中間的な気候を呈している。太平洋沿岸の海洋性気候は、黒潮の影響で温暖であるが、内陸より晴天の日数は少ない。内陸性気候は気温の日較差や年較差が大きく、冬季に安定した晴天が続き乾燥するのが特徴である。

この期間の杉並区の年平均気温は16.1℃、最低気温は1月の-3.3℃、最高気温は8月の38.0℃であった。年降水量1607mmであり、10月、9月、6月の順に多く、冬季は少ない。



※ 東京の気象観測露場は2014年に大手町から北の丸公園に移転したため、2014年11月以前と2014年12月以降とは均質でない。

図Ⅱ-4-1 月別平均気温および最高気温、最低気温と降水量()

(杉並区統計書および気象台資料より作成)

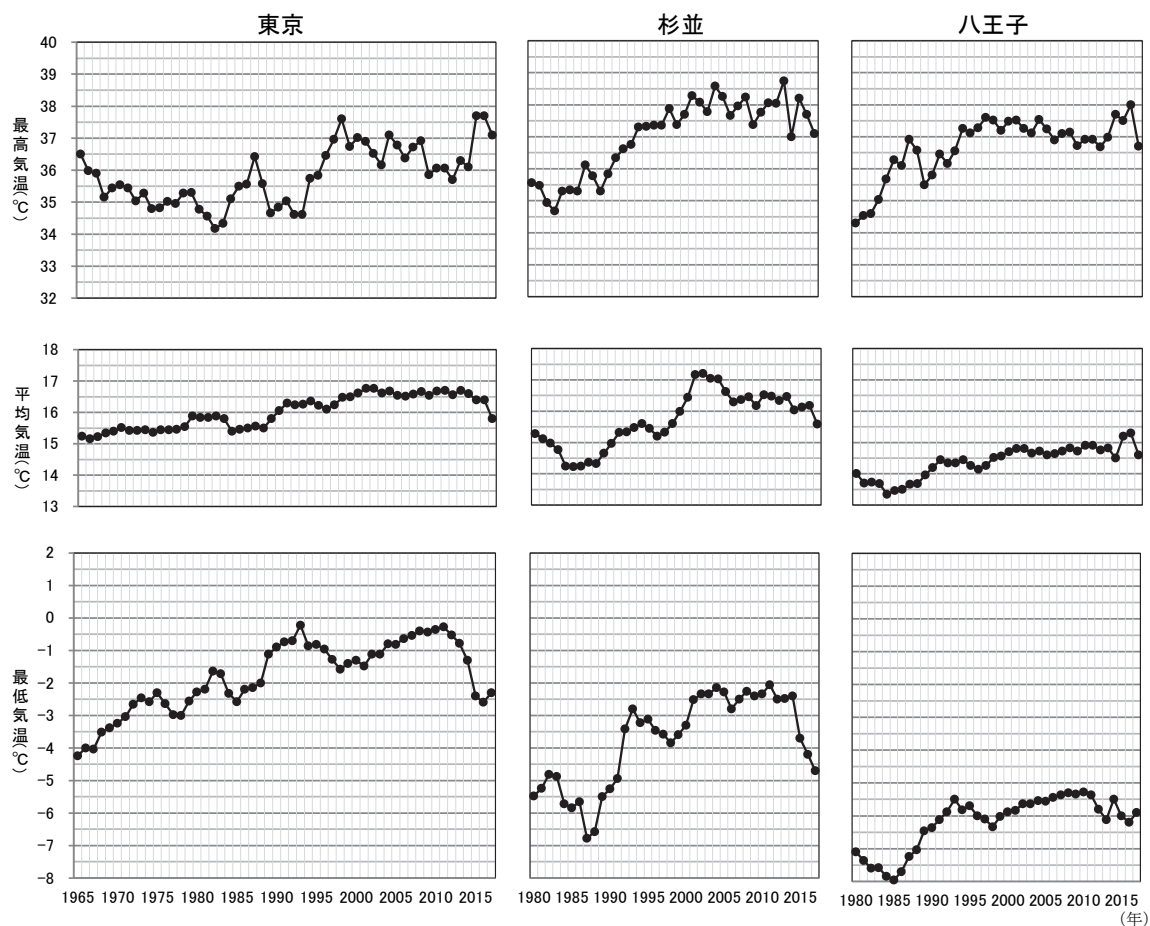
各都市の気温については長期的に顕著な上昇傾向がみられる(図Ⅱ-4-2)。

気東京では地球温暖化とヒートアイランド^{*2}現象の進行により、過去100年の間に平均気温が3.2℃上昇したことが気象庁(2017)から報告されている。ヒートアイランド現象は、自動車交通量の増加やエアコンの使用による排熱の増加、また地表面が建物や道路の舗装面で覆われることで、水の蒸散・蒸発による気温の低下が妨げられると共に、日射により温められたコンクリートやアスファルトが大量の輻射熱を放出することで起こると考えられている。また都市化の影響による気温上昇は、杉並区も含まれる東京都心部から埼玉県南東部にかけての地域では、関東地方の中でも夏季のヒートアイランド現象の影響を強く受けている可能性がある(気象庁2017)。

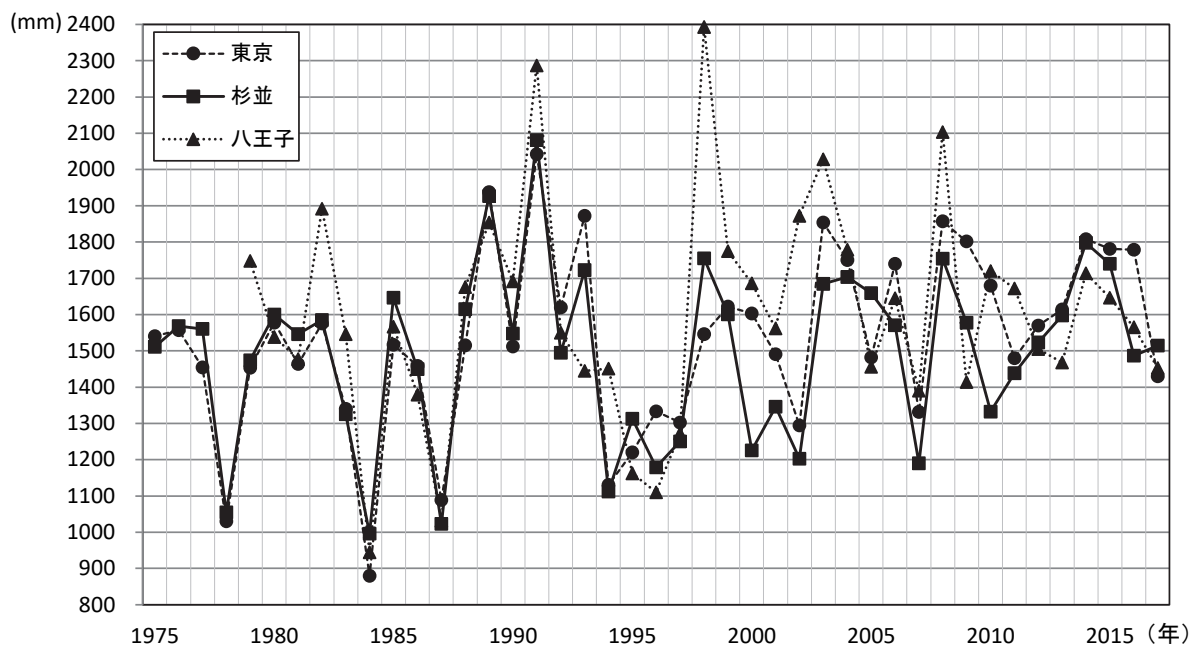
一方、年間降水量に関しては、杉並区・東京・八王子のいずれの観測地点においても降水量の多い年と少ない年とがあり、顕著な長期変化傾向はみられない(図Ⅱ-4-3)。

*1 区内の観測値：2010年12月までは杉並区立科学館(清水3-3-13)、2011年1月からはあんさんぶる荻窪(荻窪5-15-13)における実測値を採用。

*2 ヒートアイランド：都市部にできる局地的な高温域のことで、郊外に比べ都市部ほど気温が高く、等温線が島のような形になることからこの名前が付けられている。



図Ⅱ-4-2 年平均気温・最高気温・最低気温の推移 (杉並区統計書および気象台資料より作成)



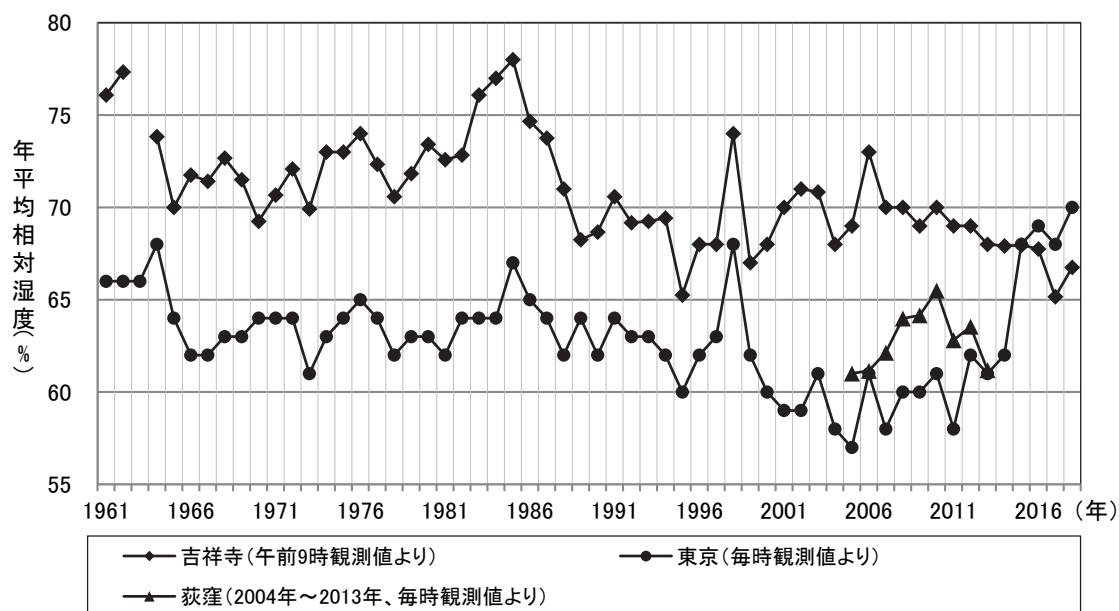
図Ⅱ-4-3 年間降水量の推移 (杉並区統計書および気象台資料より作成)

【湿度】

ヒートアイランド現象に関連して、湿度の低下（乾燥化）も都市化に伴う気象現象のひとつに挙げられる（環境省 2017）。単位体積中の水蒸気量が同じである場合、気温が高くなると相対湿度は低下する。このため都市での気温の上昇は、都市の乾燥化をも引き起こしている。さらに地表面の改変によって、土壌や植物からの蒸発量が減少していることも乾燥化の一因と考えられる。

東京、吉祥寺^{*1}および荻窪における年平均相対湿度の1961年から2018年までの経年変化を図Ⅱ-4-4に示す。年平均相対湿度の最近30年間（1989～2018年）の平均値を1961年から1990年までの過去30年間の平均値と比較すると、東京で2.6%、吉祥寺で5.2%低くなっている^{*2}。杉並区周辺においても乾燥化が進行していると考えられる。

乾燥化の進行は、植物種数の低下、昆虫類の種数の低下、土壌生物相の脆弱化等を助長すると考えられる。植物が繁茂する場所では、早朝の放射冷却によって朝霧や朝露が発生するが、これらは乾燥化を抑制するばかりでなく、同時に気温の上昇や上昇速度を抑える効果、草地内の小動物や徘徊性の動物等の身体を潤す効果がある。



※ 吉祥寺の1963年の観測値は欠測。
東京の気象観測露場は2014年に大手町から北の丸公園に移転したため、2013年以前と2014年以降とは均質でない。

図Ⅱ-4-4 年平均相対湿度の推移

(気象台資料、あんさんぶる荻窪資料、成蹊気象観測所資料より作成)

●朝露の減少

杉並区においては、年間降水量の推移は低下している状況ではないため、気温の上昇、土地のコンクリート化等による乾燥化や草地面積の低下（7. 土地利用・みどりの変遷参照）が主な減少要因と推察できる。また、その他には、建物の高層化に伴うビル風等の風向きも関係している可能性があるが、実験的なデータとしては実証されていない。

*1 吉祥寺：観測値は成蹊気象観測所（武蔵野市吉祥寺北町3-10-13）。

*2 近30年間の年平均相対湿度の平均値／過去30年間の年平均相対湿度の平均値－1（%）

5. 大気汚染

大気汚染状況は、脱硫装置の義務化、ディーゼル車規制などによって徐々に改善され、二酸化硫黄、二酸化窒素などは環境基準を達成するようになった。

近年、大気汚染の主な課題は、主要な大気汚染物質の中で唯一改善されてない光化学オキシダントの濃度の低減である。光化学オキシダントは、光化学スモッグを引き起こす原因と考えられている。

光化学オキシダントについては、原因の一つである揮発性有機化合物（VOC^{*1}）の排出を抑制するため、大気汚染防止法による規制等の対策が進められており、工場等固定発生源からの排出量削減に一定の効果が出ている。

杉並区の2017年度の大気汚染に係る環境基準適合状況は、光化学オキシダント以外の汚染物質は環境基準を達成しているものの、光化学オキシダントは、測定されている区役所前、富士見丘、久我山の全ての場所で環境基準を超えており、課題となっている（表Ⅱ-5-1）。

表Ⅱ-5-1 杉並区の2016年度の大気汚染に係る環境基準適合状況

測定室名		測定室に面した幹線道路	二酸化硫黄 (SO ₂)		二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化炭素 (CO)		光化学オキシダント (O ₃)	浮遊粒子状物質 (SPM)		微粒子状物質 (PM2.5)	
			短期	長期	長期	短期	長期	短期	短期	長期	短期	長期
区施設	区役所前	青梅街道	○	○	○	○	○	×	○	○	—	—
	富士見丘	放射5号線	○	○	○	○	○	×	○	○	—	—
	高円寺	環状7号線	—	—	○	○	○	—	○	○	—	—
	久我山		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都施設 [※]	杉並区久我山	—	—	—	○	—	—	×	○	○	○	○
	早稲田通り下井草	早稲田通り	—	—	○	—	—	—	○	○	—	—

○:達成、×:非達成、—:測定していない

※ 都施設については平成27(2015)年度の状況・数値

(出典：杉並区環境白書平成29年度)

*1 volatile organic compounds (VOC)：ガソリンや塗料、インク等の溶剤に含まれる。

6. 植生

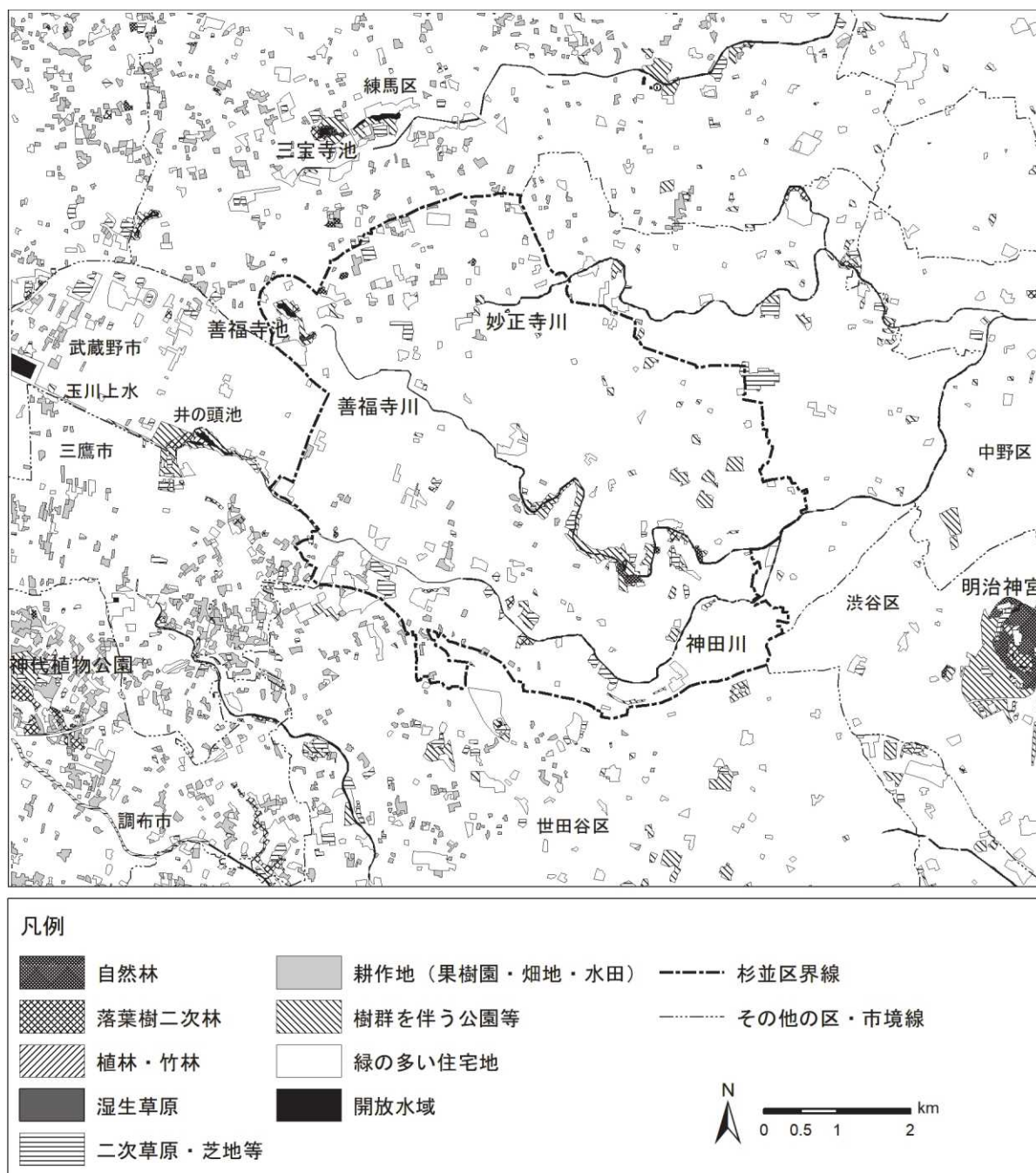
杉並区を含む武蔵野台地が位置する関東平野一帯は、気候による植生帯区分では、スダジイやカシ類が中心となって森林を形成する暖温帯常緑広葉樹林域に位置する。

また杉並区を含む武蔵野台地および周辺において、おもに気候と地形により推定される潜在自然植生は、沿岸地域の低地帯にはタブノキ・イノデ群集、低地に面した台地の肩などにはスダジイ・ヤブコウジ群集、善福寺川や神田川などの河川の谷沿いのやや湿性で不安定な斜面にはシラカシ群集・ケヤキ亜群集、台地面にはシラカシ群集・典型亜群集、池にはマコモ・ウキヤガラ群集等であると推定されている（奥富ら, 1987b）。

一方、杉並区周辺の植生はシラカシ林などの自然性の高い植生は古い社寺林、屋敷林、公園などに小面積で残されているだけで、大部分は道路や建物など植生以外の都市構造物や、植栽地、二次草原などの代償植生に置き換えられている（図Ⅱ-6-1）。特に東京都区部においては市街地化が著しいために代償植生の分布も極めて少なく、古い社寺林などの自然性の高い植生が都市構造物の中に島状に点在している。杉並区周辺で最もまとまりのある樹林地は、杉並区の東側に隣接する渋谷区内の明治神宮にみられる常緑林である。これは植栽に由来するが、自然林の状態に発達した樹林である。また、区内に位置する善福寺池とともに武蔵野三大湧水池とされる杉並区の北隣に位置する三宝寺池（練馬区）、および西隣に位置する井の頭池（三鷹市）周辺は、公園として整備され、水辺環境とセットになったまとまりのある緑地になっている。

このほか杉並区周辺で比較的連続して存在している重要な植物群落として、幅が狭いために植生図には示されないが、玉川上水沿いの樹林が挙げられる。羽村の取水堰から杉並区内の高井戸に至る間の玉川上水の両岸に、主にコナラ、ケヤキ、サクラ類などの夏緑広葉樹による樹林帯が連続している。この樹林帯は、「郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの」として、特定植物群落に指定されている（環境庁, 1988）。

区内に現存する代表的な植生は、自然植生として善福寺下池にみられる湿生草原であるヨシクラスが、また自然林に相当するものとして、善福寺川に沿った善福寺公園や善福寺川緑地内の一部の樹林、大宮八幡宮などの社寺林、および区内北部等に点在するケヤキ・シラカシ屋敷林がみられる。さらに、二次林では善福寺池周辺や善福寺川・神田川沿いに小規模なコナラ・クヌギ群集が、また二次草原・人工草地として区内南部のグラウンドなどにみられるシバ草地やオオバコ・カゼクサ群集などの踏み跡群落がみられる。このほか果樹園・畑、樹群を伴った公園等および緑の多い住宅地といった小規模な耕作地や植栽地が区内に点在している。



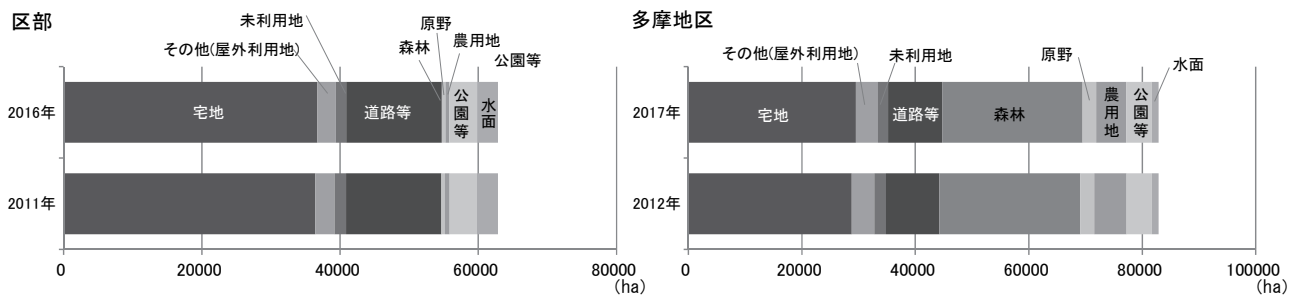
図Ⅱ-6-1 杉並区周辺の主な植生の分布状況

（環境省2万5千分の1現存植生図（第6・7回）より作成。杉並区の図郭は平成19年度に調査。）

*自然林には、屋敷林や社寺林などの常緑広葉樹林が含まれる。湿生草原は、杉並区内では善福寺公園の下池のヨシ群落が該当する。

7. 土地利用・みどりの変遷

市街地化の著しい東京都区部では、2016 年には面積の 80.4%が宅地や道路等で占められており、森林、原野、農用地、公園等・水面をあわせた緑地面積は全体の 13.0%にすぎない（図Ⅱ-7-1）。2011 年から 2016 年の間には、全体の割合に大きな変化はみられないが、宅地や道路等とともに公園等がわずかに増加し、その他（屋外利用地他）と未利用地、および農用地がわずかに減少している。一方、多摩地区では、2017 年には全体の 47.1%を宅地や道路等が占めており、2012 年から 2017 年の間には区部と同様に宅地や道路等が増加した反面、農用地、森林、未利用地、その他（屋外利用地他）が減少した。森林、原野、農用地、公園等、水面をあわせた緑地面積は、2012 年には宅地と道路等を合わせた面積をわずかに上回っていたが、2017 年には 46.0%となり、宅地・道路等を下回った。

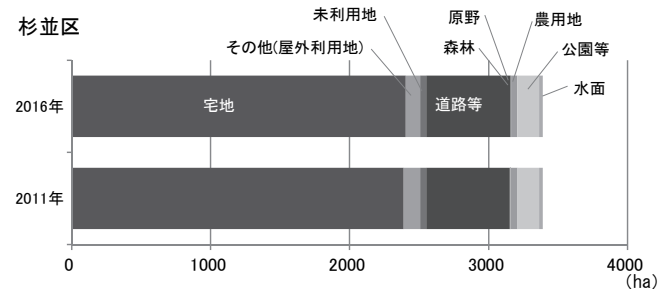


図Ⅱ-7-1 東京都の土地利用面積

（東京の土地利用（平成 28 年東京都区部）、同（平成 29 年多摩・島しょ地域）より作成）

図Ⅱ-7-2 に示す杉並区の 2016 年の土地利用面積をみると、宅地 70.9%、道路等 17.9%であり、区部全体に比べて宅地や道路等の割合が大きい。また森林・原野・農用地・公園等・水面をあわせた緑地面積は全体の 6.8%であり、東京都区部に比べて少ない。とくに水面と公園等の面積の割合が小さいが、杉並区の農用地の割合は東京都区部全体に比べ若干大きい。

杉並区および杉並区に隣接する区、市および東京都区部、東京都全体の土地利用面積を表Ⅱ-7-1 に示した。



図Ⅱ-7-2 杉並区の土地利用面積

（東京の土地利用（平成 28 年東京都区部）より作成）

表Ⅱ-7-1 杉並区および周辺区市、東京都区部、東京都全体の土地利用面積

(ha)

項目 地域	合計	宅地	その他	公園等	未利用地	道路等	農用地	水面・河川・水路	森林	原野
杉並区	3,390.0	2,403.6	104.9	156.7	42.2	607.5	45.0	26.5	3.5	0.0
練馬区	4,818.5	3,056.2	251.9	269.4	85.1	909.7	214.4	27.8	3.7	0.4
中野区	1,557.5	1,120.8	49.1	52.3	25.0	294.7	4.0	11.6	0.0	0.0
渋谷区	1,511.3	1,042.7	28.5	93.1	29.8	314.5	0.1	2.7	0.0	0.0
世田谷区	5,808.0	3,946.9	187.3	329.7	88.1	1,040.8	107.6	49.9	18.7	38.9
三鷹市	1,645.7	1,036.8	59.3	72.6	44.2	255.2	145.8	19.7	10.2	1.9
武蔵野市	1,076.5	730.9	40.2	71.1	16.8	180.7	30.9	4.9	0.8	0.1
多摩地区	82,889.3	29,522.3	3,896.1	4,514.3	1,778.1	9,537.7	5,285.2	1,229.7	24,733.3	2,392.6
区部	62,872.5	36,726.2	2,665.6	4,060.0	1,497.8	13,834.2	556.9	3,008.9	32.4	490.5
東京都本土部	145,761.8	66,248.5	6,561.7	8,574.3	3,275.9	23,371.9	5,842.1	4,238.6	24,765.7	2,883.1

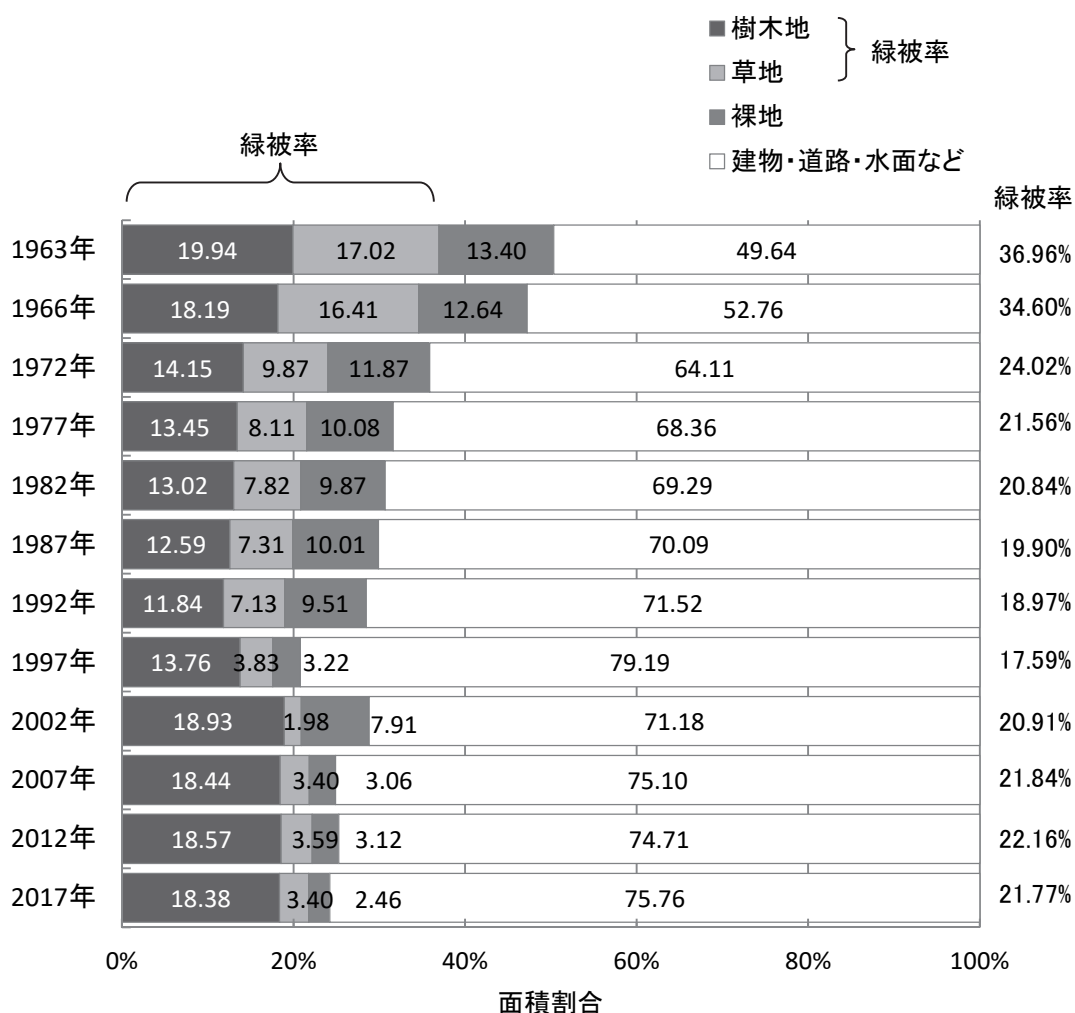
（東京の土地利用（平成 28 年東京都区部）、同（平成 29 年多摩・島しょ地域）より作成）

杉並区の緑被率*1は、1997 年まで減少傾向にあったが、2002 年から 2012 年にかけて微増し、最近 2017 年にわずかであるが再び減少に転じた（図Ⅱ-7-3）。

2002 年以降の緑被率の内訳をみると、樹木被覆地は 2007 年から 2012 年にかけての微増を除き、2017 年にかけて非常に緩やかに減少してきている。2012 年には開発に伴う建築行為時の緑化指導、区立桃井原っぱ公園の整備や公園、街路樹、庭木等の生長に伴い樹木被覆地の微増がみられたものの、全体としては開発による樹木被覆地の消失がそれらを上回っていると考えられる。このような中、公園面積については 1970 年から一貫して増加している（図Ⅱ-7-4）。

草地についても、2002 年から 2012 年にかけては工事用地の出現や区立小学校における校庭芝生化などによる増加が見られたが、その後 2017 年には再び減少した。農地については都市計画道路工事、集合住宅等の住宅建築などによる減少が続いている。

屋上緑化では 2012 年から 2017 年にかけて唯一増加がみられた（表Ⅱ-7-2）。屋上緑化については、新規に建築された集合住宅等到大規模な屋上緑化が整備されていることにより、微増傾向にある。



図Ⅱ-7-3 杉並区における緑被率の推移

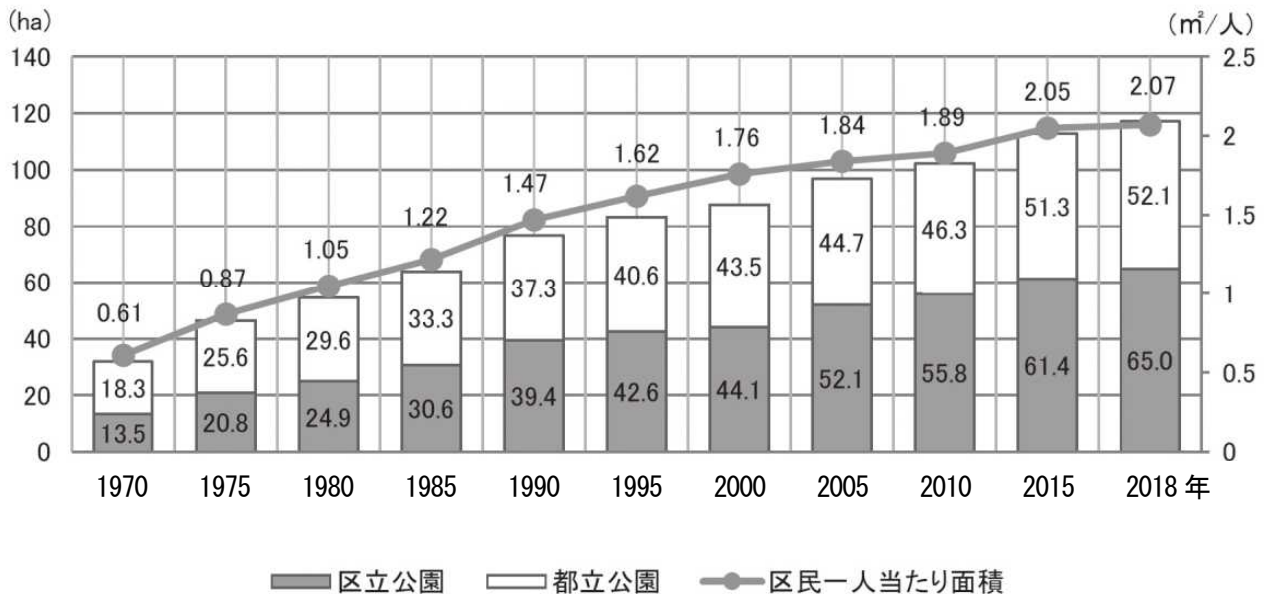
（平成9年度緑化基本調査報告書および杉並区環境白書19年度版、同30年度版をもとに作成）

*1 緑被率：緑被率調査は、1997 年はアナログ写真判読（縮尺 1/5,000）とドラムスキャナーによる計測、2002 年はアナログ写真判読（縮尺 1/10,000）とコンピューター処理による計測が行われたが、2007 年にはデジタル写真判読（縮尺 1/10,000）とデジタル処理が行われて、調査方法が改善され、緑被状況の計測が正確になった。1992 年から 1997 年にかけて、また 1997 年から 2002 年にかけての緑被率の増加は、調査方法の改善による影響が考察されている。

表Ⅱ-7-2 緑被項目別の推移

項目	2012年度		2017年度		2017年度-2012年度	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	増減(ポイント)
樹木被覆地	624.77	18.36	618.21	18.15	▲ 6.56	▲ 0.21
草地	84.45	2.48	80.55	2.37	▲ 3.90	▲ 0.11
農地	37.93	1.11	35.12	1.03	▲ 2.81	▲ 0.08
屋上緑化	7.10	0.21	7.66	0.23	0.56	0.02
緑被地	754.26	22.17	741.54	21.77	▲ 12.72	▲ 0.40
裸地	106.03	3.12	83.83	2.46	▲ 22.20	▲ 0.66
水面	13.30	0.39	13.41	0.39	0.11	0.00
建物・道路等	2,528.42	74.32	2,567.22	75.38	38.80	1.06
区全体	3,402.00	100.00	3,406.00	100.00	-	-

(平成29年度みどりの実態調査に加筆)



図Ⅱ-7-4 杉並区の公園面積の推移

(杉並区環境白書平成30年度版に加筆)

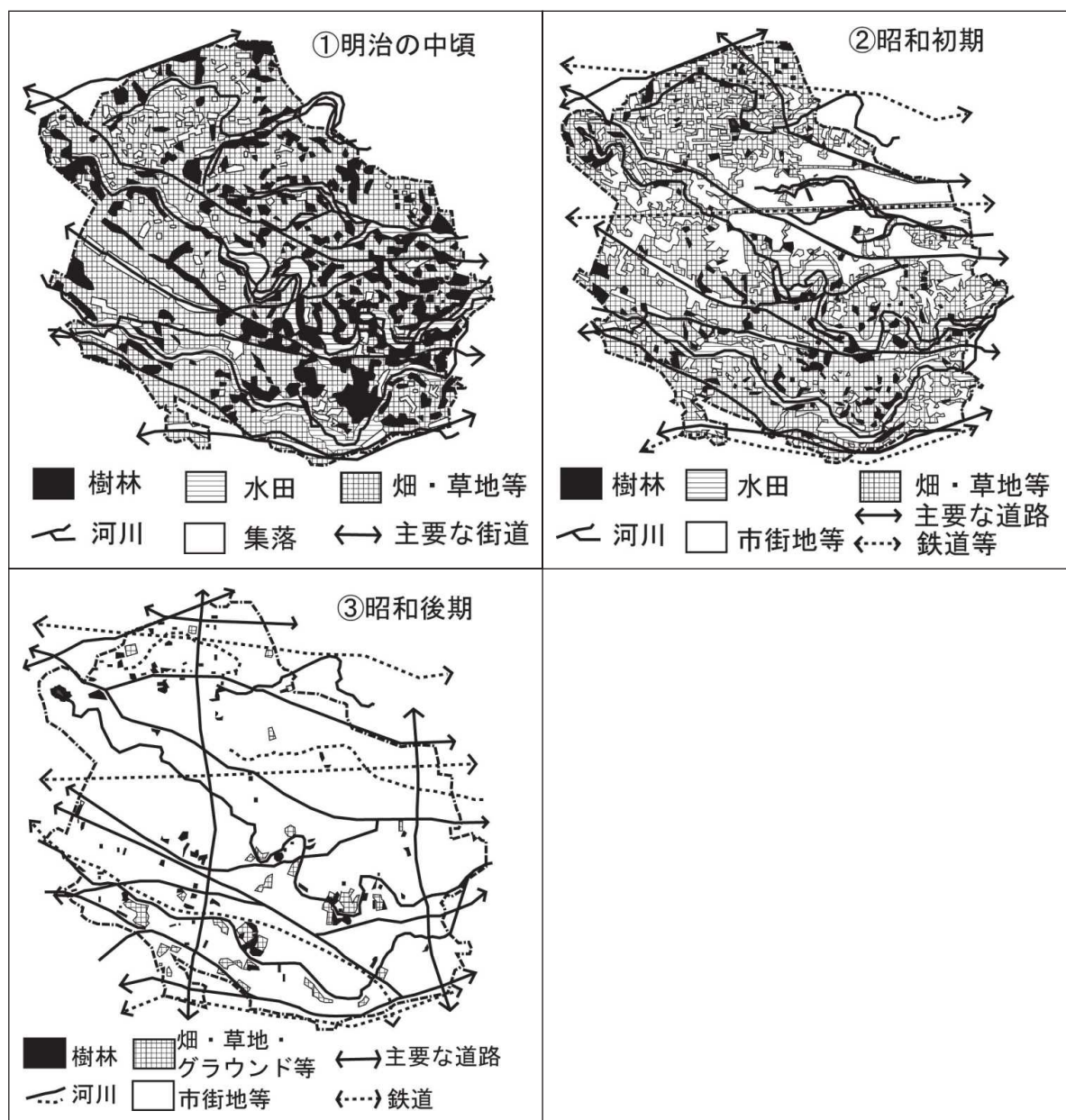
区内の緑は時代とともに変化し、年代を追うごとに減少してきた。明治中期以降からの杉並区内の緑地の分布状況の変化を図Ⅱ-7-5に示す。

明治の中頃には、台地の平坦地には畑や樹林、河川沿いには水田が広がり、集落は街道沿いを中心に点在し、いわば農村の土地利用の状況であった。

大正から昭和初期には、交通網が発達し、国鉄（現在のＪＲ）中央線沿いに市街地が発達し、台地上の畑地や樹林が減少したが、河川沿いには水田が残り南部の緑地はまとまりをもっていた。

昭和後期には、既に区内全域に市街地が広がるとともに善福寺川、神田川、妙正寺川の河川改修が完了し、水田や多くの畑は消失し、公園、社寺林、屋敷林、企業グラウンドなどの緑地が点在する状況となった。

水田は、区内の主要河川沿いに多く見られたが、昭和50年には耕地面積5a*¹以上の農地は全て畑地となり水田はほとんど見られなくなった。



図Ⅱ-7-5 杉並区のみどりの変遷（平成9年度緑化基本調査報告書より作成）

*1 1a=100㎡

Ⅲ 杉並の生物

1. 植物（維管束植物）^{*1}

（1）調査内容および方法

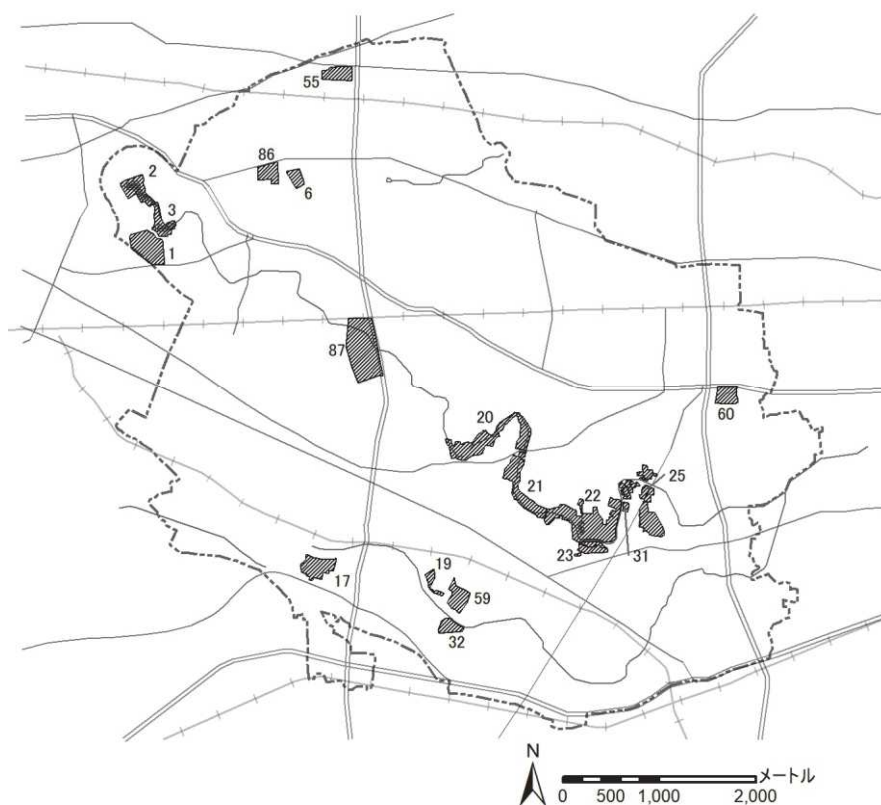
杉並区の主な緑地として北部地域の屋敷林、南部地域のグラウンド、また河川沿いの公園などが挙げられる。第7次調査では第1次から第4次の調査地の中から、他の調査（河川調査など）との重複を避け、また、効率よく杉並区を代表すると考えられる地点を選び、18カ所で維管束植物の調査を行った。第7次調査地位置図及び調査地一覧を図Ⅲ-1-1 および表Ⅲ-1-1 に示した。また、各調査地の植生概要を表Ⅲ-1-2 に、環境概要を表Ⅲ-1-3 に示した。

なお、これまでの調査地数は第1次調査が54カ所（維管束植物50カ所、蘇苔類29カ所）、第2次調査が47カ所（維管束植物47カ所、蘇苔類28カ所）、第3次調査が44カ所（維管束植物44カ所、蘇苔類18カ所）、第4次調査が38カ所（維管束植物のみ）、第5次調査および第6次調査がそれぞれ16カ所（維管束植物のみ）である。

調査方法は、現地踏査によりシダ植物、裸子植物、被子植物を対象に各調査地の生育種を記録した。調査対象とした種類は、野生状態にあるもの（在来種、帰化種、逸出種、区内の自生地からの移植種）のほか、公園等に植栽された樹木なども含めた。ただし、花壇や畑地に植えられた園芸植物や栽培作物は対象外とした。各調査地のデータは主に2018年度に取得した。ただし、善福寺公園と柏の宮公園については2017年度の調査結果も含めている。

得られたデータは調査地ごとにリスト化し、さらにそれらを第7次調査の全体リストとして整理した。

^{*1} 維管束植物：清水（2001）によると、一般に、進化程度の低い段階にある植物を下等植物、進化段階の進んだ植物を高等植物といい、高等植物はシダ植物、裸子植物、被子植物からなる維管束植物をさすが、下等、高等は相対的な関係を表す用語であり、被子植物のみを高等植物として扱う立場もあるとされる。本調査において、第5次調査までは「高等植物」と表記したが、近年発行される植物分類に関する図書において「高等植物」よりも「維管束植物」が用いられる傾向があることも鑑み（例えば、米倉（2012）など）、第6次調査から「維管束植物」に変更した。



番号	調査地点名	番号	調査地点名
1	東京女子大学	23	大宮八幡
2	善福寺公園上池	25	済美山自然林
3	善福寺公園下池	31	和田堀公園観察の森
6	観泉寺	32	塚山公園
17	浴風園	55	井草森公園
19	三井の森公園	59	柏の宮公園
20	善福寺川緑地(1)	60	蚕糸の森公園
21	善福寺川緑地(2)	86	農芸高校
22	和田堀公園	87	南荻窪4丁目

図Ⅲ-1-1 第7次調査地位置図

表Ⅲ-1-1 調査地一覧

番号	調査地点名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次			第6次		第7次
		1985 年度	1986 年度	1990 年度	1991 年度	1995 年度	1996 年度	2000 年度	2001 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2012 年度	2013 年度	2018 年度
1	東京女子大学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	善福寺公園上池	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	善福寺公園下池	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	井草八幡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5	荻窪八幡	○	○	○	○	○	○	○	○						
6	観泉寺	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
7	I 邸	○	○												
8	A 邸	○	○	○	○										
9	N 邸	○	○	○	○	○	○	○	○						
10	K 邸	○	○	○	○	○	○	○	○						
11	M 邸	○	○	○	○	○	○								
12	Ai 邸	○	○	○	○	○	○	○	○						
13	U 邸	○	○	○	○										
14	Ig 邸	○	○												
15	玉川上水	○	○	○	○	○	○	○	○						
16	旧大蔵省グラウンド	○	○	○	○	○	○	○	○						
17	浴風園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
18	三泉湖公園	○	○												
19	三井の森公園 (旧三井グラウンド南側)	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
19'	三井の森公園 (旧三井グラウンド西側)			○	○	○	○	○	○	○	○				
20	善福寺川緑地 (1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
21	善福寺川緑地 (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
22	和田堀公園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	大宮八幡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	わんぱく広場	○	○	○	○	○	○	○	○						
25	済美山自然林	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	旧富士銀行グラウンド	○	○	○	○	○	○	○	○						
27	済美教育研究所	○	○												
28	真盛寺	○	○	○	○	○	○	○	○						
29	妙法寺	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
30	築地本願寺	○													
31	和田堀公園観察の森	○	○	○	○	○	○	○	○						○
32	塚山公園	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
33	神田川 1		○	○	○	○	○								
34	神田川 2		○	○	○	○	○	○	○						
35	神田川 3		○	○	○	○	○	○	○						
36	神田川 4		○	○	○	○	○	○	○						
37	神田川 5		○	○	○	○	○	○	○						
38	神田川 6		○	○	○	○	○	○	○						
39	善福寺川 1		○	○	○	○	○	○	○						
40	善福寺川 2		○	○	○	○	○	○	○						
41	善福寺川 3		○	○	○	○	○	○	○						
42	善福寺川 4		○	○	○	○	○	○	○						
43	善福寺川 5		○	○	○	○	○	○	○						
44	妙正寺川		○	○	○	○	○	○	○						
45	井の頭線 1		○	○	○	○	○	○	○						
46	井の頭線 2		○	○	○	○	○								
47	井の頭線 3		○	○	○	○	○								
48	井の頭線 4		○	○	○	○	○								
49	井の頭線 5		○	○	○	○	○								
50	Mo 邸	○													
54	MOT邸			○	○	○	○	○	○						
55	井草森公園 (旧機械技術研究所跡地:55)		○	○	○					○	○	○	○	○	○
59	柏の宮公園									○		○	○	○	○
60	蚕糸の森公園									○			○	○	○
61	どんぐり山児童遊園											○			
86	農芸高校												○	○	○
87	南荻窪4丁目														○

*1) 調査地の名称変更に伴うデータ統合などによる空番号がある。

*2) 第5次調査では表中に示した維管束植物調査のほか個人邸などの地点で希少植物生育確認調査を実施している。

*3) 第7次調査において、善福寺公園と柏の宮公園は2017年度調査結果を含む。

表Ⅲ-1-2 第7次調査対象地の植生概要

番号	調査地名	植生																	
		・常緑広葉樹林			夏緑広葉樹林			アカマツ林			竹林	植栽地		林縁	乾性草地	草地			果樹園
		林床密生	林床刈取り管理	林床裸地化または植栽	林床密生	林床刈取り管理	林床裸地化または植栽	林床密生	林床刈取り管理	林床裸地化または植栽		高木＋裸地化	植込		高茎	路傍	低茎（踏み跡等）	芝生	
																			護岸2面張り
																			護岸3面張り
1	東京女子大学	△		△		○		+		+	△		+	△	+	△	◎		+
2	善福寺公園上池			○		○	○				△	○					△		△
3	善福寺公園下池			○		○	○				△	○					○		△
6	観泉寺	○									△		○					△	
17	浴風園			△				+			△	○						○	+
19	三井の森公園 ^{*1}		△	△	△	○		+	+			○	○	△	○	△			+
20	善福寺川緑地(1)										◎	○			○	○	○		◎
21	善福寺川緑地(2)										◎	○			○	○	○		◎
22	和田堀公園			○	○						○	○	△		○	○	○		△
23	大宮八幡	○		○		○					○	△	△	○	△		+		
25	済美山自然林					○								△					
31	和田堀公園観察の森	○			○									△					
32	塚山公園	△	○	△	○	○	△	+	○	+	△	△					○		△
55	井草森公園 ^{*2}			△					+		◎	○		+		△	○		○
59	柏の宮公園					○	△			○	△	○		△	+	+	◎		△
60	蚕糸の森公園			△			△		+		○	○			+	+	+		○
86	農芸高校										○	○						○	○
87	南荻窪4丁目									+	○	◎	+	+	△	+			△

記号凡例 ◎ 多い ○ 普通 △ 少ない + わずか

*1) 19 三井の森公園：旧三井グラウンド南側(19)と旧三井グラウンド西側(19')を統合。2010年開園。

*2) 55 井草森公園：旧機械技術研究所跡地(55)。1996年開園。

表Ⅲ-1-3 第7次調査対象地の環境概要および管理状況(1)

地点番号	調査地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	備考
1	東京女子大学	大学構内の歩道	9号館南側や本館の裏側に成立する樹林は、クスギやムクノキ等の落葉広葉樹が優占し、下層部はほとんど管理がなされていないため、多種の木本や草本植物が見られる。建物の周囲はイチョウ、ユリノキ、ヒマラヤスギなどの高木、ウメやサンザシ、カキなどの低木が植栽されている。芝生内にはシバ以外の植物はほとんどみられない。	芝生内はよく管理されているが、アカマツ林の林床はあまり管理されていない。	-	-
2	善福寺公園上池	公園全域	上池（元湧水池）と下池（元湿地を戦前に整備した新池）があり、低地、池周囲の斜面、最上部の台地と変化に富んだ環境がある。開園前からのエノキ、クスギ、コナラ、スギ、ヒノキなどの他に、開園時に植栽されたケヤキ、メタセコイア、ユリノキなどの高木が豊かに生育する。池周囲の湿潤な環境には、アカメヤナギ、オニグルミ、ハンノキなどの木本類や、イ、シロバナサクラタデ、ツボスミレ、マコモ、フトイなどの草本類が生育する。	全体的に季節に関係なく草刈り・剪定が行われている。帰化植物のボタンサギは刈っても根萌芽で除去できない状態である。	老木が増え、台風により大樹のソメイヨシノ、トゲナシハリエンジュ、ユリノキが根返りした。上池：池の護岸工事、元雑木林だった隣接地の増設工事があった。下池：水道工事、「遅野井親水施設」の開設があった。「遅野井親水施設」の開設では、約40種の植物が植栽された。同時に暗かった環境が、明るい水路に変わったので、植栽以外に約90種の植物が侵入したことを確認した。	-
3	善福寺公園下池					-
6	観泉寺	全域	スダジイ・クスノキ林、ケヤキ林、モウソウチク植林、ヒノキ植林がみられ、林床を好む植物が生育する。墓地には裸地を好む植物が生育する。植栽植物も少なくはない。	外周部は樹木の剪定が行われている。林床には落ち葉が厚く積もっており、はいて集められた落ち葉が林内に大量に捨てられている場所もある。墓地周辺は管理され日当たりのよい裸地環境が保たれている。	樹林地の一部は造成され、人工池となっている。	あちこちにいわゆる山野草の植栽がなされている。
17	浴風園	立入禁止となっている箇所を除く範囲	約65,000㎡の広い敷地を持っており、園内には樹木が多く植栽されている。敷地北側道路沿いには雑木林的な場所もあり、エノキやシロダモ、ヒメコウソなどの野生の樹木も生えている。また広大な敷地だけにメヤマオオイノコズチ、ヒメウズなどの草本もかなりの数の種類が観察できる。	園内の植物の手入れが良く行われていて整備が行き届いている。樹林の林床の多くは、下刈りが行われているが、一部は放置された自然の状態となっている。北側の雑木林は林内にトウネズミモチ、シラカシなどの常緑樹が繁茂しつつある。	-	-
19	三井の森公園	園内を周回する歩道沿いや斜面林	公園は道路で2分割されている。一方は以前のままの状態で、アカマツ、コナラ、クスギ、イヌシデなどが残された雑木林であり、林床の多くは下刈り管理されているが、アオキなどが優占する場所もある。もう一方は斜面林になっており、ソメイヨシノなどの古木は残されているものの、ツツジなど、新たに植栽された樹木も多い。	下刈り管理されているが、貴重種などは選択的に残されている。また、粗放的管理の場所もある。	-	道路沿いの樹木は剪定が行われている。ボランティアによりクスギ、イヌシデが実生から育成されている。
20	善福寺川緑地(1)	善福寺川に沿った帯状の緑地の神崎橋から尾崎橋まで	植栽された樹木が多い。林床は踏圧が高く裸地化したところが多い。草丈の高い草地がほとんどないため、善福寺川沿いの通路脇のイタドリ、ガガイモなどが調査地内で希少となっている。善福寺川沿いの通路脇や護岸部は、草地生の在来種の貴重な生育地である一方、外来種も多い。	草刈り頻度が高く、草地は草丈が低く保たれている。ボランティア管理の野草園がある。	-	西田橋上流から西園橋下流にかけて、河川整備工事により河川沿いは立ち入り出来ず。
21	善福寺川緑地(2)	善福寺川に沿った帯状の緑地の尾崎橋から白山前橋まで	植栽された樹木が多い。林床は踏圧が高く裸地化したところが多い。草丈の高い草地がほとんどないため、善福寺川沿いの通路脇や護岸部は、草地生の在来種の貴重な生育地である一方、外来種も多く見られた。	草地は草刈り頻度が高く、草丈が低く保たれている。	-	-
22	和田堀公園	済美山自然林と観察の森を除く開園区域	善福寺川の湿地を池にして公園にした場所。多くの樹木や草花が植栽されている。善福寺川南側に落葉広葉樹の斜面林が残る。わんぱく広場は植栽樹木が点在または列植されたなかに草原が広がっている。	公園内は利用者が多く、踏み固められ、また除草等の作業がよくされているため、裸地化しているところが多いが、南側の斜面には閉鎖管理の樹林もある。	済美山運動場など新たに開園した区域がある。	御供米橋から宮下橋にかけて、河川整備工事により河川沿いと斜面林は立ち入り出来ず。
23	大宮八幡	大宮八幡宮の境界線以内（本殿裏側の森以外の範囲）	安定した樹林地（社寺林）が大半を占めている。社叢の林床は落葉が厚く積もっていて自然の状態が保たれていた。林床にはいろいろの幼木も見られるが、ササなどが繁茂しており、自生する林床植物の種類数は期待していたほどには多くない。参道両側の森は大本に生長したクスノキやムクノキなどが立派である。林床には落葉が厚く積もり、自然の状態が保たれており大都會の中には珍しい自然が残されている。また神社としての立派な植え込みがあり、巨大な夫婦銀杏、ジュウガツザクラやヒトツバタゴ、さらには記念樹としてのボダイジュなどがある。	参道の両脇の森の中は落葉が厚く積もり、人手はほとんど入っておらず自然の状態である。	-	安定した社寺林であり環境変化は少ない。

表Ⅲ-1-3 第7次調査対象地の環境概要および管理状況(2)

地点番号	調査地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	備考
25	済美山自然林	閉鎖管理区域	コナラが優占する雑木林。草本層の優占種は丈の低いアズマネザサである。林床生の貴重種があるものの、花が目立つものは盗掘がしばし行われ危機的な状況にあるものもある。しかし柵によってある程度人の出入りが制限されているため和田堀公園周辺では林床植生がよく残されているほうである。	下刈り管理が実施され、林床はスッキリしている。貴重種は選択的に刈残されている。	平成28年度に一部で皆伐萌芽更新が実施され、草地環境となっている。	-
31	和田堀公園観察の森	閉鎖管理区域	高木層には、スダジイなどの常緑広葉樹、ムクノキ、エノキなどの落葉広葉樹が生育する。林床には常緑低木が密生する場所もあるが、暗く林床植生が乏しい場所もある。	林内には散策路が設置されている。フェンス沿いやギンランなど保護植物周辺のみ下刈り管理が行われている。	-	
32	塚山公園	公園全域	シイ、カシやコナラ、イヌシデ、アカマツなどの高木林で、林内はササ刈りによりスッキリとしている。柵内の林内には植栽木以外の低木が少ない。池を中心とした「水辺の広場」がある。	下刈りや草刈り管理は頻繁に行われている。	高木の大径木化が進み、台風による倒伏が見られた。	2013年からの管理により、林内の環境は著しく変化しており、以前にみられた湿潤な日陰を好む植物は減少した。
55	井草森公園	公園全域	「防災公園」としての機能が強く、外周部には防火植樹としてアラカシ、イチョウ、アオキ、タブノキ、ユズリハ、マテバシイ、ツバキ、サザンカなどの常緑樹が植栽され、特にタブノキは大きく立派である。アオキ、シュロ、ビワ、トキワサンザシなど、鳥によるものや自然に実生から育ったものもある。地被類としてオカメザサ、クマザサ、リュウノヒゲ、ヤブランなどの植栽が目立つ。	定期的な管理がなされている。	池から続く水路沿いは高木により暗くなり、キショウブが繁茂している。また野草園があるがヤマモモ等の常緑樹で被陰され、野草が少ない。	-
59	柏の宮公園	公園全域	公園開園以前からあるイヌシデ林やアカマツ林、クヌギ・コナラ植林、様々な草丈の草地、水辺などを擁し環境の変化に富む。林内は比較的乾燥しているためシダ類の種類はさほど多くはない。草地広場周辺や未来の森21では明るい草地を好む植物がよく残されている。公園施工の際には外部からの土壌の持ち込みはなく園内の表土を有効活用しており、埋土種子由来と思われる野草が多数見られる。水生生物の池や水田などは公園造成に伴い新しく作られたものなので、植栽種が大部分を占める。樹木に関しては公園施工の際に植栽されたものも少なくはない。	立ち入りを制限し野草などの保護をしているエリアが多い。	-	-
60	蚕糸の森公園	公園全域	蚕糸試験場であったなごりをとどめ園内にはあちらこちらにクワの太木があり、区内では珍しいハリグワを見ることができる。また入口正面左手にはクワとシダレグワが植栽されている。	東側道路に面した樹林外周部にエビネ、ヒトリシズカ、シラユキゲシなどが植栽されている。	北側の一部は工事中である。	明治44年（1911年）蚕糸科学技術の発祥の地として誕生した蚕糸試験場（原蚕種製造所）で昭和55年に筑波研究学園都市に移転したあとに造園された。
86	農芸高校	果樹園、第一圃場、第二圃場、定時制農場、園芸科農場、その他（本校舎、三谷農場）	耕作地では、耕起や草刈などの攪乱がしばしば起こるため1年草や草丈の低い植物が多い。果樹園は耕作地ほどの攪乱はないが頻繁に草刈を行うので草丈の低い植物が多い（但し耕作地に比べ多年草の割合は高い）また、外来種の割合も比較的高く、雑草化したハーブが繁茂することもしばしばある。	果樹園や圃場では定期的な草刈りが行われ草丈は低く抑えられている。農場は耕作が行われている。	-	区内ではほとんど見られなくなった畑地雑草が何種か生き残っている。また第一苗圃や果樹園の縁では耕作地などと比べ攪乱は少なく、区内では珍しい植物が見られることがある。
87	南荻窪4丁目	道路沿いの植栽地、与謝野公園、善福寺川	道路沿いから確認できる植栽地が主で、建替え等で一時的に裸地的環境になった場所や、低～中茎の草地が局所的にある。ままとまりのある緑地として与謝野公園があり、河川環境として町内を流れる善福寺川がある。	植栽地、公園等、定期的に管理が行われている。	-	-

(2) 調査結果および考察

1) 第7次調査結果

① 全調査地の生育種

第7次調査で生育が確認された維管束植物の種類数を、過去の調査で確認された種類数とともに表Ⅲ-1-4に示した。第7次調査では植栽植物を除き、帰化種・逸出種を含めた野生状態のもの（野生種）を合わせて130科753種類（亜種、変種、品種、雑種を含む）が確認され、植栽種は102科387種類であった。これまでの調査結果を併せると、野生種は150科1111種類、植栽種（これまでに植栽個体のみが確認された種）は111科536種類となった。

表Ⅲ-1-4 第1次から第7次調査地全体における維管束植物の確認種類数^{*1}

生育区分	分類群	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次	
		科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数
野生種 ^{*2}	シダ植物	12	27	12	29	15	33	11	24	12	33
	裸子植物	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4
	被子植物	104	546	109	607	101	586	99	540	104	549
	野生種合計	118	577	123	640	118	623	112	568	118	586
植栽種 ^{*3}		83	215	99	337	109	362	91	298	86	282
合計 ^{*4}		140	792	149	977	152	985	141	866	148	868

生育区分	分類群	第6次		第7次		合計	
		科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数
野生種 ^{*2}	シダ植物	15	60	15	53	18	74
	裸子植物	3	5	3	5	3	5
	被子植物	114	692	112	695	129	1,032
	野生種合計	132	758	130	753	150	1,111
植栽種 ^{*3}		82	314	102	387	111	536
合計 ^{*4}		154	1,072	158	1,140	176	1,647

*1 種類数：種、亜種、変種、品種、雑種の種類数を含む。不明種（～属の一種等）は原則として含まないが、一部の種群を含む（園芸スイレンなど）。新発見に基づき複数の品種を統合するなどの見直しにより、第6次報告書の値と異なる。

*2 野生種：在来種、帰化植物、野生状態にある逸出種、および杉並区内の自生地から移植された在来種を含む。

*3 植栽種：公共の場に植栽された造園樹木および国内に野生生育地のある草本植物を含むが、個人邸、花壇および畑に植えられた園芸用の植物や栽培作物は含まない。

*4 合計：野生種と植栽種で重複する科があるため、科数の合計は単純に加算した値と異なる。

第7次調査で確認された生育種の主な特徴は以下のとおりである。

- i. 広く分布する植物の多くは、樹林や林縁の生育種と、路傍や空き地等の草地の生育種であった。
- ii. 出現頻度の低い植物の中では、路傍や空き地等の人里草地に生育する種が大半を占めたほか、樹林や林縁の生育種や、湿地や池沼に生育する湿生植物が含まれた。
- iii. 帰化植物の種類数が植栽種を除いた全出現種類数に対して占める割合（帰化率）は23.0%となり、第6次調査の20.8%から増加するとともに、長期的な増加傾向がみられた。帰化率増加の要因として、新施設整備などによる環境の変化や、園芸等に利用される外来種の増加などによる影響が考えられる。
- iv. 植栽種の種類数が全確認種類数に占める割合は33.9%となり第6次調査より増加したが、長期的にはこれまでの変動の範囲内（27～37%）にあった。

i 広く分布する植物

杉並区に広く分布する植物（高頻度出現種）として、出現頻度 60%以上の種類（植栽種を除き帰化種・逸出種を含む）を抽出し、表Ⅲ-1-5 に示した。第 7 次調査で確認された出現頻度 60%以上の植物は 171 種類であった。これは第 6 次調査の 154 種類を大きく上回り、増加傾向にある。生育由来の内訳は、一部植栽を含む在来種が 118 種類、帰化種が 35 種類、逸出種が 18 種類であった。

該当種の主な生育環境をみると、路傍や空き地等の草地の生育種に比べ樹林や林縁の生育種が種類数では若干多くみられた。例として、在来種では照葉樹林の構成種であるシラカシ、スダジイ、ヤブツバキ、モチノキ、ヒサカキ、ヤツデ、マンリョウ等、二次林の構成種であるエノキ、ムクノキ、コブシ、クヌギ、コナラ、アカマツ等、林縁等に生育するアカメガシワ、ドクダミ、ヘクソカズラ、ヤブガラシ、ヤマグワ、ミズヒキ、ヤマノイモ等、路傍等の人里草地に生育するオニタビラコ、ツユクサ、カタバミ、コナスビ、イヌタデ、クワクサ、カニクサ等が挙げられる。

帰化植物ではオオアレチノギク、ハルジオン、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ、ヨウシュヤマゴボウ、オランダミミナグサ、セイヨウタンポポ、ヒメムカシヨモギ、アメリカフウロなどのほとんどの種類が空地などの草地に生育する種であった。

また逸出種では、クスノキ、シュロ、ナンテン、ビワ、センダン、エンジュ、ユキヤナギ、アキニレ等が広くみられた。

表Ⅲ-1-5 第7次調査における広く分布する植物(出現頻度 60%以上)の凡例

*1 種名：種、亜種、変種、品種、雑種を含む。

*2 第 7 次生育由来：無印は在来種を示す。

*3 過去の確認有無：印のあるものは出現頻度に関係なく、●は野生種、○は植栽種として確認されたことを示す。

表Ⅲ-1-5 第7次調査における広く分布する植物(出現頻度 60%以上)

種名 ^{*1}	第7次調査			過去の出現有無 ^{*3}					
	出現地点数	出現頻度(%)	生育由来 ^{*2}	1次	2次	3次	4次	5次	6次
アカメガシワ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
アズマネザサ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
イヌワラビ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
エノキ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
オオアレチノギク	18	100.0	帰化	●	●	●	●	●	●
オニタビラコ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
カラスウリ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
ケヤキ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ジャノヒゲ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
シラカシ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ツタ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
ツユクサ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
トウネズミモチ	18	100.0	植栽・帰化	○	○	○	○	○	○
ドクダミ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
ハルジオン	18	100.0	帰化	●	●	●	●	●	●
ヘクソカズラ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
マンリョウ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ムクノキ	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヤブカラシ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
ヤブミョウガ	18	100.0		●	●	●	●	●	●
ヤマグル	18	100.0	一部植栽	●	●	●	●	●	●
イヌツゲ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
イロハモミジ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
オッタチカタバミ	17	94.4	帰化	●	●	●	●	●	●
オニドコロ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
カタバミ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
クスノキ	17	94.4	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
コナスピ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
コブシ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
シャガ	17	94.4	植栽・逸出	●	●	●	●	●	●
シュロ	17	94.4	植栽・逸出	●	●	●	●	●	●
スギナ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
スダジイ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
タチツボスミレ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ナンテン	17	94.4	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
ノグシ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ヒサカキ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヒメジョオン	17	94.4	帰化	●	●	●	●	●	●
ヒドリジョウゴ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
フジ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヘビイチゴ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ミズヒキ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ムラサキカタバミ	17	94.4	帰化	●	●	●	●	●	●
メヒシバ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ヤツデ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヤブラン	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヤマノイモ	17	94.4	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヨウシュヤマゴボウ	17	94.4	帰化	●	●	●	●	●	●
アオキ	16	88.9	一部植栽	●	●	●	●	●	●
イヌタデ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ウラボシ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
エノキグサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
エノコログサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
オランダミナグサ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
キュウリグサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
セイタカアワダチソウ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
セイヨウタンポポ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
タチイヌノフグリ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
ナガミヒナゲシ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
ナキリスゲ	16	88.9	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ノビル	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ヒナタイノコズチ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ヒメムカシヨモギ	16	88.9	帰化	●	●	●	●	●	●
フキ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
マスカサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ミズキ	16	88.9	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ミゾイチゴツナギ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
モチノキ	16	88.9	一部植栽	●	●	○	○	○	○
ヤエムグラ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ヤブツバキ	16	88.9	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ユズリハ	16	88.9	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
オオバコ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
カモジグサ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
キンモクセイ	15	83.3	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
クヌギ	15	83.3	一部植栽	●	●	●	●	●	●
クワクサ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
コヒルガオ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
サンショウ	15	83.3	一部植栽	●	●	●	●	●	●
トキワハゼ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
ハキダメギク	15	83.3	帰化	●	●	●	●	●	●
ハハコグサ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
ヒガンバナ	15	83.3	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ビワ	15	83.3	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
ヤハズエンドウ	15	83.3		●	●	●	●	●	●
アメリカフウロ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
イヌシデ	14	77.8	一部植栽	●	●	●	●	●	●
イヌムギ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
オニノゲシ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
カキノキ	14	77.8	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
カニクサ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
キカラスウリ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
キツタ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
クサイ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
コナラ	14	77.8	一部植栽	●	●	●	●	●	●
コニシキシソウ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
コハコベ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
スイカズラ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
センダン	14	77.8	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
タケニグサ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
チチヨグサモドキ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
ツメクサ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
ツワブキ	14	77.8	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
ネズミモチ	14	77.8	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ノハカタカラクサ	14	77.8	帰化	○	○	○	○	○	○
ヒメオドリコソウ	14	77.8	帰化	●	●	●	●	●	●
ミウガ	14	77.8	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
ムラサキシキブ	14	77.8	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ヤブマメ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
ヨモギ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
アカマツ	13	72.2	一部植栽	●	●	●	●	●	●
アキノエノコログサ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
アキノノゲシ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
アセビ	13	72.2	一部植栽	○	○	○	○	○	○
アラカシ	13	72.2	一部植栽	●	●	●	●	●	●
イノモトソウ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ウシハコベ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
オオイヌノフグリ	13	72.2	帰化	●	●	●	●	●	●
オニマタビ	13	72.2	植栽・帰化	○	○	○	○	○	○
オヒシバ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
キツネノマゴ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ケチチミザサ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
サネカズラ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
シャリンバイ	13	72.2	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
シロザ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
シロツメクサ	13	72.2	帰化	●	●	●	●	●	●
トウカエデ	13	72.2	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
ノイバラ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ノブドウ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ハナニラ	13	72.2	帰化	○	○	○	○	○	○
ミドリハコベ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ムラサキケマン	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ユキヤナギ	13	72.2	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
アメリカスミレサイシン	12	66.7	植栽・帰化	●	●	●	●	●	●
イヌガラシ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
イボタノキ	12	66.7	一部植栽	●	●	●	●	●	●
エゴノキ	12	66.7	一部植栽	●	●	●	●	●	●
エンジュ	12	66.7	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
オシロイバナ	12	66.7	植栽・帰化	●	●	●	●	●	●
カキドオシ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
カラスビシャク	12	66.7		●	●	●	●	●	●
クサギ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
コセンダングサ	12	66.7	帰化	●	●	●	●	●	●
シラン	12	66.7	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
スズメノカタビラ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
ダンドボロギク	12	66.7	帰化	●	●	●	●	●	●
ニワトコ	12	66.7	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ベニシダ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
ホトケノザ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
ミチタネツケバナ	12	66.7	帰化	●	●	●	●	●	●
ヤブヘビイチゴ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
アキノレ	11	61.1	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
アケビ	11	61.1	一部植栽	●	●	●	●	●	●
アメリカセンダングサ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
イモカタバミ	11	61.1	植栽・帰化	●	●	●	●	●	●
カゼクサ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
カツラ	11	61.1	植栽・逸出	○	○	○	○	○	○
コメヒシバ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ショカツサイ	11	61.1	植栽・帰化	●	●	●	●	●	●
トウバナ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
トベラ	11	61.1	一部植栽	○	○	○	○	○	○
ナガバジャノヒゲ	11	61.1	一部植栽	●	●	●	●	●	●
ナガバヤブソテツ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ナズナ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ヌカキビ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ネジバナ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ノキシノブ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ハナイバナ</									

ii 出現頻度の低い植物

出現頻度の低い植物として、出現地点数が2以下の種類（植栽種を除き帰化種・逸出種を含む）を抽出し、表Ⅲ-1-6に示した。第7次調査で確認された出現地点数が2以下の種は252種類であり、第6次調査の316種類より少なかった。この中には次項に詳述する注目種が28種類含まれ、これも第6次調査の49種類を下回った。

該当種を主な生育環境別にみると、在来種では、主として樹林や林縁の生育種が多く含まれたほか、路傍や空き地等の人里草地に生育する種も比較的多く、また湿地や池沼に生育する湿生植物も含まれた。主に樹林や林縁に生育する種の中では、特に二次林の生育種が比較的多く含まれた。例として、照葉樹林の種であるイノデ、ヤマイトチシダ、トウゴクシダ、二次林の種であるオオバギボウシ、オカウコギ、コマユミ、ヤマコウバシ、アオハダ、ヒカゲスゲ等、林縁の種としてアカネ、オヤブジラミ、ボタンヅル等、草地の種としてアキカラマツ、アマナ、イワニガナ、オトギリソウ、ヒメミカンソウ、コツブキンエノコロ、ワラビ等、水辺の種としてアカメヤナギ、アオウキクサ、アゼナ、オモダカ、ホタルイ等が挙げられる。

出現頻度の低い植物には帰化植物59種類や逸出種15種類も含まれ、これらの多くは畑地や空地などの草地に生育する種であった。

表Ⅲ-1-6 第7次調査における出現頻度の低い植物(出現地点数2以下)(1)

種名 ^{*1}	第7次調査			過去の出現有無 ^{*3}						注目種 ^{*4}
	出現地点数	出現頻度(%)	生育由来 ^{*2}	1次	2次	3次	4次	5次	6次	
アオガヤツリ	2	11.1		●	●				●	●
アオミズ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
アカネ	2	11.1	一部移植	●	●	●	●	●	●	
アカメヤナギ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
アキカラマツ	2	11.1	移植	●	●	●	●	●	●	
アマナ	2	11.1	移植・植栽	●	●	●	●	●	●	
アリタソウ	2	11.1	帰化				●			
イヌコハコベ	2	11.1	帰化							
イノデ	2	11.1				●	●	●	●	
イワニガナ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
イワヒメワラビ	2	11.1							●	●
オオクサギ	2	11.1	帰化	●	●			●		
オオチドメ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
オオバギボウシ	2	11.1	移植・植栽	●	●	●	●	●	●	
オオハンゲ	2	11.1	逸出							
オカウコギ	2	11.1	一部植栽							
オトギリソウ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
オヤブジラミ	2	11.1				●				
カスマグサ	2	11.1	一部移植			●		●		
カニツリグサ	2	11.1		●	●			●	●	
ギシギシ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
キツネガヤ	2	11.1							●	
キハギ	2	11.1	一部植栽	●	●	●	●	●	●	
クサヨシ	2	11.1		●		●	●	●	●	
クサレダマ	2	11.1	移植・植栽						○	
クマノミズキ	2	11.1	一部植栽					●		
クマワラビ	2	11.1		●		●	●		●	●
クラマゴケ	2	11.1		○	○	○	○		●	
ゲジゲジシダ	2	11.1		●	●			●	●	
コケオトギリ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
コバンソウ	2	11.1	帰化	●	●	○	●	●	●	
コボタンツル	2	11.1						●		
コヤユミ	2	11.1	一部植栽	●	●	●		●	●	
ゴウウアケビ	2	11.1							●	
ササバギンラン	2	11.1						●	●	●
シナダレスズメガヤ	2	11.1	帰化	●	●	●		●	●	
シノブ	2	11.1	植栽・逸出				○			
ジャクチリソバ	2	11.1	植栽・帰化	●	●	●	●	●	●	
シラヤマギク	2	11.1	一部移植	●	●	●	●	●	●	
シロバナサクラタデ	2	11.1	一部移植						●	
スイバ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
スズメウリ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
スズメガヤ	2	11.1							●	
セイヨウカラシナ	2	11.1	帰化	●	●		●	●	●	
セントウソウ	2	11.1	一部移植	●	●	●	●	●	●	
ゼンブクシアザミ(新称)	2	11.1	一部移植	●	●					
ソクズ	2	11.1		●	●	●	●			
タイヌビエ	2	11.1								
ツルギミ	2	11.1	一部植栽		●	●	●		●	
ツルマサキ	2	11.1	一部植栽	●	●	●				
ツルマンネングサ	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
トキンソウ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
トネアザミ	2	11.1	一部移植					●	●	
ナガバギシギシ	2	11.1	帰化	●	●	●			●	
ナガハグサ	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
ナルコユリ	2	11.1	一部移植	●	●	●	●	●	●	
ニガナ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ニシキソウ	2	11.1		●	●	●	●		●	●
ネズミノオ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ノカンゾウ	2	11.1	移植・植栽	●	●	●	●	●	●	
ノゲヌカスゲ	2	11.1							●	
ノササゲ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ノブキ	2	11.1	一部植栽	●				●	●	
ハシカグサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ハッカ	2	11.1		●	●	●	●		●	
ハナヤエムグラ	2	11.1	帰化							
ハリガネワラビ	2	11.1							●	●
ヒメイヌビエ	2	11.1								
ヒメカンソウ	2	11.1							●	
ヒメヨツバムグラ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ヒメリュウキンカ	2	11.1	帰化							
ヒヨドリバナ	2	11.1	移植・植栽	●	●	●	●	●	●	
フジカンゾウ	2	11.1	一部植栽	●	●	●	●			
フタクサ	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
フモトシダ	2	11.1						●	●	
ベニカタバミ	2	11.1	帰化						●	
ベニバナボロギク	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
ヘラオオバコ	2	11.1	帰化	●	●		●		●	
ホウライシダ	2	11.1	逸出						●	
ホソアオゲイトウ	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
ボントクタデ	2	11.1	移植・植栽	●	●	●	●	●	●	
マツヨイグサ	2	11.1	帰化	●	●	●	●	●	●	
マメツタ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	●
マヤラン	2	11.1	在来						●	●
マルバアメリカアサガオ	2	11.1	帰化					●		
マルバマンネングサ	2	11.1	一部植栽						●	●
ミチバタガラシ	2	11.1		●	●	●	●			
ミツガシワ	2	11.1	移植・植栽						○	
ミニトマト	2	11.1	逸出							
ミミナグサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●	
ムラサキミツバ	2	11.1	一部移植	●	●	●			●	
メアオスゲ	2	11.1							●	
メリケントキンソウ	2	11.1	帰化							
ヤマイトチシダ	2	11.1		●		●	●	●	●	
ヤマコウバシ	2	11.1	一部植栽						●	●
ヤマホタルブクロ	2	11.1	一部移植						●	●
ヤマホトギス	2	11.1		●	●	●	●	●	●	●
外来性タンポポ種群	2	11.1	帰化						●	
アオイスミレ	1	5.6							●	
アオウキクサ	1	5.6				●	●	●	●	
アオカラムシ	1	5.6							●	
アオジソ	1	5.6	逸出							
アオダモ	1	5.6			○	●	●	●	●	
アオハダ	1	5.6							●	
アカザ	1	5.6		●		●	●	●	●	
アカバナ	1	5.6								
アカハナワラビ	1	5.6							●	●
アキグミ	1	5.6							○	●
アキノタムラソウ	1	5.6	移植	●	●	●	●	●	●	
アゼナ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
アメリカアゼナ	1	5.6	帰化						●	●
アヤメ	1	5.6	移植・植栽・逸出		○	○	○	○	○	
イカリソウ	1	5.6	移植	●	●	●	●	○	●	
イトトリゲモ	1	5.6							●	●
イヌアワ	1	5.6							●	
イヌカキネガラシ	1	5.6	帰化	●	●			●		
イヌカミツレ	1	5.6	帰化							
イヌシダ	1	5.6				●	●	●	●	
イヌハギ	1	5.6								●
イワガネソウ	1	5.6				●	○	○	○	●
ウキクサ	1	5.6				●		●	●	
ウバユリ	1	5.6	移植	●	●	●	●	●	●	
ウマノソウ	1	5.6				●	●			
ウメモドキ	1	5.6	一部植栽	○	○	○	○	○	○	
エゴマ	1	5.6	逸出							
エビガライチゴ	1	5.6	移植						●	●
オオアワガエリ	1	5.6	帰化							
オオイチゴツナギ	1	5.6		●	●	●			●	
オオケタデ	1	5.6	帰化	●	●	●	●	●	●	
オオバナイトタヌキモ	1	5.6	帰化						●	●
オオトラノオ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
オトコエシ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
オドリコソウ	1	5.6	移植		●	●	●	●	●	
オモダカ	1	5.6		○	○	○	○	○	○	
オランダキジカクシ	1	5.6	帰化	●	●	○		●	●	
カルセンソウ	1	5.6								●
カタクリ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	●
カッコウアザミ	1	5.6	帰化						●	
カラスムギ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
カリガネソウ	1	5.6	逸出			○			○	
カワヤナギ	1	5.6							●	●
カワラスゲ	1	5.6		●	●				●	
カンスゲ	1	5.6		●		●	○		○	
キケマン	1	5.6	移植		●				●	
キジムシロ	1	5.6	移植	●	●	●	●	●	●	
キツネノボタン	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
キノコニベニシダ	1	5.6							●	
ギンリョウソウ	1	5.6								
クゲヌマラン	1	5.6							●	●
クサスギカズラ	1	5.6							●	
ケイヌビエ	1	5.6			●					
ケイヌホオズキ	1	5.6	帰化	●	●				●	
コウガイゼキショウ	1	5.6								
コガマ	1	5.6						●	●	●
コクサギ	1	5.6	移植	●					●	
コゴメイ	1	5.6	帰化						●	
コゴメバオトギリ	1	5.6	帰化							
コゴメヤナギ	1	5.6								●
コツブキンエノコロ	1	5.6								
コヌカグサ	1	5.6	帰化	●	●	●	●	●	●	

表Ⅲ-1-6 第7次調査における出現頻度の低い植物(出現地点数2以下)(2)

種名 ^{*1}	第7次調査			過去の出現有無 ^{*3}						注目種 ^{*4}
	出現地点数	出現頻度(%)	生育由来 ^{*2}	1次	2次	3次	4次	5次	6次	
コバノヒノキシダ	1	5.6						●	●	
コメツブツメクサ	1	5.6	帰化							
サイカチ	1	5.6	逸出	○	○	○	●	●	●	
サイハイラン	1	5.6				●	●	●	●	
サナエタデ	1	5.6							●	
サンカクイ	1	5.6							●	
シバヤナギ	1	5.6							●	●
ジュウニキランソウ	1	5.6							●	
シロバナタンポポ	1	5.6	移植	○	○	○	●	●	●	
シシズヒキ	1	5.6	移植						●	
セイヨウヒルガオ	1	5.6	帰化	●	●					
ゼニアオイ	1	5.6	植栽・逸出						●	
タチスズメノヒエ	1	5.6	帰化							
タマノカンアオイ	1	5.6	移植		○				●	
チョウジタデ	1	5.6								
ツボミオオバコ	1	5.6	帰化							
ツリバナ	1	5.6		●	●			●	●	●
ツルドクダミ	1	5.6	帰化	○	○			●	●	
トウゴクシダ	1	5.6							●	●
ナガイモ	1	5.6	逸出						●	
ナガエミクリ	1	5.6						●	●	
ナギナタガヤ	1	5.6	帰化						●	
ナンバンカラムシ	1	5.6						●		
ナンバンギセル	1	5.6	移植							
ニオイカントウ	1	5.6	逸出							
ネズミホソムギ	1	5.6	帰化						●	
ノギリヤス	1	5.6		●				●	●	
ノジトラノオ	1	5.6							●	●
ノダケ	1	5.6	移植	●	●	●	●	●	●	
ノニガナ	1	5.6			●			●	●	
ノハラムラサキ	1	5.6	帰化							
ハイコヌカグサ	1	5.6	帰化							
ハイニシキソウ	1	5.6	帰化		●					
ハイメドハギ	1	5.6								
ハグロソウ	1	5.6		●	●	●			●	●
ハダカホオズキ	1	5.6			●	●	●			
ハナカタバミ	1	5.6	帰化	●	●	●		●	●	
ハナミョウガ	1	5.6								
ハリギリ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
ハルガヤ	1	5.6	帰化		●					
ハルシヤギク	1	5.6	逸出		●	○	●	●		
ヒエ	1	5.6	逸出						●	
ヒエガエリ	1	5.6							●	
ヒカゲスゲ	1	5.6				●	●	●	●	
ヒデリコ	1	5.6							●	
ヒメコパンソウ	1	5.6	帰化							
ヒメシダ	1	5.6	移植						●	
ヒメスイバ	1	5.6	帰化	●	●	●	●	●	●	
ヒメヒオウギアヤメ	1	5.6	逸出						●	
ヒメフクロ	1	5.6	逸出							
ヒメヤブラン	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
ビンジガヤツリ	1	5.6								
フタバアオイ	1	5.6	移植			○			●	
ヘビノネゴザ	1	5.6		●					●	
ホウキギク	1	5.6	帰化	●	●	●	●	●	●	
ホシアサガオ	1	5.6	帰化							
ホシダ	1	5.6							●	
ホソバウンラン	1	5.6	帰化							
ホソバシゲシダ	1	5.6			●	●	●	●	●	
ホソバヒカゲスゲ	1	5.6							●	●
ホタルイ	1	5.6							●	
ボタンヅル	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
マキエハギ	1	5.6							●	●
マコモ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	●
マツバゼリ	1	5.6	帰化						●	
マツバラン	1	5.6							●	●
マルバツユクサ	1	5.6								
マルバフジバカマ	1	5.6	帰化						●	●
ミコシガヤ	1	5.6			●					
ミサキカグマ	1	5.6							●	●
ミゾシダ	1	5.6							●	
ミドリバニシダ	1	5.6								
ムシトリナデシコ	1	5.6	帰化	●	●	●	●			
ムスカリ	1	5.6	帰化							
ムラサキエノコロ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
メアゼテンツキ	1	5.6								●
メキシコマンネングサ	1	5.6	帰化	●	●	●	●			
メナモミ	1	5.6		●	●					
メリケンムグラ	1	5.6	帰化							
ヤナギタデ	1	5.6	移植	●	●	●	●			
ヤナギハナガサ	1	5.6	帰化							
ヤブデマリ	1	5.6				●				
ヤブムラサキ	1	5.6					●			
ヤマカモジグサ	1	5.6								
ヤマズメノヒエ	1	5.6	移植						●	●
ヤマハゼ	1	5.6						○		
ヤワラスゲ	1	5.6							●	
ヨメナ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
リンドウ	1	5.6			●					
ルコウソウ	1	5.6	帰化							
ワラビ	1	5.6		●	●	●	●	●	●	
ワレモコウ	1	5.6	移植	●	●	●	●	●	●	

*1 種名：種、亜種、変種、品種、雑種を含む。

*2 第7次生育由来：「移植」は区内の他の自生地からの移植株であること、無印は在来種であることを示す。

*3 過去の確認有無：印のあるものは出現頻度に関係なく、●は野生種、○は植栽種として確認されたことを示す。

*4 注目種：表Ⅲ-1-14の掲載種。印のあるものは、環境省レッドリスト、東京都（区部）レッドリスト、杉並区の注目種のいずれかに該当する。

iii 帰化植物

帰化植物^{*1}は都市の空き地や路傍、あるいは河原などに多く、逆に人為の影響が少なく立地が安定しているところほど少ない。このため帰化植物の生育割合を定量的に表した帰化率は、その立地に加わる人為による攪乱の度合を示す指標となる。帰化率は以下の式により算出される。

$$\text{帰化率} = \text{帰化植物の種類数} / \text{野生植物の総出現種類数} \times 100 (\%)$$

第7次調査で確認された帰化植物を表Ⅲ-1-7に示した。確認された帰化植物は173種類であり、第6次調査より若干多く、増加傾向にある。植栽種を除いた野生植物の出現種類数753種類に対する帰化植物の種類数の割合（帰化率）は23.0%となり、第6次調査で示された最高値を更新した。過去の調査における帰化率および帰化植物の種類数は、第1次18.0%（104種類）、第2次18.4%（118種類）、第3次17.6%（110種類）、第4次18.6%（106種類）、第5次18.7%（110種類）、第6次20.8%（158種類）であった。

アレチウリとオオフサモは外来生物法の特定期外生物に指定されている。アレチウリは第1次調査以降毎回確認されており、オオフサモは第5次以降毎回確認されている。

植栽・逸出を除き第7次調査で初めて帰化植物として記録された植物は、ツルスズメノカタビラ、タチバナモドキ、ツリガネズイセン、ハビコリハコベ、ニワウルシ、イヌコハコベ、ハナヤエムグラ、メリケンキンソウ、オオアワガエリ、ホシアサガオ、ホソバウンラン、メリケンムグラ、ヤナギハナガサ、ルコウソウなどの29種類であった。

表Ⅲ-1-7 第7次調査で確認された帰化植物の凡例

*1 種名：種、亜種、変種、品種、雑種を含む。

*2 環境省における取り扱い

特/緊：外来生物法で指定された特定外来生物。同法による規制の対象となる。生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）に緊急対策外来種として掲載され、「特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において積極的に防除を行う必要がある」とされるもの。

重点：生態系被害防止外来種リストにおいて総合対策外来種（重点対策外来種）として掲載され、「甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い」とされるもの。

他総合：生態系被害防止外来種リストにおいて、その他の総合対策外来種として掲載されるもの。

産業：産業又は公益的に重要で利用されているが代替性のないもの…適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）。

*3 過去の出現有無：印のあるものは出現頻度に関係なく、●は野生種、○は植栽種として確認されたことを示す。

*1 帰化植物：生物が人間の媒介によって、本来の自生地から他の地域に移動し新しい土地で繁殖を続けていくことを「帰化」といい、そのような植物を帰化植物という。この帰化植物には、弥生時代頃のイネの栽培に伴って日本に入ってきたと考えられる植物（史前帰化植物）、その後農業に伴って入ってきたと考えられる植物（旧帰化植物）、江戸時代の末期から現代にかけて入ってきたと考えられる帰化植物（新帰化植物）などがあるが、一般に狭義の帰化植物とされているものは、江戸時代末期から現代にかけての導入経路のはっきりしている新帰化植物であり、本調査で扱う帰化種も新帰化植物とする。近年、外来生物法が制定・施行されたこともあり、「帰化植物」ではなく「外来生物、外来種、移入種」といった用語が使用されることが多くなり、また取り扱う種の範囲もいわゆる帰化植物よりも広範囲である場合があるが、本報告書では、過去の資料との整合性のため「帰化植物」の用語を用いた。

表Ⅲ-1-7 第7次調査で確認された帰化植物

種名 ^{*1}	第7次調査		外来 ^{*2} 生物法	過去の出現有無 ^{*3}					
	出現 地点数	出現 頻度(%)		1 次	2 次	3 次	4 次	5 次	6 次
オオアレチノギク	18	100.0		●	●	●	●	●	●
トウネズミモチ	18	100.0	重点	○	○	○	○	○	○
ハルジオン	18	100.0		●	●	●	●	●	●
オッタチカタバミ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ヒメジョオン	17	94.4	他総合	●	●	●	●	●	●
ムラサキカタバミ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ヨウシュヤマゴボウ	17	94.4		●	●	●	●	●	●
ウラボシチチコグサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
オランダミナダサ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
セイタカアワダチソウ	16	88.9	重点	●	●	●	●	●	●
セイヨウタンポポ	16	88.9	重点	●	●	●	●	●	●
タチイヌフグリ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ナガミヒナゲシ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ヒメムカシヨモギ	16	88.9		●	●	●	●	●	●
ハキダメギク	15	83.3		●	●	●	●	●	●
アメリカフウロ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
イヌムギ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
オニノゲシ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
コニシキソウ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
チチコグサモドキ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
ノハカタカラクサ	14	77.8	重点	○	○	○	○	○	○
ヒメドリコソウ	14	77.8		●	●	●	●	●	●
オオイヌフグリ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
オニマダタビ	13	72.2		○	○	○	○	○	○
シロツメクサ	13	72.2		●	●	●	●	●	●
ハナニラ	13	72.2	他総合	○	○	○	○	○	○
アメリカスミレサイシン	12	66.7		●	●	●	●	●	●
オシロイバナ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
コセンダングサ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
ダントロボギク	12	66.7		●	●	●	●	●	●
ミチタネツケバナ	12	66.7		●	●	●	●	●	●
アメリカセンダングサ	11	61.1	他総合	●	●	●	●	●	●
イモカタバミ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ショカツサイ	11	61.1		●	●	●	●	●	●
ヒメヒオウギズイセン	11	61.1	他総合	●	●	●	●	●	●
ナガエコミカンソウ	10	55.6		●	●	●	●	●	●
アメリカイヌホオズキ	9	50.0		●	●	●	●	●	●
ハリエンジュ	9	50.0	産業	○	○	○	○	○	○
オオスズメノカタビラ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
セリバヒエンソウ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
タマサゴ	8	44.4		○	○	○	○	○	○
ツルズズメノカタビラ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
デリミノイヌホオズキ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
ノボロギク	8	44.4		●	●	●	●	●	●
マメゲンバイナズナ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
メマツヨイグサ	8	44.4		●	●	●	●	●	●
アリケンカルカヤ	8	44.4	他総合	●	●	●	●	●	●
ユウゲショウ	8	44.4		○	○	○	○	○	○
アメリカオニアザミ	7	38.9	他総合	●	●	●	●	●	●
アレチギシギシ	7	38.9		●	●	●	●	●	●
エゾノギシギシ	7	38.9	他総合	●	●	●	●	●	●
ゴウシュウアリタソウ	7	38.9		●	●	●	●	●	●
シマスズメノヒエ	7	38.9	他総合	●	●	●	●	●	●
タチバナモドキ	7	38.9	他総合	○	○	○	○	○	○
トキワサンザシ	7	38.9	他総合	○	○	○	○	○	○
ニワゼキショウ	7	38.9		●	●	●	●	●	●
ネズミムギ	7	38.9	産業	●	●	●	●	●	●
フササバソウ	7	38.9		●	●	●	●	●	●
アリケンガヤツリ	7	38.9	重点	●	●	●	●	●	●
ワルナスビ	7	38.9		●	●	●	●	●	●
アツバキミガヨラン	6	33.3	重点	●	●	●	●	●	●
アメリカカタサブドウ	6	33.3		●	●	●	●	●	●
アレチヌスビトハギ	6	33.3	他総合	●	●	●	●	●	●
キショウブ	6	33.3	重点	●	●	●	●	●	●
キバナコスモス	6	33.3		●	●	●	●	●	●
ツリガネズイセン	6	33.3		●	●	●	●	●	●
ハゼラン	6	33.3		○	○	○	○	○	○
ムラサキツユクサ	6	33.3		○	○	○	○	○	○
アレチノギク	5	27.8		●	●	●	●	●	●
オオアマナ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
キキョウソウ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
コスズメメギヤ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
ジュズダマ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
セイバンモロコシ	5	27.8	他総合	●	●	●	●	●	●
セイヨウアブラナ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
タチチチコグサ	5	27.8		●	●	●	●	●	●
ツルニチニチソウ	5	27.8	重点	●	●	●	●	●	●
ヒメツルソバ	5	27.8	他総合	●	●	●	●	●	●
マルバハコウ	5	27.8	重点	●	●	●	●	●	●
オオカナダマ	4	22.2	重点	●	●	●	●	●	●
オオキバナカタバミ	4	22.2	他総合	●	●	●	●	●	●
オオニシキソウ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
タカサゴユリ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
タマズダレ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
ツタバウンラン	4	22.2		●	●	●	●	●	●
ハビコリハコベ	4	22.2	重点	●	●	●	●	●	●
ヒルザキツキミソウ	4	22.2		○	○	○	○	○	○
ヒレハリスウ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
ブタナ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
ホソバオオアマナ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
ホナガイヌビユ	4	22.2		●	●	●	●	●	●
アイノコセイヨウタンポポ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
アメリカアサガオ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
アレチウリ	3	16.7	特/緊	●	●	●	●	●	●
オオニワゼキショウ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
オオフサモ	3	16.7	特/緊	●	●	●	●	●	●
オオブタクサ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
オニウシノケグサ	3	16.7	産業	●	●	●	●	●	●
オランダガラシ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
カナリークサヨシ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
カモガヤ	3	16.7	産業	●	●	●	●	●	●
ククイモ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
キダチコミカンソウ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
クルマバサクロソウ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
コマツヨイグサ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
トゲミノキツネノボタン	3	16.7		●	●	●	●	●	●
ニワウルシ	3	16.7	重点	○	○	○	○	○	○
ヒロハボウキギク	3	16.7		●	●	●	●	●	●
ホソムギ	3	16.7	産業	●	●	●	●	●	●
マツバウンラン	3	16.7		●	●	●	●	●	●
マルバアサガオ	3	16.7	重点	●	●	●	●	●	●
マルバハッカ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
ムギクサ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
ムラサキツメクサ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
ヨコハママンネングサ	3	16.7		●	●	●	●	●	●
アリタソウ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
イヌコハコベ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
オオクサキビ	2	11.1	他総合	●	●	●	●	●	●
コバソウ	2	11.1		●	●	○	●	●	●
シナダレスズメメギヤ	2	11.1	重点	●	●	●	●	●	●
ジャクチリソバ	2	11.1	他総合	●	●	●	●	●	●
セイヨウカラシナ	2	11.1	他総合	●	●	●	●	●	●
ツルマンネングサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ナガバギシギシ	2	11.1	他総合	●	●	●	●	●	●
ナガハグサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ハナヤエムグラ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ヒメリュウキンカ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ブタクサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ベニカタバミ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ベニバナボロギク	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ヘラオオバコ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
ホソアゲイトウ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
マツヨイグサ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
マルバアメリカアサガオ	2	11.1	重点	●	●	●	●	●	●
アリケントキンソウ	2	11.1		●	●	●	●	●	●
外来性タンポポ種群	2	11.1	重点	●	●	●	●	●	●
アメリカゼナ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
イヌカキネガラシ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
イヌカミツレ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
オオアワガエリ	1	5.6	産業	●	●	●	●	●	●
オオケタデ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
オオバナイトタヌキモ	1	5.6	重点	●	●	●	●	●	●
オランダギジカクシ	1	5.6		●	●	○	●	●	●
カッコウアザミ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ケイヌホオズキ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
コゴメ	1	5.6	重点	●	●	●	●	●	●
コゴメバオトギリ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
コヌカグサ	1	5.6	産業	●	●	●	●	●	●
コメツブツメクサ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
セイヨウヒルガオ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
タチスズメノヒエ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ツボミオオバコ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ツルドクダミ	1	5.6	他総合	○	○	○	○	○	○
ナギナタガヤ	1	5.6	産業	●	●	●	●	●	●
ネズミホソムギ	1	5.6	産業	●	●	●	●	●	●
ノハラムラサキ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ハイコスガサ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ハイニシキソウ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ハナカタバミ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ハルガヤ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ヒメコバソウ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ヒメスイバ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ホウキギク	1	5.6		●	●	●	●	●	●
ホシアサガオ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ホソバウンラン	1	5.6		●	●	●	●	●	●
マツバゼリ	1	5.6		●	●	●	●	●	●
マルバフジバカマ	1	5.6	他総合	●	●	●	●	●	●
ムシトリナデシコ	1	5.6	他総合	●	●	●	●		

iv 植栽種

第7次調査で確認された植栽種を表Ⅲ-1-8に示した。387種類の植栽種が記録され、全記録種の種類数に対する割合は33.9%であった。過去の植栽種の種類数については表Ⅲ-1-4に示したが、その割合をみると、第1次は27.1% (215種類)、第2次は34.5% (338種類)、第3次は36.8% (362種類)、第4次は34.4% (298種類)、第5次は32.5% (282種類)、第6次は29.3% (314種類)であり、第7次調査では第6次比べて増加したものの、長期的には過去の値の範囲内にあった。

第7次調査で確認された植栽種の中には、気候や地理分布の観点から、本来は南関東地方に自生の可能性があるが、調査地においては植栽個体のみが確認された115種類も含まれている。例として、多くの地点でみられたものに、モッコク、ヤマブキ、ガクアジサイ、マサキ、クロマツ、ヤマボウシ等が挙げられる。これらのうちヤマブキ、ヤマボウシなど40種余りについては、過去の調査において野生種として確認されている。

このほか国外外来種110種類、国内外来種51種類、栽培品種111種類が記録された。国外外来種ではイチヨウ、ウメ、サルスベリ、アメリカヤマボウシ、ハナヅノツクバネウツギ、ムクゲ等が、国内外来種ではサワラ、ドウダンツツジ、サザンカ、サツキ、サンゴジュ、ハラン、ヒノキ、カナメモチ等が多くの調査地で確認された。また栽培品種ではオオムラサキ、ソメイヨシノ、アジサイ、ハクチョウゲが多くの調査地でみられ、オカメザサ、モモ・ハナモモ、カイヅカイブキ、クルメツツジ等も比較的良好にみられた。

表Ⅲ-1-8 第7次調査で確認された植栽種(1)

由来 ^{*1}	種名 ^{*2}	第7次調査		過去の出現有無 ^{*3}					
		出現 地点数	出現 頻度(%)	1 次	2 次	3 次	4 次	5 次	6 次
在来	モッコク	17	94.4	○	○	○	○	○	●
	ヤマブキ	14	77.8	●	●	●	●	●	●
	ガクアジサイ	13	72.2	○	○	○	○	○	○
	マサキ	12	66.7	○	○	○	○	○	○
	ヤマモモ	12	66.7	○	○	○	○	○	○
	クロマツ	11	61.1	○	○	○	○	○	○
	トチノキ	10	55.6	○	○	○	○	○	○
	ヤマボウシ	10	55.6	○	○	●	●	●	●
	ウバメガシ	9	50.0	○	○	○	○	○	○
	コムラサキ	9	50.0	○	○	○	○	○	●
	スギ	8	44.4	○	○	○	○	○	○
	セキショウ	8	44.4	●	●	●	●	●	●
	オオシマザクラ	7	38.9	○	○	○	○	○	○
	シモツケ	7	38.9	○	○	○	○	○	○
	オオモミジ	6	33.3	○	○	○	○	○	○
	タブノキ	6	33.3	●	●	●	●	●	●
	ハコネウツギ	5	27.8	○	○	○	○	○	○
	ハンゲショウ	5	27.8	○	○	○	○	○	●
	ミツバツツジ	5	27.8	○	○	○	○	○	○
	サカキ	4	22.2	●	●	●	●	●	●
	マンサク	4	22.2	○	○	○	○	○	○
	メギ	4	22.2	●	●	●	●	●	●
	ヤマツツジ	4	22.2	●	●	●	●	○	○
	オガタマノキ	3	16.7	○	○	○	○	○	○
	キブシ	3	16.7	○	○	○	○	○	●
	シラカンバ	3	16.7	○	○	○	○	○	○
	マルバウツギ	3	16.7	○	○	○	○	○	●
	リョウブ	3	16.7	●	●	●	●	●	●
	イヌエンジュ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	イヌコリヤナギ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	カシワ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	キキョウ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	コウホネ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	ゴヨウマツ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	シキミ	2	11.1	●	●	●	●	○	○
	シロミコムラサキ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	タツナミソウ	2	11.1	●	●	●	●	○	○
	ノハナショウブ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	フクジュソウ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	ホルトノキ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	ミツバウツギ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	ヤブレガサ	2	11.1	●	●	●	●	○	○
	ヤマアジサイ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウマメガキ	2	11.1	○	○	○	○	○	○
	アカガシ	1	5.6	●	●	●	●	○	○
	アカショウマ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	アズマシヤクナゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	アゼガヤツリ	1	5.6	●	●	●	○	○	○
	アゼナルコ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	アブラチャン	1	5.6	●	●	●	○	○	○
	イタヤカエデ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	イストウバナ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	イブキ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ウワバシソウ	1	5.6	●	●	●	●	○	○
	エゾミハギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	エドヒガン	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	エンコウカエデ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オオバグミ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オオヤマザクラ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オオヤマレンゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オキナグサ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オニゼンマイ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	オミナエシ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カキツバタ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カササゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カジノキ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カスミザクラ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カワラナデシコ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	カンガレイ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	キクザキイチゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	キツリフネ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	クロモジ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ケンボナシ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	コハウチワカエデ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	コバナツツナミ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	サクラソウ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	サクラタデ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ジャヤナギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	シロネ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	シロバナアブラギク	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	シロバナマンジュシャゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	タマアジサイ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	チドリノキ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ツクシハギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ツクバネウツギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ツゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	トクサ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	トネリコ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ナツハゼ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ナンテンハギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	リウツギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ハイネズ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ハイビヤクシン	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ハウチワカエデ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ヒトツバ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ヒメウツギ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ヒメカンアオイ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ヒメユズリハ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	ビロードスゲ	1	5.6	○	○	○	○	○	○
	フサザクラ	1	5.6	○	○	○	○	○	○

表Ⅲ-1-8 第7次調査で確認された植栽種(2)

由来 ^{*1}	種名 ^{*2}	第7次調査		過去の出現有無 ^{*3}							
		出現 地点数	出現 頻度(%)	1 次	2 次	3 次	4 次	5 次	6 次		
	ブナ	1	5.6					○	○		
	ホタルカズラ	1	5.6								
	マメザクラ	1	5.6		○	○	○				
	マルバハギ	1	5.6	●	●				●	○	
	ミクリ	1	5.6	○	○	○	○			●	
	ミソソバ	1	5.6	●	●	●	●			●	
	ミソハギ	1	5.6	○	○	○					
	ミツマタ	1	5.6	○	○	○				○	
	ミミガタデンナンショウ	1	5.6								
	メグスリノギ	1	5.6		○	○				○	
	ヤクシソウ	1	5.6	●	●	●	●	●	●	●	
	ヤマウグイスカグラ	1	5.6								
	ヤマカシウ	1	5.6		●	●	●			○	
	レモンエゴマ	1	5.6							●	
	レンゲツツジ	1	5.6		○	○	○	○	○	○	
	国外	イチヨウ	17	94.4	○	○	○	○	○	○	○
		ウメ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	○
サルスベリ		15	83.3		○	○	○	○	○	○	
アメリカヤマボウシ		13	72.2	○	○	○	○	○	○	○	
ハナゾノツクバネウツギ		13	72.2	○	○	○	○	○	○	○	
ボケ		13	72.2	○	○	○	○	○	○	○	
ムクゲ		13	72.2	○	○	○	○	○	○	○	
ヒイラギモクセイ		11	61.1	○	○	○	○	○	○	○	
ヒマラヤスギ		11	61.1	○	○	○	○	○	○	○	
コデマリ		10	55.6	○	○	○	○	○	○	○	
ユリノギ		10	55.6	○	○	○	○	○	○	○	
ハクモクレン		9	50.0		○	○	○	○	○	○	
ビヨウヤナギ		9	50.0	○	○	○	○	○	○	○	
メタセコイア		9	50.0	○	○	○	○	○	○	○	
ロウバイ		9	50.0	○	○	○	○	○	○	○	
コノテガシワ		8	44.4	○	○	○	○	○	○	○	
シナレンギョウ		8	44.4	○	○	○	○	○	○	○	
タイサンボク	8	44.4	○	○	○	○	○	○	○		
キョウチクトウ	7	38.9	○	○	○	○	○	○	○		
シダレヤナギ	7	38.9	○	○	○	○	○	○	○		
ジンチョウゲ	7	38.9	○	○	○	○	○	○	○		
ハナカイドウ	7	38.9									
レッドロビン	7	38.9									
アメリカシャクナゲ	6	33.3									
ゲッケイジュ	6	33.3	○	○	○	○	○	○	○		
サンシユウ	6	33.3	○	○	○	○	○	○	○		
ザクロ	5	27.8	○	○	○	○	○	○	○		
トウジュロ	5	27.8	○								
ハナズオウ	5	27.8	○	○	○	○	○	○	●		
ホソバセイイラギナンテン	5	27.8	○	○	○	○	○	○	○		
モミジバズカケノキ	5	27.8	○	○	○						
カラタネオガタマ	4	22.2					○				
カリン	4	22.2	○	○	○	○	○	○	○		
クリスマスローズ	4	22.2									
ドイツトウヒ	4	22.2	○	○	○	○	○	○	○		
ヒマワリ	4	22.2									
モッコウバラ	4	22.2							○		
アメリカスズカケノキ	3	16.7	○			○					
カシワバアジサイ	3	16.7							○		
キンカン	3	16.7							○		
ギンモクセイ	3	16.7			○				○		
スイセン	3	16.7						○	○		
セイヨウアジサイ	3	16.7							○		
ナンキンハゼ	3	16.7							●		
バイモ	3	16.7							○		
ホオズキ	3	16.7	○	○	○		●	●	●		
ムラサキハシドイ	3	16.7		○	○	○	○	○	○		
モミジアオイ	3	16.7				○	○				
ユズ	3	16.7	○	○	○	○	○	○	○		
レンギョウ	3	16.7	○	○	○	○	○	○	○		
アメリカノウゼンカズラ	2	11.1						○	○		
オリブ	2	11.1				○					
カンヒザクラ	2	11.1					○	○	○		
クロッカス	2	11.1									
コウヨウザン	2	11.1	○	○	○	○	○	○	○		
コスモス	2	11.1							●		
シュウメイギク	2	11.1							○		
スモモ	2	11.1				○		○	○		
セイヨウジュウニヒトエ	2	11.1									
ツシンロウバイ	2	11.1						○	○		
ナギイカダ	2	11.1		○	○			○	○		
ナツメ	2	11.1	○	○	○	○	○	○	○		
ニチニチソウ	2	11.1									
ハアザミ	2	11.1									
ハス	2	11.1							○		
ハナトラノオ	2	11.1			●	●					
ボダイジュ	2	11.1	○	○	○	○	○	○	○		
マグラ	2	11.1	○	○	○	○	●	●	●		
ヤエカキナシ	2	11.1							○		
ヤバネヒイラギモチ	2	11.1							○		
アメリカイワナンテン	1	5.6				○	○	○	○		
イヌリンゴ	1	5.6				○	○	○	○		
ウンリウヤナギ	1	5.6		○	○	○	○	○	○		
エニシダ	1	5.6							○		
オウシュウナラ	1	5.6									
オオバベニガシワ	1	5.6				○	○				
オリヅルラン	1	5.6									
カシグルミ	1	5.6				○	○	○	○		
国内	カラタチ	1	5.6	○	○	○	○	○	○	○	
	ゲシヨウサルビア	1	5.6							●	
	シナサワグルミ	1	5.6						○	○	
	スイセンノウ	1	5.6								
	スノードロップ	1	5.6								
	セイヨウツゲ	1	5.6							○	
	セイヨウリンゴ	1	5.6							○	
	タチラクウショウ	1	5.6							○	
	チョウセンアサガオ	1	5.6		●	●	●				
	トウコマツナギ	1	5.6								
	トゲナシハリエンジュ	1	5.6	○	○	○	○		○		
	トネリコバナカエデ	1	5.6			○	○	○			
	トマト	1	5.6							●	
	ナシ	1	5.6	○	○						
	パショウ	1	5.6							○	
	ハナセンナ	1	5.6							○	
	ハリグワ	1	5.6							○	
ヒゴロモソウ	1	5.6									
ヒロハノレンリソウ	1	5.6						●	●		
フウ	1	5.6						○	○		
フヨウカタバミ	1	5.6									
ブラシノキ	1	5.6			○	○					
ベラベラヨメナ	1	5.6							●		
ホテイアオイ	1	5.6				●		●	○		
マツバギク	1	5.6									
マツバボタン	1	5.6									
マロニエ	1	5.6			○	○	○	○	○		
モミジバフウ	1	5.6					○	○	○		
ヤグルマギク	1	5.6									
ユスラウメ	1	5.6	○	○	○	○	○	○	○		
リキュウバイ	1	5.6									
レイランドヒノキ	1	5.6							○		
栽培	サワラ	16	88.9	○	○	○	○	○	○	○	
	ドウダンツツジ	16	88.9	○	○	○	○	○	○	○	
	サザンカ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	○	
	サツキ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	○	
	サンゴジュ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	●	
	ハラン	15	83.3							○	
	ヒノキ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	○	
	カナメモチ	12	66.7	○	○	○	○	○	○	○	
	クチナシ	11	61.1	○	○	○	○	○	○	●	
	クマザサ	11	61.1	○	○		●			●	
	ヒュウガミズキ	11	61.1	○	○	○	○	○	○	○	
	マデバシイ	11	61.1	○	○	○	○	○	○	○	
	シロヤマブキ	10	55.6	○	○	○	○	○	○	●	
	ソゴ	8	44.4	○	○						
	キャラボク	7	38.9			○	○	○	○	○	
	ハマヒサカキ	7	38.9			○	○	○	○	○	
	コウライシバ	6	33.3			○	○	○	○	○	
フッキソウ	6	33.3	○	○	○	○	○	○	○		
トサミズキ	5	27.8	○	○	○	○	○	○	○		
オオカナメモチ	3	16.7									
コウヤマキ	3	16.7	○	○	○	○	○	○	○		
ソテツ	3	16.7			○	○	○				
トキワマンサク	3	16.7							○		
ナツツバキ	3	16.7			○	○	○	○	○		
アスナロ	2	11.1						○			
イスノキ	2	11.1							○		
イチイ	2	11.1	○	○	○	○	○	○	○		
イブキシモツケ	2	11.1	○	○	○	○	○	○	○		
タニウツギ	2	11.1			○	○	○	○	○		
トウグミ	2	11.1	○	○							
ナギ	2	11.1	○	○			○		○		
ヒメジャラ	2	11.1				○	○	○	○		
モチツツジ	2	11.1									
ヤダケ	2	11.1		●	●	●	●	●	○		
イヌカタヒバ	1	5.6									
イワザンショウ	1	5.6									
イワダレソウ	1	5.6									
キエビネ	1	5.6							○		
シチヨウゲ	1	5.6									
シデコブシ	1	5.6							○		
スイフヨウ	1	5.6							○		
スズラン	1	5.6	○	○	○	○	○	○	○		
タマシダ	1	5.6							●		
ツルコウゾ	1	5.6			●						
トサシモツケ	1	5.6						○	○		
ナラガシワ	1	5.6			○						
ニッケイ	1	5.6			○	○	○		○		
ビッチュウヤマハギ	1	5.6									
ヒトツバタゴ	1	5.6			○	○		○	○		
ヒメシノ	1	5.6						○	○		
ミヤマヨメナ	1	5.6	○	○	○	○	○	○	○		
栽培	オオムラサキ	17	94.4	○	○	○	○	○	○	○	
	ソメイヨシノ	16	88.9	○	○	○	○	○	○	○	
	アジサイ	15	83.3	○	○	○	○	○	○	○	
	ハクチョウゲ	10	55.6	○	○	○	○	○	○	○	
	オカメザサ	9	50								

表Ⅲ-1-8 第7次調査で確認された植栽種(3)

由来 ^{*1}	種名 ^{*2}	第7次調査		過去の出現有無 ^{*3}					
		出現 地点数	出現 頻度(%)	1 次	2 次	3 次	4 次	5 次	6 次
	ベニバナトキワマンサク	6	33.3						○
	イトザクラ	5	27.8		○	○	○	○	○
	セイヨウシャクナゲ	5	27.8			○	○	○	○
	フイリヤブラン	5	27.8					○	○
	マメツゲ	5	27.8						
	モクレン	5	27.8	○	○	○	○	○	○
	オダフクナンテン	4	22.2						
	カワヅザクラ	4	22.2						○
	カンツバキ	4	22.2		○	○	○	○	○
	ギリシマツツジ	4	22.2		○	○	○	○	○
	コダチダリア	4	22.2						
	サトザクラ	4	22.2	○	○	○	○	○	○
	ノムラカエデ	4	22.2						○
	ハゴロモジャスミン	4	22.2						●
	ヒヨクヒバ	4	22.2		○	○	○	○	○
	ミヤギノハギ	4	22.2	○	○	○	○	○	○
	ムラサキクシラン	4	22.2						
	園芸スイレン	4	22.2					○	○
	オトメツバキ	3	16.7		○	○	○	○	○
	キンシバイ	3	16.7		○	○	○	○	○
	シバザクラ	3	16.7						
	ヒバクラム・ヒドコート	3	16.7			○			○
	ヒラドツツジ	3	16.7					○	○
	マダケ	3	16.7	○		○		○	○
	ラクウショウ	3	16.7	○	○	○	○	○	○
	アフリカハマユウ	2	11.1						
	イエギク	2	11.1						○
	ウンシュウミカン	2	11.1	○	○	○	○	○	
	オウゴンモチノキ	2	11.1						
	オオツルボ	2	11.1						●
	オオデマリ	2	11.1	○	○	○			
	カマクラヒバ	2	11.1	○	○	○	○		○
	ギンヨウアカシア	2	11.1						
	コウバイ	2	11.1						○
	サトザクラ(御衣薔)	2	11.1					○	
	サトザクラ(八重曙)	2	11.1					○	○
	サトザクラ(普賢象)	2	11.1				○	○	
	セイヨウイボタ	2	11.1						●
	タマリユウ	2	11.1						
	ニオイツツジ	2	11.1					○	○
	ハナショウブ	2	11.1						
	ヒメウダレソウ	2	11.1						
	フイリマサキ	2	11.1			○			
	ブルーベリー	2	11.1				○	○	○
	マリーゴールド	2	11.1						
	ヤエヤマブキ	2	11.1					○	
	ラッパズイセン	2	11.1						
	ローズマリー	2	11.1						
	アメジストセージ	1	5.6						
	アメリカガシワ	1	5.6						○
	イトススキ	1	5.6						

由来 ^{*1}	種名 ^{*2}	第7次調査		過去の出現有無 ^{*3}					
		出現 地点数	出現 頻度(%)	1 次	2 次	3 次	4 次	5 次	6 次
	ウキツリボク	1	5.6						
	オウゴンシノブヒバ	1	5.6			○	○	○	○
	オオムラサキツユクサ	1	5.6						
	オモイガワ	1	5.6					○	
	カボック	1	5.6						
	キズイセン	1	5.6						
	ギンバイカ	1	5.6						
	キンヒバ	1	5.6			○	○		○
	コクチナシ	1	5.6	○	○	○	○		○
	コマツオトメ	1	5.6					○	
	サトザクラ(一葉)	1	5.6						
	サトザクラ(関山)	1	5.6						○
	サトザクラ(紅華)	1	5.6					○	
	サトザクラ(松月)	1	5.6						○
	サトザクラ(妹背)	1	5.6						○
	サトザクラ(陽光)	1	5.6						○
	サラサウツギ	1	5.6						○
	シダレグワ	1	5.6						○
	ジュウガツザクラ	1	5.6		○	○			○
	ジュンペリ	1	5.6						
	ショウワザクラ	1	5.6						
	シロシギブ	1	5.6						○
	シロタエギク	1	5.6						
	シンダイアケボノ	1	5.6						○
	スモークツリ	1	5.6						
	スルガダイニオイ	1	5.6						
	タギョウショウ	1	5.6		○	○	○	○	○
	タマイブキ	1	5.6		○	○			○
	チョウセンマキ	1	5.6						
	トゲイソウ	1	5.6						
	トレンア	1	5.6						●
	ナリヒラヒイラギナンテン	1	5.6						
	ニオイハシマツリ	1	5.6						
	ハナユ	1	5.6						
	ハヤザキオオシマザクラ	1	5.6						○
	ハヤトウリ	1	5.6						
	ヒメツゲ	1	5.6		○	○	○		
	ヒメツルニチニチソウ	1	5.6						
	ヒョウタン	1	5.6						
	フェイジョア	1	5.6						
	フサフサウツギ	1	5.6						
	ブドウ	1	5.6						
	ベニシダレモミジ	1	5.6						
	ベニスモモ	1	5.6						
	ムラサキゴテン	1	5.6						
	メランボジウム	1	5.6						
	ヤエベニシダレ	1	5.6						○
	ユリオブス デージー	1	5.6						
	ラベンダー	1	5.6						
	ワイヤーブランチ	1	5.6						

*1 生育由来区分

在来：関東地方南部において在来と考えられるが本調査では植栽個体のみを確認したもの。

国外：国外外来種。

国内：国内外来種。

*2 種名：種、亜種、変種、品種、雑種を含む。

*3 過去の出現有無：印のあるものは出現頻度に関係なく、●は野生種、○は植栽種として記録されたことを示す。

v その他特筆すべき植物

その他特筆すべき植物として、ゼンブクジアザミ（新称）が挙げられる。

本種は門田裕一氏（国立科学博物館名誉研究員）により東京女子大学において2016年に発見された。2019年現在までに、東京女子大学とそこから移植されたことが明らかになっている善福寺公園のみで確認されている。本種は、キク科アザミ属ナンブアザミ節キタカミアザミ亜節の新種 *Cirsium verum* Kadota として2020年中に発表される予定である。

② 調査地ごとの出現状況

i 出現種類数

第7次調査地においてこれまでに確認された野生植物の種類数を表Ⅲ-1-9に示した。

第7次調査において出現種類数の多い5カ所を挙げると、多い順に、柏の宮公園（456種類）、善福寺公園下池（353種類）、善福寺公園上池（352種類）、和田堀公園（347種類）、善福寺川緑地（1）（304種類）であった。

一方、出現種類数が少ない順に3カ所挙げると、和田堀公園観察の森（132種類）、大宮八幡（162種類）、蚕糸の森公園（192種類）であった。

表Ⅲ-1-9 第7次調査地の出現種類数^{*1}

調査地点名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
01東京女子大学	243	274	264	301	272	236	280
02善福寺公園上池	206	257	197	200	241	326	352
03善福寺公園下池	186	215	176	180	231	372	353
06観泉寺	168	251	240	228	-	229	204
17浴風園	141	176	175	214	225	269	277
19三井の森公園	183	200	235	259	148	194	256
20善福寺川緑地(1)	165	168	176	225	105	230	304
21善福寺川緑地(2)	122	141	158	164	102	177	240
22和田堀公園	178	170	171	244	91	251	347
23大宮八幡	162	211	204	222	104	154	162
25済美山自然林	218	186	121	198	85	205	197
31和田堀公園観察の森	113	184	147	197	-	-	132
32塚山公園	166	220	129	145	-	219	247
55井草森公園	123	222	-	-	130	192	205
59柏の宮公園	-	-	-	-	216	476	456
60蚕糸の森公園	-	-	-	-	34	124	192
86農芸高校	-	-	-	-	-	261	243
87南荻窪4丁目	-	-	-	-	-	-	289

*1 種類数:野生種の種類数。生育由来が帰化、逸出、移植、一部移植、一部植栽である種類をすべて含む。
野生種と植栽種の区分条件の変更と異名同種の統合により、過去の値と異なる。
種、亜種、変種、品種、雑種を含む。

ii 帰化率

各調査地における帰化植物の種類数と帰化率を表Ⅲ-1-10に示した。

第7次調査において帰化率が高い調査地は、善福寺川緑地(1)（29.9%）、善福寺川緑地(2)（28.3%）、南荻窪4丁目（27.6%）、浴風園（27.1%）、農芸高校（26.3%）であった。これらは草刈りや歩行などの人為的攪乱を強く受ける緑地である。また帰化植物の種類数が最も多いのも善福寺川緑地(1)の91種類であり、次いで和田堀公園（87種類）、南荻窪4丁目（79種類）で多くの帰化植物が確認された。

一方、帰化率が比較的低い調査地は、大宮八幡（13.0%）、三井の森公園（13.3%）、観泉寺（13.7%）であり、これらは落葉樹の二次林や社寺林を中心とした緑地である。

表Ⅲ-1-10 第7次調査地の帰化植物種類数と帰化率

帰化率:単位(%)

調査地点名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
	種類数	帰化率	種類数	帰化率	種類数	帰化率	種類数	帰化率	種類数	帰化率	種類数	帰化率	種類数	帰化率
01東京女子大学	38	15.6	42	15.3	43	16.3	53	17.6	44	16.2	43	18.2	58	20.7
02善福寺公園上池	32	15.5	43	16.7	27	13.7	36	18.0	42	17.4	57	17.5	68	19.3
03善福寺公園下池	34	18.3	38	17.7	34	19.3	34	18.9	46	19.9	55	14.8	60	17.0
06観泉寺	13	7.7	30	12.0	30	12.5	35	15.4	-	-	33	14.4	28	13.7
17浴風園	30	21.3	37	21.0	41	23.4	47	22.0	54	24.0	61	22.7	75	27.1
19三井の森公園	22	12.0	26	13.0	30	12.8	46	17.8	15	10.1	25	12.9	34	13.3
20善福寺川緑地(1)	31	18.8	32	19.0	40	22.7	51	22.7	26	24.8	64	27.8	91	29.9
21善福寺川緑地(2)	31	25.4	31	22.0	34	21.5	44	26.8	26	25.5	51	28.8	68	28.3
22和田堀公園	41	23.0	35	20.6	33	19.3	52	21.3	17	18.7	54	21.5	87	25.1
23大宮八幡	21	13.0	34	16.1	31	15.2	41	18.5	6	5.8	20	13.0	21	13.0
25済美山自然林	24	11.0	29	15.6	20	16.5	32	16.2	6	7.1	25	12.2	32	16.2
31和田堀公園観察の森	33	29.2	62	33.7	45	30.6	47	23.9	-	-	-	-	19	14.4
32塚山公園	27	16.3	31	14.1	20	15.5	22	15.2	-	-	32	14.6	46	18.6
55井草森公園	20	16.3	45	20.3	-	-	-	-	23	17.7	39	20.3	49	23.9
59柏の宮公園	-	-	-	-	-	-	-	-	27	12.5	77	16.2	71	15.6
60蚕糸の森公園	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5.9	19	15.3	47	24.5
86農芸高校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	24.9	64	26.3
87南荻窪4丁目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	27.3

iii 自然植生種率

第7次調査で確認された自生植物（植栽または逸出個体のみ確認された種類を除いたもの）の中から、杉並区の自然植生種としてヤブツバキクラスの標徴種・識別種37種を抽出した（表Ⅲ-1-11）。これらの種類は安定した樹林内により多く出現すると考えられることから、本調査ではこれを自然植生種と呼んでいる。この自然植生種の種類数が各調査地の植栽種を除いた全種類数に占める割合は、帰化率とは逆に立地の自然度（安定度）を指標すると考え、これを自然植生種率として下式によって算出した。

$$\text{自然植生種率} = \text{自然植生種の種類数} / \text{出現種類数} \times 100 (\%)$$

第7次調査対象地の自然植生種率を表Ⅲ-1-12に示した。第7次調査において、全18カ所の自然植生種率の平均は8.7%であり、第6次（8.8%）と同程度であった。

地点別では大宮八幡と和田堀公園観察の森が最も高く（ともに16.7%）、次いで観泉寺（12.7%）、井草森公園（9.8%）の順に高い値を示した。大宮八幡と観泉寺は社寺林を主体とする緑地であり、樹林環境は安定している。和田堀公園観察の森は常緑樹と落葉樹が混生する樹林であり、伐採更新などの管理は行われていないため植生遷移が進行しつつある。井草森公園は植栽地を主体とした緑地であるが、樹木を中心とした植栽地であるため緑地内の利用は限定的であり、耐陰性の高い樹種の生育に適していると考えられる。

一方、済美山自然林（5.6%）、善福寺川緑地（2）（5.8%）、善福寺川緑地（1）（5.9%）などの自然植生種率は低い値を示した。水田の復元や雑木林管理などが行われている柏の宮公園もこれらに次いで低い値を示した（6.6%）。

表Ⅲ-1-11 これまでに確認された自然植生種*

自然植生種						
アオキ	カクレミノ	シラカン	ナガバジャノヒゲ	マンリョウ	ヤブラン	(コヤブラン)
アラカン	カヤ	シロダモ	ネズミモチ	モチノキ	ヤマイタチシダ	(サカキ)
イヌマキ	カンスゲ	スダジイ	ハナミョウガ	ヤツデ	(アカガシ)	(シキミ)
イノモトソウ	キチジョウソウ	ツルグミ	ヒイラギ	ヤブコウジ	(ウラジロガシ)	(ジャガ)
オオバジャノヒゲ	キツタ	テイカカズラ	ヒサカキ	ヤブソテツ	(オオイタチシダ)	(センリョウ)
オニヤブソテツ	サネカズラ	トウゴクシダ	フモトシダ	ヤブツバキ	(キッコウハグマ)	(タブノキ)
オモト	ジャノヒゲ	トベラ	ベニシダ	ヤブニッケイ	(クロキ)	

*1 自然植生種：関東地方南部の潜在自然植生である常緑広葉樹林の主要な構成種であるヤブツバキクラスの標徴種を自然植生種として選定した。カッコで示した種は第6次調査までの過去の調査で確認され、第7次調査では確認されていないか、植栽または逸出としてのみ確認されたもの。

表Ⅲ-1-12 第7次調査地における自然植生種の種類数とその割合*1

調査地点名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
	種類数	割合	種類数	割合	種類数	割合	種類数	割合	種類数	割合	種類数	割合	種類数	割合
01東京女子大学	22	9.1	22	8.0	19	7.2	22	7.3	21	7.7	17	7.2	19	6.8
02善福寺公園上池	17	8.3	21	8.2	16	8.1	14	7.0	20	8.3	25	7.7	27	7.7
03善福寺公園下池	13	7.0	18	8.4	14	8.0	15	8.3	22	9.5	26	7.0	25	7.1
06観泉寺	20	11.9	23	9.2	23	9.6	22	9.6	-	-	25	10.9	26	12.7
17浴風園	9	6.4	11	6.3	17	9.7	15	7.0	23	10.2	22	8.2	20	7.2
19三井の森公園	17	9.3	20	10.0	18	7.7	18	6.9	16	10.8	20	10.3	23	9.0
20善福寺川緑地(1)	7	4.2	6	3.6	15	8.5	15	6.7	3	2.9	17	7.4	18	5.9
21善福寺川緑地(2)	5	4.1	7	5.0	6	3.8	8	4.9	7	6.9	13	7.3	14	5.8
22和田堀公園	13	7.3	12	7.1	13	7.6	17	7.0	10	11.0	19	7.6	28	8.1
23大宮八幡	13	8.0	19	9.0	22	10.8	22	9.9	13	12.5	25	16.2	27	16.7
25済美山自然林	19	8.7	11	5.9	7	5.8	13	6.6	7	8.2	20	9.8	11	5.6
31和田堀公園観察の森	3	2.7	5	2.7	9	6.1	12	6.1	-	-	-	-	22	16.7
32塚山公園	10	6.0	19	8.6	15	11.6	13	9.0	-	-	18	8.2	18	7.3
55井草森公園	8	6.5	16	7.2	-	-	-	-	13	10.0	16	8.3	20	9.8
59柏の宮公園	-	-	-	-	-	-	-	-	18	8.3	30	6.3	30	6.6
60蚕糸の森公園	-	-	-	-	-	-	-	-	8	23.5	15	12.1	17	8.9
86農芸高校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	6.5	17	7.0
87南荻窪4丁目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	7.6

*1 割合：自然植生種率を示す（単位：%）。

iv 各調査地の緑地タイプ

第7次調査対象地について、各調査地の地形条件（台地、斜面、低地）と生育環境となる植生、および出現種の種組成によって環境区分を行い、環境を特徴づける植物種を整理した（表Ⅲ-1-13）。

環境タイプは大きく、「Ⅰ：まとまりのある樹林地を中心とする緑地」と「Ⅱ：植栽地を中心とする緑地」に分けられた。Ⅰはさらに、「Ⅰ-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地」（東京女子大学・観泉寺）、「Ⅰ-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地」（浴風園・三井の森公園・大宮八幡・済美山自然林）、「Ⅰ-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地」（善福寺公園上池・善福寺公園下池・和田堀公園・柏の宮公園）に細分された。なお、第5次調査以降は他の調査との重複を避け、河川（神田川・善福寺川・妙正寺川）を対象とした調査地を設定していない。そのため第4次調査で区分された類型区分「草地を中心とする緑地」は、第5次調査以降は調査対象から除外されている（表Ⅲ-1-13の網掛部分）。

「Ⅰ-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地」に特徴的にみられる植物として、オオバジャノヒゲ、イノデ、キノクニベニシダ、ミゾシダ、イヌガヤ等が抽出された。また「Ⅰ-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地」および「Ⅰ-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地」に特徴的にみられる植物は、イヌザクラ、アマチャヅル、サワフタギ、コゴメウツギ、チゴユリ等の落葉樹林を構成する種類が含まれた。さらに、「Ⅰ-3：低地・斜面・台地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地」には、アカメヤナギ、ツボスミレ、ヨシ、イ、セリ等の湿生植物が特徴的に出現した。これらの「Ⅰ：まとまりのある樹林地を中心とする緑地」の共通種には、主に、サネカズラ、ハエドクソウ、ホウチャクソウ、シロダモなどの、常緑林や管理されない落葉林でよくみられる種類と、アオツツラフジ、クズ、ササガヤ、ヌルデ、ヤブジラミなどの林縁生の種類が含まれた。

「Ⅱ：植栽地を中心とする緑地」では、「Ⅰ：まとまりのある樹林地を中心とする緑地」と共通してシラカシ、ヒサカキなど常緑樹林の構成種、ケヤキ、エノキ、コブシなど雑木林の構成種や、アカメガシワ、ミズヒキ、ヘクソカズラ、ヤブガラシ、カタバミ等の林縁や路傍に多くみられる種類がみられる一方、イヌビユ、チャガヤツリ、ノミノツヅリ等の畑地や空き地を中心に生育する種類や、トキワサンザシ、フウセンカズラなどの逸出が特徴的にみられた。

表Ⅲ-1-13 第7次調査地の緑地タイプを特徴づける植物(特徴的な種および出現頻度が高い種)

区分		調査地点名		各環境に		
				【樹林地・植栽地】	【樹林地】	【常緑樹林(社寺林・屋敷林)】
Ⅰ まとまりのある 樹林地を中心とする緑地	Ⅰ-1 主に台地上に立地し、常緑樹林を有する。	1	東京女子大学	【林内】 アズマネザサ タチツボスミレ ツタ イロハモミジ(一部植栽) ケヤキ(〃) アオキ(〃) ヒサカキ(〃) ヤブラン(〃) アラカシ(〃) シラカシ(〃) スダジイ(〃) マンリョウ(〃) モチノキ(〃) ヤツデ(〃) エノキ(〃) コブシ(〃) ナキリスゲ(〃) ムクノキ(〃) トウネズミモチ(植・帰) ユズリハ(植・逸) シャガ(〃) カキノキ(〃) シュロ(〃) ビワ(〃) ナンテン(〃)等 【林縁、路傍等】 アカメガシワ エノコログサ オニタビラコ オニドコロ カタバミ カラスウリ ツユクサ ヘクソカズラ マスカサ ミズヒキ ヤブガラシ オオアレチノギク(帰) ハルジオン(帰) ヨウシュヤマゴボウ(帰) 等	【林内】 サネカズラ トボシガラ ハエドクソウ ホウチャクソウ チャノキ(一部植栽) シロダモ(〃) ホオノキ(〃) ムラサキシキブ(〃) センリョウ(〃) 等 【林縁、路傍等】 アオツツラフジ クズ ササガヤ ヌルデ ヤブジラミ 等	オオバジャノヒゲ イノデ キノクニベニシダ ミゾシダ イヌガヤ(一部植栽)等
		6	観音寺			
	Ⅰ-2 主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地	17	浴風園			
		19	三井の森公園			
		23	大宮八幡			
		25	済美山自然林			
	Ⅰ-3 低地・斜面・台地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地	2	善福寺公園上池			
		3	善福寺公園下池			
		22	和田堀公園			
		32	塚山公園			
		59	柏の宮公園			
		20	善福寺川緑地1			
Ⅱ 植栽地を中心とする緑地		21	善福寺川緑地2			
		55	井草森公園			
		60	蚕糸の森公園			
		86	農芸高校			
Ⅲ 草地を中心とする緑地	Ⅲ-2 河川沿い、一部鉄道敷で草地がほとんどを占める	34	神田川2			
		35	神田川3			
		36	神田川4			
		37	神田川5			
		38	神田川6			
		39	善福寺川1			
		40	善福寺川2			
		41	善福寺川3			
		42	善福寺川4			
		43	善福寺川5			
		44	妙正寺川			
		45	井の頭線			

* 灰色で塗りつぶした部分は第4次調査報告書のものを引用した。

特徴的に見られる種類				河川沿い鉄道敷で出現 頻度が高い種類
【落葉樹林・ アカマツ林等】	【池・湿地等】	【路傍・空き地等】	【河川】	
イヌザクラ オクマワラビ ギンラン アマチャツル ハナタデ サワフタギ(一部植栽) スズビトハギ(〃) コゴメウツギ(〃) チゴユリ(〃) クサイチゴ(〃) 等	アカメヤナギ タイスビエ ツボスミレ ヨシ シロバナサクラタデ (一部移植) オギ(一部植栽・移植) クサソテツ(〃) イ(一部植栽) セリ(〃) ネコヤナギ(〃) ヒメガマ(〃) フトイ(〃)等	イヌビユ チャガヤツリ ノミノツツリ エゾノギシギシ(帰) オオスズメノカタビラ(帰) ツタバウンラン(帰) マメグンバイナズナ(帰) トキワサンザシ(植・帰) フウセンカズラ(植・逸) 等		
			オオカナダモ(帰) クロモ	
				ジュズダマ(帰) ノボロギク(帰) ハゼラン(帰) ヒルガオ オオアワダチソウ(帰) イヌキクイモ(帰) センダングサ ニラ(逸) スズメノテッポウ アメリカフウロ(帰) ユウゲシヨウ(帰) コアカザ アキノノゲシ

Ⅴ 自然植生種率と帰化率の関係

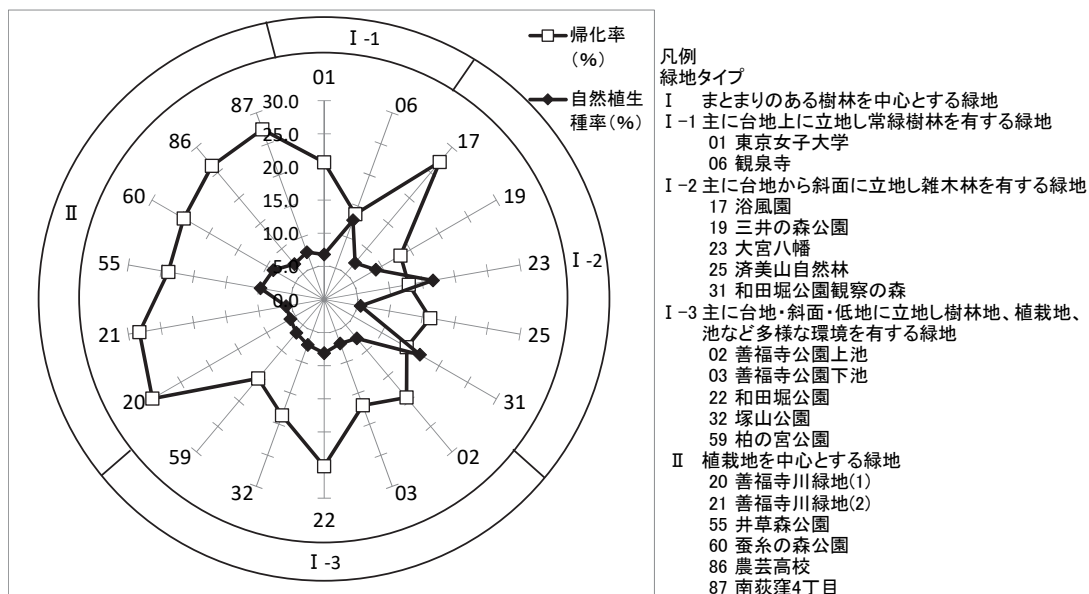
第7次調査地の自然植生種率と帰化率を図Ⅲ-1-2に示した。

調査地全体をみると、自然植生種率が低い調査地では帰化率が高く、反対に自然植生種率が高い調査地では帰化率が低い傾向がみられた。

今回の調査地でみられた自然植生種は本地域に広く分布しうる自然林であるカシ類やスダジイなどの常緑広葉樹林を特徴づける種類である。これらの種類の主な生育地は薄暗く安定した樹林内であるため、明るい空地などを好んで侵入、生育することが多い帰化植物が侵入しにくい立地であるため、帰化率が低い傾向がみられたと考えられる。

緑地タイプを見ると、「Ⅰ-1：主に台地上に立地し常緑樹林を有する緑地」と「Ⅰ-2：主に台地から斜面に立地し雑木林を有する緑地」では自然植生率が比較的高く、帰化率が自然植生種率を下回る調査地（大宮八幡および和田堀公園観察の森）や、自然植生種率と帰化率が同程度の調査地（観泉寺）が含まれた。これらの調査地は比較的古くからある樹林が調査地を占めており、植生遷移が進行していると考えられる。しかし、これらの緑地タイプの中でも東京女子大学、浴風園、済美山自然林では帰化率が自然植生種率を大きく上回っており、これは調査地の中に人の利用が多い空地的な環境が多少とも含まれたり、伐採などの攪乱からの年数が比較的浅いためと考えられる。

一方、「Ⅰ-3：主に台地・斜面・低地に立地し樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地」と「Ⅱ：植栽地を中心とする緑地」の調査地はすべて、自然植生種率よりも帰化率が大幅に高い状況であった。また「Ⅰ-3」と「Ⅱ」を比べると、自然植生種率はいずれも10%未満と低いが、帰化率は「Ⅰ-3」よりも「Ⅱ」の方が大幅に高かった。



図Ⅲ-1-2 第7次調査地別の帰化率と自然植生種率の傾向

vi 主な生育環境からみた各調査地の植物相

第7次調査対象地における出現種を主な生育環境別の種群に分け、出現種類数を図Ⅲ-1-3に示した。各種群の主な生育環境は巻末資料編の植物リストに示した。

柏の宮公園では様々な環境タイプの植物が他の調査地に比べて多く、次いで善福寺公園下池と上池、さらに和田堀公園で比較的多くの種類が確認された。これらの調査地の緑地タイプはすべて「I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地」である。これらの調査地では、緑地内の様々な環境において、それぞれの環境に特徴的な多くの種類の植物が生育し、豊かな植物相が形成されていると考えられる。なお、柏の宮公園と善福寺公園下池では、ボランティア団体による植生管理が行われており、こうして多様な環境が維持されることが多様な植物種の生育に寄与していると考えられる。

また図Ⅲ-1-4には、各調査地において、主な生育環境ごとに分類した種群の野生種全体に対する種類数の割合を示した。これをもとに各調査地の植物相の特色を以下に述べる。

【I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地】

東京女子大学は常緑樹林を有するものの、その規模は小さいうえ芝生地や植栽地、落葉樹林なども存在しており、自然林・暗い樹林の種類の種類数は多くなく、主な生育環境タイプごとの種群の構成は、和田堀公園や塚山公園などの多様な環境を有する緑地に近い。

観泉寺は常緑樹林が中心の緑地であり、自然林・暗い樹林の生育種の種類数割合が高く、帰化植物の種類数割合が低い。これは、同様に常緑樹林を有する大宮八幡とよく似た特徴である。

【I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地】

三井の森公園および済美山自然林は、とくに雑木林・明るい樹林の種類の種類数割合が高い。どちらも雑木林が緑地のほとんどを占めているうえ、定期的な下刈り管理が行われていることで、雑木林に特有の植物相が維持されていると考えられる。

大宮八幡は雑木林と常緑樹林の両方からなる緑地であり、種類数割合では雑木林・明るい樹林や林縁の種類とともに自然林・暗い樹林の種類の種類数割合が高い。帰化率は低く、前述の観泉寺とよく似た特徴を示している。

和田堀公園観察の森も大宮公園と同様に自然林・暗い樹林の種類の種類数割合が大きく、また、林縁の種類の割合がとくに大きい。観察の森はほぼ雑木林のみからなる緑地であるが、下刈りなどの管理は行われていないため林内が暗くなり、自然林・暗い樹林の構成種が増えていると考えられる。

浴風園では他の調査地に比べると草地の種類や帰化植物の種類数割合が大きい。これは、雑木林において定期的な下刈り管理が行われていることに加え、敷地面積が広く、植栽地や路傍などの空地的な環境も比較的広く存在するためと考えられる。

【I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地】

いずれの調査地も、I-2の調査地に比べて草地と水辺の種類の種類数割合が高い。とくに柏の宮公園では草地および水辺の種類の種類数が多く、全調査地の中で最多であった。

柏の宮公園では、造成の際に在来種を含む多くの種類の植物が植栽されたが、外部から土壌が持ち込まれることはなく園内の表土が活用され、埋土種子由来とみられる植物が多数確認されている。公園整備と同時に整備された池や水田といった水辺には、アゼナ、ウキクサ、イトトリゲモ、ヒデリコ等の水田雑草が生育し、第7次調査では新たにヒンジガヤツリ、コゴメヤナギ、チョウジタデが確認された。また柏の宮公園では、人の立ち入りを制限するエリアのほか、雑木林として樹林管理を行うエリアや、草刈り管理された広場が設けられており、明るい雑木林や林縁、草地に生育する種類も多い。

善福寺公園（上池）は柏の宮公園に次いで水辺の植物の種類数およびその割合が大きい。

善福寺公園（下池）では、前回の第6次調査から今回第7次調査までの間に「遅野井親水施設」が開設され、約40種類の植物が植栽されたが、整備によって暗い環境が明るい水路に変化したため、植栽を上回る種類数の植物の生育が確認された。また明るい環境が創出されたにも関わらず、帰化率は比較的低位に保たれている。

和田堀公園はタイプⅠ-3の緑地の中では最も帰化率が高く、反対に樹林の種類の種類数割合が小さい。これは、草地の広場や運動場などの明るい空地的な環境が占める面積が大きい上に、公園利用者数が多く、様々な外来種が侵入しやすいためと考えられる。

塚山公園は、樹林・林縁の種類と草地の種類の種類数割合がともに比較的大きく帰化率が低い、公園面積はやや小規模であるため、それぞれの種類数は他の公園に比べて少ない。

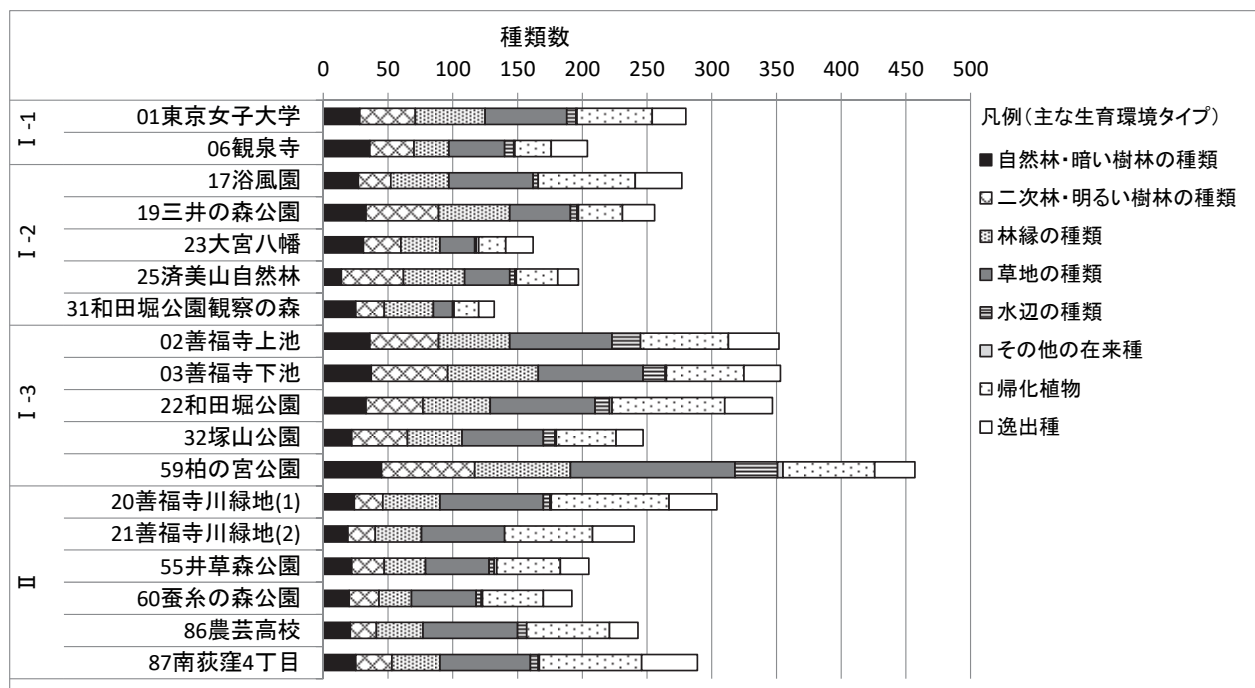
【Ⅱ：植栽地を中心とする緑地】

いずれの調査地も、樹林や林縁の種類の種類数割合に比べ、草地の種類や帰化植物の種類数割合が大きな値を示した。

その中で、井草森公園と蚕糸の森公園については樹林の種類割合が比較的高く、逸出種の多くも樹林の種類であった。

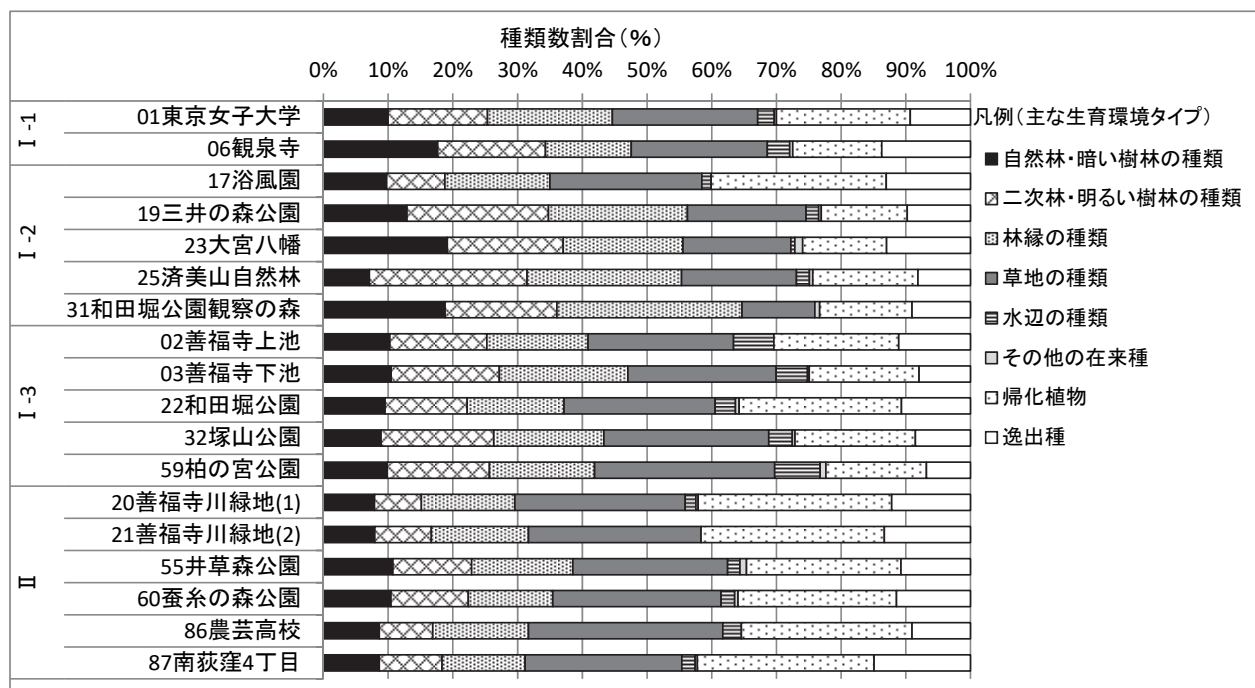
広い耕作地や果樹園をもつ農芸高校では、草地の種類の種類数割合が全調査地の中で最大であった。

善福寺川緑地（1・2）では樹林の種類の種類数割合が特に小さい一方、帰化率が高く、人の利用の影響が大きく反映されていると考えられる。



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。
 I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

図Ⅲ-1-3 各調査地の全野生植物における主な生育環境タイプ別種類数(第7次調査)



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。
 I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

図Ⅲ-1-4 各調査地の全野生植物における主な生育環境タイプ別種類数割合(第7次調査)

2) 既往調査（第1次から第6次）との比較

① 各調査地における出現種類数の推移

第7次調査対象地の出現種類数（植栽種を除いた野生状態にあるもの）の推移を図Ⅲ-1-5に示した。

第6次調査が行われていない和田堀公園観察の森も含め、第1次から調査が継続されている14カ所の調査地について種類数の推移をみると、浴風園、善福寺公園上池、和田堀公園、善福寺川緑地（1・2）で顕著な増加傾向がみられた。また第5次以降に調査が開始された調査地のうち、蚕糸の森公園でも顕著な増加傾向がみられた。このほか東京女子大学、三井の森公園、井草森公園では、第5次以前にピークがあるものの、第6次調査から第7次調査にかけて種類数が増加した。一方、観泉寺、和田堀公園観察の森、善福寺公園下池、柏の森公園などでは前回の調査よりも種類数が若干減少した。

② 帰化植物の出現状況の推移

第7次調査対象地における帰化率の推移を図Ⅲ-1-5に示した。

第1次から調査が継続されている調査地のうち、東京女子大学、浴風園、善福寺公園上池、和田堀公園、塚山公園、善福寺川緑地(1)、井草森公園の7カ所で、帰化率の顕著な増加傾向がみられた。このうち特に、和田堀公園と善福寺川緑地(1)では、前回の調査から30種類前後の帰化植物の増加がみられた。

一方、観泉寺、三井の森公園、大宮八幡、和田堀公園観察の森、善福寺公園下池では、第3次から第5次までのいずれかに帰化率のピークがあり、その後は比較的低い値となっている。

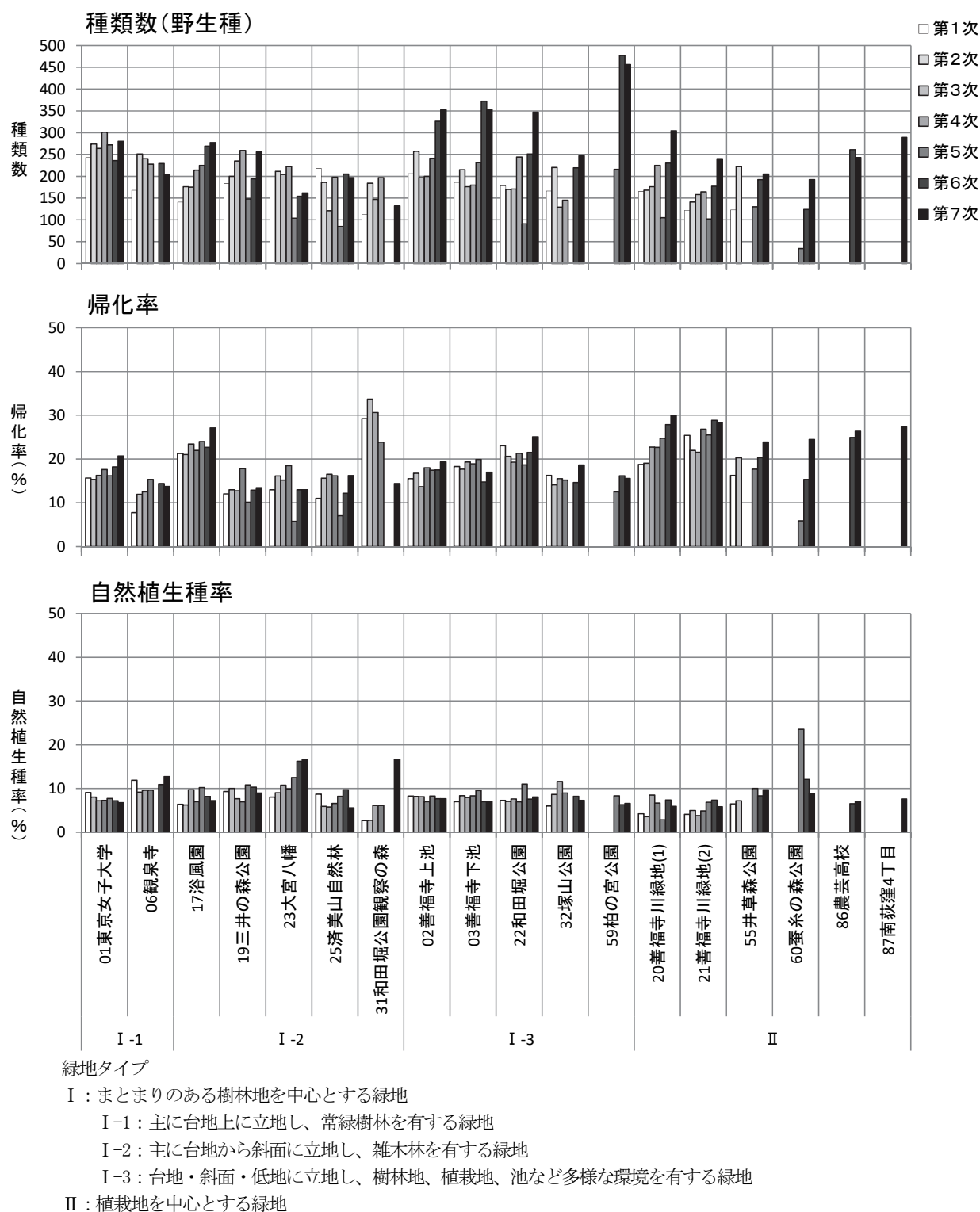
③ 自然植生種率の推移

第7次調査対象地における自然植生種率の推移を図Ⅲ-1-5に示した。

自然植生種率については、大部分の調査地において大きな変化はみられなかった。

しかし大宮八幡と和田堀公園観察の森においては顕著な上昇傾向がみられ、自然植生種の種類数についても、第1次から第7次にかけて増加傾向がみられた。これらの調査地は、敷地の大部分を樹林が占めているうえ、大きな環境変化を伴う樹林管理は行われていないため、樹林内は暗く安定しており、耐陰性の高い常緑樹林の構成種が増加していると考えられる。

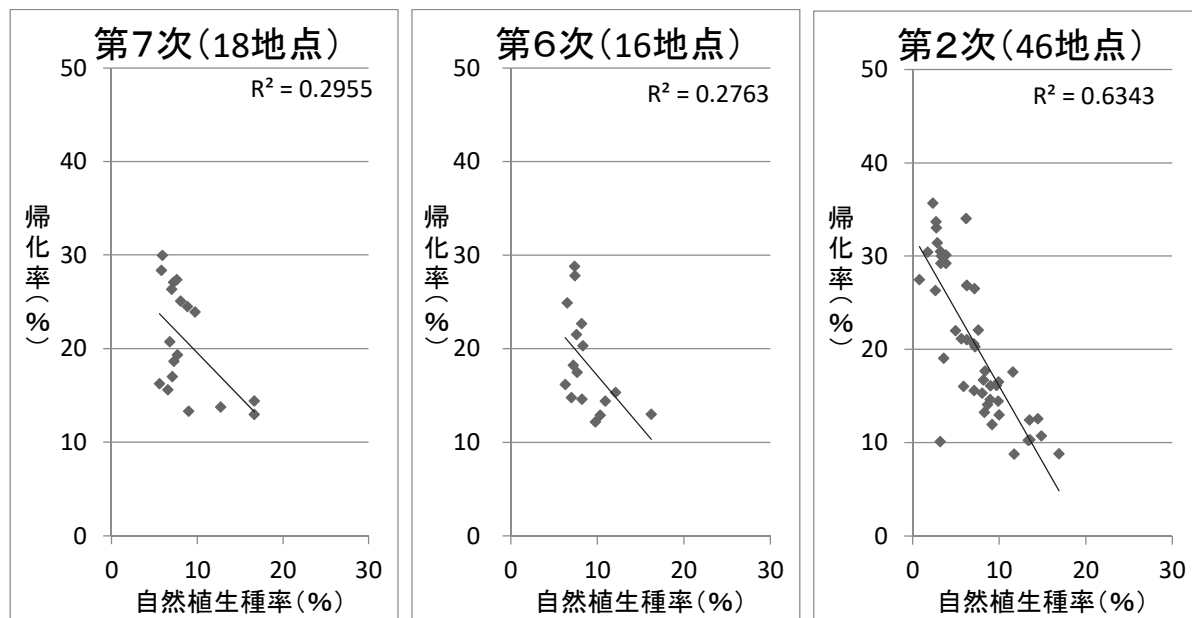
また蚕糸の森公園においては、第5次以降に自然植生種率の低下傾向がみられる。蚕糸の森公園においては、自然植生種の種類数は増加したが、野生種全体の種類数が増加したことにより、相対的に自然植生種率が低下した。



図Ⅲ-1-5 緑地タイプ別にみた各調査地の種類数、帰化率、および自然植生種率の推移

④ 自然植生種率と帰化率の関係の変化

第7次調査および過去の調査（例として第2次）における全調査地の自然植生種率と帰化率を、図Ⅲ-1-6の散布図上に示した。いずれも散布図は右下がりの分布を示し、自然植生種率と帰化率の間には負の相関関係がみられるが、相関の強さは第2次に比べ第6次と第7次で低下している。



注1 グラフ中の各点は各調査地点の自然植生種率と帰化率を示している。

注2 R^2 は直線回帰の決定係数を示し、値が1に近いほど回帰直線がデータの分布によくあてはまることを示す。

注3 第2次調査地点の19 三井グラウンド南側と19' 三井グラウンド西側は1地点にまとめて処理した。

図Ⅲ-1-6 第2次、6次、7次調査における自然植生種率と帰化率との関係

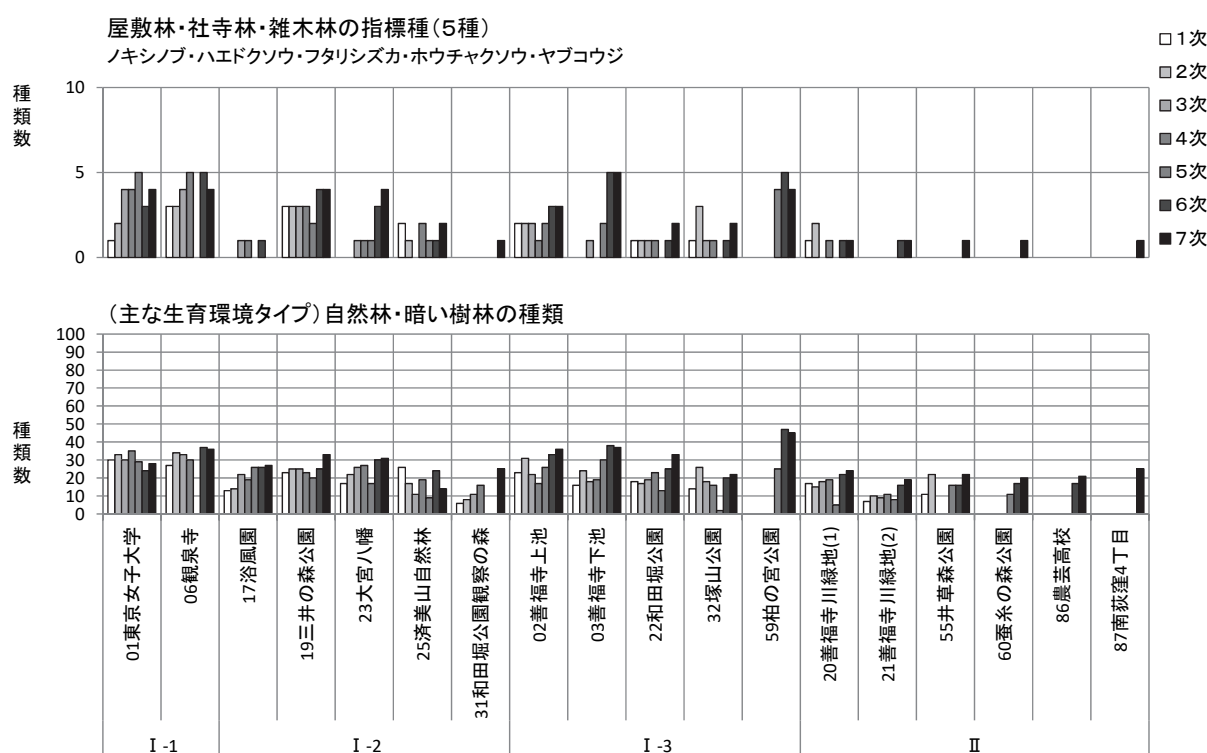
⑤ 指標生物等からみた各調査地の植物相の推移

これまでの調査で確認された在来植物（帰化植物・逸出種・植栽種を除く）から、第7次調査地に出現した杉並区の指標生物^{*1}（指標種）の種類数、および指標種が指標する各環境（自然林、雑木林、林縁、草地、水辺）を主な生育環境とする種群全体の種類数を図Ⅲ-1-7 から図Ⅲ-1-11 に示した。

屋敷林・社寺林・雑木林の指標種^{*2}は、ノキシノブ・ハエドクソウ・フタリシズカ・ホウチャクソウ・ヤブコウジの5種類であり、各調査地に出現した種類数を図Ⅲ-1-7 の上図に示した。前回の第6次調査では観泉寺・善福寺公園下池・柏の宮公園の3カ所で5種類全種が確認されたが、第7次調査では善福寺公園下池でのみ5種類が確認された。そのほか東京女子大学、観泉寺、三井の森公園、大宮八幡および柏の宮公園で4種類の指標種が確認された。

また図Ⅲ-1-7 下図に示すように、主な生育環境タイプが自然林・暗い樹林の種類の種類数は、観泉寺、三井の森公園、大宮八幡、善福寺公園上池・下池、和田堀公園および柏の宮公園で比較的多く30種類以上が確認された。

常緑樹林を有する東京女子大学と観泉寺、および多様な環境を有する柏の宮公園では、これらの植物が継続的に安定して生育している。また雑木林や多様な環境を有する緑地タイプ（I-2 および I-3）のうち三井の森公園、大宮八幡、和田堀公園観察の森、善福寺公園上池・下池、和田堀公園では、これらの植物の種類数に増加傾向がみられた。



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。

I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

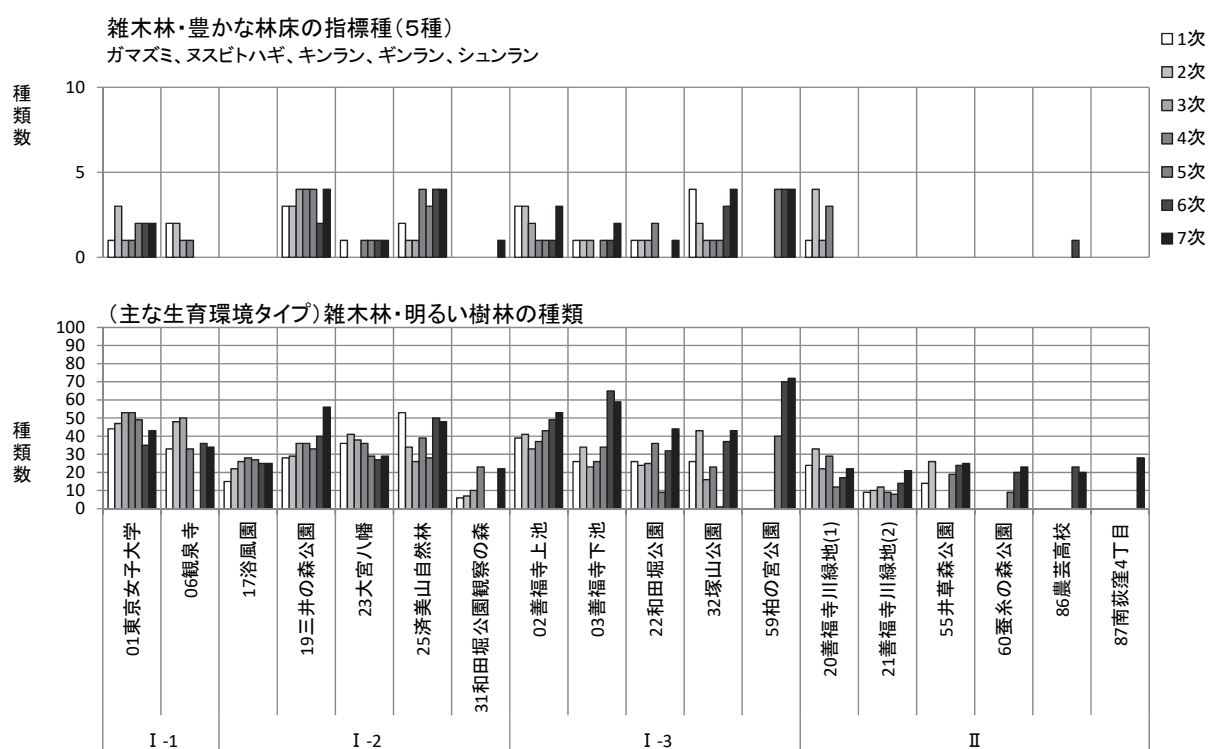
図Ⅲ-1-7 屋敷林・社寺林・雑木林の指標種および主として自然林・暗い樹林に生育する種類の出現状況

*1 杉並区の指標生物：p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1に示す「自然環境の質を指標する生物」を用いた。

*2 屋敷林・社寺林・雑木林の指標種：p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1に示す「自然環境の質を指標する生物」のうち、「屋敷林・社寺林・雑木林の指標植物」および「屋敷林・社寺林の指標植物」を合わせたもの。

雑木林・豊かな林床の指標種^{*1}は、ガマズミ、ヌスビトハギ、キンラン、ギンラン、シュンランの5種類であり、これらのうち何種類が出現したかを各調査地ごとに、図Ⅲ-1-8 の上図に示した。第7次調査では、三井の森公園、済美山自然林、塚山公園および柏の宮公園において最多の4種類が確認された。これらはいずれも定期的な下刈りなどの管理が行われている雑木林を有する調査地である。

また主な生育環境タイプが、雑木林・明るい樹林の種類の種類数を図Ⅲ-1-8 下図に示した。これらの種類の種類数については、柏の宮公園が最多であり、次いで善福寺公園下池、三井の森公園、善福寺公園上池で比較的多く50種類以上が、また済美山自然林でも50種類近くが確認された。これらの種類の種類数は、三井の森公園、善福寺公園上池、和田堀公園、柏の宮公園および蚕糸の森公園において増加傾向がみられた。済美山自然林と善福寺公園下池では、前回第6次に種類数が大きく増加し、その後の第7次調査では若干減少したものの、概ね維持されていた。



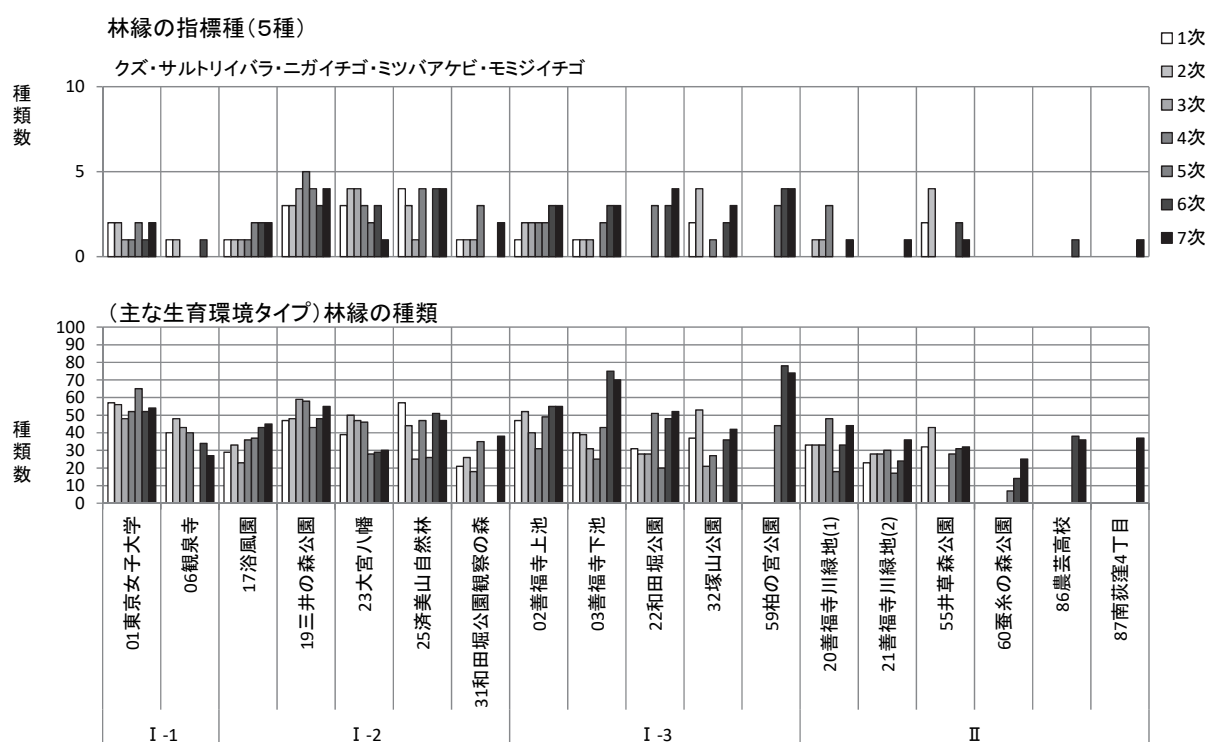
I-1: 主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2: 主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。
I-3: 台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II: 植栽地を中心とする緑地。

図Ⅲ-1-8 雑木林・豊かな林床の指標集および主として雑木林・明るい樹林に生育する種類の出現状況

*1 雑木林・豊かな林床の指標種: p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1に示す「自然環境の質を指標する生物」のうち、「雑木林の指標植物」および「豊かな林床が維持された樹林の指標植物」を合わせたもの。

林縁の指標種^{*1}は、クズ・サルトリイバラ・ニガイチゴ・ミツバアケビ・モミジイチゴの5種類であり、各調査地に出現した、これら指標種の種類数を図Ⅲ-1-9の上図に示した。第7次調査では三井の森公園、済美山自然林、和田堀公園および柏の宮公園において最多の4種類が確認されたが、これまでには第4次に三井の森公園で5種類が確認されている。

主な生育環境タイプが、林縁の種類の種類数を図Ⅲ-1-9下図に示した。これらの種類についても雑木林・明るい樹林の種類と同様に、柏の宮公園で最も多くの種類が確認され、次いで善福寺公園下池、同公園上池、三井の森公園、東京女子大学、和田堀公園で比較的多く50種類以上が確認された。また浴風園、和田堀公園観察の森、塚山公園などの多くの調査地において、少なくとも第5次以降に増加傾向がみられた一方、観泉寺では減少傾向が続いている。



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。

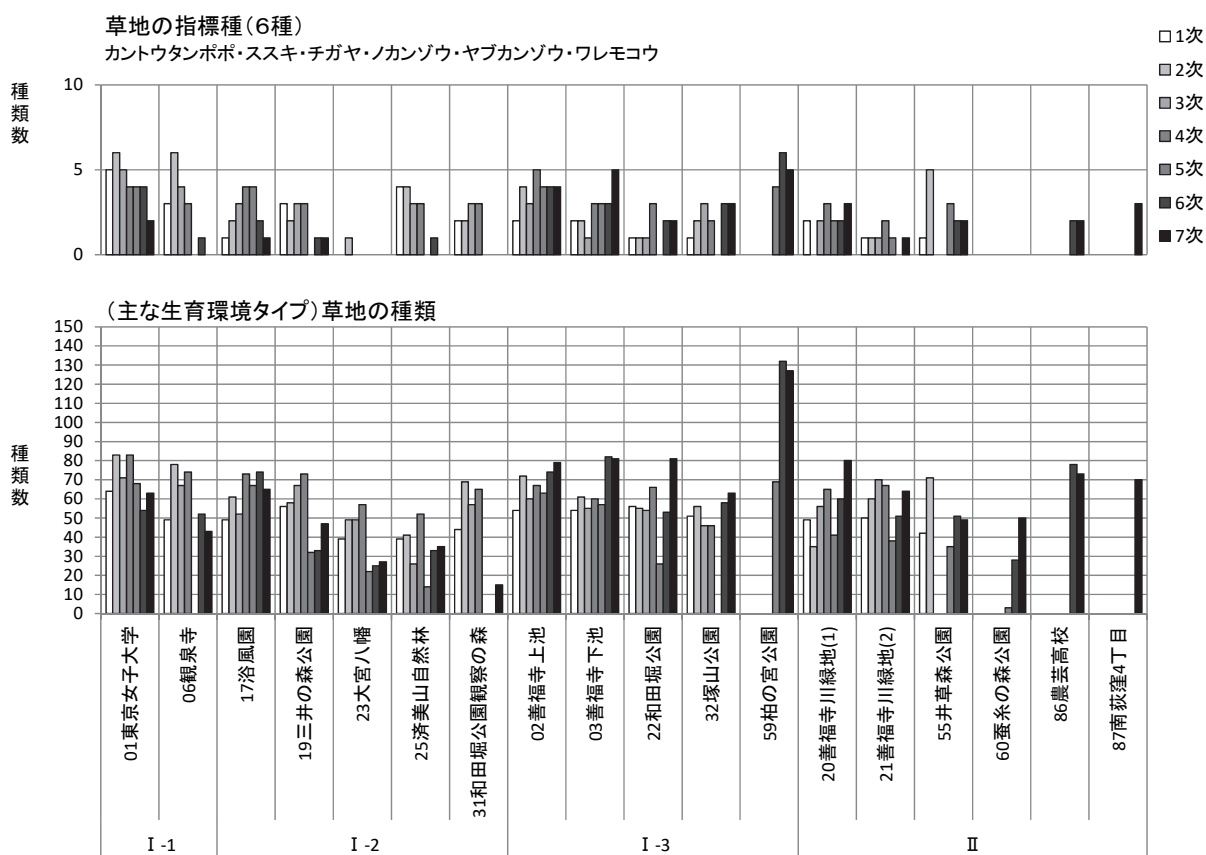
I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

図Ⅲ-1-9 林縁の指標種および主として林縁に生育する種類の出現状況

*1 林縁の指標種：p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1に示す「自然環境の質を指標する生物」の中の「林縁の指標植物」。

草地の指標種^{*1}は、カントウタンポポ・ススキ・チガヤ・ノカンゾウ・ヤブカンゾウ・ワレモコウの6種類であり、各調査地に出現した、これら指標種の種類数を図Ⅲ-1-10 の上図に示した。第7次調査では、善福寺公園下池と柏の宮公園において最多の5種類が確認された。柏の宮公園では、前回第6次調査で確認されたカントウタンポポが第7次にはみられなかった。過去には第2次調査において、東京女子大学と観泉寺で6種類の指標種が確認されている。

主な生育環境タイプが、草地の種類の種類数を図Ⅲ-1-10 の下図に示した。指標種と同様に柏の宮公園で最も多く120種類を超える種類が確認され、善福寺公園上池、善福寺公園下池、和田堀公園、善福寺川緑地(1)においても80種類以上の多くの種類が確認された。草刈りなどの管理が行われている草地や樹林を有する善福寺公園上池・下池および和田堀公園、塚山公園、善福寺川緑地(1)で種類数の増加傾向がみられた一方、安定した樹林を有する観泉寺や和田堀公園観察の森などでは減少傾向がみられた。



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。
I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

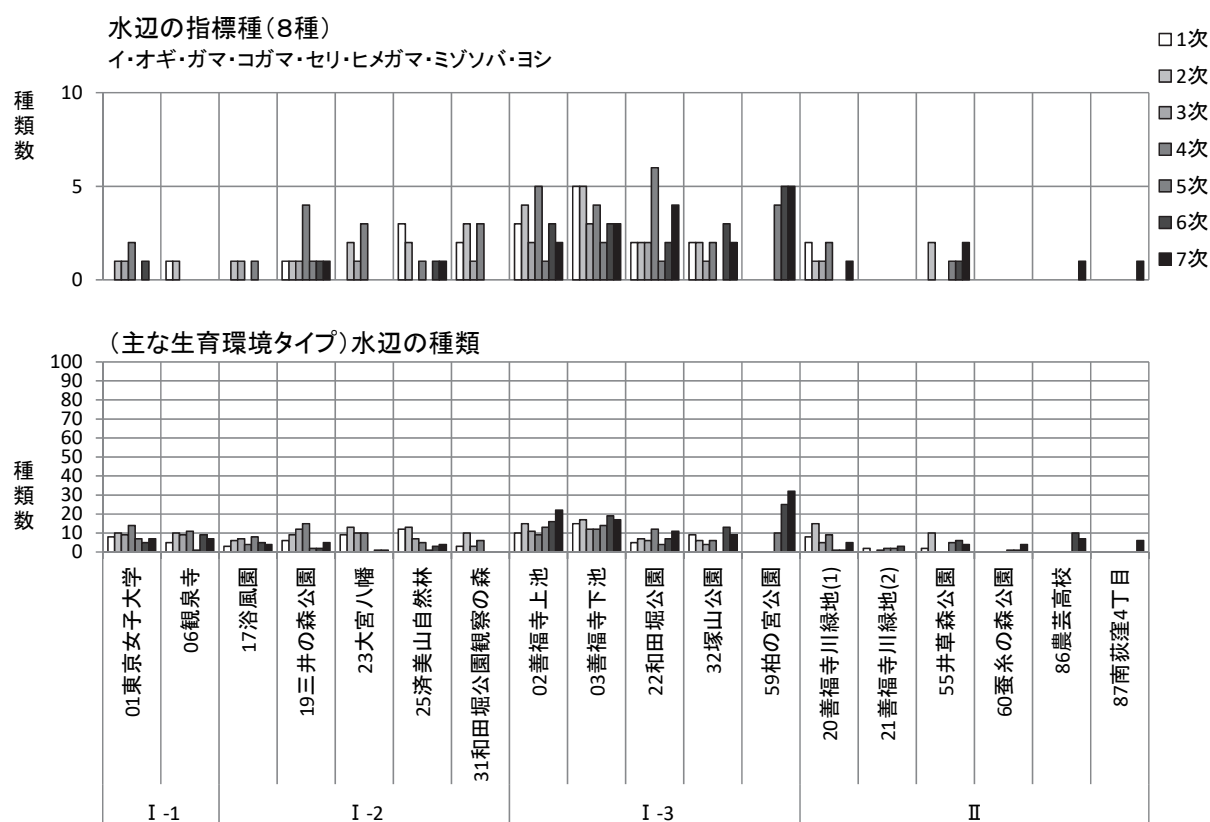
図Ⅲ-1-10 草地の指標種および主に草地に生育する種類の出現状況

*1 草地の指標種：p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1 に示す「自然環境の質を指標する生物」の中の「草地の指標植物」。

水辺の指標種^{*1}は、イ・オギ・ガマ・コガマ・セリ・ヒメガマ・ミゾソバ・ヨシの8種類であり、各調査地に出現した、これら指標種の種類数を図Ⅲ-1-11 の上図に示した。第7次調査では、植栽個体のミゾソバ以外の7種類が確認された。調査地別にみると、柏の宮公園で最多の5種類が確認され、次いで和田堀公園で4種類、善福寺公園下池で3種類が確認された。過去には第4次に和田堀公園で6種類が確認されている。一方、東京女子大学、観泉寺、浴風園、大宮八幡、善福寺川緑地(2)、蚕糸の森公園などの樹林や植栽地が中心の調査地の多くでは、1種類も確認されなかった。

主な生育環境タイプが、水辺の種類の種類数を図Ⅲ-1-11 の下図に示した。指標種と同様に柏の宮公園で最も多く30種類を超えて確認され、次いで善福寺公園上池、下池では20種類前後が確認された。その他の多くの調査地でも数種類が確認された一方、和田堀公園観察の森と善福寺川緑地(2)では、過去には数種類の水辺の種類が確認されたが、第7次調査では1種類も確認されなかった。

水辺環境を有する善福寺公園、和田堀公園、塚山公園、柏の宮公園においては、水辺の種類については指標種も含めて種類数が維持されているが、その他の調査地では減少傾向にある。



I-1：主に台地上に立地し、常緑樹林を有する緑地。 I-2：主に台地から斜面に立地し、雑木林を有する緑地。

I-3：台地・斜面・低地に立地し、樹林地、植栽地、池など多様な環境を有する緑地。 II：植栽地を中心とする緑地。

図Ⅲ-1-11 水辺の指標種および主に水辺に生育する種類の出現状況

*1 水辺の指標種：p. 217「4. 杉並区における指標生物」の表Ⅲ-4-1に示す「自然環境の質を指標する生物」の中の「水生植物の生える水辺の指標植物」。

3) 注目種

これまでの調査で確認された野生種のうち、環境省のレッドリストと東京都のレッドリスト掲載種、および杉並区では分布が限られる種や近年減少している種などを注目種として抽出し、確認状況を表Ⅲ-1-14に示した。各評価基準（注目種の選定理由）の内容は以下のとおりである。なお、これまで杉並区独自の注目種として選定されていたカニクサについては、第1次調査では全50カ所の調査地のうち5カ所（出現頻度10.0%）でのみ確認されていたが、その後、徐々に増加し、第7次調査では全18カ所のうち14カ所（77.8%）と区内で広く確認されるようになったため、注目種から除外した。

環境省レッドリスト

出典：レッドリスト（維管束植物Ⅰ）. 環境省（2019）.

CR：絶滅危惧ⅠA類（絶滅の危機に瀕している種）

EN：絶滅危惧ⅠB類（同上）

VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危機が増大している種）

NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）

東京都レッドリスト（区部におけるランク）

出典：東京都の保護上重要な野生生物種. 東京都（2013）.

EX：絶滅

EW：野生絶滅

CR：絶滅危惧ⅠA類

EN：絶滅危惧ⅠB類

VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

・：非分布（生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの）

－：データ無し（当該地域において生育・生息している（していた）可能性があるが、確実な記録や情報が得られなかったもの）

杉並区独自の注目種（国や都のレッドリスト該当種以外）の選定基準

第4次調査の時に選定された杉並区の注目種

1：元来、区内での分布が限られ数が少ない種（貴重種、希少種）

2：元来、区内の広い範囲に分布していたが、近年減少している種

第1次から第7次調査の間に確認された注目種（植栽種および逸出種を除き、区内の自生地から移植された種を含む。以下同じ）の内訳は、環境省レッドリスト掲載種がキンラン、エビネ等23種類、東京都レッドリスト掲載種がアスカイノデ、ハンノキ、ギンラン等124種類（東京都レッドリストの区部で非分布の種およびデータ無しの種を含む）、杉並区独自の注目種がオオハナワラビ、イチリンソウ、シュンラン等52種類、合計161種類となった。

第7次調査では合計66種類が確認され、第6次の70種類から4種類減少した。

第6次、第7次とも確認された注目種は、マメヅタ、ウマノスズクサ、イトトリゲモ、ギンラン、キンラン等の52種類、第6次に確認され第7次に確認されなかった種類は、ヒロハハナヤスリ、ハンゲショウ、イチリンソウ、トモエソウ、ミゾコウジュ、ツルカノコソウ等の18種類、逆に第6次に確認されず第7次に確認された種類はショウブ、オニノヤガラ、メアゼテンツキ、コゴメヤナギ、ネコヤナギ、カセンソウ、ハリギリ、カタクリ等の14種類であった。またこれまでの調査で、第7次に初めて確認された注目種は、オニノヤガラ、メアゼテンツキ、イヌハギ、コゴメヤナギ、カセンソウの5種類であった。

第7次調査で確認された注目種のうち、第1次または第2次から概ね継続して確認されている種類（6回以上記録された種類）は、オオハナワラビ、タチシノブ、ヒトリシズカ、フタリシズカ、ウマノスズクサ、アマナ、ギンラン、キンラン、ナルコユリ、ヒメガマ、マコモ、イカリソウ、ニリンソウ、ハンノキ等の28種類であった。

第7次調査では、東京都区部において絶滅種または野生絶滅種とされている種（アヤメ、キケマン、マキエハギ、ノジトラノオ、クサレダマの5種類）のほか、同じくデータ無しとされている種（アカハナワラビ、マツバラン、イトトリゲモの3種類）、さらに同じく非分布とされている種（エビガライチゴ、コゴメヤナギ、シバヤナギの3種類）が確認された。

表Ⅲ-1-14 これまでに確認された植物の注目種一覧(1)

No.	科名	種名*1	選定理由*2		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次 生育由来*3
			環境省	東京都 区部 注目種								
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ		-			●					
2	イワヒバ	タチクラマゴケ		CR						●	●	在来
3	ハナヤスリ	オオハナワラビ			2	●	●	●	●	●	●	在来
4		アカハナワラビ		-						●	●	在来
5		ナツノハナワラビ		CR			●					
6		コヒロハハナヤスリ		VU						●	●	在来
7		コハナヤスリ		VU	1	●	●	●	●			
8		ヒロハハナヤスリ		EN					●	●		
9	マツバラン	マツバラン	NT	-						●	●	在来
10	ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ		-		○	●					
11	ウラボシ	コシダ		・			●					
12	コバノイシカゲマ	イワヒメワラビ		DD						●	●	在来
13	イノモトソウ	タチシノブ			1	●	●	●	●	●	●	在来
14		オオバノイノモトソウ			2	●	●	●	●	●	●	在来
15	ヒメシダ	ハシゴシダ		DD						●		
16		ハリガネウラボ		CR						●	●	在来
17	メシダ	カラフトミヤマシダ		・			●					
18	オシダ	クマワラビ			2	●		●		●	●	在来
19		トウゴクシダ		DD						●	●	在来
20		アスカイノデ		VU					●	●	●	在来
21		オニイノデ	VU	・						●		
22	ウラボシ	マメソタ		DD		●	●	●	●	●	●	在来
23	センリョウ	ヒトリシズカ			2	●	●	●	●	●	●	一部移植
24		フタリシズカ			2	●	●	●	●	●	●	一部移植
25	トクダミ	ハンゲショウ		CR		○	○	○	○	●	○	移植
26	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ		VU		●	●	●	●	●	●	一部移植・移植
27		タマノカンアオイ	VU	DD			○			●	●	移植
28	クスノキ	クロモジ			2	●	●	●	●	○	○	移植
29	ショウブ	ショウブ		VU		○	○	○	○	○	○	移植・移植
30	オモダカ	ヘラオモダカ	NT			●	●	●	●			
31		サジオモダカ		EX					●			
32	トチカガミ	イトトリゲモ	NT	-						●	●	在来
33	ヒルムシロ	エビモ		VU					●			
34		ヤナギモ		-	2	●	●					
35	シュロソウ	エンレイソウ			2	●	●	○				
36	イヌサフラン	オオチゴユリ		・			●		●			
37	ユリ	アマナ		VU	2	●	●	●	●	●	●	移植・移植
38		カタクリ		VU	1	●	●	●	●		●	
39		ヤマジノホトギス		VU		○	●					
40		ホトギス		VU		●	●	●	●	●	●	移植・移植
41		ヤマホトギス			2	●	●	●	●	●	●	在来
42	ラン	エビネ	NT	VU	2	●	●	●	●	●	●	一部移植・移植
43		ギンラン		VU	2	●	●	●	●	●	●	在来
44		キンラン	VU	VU	2	●	●	●	●	●	●	在来
45		ササバギンラン		VU					●	●	●	在来
46		クゲスマラン	VU							●	●	在来
47		シュンラン			2	●	●	●	●	●	●	在来
48		マヤラン	VU							●	●	在来
49		オニノヤガラ		VU							●	在来
50	アヤメ	ノハナショウブ		CR			●	○		○	○	移植
51		アヤメ		EX			○	○	○	●	●	移植・移植・逸出
52	ヒガンバナ	ヤマラッキョウ		EX			●					
53		キツネノカミソリ		VU	2	●	●	●	●			
54	キジカクシ	キジカクシ		・		●	●	●				
55		ナルコユリ			2	●	●	●	●	●	●	一部移植
56		ワニグチソウ		VU	2	●	●	●	●			
57		アマトコロ		VU		●	●	●	●	●	●	一部移植・移植
58	ミズアオイ	コナギ			2	●	●					
59	ガマ	ヒメガマ			2	●	●	●	●	●	●	一部移植
60	ミクリ	ミクリ	NT	NT		○	○	○	○	●	○	移植
61		タマミクリ	NT		1			●				
62		ナガエミクリ	NT	NT					●		●	在来
63	イグサ	ホソイ		NT		●				●		
64	カヤツリグサ	マツバスゲ		EX					●			
65		ホソバヒカゲスゲ		VU						●	●	在来
66		ミノボロスゲ		EX				●				
67		クサスゲ		DD					●	●		
68		アオガヤツリ		NT		●	●			●	●	在来
69		シロガヤツリ		VU			●	●				
70		メアゼテンツキ		NT							●	在来
71		マツカサススキ		VU					●			
72	イネ	コメススキ		・			●					
73		ササクサ		NT		●	●	●				
74		ミチシバ		・			●					
75		アズマザサ		-					●			
76		マコモ		NT	2	●	●	●	●	●	●	在来
77	ケシ	キケマン		EX			●		●		●	移植
78		ヤマブキソウ		CR	1		○	●	●	○		
79	メギ	イカリソウ		EN	2	●	●	●	●	○	●	移植
80	キンボウゲ	ニリンソウ		NT	2	●	●	●	●	●	●	一部移植
81		イチリンソウ			2	●	●	●	●	●		
82		イヌショウマ			2	●	●	●	●			
83		サラシナショウマ		・	2	●	●	●	●			
84		カザグルマ	NT	EX					●			
85		ヒメウズ			2	●	●	●		●	●	一部移植
86		ノカラマツ	VU	EX						●		

表Ⅲ-1-14 これまでに確認された植物の注目種一覧(2)

No.	科名	種名 ^{*1}	選定理由 ^{*2}			第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次 生育由来 ^{*3}
			環境省	東京都 区部	杉並区 注目種								
87	ユキノシタ	チダケサシ		EN	2	●	●	●	●	●			
88	タコノアシ	タコノアシ	NT	NT	2	●	●	●					
89	アカバナ	ミズタマソウ			1	●	●	●		●			
90	マメ	クサネム		VU		●	●						
91		カワラケツメイ		EX		●	●						
92		ノアズキ		・	2	●	●	●	●				
93		キハギ		VU		●	●	●	●	●	●	●	一部植栽
94		イヌハギ	VU	VU								●	在来
95		マキエハギ		EX							●	●	在来
96	バラ	エビガライチゴ		・						●	●	●	移植
97	イラクサ	カテンソウ		VU		●	●	●	●				
98		ミズ		EX		●	●	●	●	●			
99	ウリ	ゴキツル		VU					●				
100		ミヤマニガウリ		・							●		
101	カバノキ	ハンノキ		VU		●	●	●	●	●	●	●	一部植栽
102		ツノハシバミ		VU				●					
103	ニシキギ	ツリバナ			2	●	●			●	●	●	在来
104	トウダイグサ	ニシキソウ		NT		●	●	●			●	●	在来
105		ナツトウダイ			1	●	●	●	●				
106	ミカンソウ	ヒトツバハギ			2	●	●	●	●	●			
107	オトギリソウ	トモエソウ		EX				○		○	●		
108	スミレ	シハイヌミレ		・		●	●	●	○				
109		ヒカゲスミレ		DD			●	●	●				
110	ヤナギ	コゴメヤナギ		・								●	在来
111		ジヤヤナギ		NT						●	○	○	植栽
112		ネコヤナギ		VU				●		●	○	●	一部植栽
113		シバヤナギ		・							●	●	在来
114	アブラナ	ハタザオ		EX			●	●					
115	ジンチョウゲ	オニシバリ			2	●							
116	タデ	ヤナギヌカボ	VU	CR					●	●			
117		シロバナサクラタデ		EN							●	●	一部移植
118		サクラタデ		VU			●	●	●			○	植栽
119	ナデシコ	カワラナデシコ		・			●	●	●			○	植栽
120		ナンバンハコベ		・		●	●						
121		フシグロセンノウ		EX			●						
122	ヤマゴボウ	ヤマゴボウ			2	●	●	●					
123	ツリフネソウ	ツリフネソウ		NT						●			
124	サクラソウ	ハシトラノオ	VU	EW							●	●	在来
125		クサレダマ		EX							○	●	移植・植栽
126	アカネ	クルマムグラ		EX									
127	マチン	アイナエ		EX			●			○			
128	キョウチクトウ	コイケマ		・						●			
129	ナス	イガホオズキ		EX					●	●			
130	オオバコ	ミズハコベ		EX						●			
131		サワトウガラシ		EX					●				
132		シソクサ		EX					●				
133		カワヂシャ	NT							●			
134	アゼナ	スズメノトウガラシ		EX				●	●				
135	シソ	ヒキオコシ		EX			●						
136		オドリコソウ			1		●	●	●		●	●	移植
137		ラショウモンカズラ		EW			●						
138		レモンエゴマ		・							●	○	植栽
139		アキノタムラソウ			2	●	●	●	●	●	●	●	移植
140		キバナアキギリ		NT			●	●					
141		ミゾコウジュ	NT	NT							●		
142	キツネノマゴ	ハグロソウ		DD		●	●	●			●	●	在来
143	キキョウ	ツリガネニンジン			2	●	●	●	●	●	●	●	
144		ホタルブクロ			2	●	●	●	●	●	●	●	一部移植・植栽
145	ミツガシワ	ミツガシワ		CR							○	●	移植・植栽
146	キク	ガンクビソウ			2	●	●	●	●		●		
147		モリアザミ		EX				●	○				
148		ノアザミ			2	●	●	●	●		●		
149		ノハラアザミ			2	●	●	●	●				
150		フジバカマ	NT	DD				○		○	○	●	移植・植栽
151		カセンソウ		CR								●	在来
152		オオニガナ		・			●	●					
153		モミジガサ			2	●	●						
154		アキノハハコグサ	EN	EX			●	●		●			
155		タムラソウ		・						●	●		
156		オヤマボクチ			1		●	●	●				
157		オナモミ	VU	EX		●	●	●					
158	スイカズラ	オミナエシ		EX	1	●	●	●				○	植栽
159		ツルカノソウ		EX		●	●	●		●	●		
160	ウコギ	ハリギリ			1	●	●	●	●	●		●	在来
161	ゼリ	ムラサキミツバ			1	●	●	●			●	●	一部移植
環境省RL種類数 ^{*3}			23			4	5	6	3	7	12	11	
東京都RL(区部)種類数 ^{*3}				124		38	54	54	34	43	48	47	
杉並区注目種類数 ^{*3}					52	48	48	46	36	30	27	25	
合計種類数 ^{*3}			23	124	52	68	84	82	55	63	70	66	

*1 種名：種、亜種、変種、品種、雑種を含む。前回まで区の注目種として挙げられていたカニクサは区内に広く見られるようになったため除外した。

*2 選定理由の記号凡例は本文中（p. 52）枠内に記載した。

*3 生育由来：「移植」は区内の他の自生地からの移植または播種による。

*4 種類数：各調査とも在来および区内からの移植を合わせた種類数を示した。選定理由の重複する種があるため、合計種類数は加算値と異なる。

(3) 杉並区における植物の特性

① 概ね一定の緑被率

緑被率は、1963年の36.96%から、その29年後の1992年には18.97%まで約半減し、1997年には17.59%まで減少した。さらにその後、2002年から2012年にかけて微増し、2017年にわずかであるが再び減少に転じたものの、2002年以降は大きな変化はなく概ね一定の状況が続いている。

② 善福寺川周辺（北西部・南東部）と神田川周辺（南西部）に偏在する緑地

杉並区の緑地の拠点となっているのは、池、既存の樹林、水生植物群落、植栽地など多様な環境を有する比較的面積の大きい公園（善福寺公園、和田堀公園、善福寺川緑地、柏の宮公園）である。

善福寺公園のある区の北西部の善福寺池周辺には、このほか東京女子大学構内の雑木林、井草八幡の社寺林などがある。和田堀公園および善福寺川緑地のある区の南東部の善福寺川沿いには、そのほか済美山自然林の雑木林、大宮八幡の社寺林などがある。また区の南西部の神田川周辺には柏の宮公園に加え、残存する雑木林や玉川上水沿いの斜面林などがある。

杉並区の緑地はこれらの場所に偏在しており、その他の場所は概ね市街化され、小規模な樹林等が点在している。

③ 小面積化・孤立化した樹林と少ない林縁環境

杉並区に残存する樹林は、主に②で述べた善福寺川周辺（北西部・南東部）と神田川周辺（南西部）に分布するが、いずれも小面積で孤立している。また、都市域にあるため多くの樹林の外縁部（林縁）は舗装道路となっており、そうでない場合も踏み込みや刈り取りなどの人為的攪乱の程度が高いために、通常は林縁に発達する林縁群落をほとんど伴わない。

④ 河川・鉄道沿いに分布し人為的攪乱を強く受ける草地

杉並区にみられる草地は、公園や施設内の芝生を除けば、河川や鉄道に沿って線状にみられる程度であり総面積は小さい。河川や鉄道に沿った草地は、概ね過去に造成の影響を受けており、また人の踏み込みや刈り取りなどの人為的攪乱を受け続けているために植物の出現種類数は少なく、またこのような環境にいち早く侵入する帰化植物の種類数の割合が高い。

⑤ 都市に生育する種類が主体だが良好な自然環境に生育する種類も残存する植物相

杉並区内に広く分布する植物は、オニタビラコ、ツユクサ、カタバミ、コナスビ、スギナなどのように、都市に多い環境である路傍、路上、空き地、人家の庭などの人里草地に生育する植物である。しかし各所に残された社寺林などの常緑林や雑木林では多くの樹林生の植物が生育しているほか、管理された雑木林に生育するキンラン、ギンランなどや、河川や池などの水辺で湿生林を構成するハンノキ、ヤナギ類、湿生草地を構成するヒメガマ、ヘラオモダカなどのように、比較的良好な自然が残存する環境にみられる植物も、種類数、個体数は少ないながらも生育している。

⑥ 帰化植物の増加

帰化植物の多くは攪乱された立地に素早く侵入するため、帰化率（出現種類数に占める帰化植物の種類数割合）は立地の攪乱度合をある程度指標する。第7次調査における帰化率は23.0%（173種類）と過去最高の値を示した。第1次の18.0%（104種類）、第2次の18.4%（118種類）、第3次の17.6%（110種類）、第4次の18.6%（106種類）、第5次の18.7%（110種類）と比べ高い値を示した第6次の20.8%（158種類）

をさらに更新し、増加傾向が続いている。

⑦ 多種におよぶ植栽種

第7次調査における確認種のうち植栽種は387種類であり、その種類数は確認種全体の34%を占めた。植栽種の多さは、公園などの造成された場所が緑地の主体となっている都市部の一般的特性と考えられる。

⑧ 里山環境復元への取組み活動とその効果

第5次調査の時期以降、柏の宮公園や善福寺公園下池では、雑木林の林床管理や繁殖力の大きな帰化植物の選択的な除去等の管理が行われるようになった。第7次調査時点では、このような雑木林や草地の管理は三井の森公園、済美山自然林、塚山公園、善福寺川緑地などの多くの調査地において広く行われている。在来種の確認種類数が大きく増加したのは第5次から第6次にかけてであり、その後の増加は大きくないものの、自然林や暗い樹林、明るい雑木林や林縁、草地や水辺といった様々な環境に生育する在来種の多くが継続して確認されているのは、こうした植生管理継続の効果が続いているためと考えられる。

2. 動物

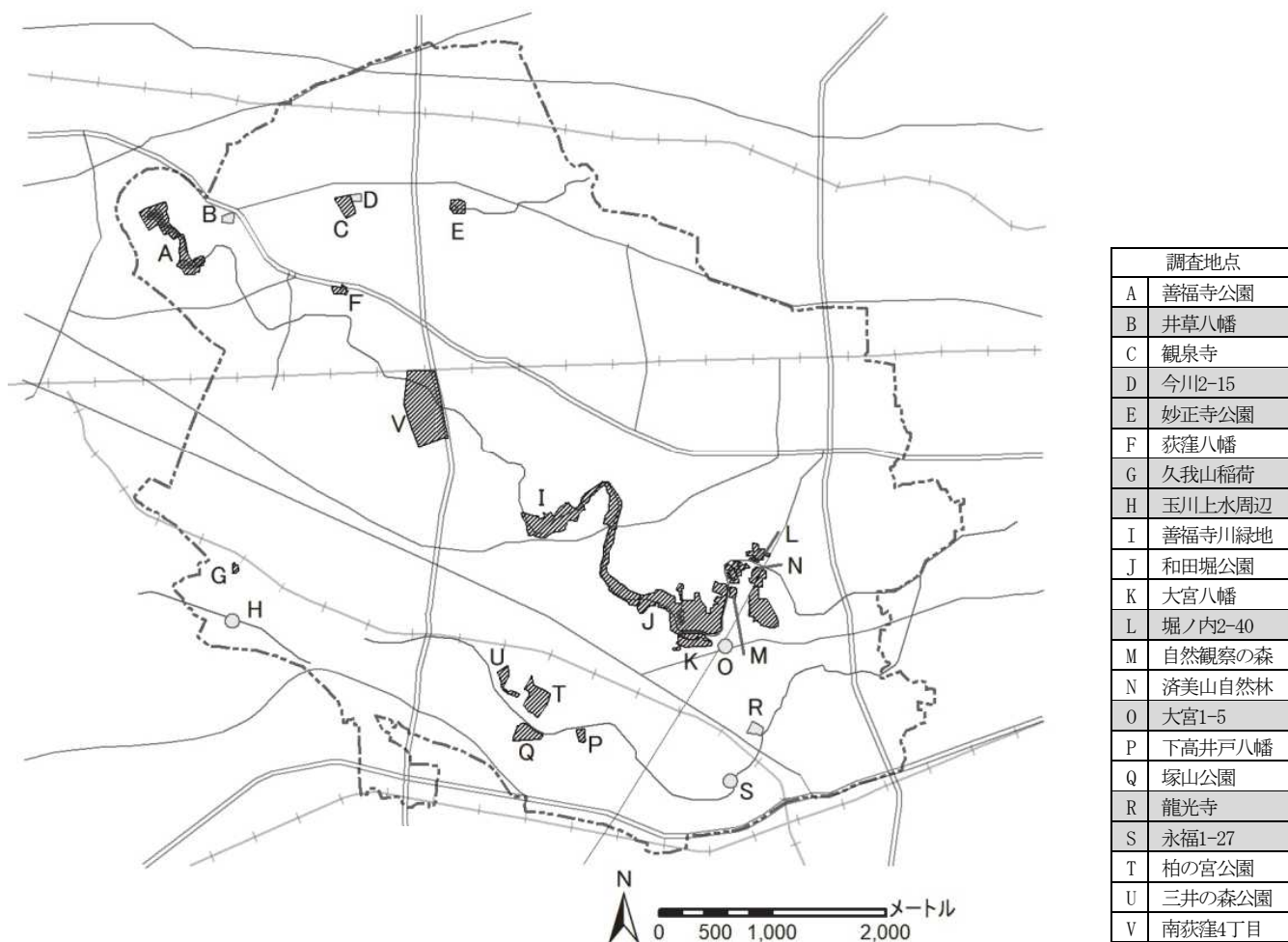
[1] クモ類

(1) 調査内容および方法

第7次調査は、第1次から第6次の調査と同様、クモ類の生息状況を把握し、その特性と現状を明らかにすることを目的として実施した。

第7次調査では、他の分類群と共通の調査地点として柏の宮公園及び三井の森公園の緑地と、市街地として南荻窪4丁目の3地点を追加するとともに、私有地等の4地点を除外し、第6次までの調査地点より1か所少ない13地点を調査対象とした。調査地点の位置は図Ⅲ-2-1に、各地点の環境の概要は表Ⅲ-2-1に示すとおりである。また調査実施時期を表Ⅲ-2-2に示した。

調査方法は、それぞれの地点で生活型の異なる種々のクモを採集するために、見つけ採り法 (hand-collecting)、枝叩き法 (叩き網法 beating)、すくい採り法 (sweeping)、ふるい採り法 (sifting) を用いた。得られた標本はアルコールで固定して持ち帰り、全個体の同定を行った。



*表中の灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。T、U、Vは第7次において新たに調査を実施した地点。

図Ⅲ-2-1 第7次調査地点位置図

表Ⅲ-2-1 第7次調査対象地点の環境概要および管理状況 (1/2)

地点番号	地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	備考
A	善福寺公園	上下の池の遊歩道の外側植込み、雑木林の中、建造物の内側など。	周囲が植込みと雑木林になっている。雑木林(池の北西部)は斜面であるが落ち葉はある。他の場所の落ち葉は少ない。水辺の植物(ヨシなど)は無い。リター層はほとんど無い。	最近落ち葉を林床などに掃き入れている。	-	池を中心にした公園。池のまわりは遊歩道になっており歩行者、ジョギング、犬の散歩などに来る人が多い。
B	井草八幡	参道の両側(社殿の外壁など)の生け垣も調べたが、中心は本殿裏の手つかずの林。	人があまり立ち入らない林なので落ち葉、枯死枝、実生などがある。北側は広い車道。リターが多い。高木が増えて陽光が林床にさしにくい。	本殿裏の林は全く手入れなしの状態が続いていて良い。	-	第6次調査以降調査対象外。
C	観泉寺	墓地、竹林、参道、建物の周囲。	両側の林(ケヤキが多い)は、毎年積もった落ち葉が相当体積している。北西部には墓地の植込みなどがある。	境内は掃き清められている。	-	-
D	今川2-15	家屋北の防風林、竹林。	家の北側にヒノキ中心の林と、竹林と畑がある。ヒノキ中心の林と竹林の林床は毎年の落ち葉が積もったリター層。かなりの年数が経っている林だが、屋敷林のため巨木はない。東側と西側は車道。	林の中は自然のままであり、竹林は手入れの間伐などが行われている。	-	第6次調査以降調査対象外。
E	妙正寺公園	周縁部の植込みと建築物の内側。	水辺の植物はほとんどない。公園の周囲の植込みの幅は狭い。落ち葉は少ない。	-	-	第7次調査では調査対象外。
F	荻窪八幡	本殿裏の普段は人が入らない林と建物の周囲。	中・高木と低木、実生などが混在している。高木が多くなり日光はあまり差し込まない。西側・南側は車道に面する。リターが多い。	本殿裏の調査地点は手入れのほとんどない自然林。	-	-
G	久我山稲荷	境内のまわりの幅の狭い植込みと建物の周囲。	落ち葉も植物も少ない。環境としては貧弱。南、西、北側が道路に囲まれている。	境内はきれいにされている。	-	第7次調査では調査対象外。
H	玉川上水周辺	玉川上水に沿った狭い道のふちの植込み、都営住宅の敷地の一部にある雑木林周辺、玉川上水に沿った細い道路沿い。	素掘りの用水路と法面草地および雑木林からなる。用水路の一部は深いコンクリート護岸である。水量は少ない。空き地には草むらが少量ある。	幅の狭い草地。手入れはされていないとみられる。	雑木林は立ち入りできなくなった。都営住宅周辺の植込みのみ立ち入り可能。	第7次調査では調査対象外。
I	善福寺川緑地	遊歩道外回りの植込み、川岸の植込み、橋の欄干他、及び構造物の周辺。	遊歩道は舗装されたり砂利が敷かれたりしている。樹木はサクラが中心でケヤキもある。植込みはアベリア、ツツジ、ツタなどが多い。落ち葉はあまり無く吹きだまり状になっている。	樹木類は、伸びすぎたものだけカットされる。	-	川を中心に挟み両側に作られた細長い公園。かつては成宗(なりむね)田んぼとして、かなり広い田んぼが続いていたものを、昭和30～40年代にかけて埋め立てて公園にした。
J	和田堀公園	池の周囲、白山神社寄りの植込み、雑木林の中、建造物の内外。	所々にケヤキやメダセコイヤの大木、クスノキ、シラカシ、桜の木などがある。針葉樹は少ない。池の周りには中・低木(アオキ、ヤツデ、ネズミモチ、ツバキ、ツツジ、アベリア、サンゴジュ)が散在する。周囲に植込みがある。	あまり頻繁な手入れはされていない。	-	一部に池があり、水辺の植物も見られる。公園部は川沿いの遊歩道と、反対側にサイクリングコースがあり、内側は自由に歩ける。広場は何ヶ所もあり、親子連れなども多く、端には一周200mのグラウンドがある。
K	大宮八幡	鳥居、石垣、灯籠。	ツツジ類やアオキなどが多い。太い幹の樹木は参道両側に多い。リターが厚く環境は良い。本殿裏は針葉樹が多く下草はない。その他建造物の周囲、参道の植込み、樹林などがある。	正面参道は手入れが行き届いている。	-	善福寺川より裏道にあたるため、犬の散歩や通り道として利用されている。
L	堀ノ内2-40	和田堀公園内を流れる川の下流側、済美山の北側に位置する。	道路以外は下草、落ち葉などが適当にあるので、クモの生息にとってはよい条件である。	手入れは比較的弱度である。	-	第6次調査以降は調査対象外。
M	自然観察の森	林縁部を主に調査。	大きな木が多く、日差しはかなり少ない。通路も両側から草やササ類などに覆われ通れない所や、不明なところもある。常緑樹が多く密生している。落ち葉はそのまま堆積しているので、条件は良い。	ほぼ手入れなし。境界となる金網寄りのみ下刈りされている。	鍵をかけて管理されているため、年間を通し殆ど人が入らない。	フェンスに囲まれ普段は鍵が架けられているので人はほとんど入らず、手つかずの森になっている。
N	済美山自然林	遊歩道を挟んだ両側。	ケヤキ、クスギなど高い木が多く、ドングリもかなり落ちている。昔は背が隠れるほどのササ類があり、クモの巣も多かったが、今はササ類はほとんどなく、見通しがきくようになった。下草は少ない。落ち葉はかなりの量がある。	下刈りなどの植生管理が行われている。	一部で皆伐萌芽更新が行われている。	外周はフェンスで囲まれている。中央に遊歩道(未舗装、落ち葉の自然道)が一本通り、犬の散歩や近道として使われている。
O	大宮1-5	-	-	-	-	竹林だったが全てアパートを建てるため消滅。第4次調査以降は調査対象外。
P	下高井戸八幡	境内は掃き清められているため、建物本殿、神輿倉の周囲などと堀沿いの植込みを調査対象とした。	樹木は少ない。リターも殆どない。本殿神輿倉の林は、針葉樹(ヒノキ)が多く、リターはあまり良くないが量は多い。	日常の清掃程度。	-	この神社の周囲は畑だったが、第5次調査以前に宅地になっている。

* 灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。

表Ⅲ-2-1 第7次調査対象地点の環境概要および管理状況 (2/2)

地点番号	地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	備考
Q	塚山公園	杉並区芝公園の野球場を除いた部分。	ケヤキ、クスギなどの高木がかなりあり低木、落ち葉もある。植え込みは樹種に限られるが連続した緑となっている。	植え込みの植物は常に管理されている。樹木についてはあまり手入れはない。	-	数十年前は雑木林だった場所が公園になった。池は小さい。斜面や小さな崖もある。人の遊べる広場や野球場もある。
R	龍光寺	建物の周囲や塀、まわりの植え込みなど。	林というほどのものはない。高木、中木はあるが低木は少ない。下草も全くない。落ち葉(リター)は殆どない。	境内はきれいに掃き清められている。落ち葉は掃き清めて崖下に積まれている。	-	第7次調査では調査対象外。
S	永福1-27	崖で三方を囲まれた個人宅の竹林を囲む生け垣。	リターはない。	-	-	第6次調査以降は調査対象外。
T	柏の宮公園	植え込み、雑木林の中、池や水田の周囲、建造物の内外。	植栽地が多いが、アカマツ、コナラ、クスギ、イヌシデなどが残された雑木林もあり、低木や落葉は多い。池や水田がある。	区民による生物に配慮した管理が行われている。	-	-
U	三井の森公園	植え込み、雑木林の中、湿地の周囲、建造物の内外。	植栽地が多いが、アカマツ、コナラ、クスギ、イヌシデなどが残された雑木林もあり、低木や落葉は多い。	下刈りされているが、手入れされていない場所もある。	-	-
V	南荻窪4丁目	与謝野公園、道路沿いの植栽地。	植栽地が主であり、落葉は少ない。	定期的に手入れされている。	-	-

* 灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。T、U、Vは第7次において新たに調査を実施した地点。

表Ⅲ-2-2 第7次調査における調査期間

地点	調査地点\年月	2018年度												2019年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A	善福寺公園	●	●	●		●		●	●			●				●			●
B	井草八幡																		
C	観音寺	●			●			●								●			●
D	今川2-15																		
E	妙正寺公園																		
F	荻窪八幡	●			●			●											
G	久我山稲荷																		
H	玉川上水周辺																		
I	善福寺川緑地	●			●														
J	和田堀公園		●			●		●				●							●
K	大宮八幡		●		●			●				●				●			●
L	堀ノ内2-40																		
M	自然観察の森			●				●											
N	済美山自然林			●				●											
O	大宮1-5																		
P	下高井戸八幡		●	●									●						●
Q	塚山公園		●	●			●						●				●		●
R	龍光寺																		
S	永福1-27																		
T	柏の宮公園		●	●			●		●								●		●
U	三井の森公園		●				●		●				●				●		●
V	南荻窪4丁目							●											

* 灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。T: 柏の宮公園、U: 三井の森公園、V: 南荻窪4丁目は第7次において新たに調査を実施した地点。

(2) 調査結果および考察

1) 第7次調査結果

① 科別出現種類数

第7次調査では39科197種類のクモ類が確認された(表Ⅲ-2-3)。科別に見て最も種類数が多かったのは、ヒメグモ科の34種類、次いでハエトリグモ科の29種類であり、コガネグモ科(22種類)、サラグモ科(18種類)、カニグモ科(12種類)、アシナガグモ科(8種類)と続いた。39科のうちこれら6科で123種類に達し、全体の62.3%を占めた。

表Ⅲ-2-3 第7次調査における調査地点別確認種類数

No.	科名	調査地点														総合
		A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V		
1	トタテグモ	1	1	1				1		1		1			1	
2	カネコトタテグモ	1													1	
3	ジグモ	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1		1	
4	ワスレナグモ	1	1									1			1	
5	エンマグモ	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	
6	ユウレイグモ	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1	2	
7	ヤマシログモ		1				1								1	
8	タマゴグモ	2	1	2	2	1	2				1	4	1	1	4	
9	ハグモ	4	2	1	2	2	3		2	1	3	2	3	2	6	
10	チリグモ	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	
11	ウズグモ	3	3	3		3	3	1	2	2	2	3	2		3	
12	ヤチグモ	3	2	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2		3	
13	コタナグモ	1	1						1				1		1	
14	タナグモ	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
15	ハタケグモ												1		1	
16	コモリグモ	5	4			1	1		1		1	3	2	1	6	
17	キシダグモ	2			1	1							1		2	
18	ササグモ	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
19	ヒラタグモ	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	
20	センショウグモ	1					1	1							1	
21	ヒメグモ	22	15	11	7	14	17	10	15	11	13	15	17	2	34	
22	ホラヒメグモ					1									1	
23	サラグモ	10	2	3	1	4	2	2	5	3	6	2	7		18	
24	カラカラグモ	1													1	
25	アシナガグモ	8	3	3	6	3	5	4	4	5	5	5	5	1	8	
26	ジョロウグモ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
27	コガネグモ	13	9	7	4	10	15	5	7	5	7	9	7	1	22	
28	シボグモ	1					1				1		1		1	
29	アワセグモ					1	1								1	
30	アシダカグモ	1	2												2	
31	エビグモ	5	3	4	3	4	4	3	3	4	3	4	4	1	5	
32	カニグモ	11	9	5	4	6	9	4	6	7	6	8	7	3	12	
33	ワシグモ							1			3	1			5	
34	イタチグモ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	
35	ネコグモ	1	1	1		1			1	1	1	1	1		1	
36	ウラシマグモ	4	3	3	4	4	4	5	3	1	2	3	3	3	6	
37	コマチグモ	1							1						1	
38	フクログモ	6		1		1	1	1		1	1	3	2		7	
39	ハエトリグモ	26	12	7	8	14	11	6	7	7	10	15	10	4	29	
計		145	86	62	53	83	93	53	70	60	77	93	88	25	197	

② 調査地点別出現種類数

各調査地点で確認された種類数は以下のとおりである。

都立善福寺公園（34 科 145 種類）、観泉寺（28 科 86 種類）、荻窪八幡神社（23 科 62 種類）、都立善福寺川緑地（21 科 53 種類）、都立和田堀公園（27 科 83 種類）、大宮八幡宮（27 科 93 種類）、自然観察の森（20 科 53 種類）、済美山自然林（24 科 70 種類）、下高井戸八幡神社（23 科 60 種類）、区立塚山公園（26 科 77 種類）、柏の宮公園（27 科 93 種類）、三井の森公園（28 科 88 種類）、南荻窪4丁目（16 科 25 種類）

全 13 調査地点で確認された種類は 9 種類、12 地点で確認された種類は 14 種類、11 地点 8 種類、10 地点 8 種類、9 地点 7 種類、8 地点 11 種類、7 地点 11 種類であり、逆に 1 地点のみで確認された種類は 57 種類、2 地点で確認された種類は 30 種類、3 地点で確認された種類は 8 種類と、確認地点が少ないクモ類の方が多かった。

13 調査地点の半数以上に当たる 7 地点以上で確認された種類は 71 種類であり、これらは広域に分布している種類といえる。以下に確認地点が多い順に出現種を示した。

- 13 地点：コクサグモ、ササグモ、オオヒメグモ、アシナガグモ、ジョロウグモ、ギンメッキゴミグモ、アサヒエビグモ、ウラシマグモ
- 12 地点：イエユウレイグモ、ネコハグモ、チリグモ、シモフリヤチグモ、ヒラタグモ、ヒメグモ、カグヤヒメグモ、ウロコアシナガグモ、キハダエビグモ、ワカバグモ、ヤミイロカニグモ、イタチグモ、アリグモ、チャイロアサヒハエトリ
- 11 地点：ジグモ、ミヤグモ、ウズグモ、クサグモ、シロカネイソウロウグモ、ムナボシヒメグモ、マツモトオチバカニグモ、シラヒゲハエトリ
- 10 地点：シャラクダニグモ、カタハリウズグモ、ヘリジロサラグモ、コシロカネグモ、オニグモ、ヨツデゴミグモ、キンイロエビグモ、アズチグモ
- 9 地点：バラギヒメグモ、シャコグモ、ネコグモ、オトヒメグモ、マダラフクログモ、マミジロハエトリ、デーニッツハエトリ
- 8 地点：メガネヤチグモ、チリイソウロウグモ、ツリガネヒメグモ、キヒメグモ、タテヤマテナガグモ、キハダカニグモ、コムラウラシマグモ、ネコハエトリ、アダンソンハエトリ、ヤサアリグモ、アオオビハエトリ
- 7 地点：ウヅキコモリグモ、オオツリガネヒメグモ、スネグロオチバヒメグモ、ムナグロヒメグモ、ヤサガタアシナガグモ、エゾアシナガグモ、コガタコガネグモ、マルゴミグモ、キレオビウラシマグモ、マツモトハエトリ、ヤガタアリグモ

これらの中で、第 6 次調査において 14 地点すべてで確認されたコクサグモ、オオヒメグモ、ギンメッキゴミグモは、第 7 次調査でも全 13 地点で確認された。ネコハグモ、ヒラタグモ、ヒメグモ、ワカバグモ、アリグモも第 6 次調査で全地点、第 7 次調査では 12 地点で確認された。さらに第 6 次調査において 13 地点で確認されたアシナガグモ、ジョロウグモ、アサヒエビグモ、12 地点で確認されたササグモも、第 7 次調査では全ての地点で確認されたように、確認地点数の多い広域生息種の多くは安定的に確認された。ただし、第 6 次調査において 13 地点で確認されたムナアカフクログモは、第 7 次調査では 2 地点のみで確認され、大きく減少した。

表Ⅲ-2-4 第7次調査における調査地点別確認状況(1)

科名	種名	調査地点													生活型	採餌行動の様式
		A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V		
トタテグモ	キシノウエトタテグモ	●	●	●				●		●		●			地中	定住性
カネコトタテグモ	カネコトタテグモ	●													地中	定住性
ジグモ	ジグモ	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●		地中	定住性
ワスレナグモ	ワスレナグモ	●	●										●		地中	定住性
エンマグモ	ミヤグモ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		樹皮・壁面造網	造網性
ユウレイグモ	イエユウレイグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ユウレイグモ	●	●					●	●			●	●		空間造網	造網性
ヤマシログモ	ユカタヤマシログモ		●				●								壁面徘徊	徘徊性
タマゴグモ	ダニグモ	●		●	●		●					●			樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	シヤラクダニグモ	●	●	●	●	●	●					●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	オキツハネグモ												●		壁面徘徊	徘徊性
	アカハネグモ											●			葉上徘徊	徘徊性
ハグモ	ナシジカレハグモ								●		●				草木根元・地表造網	造網性
	ネコハグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	葉上・壁面造網	造網性
	ヒナハグモ	●			●										葉上・壁面造網	造網性
	カレハグモ	●				●	●						●		樹皮・壁面造網	造網性
	ヤマトカレハグモ	●					●				●	●	●	●	樹皮・壁面造網	造網性
	ムツメカレハグモ		●												樹皮・壁面造網	造網性
チリグモ	チリグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	樹皮・壁面造網	造網性
ウスグモ	マネキグモ	●	●	●		●	●					●			空間造網	造網性
	カタハリウスグモ	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ウスグモ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
ヤチグモ	シモフリヤチグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	樹皮・壁面造網	造網性
	ヒメシモフリヤチグモ	●													樹皮・壁面造網	造網性
	メガネヤチグモ	●	●			●	●	●			●	●	●		樹皮・壁面造網	造網性
コタナグモ	コタナグモ	●	●						●				●		暗渠・地中間造網	造網性
タナグモ	クサグモ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上・葉裏造網	造網性
	コクサグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上・葉裏造網	造網性
ハタケグモ	ハタケグモ												●		草木根元・地表造網	造網性
コモリグモ	スジブトコモリグモ		●												地上・落葉徘徊	徘徊性
	カガリビコモリグモ	●													地上・落葉徘徊	徘徊性
	ハラクロコモリグモ	●										●			地上・落葉徘徊	徘徊性
	イナダハリグモ	●	●												地上・落葉徘徊	徘徊性
	ウツキコモリグモ	●	●						●		●	●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	ハリゲコモリグモ	●	●			●	●					●	●		地上・落葉徘徊	徘徊性
キシダグモ	アオグロハシリグモ	●													暗渠・壁面徘徊	徘徊性
	イオウイロハシリグモ	●			●	●							●		葉上徘徊	徘徊性
ササグモ	クリチャササグモ				●										葉上徘徊	徘徊性
	ササグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
ヒラタグモ	ヒラタグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	樹皮・壁面造網	造網性
センショウグモ	センショウグモ	●					●	●							クモ捕食	徘徊性
ヒメグモ	アシブトヒメグモ						●								葉上・葉裏造網	造網性
	シロカネイソウロウグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	居候・クモ捕食	徘徊性
	チリイソウロウグモ	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	居候・クモ捕食	徘徊性
	シモフリミジグモ		●					●					●		アリ捕食	徘徊性
	カレハヒメグモ	●		●			●						●		樹皮・壁面造網	造網性
	ムラクモヒシガタグモ	●					●		●						空間造網	造網性
	フタオイソウロウグモ					●	●						●		居候・クモ捕食	徘徊性
	ヒメグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ハイロヒメグモ	●	●									●	●	●	草木根元・地表造網	造網性
	ツリガネヒメグモ	●	●	●		●			●		●	●	●	●	崖地空間	造網性
	キヒメグモ	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上・葉裏造網	造網性
	カグヤヒメグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	コンビラヒメグモ	●													葉上・葉裏造網	造網性
	キヨヒメグモ	●					●		●		●	●	●		空間造網	造網性
	リュウキュウヒメグモ										●				空間造網	造網性
	ハモンヒメグモ								●						空間造網	造網性
	オオツリガネヒメグモ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	崖地空間	造網性
	オオヒメグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ハラダカツクネグモ							●							葉上・葉裏造網	造網性
	カニミジグモ	●					●	●		●		●	●		アリ捕食	徘徊性
	サトヒメグモ	●	●	●			●		●	●					壁面造網・クモ捕食	徘徊性
	ムナボシヒメグモ	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	クモ捕食	徘徊性
	ヤリグモ											●			居候・クモ捕食	徘徊性
	クロマルイソウロウグモ		●												居候・クモ捕食	徘徊性
	ハンゲツオスナキグモ	●										●			草木根元・地表造網	造網性

A：善福寺公園、C：観音寺、F：荻窪八幡神社、I：善福寺川緑地、J：都立和田堀公園、K：大宮八幡宮、M：自然観察の森、N：済美山公園、P：下高井戸八幡神社、Q：塚山公園、T：柏の宮公園、U：三井の森公園、V：南荻窪4丁目

表Ⅲ-2-4 第7次調査における調査地点別確認状況(2)

科名	種名	調査地点													生活型	採餌行動の様式
		A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V		
	シロホシヒメグモ									●					暗渠・壁面造網	造網性
	マダラヒメグモ	●	●	●			●				●				暗渠・壁面造網	造網性
	スネグロオチバヒメグモ		●	●		●	●		●			●	●		草木根元・地表造網	造網性
	バラギヒメグモ	●	●		●	●			●	●			●		葉上・葉裏造網	造網性
	サダモトヒメグモ	●													葉上・葉裏造網	造網性
	ムナグロヒメグモ	●			●	●			●	●	●		●		空間造網	造網性
	ボカシミジグモ	●										●			アリ捕食	徘徊性
	コアカクロミジグモ										●				アリ捕食	徘徊性
	シモフリヒメグモ					●									草木根元・地表造網	造網性
	コホラヒメグモ					●									草木根元・地表造網	造網性
サラグモ	ニホンウスイロサラグモ					●									草木根元・地表造網	造網性
	ハラジロムナキグモ	●			●	●					●				草木根元・地表造網	造網性
	デーニッツサラグモ												●		草木根元・地表造網	造網性
	コーデニッツサラグモ								●				●		草木根元・地表造網	造網性
	ノコギリヒザグモ										●				草木根元・地表造網	造網性
	クロケシグモ	●													草木根元・地表造網	造網性
	タテヤマテナガグモ	●					●	●	●	●	●	●	●		草木根元・地表造網	造網性
	チビアカサラグモ	●									●				草木根元・地表造網	造網性
	ヘリジロサラグモ	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●		空間造網	造網性
	ナナメケシグモ	●	●	●		●			●				●		草木根元・地表造網	造網性
	ゴカクケシグモ									●					草木根元・地表造網	造網性
	イマダテテングヌカグモ												●		草木根元・地表造網	造網性
	テングヌカグモ								●		●				草木根元・地表造網	造網性
	オオイオリヒメサラグモ		●										●		草木根元・地表造網	造網性
	スガナミヤマジコナグモ	●		●											草木根元・地表造網	造網性
	ヤマトトウジヌカグモ	●													草木根元・地表造網	造網性
	コトガリアカムネグモ	●													草木根元・地表造網	造網性
	トウキョウアカカムネグモ	●													草木根元・地表造網	造網性
カラカラグモ	カラカラグモ	●													空間造網	造網性
アシナガグモ	コシロカネグモ	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●		空間造網	造網性
	キラシロカネグモ	●			●					●	●	●	●		空間造網	造網性
	メガネドヨウグモ	●													空間造網	造網性
	ヨツボシヒメアシナガグモ	●													草木根元・地表造網	造網性
	ヤサガタアシナガグモ	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		空間造網	造網性
	アシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ウロコアシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	エゾアシナガグモ	●			●		●	●	●	●	●		●		空間造網	造網性
ジョロウグモ	ジョロウグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
コガネグモ	ハツリグモ			●			●				●				空間造網	造網性
	キザハシオニグモ	●									●				空間造網	造網性
	ヤエンオニグモ					●	●								空間造網	造網性
	ビジョオニグモ	●	●	●			●	●	●	●					空間造網	造網性
	カラオニグモ					●						●	●		空間造網	造網性
	オニグモ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●		空間造網	造網性
	ムツボシオニグモ		●												空間造網	造網性
	コガタコガネグモ			●			●	●	●	●		●	●		空間造網	造網性
	シロゴミグモ					●	●								空間造網	造網性
	ギンメッキゴミグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	空間造網	造網性
	ヤマトゴミグモ		●				●								空間造網	造網性
	ゴミグモ	●				●	●		●				●		空間造網	造網性
	ヨツデゴミグモ	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●		空間造網	造網性
	マルゴミグモ	●	●		●	●	●				●	●			空間造網	造網性
	カラフトオニグモ						●	●							空間造網	造網性
	シロスジショウジョウグモ	●							●		●	●	●		空間造網	造網性
	ナカムラオニグモ	●													空間造網	造網性
	ワキグロサツマノミダマシ	●							●						空間造網	造網性
	イエオニグモ	●	●	●		●									空間造網	造網性
	コゲチャオニグモ						●								空間造網	造網性
	サツマノミダマシ	●	●				●					●			空間造網	造網性
	ズグロオニグモ	●			●	●	●				●	●			空間造網	造網性
シボグモ	シボグモ	●					●				●		●		地上・落葉徘徊	徘徊性
アワセグモ	アワセグモ					●	●								樹皮・壁面徘徊	徘徊性
アシダカグモ	アシダカグモ		●												壁面徘徊	徘徊性
	コアシダカグモ	●	●												樹皮・壁面徘徊	徘徊性
エビグモ	キンイロエビグモ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●		樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	キエビグモ	●													葉上徘徊	徘徊性

A: 善福寺公園、C: 観泉寺、F: 荻窪八幡神社、I: 善福寺川緑地、J: 都立和田堀公園、K: 大宮八幡宮、M: 自然観察の森、N: 済美山公園、P: 下高井戸八幡神社、Q: 塚山公園、T: 柏の宮公園、U: 三井の森公園、V: 南荻窪4丁目

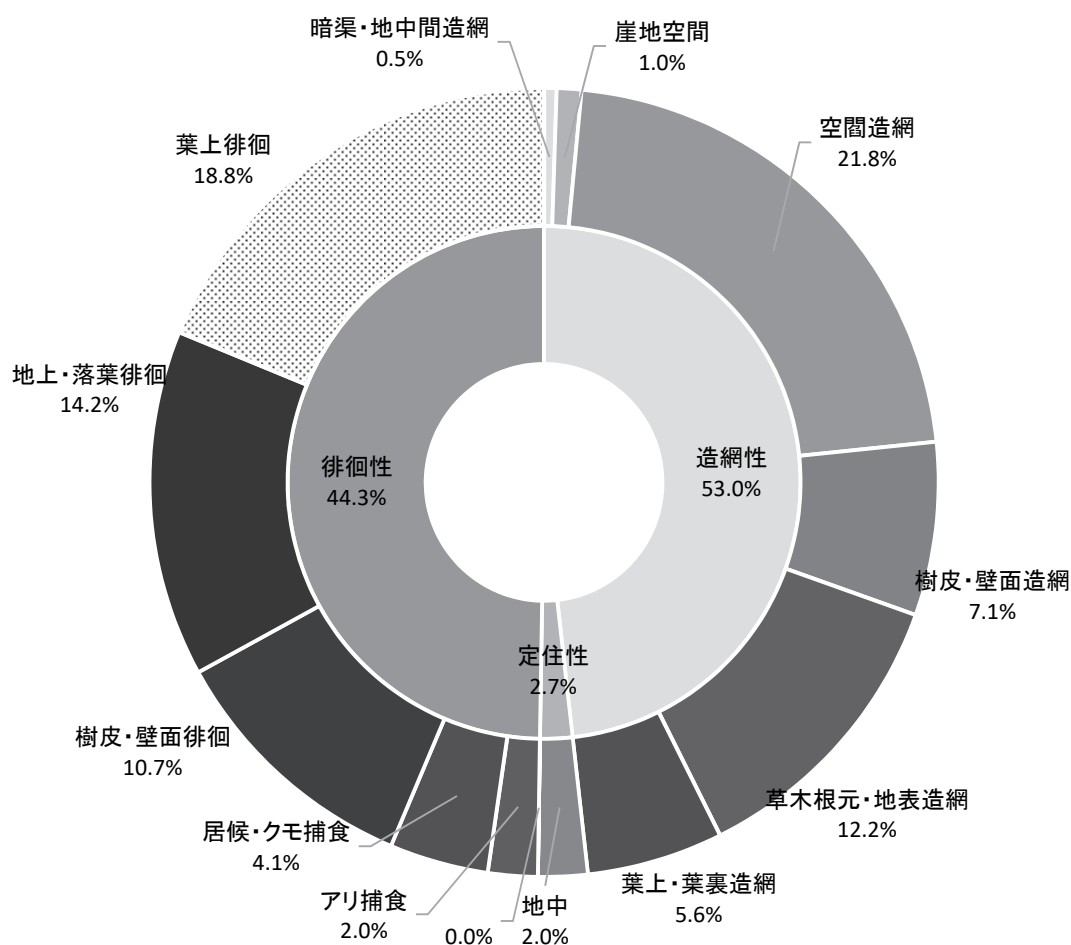
表Ⅲ-2-4 第7次調査における地点別確認状況(3)

科名	種名	調査地点													生活型	採餌行動の様式
		A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V		
カニグモ	キハダエビグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	アサヒエビグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	シャコグモ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	キハダカニグモ	●	●	●		●	●		●	●	●	●			樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	コカニグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●			樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	コハナグモ	●	●		●				●			●			葉上徘徊	徘徊性
	クマダハナグモ	●	●			●	●		●			●	●		葉上徘徊	徘徊性
	ハナグモ	●	●								●				葉上徘徊	徘徊性
	アマギエビスグモ	●	●				●								葉上徘徊	徘徊性
	マツモトオチバカニグモ	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	ニッポンオチバカニグモ	●	●	●	●		●						●		地上・落葉徘徊	徘徊性
	ワカバグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	アズチグモ	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	セマルトラフカニグモ	●	●							●		●	●		葉上徘徊	徘徊性
	ヤミイロカニグモ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
ワシグモ	メキリグモ											●			地上・落葉徘徊	徘徊性
	シノノメトンビグモ							●							地上・落葉徘徊	徘徊性
	ナミトンビグモ										●				地上・落葉徘徊	徘徊性
	ホシジロトンビグモ										●				地上・落葉徘徊	徘徊性
	マエトビケムリグモ										●				地上・落葉徘徊	徘徊性
イタチグモ	イタチグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
ネコグモ	ネコグモ	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
ウラシマグモ	オトヒメグモ	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	コムラウラシマグモ	●	●	●	●	●	●	●						●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	イナズマウラシマグモ	●	●	●	●	●	●	●							地上・落葉徘徊	徘徊性
	キレオビウラシマグモ	●	●		●	●	●	●			●				地上・落葉徘徊	徘徊性
	ウラシマグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	ヤバネウラシマグモ							●	●				●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
コマチグモ	アシナガコマチグモ	●							●						葉上徘徊	徘徊性
フクログモ	マダラフクログモ	●		●		●	●	●		●	●	●	●		樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	ヤマトフクログモ	●													樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	ハマキフクログモ	●													葉上徘徊	徘徊性
	ヒメフクログモ	●													葉上徘徊	徘徊性
	カギフクログモ	●										●			葉上徘徊	徘徊性
	マイコフクログモ	●											●		葉上徘徊	徘徊性
	ムナアカフクログモ	●												●	樹皮・壁面徘徊	徘徊性
ハエトリグモ	マツモトハエトリ	●	●			●	●		●			●	●		地上・落葉徘徊	徘徊性
	ネコハエトリ	●	●		●	●	●		●			●	●		葉上徘徊	徘徊性
	マミジロハエトリ	●				●	●	●		●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	ウデトハエトリ	●													葉上徘徊	徘徊性
	アダンソンハエトリ	●	●	●		●	●			●	●			●	壁面徘徊	徘徊性
	コジャバラハエトリ											●			地上・落葉徘徊	徘徊性
	エキスハエトリ	●													樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	オオハエトリ	●					●								樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	ヨダンハエトリ	●	●			●	●					●			地上・落葉徘徊	徘徊性
	ヤハズハエトリ	●													葉上徘徊	徘徊性
	シラヒゲハエトリ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		壁面徘徊	徘徊性
	ヤガタアリグモ	●			●	●		●			●	●	●		葉上徘徊	徘徊性
	タイリクアリグモ	●									●				葉上徘徊	徘徊性
	ヤサアリグモ	●			●	●		●		●	●	●	●		葉上徘徊	徘徊性
	アリグモ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	葉上徘徊	徘徊性
	クワガタアリグモ					●									葉上徘徊	徘徊性
	チャイロアサヒハエトリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		葉上徘徊	徘徊性
	マガネアサヒハエトリ	●										●			葉上徘徊	徘徊性
	メガネアサヒハエトリ	●	●	●											葉上徘徊	徘徊性
	メスジロハエトリ	●			●	●				●	●				葉上徘徊	徘徊性
	デーニッツハエトリ	●	●	●		●	●	●	●			●	●		葉上徘徊	徘徊性
	チャスジハエトリ		●	●											壁面徘徊	徘徊性
	ミスジハエトリ	●				●		●				●			壁面徘徊	徘徊性
	ヤガタハエトリ	●													葉上徘徊	徘徊性
	イナズマハエトリ	●			●										樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	カラスハエトリ	●													葉上徘徊	徘徊性
	キレワハエトリ	●										●			地上・落葉徘徊	徘徊性
	アオオビハエトリ	●	●				●		●		●	●	●	●	地上・落葉徘徊	徘徊性
	モンシロコゲチャハエトリ	●	●												壁面徘徊	徘徊性
39科	197種	145	86	62	53	83	93	53	70	60	77	93	88	25	—	—

A：善福寺公園、C：観音寺、F：荻窪八幡神社、I：善福寺川緑地、J：都立和田堀公園、K：大宮八幡宮、M：自然観察の森、N：済美山公園、P：下高井戸八幡神社、Q：塚山公園、T：柏の宮公園、U：三井の森公園、V：南荻窪4丁目

③ 出現種の生活型区分

第7次調査で確認された 197 種類のクモを採餌行動の様式及び生活型によって分類すると、網を張る造網性種は空間造網型（45 種類）、草木根元・地表造網型（25 種類）、樹皮・壁面造網型（10 種類）、葉上・葉裏造網型（8 種類）等に分類され、全体の 53%となった。網を張らない徘徊性、地中性、他のクモを捕食、アリ捕食など、徘徊性・その他の種類は葉上徘徊型（38 種類）、地上・落葉徘徊型（26 種類）、樹皮・壁面徘徊型（13 種類）、壁面徘徊（8 種類）、居候・クモ捕食型（5 種類）、地中型（4 種類）、アリ捕食型（4 種類）などに分類され、これらは全体の 47%であった。造網性種と徘徊性種他の割合は、日本産のクモ全体では造網性種が6割を占めるが、杉並区の造網性種の割合はこれよりも下回っており、造網性種と徘徊性種の比率がほぼ同定度に近づいているのが特徴的である。この状況は第1次から第7次までに共通した特徴でもあり、第5次の報告書でも記載されたとおり、造網性種は空間を空間造網種が優先している点や、利用する場所が重複している葉上・葉裏や地上・地表などでは徘徊性種が造網性種よりも明らかに多い点から、このような採餌行動様式から見ると、単純な種類数の比較ではあるが、造網性種と徘徊性種の双方のクモ類については、明らかな住み分けが行われていると考えられる。



図Ⅲ-2-2 第7次調査における生活型で区分した出現種類数の割合

表Ⅲ-2-5 第7次調査地点における生活型区分別出現種類数

採餌行動 の様式	生活型	調査地点														総合
		A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V		
造網性		67	39	32	26	42	49	24	41	31	42	41	47	10	95	
	暗渠・地中間造網	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	
	暗渠・壁面造網	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	
	崖地空間	2	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	2	0	2	
	空間造網	34	21	19	16	23	31	16	24	19	23	25	23	5	45	
	樹皮・壁面造網	9	6	4	4	6	8	3	4	4	6	6	8	3	10	
	草木根元・地表造網	12	4	3	1	6	2	1	6	2	7	4	9	0	25	
	葉上・壁面造網	2	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	
	葉上・葉裏造網	6	3	3	2	4	5	3	4	4	3	4	3	1	8	
定住性		4	3	2	1	1	1	1	1	2	1	3	1	0	4	
	樹皮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地中	4	3	2	1	1	1	1	1	2	1	3	1	0	4	
徘徊性		74	44	28	26	40	43	28	28	27	34	49	40	15	98	
	アリ捕食	2	1	0	0	0	1	2	0	1	1	2	2	0	4	
	クモ捕食	2	1	1	0	1	2	2	1	1	0	1	1	1	2	
	居候・クモ捕食	2	3	1	1	3	2	2	2	1	2	2	3	0	5	
	壁面造網・クモ捕食	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	
	樹皮・壁面徘徊	12	4	6	5	6	8	2	1	5	4	5	4	0	13	
	暗渠・壁面徘徊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	壁面徘徊	4	6	3	1	3	3	1	1	2	2	3	1	1	8	
	地上・落葉徘徊	17	13	5	6	9	12	8	8	3	10	14	11	6	26	
	葉上徘徊	33	15	11	13	18	14	11	14	13	15	22	18	7	38	
総計		145	86	62	53	83	93	53	70	60	77	93	88	25	197	

④ クモ類からみた環境評価

新海栄一（1998）による環境指標種を参考に、第7次調査の確認種でこれらに該当するクモ類を表Ⅲ-2-6に示した。第7次調査では、自然環境指標種Aに3種類、自然環境指標種Bに3種類、自然環境指標種Cに8種類、都市環境指標種に28種類がそれぞれ該当した。

また、下記の数式を用いて調査地点別に環境指数を計算し、表Ⅲ-2-7に示した。

$$\text{環境指数} = (\text{自然環境指標種類数合計} + 1) \div (\text{都市環境指標種類数合計} + 1) \times \text{採集種類数合計}$$

杉並区全体での環境指数は101.9であり、表Ⅲ-2-8に示す環境指数の評価基準に照らし合わせると、第6次と同様に、里山型の環境を評価する基準では「悪化」、都市型の環境を評価基準では「きわめて良好」と評価された。

杉並区の調査地はもとより都市環境の中に残されている公園や社寺などの緑地、水辺、庭園などを対象としていることから、環境指数を見る上では里山型の評価基準は適切ではなく、以後の評価では調査対象地域の環境に合わせた都市型の評価基準を用いた。

調査地点間で比較すると、環境指数が最も高かったのは善福寺公園の42.29であり、次いで大宮八幡の24.47、三井の森公園の16.5が高かった。荻窪八幡神社と南荻窪4丁目では自然環境指標種は確認されず、環境指数もそれぞれ3.26、3.57と低かった。

各地点の環境指数を都市型の評価基準を用いて評価すると、善福寺公園は「平均」、大宮八幡は「悪化」、残りの11地点は「きわめて悪化」に該当した。

各調査地点のクモ類の出現の有無を変数としてクラスター分析を行った結果、13調査地点は図Ⅲ-2-3に示す通り、破線①のレベルで6つのクラスターに区分された。最左側のクラスター1には環境指数の値が3.57と小さく市街地である南荻窪4丁目が区分され、環境指数の値が最大であった善福寺公園はクラスター3に区分された。

クラスター2、5、6は環境指数の都市型の評価基準は「きわめて悪化」に相当した。クラスター4も大宮八幡の「悪化」を除き、「きわめて悪化」に相当した。クラスター2にはよく管理された都市公園である善福寺川緑地と塚山公園が該当し、クラスター4には主に社寺が含まれ、クラスター5、6には雑木林のある調査地が含まれた。

以上のように、今回第7次調査における個々の調査地点の多くは、クモ類による環境指数における都市型の評価基準からは「悪化」ないし「きわめて悪化」と評価されたが、杉並区全体をみると、前述のとおり「きわめて良好」という結果が示された。ただし前回第6次調査の際に122.0であった環境指数は、今回20.1ポイント低下し101.9となった。この低下の要因として、現地の状況から考えられることは、植栽地に落ち葉が全く無かったことである。落ち葉の下は動物の住み家であり、また外敵から逃れるためのシェルターであり、冬場の越冬場所となっている。その落ち葉を無くすことは、動物たちの「排除」につながり、自然環境保全にとって大きな障害になっていると考えられる。今後は落ち葉等の適切な維持・管理により、区内の個々の緑地において動物たちの住み家や越冬場所となる落葉層の形成を計ることが、杉並区全体の自然環境を保全する上で特に重要と考えられる。

表Ⅲ-2-6 第7次調査で確認された環境指標種

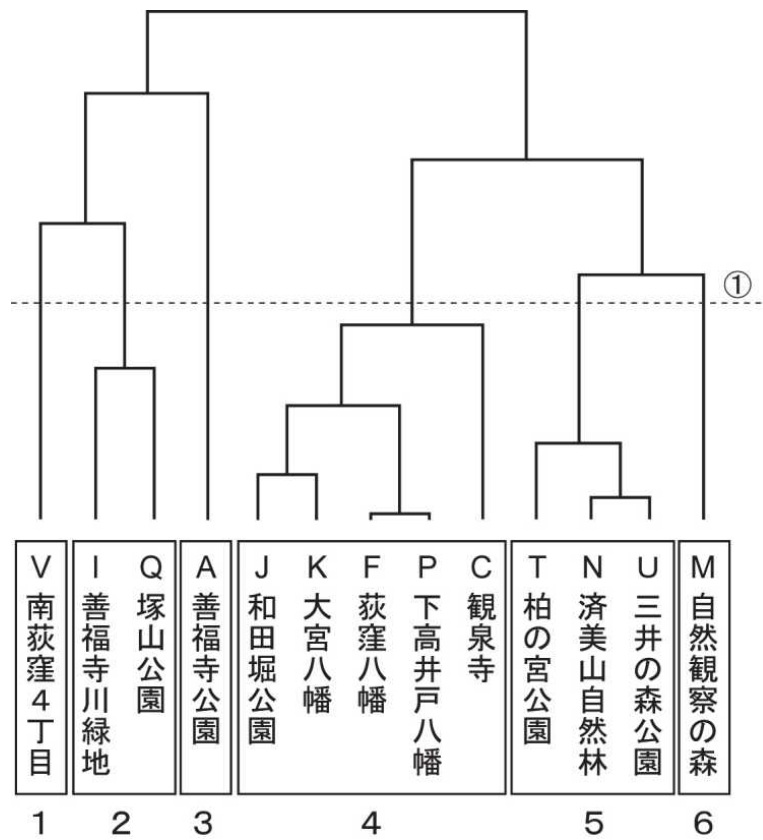
区分	該当種	該当種数
自然環境指標種A 豊かな森林植生が存在する自然度の高い山地に生息する種群	シモフリヒメグモ カラカラグモ エゾアシナガグモ	3
自然環境指標種B 山地から里山にかけての良好な森林あるいは樹林地に生息する種群	アオグロハシリグモ ヤマトゴミグモ キエビグモ	3
自然環境指標種C 山地から里山、さらに森林地が帯状または島状に存在する地域にまで広く生息する種群	カネコトタテグモ デーニッツサラグモ ハラダカツクネグモ ヤエンオニグモ ヤリグモ アマギエビスグモ コアカクロミジグモ エキスハエトリ	8
都市環境指標種 都心部から郊外にかけての建造物、庭園、社寺林などに多く出現し、都市部の環境を表現している種群	キシノウエトタテグモ サトヒメグモ ジグモ マダラヒメグモ ワスレナグモ ナナメケシグモ イエユウレイグモ オニグモ ユカタヤマシログモ イエオニグモ オキツハネグモ ズグロオニグモ ネコハグモ アシダカグモ チリグモ キンイロエビグモ シモフリヤチグモ ヤバネウラシマグモ メガネヤチグモ アダンソンハエトリ ヒラタグモ シラヒゲハエトリ カレハヒメグモ チャスジハエトリ キヨヒメグモ ミスジハエトリ オオヒメグモ モンシロコゲチャハエトリ	28

表Ⅲ-2-7 第7次調査地点別環境指数

区分	調査地点													総合
	A	C	F	I	J	K	M	N	P	Q	T	U	V	
自然環境指標種A	2			1	1	1		1	1	1		1		3
自然環境指標種B	2	1				1								3
自然環境指標種C	2				1	2	1			1	1	1		8
都市環境指標種	23	22	18	11	16	18	6	12	13	15	18	15	6	28
採集種類数合計	145	86	62	53	83	93	53	70	60	77	93	88	25	197
環境指数	42.29	7.48	3.26	8.83	14.65	24.47	15.14	10.77	8.57	14.44	9.79	16.5	3.57	101.90

表Ⅲ-2-8 環境指数の評価基準

評価	環境指数	
	里山型	都市型
きわめて良好	600以上	80以上
良好	400～600	60～80
平均	200～400	40～60
悪化	100～200	20～40
きわめて悪化	100以下	20以下



図Ⅲ-2-3 クラスタ分析による調査地点の区分

2) 既往調査（第1次から第6次）との比較

① 科別出現種類数

各科のこれまでの種類数を表Ⅲ-2-9 に示す。種類数の合計では、第1次から第4次にかけて緩やかな増加傾向が見られ、その後第5次に急激に減少したが、第6次、第7次にかけて大きく増加した。クモ類の種類数及び個体数の周年変化は安定しておらず、いずれの調査でも規則性は確認されていない。ここ数年の増加傾向は、温暖化の影響が強く現れていると考えられるが、前年の気候や、分散期の風向きなどクモ類特有の要因も含まれていると考えられる。

連続する年次調査間の出現種類数の類似度を Jaccard の共通係数により比較すると、表Ⅲ-2-10 に示すとおり、第1次から第2次は0.72、第2次から第3次では0.69、第3次から第4次では0.73、第4次から第5次では0.70、第5次から第6次では0.55、第6次から第7次では0.64 であった。

共通係数は、第1次から第5次までは、前後の年次間で0.69～0.73 の値を示したが、第5次から第6次には0.55 となり、第5次から第6次間で類似性が低くなった。また、第6次から第7次間では0.64 となり、類似性は依然としてやや低い状況であった。第6次調査で初めて記録されたクモ類が17種類、第7次調査で初めて記録されたクモ類が29種類あり、このため共通係数の値が小さくなったものと考えられる。

表Ⅲ-2-9 科別出現種類数の年次変化

No.	科名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	総合
1	トタテグモ	1	1	1	1	1	2	1	2
2	カネコトタテグモ	1	1		1		1	1	1
3	ジグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
4	ワスレナグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
5	エンマグモ	1	1		1		1	1	1
6	ユウレイグモ	3	2	3	3	2	3	2	3
7	ヤマシログモ	1	1	1	1	1	1	1	1
8	タマゴグモ	3	2	2	1	2	3	4	5
9	ハグモ	3	3	3	3	3	4	6	6
10	チリグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
11	ウズグモ	4	3	4	4	3	3	3	4
12	ヤチグモ	3	2	2	2	2	3	3	4
13	コタナグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
14	タナグモ	3	3	2	2	2	3	2	3
15	ハタケグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
16	コモリグモ	3	6	5	3	3	4	6	11
17	キシダグモ	1	1	1	1	1	1	2	3
18	ササグモ	1	1	1	1	1	1	2	2
19	ヒラタグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
20	センショウグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
21	ヒメグモ	18	22	26	27	19	32	34	44
22	ホラヒメグモ			1				1	2
23	サラグモ	18	16	17	16	16	15	18	31
24	カラカラグモ						1	1	2
25	コツブグモ	1	1	1					1
26	ナゲナワグモ						1		1
27	アシナガグモ	7	8	7	6	6	10	8	13
28	ジョロウグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
29	コガネグモ	16	20	17	19	17	25	22	37
30	シボグモ	1	1		1	1	1	1	1
31	アワセグモ					1	1	1	1
32	アシダカグモ			1		1	2	2	2
33	エビグモ	4	4	4	4	4	5	5	5
34	カニグモ	12	13	13	14	10	13	12	16
35	ワシグモ	1	2	2	1	3	2	5	8
36	イタチグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
37	ネコグモ	1	1	1	1	1	1	1	1
38	ウラシマグモ	4	4	4	4	4	4	6	6
39	コマチグモ	2	3	3	4	2		1	4
40	フクログモ	3	4	6	4	6	5	7	10
41	ハエトリグモ	17	19	19	18	19	26	29	36
合計		142	154	156	152	140	183	197	276

* 第1次から第5次で確認されたワスレナグモ、第5次で確認されたナガコガネグモ及びサツマノミダマシは調査地点以外での記録。

表Ⅲ-2-10 年次間の共通係数

第2次	0.72					
第3次	0.63	0.69				
第4次	0.67	0.69	0.73			
第5次	0.63	0.60	0.63	0.70		
第6次	0.55	0.58	0.57	0.59	0.55	
第7次	0.49	0.51	0.52	0.54	0.50	0.64
	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次

* 下記の式により算出される Jaccard の共通計数を用いた。

$$C = \frac{c}{a+b-c} \quad (a: \text{群集Aの種数}, b: \text{群集Bの種数}, c: A, B \text{の共通種数})$$

② 調査地点別出現種類数

調査地点別出現種類数の年次変化を表Ⅲ-2-11 に示した。第7次に調査が実施された13地点のうち、新規の3地点を除いた10地点について第6次と比較すると、第7次の出現種類数は7地点で増加し、3地点で減少した。特に、善福寺公園と塚山公園の2地点で種類数が大きく増加し、善福寺公園では19種類、塚山公園では13種増加した。一方、善福寺川緑地で12種類、大宮八幡で8種類、自然観察の森で4種類の減少がみられた。

また第1次と比較すると、種類数は12地点で増加し、とくに大宮八幡では72種類の大きな増加がみられた。一方、済美山自然林では、第1次と比べ8種類の減少がみられた。

第1次から第6次までの各データと第7次の結果との間で共通係数を算出し、表Ⅲ-2-12 に示した。善福寺公園及び済美山自然林では、第1次、第2次と第7次間における共通係数の値が高く、荻窪八幡、善福寺川緑地、下高井戸八幡では、第5次、第6次と第7次間における共通係数が高い値を示した。

この結果から、善福寺公園や済美山自然林等では、第7次におけるクモ類相が、過去のクモ類相に類似する方向で種類構成が変化したものと考えられる。また荻窪八幡、善福寺川緑地及び下高井戸八幡等では、以前のクモ類相から最近のクモ類相へと変化してきている可能性が考えられる。

表Ⅲ-2-11 調査地点別種類数の年次変化

記号	地点\年次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
A	善福寺公園	94	104	90	60	43	126	145
B	井草八幡	47	73	51	49	47		
C	観泉寺	36	30	39	40	41	78	86
D	今川2-15	41	49	27	57	54		
E	妙正寺公園	13	25	26	49	42	44	
F	荻窪八幡	48	55	57	45	52	61	62
G	久我山稲荷	11	24	19	20	17	42	
H	玉川上水周辺	6	21	22	32	16	38	
I	善福寺川緑地公園	47	41	19	60	44	65	53
J	和田堀公園	55	72	66	65	55	82	83
K	大宮八幡	21	34	36	43	35	101	93
L	堀ノ内2-40	77	68	44	50	37		
M	自然観察の森	45	54	67	54	54	57	53
N	済美山自然林	77	82	72	67	44	62	70
O	大宮1-5	42	48	21				
P	下高井戸八幡	11	31	41	57	40	58	60
Q	塚山公園	5	39	50	65	38	64	77
R	龍光寺	13	25	46	35	24	44	
S	永福1-27	11	21	42	20	30		
T	柏の宮公園							93
U	三井の森公園							88
V	南荻窪4丁目							25

* 灰色の塗りつぶしは調査を実施しなかった地点。

表Ⅲ-2-12 調査地点別第7次と各年次間の共通係数の比較

記号	地点	第1次-第7次	第2次-第7次	第3次-第7次	第4次-第7次	第5次-第7次	第6次-第7次
A	善福寺公園	0.44	0.49	0.37	0.31	0.26	0.58
C	観泉寺	0.30	0.27	0.37	0.29	0.32	0.49
F	荻窪八幡	0.38	0.38	0.40	0.49	0.43	0.45
I	善福寺川緑地	0.30	0.27	0.18	0.31	0.39	0.44
J	和田堀公園	0.34	0.35	0.34	0.33	0.30	0.56
K	大宮八幡	0.16	0.25	0.25	0.30	0.27	0.48
M	自然観察の森	0.26	0.34	0.45	0.37	0.30	0.43
N	済美山自然林	0.43	0.48	0.34	0.38	0.36	0.43
P	下高井戸八幡	0.11	0.34	0.28	0.39	0.39	0.57
Q	塚山公園	0.04	0.23	0.21	0.34	0.25	0.45

* 1次から7次まで継続調査地点のみ表示。

③ 出現種の生活型区分

造網性及び徘徊性のクモ類は第5次から第6次にかけて種類数が大きく増加したが、第7次には第6次と比べて造網性クモ類が2種類減少し、徘徊性クモ類は17種類増加した。定住性クモ類は第1次から種類数に明瞭な変化はみられなかった。造網性クモ類では、空間造網型が減少した一方で、草木根元・地表造網型など4つの生活型で増加がみられた。徘徊性クモ類では、アリ捕食型、居候・クモ捕食型、壁面徘徊型、地上・落葉徘徊型、葉上徘徊型において、それぞれ種類数の増加がみられた。

表Ⅲ-2-13 生活区分別出現種類数の年次変化

採餌行動の様式	生活型	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
造網性		75	79	79	79	69	97	95
	暗渠・地中間造網	1	1	2	1	1	1	1
	暗渠・壁面造網				1	1	1	2
	崖地空間		2	2	2	1	2	2
	空間造網	35	40	42	40	36	53	45
	樹皮・壁面造網	8	8	7	8	6	9	10
	草木根元・地表造網	22	19	17	18	17	22	25
	葉上・壁面造網	1	1	1	1	1	1	2
	葉上・葉裏造網	8	8	8	8	6	8	8
定住性		4	4	3	4	3	5	4
	樹皮						1	
	地中	4	4	3	4	3	4	4
徘徊性		63	71	74	69	68	81	98
	アリ捕食	3	3	4	3	2	3	4
	クモ捕食	2	2	2	2	2	2	2
	居候・クモ捕食	2	2	2	4	2	4	5
	壁面造網・クモ捕食	1	1	1	1	1	1	1
	樹皮・壁面徘徊	7	9	9	9	11	15	13
	暗渠・壁面徘徊							1
	壁面徘徊	3	3	3	3	3	5	8
	地上・落葉徘徊	15	21	19	15	17	19	26
	葉上徘徊	30	30	33	32	30	32	38
	投げ縄式			1				
総計		142	154	156	152	140	183	197

④ クモ類からみた環境評価

環境指数の年次変化を表Ⅲ-2-14に示した。クモ類の種類数によって算出された杉並区の環境指数は、第2次に一旦増加した後、第3次から第5次にかけて減少し、第6次に再び大幅に増加した後、第7次に減少した。

各年次の環境指数を都市型の基準により評価すると、第1次は「平均」であったが、第2次に「きわめて良好」となり、第3次、第4次に「良好」となった後、第5次に「平均」に戻った。その後、第6次から第7次にかけて「きわめて良好」が続いている。

表Ⅲ-2-14 環境指数の年次変化

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
自然環境指標種A					1	4	3
自然環境指標種B	3	1	1	3	1	5	3
自然環境指標種C	5	9	8	6	4	8	8
都市環境指標種	21	20	22	22	19	26	28
採集種類数合計	142	154	156	152	140	183	197
環境指数	58.09	80.67	67.83	66.09	49.00	122.00	101.90

⑤ 温暖化による影響

前回第6次までの調査において、近年の地球温暖化により北上してきた南方系種としてクロマルイソウロウグモ、ミヤシタイソウロウグモ、マルゴミグモ、スズミグモ、アシダカグモ、マダラフクログモ、アダンソンハエトリ、ヤガタアリグモの8種類が確認されている。この内スズミグモを除く7種類は、第6次調査で初めて採集された種であった。今回第7次調査では新たに9種類目の北上種として屋内性のチャスジハエトリも確認された。

クロマルイソウロウグモとミヤシタイソウロウグモは共に15年ほど前より関東地方に侵入してきた南方系のクモ類であり、いずれも第6次調査での発見が23区内では初めての記録であった。今回第7次調査ではクロマルイソウロウグモが観泉寺において採集され、杉並区内に継続して生息していることが確認された。ミヤシタイソウロウグモは前回大宮八幡宮で採集されたが今回は確認されなかった。これら両種は、オオヒメグモ、カグヤヒメグモ、ヒメグモなどの網に侵入して網の主を捕食する。

マルゴミグモは2002年7月に初めて東京に出現した南方系のクモで、その後都内各地で多数採集されている。第6次調査では善福寺公園、観泉寺、妙正寺公園、玉川上水周辺、和田堀公園、大宮八幡、自然観察の森、塚山公園などほぼ全ての調査地で採集され、杉並区内にも広く生息していることが判明した。第7次には善福寺公園、観泉寺、善福寺川緑地、和田堀公園、大宮八幡、塚山公園に加え、新たに柏の宮公園でも採集された。水平円網を張り、網の中心を起点に一行にゴミを並べる。クモは網の中心部（ゴミ列の起点）で網の上に乗って静止する。

アシダカグモは本州に生息するクモでは最大の種で、体長はメスが25～30mm、オスが15～25mmになる。南方系のクモで、従来は神奈川県湘南地域や千葉県房総半島に生息していたが、近年の温暖化により徐々に北上して都内でも見つかるようになった。第7次調査においても、前回と同様に観泉寺で確認された。屋内に生息し、昼間はタンスや書棚の裏などの暗い場所に潜み、夜間徘徊してゴキブリ、ハエ、カなどを捕らえる。

マダラフクログモとヤガタアリグモは共に関東地方における採集記録はほとんどなかった種類であるが、第6次調査では多くの地点から大量に発見された。第7次調査においてもマダラフクログモは善福寺公園、荻窪八幡、和田堀公園、大宮八幡、自然観察の森、下高井戸八幡、塚山公園、柏の宮公園、三井の森公園で多数確認されたが、従来同じ環境に生息していたムナアカフクログモが激減しており、善福寺公園、三井の森公園の2か所でしか確認されていない。この異常な早さでの種類の交替は予想外のことで、クモ類の分布拡大要因の新たなテーマとして今後注目していく必要がある。ヤガタアリグモについては、第7次調査では善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園、自然観察の森、塚山公園、柏の宮公園、三井の森公園から採集された。

チャスジハエトリは体長メス10～12mm、オス7～11mmの大型のハエトリグモで、23区内においても時々記録されていたが、杉並区内では今回が初めての記録となった。第7次調査では観泉寺、荻窪八幡の2か所で採集された。人家の壁、塀や公園のトイレ等公共施設の内外に生息する。

表Ⅲ-2-15 温暖化により北上してきたと考えられる種の出現状況の年次変化

科	種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動の様式
ヒメグモ	クロマルイソウロウグモ						●	●	居候・クモ捕食	徘徊性
	ミヤシタイソウロウグモ						●		居候・クモ捕食	徘徊性
コガネグモ	マルゴミグモ						●	●	空闊造網	造網性
	スズミグモ		●						空闊造網	造網性
アシダカグモ	アシダカグモ						●	●	樹皮・壁面徘徊	徘徊性
フクログモ	マダラフクログモ						●	●	樹皮・壁面徘徊	徘徊性
ハエトリグモ	アダンソンハエトリ						●	●	樹皮・壁面徘徊	徘徊性
	チャスジハエトリ							●	壁面徘徊	徘徊性
	ヤガタアリグモ						●	●	葉上徘徊	徘徊性

3) 外来種

第1次から第7次までの調査において杉並区内で確認された外来種は、表Ⅲ-2-16に示した1科2種類である。外来生物法で指定される特定外来生物に該当するクモ類は現時点では出現していない。

シロホシヒメグモは体長 7～11mm、黒色の地に白色の星斑が目立つが全体黒色の個体も多く、ゴケグモとよく間違えられる。海岸付近、港湾施設、倉庫、乗船場などの建物の内外、側溝の中などに不規則網を張る。近年内陸部への侵入が見られる。本種は1950年代に一度国内に侵入しているが、一度消滅し、1980年代に再び侵入したと思われる。杉並区内では第4次並びに第5次調査において今川2丁目で発見され、その後、第6次調査では確認できなかったが、今回第7次調査で下高井戸八幡において採集された。都内の他の出現状況から推測すると、今後杉並区内の各所で見つかる可能性がある。

マダラヒメグモは体長 3.5～ 6.5mm、1982年2月に名古屋港で発見された外来種である。物流のトラックによって荷物と共に運ばれ、全国に分布が広がっている。2008年には青森県に達しており、外来種としての拡散のスピードは最も速い。人家の中や周辺、側溝の中などに不規則網を張る。杉並区内では第6次調査で荻窪八幡から採集されたが、今回第7次の調査では新たに善福寺公園、観泉寺、大宮八幡、塚山公園からも見つかかり、分布域を広げていることが確認された。

表Ⅲ-2-16 外来種の出現状況の年次変化

科名	種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動の様式
ヒメグモ	シロホシヒメグモ				●	●		●	樹皮・壁面造網	造網性
	マダラヒメグモ						●	●	樹皮・壁面造網	造網性

4) 注目種

注目種として環境省のレッドリストと東京都のレッドリスト掲載種、また杉並区独自の注目種として23区内で採集記録が稀な種と北方系種を選定し、これらの確認状況の年次変化を表Ⅲ-1-17に示した。各評価基準の内容は以下のとおりである。

※1 環境省レッドリスト

出典：レッドリスト(その他無脊椎動物)．環境省 (2018)．

CR：絶滅危惧ⅠA類 (絶滅の危機に瀕している種)

EN：絶滅危惧ⅠB類 (同上)

VU：絶滅危惧Ⅱ類 (絶滅の危機が増大している種)

NT：準絶滅危惧 (現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種)

※2 東京都レッドリスト (区部におけるランクおよび本土部におけるランク)

出典：東京都の保護上重要な野生生物種．東京都 (2013)．

EX：絶滅

EW：野生絶滅

CR：絶滅危惧ⅠA類

EN：絶滅危惧ⅠB類

VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

- ・：非分布 (生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの)
- －：データ無し (当該地域において生育・生息している (していた) 可能性があるが、確実な記録や情報が得られなかったもの)

※3 杉並区独自の注目種 (国や都のレッドリスト該当種以外) の選定基準

23区内：東京23区内において確認記録が稀な種

北方系種：元来北方に生息する種

表Ⅲ-2-17 クモ類の注目種一覧

科名	種名	選定理由*1				調査年次						
		環境省 RL	東京都RL		杉並区 注目種	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
			区部ランク	本土部ランク								
トタテグモ	キノボリトタテグモ	NT	VU	NT							●	
	キシノウエトタテグモ	NT	VU	NT		●	●	●	●	●	●	●
カネコトタテグモ	カネコトタテグモ	NT	VU	NT		●	●		●		●	●
ワスレナグモ	ワスレナグモ	NT	NT	NT		●	●	●	●	●	●	●
コガネグモ	コガネグモ		VU	NT							●	
	ムツトゲイセキグモ		-	NT				●				
	トゲグモ		-	DD							●	
アワセグモ	アワセグモ		-	DD						●	●	●
アシダカグモ	コアシダカグモ		VU	NT				●		●	●	●
ハグモ	ナシジカレハグモ				23区内						●	●
コモリグモ	スジブトコモリグモ				23区内							●
	カガリビコモリグモ				23区内							●
ササグモ	クリチャササグモ				23区内							●
ヒメグモ	サダモトヒメグモ				23区内							●
サラグモ	オオイオリヒメサラグモ				23区内						●	●
	ヤマトウジヌカグモ				23区内						●	●
カラカラグモ	カラカラグモ				23区内							●
アシナガグモ	オオクマヒメドヨウグモ				23区内						●	
コガネグモ	スズミグモ				23区内		●					
	ナカムラオニグモ				23区内							●
ワシグモ	シノノメトンビグモ				23区内						●	●
ハエトリグモ	イワテハエトリ				23区内						●	
コガネグモ	コオニグモモドキ				北方系種	●			●			

注目種として選定された各種について、生活様式や区内での確認状況を以下に示した。

○キノボリトタテグモ（トタテグモ科）

神社や寺院、旧家の庭、公園などの太い樹木の表面、石垣、岩壁の表面に住居を作って生息する。住居は石垣や岩壁のへこみ、樹木では樹皮面を削ってへこみを作り、そこに2～3cmの管状住居を作り入り口には扉を付ける。住居と扉には樹皮片や苔、土等を付けて偽装するので発見はきわめて難しい。23区内には少なく、第6次調査で善福寺公園と久我山稲荷神社において確認された。

○キシノウエトタテグモ（トタテグモ科）

神社や寺院、人家、公園などの建物の脇、植え込みの縁、土の段差等の地中に穴を掘り入り口に扉を付ける。都市型のクモで23区内に普通に生息しているが、東京を離れると急激に減少し、まったく見られなくなることからレッドデータ種として扱われている。今回は善福寺公園、観音寺、荻窪八幡神社、自然観察の森、下高井戸八幡神社、柏の宮公園において確認された。

○カネコトタテグモ（カネコトタテグモ科）

里山から山地の崖地、樹林地の傾斜地や林床に生息する。地中に穴を掘って住居を作り、入り口に両開き（観音開き）の扉を付ける。東京近郊では多摩丘陵から川崎、横浜方面に多く、23区内では杉並区の他では皇居や文京区での記録がある。善福寺公園では僅かではあるが継続して生息していることが確認されたが、塚

山公園では確認されなかった。

○ワスレナグモ（ワスレナグモ科）

比較的明るく乾燥した芝生、畑、草地などの地中に縦穴を掘り、住居を作る。入り口に扉を付けない。従来、個人宅（和泉2丁目）で確認されていたが、第6次調査では観泉寺において1頭発見され、第7次調査では善福寺公園、観泉寺、柏の宮公園で確認された。

○コガネグモ（コガネグモ科）

日本を代表する大型の美しいクモ。郊外の人家の周辺、樹林地の周辺、水田、河原、草原などの日当たりの良い樹間、草間に垂直の正常円網を張る。東京都における採集記録は少なく、多摩地区においても町田市、八王子市、あきる野市などの里山、山地に近い地域で見つかっている。23区内での記録はほとんど無く、数年ごとに不特定の場所に突然出現する。第6次調査において和田堀公園で1頭採集されたのみである。

○ムツトゲイセキグモ（コガネグモ科）

里山から山地にかけて生息するが、近年市街地における採集記録も見られる。網は張らず、昼間は樹木や草の葉裏に脚を縮めて静止し、夕方7時頃より活動を始め、第2脚先端より粘球を吊し、それを回転させて獲物を捕らえる「投げ縄グモ」の一種。採集記録は非常に少なく全国的な希少種。1995年7月16日に善福寺公園において採集されたが、それ以降の記録は無い。採集時期等が未確認であったことから、第5次以前の報告書では記載が見送られていた。

○トゲグモ（コガネグモ科）

東京都レッドデータリストでは「情報不足（本土部）」、区部では採集記録がなかったため指定が入っていないが、今回の発見によりDDあるいはNT指定に該当すると考えられる。里山から山地にかけて生息するが、極端な集中分布の傾向がある。樹間に垂直または斜めに正常円網を張り中心に止まる。網の枠糸には数センチおきに白色の糸屑を飾りのように付ける。

○アワセグモ（アワセグモ科）

杉並区における最重要種。東京都レッドデータリストでは「情報不足（本土部）」であり、区部では指定が入っていない。静岡県以北における採集記録は1966年以来48年間1度もなく、杉並区が唯一の産地となっていたが、近年、渋谷区においても採集された。杉並区では第5次調査から大宮八幡宮で記録され、第6次調査では境内に広く生息していることが確認された。第7次調査では大宮八幡宮と和田堀公園で確認された。大木の樹皮上に生息し、昼間は樹皮下の隙間に潜んでいる。夜間は樹皮上に出て待機し、近くを通る獲物を捕らえる。

○コアシダカグモ（アシダカグモ科）

石垣、崖地、古い樹木の割れ目や暗部、神社や寺院の壁や塀の隙間などに生息する。夜間活動して獲物を捕らえる。23区内並びに杉並区においての採集記録は比較的多く、第7次調査では善福寺公園と観泉寺で確認された。

○ナシジカレハグモ（ハグモ科）

林内の落葉、土壌中、倒木や石の下などに、ボロ網と呼ばれる小さなテーブル状の網を張り奥に管状住居を作るが、詳しい生態はわかっていない。第7次調査では済美山自然林と塚山公園において採集された。

○スジブトコモリグモ（コモリグモ科）

体長はメス9～12mm、オス7～10mm。全国的に個体数は少ない。23区内では2回目の記録となった。コモリグモ科の大型種で里山から山地にかけて生息し、地表のくぼみ、落葉の下、草むらなどに潜み、近くを獲物が通ると襲いかかって捕食する。第7次調査では観泉寺で1頭採集された。

○カガリビコモリグモ（コモリグモ科）

体長メス5～6mm、オス4～5mm。和名は、腹部上面に赤色の縦斑があることに由来する。草間、畑の周囲、林縁などに生息し、地表面、落葉上などを歩き回って獲物を探す。第7次調査では善福寺公園で1頭採集された。

○クリチャササグモ（ササグモ科）

体長メス7～9mm、オス6～8mm。斑紋の色彩はササグモより濃く、栗茶色～黒色まで見られる。主に山地の樹林地、草原に生息する。樹木や草の葉裏に潜み、近づいて来る獲物を捕らえる。第7次調査では善福寺川緑地で1頭採集された。

○サダモトヒメグモ（ヒメグモ科）

体長メス・オス1～1.5mmの微小種。里山から山地にかけて見られる。個体数は少ない。アオキ、アラカシなど常緑広葉樹の葉裏に生息する。23区内では最初の記録となった。今回の採集者は杉並区自然環境調査の調査員である貞元己良氏で、同氏はサダモトヒメグモの最初の発見者である。善福寺公園で1頭採集された。

○オオイオリヒメサラグモ（サラグモ科）

落葉下、土壌の隙間にシート網を張る。近年採集される頻度が増えているので、今後各地で採集される可能性がある。第6次調査では和田堀公園において採集され、第7次調査では三井の森公園で採集された。

○ヤマトトウジヌカグモ（サラグモ科）

本種は新種記載前に、杉並区の第1次調査において採集されていたクモである（1985年4月21日善福寺公園）、事実上はその記録が東京都新記録となるが、発表されなかったため、1996年に採集された皇居の記録が23区の最初の記録となっている。第6次、第7次調査において、第1次の時と同様に善福寺公園で採集されたことから、善福寺公園では恒常的に生息しているものと考えられる。

○カラカラグモ（カラカラグモ科）

体長メス1.5～2.3mm、オス1.4～1.6mmの微小種。自然環境指標種の代表的な種類。里山から山地に生息する。林道や溪流沿いの湿った崖地、倒木の間、石や岩のすき間などに垂直円網を張って、中心より直角、または斜めに一本の糸を引き、通常はそれを手繰って網を円錐形にしている。第7次調査では善福寺公園で1頭採集された。

○オオクマヒメドヨウグモ（アシナガグモ科）

多摩地区では丘陵、山地に生息する。下草の間、樹木の根元付近に小さな水平円網を張り中心に止まる。網の角度は足場の関係で水平、斜め、垂直などさまざまなものが見られる。多摩地区では平地の林でも採集されており、今後区内でも各地で見つかると考えられる。第6次調査において善福寺公園で採集された。

○スズミグモ（コガネグモ科）

第2次調査期間である1992年3月に善福寺公園において23区内では初めて（東京都内では2回目）採集された。南方系の種類で、1970年代には関東地方での記録は無かったが、1980年に神奈川県で記録されて以降、急速な北上傾向を示し、現在都内の各所で採集されている。杉並区では第2次調査以降確認されていない。樹林地、果樹園、庭園や公園の庭木の間などにドーム状の目の細かい網を張る。幼体で採集されたことから確認が遅れており、第5次以前の報告書には記載されていない。

○ナカムラオニグモ（コガネグモ科）

体長メス9～12mm、オス7～9mm。平地から山地まで広く生息するが、局地的分布の傾向があり、島状に分布の増減が見られる。水田の周辺、河原、林道などの草間に垂直円網を張り、網の一端の葉や穂先を丸めて袋状の住居を作る。地域によっては人家、橋の欄干など建造物の周囲に造網する。第7次調査では善福寺公園で1頭採集された。

○シノノメトンビグモ（ワシグモ科）

23区内並びに多摩地区における記録は少ない。草間、落葉、土壌中を徘徊して獲物を探す。23区内では皇居からの採集記録がある。第6次調査で善福寺公園と塚山公園において採集され、第7次調査では自然観察の森で採集された。

○イワテハエトリ（ハエトリグモ科）

第6次調査で観音寺において採集された記録が23区内初となった。東京都における記録も過去に1回のみで、全国的に採集記録の少ない稀少種である。落葉上を徘徊していたが詳しい生態は知られていない。

○コオニグモドキ（コガネグモ科）

本州では500m以上の山地に見られるが、1000mを超えると急に増えてくる。山道の樹間や草間に生息している。夕方から活動を始め、樹木の枝や葉の間に1本の糸を引き、クモはその糸の途中で待機して獲物を待つ。昆虫が近くに飛んで来ると前脚（第1、2脚）で引き込むようにして捕らえる。杉並区での発見は、幼体が風に乗って飛来して来たものと考えられる。第1次調査では善福寺川緑地から、第4次調査では今川2-1から採集されているが、その後確認されていない。本来の分布域から、区内での確認が非常に稀な種である。

(3) 杉並区におけるクモ類の特性

① 豊富な種類数

杉並区のクモ類は、第1次調査から第6次調査で39科 248種類が記録されており、第7次調査では39科 197種類が確認された。新たに発見されたクモ類はスジブトコモリグモ、カガリビコモリグモ、クリチャササグモ、サダモトヒメグモ、ニホンウスイロサラグモ、カラカラグモ、ナカムラオニグモ、チャスジハエトリ、ヤガタハエトリなど28種類にのぼり、これらを合わせると現在41科 276種類が記録されたことになる。この種類数は23区内では最も多く、多摩地域の各市と比較しても、250種類を超えている市が5市しかないことから、いかに多い種類数であるか伺い知ることができる。このように多くのクモ類が杉並区に生息している要因としては、今回の調査地点をはじめ杉並区内の自然環境が、落葉・土壌層を除いてはきわめて良好な形で守られており、クモ類の食餌昆虫やそれを維持している豊かな緑が残されていることが挙げられる。

② クモ類から見た自然環境

調査結果から杉並区の各調査地の自然環境の状況を考察すると、自然度が高いと見られる場所は善福寺公園、柏の宮公園、大宮八幡宮の3か所であり、善福寺公園からは34科 145種類、柏の宮公園と大宮八幡宮からは27科 93種類が確認されている。これらの調査地をそれぞれの景観を構成している環境より比較してみると、善福寺公園や柏の宮公園は適度な高木、低木、草地があり、池などの水辺環境も整った整備された都市公園であるのに対し、大宮八幡宮は参詣の通路と周辺の樹林地のみで構成されている。一般的には多様な環境が存在することにより、それぞれの環境を選好するクモが侵入し、多くの種類の存続を可能にしていると考えられているため、善福寺公園の145種類や柏の宮公園の93種類はそれほど多い数字ではないが、大宮八幡宮のような単一の環境において93種類が確認されていることは、この神社の自然度が非常に高いことを示しており、今回の調査地の中では最も良い環境が残されている場所ということができる。

これら3か所に続いて、88種類の三井の森公園、86種類の観音寺、83種類の和田堀公園、77種類の塚山公園、70種類の済美山、62種類の荻窪八幡神社などには適度な樹林地と下草、落葉など比較的自然度の高い環境が残されている。逆に種類数の少なかった南荻窪4丁目（25種類）は市街地であり、緑の部分が少なく、地表が硬く落葉層が存在しないなど、動物が生息するには厳しい環境ということができる。

③ 確認された希少なクモ類

第1次から第7次調査における最大の成果は、第5次調査以降に確認されているアワセグモである。アワセグモは大木の樹皮上に生息するクモで、昼間は樹皮の隙間に潜んでいる。夜間樹皮上に出て待機し、近くを通る獲物を捕らえる徘徊性のクモである。本種は1966年に萱嶋泉が発表した「三多摩地方の蜘蛛の研究」の中に記録されているが、以来46年間東京都における採集記録が無く、杉並区内からの発見は23区内における最初の記録でもあり、さらに現在のアワセグモの北限の記録でもある。第7次調査においても、本種は大宮八幡宮の境内や和田堀公園に生息していることが確認された。

その他、環境省レッドデータブック並びにレッドデータブック東京2013に選定されているクモ類としては、キノボリトタテグモ、キシノウエトタテグモ、カネコトタテグモ、ワスレナグモが記録されている。キシノウエトタテグモを除く3種類は23区内において採集記録の少ない注目種である。特に、カネコトタテグモは23区内における採集記録が非常に少なく、杉並区でも減少傾向にある。第7次調査では従来の生息地である善福寺公園、塚山公園共に2018年の調査では発見できなかったため、2019年6月30日にカネコトタテグモを主とした地中性クモ類の集中調査を実施した。その結果、善福寺公園では幼体3頭を確認したが、塚山公園では発見することが出来なかった。さらに9月の調査では善福寺公園の3頭も姿を消しており、今後、杉並区内で

の生存が危ぶまれている。減少の原因としては、善福寺公園ではカネコタテグモが生息している崖の手前にフェンスを設置する工事が行われ、その際、崖の一部が改変されたことによる。また全体的にはヒートアイランド現象による土壌や崖地の乾燥化が進んでいることが挙げられる。近年の異常気象、特に多雨と熱波により土の粘度が低下し、崖地や小さな段差が崩れやすくなっており、住居となる穴が掘りにくくなっていると考えられる。そのため植栽地では裸地をなるべく作らず、一定量の落ち葉を残して土壌の乾燥を防ぐ工夫が必要である。

23 区内での採集記録の少ない注目種として、スジブトコモリグモ、カガリビコモリグモ、クリチャササグモ、サダモトヒメグモ、カラカラグモ、ナカムラオニグモなどが挙げられ、杉並区でも第7次調査で新たに記録された。

④ 温暖化により北上してきたと考えられる種の確認

多数の地点で記録されたマダラフクログモ、観泉寺のクロマルイソウロウグモをはじめ、ミヤシタイソウロウグモ、ヤガタアリグモ、マルゴミグモ等は近年の温暖化により北上して来た種類であり、第5次までの調査では杉並区には生息していなかったと考えられる。さらに第7次調査からはチャスジハエトリが新たに記録された。

マダラフクログモは従来全国的に見ても採集記録の少なかったクモであり、杉並区の過去の第1次から第5次調査においても確認されていなかった。第6次、第7次の調査ではほとんどの地点で採集され、急激に増加したものと考えられる。従来同様の環境に生息していたムナアカフクログモが激減しており、種類の交代が見られ、今後注目していく必要がある。また、マルゴミグモ、マダラフクログモ、ヤガタアリグモは、第7次調査において多数の調査地で確認されるようになり、急速に北上し個体数を増やしたことが考えられる。

クロマルイソウロウグモは、オオヒメグモ、ヒメグモ、カグヤヒメグモなどの網に進入して網の主を捕食する南方系のクモで、本州南岸線を北限としていたが、温暖化によりここ数年北上が確認されている。

マダラヒメグモは1982年に日本に進入した外来種で、現在青森県まで確認されている。東京における分布は湾岸地域に限られており、内陸地域ではほとんど見つかっていなかったが、徐々に23区内に生息域を広げてくるものと考えられる。

チャスジハエトリは、23区内でも時々確認されていたが、第7次調査において杉並区で初めて記録された。

温暖化の指標種であるマルゴミグモは、杉並区のほぼ全ての調査地で採集されており、急速な温暖化が進行していることを示している。

⑤ 土壌性クモ類の減少

今回第7次調査では土壌性のクモ類の個体数の減少が目立ち、区内全体的に一段と土壌の乾燥が進行していると考えられる。この点については第5次調査においても指摘されている通り、降水時に雨水がすぐに側溝に排水されることや、舗装整備の進展によって水が浸透できる地面が少ないこと、アスファルトからの熱放射やエアコン、車の排熱による地域の気温上昇、樹林地内の人の進入による踏み固めなども乾燥化の一因と考えられる。また公園などでは過度な草刈りや落ち葉掃きなどによって、落葉層が貧弱になっていることも関連していると考えられる。

〔2〕 昆虫類

(1) 調査内容および方法

第7次調査では、これまでに実施された第1次調査から第6次調査の調査結果と合わせて、杉並区の昆虫類の生息特性を明らかにした。

調査方法は目視法を主体とし、スウィーピング法、ビーティング法、見つけ採り法、拾い採り法、糖蜜トラップ法などの方法を適宜実施した。

図Ⅲ-2-4 に主要な調査地点を示した。なお、昆虫類調査では主要調査地点以外でも随時調査を実施し、標準地域メッシュ第3次地域区画を使用して確認場所を記録した。また、区内を大きく5区分した地域（北部、南部、西部、東部、中部）での出現状況も整理した。主要調査地点の環境概要と管理状況を表Ⅲ-2-18 に、第7次調査の実施期間を表Ⅲ-2-19 に示した。



*表中の灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。12 観泉寺は第7次において新たに調査を実施した地点。

図Ⅲ-2-4 第7次主要調査地点位置図

表Ⅲ-2-18 第7次調査対象地点の環境概要および管理状況(1)

地点番号	地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	主な昆虫類の生息に関する所見	備考
1	和田堀公園・大宮八幡およびその周辺	わんぱく広場、ケヤキ広場、和田堀池、済美山自然林	ケヤキ、シラカシ、メタセコイア、サンゴジュ、ソメイヨシノ、クスノキ、アベリア、ヤツデなど公園樹が多く植栽され、下草も少なく表土は踏み固められ乾燥化している。池にはコウホネ、マコモ、キショウブ等の抽水植物は僅かにあるが、沈水・浮葉植物はない。芝生広場が広がり、草地性昆虫が生息している。社域の一部は極相林化しており、樹林性・林緑性の昆虫が生息している。	社域は手入れがゆきとどき、松林も表土が露出し下草は無い。	済美山自然林の一部で萌芽更新が実施された。和田堀池でかみりぼりが実施されたが、アメリカザリガニの増加によりコウホネが激減した。大宮八幡の社寺林は、下草の消滅により乾燥化が激しい。	大宮八幡の本殿裏は極相林となり多様な昆虫の生息に適当とはいえない。昆虫が多いのは参道両側のツツジ植栽であり、開花時にはアゲハ類が吸蜜に飛来する。これに沿ったクスノキ、シラカシ等の照葉樹植栽域はセミ類が生息し、落ち葉も残され腐植化している。北側神域は善福寺川に落ち込む崖となっており、植生が豊かで林緑性昆虫が多種生息している。和田堀池も、水質悪化とアメリカザリガニ増加の影響によって昆虫が減少している。昆虫類のホットスポットであるわんぱく広場は、改修工事により植生が大幅に変わり、種類数、個体数が激減した。大宮八幡境内の荒地により、アシナガアリは見られなくなった。	善福寺川を挟み、南側に大宮八幡、北側に都立和田堀公園が広がる。昭和30年代、沼を生かし現在の和田堀池が造成された。現在の樹木の多くはその時植えられたもので、薪炭林を起源とする雑木林は済美山自然林のみ、区内最大級の社域をもつ大宮八幡本殿周辺は自然は、東京都天然記念物として保護されている。
2	善福寺川緑地およびその周辺	神通橋～西田橋、成田上橋～成園橋、杉並第二小学校前広場	公園に挟まれた善福寺川に面してソメイヨシノ、緑地内にはシラカシ、クスノキ、トチノキ、エンジュ、ユリノキ、トウカエデ等の公園樹が樹種ごとに帯状植栽され、低木もアベリア、クチナシ、コデマリ、ユキヤナギ、ツツジ等が川沿いの遊歩道両側等に植栽されている。善福寺川はオオカナダモ等が流域によく茂っていたが近年減少し、代わりにミクリ類、オモダカ類、カワヂシャ類等が見られるようになり、水質も良くなったためハグロトンボが発生するようになった。	散策型の公園で園路以外にも立入ることができるため、過度の除草や踏みなどにより昆虫相が単純化し、種類も都市型の昆虫が多い。植生の衰退や花壇の減少により吸蜜植物が不足している。	草地は草刈り頻度が高く、草丈が低く保たれている。	川端の草地にベニシジミやツバメシジミ、バツカ、カメムシ、ハゴロモ、テントウムシ類など、草地性の昆虫が多い。ただし、以前に比べ全体的に単調になっている。公園範囲の善福寺川ではオオカナダモやヤナギモ、アイノコイトモ等の沈水植物が減少し、一時期増加したハグロトンボが減少している。一方、上流側の荻窪橋周辺では水型ミクリ群落が発達し、湧水河川の植生が復活したが、周辺に十分な緑地を伴わないためハグロトンボはあまり見られない。	昭和30年代から40年代に善福寺川の水害防止を目的とした河川改修と水田埋め立てによる宅地造成工事の際に川の両岸を利用し帯状に造成した都立公園。第7次調査期間中、上流地域で公園改修工事が行われ、一部調査が不能であった。
3	善福寺公園およびその周辺	上池：ボンブ場周辺、水源～児童遊具広場、管理事務所周辺 下池：メタセコイア林、野草園、スイレン群落、旧ホテル川	池の周囲は戦後に植樹された樹木が多いが、上池周辺には僅かに雑木林が残り、コナラ、クヌギ、イヌシデ、アズマネザサ等が生育している。アジサイ、クチナシ、サツキ、アベリア等の低木の公園樹が多い。 上池の抽水植物群落は除去されてしまひ現在は見られない。下池にはマコモ、ヨシ、ガマ等が大量に移植され、水生生物の良好な生息環境となっている。	以前に比べ、落葉処理、除草、剪定等の公園管理の強化によって、昆虫類の良好な生息域が減少している。雑木林の大径木が老齢化による危険木・台風対策で伐採されている。ハンノキは保護を開始したが、手遅れの状況である。	公園周辺の屋敷林が減少している。表土の乾燥化による裸地が増大している。上池では池の護岸工事が実施され、下池では旧ホテル川を改修した「遅野井親水施設」の開設があった。	過剰な公園管理による植生の貧相化によって、経年的に昆虫相が貧弱となっている。上池では抽水植物群落の除去により、トンボ類が激減している。下池の抽水植物群落再生の効果は大きいと考えられる。下池のメタセコイアの大木群にセミ類の幼虫が多く生息し、多少残るスギにはヒグラシが発生している。夏季にはヒラタクワガタ、カブリムシ等への採集圧が見られる。吸蜜植物が不足している。水生植物や林床・林緑など、多様な植生の復活による生態系の再生が期待される。	過去、武蔵野三大湧水池のひとつとされ、区内最大の水域である。池は上池と下池に別れ、上池は古くから存在し、下池は戦時中造成された水門によって池となった。池の地下水脈は練馬区の石神井公園三宝寺池と繋がっているという。現在、水位の確保もあって玉川上水の分流、千川上水の水が流入している。戦前からの自然植生として上池北西部の一角にマコモ、ガマ、ヨシ、フトイ、ミクリ等の抽水植物群落が残り、各種トンボの生息環境となっていたが、近年、景観を損なうとの理由で全て除去され壊滅した。
4	都立農芸高校およびその周辺	第6次調査以降、調査を実施しなかった。					
5	塚山公園及びその周辺	垣根見本園～花壇、塚山池、雑木林、野球場周辺	池、花壇、生垣見本園、香りの植栽園もあって昆虫の生息に良い環境を提供している。塚山池はコイ池となり、水生植物は園芸品種の抽水植物が繁殖している。	下刈りや草刈り管理は頻繁に行われている。	第6次調査時に雑木林のアズマネザサが刈取られた。その結果、林床が明るくなり埋土種子の発芽やキンランの増加が見られたが、近年は林床の乾燥化が進行している。	公園の面積・地形・残存樹林等から、今後の方向性として生物多様性を踏まえた「環境指標公園」「平成の多様な生態園」造成が考えられる。	神田川に接し、鎌倉街道に面した縄文時代遺跡と雑木林の保全を中心とした公園。塚山池の開園当時のコンセプトは「トンボ池・水生植物生態園」であったが、数年後、多数のコイが放流され、水生植物の大半は消滅した。ある時にはピラニアが放流されたこともある。第5次調査時には、樹林地でのサバイバルゲームやツリークライミング等の過剰利用や野生植物の盗掘、落葉の腐植による池の水質悪化などによる希少植物や昆虫の消滅が心配されたが、現在はサバイバルゲームやツリークライミング等の樹林を痛める遊びは中止されている。

* 灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。

表Ⅲ-2-18 第7次調査対象地点の環境概要および管理状況(2)

地点番号	地点名	主に調査した場所	主な環境やその状態など	管理状況	最近の環境変化	主な昆虫類の生息に関する所見	備考
6	神田川周辺 (高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP高井戸レクリエーションセンター、三泉淵緑地)	高井戸駅周辺の緑地、日本郵政(JP)高井戸レクリエーションセンター、三泉淵緑地	川の両岸にはソメイヨシノの並木、アベリア、クチナシに区切られた遊歩道が整備され、道に接して近隣住民の手によると思われる四季の花壇が点在している。川沿いにJP高井戸レクリエーションセンターのグラウンドがあり、その周辺は昆虫の種類も多い。遊歩道には野鳥の糞から発芽生育したと思われるエノキ、クスノキ、アカメガシワ、クサギ等がある。昆虫の住家となっている。残存雑木林を利用した三泉淵緑地・三泉淵第二公園内に山野草園があり、現在150種類以上の植栽があつて多様な昆虫が生息している。	三鷹市井の頭池を水源とする神田川は河川改修により三面張りとなり、一時水質汚染が進んだが、現在は植樹植栽による抽水植物群が繁茂している。		三泉淵緑地の山野草園は昆虫類のホットスポットになっている。神田川の水量の減少によって水生植物が減少し、ハグロトンボが激減している。郵政グラウンドの内部はスポーツ施設で昆虫類は少ない。昆虫類はフェンス沿いの外周や下草に多いが、工事、庭園管理、草むらの消滅等により減少している。クワコ、スズメガ類幼虫、小型甲虫類、アブ、ハチ類などが生息している。多産していたユウマダラエダシヤクが消滅した。オオヒラタシデムシ、コクロシデムシ、ゴミムシ類の減少原因は乾燥化と除草と推測される。クサアリモドキ、イトウオオアリ等が記録されアリ類が多い。	第4次調査より追加した定点調査地点である。神田川上流域のビオトープ化に伴う生物相の変化を把握するために設けられた。区が掲げている「みどりの都市」水辺をよみがえらせ みどりのまちを」の基礎調査としても位置づけられている。高井戸駅近くに都営住宅建設時に伐採を免れた残存雑木林を利用した三泉淵緑地・三泉淵第二公園がある。この公園には「杉並自然友の会」の管理による山野草園がある。
7	東京女子大学善福寺キャンパス	第6次調査以降、調査を実施しなかった。					
8	柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺	未来の森21、草地広場、水生生物の池、日本庭園・疎林広場、水田と溜池	近隣には塚山公園、郵政省グラウンド、和田堀公園、善福寺緑地等の公園緑地が連なり、昆虫の生息地として区内最大のネットワークを形成している。これらに残存する雑木林は区内における動植物の宝庫であったが、植生管理が行き届かず荒廃している。	林内は下刈り管理されており、選択的な除草や立入制限などにより保護エリアがある。また、粗放的管理の場所もある。柏の宮公園には水田があり稲作が行われている。	柏の宮公園の水田は調査期間中の2019年度は改修工事が行われた。同じく水生生物の池には池水の濁りが著しくなったことや、アメリカザリガニ等の侵略的外来種排除のために、2020年2月にカマキリが取り除かれた。西側では公園拡張に伴う工事が進行している。	ブルー再利用のビオトープは、トンボの楽園となり、チョウトンボが生息しているが、池水の浄化・抽水植物の管理が必要である。壮齢化した樹木は、伐採・剪定により木切れ日が入る明るい樹林への再生および林床植生の再生が必要である。日本庭園の池は、日陰を好むトンボ池への再生が考えられる。三井の森公園は、一部の保全、ビオトープ化が考えられる。アカマツ林の周辺はショウリウオウバッタ等の生息地として保護が必要である。草地はムネアカセンコグナ等の生息地として保護が必要である。	京王井の頭線沿線は、かつては神田川と企業グラウンドの間に帯状の水田が広がり、一帯は雑木林・湧水・小川・草地・神社のある柏の宮公園として整備されていた。水辺にはホトケドジョウ、シマドジョウ、スナヤツメ、カワナ、ホタル類、アカガエル類などが生息し、雑木林内は樹液も豊富でカブトムシ、クワガタムシ類、オオムラサキ、樹上はミドリシジミ類が舞い、草地はジャノメチョウ、ツマグロキチョウ、マツムシ、カンタン、クツワムシなどが生息していた。戦後の河川改修、銀行等の買収、スポーツ施設造成により武蔵野の面影は散滅した。アカマツ林や雑木林に昔の姿が残る。
9	南荻窪4丁目域	個人宅屋上・庭園ビオトープ	大小の庭を持つ家、生け垣がある家、竹林のある家等が昆虫類の生息を支えている。周辺には太田黒公園、荻窪公園、善福寺川、中道寺、光明院、近衛邸、緑化園等がある。調査地には、昭和30年代にトンボの誘致・保全、都市空間利用をコンセプトに屋上に池を造成した住宅があり、100種以上の水生・湿生植物が植栽されている。	住宅地であるため、個々の住人や所有者によって異なる管理がなされていると推測される。	主な調査地である個人宅の屋上ビオトープは、住宅工事のため2019年秋季から一時撤去された。工事終了後は再生される予定となっている。	生息する昆虫は、植栽樹木を利用する種類が多く、覆されない表土があるので夏はセミの羽化もみられるが、スギ林の消滅でヒグラシの声は聞けない。池にはマルタンヤンマ、ヤブヤンマが飛来し、カタビロアメンボ、ヒメアメンボ等の水生昆虫も見られる。庭先等にはホルリタテハやサトキマダラヒカゲ等も生息する。	近隣住宅地は、戦前からの住宅が残り、緑の回廊を形成しているが、相続等に伴うマンション化や分譲住宅の新築などが相次ぎ、屋敷林や庭のあるような戸建て住宅が年々減少している。
10	永福3丁目域	個人邸であり、第7次調査では調査を実施しなかった。					
11	高円寺北1丁目域	個人宅の屋敷林であり、第7次調査では調査を実施しなかった。					
12	観泉寺	全域	スダジイ・クスノキ林、ケヤキ林、モウソウチク植林、ヒノキ植林がみられる。北西部には墓地の植込みなどがある。	境内は掃き清められている。林床には落ち葉が厚く積もっており、はいて集められた落ち葉が林内に大量に捨てられている場所もある。墓地周辺は管理され日当たりのよい裸地環境が保たれている。		古くからの樹木も残されており、環境的に充実しているように見えるが、全体として庭園的な管理がなされているためか、特徴的な種は少なく、住宅地でも見られるような種が多くを占めている。	

*灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。12 観泉寺は第7次において新たに調査を実施した地点。

表Ⅲ-2-19 第7次調査における調査期間

番号	主要調査地点	2018年度												2019年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
1	和田堀公園・大宮八幡およびその周辺	●		●	●	●	●	●						●	●	●	●	●							
2	善福寺川緑地およびその周辺	●		●	●	●	●	●							●	●									
3	善福寺公園およびその周辺	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●		●	●	●						
4	都立農芸高校およびその周辺																								
5	塚山公園及びその周辺	●	●	●	●	●	●	●	●									●		●					
6	神田川周辺（高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP高井戸レクリエーションセンター）	●	●	●	●	●	●	●	●								●	●		●					
7	東京女子大学 善福寺キャンパス																								
8	柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	●	●	●							
9	南荻窪4丁目域			●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
10	永福3丁目域																								
11	高円寺北1丁目域																								
12	観泉寺			●	●	●		●	●																

* 灰色の塗りつぶしは第7次において調査を実施しなかった地点。

(2) 調査結果および考察

1) 第7次調査結果

① 目別出現種類数

第7次調査において確認された昆虫類は17目189科1009種類であった。表Ⅲ-2-20に確認された昆虫類の分類別確認種類数を示した。

目別の構成をみると、チョウ目が337種類で全体の約33%を占め、次いでコウチュウ目(214種類)が約21%、カメムシ目(147種類)が約15%、ハチ目(116種類)が約12%であり、この4目で全体の約80%を占めた。

地域別で種類数を比較すると、最も種類数が多く確認されたのは、南部地域の866種類で、次いで東部地域405種類、中部地域311種類の順であった。種類数が最も少なかったのは、北部地域の90種類であった。

また、コウチュウ目、チョウ目、カメムシ目、ハチ目等の主だった分類群についても、南部地域で出現種類数が多かった。特にチョウ類で47種類、ガ類で261種類と他の地域よりも多くの種類が確認された。

表Ⅲ-2-20 第7次調査における目別地域別確認種類数

番号	目名	東部地域		西部地域		中部地域		南部地域		北部地域		全体	
		科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数
1	カゲロウ					1	2	2	2			3	4
2	トンボ	7	20	7	29	6	19	9	36	2	7	9	40
3	ゴキブリ	1	1	2	2	2	4	2	3	1	1	2	5
4	カマキリ	1	3	1	4	1	3	1	4	1	2	1	4
5	シロアリ							1	1			1	1
6	バッタ	13	24	8	15	10	21	12	35	8	8	13	42
7	ナナフシ	1	2	1	1			1	1			1	2
8	ハサミムシ	1	1	1	1			2	3			2	3
9	カジリムシ					1	1	1	1			2	2
10	カメムシ	26	61	20	47	24	54	35	122	6	11	39	147
11	ラクダムシ							1	1			1	1
12	アミメカゲロウ	2	4	2	2	2	2	3	8	1	1	3	10
13	コウチュウ	18	81	16	58	15	58	27	176	5	11	30	214
14	ハチ	13	50	9	41	10	43	19	95	7	18	22	116
15	ハエ	11	29	12	24	15	29	21	65	5	7	23	74
16	トビケラ	1	1	1	1	1	1	5	5			6	7
17	チョウ	24	128	18	76	17	74	31	308	11	24	31	337
	(チョウ類)	(5)	(42)	(5)	(42)	(5)	(41)	(5)	(47)	(5)	(16)	(5)	(52)
	(ガ類)	(19)	(86)	(13)	(34)	(12)	(33)	(26)	(261)	(6)	(8)	(26)	(285)
合計		119	405	98	301	105	311	173	866	47	90	189	1009

○カゲロウ目

3科4種類が確認された。フタバカゲロウ、シロハラコカゲロウが中部地域で確認され、アカマダラカゲロウ、シロタニガワカゲロウは南部地域で確認された。

○トンボ目

9科40種類が確認された。科別では、トンボ科が19種類で最も多く、次いでイトトンボ科が7種類であった。地域別では、東部地域で20種類、西部地域で29種類、中部地域19種類、南部地域36種類、北部地域で7種類であり、南部地域で最も多く確認された。確認例数はシオカラトンボ、アキアカネ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、オオシオカラトンボなどが多くみられた。シオカラトンボ、アキアカネ、ショウジョウトンボ、オオシオカラトンボは全5地域で、コシアキトンボは中部地域と北部地域を除く3地域で確認された。

○ゴキブリ目

クロゴキブリ、ヤマトゴキブリ、チャバネゴキブリ、モリチャバネゴキブリ、ウスヒラタゴキブリの2科5種類が確認された。ウスヒラタゴキブリは第7次調査で初めて確認されたが、人為移入の可能性が高い。

○カマキリ目

ハラビロカマキリ、コカマキリ、チョウセンカマキリ、オオカマキリの1科4種類が確認された。ハラビロカマキリとオオカマキリは全5地域で、コカマキリは北部地域を除く4地域で、チョウセンカマキリは南部地域のみで確認された。

○シロアリ目

ヤマトシロアリの1科1種類が、南部地域のみで確認された。

○バッタ目

13科42種類が確認された。科別では、バッタ科8種類、ヒバリモドキ科とキリギリス科6種類が多かった。地域別では、東部地域で24種類、西部地域で15種類、中部地域で21種類、南部地域で35種類、北部地域で8種類であり、南部地域で最も多く確認された。

確認例数は、カネタタキ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ等が多かった。カネタタキ、オンブバッタ、ショウリョウバッタは全5地域で確認された。

○ナナフシ目

ナナフシモドキ、ニホントビナナフシの1科2種類が確認され、ナナフシモドキは東部・西部・南部の3地域で、ニホントビナナフシは東部地域のみで確認された。

○ハサミムシ目

コバネハサミムシ、ヒゲジロハサミムシ、オオハサミムシの2科3種類が確認された。ヒゲジロハサミムシは東部・西部・南部の3地域で、コバネハサミムシ、オオハサミムシは南部地域のみで確認された。

○カジリムシ目

カツブシチャタテ、オオチャタテの2科2種類が確認された。カツブシチャタテは第7次調査で初めて確認された外来種である。

○カメムシ目

39科147種類が確認された。科別では、カメムシ科18種類、アブラムシ科18種類、ヘリカメムシ科12種等が多くみられた。地域別では、東部地域で61種類、西部地域で47種類、中部地域で54種類、南部地域で122種類、北部地域で11種類であり、南部地域で最も多く確認された。

確認例数が多かったアブラゼミ、ツマグロオオヨコバイ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、キマダラカメムシ、クサギカメムシは全5地域で、アメンボは北部地域を除く4地域で確認された。

○ラクダムシ目

ラクダムシの1科1種が南部地域で確認された。

○アミメカゲロウ目

3科10種類が確認された。地域別では、南部地域で8種類と最も多く、東部地域で4種類、西部地域と中部地域で4種類、北部地域で1種類が確認された。ウスバカゲロウの確認例数が多く、北部地域を除く4地域で確認された。

○コウチュウ目

30科214種類が確認された。科別では、ハムシ科37種類、コガネムシ科33種類、テントウムシ科22種類、カミキリムシ科22種類等が多かった。地域別では、東部地域で81種類、西部地域で58種類、中部地域で58種類、南部地域で176種類、北部地域で11種類であり、南部地域で最も多く確認された。確認例数は、ナミテントウ、ナナホシテントウ、カナブン、アオドウガネ、ダンドラテントウ、コクワガタ、シロテンハナムグリ等が多かった。ナミテントウ、カナブン、アオドウガネは全5地域で、残りの4種類は北部地域を除く4地域で確認された。

○ハチ目

22科116種類が確認された。科別では、アリ科で30種類、スズメバチ科で34種類等が多くみられた。地域別では、東部地域で50種類、西部地域で41種類、中部地域で43種類、南部地域で95種類、北部地域で18種類であり、南部地域で最も多く確認された。確認例数はセイヨウミツバチ、キンケハラナガツチバチ、オオスズメバチ、キムネクマバチ等が多くみられた。オオスズメバチは北部地域を除く4地域で確認され、残りの3種類は全5地域で確認された。

○ハエ目

23科74種類が確認された。科別ではハナアブ科21種類、ガガンボ科9種類等が多かった。地域別では、東部地域で21種類、西部地域で24種類、中部地域で29種類、南部地域で65種類、北部地域で7種類であり、南部地域で最も多く確認された。確認例数はアシブトハナアブ、ホソヒラタアブが多く、北部地域を除く4地域で確認された。

○チョウ目

31科337種類が確認された。そのうち、チョウ類は5科52種類で、ガ類は26科285種類であった。科別では、チョウ類ではタテハチョウ科19種類、シジミチョウ科14種類、アゲハチョウ科8種類、シロチョウ科6種類、セセリチョウ科5種類の順に多くみられた。ガ類ではヤガ科84種類、シャクガ科65種類、ツトガ科31種類等が多かった。

地域別では、チョウ類は東部地域と西部地域で各42種類、中部地域で41種類、南部地域で47種類、北部地域で16種類が確認された。ガ類は東部地域で86種類、西部地域で34種類、中部地域で33種類、南部地域で261種類、北部地域で8種類であった。チョウ類及びガ類はともに南部地域で最も多く確認された。

確認例数は、チョウ類ではヤマトシジミ、アゲハ、モンシロチョウ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、キタキチョウ、クロアゲハ、イチモンジセセリ等が多く、ガ類ではウスバフユシャク、クロテンフユシャク等が多かった。チョウ類で確認例数の多かった8種類は全5地域で確認され、ガ類の2種類は中部地域と北部地域を除く3地域で確認された。

2) 既往調査（第1次から第6次）との比較

① 目別出現傾向

表Ⅲ-2-21 に目別年次別の確認種類数を、図Ⅲ-2-5 に主な分類群について種類数の年次変化を示した。第1次から第7次までの調査で確認された種類数は、268 科 1882 種類であった。確認種類数の年次変化をみると、第1次では117 科 358 種類、第2次では119 科 477 種類、第3次では127 科 509 種類、第4次では126 科 409 種類、第5次では213 科 1095 種類、第6次では205 科 1143 種類、第7次では189 科 1009 種類であり、第5次以降に大幅に増加した。この要因として、第5次調査では「東京外かく環状道路（関越道～東名高速）」に係る既存資料^{*1}を昆虫類の把握に用いたことが挙げられる。また、第6次以降も多くの種類数が確認された要因として、第5次調査で地域の詳細な昆虫類相が把握され、これを参考に調査を行う事で精度が向上したことや、調査回数が多かったことなどが考えられる。

これまでに確認された昆虫類は、目別ではコウチュウ目が62 科 585 種類と最も多く、次いでチョウ目40 科 519 種類、カメムシ目51 科 277 種類、ハチ目30 科 198 種類、ハエ目31 科 134 種類の順に多くみられた。

第7次の確認種類数を第1次と比較すると、すべての目で種類数の増加がみられた。また第6次との比較では、チョウ目で増加がみられ、バッタ目は同数であったが、コウチュウ目等は減少した。チョウ目については、チョウ類、ガ類ともに種類数は第6次から第7次にかけて増加し、特にガ類で大きく増加した。

表Ⅲ-2-21 目別年次別の確認種類数

番号	目名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次		全体	
		科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数	科数	種類数
1	カゲロウ							1	1	4	5	1	1	3	4	5	6
2	トンボ	8	18	6	18	6	19	9	34	9	36	9	37	9	40	10	47
3	ゴキブリ	2	3	2	4	2	3	2	4	2	4	2	3	2	5	2	6
4	カマキリ	1	3	1	3	1	3	1	4	1	4	1	3	1	4	1	4
5	シロアリ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	バッタ	11	23	12	24	11	21	12	20	14	49	12	42	13	42	15	63
7	ナナフシ	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	3
8	ハサミムシ	3	3	2	3	1	1	2	4	2	4	2	3	2	3	3	5
9	カジリムシ	1	1	1	1	1	1	1	1			1	2	2	2	3	5
10	カメムシ	24	57	21	71	24	53	23	55	43	158	45	171	39	147	51	277
11	ヘビトンボ					1	1									1	1
12	ラクダムシ									1	1	1	1	1	1	1	1
13	アミメカゲロウ	1	2	2	2	2	4	2	4	4	11	2	6	3	10	4	21
14	コウチュウ	27	121	23	117	21	93	19	96	52	417	50	364	30	214	62	585
15	ハチ	6	24	10	42	9	43	12	59	21	101	18	140	22	116	30	198
16	ノミ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					1	1
17	ハエ	16	35	14	30	16	33	14	31	24	75	24	93	23	74	31	134
18	トビケラ			1	1									6	7	6	7
19	チョウ	14	65	21	157	29	231	25	93	33	226	35	275	31	337	40	519
	(チョウ類)	(5)	(37)	(5)	(37)	(5)	(42)	(5)	(39)	(5)	(53)	(5)	(49)	(5)	(52)	(35)	(455)
	(ガ類)	(9)	(28)	(16)	(120)	(24)	(189)	(20)	(54)	(28)	(173)	(30)	(226)	(26)	(285)	(5)	(64)
	合計	117	358	119	477	127	509	126	409	213	1095	205	1143	189	1009	268	1882

* むさしの自然史研究会からの資料提供の協力により、下記期間の調査記録も採用した。

第5次：2002年1月から2005年3月、2007年4月から9月（一部）

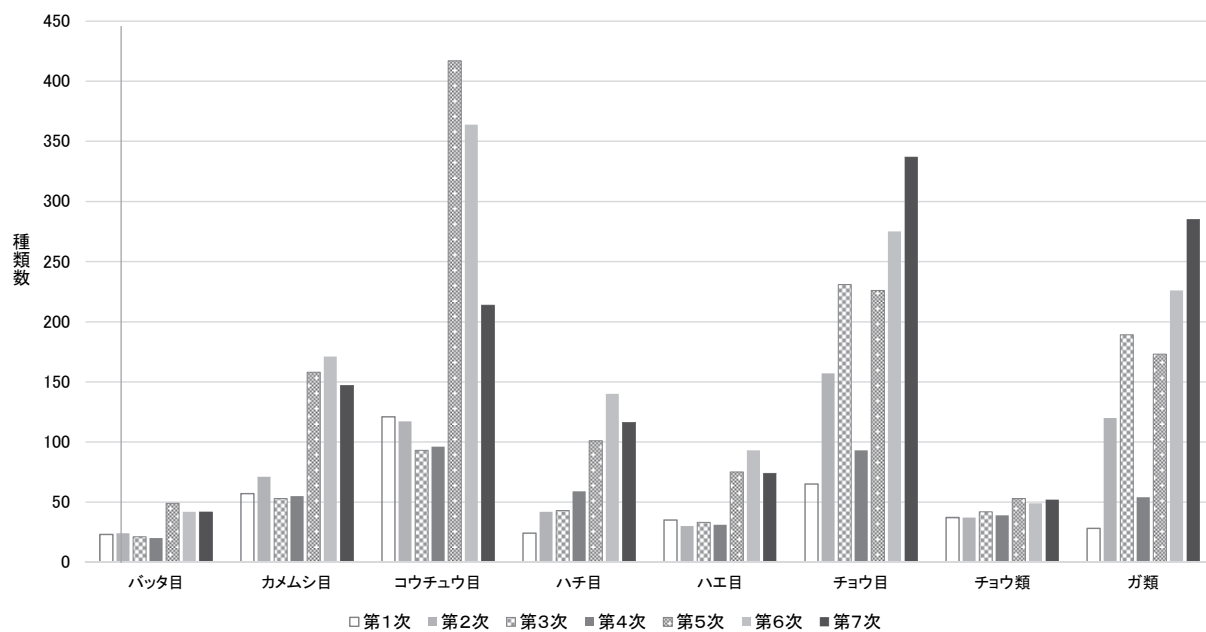
第6次：2007年4月から2012年3月

第7次：2013年1月から2018年3月

* 種類まで同定されていないものについては種類数に計上していない

* 科の変更や種の見直しがあるため、過年度の報告書とは科数、種類数の変更がある。

*1 既存資料：「東京外かく環状道路（関越道～東名高速）」環境の現地観測結果（平成17年5月） 国土交通省関東地方整備局



図Ⅲ-2-5 主な分類群の確認種類数の年次変化.

② 主な昆虫類（トンボ類、バッタ類、チョウ類）の出現傾向

i トンボ類

ア) 科別出現傾向

トンボ類の年次別の確認状況を表Ⅲ-2-22 に、第7次における地点別確認状況を表Ⅲ-2-23 示した。

トンボ類の出現種類数は、第1から第3次には18種類前後で推移していたが、第4次で34種類に増加した後も緩やかに増加し、第7次には39種類となった。モノサシトンボ、アジイトトンボ、クロイトトンボ、クロスジギンヤンマ、ギンヤンマ、オオヤマトンボ、コフキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、アキアカネの12種類は、第1次から第7次までの全期で確認された。また第7次調査で初めてヨツボシトンボが確認された。一方、第6次に初めて確認されたオツネントンボは、第7次には確認されなかった。

第7次調査結果を地点別にみると、第6次と同様に、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）で35種類と最も多く確認され、次いで地点3（善福寺公園およびその周辺）で29種類が確認された。第6次から第7次にかけて、地点8では1種類の増加、地点3では6種類の増加となった。

○アオイトトンボ科

第1次から第7次までの調査で、ホソミオツネントンボ、アオイトトンボ、オオアオイトトンボ、オツネントンボの4種類が確認された。アオイトトンボ、オオアオイトトンボは第4次から第7次まで継続して確認された。ホソミオツネントンボは第1次で確認された後、第5次から第7次にかけて確認された。オツネントンボは第6次で初めて確認されたが、第7次には確認されなかった。

第7次調査ではオオアオイトトンボは北部地域を除く4地域で確認され、アオイトトンボは西部地域と南部地域、ホソミオツネントンボは南部地域で確認された。主要調査地点からみると、アオイトトンボ科は、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）、地点3（善福寺公園およびその周辺）及び地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）の3地点で確認され、オオアオイトトンボはこの全3地点で確認された。また地点8では3種類すべてが確認された。

○カワトンボ科

ハグロトンボ1種類が、第4次から第7次にかけて継続的に確認された。

第7次調査では東部・中部・南部の3地域で確認された。主要調査地点からみると、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）、地点5（塚山公園及びその周辺）、地点6（神田川 高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP 高井戸レクリエーションセンター、以下、「神田川周辺」と略す）及び地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）の5地点で確認された。

○モノサシトンボ科

第1次から第7次までの調査で、モノサシトンボ、グンバイトンボの2種類が確認された。モノサシトンボは第1次から第7次まで継続して確認された。グンバイトンボは第4次に確認されたのみで、人為移入種と考えられる。

第7次調査では、モノサシトンボ1種類が北部地域を除く4地域で確認された。主要調査地点をみると、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認された。

○イトトンボ科

第1次から第7次までの調査で9種類が確認された。アジイトトンボ、クロイトトンボは第1次から第7次まで継続的に確認され、アオモンイトトンボは第3次から、キイトトンボは第4次から、ベニイトトンボは第5次から継続的に確認された。また第6次に初めて確認されたホソミイトトンボは、第7次にも確認された。一方、セスジイトトンボは第1次から第4次まで確認されたが、第5次以降は確認されていない。リュウキュウベニイトトンボやオオイトトンボは第4次に確認されたのみであり、リュウキュウベニイトトンボは人為移入によるものである。

第7次調査では、アオモンイトトンボとクロイトトンボは北部地域を除く4地域で確認され、アジイトトンボとベニイトトンボは西部・中部・南部の3地域、キイトトンボとホソミイトトンボは西部・南部の2地域で確認された。主要調査地点別でみると、イトトンボ科は、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認され、クロイトトンボはこのうち地点9（南荻窪4丁目域）を除く5地点で確認された。また地点3（善福寺公園およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では全6種類が確認された。

○ヤンマ科

第1次から第7次調査で5種類が確認された。クロスジギンヤンマとギンヤンマは第1次から第7次まで毎回確認され、マルタンヤンマは第2次で確認された後、第4次から第7次まで継続して確認された。ヤブヤンマは第3次以降継続して確認された。カトリヤンマは第1次で確認されたのみであった。

第7次調査では、ギンヤンマが北部地域を除く4地域、クロスジギンヤンマが西部地域を除く4地域で確認され、マルタンヤンマとヤブヤンマは西部・南部・中部の3地域で確認された。主要調査地点からみると、ヤンマ科はイトトンボ科と同様に、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認され、クロスジギンヤンマはこのうち地点3（善福寺公園およびその周辺）を除く5地点で確認された。また地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では全4種類が確認され、地点3（善福寺公園およびその周辺）と地点9（南荻窪4丁目域）では、それぞれ3種類が確認された。

○サナエトンボ科

第1次から第7次調査で、コオニヤンマ、ウチワヤンマ、オナガサナエの3種類が確認された。ウチワヤンマは第3次を除いた6期の調査で確認され、オナガサナエは第5次と第7次に確認された。コオニヤンマは第6次に初めて確認され、続けて第7次にも確認された。

第7次調査では、コオニヤンマは北部地域を除く4地域で確認され、オナガサナエは東部・中部・南部の3地域、ウチワヤンマは西部地域で確認された。主要調査地点からみると、サナエトンボ科は地点12（観泉寺）を除く7地点で確認され、コオニヤンマがこの7地点で確認された。またオナガサナエは地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）で、ウチワヤンマは地点3（善福寺公園およびその周辺）のみで確認された。

○オニヤンマ科

オニヤンマ1種類が、第2次を除き継続的に確認された。

第7次調査では南部地域の地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）のみで確認された。

○ヤマトンボ科

第1次から第7次までの調査で、オオヤマトンボ及びコヤマトンボの2種類が確認された。オオヤマトンボは第1次から継続して確認され、コヤマトンボは第4次にのみ確認された。

第7次調査では、オオヤマトンボが西部地域の地点3（善福寺公園およびその周辺）のみで確認された。

○トンボ科

第1次から第7次までの調査で19種類が確認された。コフキトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、アキアカネの6種類は第1次から継続的に確認された。ショウジョウトンボ、ナツアカネは第2次から、ノシメトンボとコノシメトンボは第3次から、ハラビロトンボ、ミヤマアカネ、リスアカネ、ネキトンボは第4次から、チョウトンボ、マユタテアカネ、マイコアカネは第5次からそれぞれ継続的に確認された。シオヤトンボは第5次と第7次に確認された。

第7次調査では、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コノシメトンボ及びアキアカネが全地域で確認され、ウスバキトンボ、コシアキトンボ及びナツアカネは北部地域を除く4地域、チョウトンボ、マユタテアカネ、マイコアカネ及びネキトンボは西部・南部の2地域、コフキトンボは西部地域、ハラビロトンボは中部地域、ヨツボシトンボ、シオヤトンボ、ミヤマアカネ及びリスアカネは南部地域で確認された。主要調査地点からみると、トンボ科は全8地点で確認され、シオカラトンボとアキアカネは全8地点で確認された。地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では最多の17種類が確認され、次いで地点3（善福寺公園およびその周辺）で14種類が確認された。

イ) 生活型別出現傾向

図Ⅲ-2-6に、トンボ類の生活型別の確認種類数を年次ごとに示した。これまでに確認されたトンボ類の生活型に着目すると、流水性のトンボ類7種類に比べ、止水性のトンボ類が39種類と多い。

止水性のトンボ類の種類数は、第1次から第3次にかけて17～18種類であったものが、第4次で29種類に増加し、さらにその後、第7次の34種類まで緩やかに増加した。第1次から第7次までの全期に確認されたモノサシトンボ、アジアイトトンボなどの12種類は、すべて止水性のトンボ類であった。

流水性のトンボ類の種類数は、第1次から第3次にかけては1種類以下であったものが、第4次に5種類に増加した後は、第7次にかけて4～5種類が確認されている。

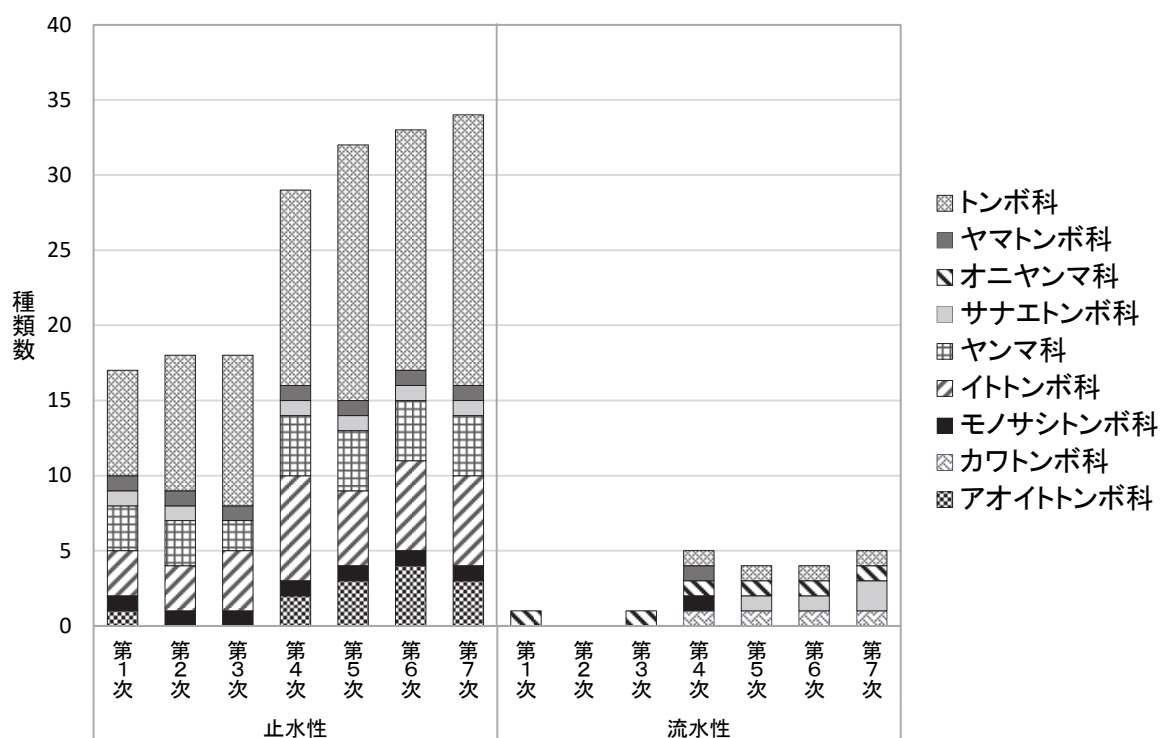
第7次調査で確認された止水性のトンボ類は34種類で、地域別内訳は南部地域で30種類、西部地域で28種類、中部地域で20種類、東部地域で15種類、北部地域で7種類であった。同様に第7次調査で確認された流水性のトンボ類は5種類で、地域別内訳は東部地域と中部地域でそれぞれ3種類（いずれもハグロトンボ、オナガサナエ、コオニヤンマ）、南部地域で5種類（ハグロトンボ、オナガサナエ、コオニヤンマ、オニヤンマ、ミヤマアカネ）、西部地域で1種類（コオニヤンマ）であった。

第7次における出現状況を主要調査地点別にみると、止水性のトンボ類は全8地点で確認された。地点3（善福寺公園およびその周辺）及び地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では、それぞれ最多の28種類が確認された一方、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）では4種類、地点12（観泉寺）では5種類と少なかった。流水性のトンボ類は、地点9（南荻窪4丁目域）及び地点12（観泉寺）を除く6地点で確認され、地点8では全5種類が確認された。

第7次調査で1地点のみで確認されたトンボ類は11種類であり、オニヤンマとミヤマアカネを除く9種類が止水性であった。11種類のうち6種類が地点8（柏の宮公園およびその周辺）で確認され、4種類は地点

3 (善福寺公園およびその周辺)、残り1種類は地点9 (南荻窪4丁目域) で確認された。これらの分布が局所的なトンボ類は、柏の宮公園周辺と善福寺公園周辺の2箇所に集中していた。

杉並区のトンボ相は区部の中ではかなり豊富なものと考えられるが、生息地や個体数が限られていることや、偶産にとどまっているものが多いことは、区内の水辺環境の質や多様性が全体として限られていることを示していると考えられる。一方、柏の宮公園のように積極的な水辺環境の整備を行っている場所では多様なトンボ相が創出されている例も見られる。トンボ類の生息には水域だけでなく、成虫期に利用する周辺の緑地の存在が必要不可欠であり、種類によってそれらの好みが異なることから、周辺を含めた多様な水辺環境を創出することがトンボ相の多様化につながる。柏の宮公園の例からも、区内の他所でも適切な創出と管理を行うことにより相応の効果が期待される。具体的な対策として、止水性種に対しては多様な水生植物の繁茂する水辺の創出、流水性種に対しては大雨による急激な増水の影響を受けない水路の整備などが挙げられる。またトンボ類はアメリカザリガニなどの水辺の侵略的な外来生物による負の影響を大きく受けることから、これらの影響の回避や低減化を図ることも、多様なトンボ相を創出し維持する上できわめて重要である。



図Ⅲ-2-6 トンボ類の生活型別確認種類数の年次変化

表Ⅲ-2-22 トンボ類の生活型別年次別確認状況

科	和名	生活型		調査年次							備考
		流水性	止水性	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
アオイトトンボ	ホソミオツネイトンボ		●	○				○	○	○	偶産
	アオイトトンボ		●				○	○	○	○	
	オオアオイトトンボ		●				○	○	○	○	
	オツネイトンボ		●						○		偶産
カワトンボ	ハグロトンボ	●					○	○	○	○	
モノサシトンボ	モノサシトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	グンバイトンボ	●					○				人為移入
イトトンボ	ホソミイトトンボ		●						○	○	
	リュウキュウベニイトトンボ		●				○				人為移入
	キイトトンボ		●				○	○	○	○	
	ベニイトトンボ		●					○	○	○	
	アジアイトトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	アオモンイトトンボ		●			○	○	○	○	○	
	クロイトトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	セスジイトトンボ		●	○	○	○	○				
	オオイトトンボ		●				○				
ヤンマ	マルタンヤンマ		●		○		○	○	○	○	
	クロスジギンヤンマ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	ギンヤンマ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	ヤブヤンマ		●				○	○	○	○	
	カトリヤンマ		●	○							偶産
サナエトンボ	コオニヤンマ	●							○	○	偶産
	ウチワヤンマ		●	○	○		○	○	○	○	
	オナガサナエ	●						○		○	偶産
オニヤンマ	オニヤンマ	●		○		○	○	○	○	○	偶産
ヤマトンボ	オオヤマトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	コヤマトンボ	●					○				偶産
トンボ	ショウジョウトンボ		●		○	○	○	○	○	○	
	コフキトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	ヨツボシトンボ		●							○	偶産
	ハラビロトンボ		●				○	○	○	○	偶産
	シオカラトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	シオヤトンボ		●					○		○	偶産
	オオシオカラトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	ウスバキトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	コシアキトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	チョウトンボ		●		○			○	○	○	
	コノシメトンボ		●			○	○	○	○	○	
	ナツアカネ		●		○	○	○	○	○	○	
	マユタテアカネ		●					○	○	○	
	アキアカネ		●	○	○	○	○	○	○	○	
	ノシメトンボ		●	○		○	○	○	○	○	
	マイコアカネ		●					○	○	○	
	ミヤマアカネ	●					○	○	○	○	偶産
	リスアカネ		●				○	○	○	○	
	ネキトンボ		●				○	○	○	○	
9科	46種	7	39	18	18	19	34	36	37	39	-

* 外来種：国立環境研究所の侵入生物データベースに示されている昆虫類。

* 偶産：区内では時折記録されるが定着していないと考えられる種類。一時的な発生がみられる種類も含む。
自然分散等による偶産か人為移入のどちらか不明な場合もここに含めた。

* 人為移入：意図的・否意図的を問わず、明らかに人為による分布と考えられる種類。上記データベースに記述のない外来種も含む。

表Ⅲ-2-23 第7次調査におけるトンボ類の生活型別調査地点別確認状況

科	和名	生活型		主要調査地点*1								その他 地域	備考
		流水性	止水性	1	2	3	5	6	8	9	12		
アオイイトンボ	ホソミオツネイトンボ		●						○				偶産
	アオイイトンボ		●			○			○				
	オオアオイイトンボ		●	○		○			○				
カワトンボ	ハグロトンボ	●		○	○		○	○	○			○	
モノサシトンボ	モノサシトンボ		●	○		○	○	○	○	○			
イトンボ	ホソミイトンボ		●			○			○				
	キイトンボ		●			○	○	○	○				
	ベニイトンボ		●			○			○	○			
	アオモンイトンボ		●	○		○			○	○			
	アジアイトンボ		●			○			○	○		○	
	クロイトンボ		●	○		○		○	○			○	
ヤンマ	マルタンヤンマ		●			○			○	○			
	ギンヤンマ		●	○		○		○	○				
	クロスジギンヤンマ		●	○			○	○	○	○		○	
	ヤブヤンマ		●			○			○	○			
サナエトンボ	オナガサナエ	●		○					○				偶産
	コオニヤンマ	●		○	○	○	○	○	○	○		○	偶産
	ウチワヤンマ		●			○							
オニヤンマ	オニヤンマ	●							○				偶産
ヤマトンボ	オオヤマトンボ		●			○							
トンボ	ショウジョウトンボ		●	○	○	○	○		○	○	○	○	
	コフキトンボ		●			○							
	ヨツボシトンボ		●						○				偶産
	ハラビロトンボ		●							○			偶産
	シオカラトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	シオヤトンボ		●						○				偶産
	オオシオカラトンボ		●	○		○	○	○	○	○	○	○	
	ウスバキトンボ		●	○	○	○	○	○	○	○		○	
	コシアキトンボ		●	○		○	○	○	○			○	
	チョウトンボ		●			○			○				
	コノシメトンボ		●	○		○	○		○	○	○	○	
	ナツアカネ		●	○		○	○		○				
	マユタテアカネ		●			○		○	○				
	アキアカネ		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ノシメトンボ		●	○		○			○			○	
	マイコアカネ		●			○			○				
	ミヤマアカネ	●							○				偶産
	リスアカネ		●						○				
	ネキトンボ		●			○			○				
9科	39種	5	34	18	6	29	13	13	35	15	5	13	-

*1 主要調査地点

- 1：和田堀公園・大宮八幡およびその周辺 2：善福寺川緑地およびその周辺 3：善福寺公園およびその周辺
 5：塚山公園及びその周辺 6：神田川周辺（高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP 高井戸レクリエーションセンター）
 8：柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺 9：南荻窪4丁目域 12：観泉寺

ii バッタ類

ア) 科別出現傾向

バッタ類の年次別の確認状況を表Ⅲ-2-24に、第7次調査における地点別確認状況を表Ⅲ-2-25示した。種類数の経時的な変化をみると、第4次までは20種類台で推移し、第5次に49種類に増加した後は、第7次にかけて40種類台前半が続いている。カマドウマ、クビキリギス、セスジツユムシ、エンマコオロギ、ツヅレサセコオロギ、アオマツムシ、カネタタキ、ハラヒシバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ（エゾイナゴ）、ショウリョウバッタの11種類は、第1次から第7次の全期で確認された。一方、クラズミウマ、ヒガシキリギリス、カヤヒバリ、ヒゲシロスズ、トゲヒシバッタ、ハネナガヒシバッタの6種類は第7次調査で初めて確認された。

第7次調査においてバッタ類は全8地点で確認され、主要調査地点別の出現種類数は、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）で最多の33種類、次いで地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）で28種類、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）で19種類の順に多く確認された。第6次と比べると、地点8では1種類増え、地点1では1種類減少し、地点2では5種類減少した。

○コロギス科

ハネナシコロギス1種類が第4次に確認された。

○カマドウマ科

第1次から第7次までの調査で、カマドウマとクラズミウマの2種類が確認された。カマドウマは第1次から第7次にかけて継続的に確認され、クラズミウマは第7次に初めて確認された。マダラカマドウマは第2次に確認された後、第4次から第6次まで確認されたが、第7次には確認されなかった。

第7次調査では、クラズミウマが東部・南部・中部の3地域で確認され、カマドウマは南部・中部の2地域で確認された。主要調査地点からみると、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）ではクラズミウマ1種類、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではカマドウマとクラズミウマの2種類、さらに地点9（南荻窪4丁目域）でカマドウマ1種類が確認された。

○キリギリス科

第1次から第7次までの調査で13種類が確認され、第7次にはこのうち6種類が確認された。クビキリギスは第1次から第7次まで継続的に確認された。また、ヤブキリ、ウスイロササキリ、ホシササキリ、ハヤシノウマオイは第5次から第7次にかけて継続的に確認された。ヒガシキリギリスは第7次に初めて確認されたが、人為移入と考えられる。クサキリ、ササキリ及びハタケノウマオイは第6次以前に複数回確認されたが、第7次には確認されなかった。ヒメギス、カヤキリ、ヒメクサキリ、オナガササキリは第5次以前に1期のみ確認されている。

第7次調査では、クビキリギスとウスイロササキリが北部地域を除く4地域で確認された。またヤブキリは東部・南部・中部の3地域、ヒガシキリギリスとハヤシノウマオイは東部・中部の2地域、ホシササキリは南部地域のみで確認された。主要調査地点からみると、キリギリス科は地点12（観音寺）を除く7地点で確認され、この全地点でクビキリギスが確認された。地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）では最多の5種類が確認され、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではそれぞれ4種類が確認された。

○クツワムシ科

クツワムシ1種類が第5次に確認された。本種は人為的に移入されたものと考えられる。

○ツユムシ科

第1次から第7次までの調査で5種類が確認され、第7次にはこのうち3種類が確認された。セスジツユムシは第1次から第7次にかけて継続的に確認され、サトクダマキモドキは第4次から第7次にかけて、またツユムシは第5次から第7次にかけて、それぞれ継続的に確認された。アシグロツユムシは第5次から第6次にかけて、またヘリグロツユムシは第5次に確認されたが、いずれも第7次には確認されなかった。

第7次調査では、サトクダマキモドキとツユムシが東部・南部・中部の3地域で確認され、セスジツユムシは西部・中部の2地域で確認された。主要調査地点からみると、ツユムシ科は4地点で確認された。地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）で全3種類、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）ではサトクダマキモドキとツユムシの2種類、地点6（神田川周辺）ではセスジツユムシとツユムシの2種類、地点3（善福寺公園およびその周辺）ではセスジツユムシのみが確認された。

○コオロギ科

第1次から第7次までの調査で6種類が確認され、第7次にはこのうち5種類が確認された。エンマコオロギとツヅレサセコオロギは第1次から第7次にかけて継続的に確認された。また、ハラオカメコオロギとミツカドコオロギは第1次から第7次にかけてそれぞれ6期確認され、モリオカメコオロギは第6次と第7次に確認された。ヒメコオロギは第5次にのみ確認された。

第7次調査では、ツヅレサセコオロギは全5地域で確認され、エンマコオロギとモリオカメコオロギは北部地域を除く4地域で確認された。また、ハラオカメコオロギは西部・南部の2地域、ミツカドコオロギは東部・中部の2地域で確認された。主要調査地点からみると、コオロギ科は地点5（塚山公園及びその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認された。ツヅレサセコオロギはこの6地点すべてで確認され、エンマコウロギは5地点で確認された。地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではそれぞれ4種類が確認され、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点3（善福寺公園およびその周辺）ではそれぞれ3種類が確認された。また地点6（神田川周辺）ではエンマコオロギとツヅレサセコオロギの2種類、地点9（南荻窪4丁目域）ではツヅレサセコウロギ1種類が確認された。

○マツムシ科

第1次から第7次までの調査で5種類が確認され、第7次にはこのうち3種類が確認された。外来種であるアオマツムシは第1次から第7次にかけて継続的に確認された。カンタンは第4次を除いて毎回、ヒロバネカンタンは第5次以降継続的に確認された。カヤコオロギは第1次と第2次に確認され、人為移入によると考えられるスズムシは第5次にのみ確認された。

第7次調査では、アオマツムシは全5地域で確認され、ヒロバネカンタンは東部・中部の2地域、カンタンは南部地域のみで確認された。主要調査地点をみると、マツムシ科は全8地点で確認され、アオマツムシが全地点で確認された。地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）ではアオマツムシとヒロバネカンタンの2種類、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではアオマツムシとカンタンの2種類が確認され、残りの6地点ではアオマツムシ1種類が確認された。

○ヒバリモドキ科

第1次から第7次までの調査で9種類が確認され、第7次にはこのうち6種類が確認された。マダラスズは第3次を除き、またシバスズは第4次を除き毎回確認された。ウスグモスズとキンヒバリは第5次以降継続的に確認され、カヤヒバリとヒゲシロスズは第7次に初めて確認された。クサヒバリは第2次から第6次までの間に4期確認され、キアシヒバリモドキとハマスズは第5次にのみ確認された。

第7次調査では、マダラスズが全5地域で確認され、シバスズは北部地域を除く4地域で確認された。またキンヒバリは西部・南部の2地域、カヤヒバリは東部・南部の2地域、ウスグモスズとヒゲシロスズは南部地域で確認された。主要調査地点からみると、ヒバリモドキ科は地点5（塚山公園及びその周辺）、地点9（南荻窪4丁目域）及び地点12（観音寺）を除く5地点で確認された。マダラスズはこの5地点すべてで確認され、シバスズは4地点で確認された。地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では全6種類が確認され、地点3（善福寺公園およびその周辺）ではキンヒバリ、マダラスズ、シバスズの3種類が確認された。また地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点2（善福寺川緑地およびその周辺）では、いずれもマダラスズとシバスズの2種類が確認され、地点6（神田川周辺）ではマダラスズ1種類が確認された。

○カネタタキ科

第1次から第7次までの調査で、カネタタキ1種類が継続的に確認された。

第7次調査では全5地域で確認された。主要調査地点からみても、全8地点で確認された。

○アリツカコオロギ科

第1次から第7次までの調査で2種類が確認された。アリツカコオロギは第5次と第7次に確認され、テラニシアリツカコオロギは第5次にのみ確認された。

第7次調査では、アリツカコオロギは東部・中部の2地域、主要調査地点では地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）において確認された。

○ケラ科

第1次から第7次までの調査で、ケラ1種類が第4次を除き毎回確認された。

第7次調査では東部・南部・中部の3地域、主要調査地点では地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点6（神田川周辺）において確認された。

○ノミバツタ科

第1次から第7次までの調査で、ノミバツタ1種類が第2次および第4次から第7次にかけて継続的に確認された。

第7次調査では西部地域を除く4地域、主要調査地点では地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）において確認された。

○ヒシバツタ科

第1次から第7次までの調査で4種類が確認され、第7次には全4種類が確認された。ハラヒシバツタは第1次から第7次まで継続的に確認され、コバネヒシバツタは第5次以降継続的に確認された。また、トゲヒシバツタとハネナガヒシバツタは第7次に初めて確認された。

第7次調査では、ハラヒシバッタは西部地域を除く4地域で確認され、ハネナガヒシバッタは東部・中部の2地域で、トゲヒシバッタとコバネヒシバッタは南部地域で確認された。主要調査地点からみると、ヒシバッタ科は地点3（善福寺公園およびその周辺）、地点5（塚山公園及びその周辺）及び地点6（神田川周辺）を除く5地点で確認された。ハラヒシバッタはこの5地点すべてで確認された。地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではトゲヒシバッタ、コバネヒシバッタ、ハラヒシバッタの3種類が確認され、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）ではハネナガヒシバッタとハラヒシバッタの2種類が確認された。地点2（善福寺川緑地およびその周辺）、地点9（南荻窪4丁目域）及び地点12（観泉寺）ではハラヒシバッタ1種類が確認された。

○オンブバッタ科

第1次から第7次までの調査で、オンブバッタ1種類が毎回確認された。

第7次調査では全5地域で確認された。主要調査地点からみても、全8地点で確認された。

○バッタ科

第1次から第7次までの調査で10種類が確認され、第7次にはこのうち8種類が確認された。コバネイナゴとショウリョウバッタは第1次から第7次まで継続的に確認された。ツチイナゴとトノサマバッタは第1次と第4次を除き毎回確認され、ショウリョウバッタモドキは第4次以降、またクルマバッタモドキとイボバッタは第5次以降継続的に確認されている。マダラバッタは第6次と第7次に確認された。ハネナガイナゴは第1次から第6次にかけて3期確認されたが、第7次には確認されなかった。クルマバッタは第1次のみ確認された。

第7次調査では、ショウリョウバッタが全5地域で確認され、コバネイナゴは北部地域を除く4地域で確認された。また、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ及びイボバッタは東部・南部・中部の3地域、マダラバッタは東部・南部の2地域で確認され、ツチイナゴは中部地域のみ、ショウリョウバッタモドキは南部地域のみで確認された。主要調査地点からみると、バッタ科は地点5（塚山公園及びその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認され、ショウリョウバッタはこの全地点で確認された。地点2（善福寺川緑地およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではそれぞれ6種類ずつ確認され、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）では5種類が確認された。また地点6（神田川周辺）で4種類、地点9（南荻窪4丁目域）で3種類、地点3（善福寺公園およびその周辺）では2種類が確認された。

イ) 生息環境別出現傾向

これまでに確認されたバッタ類の生息環境別の種類数は、樹林域が13種類、草地域が53種類、路傍域が10種類であり、草地域に生息するバッタ類が多い（表Ⅲ-2-24）。これらのバッタ類の生息環境別の確認種類数を年次ごとに図Ⅲ-2-7に示した。

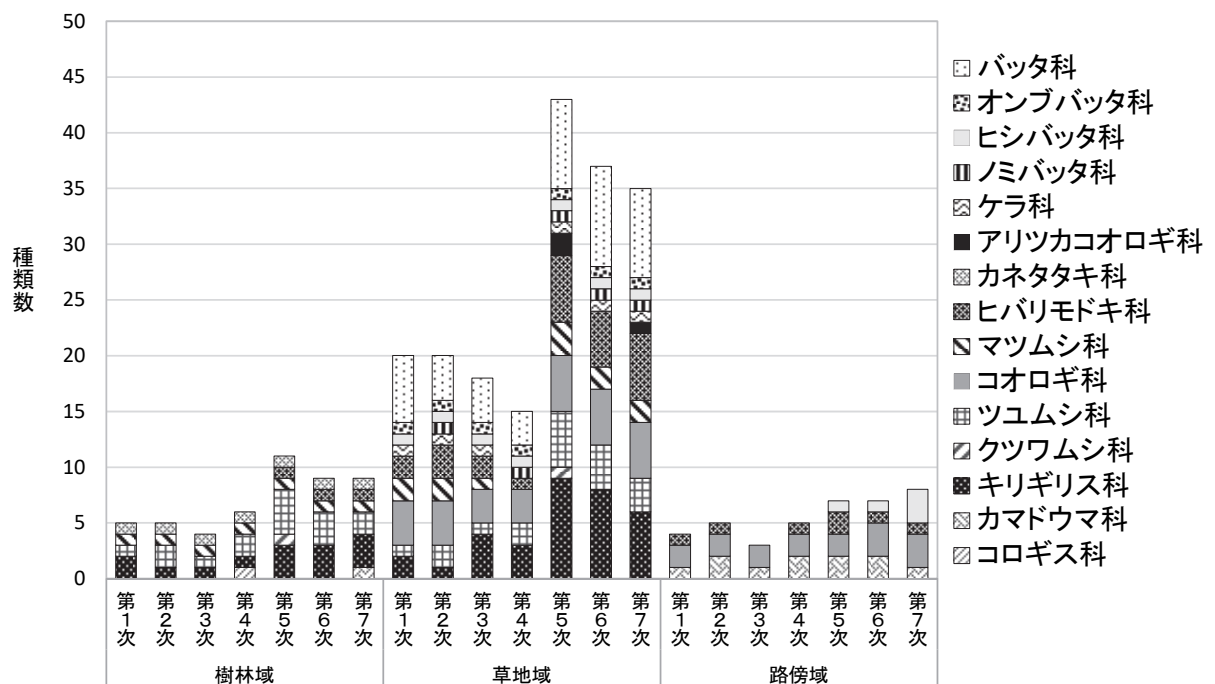
草地域に生息するバッタ類の種類数は、第1次と第2次にそれぞれ20種類、第3次から第4次にかけて15種類まで減少した後、第5次に43種類に大きく増加し、その後は第7次にかけて35種類まで減少した。路傍域に生息するバッタ類は、第1次から第4次まで5種類以下であったが、第5次から第7次にかけて8種類まで増加した。樹林域に生息するバッタ類は、第1次から第4次まで4～6種類であったが、第5次に11種類に増加した後、第6次と第7次には9種類であった。いずれの種類群においても、第4次から第5次にかけて種類数の増加がみられ、中でも草地域のバッタ類において特に大きな増加がみられた。

全7回の調査で毎回確認されたバッタ類11種類のうち9種類が草地域や路傍域に生息する種類であり、樹林域に生息するバッタ類は4種類（うち樹林域のみに生息するものはアオマツムシ、カネタタキの2種類）であった（表Ⅲ-2-24）。このように、区内に定着していると考えられるバッタ類は、主に草地域や路傍域に生息するバッタ類であった。

第7次調査で確認された42種類のうち、全5地域で確認されたバッタ類は5種類であり、そのうち4種類（ツツレサセコオロギ、マダラスズ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ）が草地域や路傍域に生息するバッタ類であったのに対し、樹林域に生息するバッタ類は生垣や小規模な植え込みなどにも生息するカネタタキ1種類であった（表Ⅲ-2-25）。

主要調査地点別にみると、樹林域及び草地域に生息するバッタ類は、いずれも全8地点で確認された一方、路傍域に生息するバッタ類は、地点5（塚山公園及びその周辺）と地点12（観泉寺）を除く6地点で確認された。地点5と地点12では、路傍域に生息するバッタ類がみられないだけでなく、樹林域及び草地域に生息するバッタ類の種類数も少なかった（表Ⅲ-2-25）。反対に、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では、いずれのタイプの種類数も多く、杉並区においては、これらの公園等の緑地がバッタ類のコアエリアとなっていると考えられる。

第7次に1地点のみで確認されたバッタ類は13種類であり、その内訳は草地性が10種類、路傍性が3種類、樹林・草地性が2種類であった。これらのうち地点2（善福寺川緑地およびその周辺）で確認されたツチイナゴを除く12種類は地点1（6種類）と地点8（10種類）で確認されており、この点でもこれらの緑地は際立っていることから、これらの地点をはじめとして、区内の公園緑地においてバッタ類の生態に配慮した植生管理等の実施が望まれる。具体的にはヤブキリやサトクダマキモドキのように樹林環境の樹上や林縁に生息する種も確認されていることから、樹林～林縁～草地といった環境の移行帯（エコトーン）の積極的な維持や創出を行うことも、多様なバッタ相を維持する上で重要と考えられる。なお、第7次調査でも意図的な放虫に起因すると判断される種が確認されており、在来種相および生態系の維持の面から憂慮される。



図Ⅲ-2-7 バッタ類の生息環境別確認種類数の年次変化

表Ⅲ-2-24 バッタ類の生息環境別年次別確認状況

科名	和名	生息環境			調査年次							備考
		樹林域	草地域	路傍域	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
コロギス	ハネナシコロギス	●						○				
カマドウマ	カマドウマ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	クラズミウマ	●									○	
	マダラカマドウマ			●		○		○	○	○		
キリギリス	ヒメギス		●				○					
	ヤブキリ	●	●						○	○	○	
	クビキリギリス	●	●		○	○	○	○	○	○	○	
	カヤキリ		●						○			人為移入
	ヒメクサキリ		●					○				
	クサキリ		●						○	○		
	オナガササキリ		●				○					偶産
	ウスイロササキリ		●						○	○	○	
	ヒガシキリギリス		●								○	人為移入
	ホシササキリ		●						○	○	○	偶産
	ササキリ		●				○		○	○		偶産
	ハヤシノウマオイ	●	●		○				○	○	○	
	ハタケノウマオイ		●					○	○	○		
クツワムシ	クツワムシ	●	●						○			人為移入
ツユムシ	セスジツユムシ	●	●		○	○	○	○	○	○	○	
	サトクダマキモドキ	●	●			○		○	○	○	○	
	ツユムシ		●						○	○	○	
	アシグロツユムシ	●	●						○	○		偶産
	ヘリグロツユムシ	●	●						○			偶産
コオロギ	エンマコオロギ		●	●	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒメコオロギ		●						○			
	ハラオカメコオロギ		●		○	○		○	○	○	○	
	ミツカドコオロギ		●		○	○	○		○	○	○	
	モリオカメコオロギ		●	●						○	○	
	ツツレサセコオロギ		●	●	○	○	○	○	○	○	○	
マツムシ	アオマツムシ	●			○	○	○	○	○	○	○	外来種
	カヤコオロギ		●		○	○						偶産
	スズムシ		●						○			人為移入
	ヒロバネカンタン		●						○	○	○	
	カンタン		●		○	○	○		○	○	○	
ヒバリモドキ	ウスグモスズ	●	●						○	○	○	
	キンヒバリ		●						○	○	○	偶産
	カヤヒバリ		●								○	偶産
	マダラスズ		●	●	○	○		○	○	○	○	
	ヒゲシロスズ		●								○	偶産
	クサヒバリ		●			○	○		○	○		
	キアシヒバリモドキ		●						○			
	ハマスズ			●					○			偶産
	シバスズ		●		○	○	○		○	○	○	
カネタタキ	カネタタキ	●			○	○	○	○	○	○	○	
アリツカコオロギ	アリツカコオロギ		●						○		○	
	テラニシアリツカコオロギ		●						○			
ケラ	ケラ		●		○	○	○		○	○	○	
ノミバッタ	ノミバッタ		●			○		○	○	○	○	
ヒシバッタ	トゲヒシバッタ			●							○	
	ハネナガヒシバッタ			●							○	
	コバネヒシバッタ			●					○	○	○	
	ハラヒシバッタ		●		○	○	○	○	○	○	○	
オンブバッタ	オンブバッタ		●		○	○	○	○	○	○	○	
バッタ	ツチイナゴ		●			○	○		○	○	○	
	ハネナガイナゴ		●		○				○	○		偶産
	コバネイナゴ(エゾイナゴ)		●		○	○	○	○	○	○	○	
	ショウリョウバッタ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	ショウリョウバッタモドキ		●					○	○	○	○	
	マダラバッタ		●							○	○	
	クルマバッタ		●		○							
	トノサマバッタ		●			○	○		○	○	○	偶産
	クルマバッタモドキ		●		○				○	○	○	
	イボバッタ		●		○				○	○	○	
15科	63種	13	53	10	23	24	21	20	49	42	42	-

外来種 : 国立環境研究所の侵入生物データベースに示されている昆虫類。

偶産 : 区内では時折記録されるが定着していないと考えられる種類。一時的な発生がみられる種類も含む。

自然分散等による偶産か人為移入のどちらか不明な場合もここに含めた。

人為移入: 意図的・否意図的を問わず、明らかに人為による分布と考えられる種類。上記データベースに記述のない外来種も含む。

表Ⅲ-2-25 第7次調査におけるバッタ類の生息環境別調査地点別確認状況

科	和名	生息環境			主要調査地点*1								その他 地域	備考
		樹林域	草地域	路傍域	1	2	3	5	6	8	9	12		
カマドウマ	カマドウマ			●						○	○			
	クラズミウマ	●			○					○				
キリギリス	ヤブキリ	●	●		○	○				○				
	クビキリギリス	●	●		○	○	○	○	○	○	○		○	
	ホシササキリ		●							○				偶産
	ウスイロササキリ		●		○	○	○			○				
	ヒガシキリギリス		●		○	○								人為移入
	ハヤシノウマオイ	●	●		○									
ツユムシ	セスジツユムシ	●	●				○		○	○				
	サトクダマキモドキ	●	●		○					○			○	
	ツユムシ		●		○				○	○				
コオロギ	エンマコオロギ		●	●	○	○	○		○	○			○	
	ハラオカメコオロギ		●							○			○	
	モリオカメコオロギ		●	●	○	○	○			○				
	ミツカドコオロギ		●		○									
	ツツレサセコオロギ		●	●	○	○	○		○	○	○		○	
マツムシ	アオマツムシ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来種
	ヒロバネカントン		●		○									偶産
	カントン		●							○				
ヒバリモドキ	ウスグモスズ	●	●							○				
	キンヒバリ		●				○			○				偶産
	カヤヒバリ		●							○			○	偶産
	マダラスズ		●	●	○	○	○		○	○			○	
	ヒゲシロスズ		●							○				偶産
	シバスズ		●		○	○	○			○			○	
カネタタキ	カネタタキ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アリツカコオロギ	アリツカコオロギ		●		○									
ケラ	ケラ		●		○				○				○	
ノミバッタ	ノミバッタ		●		○					○			○	
ヒシバッタ	トゲヒシバッタ			●						○				
	ハネナガヒシバッタ			●	○									
	コバネヒシバッタ			●						○				
	ハラヒシバッタ		●		○	○				○	○	○	○	
オンブバッタ	オンブバッタ		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バッタ	ツチイナゴ		●			○								
	コバネイナゴ(エゾイナゴ)		●		○	○	○			○	○			
	ショウリョウバッタ		●		○	○	○		○	○	○		○	
	ショウリョウバッタモドキ		●							○				
	マダラバッタ		●							○			○	
	トノサマバッタ		●		○	○			○		○		○	偶産
	クルマバッタモドキ		●		○	○			○	○			○	
	イボバッタ		●		○	○			○	○				
13科	42種	9	35	8	28	19	14	4	14	33	10	4	18	-

*1 主要調査地点

- 1：和田堀公園・大宮八幡およびその周辺 2：善福寺川緑地およびその周辺 3：善福寺公園およびその周辺
5：塚山公園及びその周辺 6：神田川周辺（高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP 高井戸レクリエーションセンター）
8：柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺 9：南荻窪4丁目域 12：観音寺

iii チョウ類

ア) 科別出現傾向

チョウ類の年次別の確認状況を表Ⅲ-2-26 に、第7次調査における地点別確認状況を表Ⅲ-2-27 示す。チョウ類の確認種類数は、第4次以前は40種類前後で推移し、第5次に53種類に増加した後、第6次に49種類に減少したが、第7次には52種類に回復した。前回第6次までと同様の、イチモンジセセリ、クロアゲハ、アゲハ、アオスジアゲハ、キタキチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ゴマダラチョウ、ヒメジャノメ等の27種類が、第1次から第7次まで継続的に確認された。また、ツマグロキチョウ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミの3種類が第7次調査で初めて確認された。第7次の主要調査地点からみると、チョウ類は全8地点で確認され、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）で最多の47種類、地点12（観音寺）で最少の16種類が確認された。

○セセリチョウ科

第1次から第7次までの調査で7種類が確認された。ダイミョウセセリ、イチモンジセセリは第1次から、キマダラセセリは第2次から、チャバネセセリは第3次から、アオバセセリは第6次から、それぞれ第7次まで継続的に確認された。一方、コチャバネセセリは第2次以前、オオチャバネセセリは第4次以前に確認され、第7次には確認されなかった。

第7次調査では、イチモンジセセリとチャバネセセリは全5地域で確認され、キマダラセセリは北部地域を除く4地域で確認された。また、ダイミョウセセリは西部・南部、アオバセセリは東部・中部の2地域で確認された。主要調査地点をみると、イチモンジセセリとチャバネセセリが全8地点で確認され、アオバセセリは地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）のみで確認された。また地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）、地点2（善福寺川緑地およびその周辺）、地点5（塚山公園及びその周辺）及び地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）でそれぞれ4種類が確認された。

○アゲハチョウ科

第1次から第7次までの調査で9種類が確認された。クロアゲハ、アゲハ、キアゲハ、カラスアゲハ、アオスジアゲハは第1次から、ジャコウアゲハとモンキアゲハは第2次から、ナガサキアゲハは第5次から、それぞれ第7次まで継続的に確認された。第6次調査で初めて確認されたホソオチョウは第7次には確認されなかった。

第7次調査では、アゲハ、クロアゲハ及びアオスジアゲハが全5地域で確認された。またジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、キアゲハ及びカラスアゲハは北部地域を除く4地域で確認され、モンキアゲハは東部・西部・中部の3地域で確認された。主要調査地点をみると、アゲハ、クロアゲハ及びアオスジアゲハが全9地点で確認され、モンキアゲハは地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点3（善福寺公園およびその周辺）の2地点で確認された。地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点3（善福寺公園およびその周辺）では全8種類が確認され、地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）と地点9（南荻窪4丁目域）ではモンキアゲハを除く7種類が確認された。一方、地点12（観音寺）では3種類と少なかった。

○シロチョウ科

第1次から第7次までの調査で6種類が確認された。キタキチョウ、モンキチョウ、ツマキチョウ、スジグロシロチョウ及びモンシロチョウの5種類が、第1次から第7次まで継続的に確認され、ツマグロキチョウ

ウは第7次に初めて確認された。

第7次調査では、キタキチョウとモンシロチョウが全5地域で確認され、モンキチョウ、ツマキチョウ及びスジグロシロチョウは北部地域を除く4地域で確認された。またツマグロキチョウは南部地域のみで確認された。主要調査地点をみると、キタキチョウとモンシロチョウが全8地点で確認され、ツマグロキチョウは地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）のみで確認された。地点8では全6種類が確認され、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）及び地点9（南荻窪4丁目域）ではツマグロキチョウを除く5種類がそれぞれ確認された。地点2（善福寺川緑地およびその周辺）、地点3（善福寺公園およびその周辺）、地点5（塚山公園およびその周辺）及び地点6（神田川周辺）ではそれぞれ4種類が確認され、地点12（観泉寺）では2種類のみが確認された。

○シジミチョウ科

第1次から第7次までの調査で14種類が確認された。ウラギンシジミ、ベニシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ウラナミシジミ及びヤマトシジミは第1次から第7時まで継続的に確認された。ミズイロオナガシジミは第3次、またトラフシジミは第4次を除き、第7次まで継続的に確認された。ムラサキシジミは第3次から、アカシジミは第4次から、ムラサキツバメは第5次からそれぞれ第7次まで継続的に確認された。ゴイシシジミは第1次から第3次まで確認された後長らく確認されず、第7次に再び確認された。ウラナミアカシジミとオオミドリシジミ第7次に初めて確認された。

第7次調査では、ウラギンシジミ、ウラナミシジミ及びヤマトシジミが全5地域で確認され、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、ベニシジミ、ルリシジミの6種類は北部地域を除く4地域で確認された。またウラナミアカシジミとツバメシジミは東部・南部・中部の3地域で確認され、トラフシジミは東部・中部の2地域、ゴイシシジミは南部地域、オオミドリシジミは西部地域で確認された。主要調査地点をみると、ヤマトシジミが全8地点で確認された一方、ゴイシシジミ、オオミドリシジミ及びトラフシジミはそれぞれ1地点のみで確認された。また地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）と地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では最多の12種類が確認され、地点3（善福寺公園およびその周辺）では10種類が確認された。反対に、地点5（塚山公園およびその周辺）と地点12（観泉寺）では最少の3種類がそれぞれ確認された。

○タテハチョウ科

第1次から第7次までの調査で28種類が確認された。テングチョウ、ルリタテハ、キタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、ゴマダラチョウ、ヒカゲチョウ、ヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲの9種類は第1次から第7次まで継続的に確認された。またミドリヒョウモンは第2次、コムスジとヒメウラナミジャノメは第4次を除き、第7次まで継続的に確認された。ヒオドシチョウとクロコノマチョウは第4次以降、またアサギマダラ、ツマグロヒョウモン及びコムラサキは第5次以降、アカボシゴマダラは第6次以降継続的に確認された。その他、ホシミスジが第5次と第7次に確認された。一方、オオウラギンスジヒョウモン、ウラギンヒョウモン、オオムラサキなどの9種類は第6次までに1、2回ずつ確認されたが、第7次には確認されなかった。

第7次調査では、ツマグロヒョウモン、コムスジ、キタテハ、アカボシゴマダラ、ヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲの6種類が全5地域で確認され、テングチョウ、ホシミスジ、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、ゴマダラチョウ、ヒカゲチョウ、クロコノマチョウの7種類は北部地域を除く4地域、ヒオドシチョウとコムラサキは西部・南部・中部の3地域、アカタテハは東部・南部・中部の3地域で確認された。アサギマダ

ラ、ミドリヒョウモンは南部・中部の2地域、ヒメウラナミジャノメは西部地域のみで確認された。主要調査地点をみると、ツマグロヒョウモン、コミスジ、アカボシゴマダラ、ヒメジャノメ及びサトキマダラヒカゲの5種類が全8地点で確認された一方、ヒメウラナミジャノメは地点3（善福寺公園およびその周辺）のみで確認された。地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）では最多の18種類が確認され、次いで地点9（南荻窪4丁目域）で16種類、地点3（善福寺公園およびその周辺）で16種類が確認された。反対に、地点12（観音寺）では最少の6種類が確認された。

イ) 生活型別出現傾向

これまでに確認されたチョウ類は、その生活型に着目すると、樹林性が28種類、林縁性が16種類、草地性が20種類であった（表Ⅲ-2-26）。図Ⅲ-2-8にチョウ類の生活型別の確認種類数を年次ごとに示した。

樹林性チョウ類の種類数は、第1次から第3次まで12～13種類で推移した後、第4次から第7次にかけて24種類まで増加し、とくに第4次から第5次にかけては15種類から22種類へと大きく増加した。林縁性チョウ類は、第1次から第3次にかけて11～13種類で推移し、第4次に10種類まで減少した後、第5次に14種類に増加し、第6次から第7次には再び11～12種類となった。草地性チョウ類は、第1次の13種類から第5次の17種類まで増加した後、第6次以降は16種類が確認されている。いずれの種類群においても、第4次から第5次にかけて種類数の増加がみられ、中でも樹林性チョウ類において特に大きな増加がみられた。また林縁性チョウ類については、第1次から第7次にかけての長期的な種類数の明瞭な増加傾向はみられなかった。

全7回の調査で毎回確認されたチョウ類27種類では、樹林性が9種類、林縁性が8種類、草地性が11種類であり、生活型間に大きな差はみられなかった（表Ⅲ-2-24）。

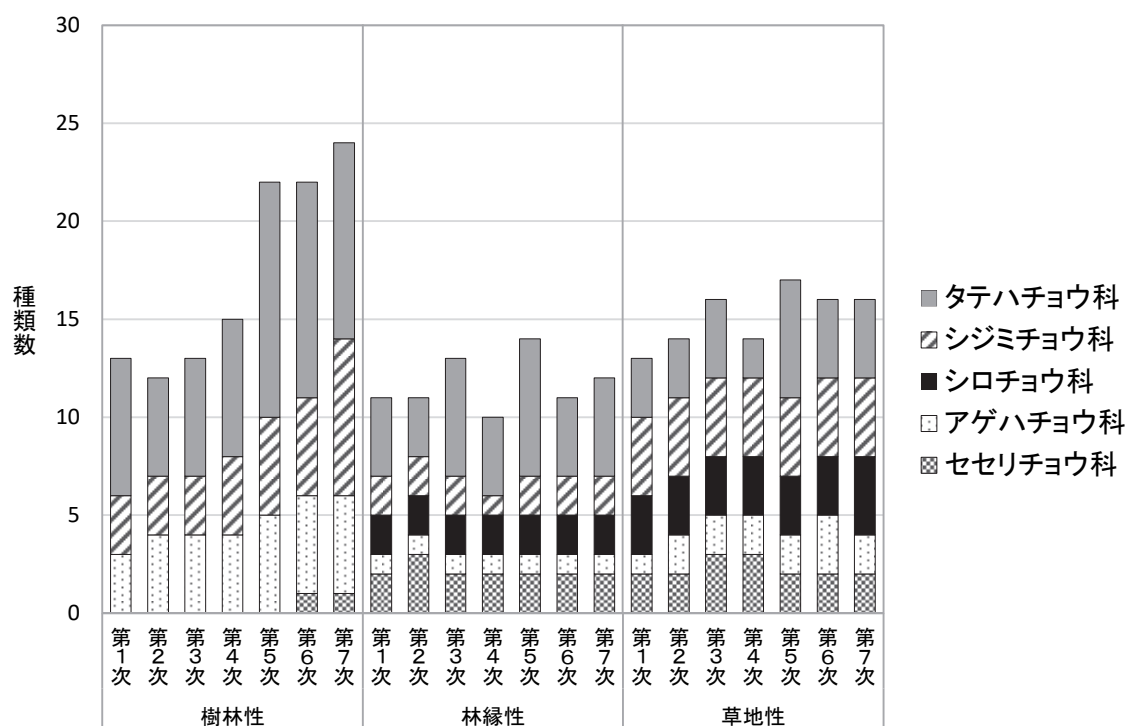
第7次調査で確認された52種類の中では、樹林性が24種類、林縁性が12種類、草地性が16種類であり、樹林性のチョウ類が多くみられた（表Ⅲ-2-25）。

第7次に確認されたチョウ類のうち全5地域で確認されたものは16種類であり、その生活型内訳は樹林性5種類、林縁性4種類、草地性7種類であり、広域に分布するチョウ類においては草地性の種類が若干多かった。一方、第7次調査で1地域のみで確認されたチョウ類は4種類であり（西部地域：オオミドリシジミ、ヒメウラナミジャノメ、南部地域：ツマグロキチョウ、ゴイシシジミ）、樹林性と草地性とがそれぞれ2種類であった。

第7次の主要調査地点からみると、樹林性、林縁性、草地性のいずれのチョウ類も、全8地点で確認されたが、とくに地点12（観音寺）においては、いずれのタイプのチョウ類も他の地点と比べ種類数が少なかった。一方、地点1（和田堀公園・大宮八幡およびその周辺）、地点3（善福寺公園およびその周辺）及び地点8（柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺）ではいずれの生活型のチョウ類も比較的多く確認され、各地点とも確認種類数は樹林性が最も多く、次いで草地性、林縁性の順であった。このように、公園等のまとまりのある緑地は、区内のチョウ類にとって重要な生息場所になっていると考えられる。また樹林性のチョウ類には、ナガサキアゲハやクロコノマチョウなどの暖地性のチョウ類が含まれていた。これらのチョウ類が分布域を拡大し、杉並区で確認されるようになったことも、樹林性のチョウ類が増加した一因であると考えられる。

また第7次調査において1地点のみで確認されたチョウ類は、樹林性のアオバセセリ、ゴイシシジミ、オオミドリシジミ、林縁性のトラフシジミ、草地性のツマグロキチョウとヒメウラナミジャノメの合計6種類であった。このうちアオバセセリ、ゴイシシジミ、オオミドリシジミ、ツマグロキチョウの4種類は偶産種と考えられる。

『新版・東京都の蝶』（西多摩昆虫同好会編，2012）の区市町村別分布表によれば、杉並区は区部における2000年以降のチョウ類の記録種数が最も多い区（61種）とされ、本調査の2000年以降の確認種を加えると66種となる。このことや、第7次の本調査における確認種類数が第5次や第6次の水準を維持していることから、区内には多様なチョウ類が生息できる環境が維持されていることが示唆される。一方、生息地や個体数が極めて限られていたり、定着可能と考えられる種類の中にも偶産となっている種類も多いことから、これらの種類も含め、生息環境の維持・創出などを積極的に行うことで、より多様かつ安定したなチョウ相を育み維持することが望まれる。具体的には、食餌植物の増殖や、樹林・林縁・草地など主要な生息環境の多様性やつながりの維持・創出、適度な草刈りなどチョウ類の生息環境に配慮した管理による環境の質の維持向上などが挙げられる。



図Ⅲ-2-8 チョウ類の生活型別確認種類数の年次変化

表Ⅲ-2-26 チョウ類の生活型別年次別確認状況

科	和名	生活型			調査年次							備考
		樹林性	林縁性	草地性	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
セセリチョウ	アオバセセリ	●								○	○	偶産
	ダイミョウセセリ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	イチモンジセセリ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	チャバネセセリ			●			○	○	○	○	○	
	オオチャバネセセリ			●	○	○	○	○				
	キマダラセセリ		●			○	○	○	○	○	○	
アゲハチョウ	コチャバネセセリ		●		○	○						
	ジャコウアゲハ			●		○	○	○	○	○	○	
	ホソオチョウ			●						○		外来種
	ナガサキアゲハ	●							○	○	○	
	クロアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	アゲハ		●		○		○	○	○	○	○	
	モンキアゲハ	●				○	○	○	○	○	○	
	キアゲハ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	カラスアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○	
シロチョウ	アオスジアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	キタキチョウ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	ツマグロキチョウ			●							○	偶産
	モンキチョウ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	ツマキチョウ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	スジグロシロチョウ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	モンシロチョウ			●	○	○	○	○	○	○	○	外来種
シジミチョウ	ゴイシバジミ	●			○	○	○				○	偶産
	ウラギンシジミ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	ミズイロオナガシジミ	●			○	○		○	○	○	○	
	アカシジミ	●						○	○	○	○	
	ムラサキツバメ	●							○	○	○	
	ウラナミアカシジミ	●									○	偶産
	オオミドリシジミ	●									○	偶産
	ムラサキシジミ	●					○	○	○	○	○	
	トラフシジミ		●		○	○	○		○	○	○	
	ベニシジミ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	ルリシジミ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	ツバメシジミ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	ウラナミシジミ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	ヤマトシジミ			●	○	○	○	○	○	○	○	
タテハチョウ	テングチョウ	●			○	○	○	○	○	○	○	偶産
	アサギマダラ	●					○		○	○	○	偶産
	ミドリヒョウモン		●		○		○	○	○	○	○	偶産
	ツマグロヒョウモン			●					○	○	○	
	オオウラギンシジミヒョウモン		●				○					偶産
	ウラギンヒョウモン			●			○		○			偶産
	クモガタヒョウモン		●					○	○			偶産
	イチモンジチョウ		●				○		○			偶産
	ミスジチョウ	●							○			人為移入
	ホシミスジ		●						○		○	人為移入
	コムスジ		●		○	○	○		○	○	○	
	ルリタテハ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	ヒオドシチョウ	●			○			○	○	○	○	偶産
	キタテハ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒメアカタテハ			●	○	○	○	○	○	○	○	
	アカタテハ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	コムラサキ	●							○	○	○	
	アカボシゴマダラ	●								○	○	外来種
	ゴマダラチョウ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	オオムラサキ	●			○							人為移入
	ヒカゲチョウ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	ジャノメチョウ			●					○			人為移入
	コジャノメ	●							○			人為移入
	ヒメジャノメ		●		○	○	○	○	○	○	○	
	サトキマダラヒカゲ	●			○	○	○	○	○	○	○	
	ヒメウラナミジャノメ			●	○	○	○		○	○	○	
	ウスイロコノマチョウ	●							○	○		偶産
	クロコノマチョウ	●						○	○	○	○	
5科	64種	28	16	20	37	37	42	39	53	49	52	-

外来種 : 国立環境研究所の侵入生物データベースに示されている昆虫類。

偶産 : 区内では時折記録されるが定着していないと考えられる種類。一時的な発生がみられる種類も含む。

自然分散等による偶産か人為移入のどちらか不明な場合もここに含めた。

人為移入 : 意図的・否意図的を問わず、明らかに人為による分布と考えられる種類。上記データベースに記述のない外来種も含む。

表Ⅲ-2-27 第7次調査におけるチョウ類の生活型別調査地点別確認状況

科	和名	生活型			主要調査地点 ^{*1}								その他 地域	備考
		樹林性	林縁性	草地性	1	2	3	5	6	8	9	12		
セセリチョウ	アオバセセリ	●			○									偶産
	ダイミョウセセリ		●				○	○		○				
	イチモンジセセリ			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	チャバネセセリ			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	キマダラセセリ		●		○		○	○	○	○	○		○	
アゲハチョウ	ジャコウアゲハ			●	○		○		○	○	○		○	
	アゲハ		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ナガサキアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○		○	
	クロアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	モンキアゲハ	●			○		○							
	キアゲハ			●	○	○	○	○		○	○		○	
	カラスアゲハ	●			○	○	○			○	○		○	
	アオスジアゲハ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	スズメバチアゲハ													
シロチョウ	キタキチョウ		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ツマグロキチョウ			●						○				偶産
	モンキチョウ			●	○	○				○	○		○	
	ツマキチョウ			●	○	○	○	○	○	○	○		○	
	モンシロチョウ			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来種
	スジグロシロチョウ		●		○		○	○	○	○	○		○	
シジミチョウ	ゴイシシジミ	●								○				偶産
	ウラギンシジミ	●			○	○	○		○	○	○	○	○	
	ミズイロオナガシジミ	●			○		○		○	○				
	アカシジミ	●			○		○			○				
	ウラナミアカシジミ	●			○					○				偶産
	オオミドリシジミ	●					○							偶産
	ムラサキシジミ	●			○		○			○	○		○	
	ムラサキツバメ	●			○	○	○		○	○	○		○	
	トラフシジミ		●		○									
	ベニシジミ			●	○	○	○	○	○	○			○	
	ルリシジミ		●		○	○	○	○	○	○	○		○	
	ツバメシジミ			●	○	○			○	○			○	
	ウラナミシジミ			●	○	○	○			○	○	○	○	
	ヤマトシジミ			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
タテハチョウ	テングチョウ	●			○		○			○	○			偶産
	アサギマダラ	●								○	○			偶産
	ミドリヒョウモン		●							○	○		○	偶産
	ツマグロヒョウモン			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ホシミスジ		●		○	○	○	○	○	○	○		○	人為移入
	コムスジ		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ルリタテハ	●			○	○	○	○	○	○	○		○	
	ヒオドシチョウ	●					○			○	○			偶産
	キタテハ			●	○	○	○		○	○	○	○		
	ヒメアカタテハ			●	○	○	○		○	○	○		○	
	アカタテハ		●			○			○	○			○	
	コムラサキ	●				○	○		○	○				
	アカボシゴマダラ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来種
	ゴマダラチョウ	●			○		○		○	○	○		○	
	ヒカゲチョウ	●			○	○	○	○		○	○		○	
	ヒメジャノメ		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	サトキマダラヒカゲ	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒメウラナミジャノメ			●			○							
	クロノマチョウ	●			○		○			○	○			
5科	52種	24	12	16	42	31	42	24	31	47	37	16	35	-

*1 主要調査地点

- 1：和田堀公園・大宮八幡およびその周辺 2：善福寺川緑地およびその周辺 3：善福寺公園およびその周辺
5：塚山公園及びその周辺 6：神田川周辺（高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP 高井戸レクリエーションセンター）
8：柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺 9：南荻窪4丁目域 12：観音寺

③ 杉並区における昆虫類の消長

i 減少した昆虫類

杉並区において減少したとみられる種類を表Ⅲ-2-28 に示した。これらの種類は、過年度調査で記録され、過去には区内に定着していたと考えられるものの、その後記録されなくなった種類を抽出し、その中から周辺地域の動向も踏まえた上で選定した代表的な種類である。

これらの昆虫類は、杉並区に限らず東京都の区部から多摩地域の平野部でも同様の傾向を示している。特に確認されなくなった種類として、クルマバッタ、セスジイトトンボ、オオチャバネセセリ、コチャバネセセリについては杉並区だけでなく、区部全域から近年の記録がかなり稀、あるいは途絶えている。その要因として、生息環境の消失や改変などに加え、気象の変化による夏季の極端な高温や年間を通じた湿度の低下なども関係している可能性がある。

なお、過去に確認されたものの消失し、第7次調査で再度確認されたノコギリクワガタ、ゴイシシジミについては、確認例数が非常に少なかった。ノコギリクワガタは杉並区においても個体群を維持していたと考えられるが、ゴイシシジミについては、依存するササ類に付くアブラムシ類が区内で見られなくなってきていることから、現時点では周辺地域からの飛来による偶産と判断される。

表Ⅲ-2-28 減少した昆虫類

目	科	和名	環境省 RL	東京都RL		杉並区 指標種	調査年次							備考
				区部 ランク	本土部 ランク		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
バッタ	バッタ	クルマバッタ		CR	CR		○							
コウチュウ	クワガタムシ	スジクワガタ		VU		雑木林	○							
バッタ	マツムシ	カヤコオロギ		DD	DD		○	○						
チョウ	セセリチョウ	コチャバネセセリ					○	○						
カメムシ	カタカイガラムシ	カメノコロウムシ					○	○	○					
チョウ	シャクガ	キバラヒメアオシャク					○	○	○					
トンボ	イトトンボ	セスジイトトンボ		CR	EN		○	○	○	○				
チョウ	セセリチョウ	オオチャバネセセリ					○	○	○	○				
チョウ	ヤガ	オオアカギリバ					○		○	○				
ハチ	アリ	ツヤシリアゲアリ					○	○	○	○	○			
ノミ	ヒトノミ	ネコノミ					○	○	○	○	○			
チョウ	スズメガ	ヒメクロホウジャク					○	○	○		○			
チョウ	ドクガ	ドクガ					○	○	○		○			
チョウ	スズメガ	ホウジャク					○		○	○	○			
ハチ	アリ	ウロコアリ						○	○	○	○			
チョウ	ヒトリガ	クワゴマダラヒトリ						○	○	○	○			
コウチュウ	オサムシ	アカアシマルガタゴモクムシ						○	○		○			
チョウ	スズメガ	クロホウジャク						○	○		○			
カメムシ	イトカメムシ	ヒメイトカメムシ					○	○	○	○	○	○		
コウチュウ	シデムシ	コクロシデムシ					○	○	○	○	○	○		
コウチュウ	カミギリモドキ	アオカミギリモドキ					○	○	○	○	○	○		
コウチュウ	オサムシ	ゴミムシ					○	○	○		○	○		
コウチュウ	コメツキムシ	マダラチビコメツキ					○	○	○		○	○		
コウチュウ	ハムシ	ハンノキハムシ					○	○	○		○	○		
コウチュウ	ハムシ	ナトビハムシ					○	○	○		○	○		
コウチュウ	ゾウムシ	アカアシノミゾウムシ					○	○	○		○	○		
カメムシ	ヨコバイ	アオズキンヨコバイ					○	○		○	○	○		
コウチュウ	ハムシ	トホシクビボソハムシ					○	○			○	○		
コウチュウ	クワガタムシ	ノコギリクワガタ		NT		雑木林	○			○	○		○	
チョウ	シジミチョウ	ゴイシシジミ		DD			○	○	○				○	偶産

ii 増加した昆虫類

杉並区において増加したとみられる種類を表Ⅲ-2-29 に示した。これらの種類は、第7次調査で確認された種類のうち近年になり新たに記録されるようになった種類、および区内で一旦絶滅したものの近年復活した種類を抽出し、その中から周辺地域の動向も踏まえた上で選定した代表的な種類である。

クマゼミ、ハグロトンボ、アカシジミなど第4次以前から確認されている種類は、在来種であり、かつ周辺にも分布していたり、移動性が高い、または暖地性種でかなり以前から区内および周辺地域で散発的に記録されているといった種類で占められていた。

ヨコヅナサシガメ、ヘリグロテントウノミハムシ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモンなどの第5次以降に確認された種類は、より暖地性の種類、特に関東地方ではもとと見られなかった種類や、国内外来種を含む人為移入の影響が考えられる種類や国外外来種でほぼ占められていた。

ヒガシキリギリス、キマダラカメムシ、サトセナガアナバチなどの第7次調査で初めて確認された種類では、全種類が外来種と人為移入種で占められており、増加した種類の質の変化が示唆された。

表Ⅲ-2-29 増加した昆虫類

目	科	和名	環境省 RL	東京都RL		杉並区 指標種	調査年次							備考
				区部 ランク	本土部 ランク		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
カメムシ	セミ	クマゼミ				温暖化		○	○	○	○	○	○	
トンボ	トンボ	チョウトンボ		NT	NT			○			○	○	○	
トンボ	イトトンボ	アオモンイトトンボ							○	○	○	○	○	
チョウ	シジミチョウ	ムラサキシジミ							○	○	○	○	○	
トンボ	カワトンボ	ハグロトンボ		VU		水辺				○	○	○	○	
トンボ	イトトンボ	キイトトンボ		EN	EN					○	○	○	○	
コウチュウ	コガネムシ	アオドウガネ				温暖化				○	○	○	○	
ハチ	ツチバチ	キオビツチバチ								○	○	○	○	
チョウ	シジミチョウ	アカシジミ		DD						○	○	○	○	
チョウ	タテハチョウ	クロノマチョウ				温暖化				○	○	○	○	
カメムシ	サシガメ	ヨコヅナサシガメ									○	○	○	外来種
コウチュウ	ハムシ	ヘリグロテントウノミハムシ									○	○	○	
チョウ	ハマキガ	ビロードハマキ									○	○	○	
チョウ	アゲハチョウ	ナガサキアゲハ									○	○	○	
チョウ	シジミチョウ	ムラサキツバメ				温暖化					○	○	○	
チョウ	タテハチョウ	ツマグロヒョウモン									○	○	○	
チョウ	タテハチョウ	コムラサキ		留意種							○	○	○	
チョウ	タテハチョウ	ホシミスジ									○		○	人為移入
トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ										○	○	
カメムシ	ヘリカメムシ	マツヘリカメムシ										○	○	人為移入
カメムシ	カメムシ	ミナミアオカメムシ										○	○	
チョウ	イラガ	ヒロヘリアオイラガ										○	○	外来種
チョウ	マダラガ	ウメスカシクロバ										○	○	
チョウ	タテハチョウ	アカボシゴマダラ										○	○	外来種
バッタ	キリギリス	ヒガシキリギリス											○	人為移入
カメムシ	カメムシ	キマダラカメムシ											○	外来種
コウチュウ	コガネムシ	シラホシハナムグリ		EX	CR								○	人為移入
ハチ	セナガアナバチ	サトセナガアナバチ											○	外来種
ハチ	ミツバチ	クロマルハナバチ	NT	EX	DD								○	人為移入

3) 外来種

外来種^{*1}の出現状況の年次変化を表Ⅲ-2-30 に示した。第1次から第7次までの調査において、外来種は8目50科75種類が確認された。

第1次に19種類、第2次に23種類、第3次に25種類、第4次に20種類、第5次に35種類、第6次に38種類、第7次に35種類が確認され、第4次までは19～25種類で推移していたが、第5次以降は35～39種類に増加した。クロゴキブリ、チャバネゴキブリ、アオマツムシ、トビイロケアリ、セイヨウミツバチ、ヒトスジシマカ、モンシロチョウ、ジンサンシバンムシの8種類は第1次から第7次まで継続的に確認され、広く定着しているといえる。

一方、アワダチソウグンバイ、キマダラカメムシ、クロキンバエ、コクゾウムシ、サトセナガアナバチ、テツイロヒメカミキリ、ヘクソカズラグンバイ、マメクロアブラムシの8種類は第7次調査で外来種として初めて確認された。これらの大部分の確認例数は5例以下と少なかったが、キマダラカメムシは全5地域において合計100例以上が確認されており、今後の分布の動向が注目される。

過去に確認されていたが、第7次調査では確認されなかった昆虫類も36種類あり、杉並区には定着しなかった種類も多いと考えられる。

*1 外来種：本報告書では、国立環境研究所の侵入生物データベースの日本の外来種 全種リスト（暫定版）（https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/resources/list_ja_toc.html）に示されている種類を外来種として扱った。なお、日本直翅類学会（2006）によりシバスズは東アジア固有種、カンタンは外来種ではないと記載されていることから在来種とした。

表Ⅲ-2-30 外来種の出現状況の年次変化

目	科	和名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	○	○	○	○	○	○	○
ゴキブリ	チャバネゴキブリ	チャバネゴキブリ	○	○	○	○	○	○	○
バッタ	マツムシ	アオマツムシ	○	○	○	○	○	○	○
ハチ	アリ	トビイロケアリ	○	○	○	○	○	○	○
ハチ	ミツバチ	セイヨウミツバチ	○	○	○	○	○	○	○
ハエ	カ	ヒトスジシマカ	○	○	○	○	○	○	○
チョウ	シロチョウ	モンシロチョウ	○	○	○	○	○	○	○
コウチュウ	シバンムシ	ジンサンシバンムシ	○	○	○	○	○	○	○
チョウ	ヒトリガ	アメリカシロヒトリ	○	○	○	○	○	○	○
カメムシ	カタカイガラムシ	ルビーロウムシ	○	○	○			○	
ハエ	チョウバエ	オオケチョウバエ	○	○	○				○
ハエ	チョウバエ	ホシチョウバエ	○	○	○				○
カメムシ	ワタフキカイガラムシ	イセリアカイガラムシ	○		○	○	○	○	○
チョウ	ヒロゾコガ	イガ	○		○				
チョウ	ハマキガ	ナシヒメシンクイ	○		○				
ハエ	ヒメイエバエ	ヒメイエバエ	○					○	
カジリムシ	コナチャタテ	カツブシチャタテ	○						○
コウチュウ	ナガシンクイムシ	チビタケナガシンクイ	○						
ハエ	ニセケバエ	ナガサキニセケバエ	○						
コウチュウ	カミキリムシ	キボシカミキリ		○	○	○	○	○	○
ハエ	ミズアブ	アメリカミズアブ		○	○	○	○	○	○
チョウ	マダラガ	タケノホソクロバ		○	○	○	○	○	○
ハエ	ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ		○	○		○	○	○
ハチ	アナバチ	アメリカジガバチ		○		○		○	
コウチュウ	ゾウムシ	ヤサイゾウムシ		○			○	○	
コウチュウ	ハムシ	アズキマゾウムシ					○		
カジリムシ	コナチャタテ	ヒラタチャタテ		○					
カメムシ	アブラムシ	ムギクビレアブラムシ		○					
コウチュウ	シバンムシ	タバコシバンムシ		○					
ハチ	タマバチ	クリタマバチ		○					
カメムシ	コナジラミ	オンシツコナジラミ			○	○			
チョウ	ツトガ	シバツトガ			○		○	○	○
コウチュウ	ヒョウホンムシ	ナガヒョウホンムシ			○		○		○
チョウ	メイガ	ノシメマダラメイガ			○			○	
チョウ	ヒロゾコガ	コクガ			○				
チョウ	メイガ	カシノシマメイガ			○				
コウチュウ	ハムシ	ブタクサハムシ				○	○	○	
ゴキブリ	ゴキブリ	ワモンゴキブリ				○			
カメムシ	アブラムシ	リンゴワタムシ				○			
ハエ	ミバエ	ウリミバエ				○			
チョウ	ヒロゾコガ	コイガ				○			
カメムシ	サシガメ	ヨコヅナサシガメ					○	○	○
コウチュウ	ゾウムシ	アルファルファタコゾウムシ					○	○	○
ハエ	ハナアブ	スイセンハナアブ					○	○	○
チョウ	ヤガ	ニセタマナヤガ					○	○	○
コウチュウ	オサムシ	コルリアトギリゴミムシ					○	○	
コウチュウ	カツオブシムシ	トビカツオブシムシ					○	○	
コウチュウ	ホソヒラタムシ	ヒメフタトゲホソヒラタムシ					○	○	
コウチュウ	カミキリムシ	チャゴマフカミキリ					○	○	
コウチュウ	テントウムシ	クモガタテントウ					○		○
コウチュウ	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ					○		○
カメムシ	ウンカ	トビイロウンカ					○		
カメムシ	ウンカ	セジロウンカ					○		
コウチュウ	カツオブシムシ	ヒメカツオブシムシ					○		
コウチュウ	ケシキスイ	クリイロデオキスイ					○		
コウチュウ	ハムシ	イネクビボソハムシ					○		
コウチュウ	ゾウムシ	オオタコゾウムシ					○		
ハチ	アリ	カワラケアリ					○		
カメムシ	アブラムシ	セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ						○	○
カメムシ	ゲンバイムシ	ブラタナスゲンバイ						○	○
コウチュウ	イネゾウムシ	イネミズゾウムシ						○	○
チョウ	タテハチョウ	アカボシゴマダラ						○	○
チョウ	イラガ	ヒロヘリアオイラガ						○	○
コウチュウ	カツオブシムシ	シロオビマルカツオブシムシ						○	
コウチュウ	ケシキスイ	クリヤケシキスイ						○	
コウチュウ	テントウムシ	ベダリアテントウ						○	○
チョウ	アゲハチョウ	ホソオチョウ						○	
カメムシ	ゲンバイムシ	アワダチソウゲンバイ							○
カメムシ	カメムシ	キマダラカメムシ							○
ハエ	クロバエ	クロキンバエ							○
コウチュウ	オサゾウムシ	コクゾウムシ							○
ハチ	セナガアナバチ	サトセナガアナバチ							○
コウチュウ	カミキリムシ	テツイロヒメカミキリ							○
カメムシ	ゲンバイムシ	ヘクソカズラゲンバイ							○
カメムシ	アブラムシ	マメクロアブラムシ							○
8 目	50科	75種	19	23	25	20	35	38	39

4) 注目種

第1次から第7次までの調査で確認された昆虫類から、環境省のレッドリストと東京都のレッドリスト掲載種、およびこれらに該当しないが杉並区で注目される種類を選定し、年次別の確認状況を表Ⅲ-2-32 に、また第7次調査における主要調査地点別確認状況を表Ⅲ-2-33 に示した。なお、該当種であっても人為移入と判断される種類は除いた。

各評価基準の内容は以下のとおりである。表Ⅲ-2-32 には種類ごとに表Ⅲ-2-31 の注目点を示した。

※1 環境省レッドリスト

出典：レッドリスト(昆虫類)．環境省 (2012)．

CR：絶滅危惧ⅠA類（絶滅の危機に瀕している種）

EN：絶滅危惧ⅠB類（同上）

VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危機が増大している種）

NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）

DD：情報不足

※2 東京都レッドリスト（区部におけるランクおよび本土部におけるランク）

出典：東京都の保護上重要な野生生物種．東京都 (2013)．

EX：絶滅

EW：野生絶滅

CR：絶滅危惧ⅠA類

EN：絶滅危惧ⅠB類

VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

・：非分布（生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの）

－：データ無し（当該地域において生育・生息している（していた）可能性があるが、確実な記録や情報が得られなかったもの）

※3 杉並区独自の注目種（国や都のレッドリスト該当種以外）の選定基準

区内において注目されると判断された種

表Ⅲ-2-31 注目点

記号*1	選定理由
1	環境省レッドリストならびに東京都レッドリスト（区部・本土部）掲載種
2	上記に未掲載だが区内において注目されると判断された種
3	区内における現存生息地や生息環境・条件は限られており、その動向が注目される種
4	区内において定着または発生している可能性があり、その動向が注目される種
5	区内では偶産と判断されるが、生息に適した環境や条件が整えば発生する可能性のある種
△	上記リストには掲載されているが、区内では一時的な偶産と判断される種
※	記録時には区内に定着していたと考えられるが現在では絶滅したと判断される種

*1 記号：表Ⅲ-2-32、表Ⅲ-2-33 内に示す注目点の凡例に対応する。

選定の結果、第1次から第7次までの調査で確認された注目種は8目43科101種類となり、その内訳は、環境省レッドリスト該当種が13種類（絶滅危惧ⅠB類1種類、絶滅危惧Ⅱ類2種類、準絶滅危惧6種類、情報不足4種類）、東京都レッドリスト区部該当種が89種類（絶滅5種類、絶滅危惧ⅠA類＋絶滅危惧ⅠB類3種類、絶滅危惧ⅠA類10種類、絶滅危惧ⅠB類10種類、絶滅危惧Ⅱ類16種類、準絶滅危惧20種類、情報不足21種類、留意種3種類、データ無し1種類）、本土部該当種が51種類（絶滅1種類、絶滅危惧ⅠA類1種類、絶滅危惧ⅠB類7種類、絶滅危惧Ⅱ類7種類、準絶滅危惧23種類、情報不足10種類、留意種2種類）、その他1種類（マユタテアカネ）であった。

注目種の出現状況の推移をみると、第1次に19種類、第2次に16種類、第3次に17種類、第4次に28種類、第5次に54種類、第6次に60種類、第7次に58種類が確認され、第3次から第4次にかけて11種類の増加がみられた後、第4次から第5次にかけてさらに大きく30種類の増加がみられた。一方、セスジイトトンボ、クルマバツタ、マルクビケマダラカミキリなどのように、近年杉並区において生息が確認されなくなった注目種もみられた。また、これらの種類と同様に近年確認されていなかった種類のうち、キアシマルガタゴミムシとゴイシシジミの2種類が今回第7次調査で確認され、最後に確認された第3次調査以来、約20年ぶりの再確認となった。

第7次調査で確認された注目種58種類について、出現状況を主要調査地点別に表Ⅲ-2-33に示した。第7次調査における注目種は、地点8（柏の宮公園およびその周辺）で最多の47種類が確認され、次いで地点3（善福寺公園およびその周辺）の26種類、さらに地点1（和田堀公園およびその周辺）の18種類が多く、主に公園等での確認が多かった。

ハグロトンボ、モノサシトンボ、コオニヤンマ、ヒグラシの4種類は5地点以上で確認され、これらの注目種は比較的広い分布が確認された。一方、1地点のみで確認された注目種は26種類であり、半数近くの注目種の分布が限られていた。1地点のみで確認された注目種のうち18種類は地点8で確認された。

以上の第7次の調査から、前回第6次調査と同様に、柏の宮公園およびその周辺は、杉並区における注目種の生息場所として重要な拠点となっていることが確認された。

表Ⅲ-2-32 昆虫類の注目種(1)

目	科	和名	環境省 RL	東京都RL		調査年次							備考	注目点 *1
				区部 ランク	本土部 ランク	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次		
トンボ	アオイイトンボ	ホソミオツネイトンボ		NT	NT	○				○	○	○	偶産	1, 4
		アオイイトンボ			NT				○	○	○	○		1, 3
		オツネイトンボ		EN	VU						○		偶産	1, 5
	カワトンボ	ハグロトンボ		VU					○	○	○	○		1, 3
	モノサシトンボ	モノサシトンボ		DD	DD	○	○	○	○	○	○	○		1, 3
	イトンボ	キイトンボ		EN	EN				○	○	○	○		1, 3
		ベニイトンボ	NT	VU	VU					○	○	○		1, 4
		セスジイトンボ		CR	EN	○	○	○	○					1, ※
		オオイトンボ		CR	EN				○					1, 4
	ヤンマ	カトリヤンマ		CR	EN	○							偶産	1, 5
	サナエトンボ	オナガサナエ		NT						○		○	偶産	1, 5
		コオニヤンマ		NT							○	○	偶産	1, 5
		ウチワヤンマ			NT	○	○		○	○	○	○		1, 3
	オニヤンマ	オニヤンマ		NT		○		○	○	○	○	○	偶産	1, 5
	ヤマトンボ	コヤマトンボ		DD	NT				○				偶産	1, 5
	トンボ	ヨツボシトンボ		EN	EN							○	偶産	1, △
		ハラビロトンボ		VU	NT				○	○	○	○	偶産	1, 5
		シオヤトンボ		VU	NT					○		○	偶産	1, 5
		チョウトンボ		NT	NT		○			○	○	○		1, 3
		マイコアカネ		NT	VU					○	○	○		1, 4
		マユタテアカネ								○	○	○		2, 4
		ミヤマアカネ		VU					○	○	○	○	偶産	1, 4
		リスアカネ		NT					○	○	○	○		1, 3
									○					1, 4
				DD						○			偶産	1, 5
バッタ	コロギス	ハネナシコロギス		DD					○					1, 4
		アシグロツユムシ		DD						○	○		偶産	1, 5
		ヘリグロツユムシ		DD						○			偶産	1, △
	コオロギ	ヒメコオロギ		DD	DD					○				1, 4
	マツムシ	カヤコオロギ		DD	DD	○	○						偶産	1, 5
		ヒロバネカンタン		DD	DD					○	○	○		1, 4
	ヒバリモドキ	ヒゲシロスズ		DD								○	偶産	1, 5
		キンヒバリ		DD	DD					○	○	○	偶産	1, 4
	バッタ	ショウリョウバッタモドキ		VU	VU				○	○	○	○		1, 3
		クルマバッタ		CR	CR	○								1, ※
カメムシ	セミ	ヒグラシ		NT		○	○	○	○	○	○	○		1, 3
	タイコウチ	ミズカマキリ		NT						○				1, 4
	アメンボ	シマアメンボ		NT						○				1, 4
		オオアメンボ		CR						○	○	○		1, 4
		ババアメンボ	NT	DD	DD						○	○		1, 4
		エサキアメンボ	NT	DD	DD						○	○		1, 4
	ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	NT					○	○					1, 4
アミメカゲロウ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ		CR				○						1, 4
コウチュウ	ハンミョウ	エリザハンミョウ		VU	NT						○			1, 4
		コハンミョウ		NT						○	○	○		1, 4
	オサムシ	マイマイカブリ		NT						○				1, 4
		キアシマルガタゴミムシ		EN	VU		○	○				○		1, 4
		トゲアシゴモクムシ		DD							○	○		1, 4
		トクリゴミムシ		NT	NT					○				1, 4
		アオヘリホソゴミムシ		NT						○		○		1, 4
	ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ		CR	NT					○				1, 4
	ガムシ	マメガムシ		EN	VU						○			1, 4
	クワガタムシ	ヒラタクワガタ		VU	NT	○	○	○	○	○	○	○		1, 3
		スジクワガタ		VU		○								1, 4
		ノコギリクワガタ		NT		○			○	○		○		1, 4
	コガネムシ	ヒゲブトハナムグリ		EN					○	○	○			1, 3
		クロカナブン		EN		○	○	○			○	○		1, 4
		ヒメトラハナムグリ		EN	NT				○	○	○	○		1, 3
	タマムシ	ウバタマムシ		CR	NT						○	○		1, 4
		クロタマムシ		CR	VU					○				1, 4
		マスダクロホシタマムシ		VU							○			1, 4

表Ⅲ-2-32 昆虫類の注目種(2)

目	科	和名	環境省 RL	東京都RL		調査年次							備考	注目点 *1
				区部 ランク	本土部 ランク	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次		
コウチュウ	カミキリムシ	ウスバカミキリ		NT	NT				○	○	○	○		1, 3
		ノコギリカミキリ		NT	NT					○				1, 4
		クロカミキリ		VU	NT						○	○		1, 4
		ベニバハナカミキリ		NT							○			1, 3
		マルクビケマダラカミキリ		VU	NT		○							1, 4
		アカアシオオアオカミキリ		CR	EN					○	○			1, 3
		アオカミキリ		EN	NT						○			1, 4
		タケトラカミキリ		NT	NT	○		○	○	○	○	○		1, 3
		キスジトラカミキリ		VU		○				○	○	○		1, 3
		トラフカミキリ		EN	NT						○			1, 4
		ブドウトラカミキリ		VU	NT	○				○				1, 4
		センノカミキリ		VU				○		○	○	○		1, 3
		ヒゲナガゴマフカミキリ		EX	NT					○				1, 4
		カッコウカミキリ		EX	NT						○			1, 4
		シラオビゴマフケシカミキリ		NT							○	○		1, 4
	ハムシ	ハッカハムシ		DD	DD						○	○		1, 4
		ヤナギハムシ		EX	EN						○			1, 4
ハチ	セイボウ	オオセイボウ	DD								○	○		1, 4
	アリ	トゲアリ	VU									○		1, 4
	ドロバチ	キボシトックリバチ		DD	DD		○				○	○		1, 4
	スズメバチ	モンズズメバチ	DD								○	○		1, 4
	ギンギチバチ	ヤマトスナハキバチ	DD							○				1, 4
	ミツバチ	クズハキリバチ	DD							○	○			1, 4
ハエ	ハナアブ	クロベッコウハナアブ		留意	留意						○			1, 4
		ハチモドキハナアブ		-	留意						○	○		1, 4
チョウ	シロチョウ	ツマグロキチョウ	EN	EX	EX							○	偶産	1, 5
	シジミチョウ	ゴイシシジミ		DD		○	○	○				○	偶産	1, 5
		ミズイロオナガシジミ		留意		○	○		○	○	○	○		1, 3
		アカシジミ		DD					○	○	○	○		1, 3
		ウラナミアカシジミ		CR+EN								○	偶産	1, 5
		オオミドリシジミ		DD								○	偶産	1, 5
	タテハチョウ	オオウラギンスジヒョウモン		DD				○					偶産	1, △
		ウラギンヒョウモン		CR+EN	DD			○		○			偶産	1, △
		クモガタヒョウモン		EX					○	○			偶産	1, △
		イチモンジチョウ		DD				○		○			偶産	1, 5
		ヒオドシチョウ		DD		○			○	○	○	○	偶産	1, 5
		コムラサキ		留意						○	○	○		1, 4
		オオミズアオ		VU			○	○	○	○	○	○		1, 3
	ヤママユガ	クスサン		CR+EN			○						偶産	1, 5
		スキバホウジャク	VU						○					1, 4
	ヒトリガ	ヤネホソバ	NT				○	○			○	○		1, 3
	ヤガ	コシロシタバ	NT								○	○		1, 4
8目	43科	101種	13	89	51	19	16	17	28	54	60	58	-	-

*1 注目点：凡例は表Ⅲ-2-31 に示した。

表Ⅲ-2-33 第7次調査で確認された注目種の主要調査地点別出現状況

目	科	和名	環境省 RL	東京都RL		主要調査地点*1										注目点 *2
				区部 ランク	本土部 ランク	1	2	3	5	6	8	9	12	その他 地域		
トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネイトンボ		NT	NT	○					○				1, 4	
		アオイトトンボ			NT			○			○				1, 3	
	カワトンボ	ハグロトンボ		VU		○	○		○	○	○			○	1, 3	
	モノサシトンボ	モノサシトンボ		DD	DD	○		○	○	○	○	○			1, 3	
	イトトンボ	キイトンボ		EN	EN			○	○	○	○				1, 3	
		ベニイトトンボ	NT	VU	VU			○			○	○			1, 4	
	サナエトンボ	オナガサナエ		NT		○					○				1, 5	
		コオニヤンマ		NT		○	○	○	○	○	○	○		○	1, 5	
		ウチワヤンマ			NT			○							1, 3	
	オニヤンマ	オニヤンマ		NT							○				1, 5	
	トンボ	ヨツボシトンボ		EN	EN						○					1, △
		ハラビロトンボ		VU	NT								○			1, 5
		シオヤトンボ		VU	NT							○				1, 5
		チョウトンボ		NT	NT				○			○				1, 3
		マユタテアカネ							○		○	○				2, 4
マイコアカネ			NT	VU				○			○				1, 4	
ミヤマアカネ			VU								○				1, 4	
	リスアカネ		NT							○				1, 3		
バッタ	マツムシ	ヒロバネカンタン		DD	DD	○									1, 4	
	ヒバリモドキ	ヒゲシロスズ		DD							○				1, 5	
		キンヒバリ		DD	DD				○			○			1, 4	
	バッタ	ショウリョウバッタモドキ		VU	VU						○				1, 3	
カメムシ	セミ	ヒグラシ		NT		○			○		○	○		○	1, 3	
	アメンボ	オオアメンボ		CR					○	○	○			○	1, 4	
		ババアメンボ	NT	DD	DD							○			1, 4	
		エサキアメンボ	NT	DD	DD							○			1, 4	
コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ		NT		○					○				1, 4	
	オサムシ	キアシマルガタゴミムシ		EN	VU				○						1, 4	
		トゲアシゴモクムシ		DD							○				1, 4	
		アオヘリホソゴミムシ		NT								○			1, 4	
	クワガタムシ	ヒラタクワガタ		VU	NT				○			○			1, 3	
		ノコギリクワガタ		NT					○			○			1, 4	
	コガネムシ	クロカナブン		EN					○			○			1, 4	
		ヒメトラハナムグリ		EN	NT	○	○			○		○			1, 3	
	タマムシ	ウバタマムシ		CR	NT						○				1, 4	
	カミキリムシ	ウスバカミキリ		NT	NT	○			○			○			1, 3	
		クロカミキリ		VU	NT										1, 4	
		タケトラカミキリ		NT	NT	○									1, 3	
		キスジトラカミキリ		VU		○						○			1, 3	
		センノカミキリ		VU		○						○			1, 3	
シラオビゴマフケシカミキリ			NT								○			1, 4		
ハムシ		ハッカハムシ		DD	DD						○			○	1, 4	
ハチ	セイボウ	オオセイボウ	DD								○				1, 4	
	アリ	トゲアリ	VU			○									1, 4	
	スズメバチ	キボシトクリバチ		DD	DD				○						1, 4	
		モンシズメバチ		DD			○				○				1, 4	
ハエ	ハナアブ	ハチモドキハナアブ			留意種						○			1, 4		
チョウ	シロチョウ	ツマグロキチョウ	EN	EX	EX							○			1, 5	
	シジミチョウ	ゴイシシジミ		DD								○			1, 5	
		ミズイロオナガシジミ		留意種		○			○		○	○			1, 3	
		アカシジミ		DD		○		○							1, 3	
		ウラナミアカシジミ		CR+EN		○					○				1, 5	
		オオミドリシジミ		DD				○							1, 5	
	タテハチョウ	ヒオドシチョウ		DD				○			○	○			1, 5	
		コムラサキ		留意種			○	○		○	○				1, 4	
	ヤママユガ	オオミズアオ		VU				○			○			○	1, 3	
	ヒトリガ	ヤネホソバ	NT									○		○	1, 3	
	ヤガ	コシロシタバ	NT					○			○				1, 4	
7目	29科	58種	9	49	27	18	4	26	6	9	47	7	0	7	-	

*1 主要調査地点

1：和田堀公園・大宮八幡およびその周辺 2：善福寺川緑地およびその周辺 3：善福寺公園およびその周辺
 5：塚山公園及びその周辺 6：神田川周辺（高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP 高井戸レクリエーションセンター）
 8：柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺 9：南荻窪4丁目域 12：観泉寺

*2 注目点：凡例は表Ⅲ-2-31に示した。

(3) 杉並区における昆虫類の特性

① 残された自然に依存する昆虫類と都市化した環境に依存する昆虫類が生息

善福寺川沿いには、善福寺公園、和田堀公園、大宮八幡、済美山自然林といった古くからの樹林や池等が河川によって繋がれた生態的なネットワークの上に分布しており、住宅地の一部には屋敷林等も残されている。このように、古くからの自然環境を伝える場所が区内の随所に残されている点が、区部では稀になった昆虫類が、個体数は少ないながらも残されていることにつながっていると考えられる。その一方で新しく創出された環境には都市の生態系を利用する昆虫類の進出が見られるようになった。杉並区の昆虫類相は、昔の良さが保たれている点と新たな都市生態系を示している点の両方の性格をあわせ持っているといえる。

② 都市環境に特徴的な種類と、暖地性の種類の増加

杉並区では、開発等により、古くからある屋敷林や耕作地等の緑が失われてきた一方で、新たに緑が創出されており、このような緑は都市型の昆虫類にとって好適な生息環境となり得る。そのような状況下において、農村型の昆虫類相が衰退し、都市型の昆虫類が卓越してきている等、生息する昆虫類の質的变化が生じている。

例えば、公園のハギ類や藤棚のフジ等を利用するコムスジ、庭に植えられたパンジーを利用するツマグロヒョウモン、ショカツサイを利用するようになったツマキチョウなど、都市の環境を利用する昆虫類が増加していると考えられる。またこの他にも、アゲハ、チャドクガ、アオマツムシ、ヒロヘリアオイラガ、アオドウガネ等の都市で繁栄している昆虫類が杉並区においても繁栄している。

また、ヨコヅナサシガメ、アカボシゴマダラ、等の外来種や、クマゼミ、ヒガシキリギリス、ホシミスジ等のように、自然移入だけでなく緑地等に移植された樹木や庭に植えられたポット苗等の植物に随伴するなど、人の手によって持ち込まれた可能性のある移入種が増加した。これらの中には、意図的に放虫されていると考えられるものもみられる。東京都レッドリストで区部絶滅とされ、第7次調査で初めて確認されたシラホシハナムグリについては、現在生息するものは在来個体群ではなく植栽木等の随伴による移入個体群であるとされている。当初は湾岸地域に限られていたものがここ数年で急速に分布を拡大していることから、ついに区内にも侵入してきたものと考えられ、和田堀公園等では定着したと判断される。

また、アオドウガネ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハのような、より暖地性の昆虫類が、2000年代に入ってから、杉並区に侵入定着した。第7次調査では暖地性で外来種であるキマダラカメムシの侵入が確認され、こちらもすでに定着したと判断される。このことも昆虫類の種類数が増加した一因となっている。

③ 昆虫類相の単純化の改善傾向

前回第6次調査では、昆虫類の種類数が増加したものの個体群の構成は単純化している可能性が指摘された。その例として、善福寺池では過去には各種のトンボ類がバランスよくみられていたが、第6次調査で確認されたトンボ類の8割程度がオオシオカラトンボとコシアキトンボ等の2、3種類のトンボ類で占められていた。しかし今回第7次調査では、善福寺公園や柏の宮公園といった種類数のとくに豊富な調査地において、確認例数のバランスに改善傾向がみられた。第7次調査における善福寺公園周辺での確認例数の割合は、コシアキトンボが2割弱、マユタテアカネが1割強のほか、アオモンイトトンボ、シオカラトンボ、オオヤマトンボがそれぞれ1割弱などであり、これらを合わせた11種類によって約8割が占められており、特定の種類が卓越する状況ではなく、比較的多くの種類がバランスよくみられた。また柏の宮公園や和田堀公園周辺などの他の調査地でも同様の傾向がみられた。

このことは区外の周辺地域からの種の供給が途絶えていないことを示している。このような機会をとらえ

て、様々な種が定着できるような生息環境の整備などを行うことでトンボ相がより豊かになる可能性があり、次項④に示すような自然環境の保全や再生に関わる取組みは重要である。

④ 市民団体による生息環境の保全再生活動の継続や行政の取組みとその効果

柏の宮公園では、第5次調査の後から市民団体による生き物の生息環境を保全・再生するための取り組みが開始され、第6次調査ではその効果が確認された。柏の宮公園での活動はその後も継続されている。一方、善福寺公園の上池ではヨシ群落が消失してしまったが、上池と下池の間に「遅野井親水施設」が開設され生物多様性にも配慮した流れが再生された。また和田堀公園の和田堀池においてかいぼりが実施されたほか、済美山自然林では一部で萌芽更新が実施されたように、行政による取組みも開始されている。このように、近年杉並区では、区内の自然環境を再生保全するための様々な取組が継続あるいは模索されるようになった。

第7次調査では、1調査地点のみで記録されたトンボ類は10種類あり、そのうちの6種類が柏の宮公園周辺で、また3種類が善福寺公園周辺で確認され、これらの公園緑地がトンボ類のコアエリアになっていることが示唆された。またバッタ類では、同様に柏の宮公園周辺と和田堀公園周辺の緑地がコアエリアとなっていることが示された。

このように、市民団体による保全再生活動が継続されている柏の宮公園は、多くの昆虫類の重要な生息場所となっている上、近年減少傾向や絶滅が危惧される注目種の生息場所としても重要な緑地となっており、活動の効果が続いていると考えられる。また行政による取組みが最近開始された善福寺公園や和田堀公園においても、確認種類数や注目種の増加がみられたことから、取組の効果が現れたと捉えられる。ただし、これらの公園で確認された昆虫類には偶産種と考えられるものも多く、このような種類が定着していけるように、生息環境の整備や保全への取り組みが今後も継続されることが重要と考えられる。また一部には草刈りや下刈りの頻度が高すぎることによって、昆虫類の生息環境悪化が懸念される場所もみられるため、適度な管理の模索を続けていくことも望まれる。

〔3〕 鳥類

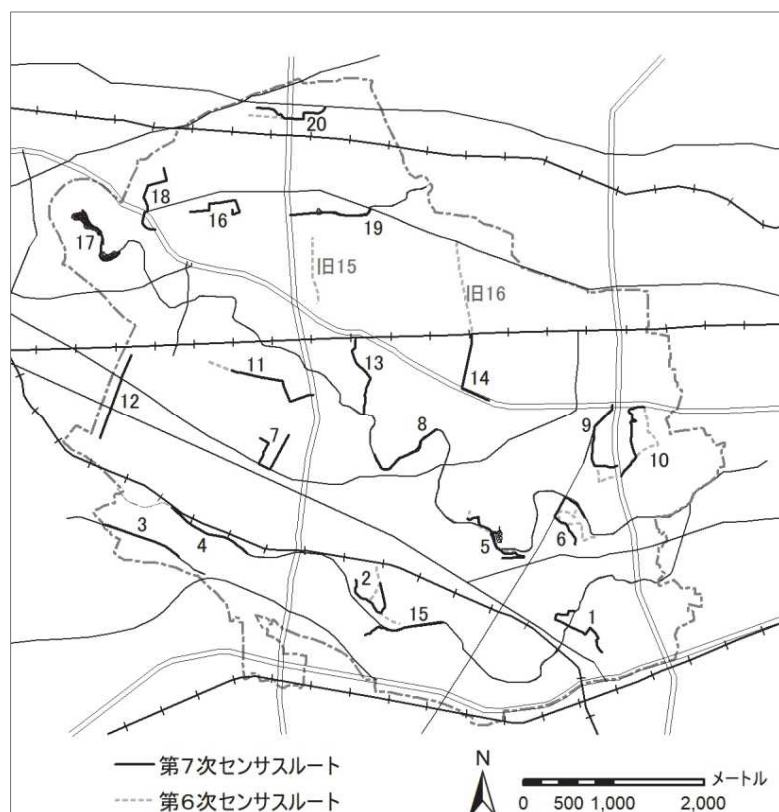
(1) 調査内容および方法

杉並区における鳥類の生息分布状況を把握し、その特性を明らかにするために、2018年4月から2019年3月までの1年間毎月1回の調査を行った。

調査は区内全域を網羅し、かつ住宅地、公園、河川など様々な環境を含むように20地域を選び、各地域に長さ1km程度のルートを設定してロードサイドセンサス法による調査を実施した。この際、歩行速度は時速約1.5kmから2km、観察幅は片側約25m、両側約50mとした。記録の対象としたのは種類、個体数である。鳥種の確認は姿、鳴き声などによって行い、8倍から10倍程度の双眼鏡を補助的に用いた。調査は原則として、天候の良い午前中に実施した。

調査ルートの位置は、図Ⅲ-2-9に示したとおりである。また、各ルートの環境の概要を表Ⅲ-2-34に示した。第7次ではルートの見直しを行い、ルート15を清水一丁目内の住宅地を通るルートから塚山公園・神田川沿いを通るルートへ、ルート16を阿佐ヶ谷駅から中杉通りを通るルートから都立農芸高等学校・観泉寺を通るルートへと、新たに設定し直した。

なお、調査は、第1次から第5次を杉並鳥類研究会が担当し、第6次からは主にむさしの自然史研究会が担当した。



センサスルート		備考
1	和泉2丁目	
2	浜田山 (柏の宮公園、三井の森公園)	柏の宮公園と三井の森公園を通るルートに変更
3	久我山1丁目	
4	久我山2丁目(神田川沿い)	
5	大宮2丁目 (大宮八幡、善福寺川、和田堀公園)	大宮八幡宮を通るルートに変更
6	堀ノ内1丁目、済美山自然林	済美山自然林と済美山運動場を通るルートに変更
7	宮前2丁目	
8	成田西4丁目(善福寺川緑地)	
9	堀ノ内3丁目	妙正寺の外周を通るルートに変更
10	和田3丁目、蚕糸の森公園	蚕糸の森公園内を通るルートに変更
11	西荻南4丁目から南荻窪4丁目	ルートを東へずらし、環八通りまでに変更
12	松庵1～3丁目	
13	荻窪駅から荻窪住宅	
14	阿佐谷南1丁目から阿佐ヶ谷駅	
15	塚山公園から下高井戸3丁目	第7次新規ルート
16	都立農芸高等学校から観泉寺	第7次新規ルート
17	善福寺公園	
18	上井草4丁目	
19	清水3丁目から妙正寺公園、妙正寺川	
20	井草3、4丁目、井草の森公園	井草の森公園内を通るルートに変更

図Ⅲ-2-9 第7次調査センサスルート位置図

表Ⅲ-2-34 第7次調査センサスルートの環境

ルート	環境区分*									概要
	社寺林・常落混生林（常緑広葉樹林・夏緑広葉樹林）	雑木林	植栽地	草地	畑地	住宅地	工場・造成地	池	河川	
1	△		+	+		◎			+	和泉2丁目の住宅地の中を通り、竜光寺、熊野神社の社寺林の間を通過するルート。社寺林の他に和泉小学校などの植栽もあるが、主要な環境要素は住宅地である。
2		◎	△	○		△		+		柏の宮公園、三井の森公園を通過するルート。柏の宮公園には植栽の他に雑木林や芝生草地があり、三井の森公園は雑木林である。主要な環境要素は雑木林である。
3		△	◎	△					△	久我山1丁目の玉川上水沿いのルート。玉川上水は深いコンクリート護岸で水量も少なく、主要な環境要素は玉川上水沿いの植栽である。
4		○	△			○			○	久我山2丁目の神田川沿いのルート。久我山運動場北側の雑木林や樹木の植栽もある。主要な環境要素となっているのは神田川と植栽と住宅地である。
5	△	○	○			+		+	○	大宮2丁目の善福寺川沿いのルート。大宮八幡宮、和田堀公園を通過しており、主要な環境要素は善福寺川と河川沿いの緑地（雑木林）である。
6		△	○	○		+			○	善福寺川沿い、済美公園、済美山自然林、和田堀公園第二競技場を通過するルート。済美公園には雑木林と親水護岸があり、済美山自然林は雑木林であるが、主要な環境要素は植栽と草地、河川である。
7		△	◎			○				宮前2丁目の住宅地を通過するルート。区民緑地公園の宮前公園、宮前けやき緑地や児童公園の大善公園、スポーツジム、集合住宅、主要幹線道路が範囲に含まれるが、まばらに植栽された場所が多く、主要な環境要素は緑の多い住宅地である。
8			○			+			○	成田西4丁目の善福寺川緑地を通過するルート。ルートの大部分は善福寺川沿い（一部護岸工事中）にあり、主要な環境要素は河川および河川沿いの緑地である。
9	△		△			◎				堀ノ内3丁目の住宅地を通過するルート。妙法寺などの社寺林や植栽が多い場所を通過するが、主要な環境要素は住宅地である。
10			△			◎		+		和田3丁目の住宅地、杉並第十小学校、蚕糸の森公園を通過するルート。蚕糸の森公園は植栽種が多く、池もあるが主要な環境要素は住宅地である。
11	△		△			◎				西荻南4丁目、南荻窪2～4丁目の住宅地を通過するルート。ルート途中に天祖神社、神明中学校、屋敷林などの社寺林や植栽の集まった区域があるが、主要な環境要素は住宅地である。
12			△			◎				松庵1～3丁目の住宅地を通り、途中で松庵公園、松庵小学校沿いを通るルート。梅を主とした果樹園もあるが、庭のある個人住宅が多い。二つの主要幹線道路を横断するが、主要な環境要素は緑の多い住宅地である。
13		△	△			◎				荻窪の住宅地を通過し、大田黒公園の雑木林沿いを通るルート。大田黒公園以外にも植栽は存在するが、主要な環境要素は住宅地である。
14			○			◎				阿佐谷南1丁目の交通量の多い青梅街道と中杉通りを通過してJR阿佐ヶ谷駅に至るルート。道の両側は、店舗付きマンションが多く、ケヤキの街路樹が多く植栽されており、主要な環境要素は交通量の多い低層中層マンションの住宅街である。
15			○			○		+	○	塚山公園の中を通過し、神田川沿いを通るルート。塚山公園には植栽や小規模な池がある。主要な環境要素は、植栽地と神田川である。
16	○		○		△	○				都立農芸高等学校、住宅地、観音寺の中を通るルートである。都立農芸高等学校の農業実習地があり、観音寺には社寺林がある。主要な環境要素は住宅地である。
17		○	○					○		善福寺公園の中を通り抜けるルート。善福寺池と周囲の雑木林で構成され、主要な環境要素は池と雑木林である。
18	△	○			+	○				上井草4丁目の住宅地を通過するルート。井草八幡宮や住宅地の中に雑木林が存在する他、都立農芸高校の果樹園も存在し、主要な環境要素は住宅地と雑木林である。
19			△			○		+	○	清水3丁目の住宅地と、その中を流れる妙正寺川に沿ったルート。妙正寺池と妙正寺公園の植栽もあるが、主要な環境要素は住宅地と河川である。
20	△		○		+	○		+		井草森公園の中を通り、住宅地を通過するルート。井草森公園は小さな池があり樹木が植栽されている。住宅地の中に屋敷林や畑地（区民農園）が点在し、一部に植木畑もある。主要な環境要素は住宅地と植栽である。

* 環境区分：◎=多い、○=普通、△=少ない、+：わずか

(2) 調査結果および考察

1) 第7次調査結果

① 出現種類

第7次調査において、表Ⅲ-2-35に示す14目30科57種（外来種を含む）の鳥類が記録された。分類別でみると、スズメ目が30種と最も多く、次いでカモ目が7種、ペリカン目が5種の順で出現した。今回の調査で、アトリ、コチドリ、ヒドリガモ、ヒメアマツバメ、ビンズイ、ホシハジロが初めて記録された。

② 渡り区分別の出現種類

第7次調査で記録された鳥類を渡り区分別に整理して、図Ⅲ-2-10に示した。留鳥が27種（45.8%）と最も多く出現し、次いで冬鳥が16種（27.1%）と多く、留鳥及び冬鳥で出現種の約7割を占めていた。

月ごとの出現種数をみると、出現種数が30種をこえたのは、4、5月と11月から3月で、6月から10月にかけては22種から26種と少なかった。

③ 生息環境区分別の出現種類

第7次調査で記録された鳥類を、表Ⅲ-2-35に示した環境大区分別に図Ⅲ-2-11に示した。最も出現種数が多かったのは、「水辺」に区分される鳥類で22種（37.3%）、次いで「林地」に区分される鳥類が18種（30.5%）であった。それに対し、「市街地、その他」に区分される鳥類は5種（8.5%）と少なかった。

表Ⅲ-2-35 第7次調査における月別確認状況

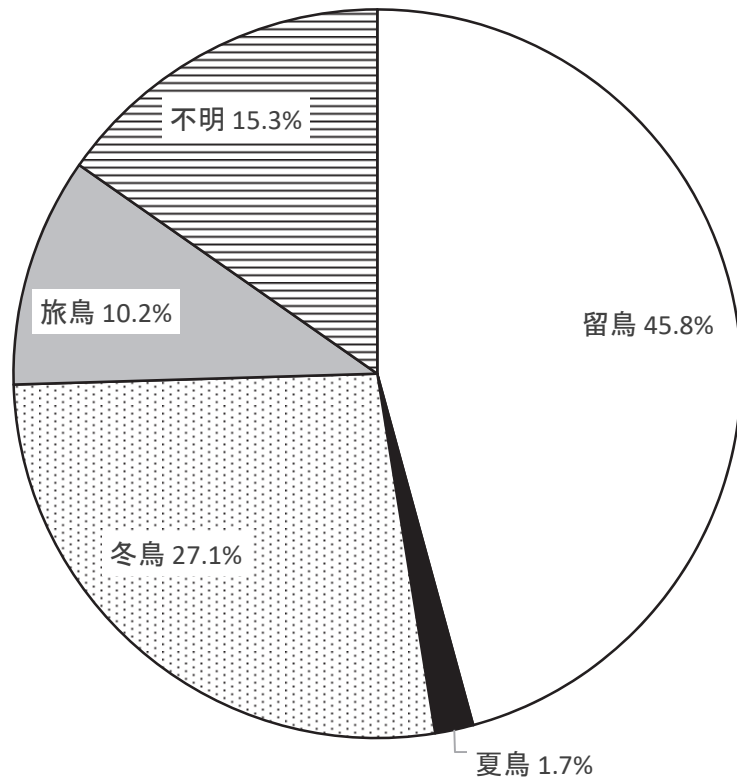
目	科	和名	2018年度												渡り 区分*2	生息環境	環 境 大区分 *3		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
カモ	カモ	ヒドリガモ											4		冬	水辺	4		
		マガモ		1	1							4			冬	水辺	4		
		カルガモ	44	45	61	81	79	104	85	87	61	137	132	82	留	水辺	4		
		オナガガモ	2	2	2	2	1		6	23	31	32	46	23	冬	水辺	4		
		コガモ	10	8					6	6	9	9	16	6	冬	水辺	4		
		ホシハジロ									6				冬	水辺	4		
		キンクロハジロ	2							21	51	61	30	35	冬	水辺	4		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ								1		4		留	水辺	4			
ハト	ハト	キジバト	55	51	43	48	44	41	47	28	66	103	91	64	留	林地, 農耕地	2		
カツオドリ	ウ	カワウ	5	2	1	2	4	1	2	1	4	1	1		留	水辺	4		
ペリカン	サギ	ゴイサギ		1	1			1				2		1	留	水辺	4		
		アオサギ	1	4	1	1	6		3	5	4	8	9	2	留	水辺	4		
		ダイサギ		1		1	2	1			1			1	留	水辺	4		
		チュウサギ	1											1	旅	水辺	4		
		コサギ	5	3	2	3	14	5	4	2	4	1	2	6	留	水辺	4		
ツル	クイナ	バン	1							1		1	2	留	水辺	4			
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ			1									不	その他	5			
チドリ	チドリ	コチドリ				1								旅	水辺	4			
タカ	タカ	ハイタカ								1					不	林地	1		
		ツミ	2	1		1		2	1		1				留	林地	1		
		オオタカ		1						1		2		1	留	林地	2		
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	4		1	1	1	2	4	3	7	5	2	7	留	水辺	4		
キツツキ	キツツキ	コゲラ	12	8	14	12	2	9	8	9	13	16	12	18	留	林地	1		
		アオゲラ	3					1	1		1		1		留	林地	1		
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ										1			不	草地	3		
スズメ	スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ		1										旅	林地	1		
		モズ	モズ						4		1				冬	林地, 農耕地	2		
		カラス	オナガ	33	7	15	12	9	5	2	8	6	7	25	18	留	林地, 農耕地	2	
			ハシボソガラス	16	16	28	20	27	28	28	27	19	25	41	21	留	農耕地, 市街地	3	
			ハシブトガラス	154	103	105	96	167	147	135	140	126	128	163	182	留	林地, 市街地	5	
		シジュウカラ	シジュウカラ	91	103	108	77	33	66	99	90	93	73	100	102	留	林地	1	
		ツバメ	ツバメ	11	16	59	31	5								夏	農耕地, 市街地	3	
		ヒヨドリ	ヒヨドリ	143	78	81	82	29	17	264	390	378	366	196	143	留	林地	1	
		ウグイス	ウグイス	4	3						2	5	7	6	9	冬	林地	1	
		エナガ	エナガ	6	12	5	14	8	10	16	4	24	20	23	22	留	林地	1	
		ムシクイ	センダイムシクイ		1											旅	林地	1	
		メジロ	メジロ	30	19	31	36	15	12	50	64	110	100	86	69	留	林地	1	
		ムクドリ	ムクドリ	82	101	302	173	46	56	130	39	108	128	137	112	留	農耕地, 市街地	3	
		ヒタキ	シロハラ	3										1	1	3	冬	林地	1
			ツグミ	20								1	4	26	21	22	冬	林地, 農耕地	2
			ルリビタキ												1		冬	林地	1
			ジョウビタキ									7	1		4		冬	草地, 農耕地	3
			キビタキ		1												旅	林地	1
			スズメ	173	134	164	90	129	70	119	118	83	160	160	110	留	市街地	5	
		セキレイ	キセキレイ						1	5	7	2	1	5	3	冬	水辺	4	
			ハクセキレイ	5	14	5	8	2	3	18	31	34	26	26	29	留	水辺	4	
			セグロセキレイ			1										不	水辺	4	
			ビンズイ								1					不	林地	1	
		アトリ	アトリ									5	36	20	3	冬	林地	1	
			カワラヒワ	4	6	4	6			3	34	29	52	32	28	留	林地, 農耕地	2	
			シメ	1							3	19	13	12	3	冬	林地	1	
		ホオジロ	ホオジロ	1												不	林地, 農耕地	2	
			カシラダカ	1									3			不	林地, 農耕地	2	
			アオジ	6							5	2	11	13	8	冬	林地, 草地	2	
外来種(ハト)	ハト	カワラバト(ドバト)	83	79	86	92	106	71	90	239	327	181	214	138	留	市街地	5		
		インコ	ダルマインコ属	30	20	23	14	13	38	40	33	39	37	20	33	留	市街地	5	
		チメドリ	ガビチョウ	1												不	林地	1	
その他		オナガガモ×カルガモ							1		1				不	水辺	4		
		マガモ×カルガモ			1							2	1		不	水辺	4		
14目30科57種			総個体数*1	1045	842	1146	904	742	691	1171	1430	1677	1789	1654	1307	—	—	—	
			総種数*1	36	31	26	25	22	23	26	32	37	36	35	34	—	—	—	

*1 総個体数・総種数：総個体数は「その他」を含む、総種数は「その他」を含めない。

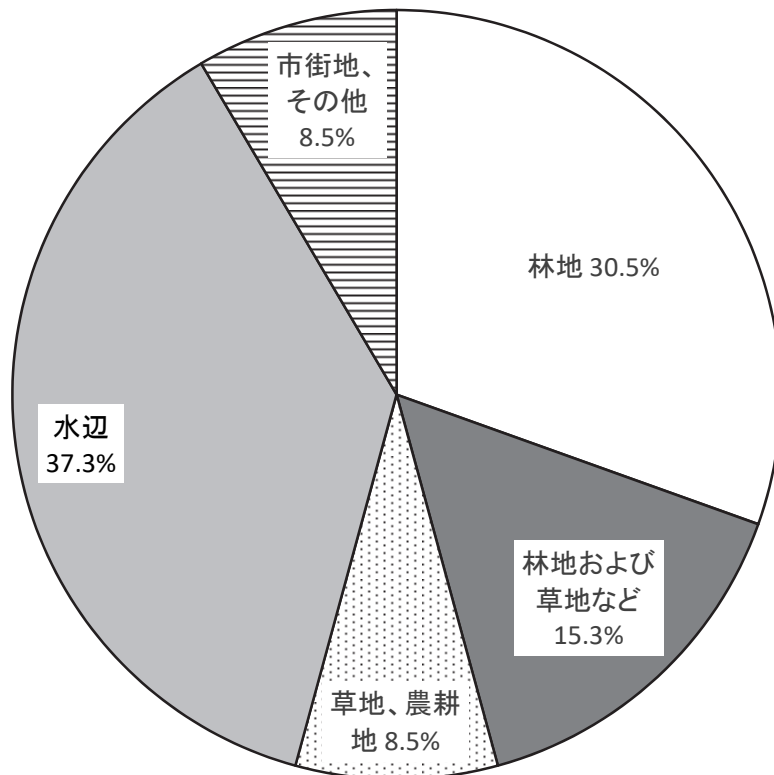
*2 渡り区分：留＝留鳥、夏＝夏鳥、冬＝冬鳥、旅＝旅鳥、不＝区分が不明

(渡り区分については、東京都産鳥類目録も参考にした。なお、オオタカについては本調査の結果では冬鳥とされるが、2018年5月に観察記録があり、本調査コース以外の杉並区内で2018年に繁殖が確認されたため「留鳥」とした。)

*3 環境大区分：1＝林地、2＝林地および草地など、3＝草地、農耕地、4＝水辺、5 市街地、その他



図Ⅲ-2-10 第7次調査における渡りの区分別種構成



図Ⅲ-2-11 第7次調査における生息環境区分別構成

④ ルート別出現状況

第7次調査におけるルート別の出現状況を、図Ⅲ-2-12に示した。

個体数が最も多かったのは、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート5の1605羽、次いで塚山公園・神田川沿いを通るルート15の1350羽、善福寺公園内を通るルート17の1096羽であった。それに対し、個体数が少なかったのは、青梅街道・中杉通りを通るルート14の240羽、次いで松庵1～3丁目の住宅地を通るルート12の317羽、区民緑地公園等がある宮前2丁目の住宅地を通るルート7の328羽であった。

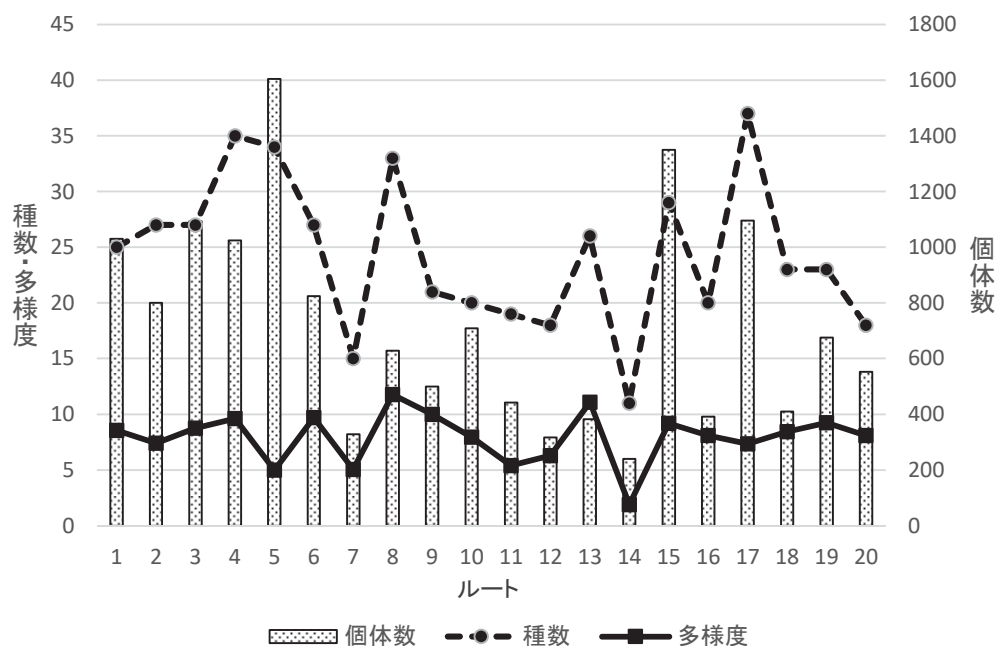
種数が最も多かったのは善福寺公園内を通るルート17の37種で、次いで久我山2丁目の神田川沿いを通るルート4の35種、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート5の34種であった。種数が少なかったのは、青梅街道・中杉通りを通るルート14の11種、区民緑地公園等がある宮前2丁目の住宅地を通るルート7の15種、松庵1～3丁目の住宅地を通るルート12及び井草森公園・住宅地を通るルート20の18種であった。

また、多様度（β指数）を以下の式により算出した。多様度は、少数の種による独占的傾向が強いほど、小さな値をとる性質がある。多様度が最も高かったのは善福寺川緑地を通るルート8の11.77、次いで荻窪住宅地・大田黒公園を通るルート13の11.08、堀之内3丁目の住宅地・妙正寺を通るルート9の9.99であった。多様度が低かったのは、青梅街道・中杉通りを通るルート14で1.90、次いで大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート5で4.98、区民緑地公園等がある宮前2丁目の住宅地を通るルート7で5.05であった。

$$\text{多様度（}\beta\text{指数）} = \frac{N(N-1)}{\sum_{i=1}^S n_i(n_i-1)}$$

N：総個体数 n_i ：i番目の個体数

個体数、種数、多様度について、それぞれ値が大きい順に、ルートごとに順位付けし、表Ⅲ-2-36に示した。個体数、種数、多様度の順位を積算し、ルートごとの得点として整理し、得点を昇順で並び替えると、ルート4、8、15、17が上位に位置づけられた。これらのルートは、いずれも、河川や池等を環境要素として特徴付けられるルートであり、杉並区においては水辺を含む環境が、豊かな鳥類相を呈する環境であることが示唆された。



図Ⅲ-2-12 第7次調査における個体数・種数及び多様度のルート別比較

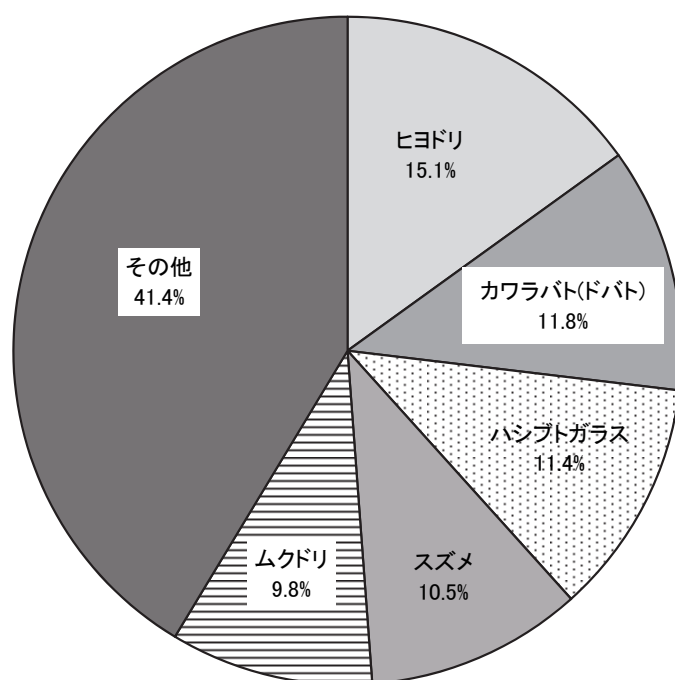
表Ⅲ-2-36 第7次調査における個体数・種数及び多様度のルート別順位

ルート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
個体数	5	8	4	6	1	7	18	11	13	9	14	19	17	20	2	16	3	15	10	12
種類数	10	6	6	2	3	6	19	4	13	14	16	17	9	20	5	14	1	11	11	17
多様度	9	14	8	5	19	4	18	1	3	13	17	16	2	20	7	11	15	10	6	12
得点	24	28	18	13	23	17	55	16	29	36	47	52	28	60	14	41	19	36	27	41
順位	8	10	5	1	7	4	19	3	12	13	17	18	10	20	2	15	6	13	9	15

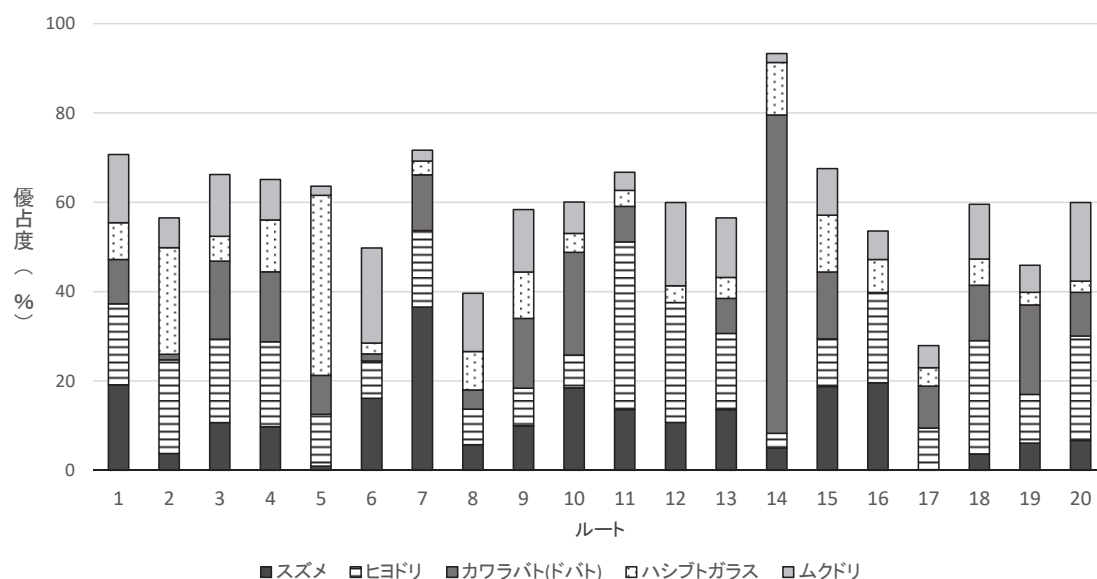
優占種について、ルート別出現状況を整理した。

まず、第7次調査で確認された鳥類の優占種を図Ⅲ-2-13に整理した。ヒヨドリ（15.1%）、カワラバト(ドバト)（11.8%）、ハシブトガラス（11.4%）、スズメ（10.5%）、ムクドリ（9.8%）が優占度の上位5種であり、5種で全体の6割を占めていた。これらはいわゆる都市鳥と呼ばれる種であり、現在の杉並区を代表する鳥類である。

次に、上位5種について、優占度をルート別に整理し、図Ⅲ-2-14に示した。上位5種の構成は、ルートにより異なっていた。ルート1、7、14では5種の占める割合が高く、ルート17は占める割合が最も低かった。5種の占める割合が高かったルートは、環境要素として住宅地や植栽地を含むルートであった。第7次調査における優占種は、住宅地を含むルートでより優占しており、都市鳥であると考えられる。



図Ⅲ-2-13 第7次調査における優占度上位種



図Ⅲ-2-14 第7次調査における上位優占種 優占度のルート別比較

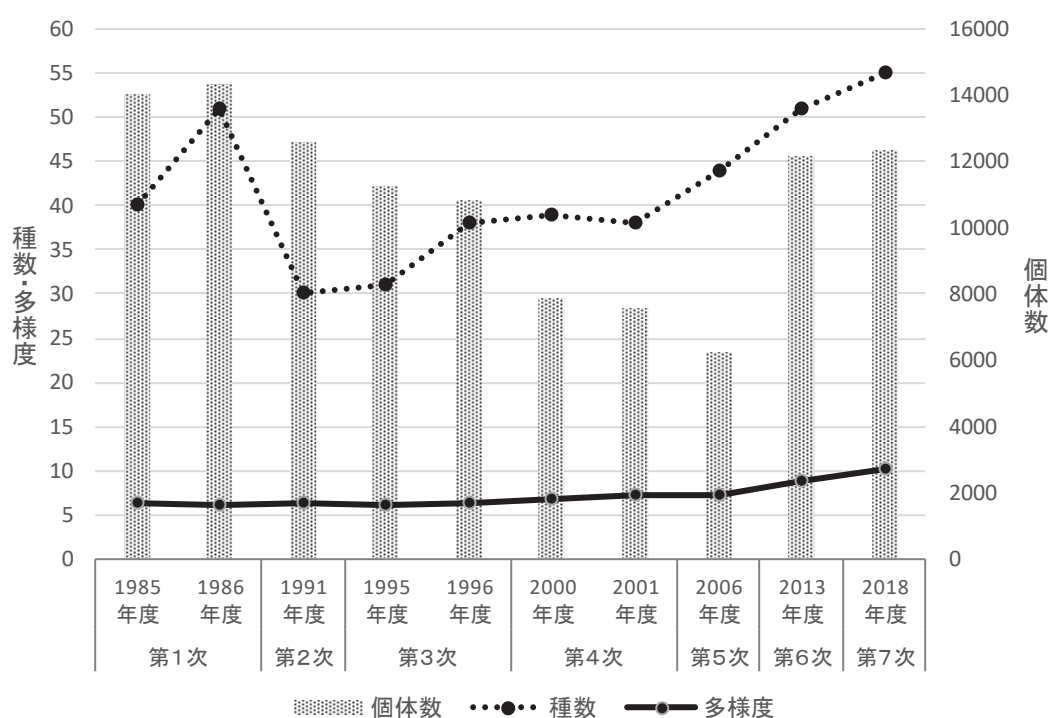
2) 既往調査（第1次から第6次）との比較

第1次調査（1985年度、1986年度）から第7次調査（2018年度）までの調査結果から、34年間の種数、個体数、多様度の変化を整理した。なお、2005年度調査は調査回数が少なかったことから、年度比較の図表からは除外した。

① 種数・個体数・多様度の年度変化

第1次調査から第7次調査において記録された鳥類の出現状況を、表Ⅲ-2-37に示した。なお、カワラバト（ドバト）とダルマインコ属は第5次までは調査対象外であったため、年度比較の集計からは除外した。これまでの調査で16目33科75種（外来種を含む）の鳥類が確認された。

図Ⅲ-2-15に示した種数、個体数及び多様度の年度変化をみると、種数は1991年度に一度減少したが、それ以降2013年度にかけて増加し、2018年度ではこれまでで最も多く確認された。個体数は1985年度から2006年度にかけてほぼ半減したが、2013年度には1991年度のレベルまでに増加し、2018年度は2013年度とほとんど変わらなかった。多様度は1996年度までは横ばい状態であったが、2000年度以降徐々に増加し、2018年度にはさらに増加がみられた。



* カワラバト(ドバト)とダルマインコ属は第5次まで調査対象外としていたため、集計から除外した。

図Ⅲ-2-15 種数、個体数及び多様度の年度変化

表Ⅲ-2-37 個体数・種数の年度変化(1)

和名	第1次		第2次	第3次		第4次		第5次	第6次	第7次	渡り 区分*4	生息環境	環境 大区分 *5
	1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2006年度	2013年度	2018年度			
オシドリ					8	3	4	1	1		冬	水辺	4
ヒドリガモ										4	冬	水辺	4
マガモ	43	85	32	17	57	24	26	50	13	6	冬	水辺	4
カルガモ	530	717	470	189	350	234	244	95	760	998	留	水辺	4
ハシビロガモ									15		冬	水辺	4
オナガガモ	25	36	19	36	183	100	124	152	410	170	冬	水辺	4
コガモ	233	409	264	39	62	35	35	47	48	70	冬	水辺	4
ホシハジロ										6	冬	水辺	4
キンクロハジロ				8		3	4	75	161	200	冬	水辺	4
スズガモ					1			1			冬	水辺	4
カイツブリ	34	47	36	29	40	25	20	38	12	5	留	水辺	4
キジバト	1202	1179	1172	1038	996	557	587	464	591	681	留	林地, 農耕地	2
カワウ		11			1	7	8	3	25	24	留	水辺	4
ゴイサギ	1	1		3	7	15	13	16	8	6	留	水辺	4
アオサギ		1				2	4	2	56	44	留	水辺	4
ダイサギ		1			2	10	9	8	10	7	留	水辺	4
チュウサギ						2		4		2	旅	水辺	4
コサギ	1	5	1	1	5	8	9	8	46	51	留	水辺	4
バン	28	52	28	25	28	27	26	53	15	5	留	水辺	4
オオバン									1		冬	水辺	4
ツツドリ	1										旅	林地	1
カッコウ		2									旅	草地	3
アマツバメ		2									旅	海岸, 山地	5
ヒメアマツバメ										1	不	その他	5
コチドリ										1	旅	水辺	4
イソシギ		1									旅	水辺	4
トビ		1									不	海岸, 河川	5
ツミ		1							12	8	留	林地	1
ハイタカ									1	1	不	林地	1
オオタカ								6	6	5	留	林地	2
カワセミ	3		1			5	1	10	7	37	留	水辺	4
コゲラ	10	29	5	7	19	63	55	41	119	133	留	林地	1
アオゲラ									1	7	留	林地	1
チョウゲンボウ		2					1	1		1	不	草地	3
サンコウチョウ	1									1	旅	林地	1
モズ	24	18	15	17	12	11	5		7	5	冬	林地, 農耕地	2
カケス	1	2			3						不	林地	1
オナガ	599	580	542	480	393	345	307	187	111	147	留	林地, 農耕地	2
ハシボソガラス	9	2	1	2	14	2		18	201	296	留	農耕地, 市街地	3
ハシブトガラス	518	795	460	498	530	404	447	263	1443	1646	留	林地, 市街地	5
ヤマガラ		1			1			1	2		留	林地	1
ヒガラ		1									冬	林地	1
シジュウカラ	925	881	793	925	788	585	511	604	832	1035	留	林地	1
ツバメ	203	186	260	218	153	196	190	81	129	122	夏	農耕地, 市街地	3
ヒヨドリ	2436	1876	1831	1682	1495	1039	949	912	2005	2167	留	林地	1
ウグイス	34	18	13	46	27	29	36	31	32	36	冬	林地	1
エナガ								12	82	164	留	林地	1
メボソムシクイ		2									旅	林地	1
エゾムシクイ		1							1		旅	林地	1
センダイムシクイ		2							5	1	旅	林地	1
メジロ	211	172	268	262	206	202	172	201	540	622	留	林地	1
オオヨシキリ		2							1		旅	湿性草地	4
ムクドリ	1570	1404	1597	1410	1116	984	1005	592	1214	1414	留	農耕地, 市街地	3
シロハラ	7	3	2	3	8	33	38	19	3	8	冬	林地	1
アカハラ		1						2	2		冬	林地	1
ツグミ	244	151	117	73	138	79	57	61	119	94	冬	林地, 農耕地	2
ルリビタキ									1	1	冬	林地	1
ジョウビタキ	19	6	15	5	15	6	2	4	4	12	冬	草地, 農耕地	3
エゾビタキ	1				1	3	1	2			旅	林地	1
コサメビタキ	2										旅	林地	1
キビタキ	2				1				3	1	旅	林地	1

表Ⅲ-2-37 個体数・種数の年度変化(2)

和名	第1次		第2次	第3次		第4次		第5次	第6次	第7次	渡り 区分*4	生息環境	環境 大区分 *5
	1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2006年度	2013年度	2018年度			
オオルリ		1									旅	林地	1
スズメ	4376	4974	3970	3570	3555	2430	2212	1849	2661	1510	留	市街地	5
キセキレイ	8	8	3	6	6	7	3	6	8	24	冬	水辺	4
ハクセキレイ	88	62	125	96	69	79	83	67	208	201	留	水辺	4
セグロセキレイ	17	40	8	12	14	3	2	1	1	1	不	水辺	4
ビンズイ										1	旅	林地	1
アトリ										64	冬	林地	1
カワラヒワ	554	407	507	496	502	284	310	201	183	198	留	林縁、農耕地	2
シメ	32	90	10	18	20	8	5	16	10	51	冬	林地	1
ホオジロ	1	1								1	不	林縁、草地	2
カシラダカ	3	3				2	2	2		4	不	林縁、草地	2
アオジ	55	73	24	36	38	46	43	30	25	45	冬	林縁、草地	2
コジュケイ	6	6									留	林地	1
カワラバト(ドバト)*1	-	-	-	-	-	-	-	-	1910	1706	留	市街地	5
ダルマインコ属*1	-	-	-	-	-	-	-	-	279	340	留	市街地	5
ガビチョウ									2	1	不	林地	1
マガモ×カルガモ									1	4	不	水辺	4
カルガモ×オナガガモ										2	不	水辺	4
サメビタキ類					3						旅	林地	1
ムシクイ類					2	3	4	5			旅	林地	1
ヒタキ類				2							旅	林地	1
総個体数	14055	14351	12589	11249	10869	7900	7554	6242	14343	14398	-	-	-
総個体数(2)*2	14055	14351	12589	11249	10869	7900	7554	6242	12154	12352	-	-	-
総種数*3	40	51	30	31	38	39	38	44	51	55	-	-	-

*1 カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属：第6次調査から調査対象とした。

*2 総個体数(2)：カワラバト(ドバト)とダルマインコ属を除いた値。

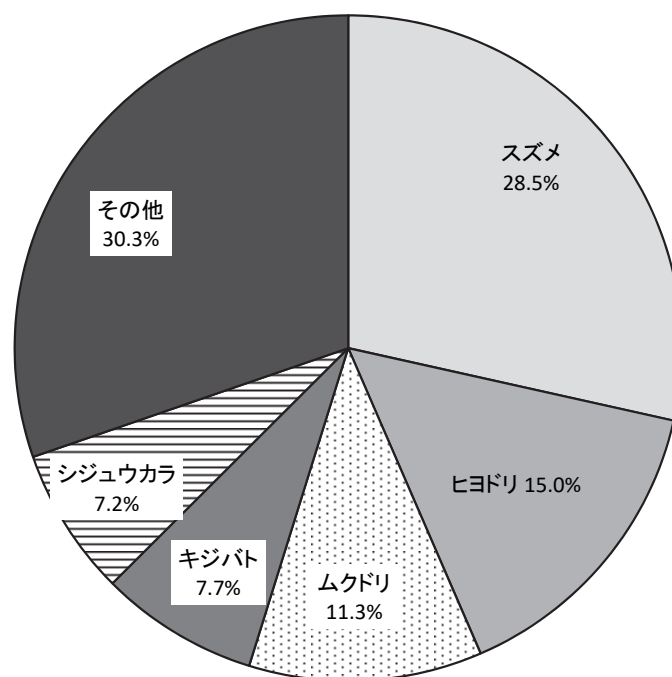
*3 総種数：カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属及び「マガモ×カルガモ」、「カルガモ×オナガガモ」、「サメビタキ類」、「ムシクイ類」、「ヒタキ類」の記録を含まない。

*4 渡り区分：留＝留鳥、夏＝夏鳥、冬＝冬鳥、旅＝旅鳥、不＝区分が不明

*5 環境大区分：1＝林地、2＝林地および草地など、3＝草地、農耕地、4＝水辺、5 市街地、その他

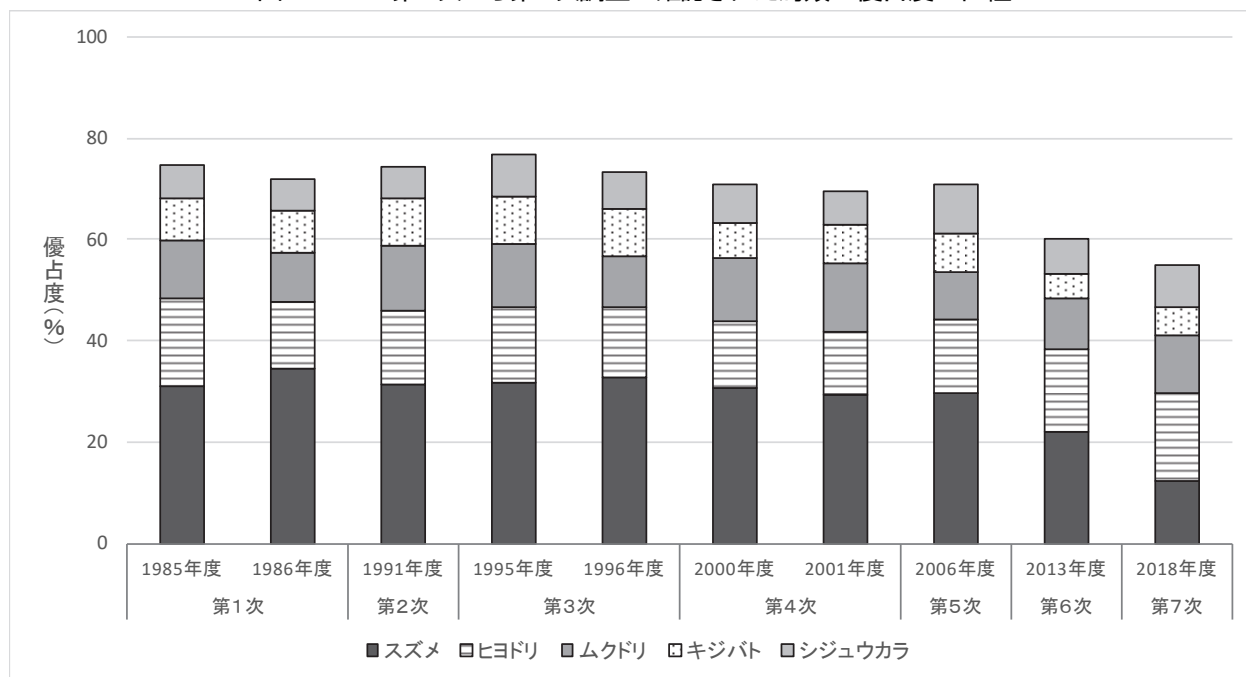
第1次から第7次にかけて杉並区で確認された鳥類の優占種を整理して図Ⅲ-2-16 に示した。スズメ (28.5%)、ヒヨドリ (15.0%)、ムクドリ (11.3%)、キジバト (7.7%)、シジュウカラ (7.2%) の5種で、およそ6割を占めていた。

これら5種の優占度の年度変化を図Ⅲ-2-17 に示した。5種の構成は、1985年度から2006年度にかけて、5種の合計が7割前後で推移し、ほとんど変化はみられなかった。しかし、2006年度から2018年度にかけて、5種では5割程度を占める程に低下した。これは2013年度から、優占種からキジバトが外れ、ハシブトガラスが入るなど、優占種の構成が変わったことによると考えられる。



* カワラバト(ドバト) とダルメインコ属は第5次までで調査対象外としていたため、集計から除外した。

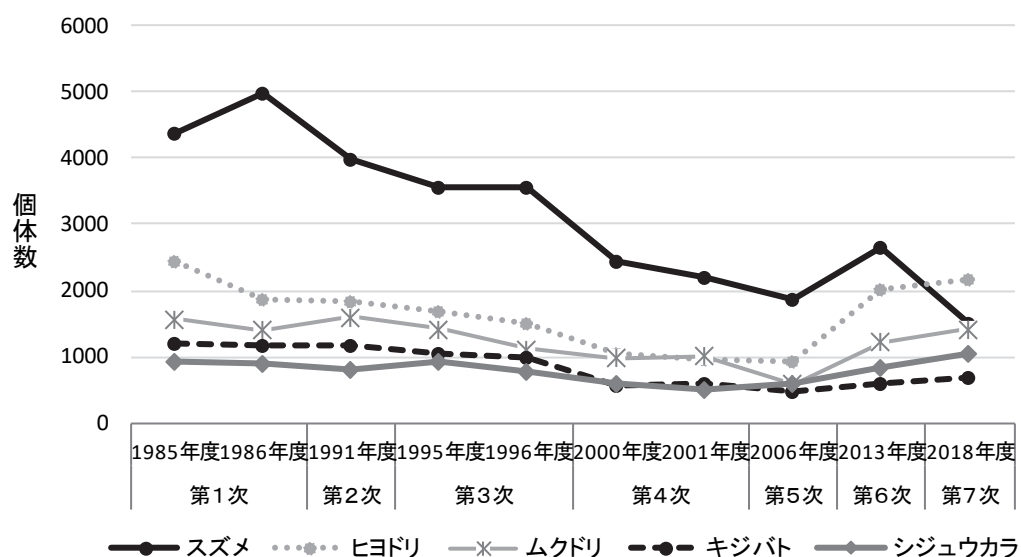
図Ⅲ-2-16 第1次から第7次調査で確認された鳥類の優占度上位種



* カワラバト(ドバト) とダルメインコ属は第5次までで調査対象外としていたため、集計から除外した。

図Ⅲ-2-17 上位優占種の優占度の年度比較

上記の5種について、個体数の年度変化を図Ⅲ-2-18に示した。2018年度の値を1985年度と比較すると、シジウカラ以外の4種が減少した。スズメは4376羽から1510羽（65.5%減）に、キジバトは1202羽から681羽（43.3%減）と特に減少が著しかった。それに対しシジウカラは、925羽から1035羽（11.9%増）と増加していた。



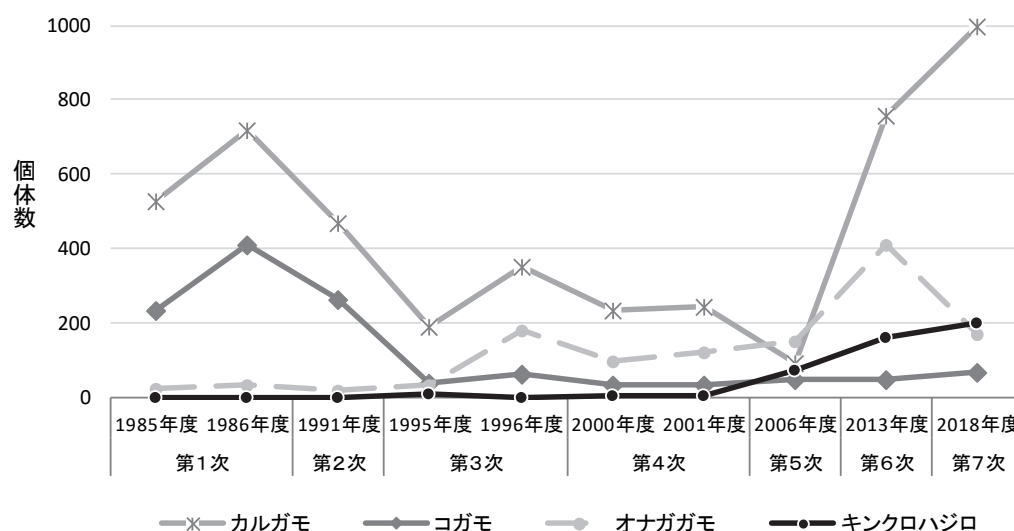
図Ⅲ-2-18 第1次から第7次調査における優占種の個体数の年度変化

増減等がみられた鳥類をいくつか取り上げて、その個体数の年度変化等について以下に整理した。

【カルガモ・コガモ・オナガガモ・キンクロハジロ】

年度別総個体数について、カルガモは1986年度から2006年度にかけて減少したが、その後増加し2018年度はこれまでで最も多い998羽を確認した。オナガガモは1985年度から2013年度にかけて倍増したが、2018年度は2006年度と同程度であった。コガモは、1995年度に39羽に減少して以降、2018年度まではほぼ横ばいの状態で推移していた。キンクロハジロは、2001年度までは10羽以下であったが、2006年度以降増加し、2018年度では200羽にまで増加した。

月別の出現状況をみると、カルガモは各年度ほとんど周年確認されている。オナガガモは主に10月から11月ごろに渡来し、遅くとも翌年の4月頃には渡去している。コガモは9月から10月ごろに渡来し、翌年の5月には渡去している。キンクロハジロは、2013年度にルート19の妙正寺池で越冬している個体が1個体確認されたが、2006年度以降、11月に飛来し翌年4月に渡去している。本種は善福寺公園内を通るルート17で1995年度から継続的に記録されており、また、2013年度以降ルート19の妙正寺池で100羽以上を記録している。



図Ⅲ-2-19 カルガモ・オナガガモ・コガモ・キンクロハジロの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-38 カルガモの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	19	16	10	14	86	75	24	42	90	37	76	41	530
	1986年度	21	13	5	41	93	110	63	77	57	86	105	46	717
第2次	1991年度	13	21	14	8	21	82	76	50	30	56	42	57	470
第3次	1995年度	12	4	12	11	6	9	15	45	10	23	16	26	189
	1996年度	12	13	15	7	12	28	15	82	27	73	29	37	350
第4次	2000年度	12	3	6	9	14	9	19	20	52	25	35	30	234
	2001年度	6	2	12	6	10	21	26	23	35	38	24	41	244
第5次	2006年度		2	3	2	6			3	17	22	20	20	95
第6次	2013年度	73	38	40	53	80	69	54	79	80	72	63	59	760
第7次	2018年度	44	45	61	81	79	104	85	87	61	137	132	82	998

表Ⅲ-2-39 オナガガモの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度								2	8	9	6		25
	1986年度							3	4	6	10	12	1	36
第2次	1991年度								8	2		9		19
第3次	1995年度	11								2	8	7	8	36
	1996年度								2	120	32	23	6	183
第4次	2000年度	2	2					3	5	5	36	28	19	100
	2001年度	4						3	8	19	24	27	39	124
第5次	2006年度	3					3	10		39	40	30	27	152
第6次	2013年度		3	1	1	1		1	58	100	115	87	43	410
第7次	2018年度	2	2	2	2	1		6	23	31	32	46	23	170

表Ⅲ-2-40 コガモの月別個体数の年度変化

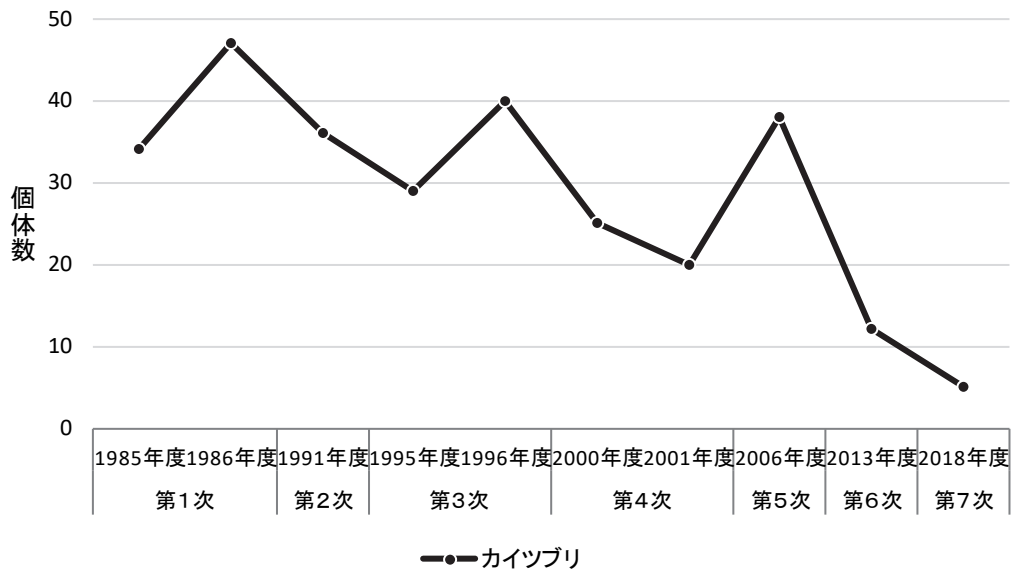
年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	23					2	9	33	42	32	85	7	233
	1986年度	28					7	22	42	76	86	49	99	409
第2次	1991年度	26					8	11	33	29	46	31	80	264
第3次	1995年度	6						6	5	3	5	9	5	39
	1996年度	18					3	2	7	13	8	9	2	62
第4次	2000年度	12			5			2	2	4	4	2	4	35
	2001年度	5			5			2	2	3	4	6	8	35
第5次	2006年度	4						3	4	11	12	7	6	47
第6次	2013年度	3						1	5	4	6	12	17	48
第7次	2018年度	10	8					6	6	9	9	16	6	70

表Ⅲ-2-41 キンクロハジロの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度													0
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度										5	3		8
	1996年度													0
第4次	2000年度	1										1	1	3
	2001年度	1							1		1		1	4
第5次	2006年度	2							12	14	16	15	16	75
第6次	2013年度	23	1	1	1	1	1	1	13	24	30	42	23	161
第7次	2018年度	2							21	51	61	30	35	200

【カイツブリ】

カイツブリは、1986年度に総個体数最多の47羽を記録したが、そこから増減を繰り返しつつ、2018年度に5羽にまで減少した。月別の状況をみると、2006年度までは周年記録されていたが、2018年度は12月、2月の冬季のみの記録であった。本種は、2013年度に和田堀公園等を通るルート5で記録されているが、それ以外は善福寺公園内を通るルート17で継続的に記録されている。しかし個体数は減少傾向にあり、2013年度以降は10羽未満である。善福寺公園内の池において、2013年度、2018年度にカイツブリの繁殖が見られなかったため、確認個体数が減少した。



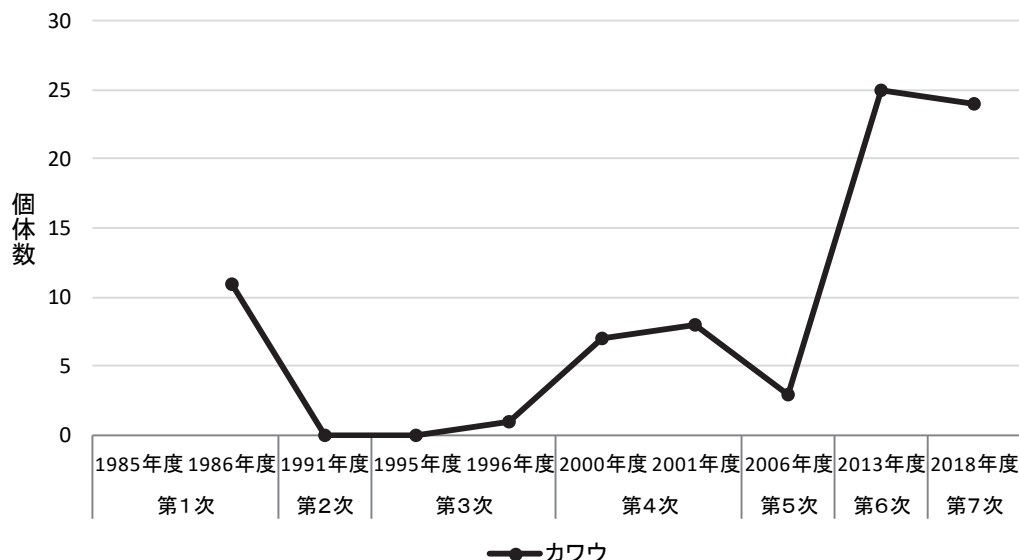
図Ⅲ-2-20 カイツブリの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-42 カイツブリの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	3		2	4	4	1		3	4	3	6	4	34
	1986年度	4	3	8	5	1	2	3	2	5	3	4	7	47
第2次	1991年度	2	3	5	4	2	1	3	3	3	5	2	3	36
	1995年度	2	3	2	2	4		2	3	3	2	3	3	29
第3次	1996年度	4	2	4	4	7	6	1	2	2	3	3	2	40
	2000年度	1	3	2	1	2		3	3	1	2	3	4	25
第4次	2001年度	1		1	4	2	2	1	3	1	2	3		20
	2006年度	3	4	4	6	3	2	2	2	4	3	3	2	38
第5次	2013年度		3		1	1				1		4	2	12
第6次	2018年度									1		4		5

【カワウ】

カワウは、年度総個体数が1986年度は11羽に減少したが、その後は0～8羽で推移していた。2013年度に25羽まで増加し、2018年度は24羽であった。月別の出現状況をみると、2000年度以降、出現する月が増え、2018年度ではほぼ毎月確認されるようになった。



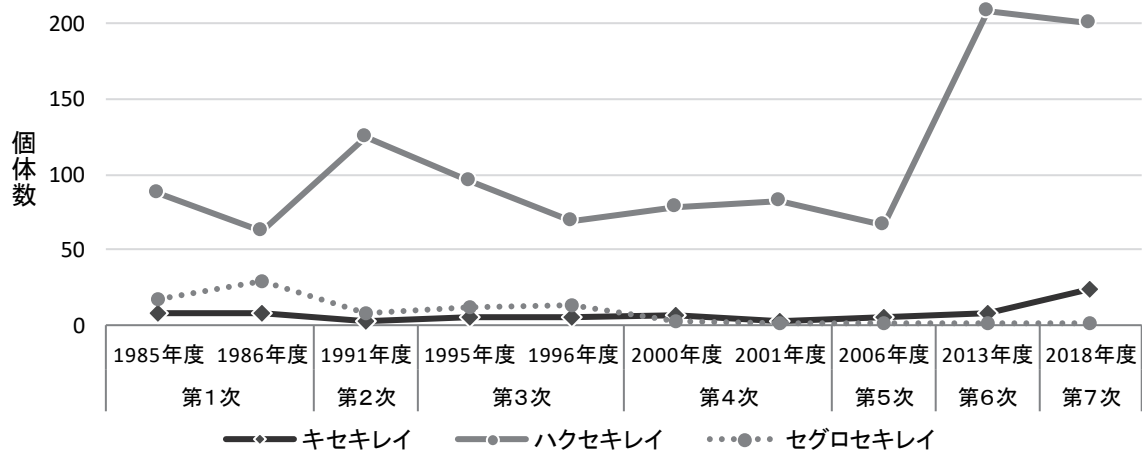
図Ⅲ-2-21 カワウの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-43 カワウの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度												11	11
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度													0
	1996年度									1				1
第4次	2000年度	1							2	1	1	1	1	7
	2001年度	1		1			1	1	1		1	1	1	8
第5次	2006年度	1										1	1	3
第6次	2013年度		4	3			6		4	1	2	1	4	25
第7次	2018年度	5	2	1	2	4	1	2	1	4	1	1		24

【キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ】

キセキレイは、年度総個体数が2013年度までは3～8羽を推移していたが、2018年度に24羽と増加した。月別の状況をみると、10月から翌年3月の非繁殖期に確認されることが多かったが、2000年度からは4月から8月の繁殖期にも確認されている。ハクセキレイは、年度総個体数が2006年度までは1991年度を除き、62～125羽の間を推移していたが、2013年度から200羽以上を確認した。月別の状況をみると、10月から翌年2月の非繁殖期に比較的多く確認している。本種が確認されているルートには神田川、善福寺川といった水辺環境があるのがほとんどであるが、主要な環境要素が住宅地である他ルートでも以前より多く記録され始め、生息範囲が拡大していると考えられる。セグロセキレイは、年度総個体数が1986年度で30羽を確認したものの、2000年度以降は3羽以下となり、2018年度では善福寺川沿いを通るルート6で確認された1羽のみだった。



図Ⅲ-2-22 キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-44 キセキレイの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度							2	1	1	1	1	2	8
	1986年度							2	1	1	1	2	1	8
第2次	1991年度								2				1	3
第3次	1995年度							1	2		2	1		6
	1996年度							3	2			1		6
第4次	2000年度	3	2					1					1	7
	2001年度	1	2											3
第5次	2006年度	1								1	1	3		6
第6次	2013年度	2						1	1	1	2	1		8
第7次	2018年度						1	5	7	2	1	5	3	24

表Ⅲ-2-45 ハクキレイの月別個体数の年度変化

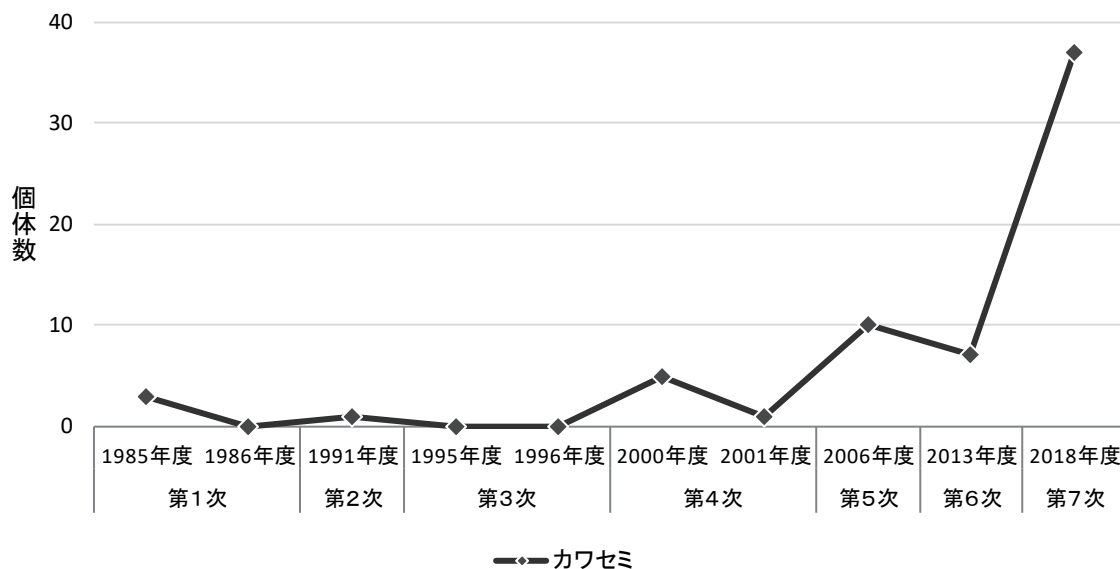
年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	6	6	1	3	3	4	13	11	9	12	12	8	88
	1986年度	5	4	4		1	5	9	6	11	6	7	4	62
第2次	1991年度	8	7	5	6	4	5	17	10	12	24	15	12	125
第3次	1995年度	10			4	1	12	15	16	12	8	12	6	96
	1996年度	4	6	1	2		2	14	9	9	7	10	5	69
第4次	2000年度	9	5	7	10	2	1	5	8	4	12	6	10	79
	2001年度	5	8	9	3	5	8	10	4	8	10	10	3	83
第5次	2006年度	5	1	1	8	2		3	6	6	13	11	11	67
第6次	2013年度	10	9	7	16	10	13	19	27	25	28	26	18	208
第7次	2018年度	5	14	5	8	2	3	18	31	34	26	26	29	201

表Ⅲ-2-46 セグロセキレイの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	3						7	4		2	1		17
	1986年度	1				2	1	7	7	5	3		4	30
第2次	1991年度	2						2	4					8
第3次	1995年度	2						4	2	4				12
	1996年度	3						5	1	4		1		14
第4次	2000年度	1	1						1					3
	2001年度									1			1	2
第5次	2006年度									1				1
第6次	2013年度								1					1
第7次	2018年度			1										1

【カワセミ】

カワセミは、1985年度から1996年度までは個体が確認されない年度もあったが、2000年度以降は常に確認されるようになった。月別の出現状況をみると、2006年度・2013年度は非繁殖期の11月から翌年の繁殖期3月・4月に確認されていたが、2018年度は周年確認されている。2006年度までは、池のある和田堀公園や善福寺公園のみの確認だったが、2013年度以降は、神田川、善福寺川といった河川を通るルートでも確認されている。このことから、本種は池のみでなく、河川も利用するようになり分布範囲を広げているものと考えられる。



図Ⅲ-2-23 カワセミの個体数の年度変化

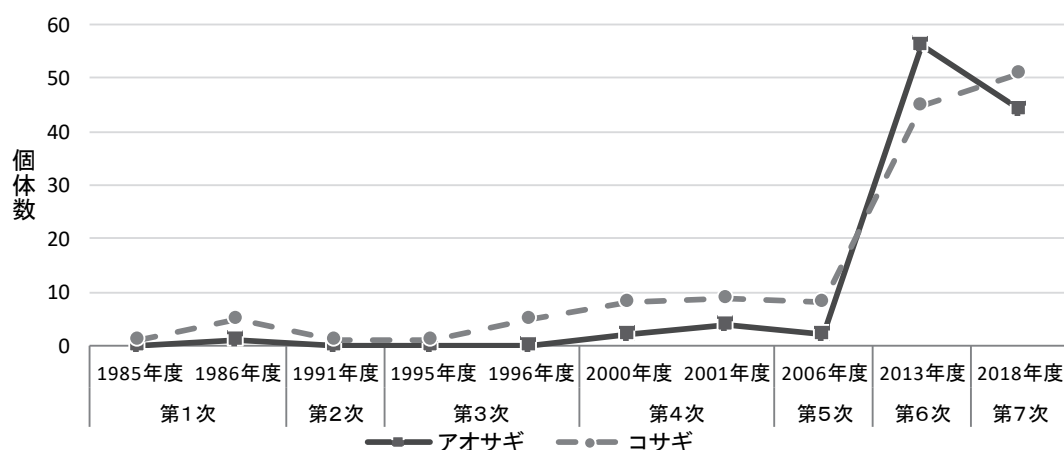
表Ⅲ-2-47 カワセミの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度		1						1	1				3
	1986年度													0
第2次	1991年度										1			1
第3次	1995年度													0
	1996年度													0
第4次	2000年度	2				1				1			1	5
	2001年度												1	1
第5次	2006年度	2							1	2	2	1	2	10
第6次	2013年度								4	1	1		1	7
第7次	2018年度	4		1	1	1	2	4	3	7	5	2	7	37

【アオサギ・コサギ】

アオサギは、1996年度までほとんど確認されなかったが、2013年度は56羽、2018年度は44羽と、近年急激に増加した。月別の状況をみると、2000年度から2006年度は非繁殖期の11月から翌年3月に確認されていたが、2013年度以降はほとんど周年記録されている。本種は、善福寺公園内を通るルート17で2000年度から継続的に確認されており、年度総個体数の半数以上を記録していた。2013年度以降は、神田川、善福寺川を通るルートで記録されている。

コサギは、年度総個体数が2006年度にかけて10羽程を推移していたが、2013年度以降50羽前後となり、近年増加している。月別の状況をみると、2006年度までは年度によってばらつきがあるが、2013年度以降はほぼ周年確認されており、定着していると考えられる。



図Ⅲ-2-24 アオサギ・コサギの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-48 アオサギの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度						1							1
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度													0
	1996年度													0
第4次	2000年度									1		1		2
	2001年度								1	1		1	1	4
第5次	2006年度									1	1			2
第6次	2013年度	1	3	5	10	6	4	4	2	6	5	5	5	56
第7次	2018年度	1	4	1	1	6		3	5	4	8	9	2	44

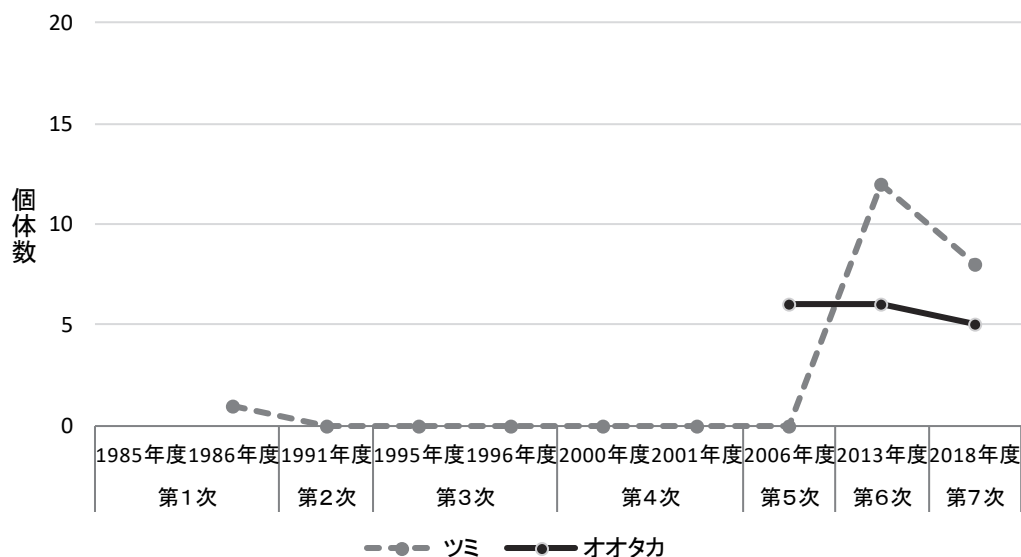
表Ⅲ-2-49 コサギの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度											1		1
	1986年度						1	1	1	1	1			5
第2次	1991年度	1												1
第3次	1995年度						1							1
	1996年度								2	2	1			5
第4次	2000年度	2	3							1		2		8
	2001年度	3					1					2	3	9
第5次	2006年度								1	2	1	2	2	8
第6次	2013年度		2	4	4	3	5	9	4	2	8	4	1	46
第7次	2018年度	5	3	2	3	14	5	4	2	4	1	2	6	51

【ツミ・オオタカ】

ツミは1986年度に1羽確認され、以降記録がなかったが、2013年度に、年度総個体数が12羽にまで増加し、2018年度は8羽確認された。月別の出現状況をみると、1986年度は1月に確認されていたが、2013年度・2018年度は、5月から8月の繁殖期に確認されるようになり、杉並区内で繁殖が確認された。

オオタカは2006年度から記録されるようになった。月別の出現状況をみると、2013年度までは9月から3月の非繁殖期に確認されていたが、2018年度には繁殖期に確認された。また、本調査ルート以外の杉並区内で2018年度に繁殖が確認された。



図Ⅲ-2-25 ツミ、オオタカの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-50 ツミの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度										1			1
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度													0
	1996年度													0
第4次	2000年度													0
	2001年度													0
第5次	2006年度													0
第6次	2013年度		1	2	1	3		1	2		1	1		12
第7次	2018年度	2	1		1		2	1		1				8

表Ⅲ-2-51 オオタカの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度													0
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度													0
	1996年度													0
第4次	2000年度													0
	2001年度													0
第5次	2006年度								1	1	1	1	2	6
第6次	2013年度						1				3	2		6
第7次	2018年度		1						1		2		1	5

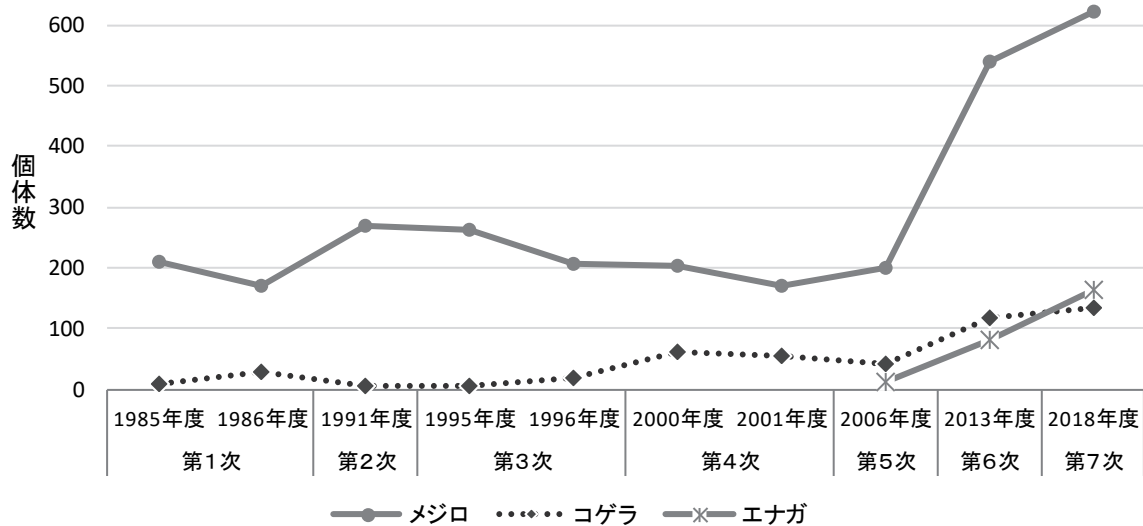
【コゲラ・エナガ・メジロ】

樹林性の鳥類として、コゲラ・エナガ・メジロは増加傾向にある。コゲラは、年度総個体数が1985年度では10羽であったが、年度によって増減をみせながら、右肩上がりに増加し、2018年度には133羽にまで増加した。月別の出現状況を見ると1996年度までは、5月、6月や8月に記録されない年度が目立ったが、2000年度頃からは、ほぼ毎月確認されるようになった。

エナガは、2006年度から記録されるようになった。年度総個体数が2006年度の12羽から、2018年度には164羽に増加した。月別の出現状況を見ると、2006年度には2、3月の2ヶ月のみの確認だったが、2018年度には通年で確認された。さらに2018年度では、巣材を運ぶ姿や巣立ち幼鳥が確認され、杉並区で繁殖が認められた。

メジロは、年度別総個体数が1985年度から2006年度までは150羽から250羽の辺りを推移していたが、2013年度から500羽以上を記録するようになった。月別の状況を見ると周年記録されているが、2013年度から各月の個体数が増大している。

これら3種の個体数が増加している要因として、区内の公園や街路樹等の樹木が成長し、樹林性の鳥類にとって生息しやすくなってきたと推察される。



図Ⅲ-2-26 コゲラ、エナガ、メジロの個体数の年度比較

表Ⅲ-2-52 コゲラの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	1			1		3	1		2		1	1	10
	1986年度	1		2	1		3		5	3	4	6	4	29
第2次	1991年度	1						1	1		1		1	5
第3次	1995年度	1			1		1		2	1	1			7
	1996年度	1			4	2	1	4	2	3	2			19
第4次	2000年度	6	3	2	3		9	7	3	7	4	7	12	63
	2001年度	4	7	3	1	2	5	6	7	5	7	6	2	55
第5次	2006年度	3	10	2	1	4	3		5	2	3	6	2	41
第6次	2013年度	7	7	15	12	4	7	12	4	7	12	17	15	119
第7次	2018年度	12	8	14	12	2	9	8	9	13	16	12	18	133

表Ⅲ-2-53 エナガの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度													0
	1986年度													0
第2次	1991年度													0
第3次	1995年度													0
	1996年度													0
第4次	2000年度													0
	2001年度													0
第5次	2006年度											6	6	12
第6次	2013年度	6	8	5	21		1	20		1	4	11	5	82
第7次	2018年度	6	12	5	14	8	10	16	4	24	20	23	22	164

表Ⅲ-2-54 メジロの月別個体数の年度変化

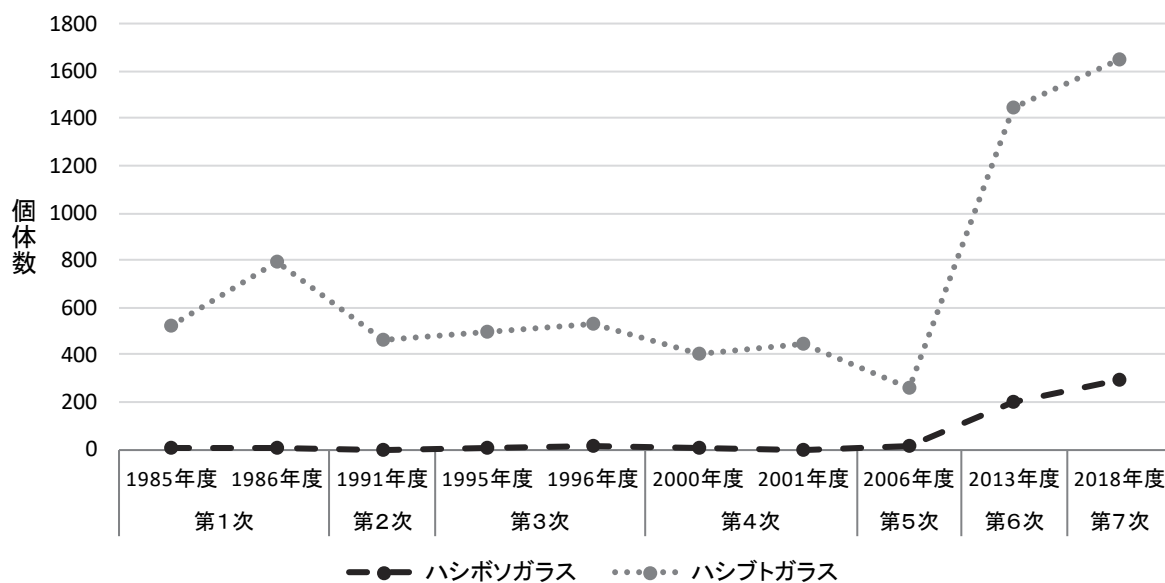
年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	11	7	8	10	8	2	12	29	52	16	23	33	211
	1986年度	4	8	10	10	1	9	20	23	29	18	28	12	172
第2次	1991年度	14	9	15	22	20	22	21	25	34	20	34	32	268
第3次	1995年度	9	11	15	35	34	28	22	11	37	33	16	11	262
	1996年度	9	6	14	16	19	2	18	30	30	30	16	16	206
第4次	2000年度	19	16	15	9	21	27	5	18	21	8	19	24	202
	2001年度	20	25	5	12	16	20	7	14	19	4	14	16	172
第5次	2006年度	19	14	14	8	19	9	19	21	17	33	19	9	201
第6次	2013年度	59	33	31	25	12	29	56	67	63	65	53	47	540
第7次	2018年度	30	19	31	36	15	12	50	64	110	100	86	69	622

【ハシボソガラス・ハシブトガラス】

ハシボソガラスは、年度総個体数は1985年度から2006年度までは20羽以下で推移していたが、2013年度には201羽にまで増加し、2018年度は296羽確認された。ハシブトガラスは、年度総個体数は1985年度から2006年度にかけて518羽から263羽に減少したが、2013年度に1443羽に増加し、2018年度には1646羽確認された。カラス類は両種とも近年大幅に増加している。

月別の出現状況をみると、ハシボソガラスは、2000年度までは、年度内の1ヶ月から5ヶ月でみられる程度だったが、2006年度から確認される月が増え、2013年度からは周年確認されるようになった。ハシブトガラスは第1次から周年確認されているが、2013年度以降、毎月100羽程の個体数を確認している。

特にハシブトガラスは、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート5で多く確認され、2018年度は全ルートにおけるハシブトガラスの総個体数の約4割を占めている。これは、和田堀公園には、営巣木となる大径木があり、餌も豊富でハシブトガラスにとって生息適地となっていると考えられる。



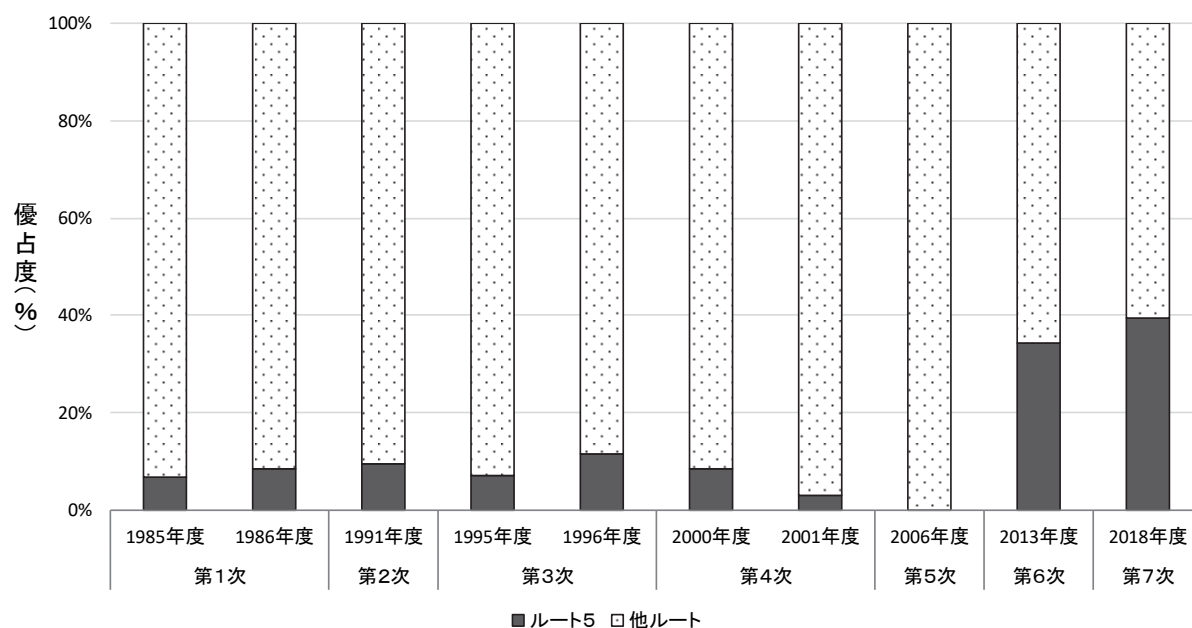
図Ⅲ-2-27 カラス類の個体数の年度変化

表Ⅲ-2-55 ハシボソガラスの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度				1	6				1		1		9
	1986年度										1		1	2
第2次	1991年度				1									1
第3次	1995年度							1				1		2
	1996年度		4					1	2	1			6	14
第4次	2000年度				1	1								2
	2001年度													0
第5次	2006年度	4	3	1	2	1			2			1	4	18
第6次	2013年度	12	12	35	1	3	6	10	6	25	30	18	43	201
第7次	2018年度	16	16	28	20	27	28	28	27	19	25	41	21	296

表Ⅲ-2-56 ハシブトガラスの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	47	46	33	38	30	36	25	45	31	72	76	39	518
	1986年度	61	94	96	46	41	33	48	73	88	85	71	59	795
第2次	1991年度	40	51	29	34	38	42	25	27	39	56	39	40	460
第3次	1995年度	35	30	27	54	37	49	44	20	65	47	57	33	498
	1996年度	34	36	28	42	32	36	41	21	52	86	51	71	530
第4次	2000年度	43	22	41	28	42	45	24	28	35	23	29	44	404
	2001年度	47	25	26	20	43	48	34	51	45	28	34	46	447
第5次	2006年度	28	19	25	29	24	25	26	18	11	9	24	25	263
第6次	2013年度	110	116	130	132	115	107	88	151	150	112	146	86	1443
第7次	2018年度	154	103	105	96	167	147	135	140	126	128	163	182	1646



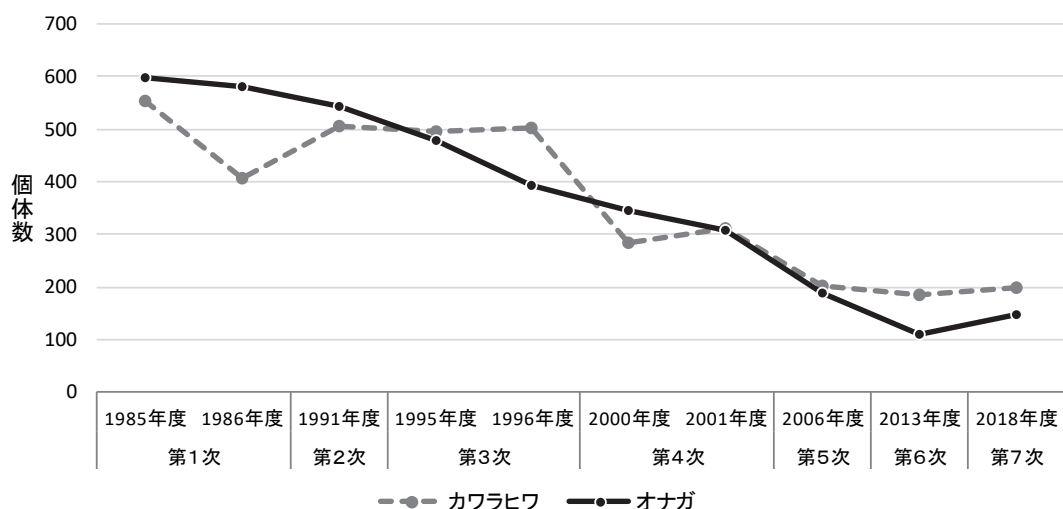
図Ⅲ-2-28 ハシブトガラスの年度別個体数割合

【オナガ・カワラヒワ】

オナガは、1985 年度から 2013 年度にかけて、年度総個体数が 599 羽から 111 羽へと 81.5%減少し、2018 年度は 147 羽であった。月別の状況をみると、2006 年度を除いて、毎月出現が確認されているが、各月の個体数は年々減少がみられる。

カワラヒワは、1985 年度は 554 羽みられ、その後 1996 年度頃から急激に減少し、2018 年度は 198 羽であった。月別の状況をみると、本種も周年確認されているが、2000 年度頃から月ごとの個体数に減少がみられ、2018 年度には 8・9 月の 2 ヶ月確認されない月があった。

オナガ、カワラヒワの減少の理由としては、両種ともに樹上にお椀型の巣を作って繁殖することから、カラス類による捕食のしやすさが影響している可能性も考えられる。



図Ⅲ-2-29 オナガ、カワラヒワの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-57 オナガの月別個体数の年度変化

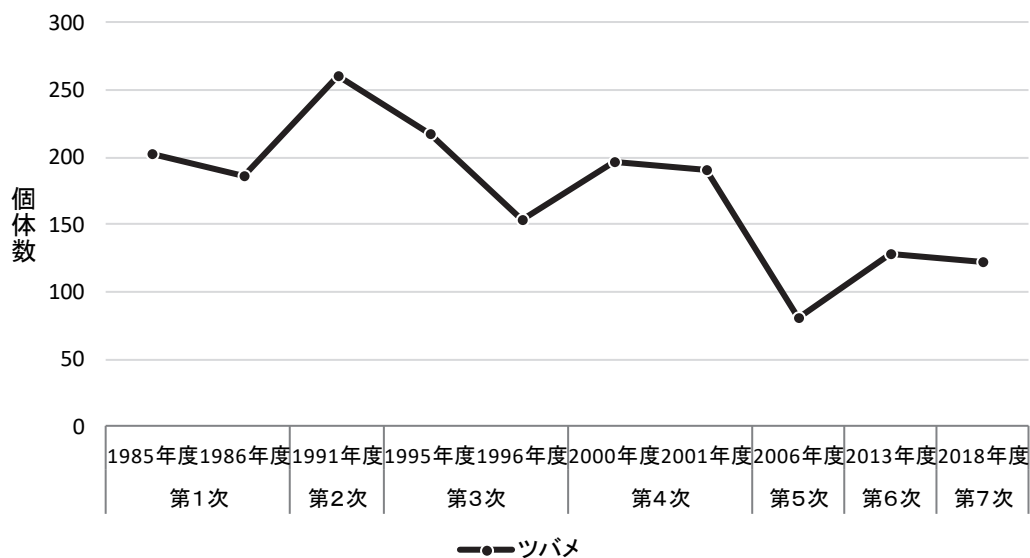
年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	51	63	54	28	47	44	35	44	61	52	65	55	599
	1986年度	44	65	59	35	53	78	47	40	39	37	44	39	580
第2次	1991年度	38	65	53	32	37	44	40	29	39	64	52	49	542
第3次	1995年度	41	50	54	42	37	34	27	31	38	44	32	50	480
	1996年度	44	32	30	23	35	36	37	22	34	29	36	35	393
第4次	2000年度	33	36	51	21	24	18	17	28	24	26	34	33	345
	2001年度	14	25	28	20	33	28	21	41	23	21	25	28	307
第5次	2006年度	18	20		12	5	3	15	17	23	26	24	24	187
第6次	2013年度	4	25	5	2	9	22	17	5	8	12	1	1	111
第7次	2018年度	33	7	15	12	9	5	2	8	6	7	25	18	147

表Ⅲ-2-58 カワラヒワの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	38	69	93	58	43	39	37	59	45	24	20	29	554
	1986年度	41	45	37	39	16	16	35	32	43	29	24	50	407
第2次	1991年度	44	52	45	44	47	37	44	40	56	27	35	36	507
第3次	1995年度	46	23	47	81	42	47	20	59	60	30	37	4	496
	1996年度	32	28	36	71	69	57	34	57	32	29	37	20	502
第4次	2000年度	11	28	26	14	27	29	25	33	22	29	20	20	284
	2001年度	18	33	25	15	30	19	24	22	32	37	34	21	310
第5次	2006年度	35	15	4	7	6	26	18	15	21	24	18	12	201
第6次	2013年度	6	12	7	4	2	9	14	16	23	5	71	14	183
第7次	2018年度	4	6	4	6			3	34	29	52	32	28	198

【ツバメ】

ツバメは、年度総個体数が1985年度から2001年度にかけて、200羽前後で増減を繰り返しながら徐々に減少し、2006年度には81羽にまで減少した。それが、2013年度には129羽に増加し、2018年度は122羽確認された。月別の状況をみると、毎年度4月には杉並区に渡来し、遅くとも概ね9月頃には渡去していた。



図Ⅲ-2-30 ツバメの個体数の年度変化

表Ⅲ-2-59 ツバメの月別個体数の年度変化

年次	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
第1次	1985年度	22	40	44	46	48	3							203
	1986年度	13	37	63	62	11								186
第2次	1991年度	30	49	64	45	52	8		4			8		260
第3次	1995年度	12	48	34	79	45								218
	1996年度	16	18	26	51	42								153
第4次	2000年度	7	36	49	58	28	18							196
	2001年度	13	34	49	61	26	7							190
第5次	2006年度		2	13	25	31	10							81
第6次	2013年度	16	34	49	22	6	2							129
第7次	2018年度	11	16	59	31	5								122

② 渡り区分別出現種数の年度変化

留鳥及び冬鳥は、種数が1991年度に一度減少したが、その後、2018年度にかけて増加傾向にある。これまでに確認された夏鳥はツバメの1種のみで、種数に変化はみられなかった。旅鳥は年度によって確認された種数にばらつきがみられた。

表Ⅲ-2-60 渡り区分別出現種数の年次比較

区分	第1次		第2次	第3次		第4次		第5次	第6次	第7次
	1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2006年度	2013年度	2018年度
留鳥	19	23	17	17	20	21	20	22	26	27
夏鳥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
冬鳥	12	14	12	13	14	14	14	15	18	16
旅鳥	5	8		1	4	3	2	3	4	6
不明	3	5			1	1	2	4	5	9

* 第6次、第7次はカワラバト(ドバト)とダルマインコ属が調査対象に追加されている。

* 表内の種数には、カモ類の雑種や、サメビタキ類など同定に至らなかった種を含む。

③ 環境区分別出現種数の年度変化

「水辺」に区分される鳥類は、1991年度には、種数が一度11種までに減少したが、その後徐々に増加し、2018年度は22種がみられた。「林地」に区分される鳥類は、1985年度から2000年度にかけて増減を繰り返したが、2013年度・2018年度は18種がみられた。「林地および草地など」に区分される鳥類は、6～9種を推移している。「市街地・その他」の区分の鳥類については、2018年度増加した。

表Ⅲ-2-61 環境区分別出現種数の年次変化

区分	第1次		第2次	第3次		第4次		第5次	第6次	第7次
	1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2006年度	2013年度	2018年度
林地	14	17	7	8	14	9	9	12	18	18
林地および草地など	8	8	6	6	6	7	7	7	7	9
草地、農耕地	4	6	4	4	4	4	4	5	4	5
水辺	12	17	11	12	15	18	17	19	21	22
市街地、その他	2	3	2	2	2	2	2	2	4	5

* 第6次、第7次はカワラバト(ドバト)とダルマインコ属が調査対象に追加されている。

* 表内の種数には、カモ類の雑種や、サメビタキ類など同定に至らなかった種を含む。

④ ルート別出現状況の年度変化

全 20 ルートのうち、2018 年度に改めて新設したルート 15・16 を除く、18 ルートについて、ルート別の種数・個体数・多様度の年度変化を表Ⅲ-2-62 に示した。

i 種数

全 18 ルート中、12 ルートで 1985 年度から 2006 年度にかけて減少したが、これらのルートのうち、ルート 7、14 を除く 10 ルートでは、2006 年度から 2018 年度にかけて増加した。

ルート 1、17 の 2 ルートは 1985 年度から 2006 年度にかけて増加した。ルート 1 は 2006 年度から 2018 年度にかけてさらに増加した。ルート 17 は 2006 年度から 2018 年度にかけて減少した。ルート 17 は善福寺公園を通るルートであり、2006 年度に最も多い 40 種が記録されており、その後も 33 種以上と安定して記録されている。

ルート 2、6、11、13 の 4 ルートは 1985 年度と比べて 2006 年度では変化がみられなかったが、2006 年度から 2018 年度にかけて増加した。

ルート 7 では 1985 年度から 2006 年度にかけて減少し、2006 年度から 2018 年度にかけてさらに減少した。ルート 7 は宮前 2 丁目の住宅地を通るルートであり、2013 年度以降、オナガ、カワラヒラ、アオジが確認されなくなった一方で、ダルマインコ属が記録されるようになった。ルート 7 周辺では、2013 年度調査前の 2007 年から 2012 年の間に区立荻窪小学校の建て替えに伴う樹林地の減少や集合住宅におけるややまとまった樹林地の減少が見られた。

ルート 14 は、1985 年度から 2006 年度にかけて減少し、2006 年度から 2018 年度にかけては変化が見られなかった。ルート 14 は 9～11 種を推移している。

ii 個体数

全 18 ルートで 1985 年度から 2006 年度にかけて減少したが、2006 年度から 2018 年度にかけて 15 ルートで増加した。その中で、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート 5 では、235 羽から 1462 羽と約 6 倍に増加した。しかし、そのうち半数近くの 647 羽をハシブトガラスが占めていた。残りの住宅地内を通るルート 7、14、善福寺公園内を通るルート 17 の 3 ルートは、2006 年度から 2018 年度にかけて減少した。特に、ルート 17 では、1405 羽から 968 羽と顕著であった。減少した半数以上をスズメが占め、2018 年度は 1 羽も確認されていなかった。個体数については、2018 年度にルートを変更したことによる大きな変化はなかった。

iii 多様度

全 18 ルート中、13 ルートで 1985 年度から 2018 年度にかけて増加し、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート 5、住宅地内を通るルート 7、11、14、善福寺公園内を通るルート 17 の 5 ルートで減少した。

多様度が増加した主なルートは、善福寺川・済美山自然林を通るルート 6 で 4.75 から 9.41、善福寺川緑地を通るルート 8 で 4.00 から 10.52、住宅地内を通るルート 13 で 4.66 から 9.47 と増加していた。ルート 6 は 2018 年度からルートを変更しているが、それによる影響は少なく、近年行われた善福寺川の護岸工事による影響を受けていると考えられる。減少していた主なルートは、和田堀公園等を通るルート 5 で 7.51 から 4.30、住宅地内を通るルート 11 で 6.18 から 4.19 であった。ルート 11 は 2018 年度からルート変更され距離が伸びたが多様度は減少していた。

表Ⅲ-2-62 ルート別種数・個体数・多様度の年度変化

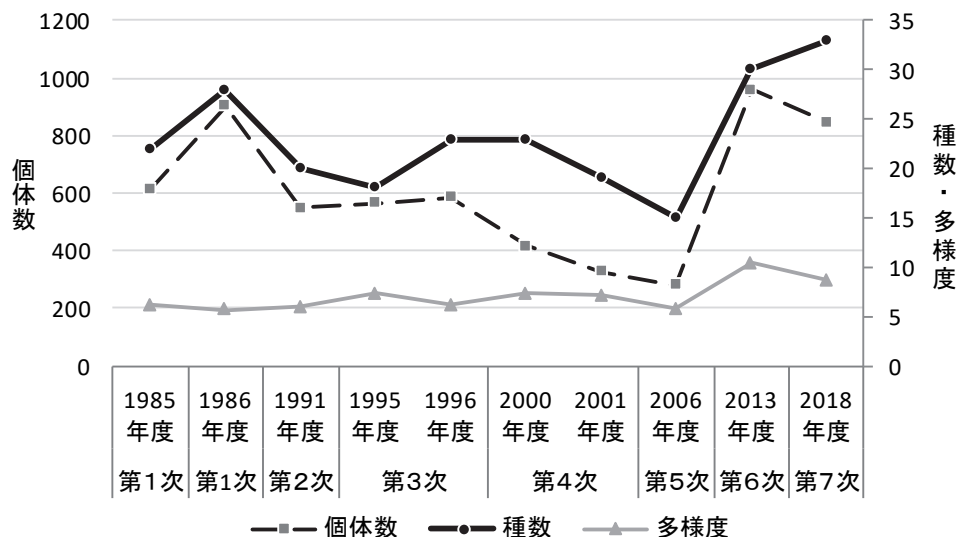
ルート		第1次		第2次	第3次		第4次		第5次	第6次 ^{*1}	第7次 ^{*1}	備考 ^{*2}
		1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2006年度	2013年度	2018年度	
1	種数	15	16	15	15	14	17	16	18	27	23	
	個体数	759	689	755	691	593	528	441	381	903	902	
	多様度	4.74	4.73	4.90	5.36	4.82	5.49	5.70	5.42	4.81	7.20	
2	種数	18	14	16	16	17	19	17	18	23	25	柏の宮公園・三井の森公園を通るルートに変更
	個体数	838	675	727	753	671	492	408	303	1119	766	
	多様度	6.58	5.21	6.52	6.72	6.32	6.91	6.39	8.98	5.58	6.84	
3	種数	23	29	18	21	19	18	18	18	25	25	
	個体数	691	995	661	642	692	456	527	338	1076	885	
	多様度	7.11	6.55	6.66	7.74	6.16	7.85	7.30	6.47	7.23	7.83	
4	種数	22	28	20	18	23	23	19	15	30	33	
	個体数	613	904	550	564	585	415	328	281	958	848	
	多様度	6.14	5.70	5.96	7.31	6.14	7.32	7.14	5.78	10.42	8.63	
5	種数	23	22	15	16	26	18	18	15	29	32	大宮八幡宮を通るルートに変更
	個体数	547	566	539	557	573	373	309	235	1482	1462	
	多様度	7.51	7.33	6.75	6.34	7.88	8.14	7.56	6.01	5.96	4.30	
6	種数	17	16	14	16	16	19	17	17	28	26	済美山自然林と済美山運動場を通るルートに変更
	個体数	765	840	691	680	556	471	373	223	956	812	
	多様度	4.75	4.98	4.89	5.61	5.70	6.24	7.10	5.37	6.51	9.41	
7	種数	16	17	12	14	17	13	15	14	11	13	
	個体数	522	855	428	405	565	298	309	334	246	284	
	多様度	4.96	5.71	3.79	5.55	5.41	5.95	5.88	5.30	4.31	4.10	
8	種数	21	21	15	17	25	18	18	18	26	31	
	個体数	682	853	626	687	649	424	403	378	718	585	
	多様度	4.00	4.02	4.22	4.85	4.30	4.08	5.58	5.72	10.52	10.52	
9	種数	14	16	13	14	14	13	14	13	17	19	妙正寺の外周を通るルートに変更
	個体数	503	491	375	490	416	251	219	177	421	356	
	多様度	6.75	4.76	6.91	6.91	5.53	6.85	6.87	7.20	6.28	8.61	
10	種数	14	12	12	13	12	12	12	11	13	18	蚕糸の森公園内を通るルートに変更
	個体数	442	305	377	388	351	262	257	214	434	542	
	多様度	3.96	2.97	4.50	4.34	3.93	4.61	4.74	4.02	3.02	7.97	
11	種数	15	14	15	14	14	16	15	15	18	17	ルートを東へずらし、環八通りまでに変更
	個体数	684	613	613	466	431	453	433	321	505	378	
	多様度	6.18	6.02	6.84	7.25	6.39	4.96	5.16	5.44	5.83	4.19	
12	種数	13	12	13	13	12	14	13	10	14	17	
	個体数	624	648	563	395	405	200	185	174	284	313	
	多様度	5.84	5.63	6.53	6.45	4.84	4.57	5.39	4.18	5.91	6.12	
13	種数	16	19	13	13	17	15	19	16	20	24	
	個体数	613	563	639	552	419	381	391	145	540	339	
	多様度	4.66	5.05	4.29	3.61	4.41	4.60	6.70	6.14	6.50	9.47	
14	種数	11	9	10	9	10	11	9	9	10	9	
	個体数	236	208	252	251	199	126	126	125	142	68	
	多様度	4.43	2.96	3.94	2.48	2.75	3.17	4.02	3.27	4.22	4.31	
15	種数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	第7次新規ルート
	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1112	
	多様度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.91	
16	種数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	第7次新規ルート
	個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370	
	多様度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.39	
17	種数	29	31	26	27	36	34	33	40	33	35	
	個体数	2105	1951	1723	1094	1373	1066	1141	1405	601	968	
	多様度	6.42	6.84	7.74	10.01	9.89	11.13	11.20	12.25	7.59	6.15	
18	種数	20	20	12	12	16	15	16	15	17	21	
	個体数	1037	1119	970	746	621	551	614	344	278	346	
	多様度	5.84	4.74	5.72	5.81	6.23	5.07	6.02	3.98	7.42	6.96	
19	種数	16	14	15	15	15	15	14	15	21	21	
	個体数	634	694	563	523	461	343	364	258	515	521	
	多様度	6.93	5.00	6.81	6.59	6.22	6.23	5.85	5.47	7.39	8.81	
20	種数	20	16	14	13	14	16	14	15	22	16	井草の森公園内を通るルートに変更
	個体数	757	566	674	620	535	348	307	281	496	495	
	多様度	3.20	2.45	3.91	3.84	4.12	6.33	5.41	5.22	7.66	7.04	

*1 第6次・第7次調査の集計対象種：カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属のデータは集計から除外した。

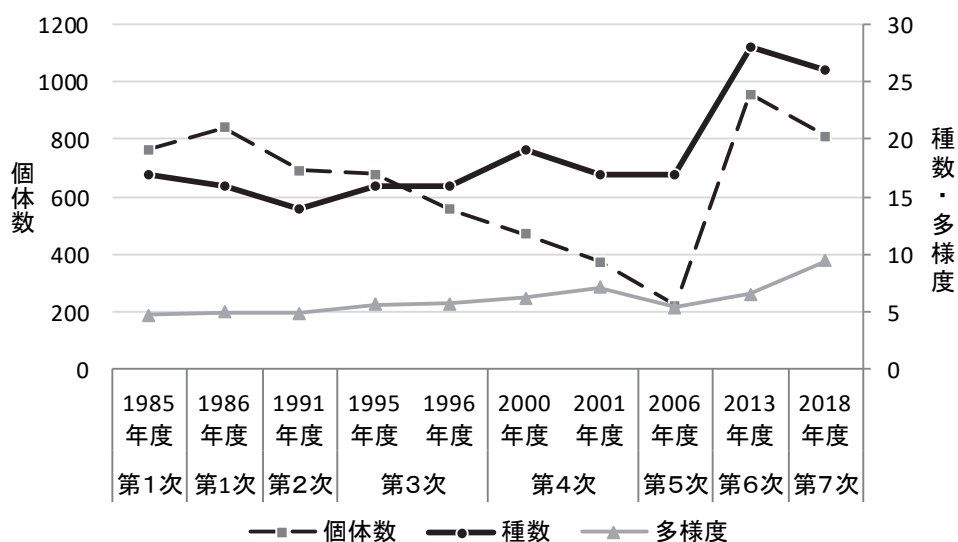
*2 第7次調査では、ルート2、5、6、10、11の5ルートは一部ルートを変更し、ルート15、16は新しく設置した。

第7次調査の種数・個体数・多様度の総合評価から、神田川沿いを通るルート4、善福寺川沿い、済美山自然林を通るルート6の2ルートは、多様な鳥類相を呈することが示唆された。ルート4は水辺と斜面林、雑木林の要素が組み合わさっていることで多様な種を確認できていると考えられる。ルート6は、善福寺川や隣接する済美公園においてワンド状の緩傾斜護岸が整備されており、水辺から草地が連続する開けた環境となっている。そのため、サギ類やカモ類、セキレイ類といった水鳥が多く確認されるようになったと考えられる。

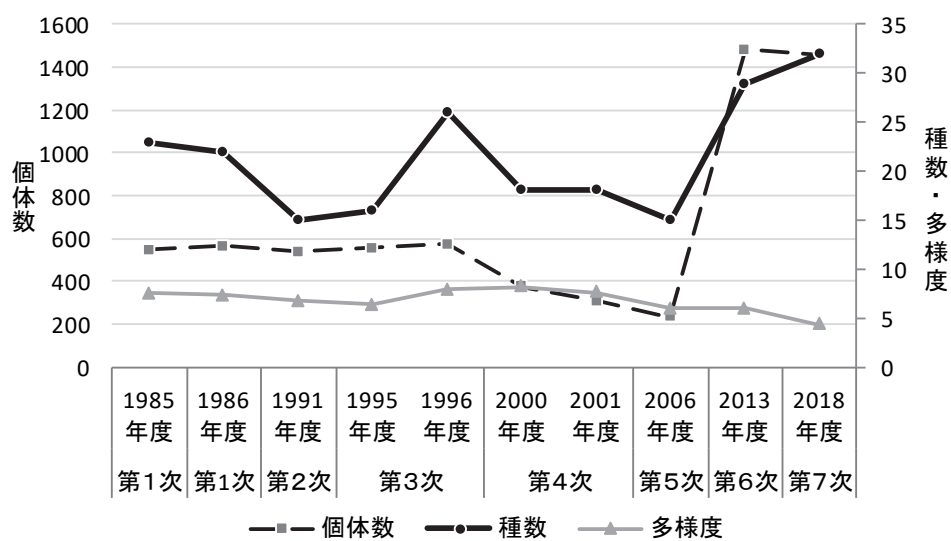
以上の2ルートとは反対に、大宮八幡宮・和田堀公園を通るルート5、善福寺公園内を通るルート17は、多様度が減少傾向にあった。ルート5は2006年度以降、個体数・種数ともに大きく増加しているが、多様度は減少している。これは、2006年度以降ハシブトガラスが増加し、ルート5の総個体数の約4割を占めていることが要因のひとつと考えられる。ルート17は、種数は大きく変わらないが、個体数、多様度は減少傾向にある。これまで継続的に200羽程度を記録していたスズメや、以前は40羽以上を記録していたカイツブリがほとんど確認されなかった。しかし、カワセミは最も多く確認され、その他にも個体数が回復している種がみられた。ルート17は杉並区内において貴重な池の水辺環境が残っている場所であり、今後の鳥類相の推移に注意する必要がある。



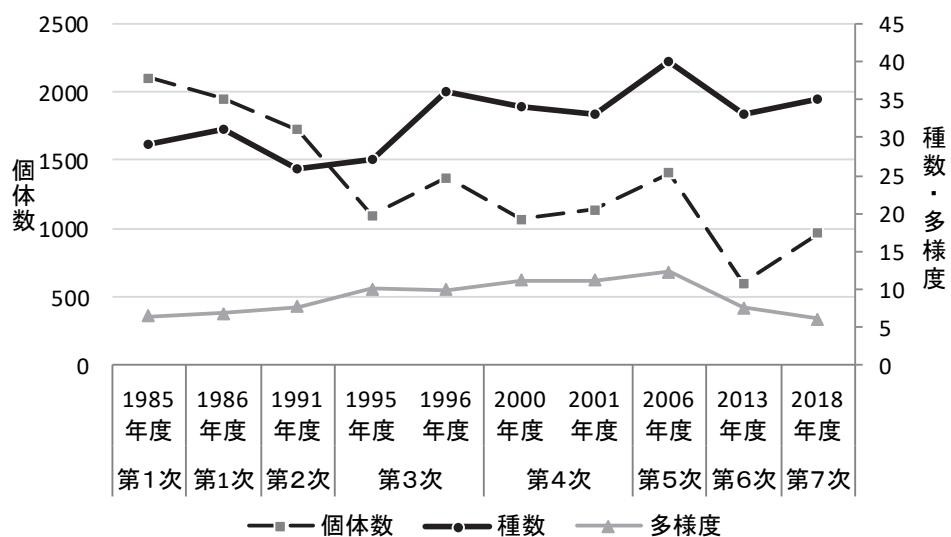
図Ⅲ-2-31 ルート4の種数・個体数・多様度の年度変化



図Ⅲ-2-32 ルート6の種数・個体数・多様度の年度変化



図Ⅲ-2-33 ルート5の種数・個体数・多様度の年度変化



図Ⅲ-2-34 ルート17の種数・個体数・多様度の年度変化

3) 外来種

第1次から第7次において確認された外来種は、コジュケイ、カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属、及びガビチョウの4目4科4種であった。なお、カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属は第1次から第5次までは調査対象外だったため、未記録となっている。

コジュケイは、1985年度、1986年度、2005年度に記録されたが、それ以降は記録されていない。

カワラバト(ドバト)、ダルマインコ属は、調査対象となった2013年度から記録されているが、両種はそれ以前から生息していたと考えられる。2018年度、両種は全ルート中19ルートで記録されており、杉並区の広い範囲で定着しているものと考えられる。

ガビチョウは外来生物法で定められた特定外来生物に該当し、2013年度に初確認され、2018年度は、久我山1丁目の玉川上水沿いを通るルート3で4月に1羽記録された。本種については、現時点ではまだ杉並区に定着していないものと考えられる。

表Ⅲ-2-63 外来種の確認状況の年度変化

目	科	和名	第1次		第2次	第3次		第4次		第5次		第6次	第7次	渡り 区分	生息環境
			1985年度	1986年度	1991年度	1995年度	1996年度	2000年度	2001年度	2005年度	2006年度	2013年度	2018年度		
キジ	キジ	コジュケイ	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	留	林地
ハト	ハト	カワラバト(ドバト)*1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	留	市街地
インコ	インコ	ダルマインコ属*1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	留	市街地
スズメ	チメドリ	ガビチョウ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	不	林地

*1 カワラバト(ドバト) とダルマインコ属：第6次調査から調査対象とした。

4) 注目種

これまでの調査で確認された鳥類のうち、環境省のレッドリストおよび東京都のレッドリスト掲載種を抽出し、確認状況を表Ⅲ-2-64 に示した。杉並区独自の注目種については、第5次報告書において23区内では比較的稀な種としてバンが選定されていたが、本種が東京都レッドリストに選定されたことから、該当種無しとした。各評価基準（注目種の選定理由）の内容は以下のとおりである。

※1 環境省レッドリスト

出典：レッドリスト(鳥類)．環境省（2019）．

CR：絶滅危惧ⅠA類（絶滅の危機に瀕している種）

EN：絶滅危惧ⅠB類（同上）

VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危機が増大している種）

NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）

DD：情報不足

※2 東京都レッドリスト（区部におけるランク）

出典：東京都の保護上重要な野生生物種．東京都（2013）．

EX：絶滅

EW：野生絶滅

CR：絶滅危惧ⅠA類

EN：絶滅危惧ⅠB類

VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

*：留意種

・：非分布（生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの）

－：データ無し（当該地域において生育・生息している（していた）可能性はあるが、確実な記録や情報が得られなかったもの）

※3 杉並区独自の注目種（国や都のレッドリスト該当種以外）の選定基準

23区内では比較的稀な種（該当種無し）

表Ⅲ-2-64 鳥類の注目種一覧

目	科	種類名	選定理由 ^{*1}			第1次		第2次	第3次		第4次		第5次		第6次	第7次
			環境省 RL	東京都 RL	杉並区 注目種	1985 年度	1986 年度	1991 年度	1995 年度	1996 年度	2000 年度	2001 年度	2005 年度	2006 年度	2013 年度	2018 年度
カモ	カモ	オシドリ	DD	EN						○	○	○	○	○	○	
		スズガモ		*						○				○		
		カイツブリ		NT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ペリカン	サギ	ダイサギ		VU			○			○	○	○	○	○	○	○
		チュウサギ	NT	VU							○		○	○		○
		コサギ		VU		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ツル	クイナ	バン		VU		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オオバン		VU											○	
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ		VU												○
チドリ	チドリ	コチドリ		VU												○
		シギ		VU			○						○			
タカ	タカ	トビ		NT			○									
		ツミ		CR			○						○		○	○
		ハイタカ	NT	EN											○	○
		オオタカ	NT	CR										○	○	○
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		VU		○		○			○	○		○	○	○
キツツキ	キツツキ	アオゲラ		EN											○	○
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ		EN			○					○		○		○
スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ		EX		○										○
	モズ	モズ		VU		○	○	○	○	○	○	○			○	○
	シジュウカラ	ヤマガラ		VU			○			○				○	○	
	ヨシキリ	オオヨシキリ		VU			○								○	
	ヒタキ	コサメビタキ		EX		○										
	セキレイ	セグロセキレイ		VU		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10目	16科	24種	4	24	0	8	12	6	5	9	9	9	9	12	15	16

*1 選定理由：凡例は文中（p.150）の枠内に記載した。

以下にこれまでに記録された注目種の確認状況を示す。また、今回記録された種を下線で示す。

○オシドリ（カモ科）

環境省レッドリスト情報不足、東京都レッドリスト絶滅危惧ⅡB類（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は冬鳥である。山地溪流から湖沼、池などに生息し、樹洞で繁殖する。草の種子、果実、水生昆虫を食べるが、特にドングリなどの堅果を好んで食べる。第7次では記録されなかったが、過去の調査では、第3次から第6次において、善福寺公園（ルート17）で10回、久我山2丁目の神田川沿いルートで1回の計11回記録された。オシドリは、野生の個体ではなく、都立井の頭自然文化園が1988年から2010年まで実施していた「オシドリ千羽計画」により、毎年2月に井の頭池で放鳥されたオシドリが分散して調査地で観察記録していた可能性もある。調査地の杉並区は、東京都井の頭自然文化園のある三鷹市、武蔵野市に隣接しており、神田川は井の頭恩賜公園の池が源流となっている。

○スズガモ（カモ科）

東京都レッドリスト留意種（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は冬鳥である。河口、内湾、港などに生息し、潜水してアサリなどの貝類などを食べる。第7次では記録されなかったが、過去の調査では、第3次と第5次において、善福寺公園（ルート17）で1月に記録されている。

※留意種 生息場所が特定の場所に集中しているため、生息場所の拡散状況や病気等の発生がないかを留意する必要がある種である。

○カイツブリ（カイツブリ科）

東京都レッドリスト準絶滅危惧種（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は留鳥である。日本産カイツブリ科の中では最小で、翼・尾が短い。足の各指にみずかきがあり、潜水が得意である。繁殖期には、水草を積み重ねて水面に浮巣をつくる。第7次では、善福寺公園（ルート17）で12月・1月に記録された。善福寺公園では、第1次から継続的に記録されており、第6次では、和田堀公園でも記録されている。

○ダイサギ（サギ科）

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は留鳥である。シラサギの中で最も大きなサギで、体長90cmほどになる。第7次では、ルート1、4、8、17の4ルートで5月から翌年3月にかけて記録された。確認されたほとんどのルートに神田川、善福寺川といった河川、公園内に池がある善福寺公園といった水域環境がある。これまでの調査では、第2次を除く調査で記録されている。

○チュウサギ（サギ科）

環境省レッドリスト準絶滅危惧種、東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は旅鳥である。体長70cmほどになる。第7次では、ルート1、ルート3の2ルートで3、4月に上空を飛翔している姿を記録した。これまでの調査では、第4次、第5次において善福寺公園（ルート17）で記録されている。

○コサギ（サギ科）

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類（区部）に該当し、杉並区での渡り区分は留鳥である。小型のシラサギで、足の指が黄色いことで他のシラサギと区別できる。第7次では、ルート2、4、5、6、8、13、15、17の8ルートにおいて1年を通して記録された。各ルートには、神田川、善福寺川といった河川、水域のある公園と

いった水域環境を含んでいる。これまでの調査では第1次から記録されている。

○バン (クイナ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区での渡り区分は留鳥である。全体は黒色で、額とくちばしが赤い。湖沼、池、河川、湿地に生息し、植物の種子や昆虫類、ミミズ類などを食べる。第7次では善福寺公園(ルート17)で記録された。これまでの調査では、第1次から和田堀公園(ルート5)、善福寺公園(ルート17)で、ほぼ周年記録されている。

○オオバン (クイナ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区での渡り区分は冬鳥である。全体は黒色で、額とくちばしが白い。主にヨシなどが生育する湖沼、池、河川、水田などに生育し、水草の葉・茎・種子、昆虫類、貝類などを食べる。本種は、第6次で1月に善福寺公園(ルート17)で、初めて記録されたが、第7次では確認されなかった。

○ヒメアマツバメ (アマツバメ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である。体長13cmで、長い翼を持ち、空中生活に適した形をしている。生活の大部分を空中で過ごし、飛びながら飛翔性昆虫類を食べる。第7次で2018年5月に済美山自然林の上空(ルート6)で初めて記録された。

○コチドリ (チドリ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である。体長16cmで、黄色いアイリングが特徴である。河川敷、海岸の砂洲の砂礫地で繁殖し、主に小型のカニや底生動物、昆虫類を食べる。第7次で2018年7月に和田堀公園陸上競技場内(ルート6)で初めて記録された。

○イソシギ (シギ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である。体長20cmで、河川、湖沼、海岸、干潟などに生息し、昆虫類や甲殻類などを食べる。第7次では記録されなかったが、これまでの調査では、第1次の1986年4月に、久我山2丁目の神田川沿いのルート4で記録されている。

○トビ (タカ科)

東京都レッドリスト準絶滅危惧種(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は不明である。日本のタカの仲間としては大型で、翼を広げた長さが1.5mほどある。第7次では記録されなかったが、過去の調査では、第1次の1986年3月に、久我山2丁目の神田川沿いのルート4で記録されている。

○ツミ (タカ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧ⅠA類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は留鳥である。キジバトほどの大きさで、日本最小のタカである。平地や山地の樹林に生息し、主に小鳥・昆虫類などを食べる。第7次では、ルート1、2、4、12、15、16の6ルートで、4月から12月にかけて休息や上空を通過しているところを記録された。これまでの調査では第1次・第6次調査で記録されており、杉並区内では本種の繁殖が確認されている。

○ハイタカ（タカ科）

環境省レッドリスト準絶滅危惧種、東京都レッドリスト絶滅危惧IB類（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は不明である。オオタカに似ているが小さく、オスはハトより大きく、メスはオスよりさらに大きい。平地から山地の樹林や耕作地に生息し、主に小鳥を食べる。第7次では、11月に、都立農芸高等学校の上空を通過しているところ（ルート16）を記録した。過去の調査では、第6次調査で2013年11月に、竜光寺、熊野神社を通るルート1で記録されている。

○オオタカ（タカ科）

環境省レッドリスト準絶滅危惧種、東京都レッドリスト絶滅危惧IA類（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は不明である。体長がオス50cm、メス55cmほどである。平地から山地の樹林に生息し、ハト類やカモ類などの中型の鳥類を食べる。第7次では、ルート2、4、9、16、17の5ルートで上空を飛翔しているところや、巨木で休息しているところを記録した。本種は、第5次以降記録されるようになり、若鳥や幼鳥も記録されており、杉並区内での繁殖が確認されている。

○カワセミ（カワセミ科）

東京都レッドリスト準絶滅危惧種（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は留鳥である。体長17cmで、背面に光沢のある青色が特徴である。河川、湖沼、都市公園の池などに生息し、小魚やザリガニ、カエル類などを食べる。第7次では、ルート4、5、8、13、15、17、19の7ルートで、ほとんど1年を通して記録された。各ルートには、善福寺川、神田川といった河川や公園内に池のある善福寺公園、和田堀公園といった水域環境がある。これまでの調査では第3次以外で確認されており、ルート5、6、8、17、20で記録されている。

○アオゲラ（キツツキ科）

東京都レッドリスト絶滅危惧IB類（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は留鳥である。体長29cmで、背面が黄緑色である。平地から山地の樹林に生息し、昆虫類やクモ類などを食べる。第7次では、ルート2、15、17、18で記録された。これらのルートは、ルート内に雑木林の環境がある。本種は第6次から記録され、2013年7月に、善福寺公園を通るルート17で記録されている。

○チョウゲンボウ（ハヤブサ科）

東京都レッドリスト絶滅危惧IB類（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は不明である。体長オス30cm、メス33cmで、背面が茶褐色なのが特徴である。平地から山地の崖、橋脚などで繁殖し、ネズミや小鳥、昆虫類を食べる。第7次では、1月に、ルート6で済美山自然林方向に飛翔する本種を記録した。これまでの調査では第1次、第4次、第5次において、9月から12月に記録されている。

○サンコウチョウ（カササギヒタキ科）

東京都レッドリスト絶滅（区部）に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である。尾が黒色で中央の2枚が非常に長いのが特徴である。平地から低山地の薄暗い樹林に生息し、飛翔性昆虫類などを食べる。第7次では5月に善福寺川緑地（ルート8）で記録された。これまでの調査では、第1次の1985年9月に、和田堀公園を通るルート5で記録されている。

○モズ (モズ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は冬鳥である。体長 20 cmで、くちばしがタカのようにカギ型をしている特徴がある。捕らえた獲物を小枝や棘にさす習性があり、「はやにえ」と呼ばれる。第7次では10月、12月に、ルート2、3、12、18で記録された。これまでの調査では第1次から、10月から翌年5月にかけて記録されている。また、ルート別では、ルート7、9、14、第7次から新たに設定したルート15、16を除く、15ルートで記録している。確認されなかったルート7、9、14の3ルートは主な環境が住宅地であった。

○ヤマガラ (シジュウカラ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は留鳥である。体長 14cmで、頭が黒と淡い黄褐色、背中と腹は茶褐色の特徴がある。平地から山地の樹林に生息し、植物の種子や昆虫類などを食べる。第7次では記録されなかったが、これまでの調査では、第1次、第3次、第5次、第6次に記録されている。記録された時期・ルートは、12月にルート5、3月にルート17、4月にルート8、17である。

○オオヨシキリ (ヨシキリ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である。河口、河川、湖沼のヨシ原などに生息し、昆虫類やクモ類などを食べる、第7次では、善福寺公園内のヨシ原(ルート17)で、調査時間外に調査員が確認した。これまでの調査では、第1次で5月から6月に、ルート17で、第6次で5月に、久我山2丁目の神田川沿いルートのルート4で記録されている。

○コサメビタキ (ヒタキ科)

東京都レッドリスト絶滅(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は旅鳥である、体長 13cmで、背面が灰褐色で、翼は黒褐色、体の大きさのわりに目が大きく見えるのが特徴である。第7次では、善福寺公園(ルート17)で調査時間外に、調査員が確認した。これまでの調査では第1次で9月から10月に、玉川上水沿いのルート3、和田堀公園を通るルート5で記録されている。

○セグロセキレイ (セキレイ科)

東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類(区部)に該当し、杉並区の渡り区分は冬鳥である。平地から山地の河川、湖沼、耕作地などに生息し、昆虫類を食べる。第7次では、6月に善福寺川(ルート6)で記録された。これまでの調査では、第1次から継続的に記録されている。また、時期・ルートはルート1、4、5、8、9、13、17、18、19、20の10ルートで、10月から翌年5月頃までに記録されている。

(3) 杉並区における鳥類の特性

① 第7次調査からみた鳥類の特性

- ・ 都市鳥といわれる都市環境に適応したヒヨドリ、カワラバト、ハシブトガラス、スズメ、ムクドリの占める割合が、繁華街では約90%、住宅地では約60%、池のある緑地公園では約30%となっていた。
- ・ 留鳥及び冬鳥が全体の約7割を占め、夏鳥はツバメの1種と少ない。その他に区内を通過していくと考えられる旅鳥等も少数ではあるが確認された。
- ・ 出現数、種数及び多様度等を総合的にみて、環境要素として池や川等を含むルートの方が、住宅地を多く含むルートに比べ、より鳥類相が良好であると評価された。

② 第1次から第7次までの調査からみた鳥類の特性

- ・ 個体数は1985年度から2006年度にかけて減少していたが、2013年度に回復し、2018年度は2013年度と同程度であった。種数は1991年度に一度減少したが、その後は増加し、2018年度はこれまで最も多い種数を確認した。多様度は、ほぼ平衡状態であったが、近年は増加傾向がみられた。
- ・ 第1次から第7次調査全体での優占種をみても、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ等の都市鳥が優占し、構成は2006年度までは安定していたが、2013年度以降は優占種の構成に若干変化がみられた。今後の杉並区の鳥類相にみられる変化が注目される。
- ・ スズメは、第1次から第7次にかけて、常に優占種の上位を占めていた。しかし、スズメの個体数をみると、第1次は4376羽であったのが、第7次には1510羽となり65.5%減少した。日本におけるスズメの個体数減少の要因として、近年気密性の高い住居が多くなり、スズメが巣をつくる場所が減少した事が挙げられている（三上, 2013）。杉並区においても、同様に住宅構造の変化が減少の一因である可能性も考えられる。一方で、オオタカ、コゲラ、エナガ等は、区内での繁殖も確認されるようになった。この要因としては、都市の緑地環境の量的変化に適応していることや、人が鳥類に危害を与えることも少なくなり人の姿に慣れていることなどが考えられる。
- ・ ハシブトガラスは、1986年度795羽から2006年度263羽まで64%減少していたが、2013年度1443羽、2019年度1646羽となり2006年度との比較で約6倍に増加した。2019年度は、大宮八幡宮・和田堀公園で観察されたハシブトガラスの個体数が、全ルートにおけるハシブトガラス年間総個体数の約4割を占めるなど分布には偏りが見られた。なお、東京都が実施した、2018年度の生息数調査によると、カラス対策等の取り組みにより、東京都では近年カラス類の減少が報告されているが、過去3年間は8500羽前後を推移している（東京都環境局ホームページ）。杉並区では、東京都の報告とは異なり、増加傾向にあると考えられる。
- ・ 第6次以降アオサギやコサギ、カワセミ、カルガモ、キンクロハジロといった水鳥の個体数が増加傾向にある。これらの種は、池のある善福寺公園や和田堀公園、善福寺川や神田川、妙正寺川といった河川で分布を広げており、杉並区に定着しているものと考えられる。しかし、一方で、カイツブリが減少傾向にあった。区内では善福寺公園のみの確認のため、今後の推移に注意が必要である。

[4] 両生類・爬虫類・哺乳類

(1) 調査内容および方法

両生類・爬虫類・哺乳類の分布状況については、区民を対象としたアンケート形式で調査を実施した。

調査方法は、予め調査対象種を提示し、その他の種については自由記載により回答を得た。第7次調査の調査対象種を表Ⅲ-2-65 に示した。確認地点の記録には、杉並区の全範囲を区画に分けたメッシュ地図を用いた。メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を使用し、第6次以降は全国をカバーした標準地域メッシュ第3次地域区画を使用した。調査範囲内の全メッシュ数は第1次から第5次までは161 から165 メッシュ、第6次以降は50 メッシュである。第7次調査の調査期間は2018年度とし、アンケートに協力していただいた区民は137名であり、そのうち両生類・爬虫類・哺乳類を合わせた回答率は32.1% (44名) であった (表Ⅲ-2-66)。

表Ⅲ-2-65 第7次調査対象種

分類	目	科	和名	学名
両生類	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>
		アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>
		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>
			ウシガエル	<i>Lithobates catesbeiana</i>
			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>
爬虫類	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>
			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>
		スッポン	ニホンスッポン*1	<i>Pelodiscus sinensis</i>
		ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>
	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>
		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>
		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>
		ナミヘビ	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>
			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>
			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>
哺乳類	食虫	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>
	翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>
	食肉	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonides</i>
		イヌ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>
		アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>
	齧歯	ネズミ	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>

*1 ニホンスッポン：アンケート用紙には種名を「スッポン」と記載

表Ⅲ-2-66 第7次調査におけるアンケート調査の回答状況

年度	アンケート協力者数	回答件数*1	回答率(%)
2018年度	137	44	32.1

*1 回答件数：両生類・爬虫類・哺乳類に関する回答件数

(2) 両生類

1) 調査結果および考察

① 第7次調査結果

第7次調査で確認された両生類はアズマヒキガエル（ニホンヒキガエルの亜種）、ニホンアマガエル、ウシガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル、トウキョウダルマガエルの6種類であった。表Ⅲ-2-67 にこれら6種類について確認されたメッシュ数を示した。また、図Ⅲ-2-35 に種類ごとの分布状況を示した。

表Ⅲ-2-67 第7次調査における両生類の確認状況

目	科	和名	学名	確認 メッシュ数	確認メッシュ 比率(%) ^{*3}	注目種 東京都RL ^{*4}	杉並区 指標種 ^{*5}
無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル ^{*1}	<i>Bufo japonicus formosus</i>	29	58.0	NT	a
	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	1	2.0	EN	
	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	3	6.0	EN	
		ウシガエル ^{*2}	<i>Lithobates catesbeiana</i>	1	2.0		
		ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	3	6.0	CR	
		トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	1	2.0	CR	
1目3科5種類（及び外来種1種類）						5種	1種

注）・学名及び分類順は「日本産爬虫両生類標準和名」（日本爬虫両棲類学会，2019）に拠った。

・灰色の塗りつぶしはアンケート用紙に例示した調査対象種。

*1 アズマヒキガエル：ニホンヒキガエルの亜種。ここでは亜種名を和名とした。

*2 ウシガエル：外来種。

*3 確認メッシュ比率：全調査範囲の50メッシュに占める確認メッシュ数の割合。

*4 東京都RL（区部におけるランク）

CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 NT：準絶滅危惧

*5 杉並区指標種：指標する環境についてはP.190以降に詳解した。

a：自然環境の質を指標する種 b：環境変化を指標する種

確認された両生類の中で、注目種はアズマヒキガエル、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル、トウキョウダルマガエルである。またアズマヒキガエルは、豊かな林床のある樹林、および緑の多い住宅地の環境の質を指標する種類に選定されている。

種類ごとの分布状況を見ると、アズマヒキガエルは29メッシュで確認され、全調査範囲における確認メッシュ比率が58.0%と最も広く分布している。本種の分布の特徴は、区内に偏り無く広く分布していることであり、杉並区を代表する両生類といえる。これは本種が乾燥に比較的強く、公園や社寺、緑の多い住宅地などで生息可能なこと、繁殖もごく小規模な止水域で行えることによると考えられる。また、体のサイズが大きく人家周辺にも生息するため、発見しやすい種類であることも確認例が多い理由と考えられる。

それ以外の種類については、ニホンアカガエルとツチガエルの確認メッシュ数がそれぞれ3、確認メッシュ比率は6.0%、ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエルの確認メッシュ数が1、確認メッシュ比率は2.0%と分布は少ない。

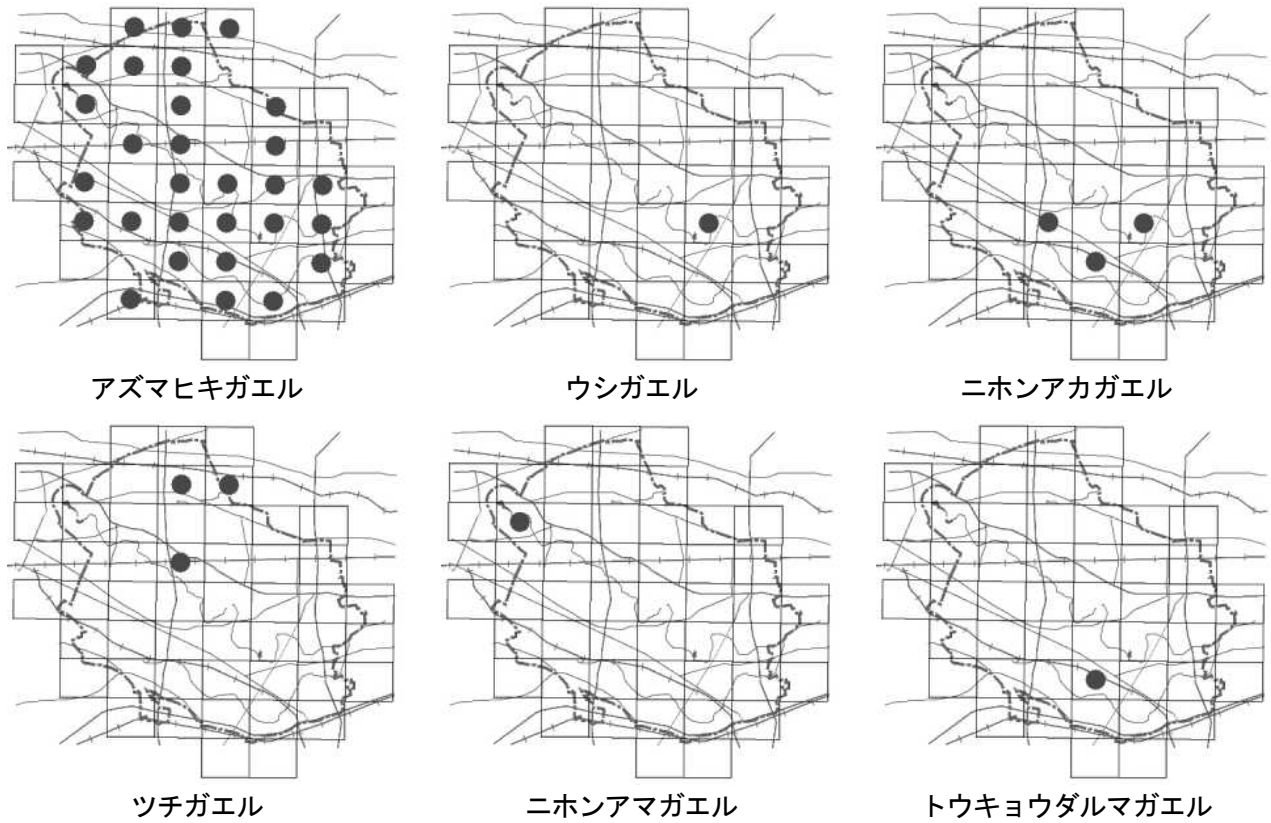
ニホンアマガエルは水辺だけでなく周辺の草や木の上も利用する種類であり、善福寺公園で確認された。

ニホンアカガエルは卵や幼生の成長に水田や水路などを利用する種類であり、和田堀公園や柏の宮公園等で確認された。第6次調査で確認された善福寺公園等では今回は確認されず、これまでと異なる地点で確認されたことから、人為的に放逐された可能性が考えられる。

特定外来生物に指定されているウシガエルは水辺環境に生息することから、分布は周囲に池などのあるメッシュに限定されており、和田堀公園で確認された。

ツチガエルは3メッシュで確認されたが、杉並区を含む都市域には本種の生息環境が乏しいことから、放逐された可能性が高い。

トウキョウダルマガエルは、主に水田やその周囲の水路、浅い沼地、河川敷の湿地などの水辺に生息する種類であり、第7次調査では柏の宮公園で確認された。人為的に放逐された可能性もあるが、小さな個体群が存続していた可能性も考えられる。



図Ⅲ-2-35 第7次調査で確認された両生類の分布状況

② 既往調査（第1次から第6次）との比較

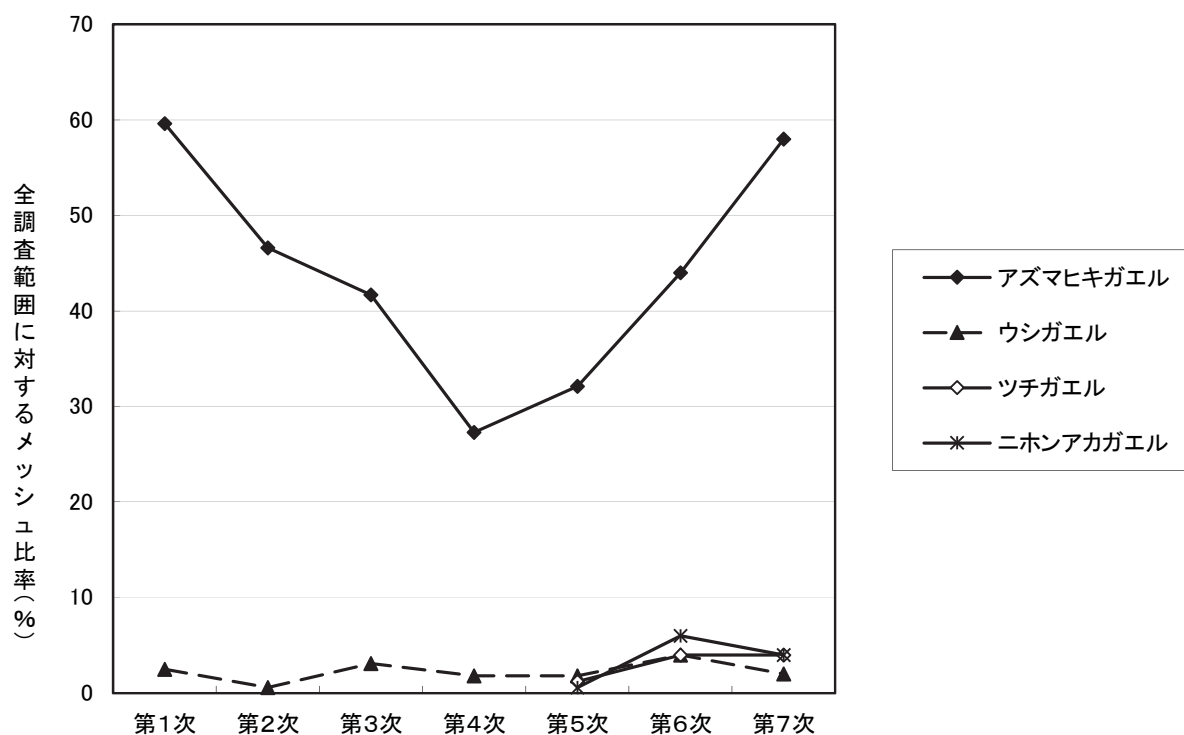
両生類の生息状況の推移を把握するため、表Ⅲ-2-68 に第1次から第7次調査において確認された両生類の種類別確認メッシュ数および確認メッシュ比率を示し、図Ⅲ-2-36 に種類別確認メッシュ比率の推移を示した。また種類別の分布の推移を図Ⅲ-2-37 から図Ⅲ-2-42 に示した。

表Ⅲ-2-68 両生類の種類別年次別の確認メッシュ数と比率(%) *1

種名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)
アズマヒキガエル	96	59.6	76	46.6	68	41.7	45	27.3	53	32.1	22	44.0	29	58.0
ニホンアマガエル	16	9.9	2	1.2	11	6.7	3	1.8	4	2.4			1	2.0
ウシガエル	4	2.5	1	0.6	5	3.1	3	1.8	3	1.8	2	4.0	1	2.0
ニホンアカガエル									1	0.6	3	6.0	3	4.0
ツチガエル									2	1.2	2	4.0	3	4.0
トウキョウダルマガエル									2	1.2			1	2.0
シュレーゲルアオガエル					1	0.6								
カエル類*2			4	2.5	11	6.7	11	6.7			1	2.0		

*1 比率：確認メッシュ数の調査範囲内の全メッシュ数に対する比率。メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降の調査では標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用した。調査範囲内の全メッシュ数は第1次から第5次までは161～165メッシュ、第6次以降は50メッシュとして計算した。第1次から第5次までについては各年次の報告書に拠った。

*2 カエル類：種名まで特定できなかった情報をまとめた（第3次までの調査でsp.及び類と表記されていたものはこの中に統合した）。



注) メッシュ地図は第1次から第5次調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図、第6次以降の調査では標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用しているため、第6次以降のメッシュ比率と第1次から第5次までのメッシュ比率との単純な比較ができない点に注意を要する。

図Ⅲ-2-36 両生類の種類別確認メッシュ比率の推移

両生類の種類別に生息状況の推移をみると、アズマヒキガエルの確認メッシュ数の割合は、第1次調査59.6%から第4次調査の27.3%まで急激に減少したが、第5次調査以降は回復傾向にあり、今回第7次調査では第1次調査と同程度の58.0%に回復した。本種の産卵場所は止水域であり、民家の庭などで落葉が溜まり湿った場所が利用されることから、確認メッシュ数割合の回復は、このような繁殖に好適な環境が区内に点在していることを示している。今後、本種が安定して生息するためには、公園や個人庭などに産卵用の池を設置することや交通事故を回避する方策を検討することなどが有効と考えられる。

ニホンアマガエルは第6次以外の調査で確認された。第1次から第5次までは調査年次により確認メッシュ比率にばらつきが見られたが、第3次以前には11メッシュ（6.7%）以上で確認されたのに対し、第4次以降は4メッシュ（2.4%）以下に減少した。本種は樹上性であることから発見率が低く、アンケート調査では実際の分布が正確に反映されていない可能性が考えられるとともに、杉並区を含む都市部には本種の生息環境が乏しいことから、確認個体が人為的に持ち込まれていた可能性も考えられる。

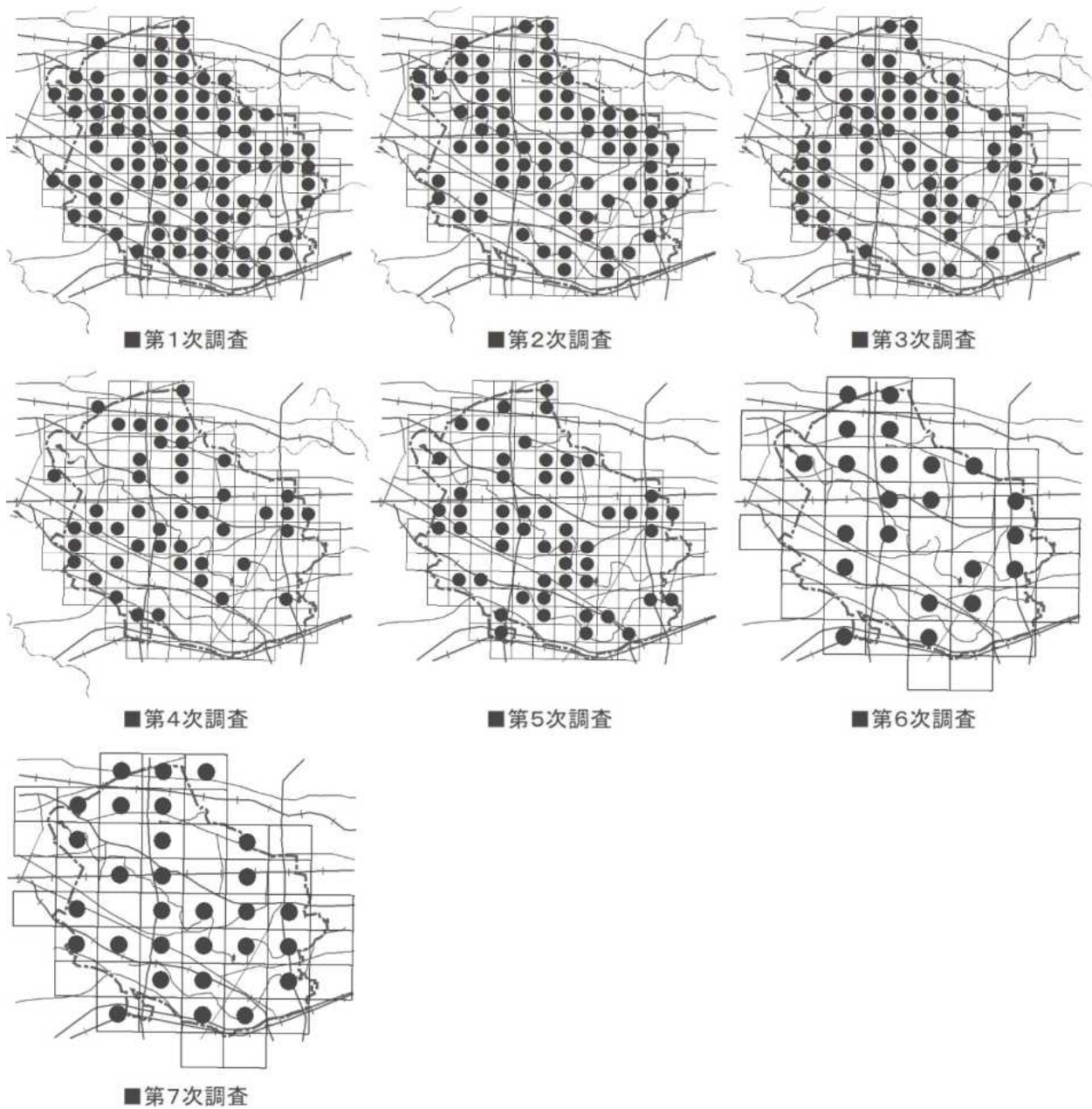
ウシガエルは周囲に池などの水辺環境のあるメッシュで継続的に確認されており、区内に定着していると考えられる。確認メッシュ比率では第1次の2.5%から第7次の2.0%まで大きな増減は見られなかった。第7次調査で確認された1メッシュは、これまでに確認されていた善福寺池付近のメッシュとは異なり和田堀池であった。本種は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により、生態系や人間社会へ被害を及ぼすおそれのある「特定外来生物」に指定されている。生息状況の動向や、定着している地域における在来生物への影響の有無について、今後も注意していく必要がある。

ニホンアカガエルは第5次調査で初めて確認され、第7次調査では善福寺公園を含む3メッシュで確認されたが、確認場所は3回の調査で異なっていた。在来个体が維持されている可能性もあるが、人為的に放逐された可能性も含んでいるため、今後の動向に注目すべき種類である。

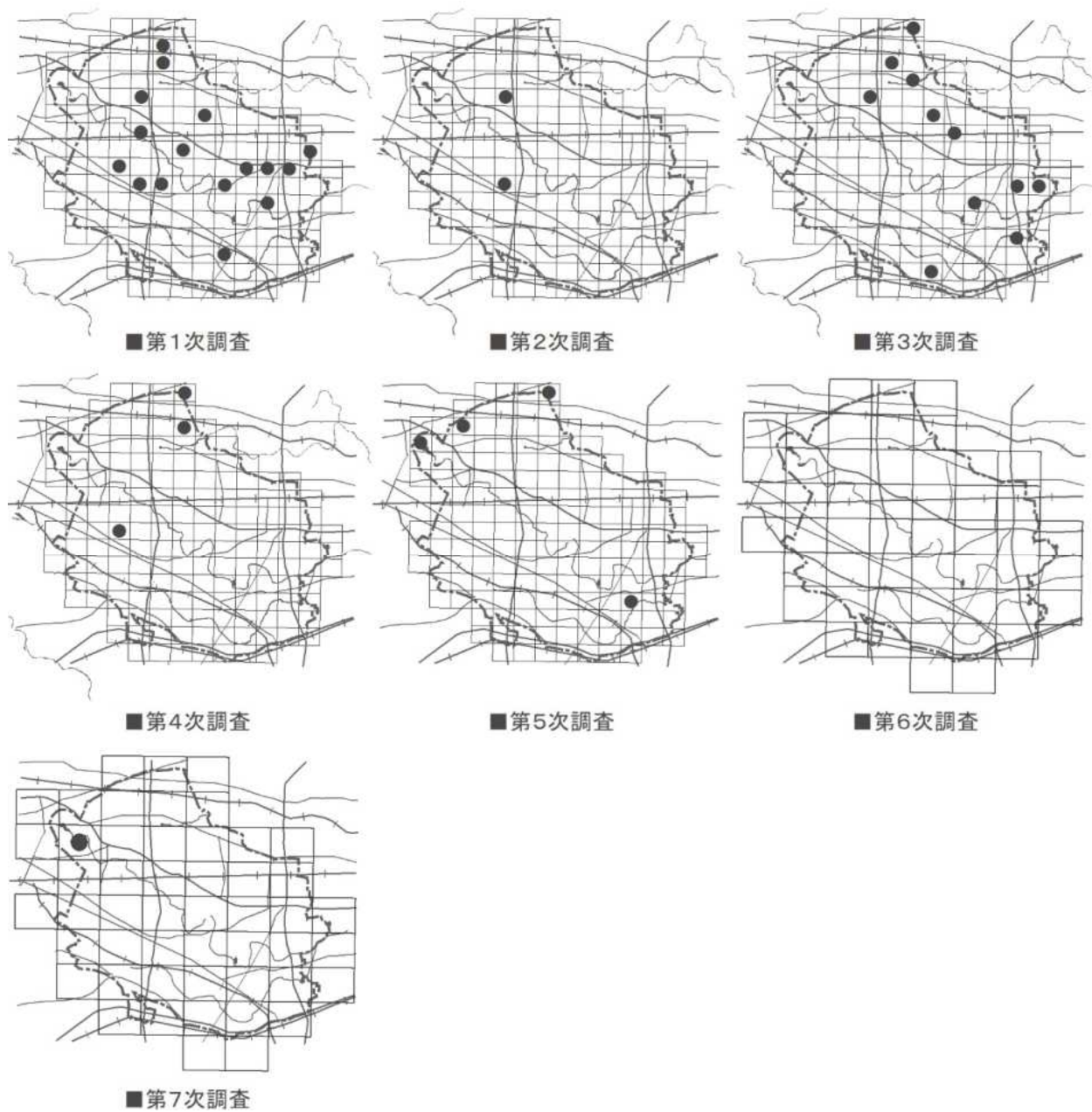
ツチガエルは、第5次調査で初めて確認され、第7次には和田堀公園や柏の宮公園等の3メッシュで確認されたが、確認場所は3回の調査でそれぞれ異なっていた。ニホンアマガエルと同様に、本種についても飼育下から逸出した个体や持ち込まれた个体である可能性が高い。

トウキョウダルマガエルは第5次調査で永福4丁目の路上と杉並第7小学校で確認され、第6次には確認されず、第7次に柏の宮公園で確認された。人為的に放逐された可能性もあるが、小さな个体群が存続していた可能性も考えられる。

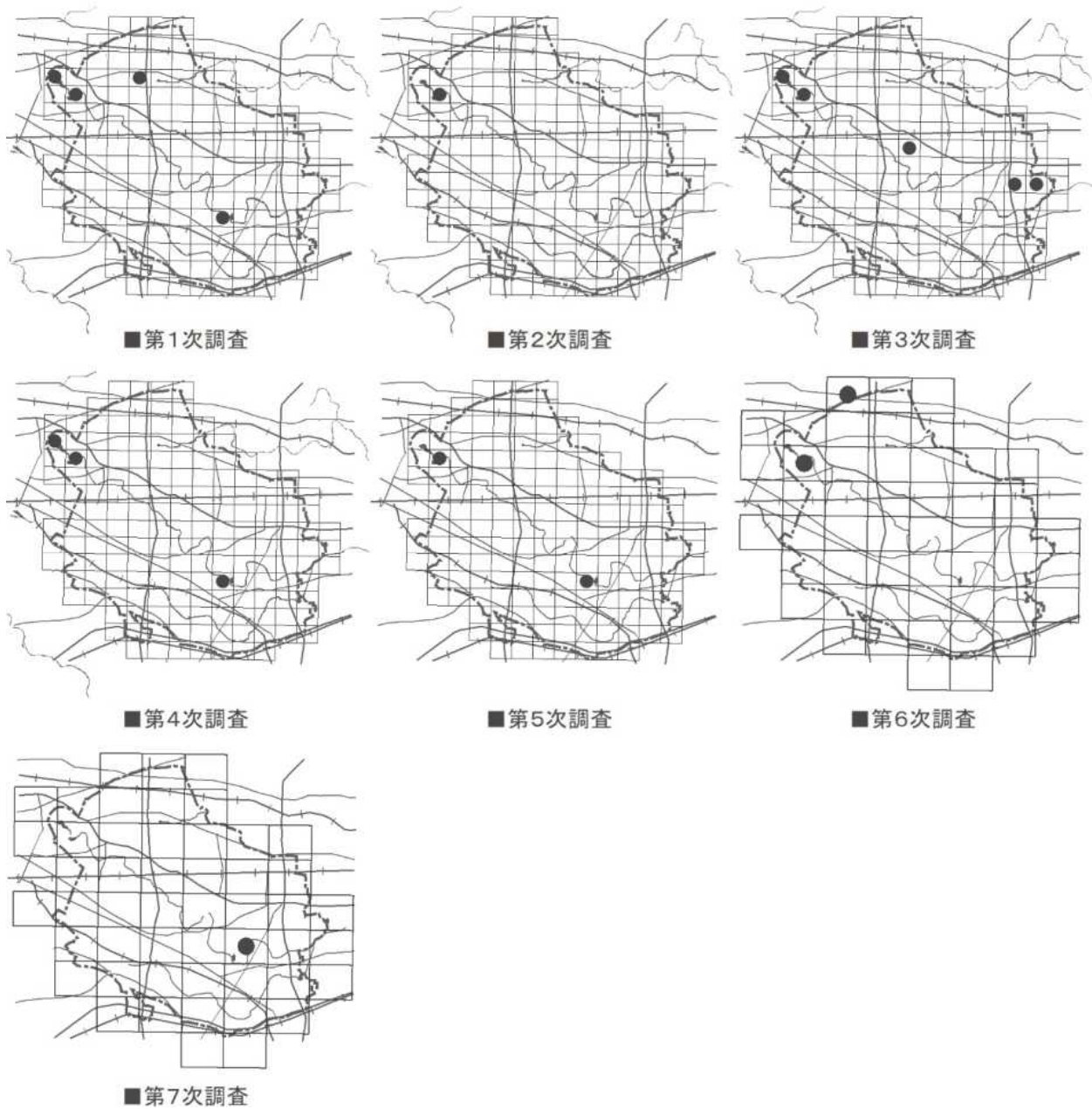
その他の種では、第3次に記録のあるシュレーゲルアオガエルや第5次に記録のあるトウキョウダルマガエルは、第7次には確認されなかった。これらは飼育下から逸出した个体や放逐された个体であった可能性を含むと考えられる。



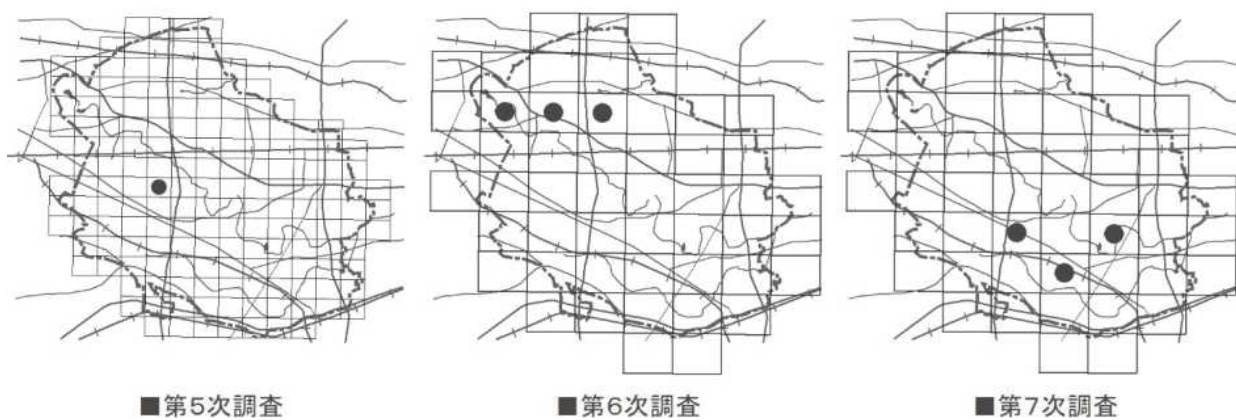
図Ⅲ-2-37 アズマヒキガエルの分布の推移



図Ⅲ-2-38 ニホンアマガエルの分布の推移



図Ⅲ-2-39 ウシガエルの分布の推移



図Ⅲ-2-40 ニホンアカガエルの分布の推移



図Ⅲ-2-41 ツチガエルの分布の推移



図Ⅲ-2-42 トウキョウダルマガエルの分布の推移

2) 杉並区における両生類の特性

第7次調査では、アズマヒキガエル、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル、トウキョウダルマガエルの3科5種類の在来種と、外来種のウシガエル1種類が確認された。

これらの中で、乾燥に比較的強いアズマヒキガエルの確認メッシュ数が最も多く、アズマヒキガエルは杉並区を代表する両生類といえる。これまでの分布の推移をみると、第1次から第4次にかけて分布域が狭くなったが、第5次以降は回復傾向にあると考えられる。今後も区内で個体群が維持できるよう、生息適地の拡大や生息地の連続化などの対策を実施することが望まれる。

水辺環境に依存するツチガエルやニホンアマガエル、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエルが区内の水辺のある地点で確認されたが、過去の調査とは異なる地点での確認であり安定していない。またこれらの種は人為的に持ち込まれた可能性が考えられる。カエル類については特に意図的に放逐されているケースが多いと推測されるが、場合によってはしばらく定着し、地域生態系の攪乱にもつながるため、区民に普及啓発を図る必要がある。

特定外来生物であるウシガエルは1メッシュで確認され、これまでと比べて明確な分布域の拡大は見られないものの、既に定着していると考えられる。本種は捕食性が強く、生態系の攪乱が懸念されることから、今後の動向に注意が必要である。

両生類の生息には、昆虫類やクモ類をはじめとする節足動物や土壌生物などの餌動物が豊富であることと、成体の生息環境が十分確保されていること、繁殖を行える水辺環境が存在すること、が絶対条件となる。また、同じ脊椎動物である哺乳類や鳥類などに比べ移動能力が低い両生類にとって、幹線道路や鉄道などによって個体群の生息地が分断されないことも重要である。

(3) 爬虫類

1) 調査結果および考察

① 第7次調査結果

第7次調査で確認された爬虫類は、ニホンイシガメ、クサガメ、スッポン、ミシシippアカミミガメ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヒバカリの9種類であった。これらが確認されたメッシュ数を表Ⅲ-2-69に示した。また種類別の分布状況を図Ⅲ-2-43に示した。

表Ⅲ-2-69 第7次調査における爬虫類の確認状況

目	科	和名	学名	確認 メッシュ数	確認メッシュ 比率(%) ^{*2}	注目種 東京都RL ^{*3}	杉並区 指標種 ^{*4}
カメ	イシガメ	クサガメ ^{*1}	<i>Mauremys reevesii</i>	7	14.0	DD	
		ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	5	10.0	CR	
	スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>	7	14.0	CR+EN	
	ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ ^{*1}	<i>Trachemys scripta elegans</i>	13	26.0		
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	31	62.0	VU	a, b
	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	18	36.0	CR+EN	a(トカゲ類)
	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	20	40.0	VU	a(トカゲ類)
	ナミヘビ	アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	14	28.0	NT	b
		ヒバカリ	<i>Hebius vibakari</i>	1	2.0	VU	
2目6科7種(及び外来種2種類)						8種	4種

注) ・学名及び分類順は「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫両棲類学会, 2019)に拠った。

・灰色の塗りつぶしはアンケート用紙に例示した調査対象種。

*1 クサガメ、ミシシippアカミミガメ：外来種。

*2 確認メッシュ比率：全調査範囲の50メッシュに占める確認メッシュ数の割合とした。

*3 東京都RL (区部におけるランク)

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類

VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

*4 杉並区指標種：指標する環境についてはP.190以降に詳解した。

a：自然環境の質を指標する種 b：環境変化を指標する種

確認された爬虫類の中で、注目種はニホンイシガメ、クサガメ、スッポン、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヒバカリの8種類であった。なおこの中で、ニホンヤモリは緑の多い住宅地の環境の質および都市化の進行を指標する種類、ヒガシニホントカゲとニホンカナヘビは林縁・草地の環境の質を指標する種類、アオダイショウは都市化の進行を指標する種類にそれぞれ選定されている。

カメ類では、外来種であるミシシippアカミミガメの確認メッシュ数が13、全調査範囲における確認メッシュ比率は26.0%と最も広く確認された。カメ類が水辺環境に依存する事を反映し、確認メッシュには池のある公園や河川などを含むメッシュが多く含まれた。このほかカメ類の中ではクサガメが第1次調査から確認されているが、これは飼育下から逃げ出した個体や放逐された個体に由来すると考えられている。

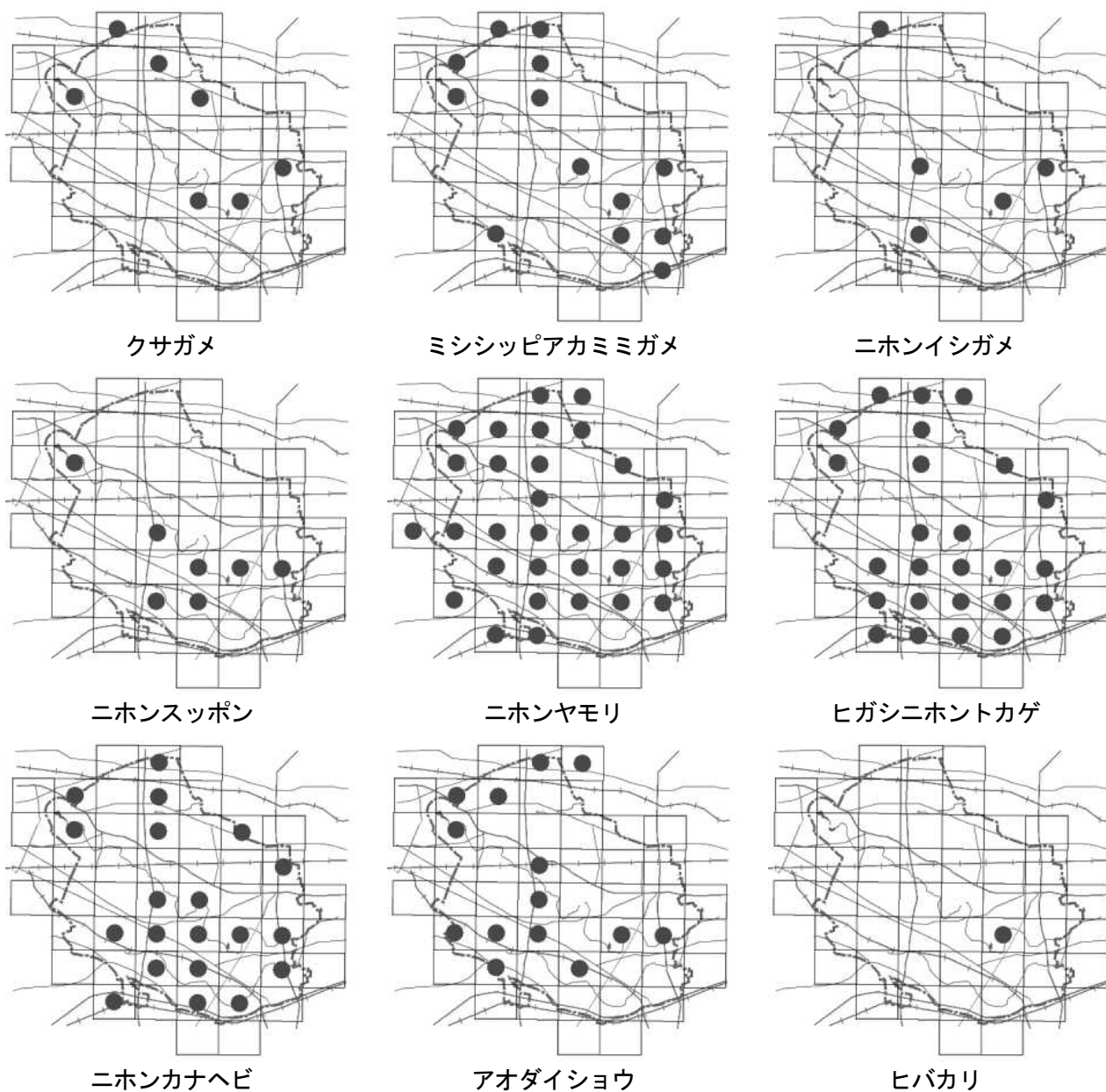
トカゲ類やヘビ類などからなる有鱗目では、ニホンヤモリの確認メッシュ数が31、確認メッシュ比率は62.0%と最も高く、次いでニホンカナヘビの確認メッシュ数が20、確認メッシュ比率は40.0%、ヒガシニホントカゲの確認メッシュ数が18、確認メッシュ比率は36.0%、アオダイショウの確認メッシュ数が14、確認メッシュ比率は28.0%であった。

ニホンヤモリの確認メッシュ数は爬虫類中最も多く、その分布も偏りなく区内全域に広がっている。本種は家屋の壁の隙間などを住处とすることから住宅地でも生息が可能であるが、密閉性の高い近年の新築住宅などでは生息が困難である。第7次調査で本種が広く確認されたことは、区内に本種が生息するのに適した昔ながらの家屋が多く残っていることを示唆している。

ヒガシニホントカゲとニホンカナヘビは、林縁と草地、農耕地などがパッチ状に組み合わさった環境に生息する種類で、昆虫類やクモ類などの様々な小動物を餌にすることから、これらの生息は様々な分類群の動物相が豊富であることを示している。第7次調査での確認メッシュ数は、ニホンカナヘビが20、ヒガシニホントカゲが18であり、ニホンヤモリに次いで多いが、緑地の少ない住宅密集地においては確認されなかった。

今回確認されたへび類はアオダイショウとヒバカリの2種類のみであった。アオダイショウの確認メッシュ数が多かったことは、本種は樹上性の性質が他のへび類よりも強く、人家などでも生息が容易であるためと考えられる。しかし、その分布状況に注目すると住宅密集地には生息せず、樹林や水辺環境のある公園、緑地等の周辺に偏っている。

ヒバカリは水田や湿地などの湿った環境を好み、今回は和田堀公園で確認された。



図Ⅲ-2-43 第7次調査で確認された爬虫類の分布状況

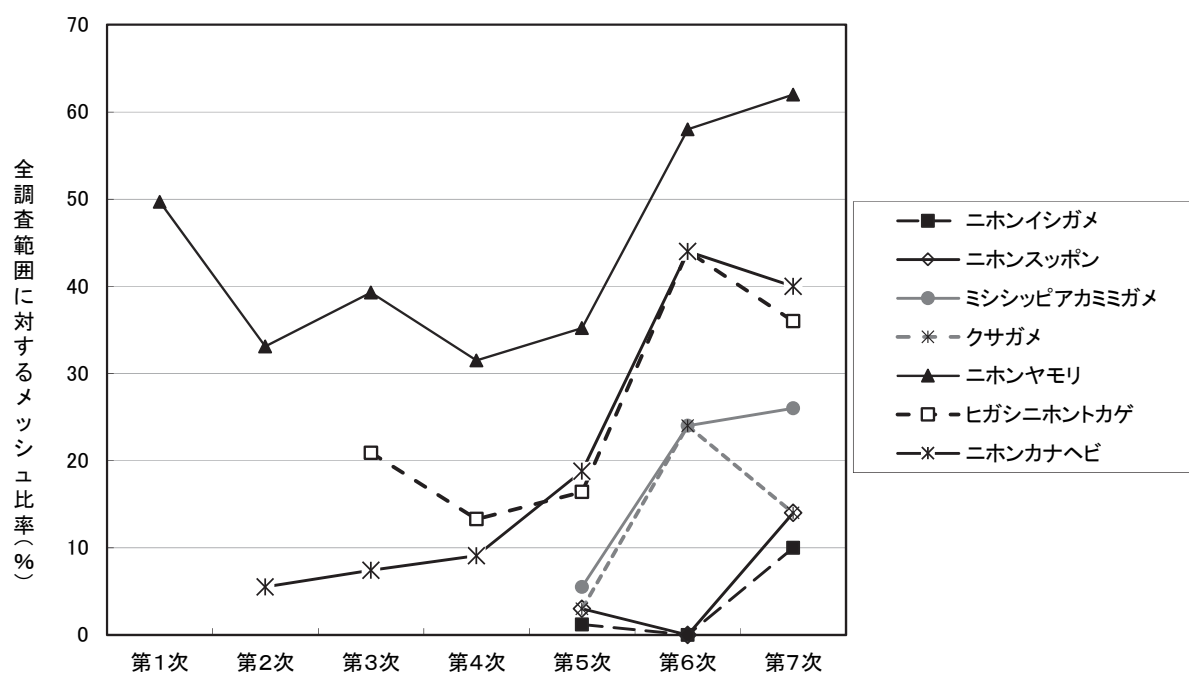
② 既往調査（第1次から第6次）との比較

爬虫類の生息状況の推移を把握するため、表Ⅲ-2-70 に第1次から第7次までの調査で確認された爬虫類の種類別確認メッシュ数および確認メッシュ比率を示し、図Ⅲ-2-44 に種類別確認メッシュ比率の推移を示した。また図Ⅲ-2-45 から図Ⅲ-2-51 に分類群別または種類別の分布の推移を示した。

表Ⅲ-2-70 爬虫類の種類別年次別の確認メッシュ数と比率(%) *1

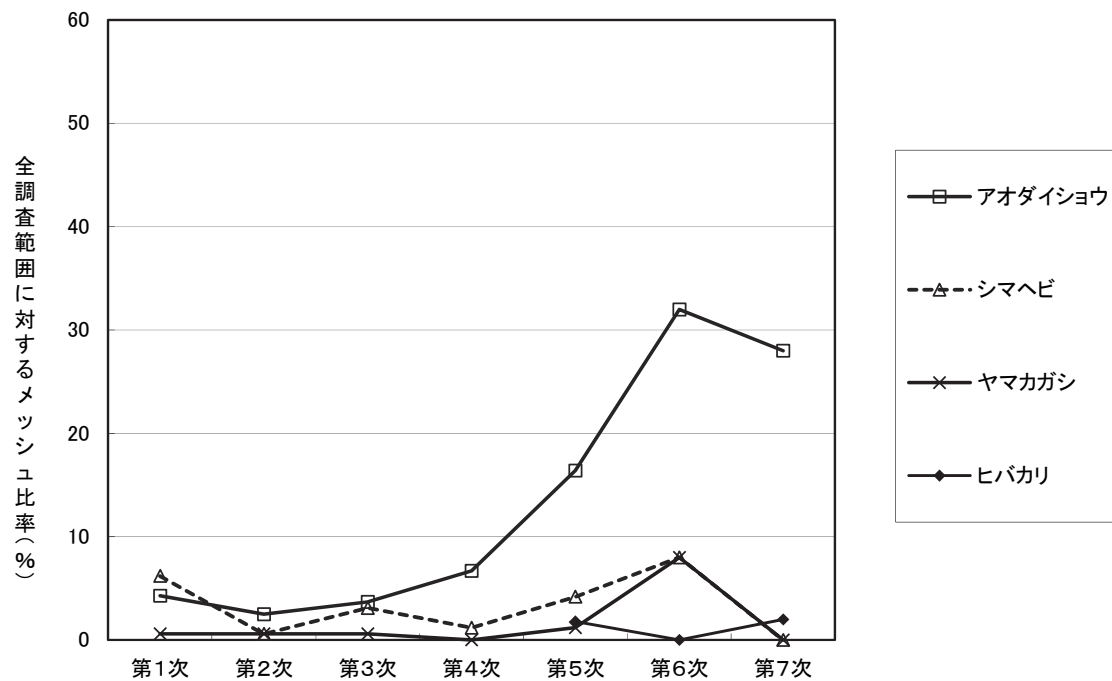
種名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)
カメ類	8	5.0	11	6.7	8	4.9	8	4.8	12	7.3	14	28.0	19	38.0
クサガメ			1	0.6					5	3.0	12	24.0	7	14.0
ニホンイシガメ									2	1.2			5	10.0
ニホンスッポン									5	3.0			7	14.0
ミシシippアカミミガメ									9	5.5	12	24.0	13	26.0
ニホンヤモリ	80	49.7	54	33.1	64	39.3	52	31.5	58	35.2	29	58.0	31	62.0
トカゲ類	57	35.4	29	17.8	38	23.3	39	23.6	41	24.8	27	54.0	35	70.0
ヒガシニホントカゲ					34	20.9	22	13.3	27	16.4	22	44.0	18	36.0
ニホンカナヘビ			9	5.5	12	7.4	15	9.1	31	18.8	22	44.0	20	40.0
ヘビ類	8	5.0	5	3.1	7	4.3	7	4.2	29	17.6	17	34.0	14	28.0
ヒバカリ									3	1.8			1	2.0
アオダイショウ	7	4.3	4	2.5	6	3.7	11	6.7	27	16.4	16	32.0	14	28.0
ジムグリ									1	0.6				
シマヘビ	10	6.2	1	0.6	5	3.1	2	1.2	7	4.2	4	8.0		
ヤマカガシ	1	0.6	1	0.6	1	0.6			2	1.2	4	8.0		

*1 比率：確認メッシュ数の調査範囲内の全メッシュ数に対する比率。メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降の調査では標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用した。調査範囲内の全メッシュ数は第1次から第5次までは161～165メッシュ、第6次以降は50メッシュとして計算した。第1次から第5次までの結果については各年次の報告書に拠った。



注) メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降は標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用しているため、第6次以降のメッシュ比率と第1次から第5次までのメッシュ比率との単純な比較ができない点に注意を要する。

図Ⅲ-2-44 爬虫類の種類別確認メッシュ比率の推移(1)



注) メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降は標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用しているため、第6次以降のメッシュ比率と第1次から第5次までのメッシュ比率との単純な比較ができない点に注意を要する。

図Ⅲ-2-44 爬虫類の種別確認メッシュ比率の推移(2)

カメ類の生息状況の推移を見ると、第1次から第7次まで毎回生息が確認されている。これらの分布は公園の池や河川などに限られ、確認メッシュ比率は第1次から第5次まで10%未満で推移していたが、第6次以降大きく増加し、第6次に28%、第7次には38%まで増加した。なお、カメ類については第4次調査まで在来種と外来種とを区別していなかったが、第5次調査以降はこれらを区別しており、多くの種類の外来種が生息していることが明らかとなった。第5次及び第6次調査では、アカミミガメとその亜種であるミシシippアカミミガメ等が区内全域の水辺付近のメッシュで確認された。第7次調査ではミシシippアカミミガメとクサガメが広く確認された。

ニホンヤモリは区内全域に広く分布し、確認メッシュ比率は第1次から第2次にかけて減少したものの、第5次まで30%台で推移し、調査メッシュ地図を変更した第6次以降も分布の傾向はそれまでと同様であった。しかし区内での本種の生息個体数は減少しているものと推測される。

トカゲ類については第1次から第2次にかけて分布域の縮小が見られたものの、第7次調査まで分布の傾向に大きな変化は見られなかった。しかし本種も生息個体数は減少しているものと推測される。

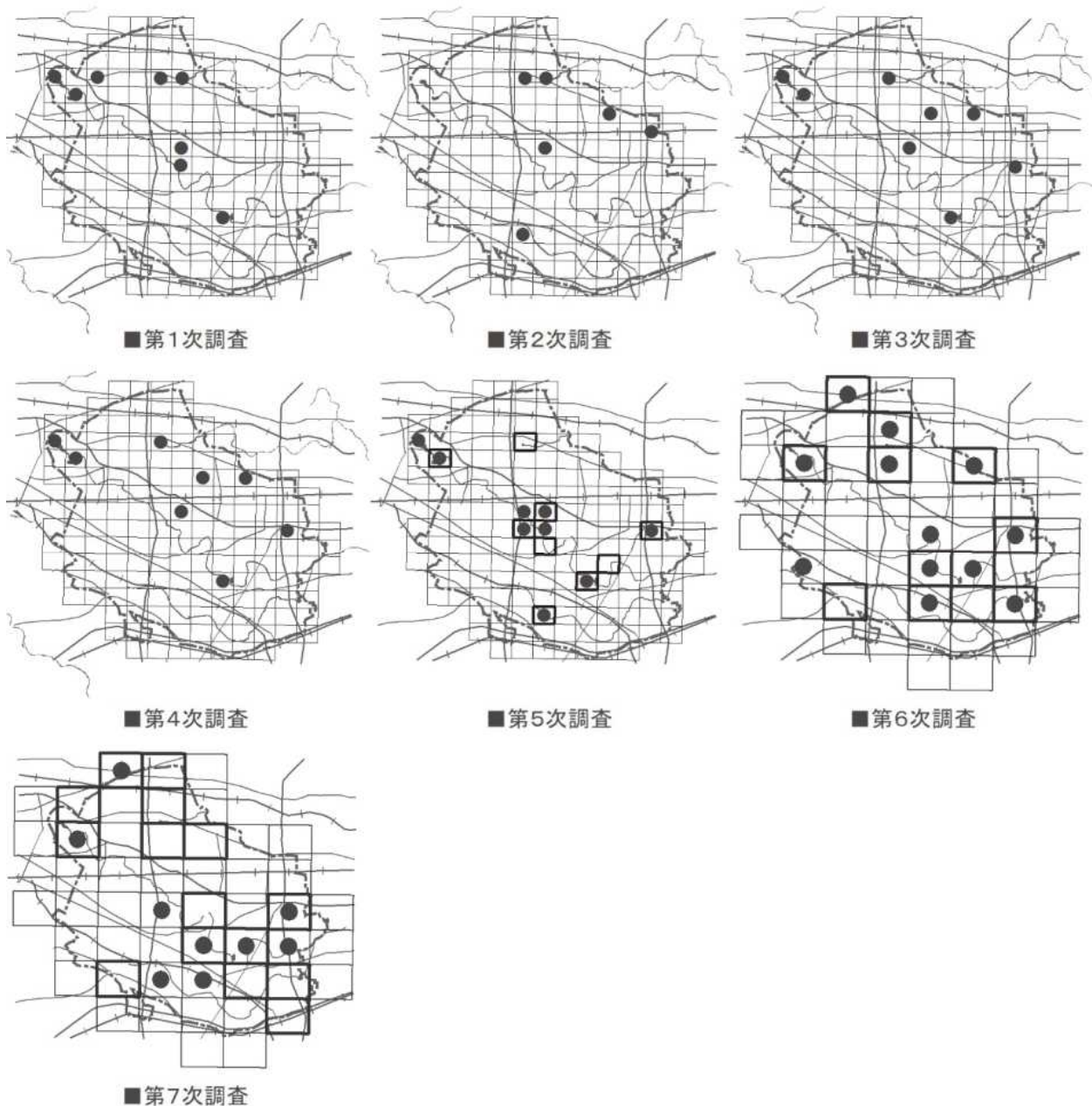
ヘビ類では、第1次から第6次にかけて善福寺川や神田川沿いの水辺のある緑地付近でシマヘビの生息が確認されていたが、今回は確認されなかった。シマヘビの確認メッシュ比率は、第2次の0.6%から第6次の8.0%まで変動が見られ、調査結果は発見率に大きく左右されていると考えられる。

アオダイショウは第1次から第7次にかけて継続的に生息が確認された。本種の確認メッシュ比率も調査年次によりばらつきがあるが、第5次以降は比較的高い割合で確認されている。第7次における分布傾向は第5次及び第6次と同様に、連続した緑地や水辺のあるメッシュで確認された。

ヤマカガシは第1次から第6次にかけて第4次を除き、概ね善福寺川や神田川沿いの緑地付近に限定して生息が確認されていたが、今回は確認されなかった。第6次までの確認メッシュ数は1から4であった。

ヒバカリについては第5次調査で初めて回答が得られ、第6次には確認されなかったが、今回は第5次にも確認された和田堀公園で再び確認された。

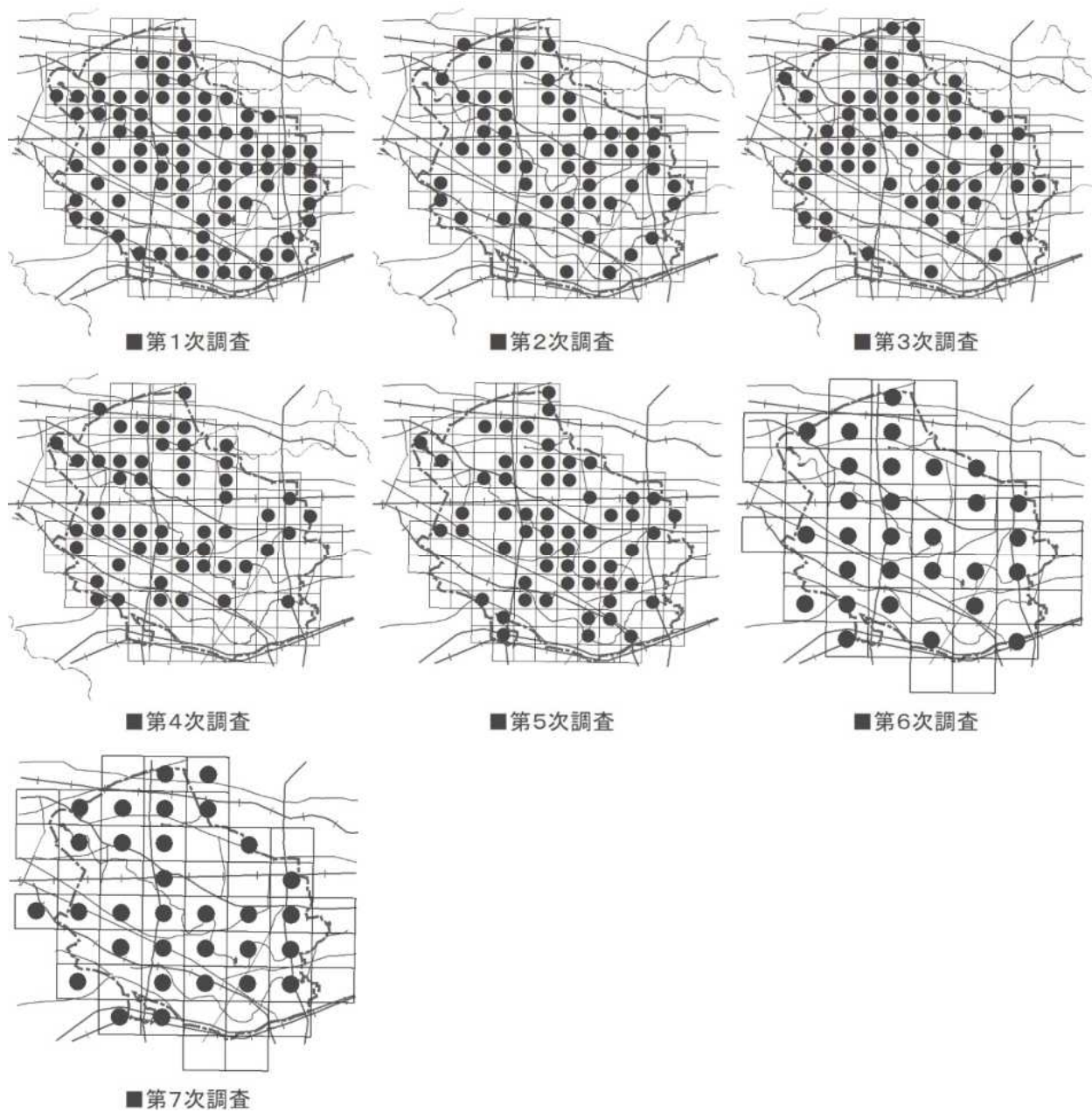
第5次に初めて回答が得られたジムグリについてはヤマカガシと同様に発見率が低く、第6次以降は確認されていないこともあり、分布の傾向についての判断は難しい状況である。



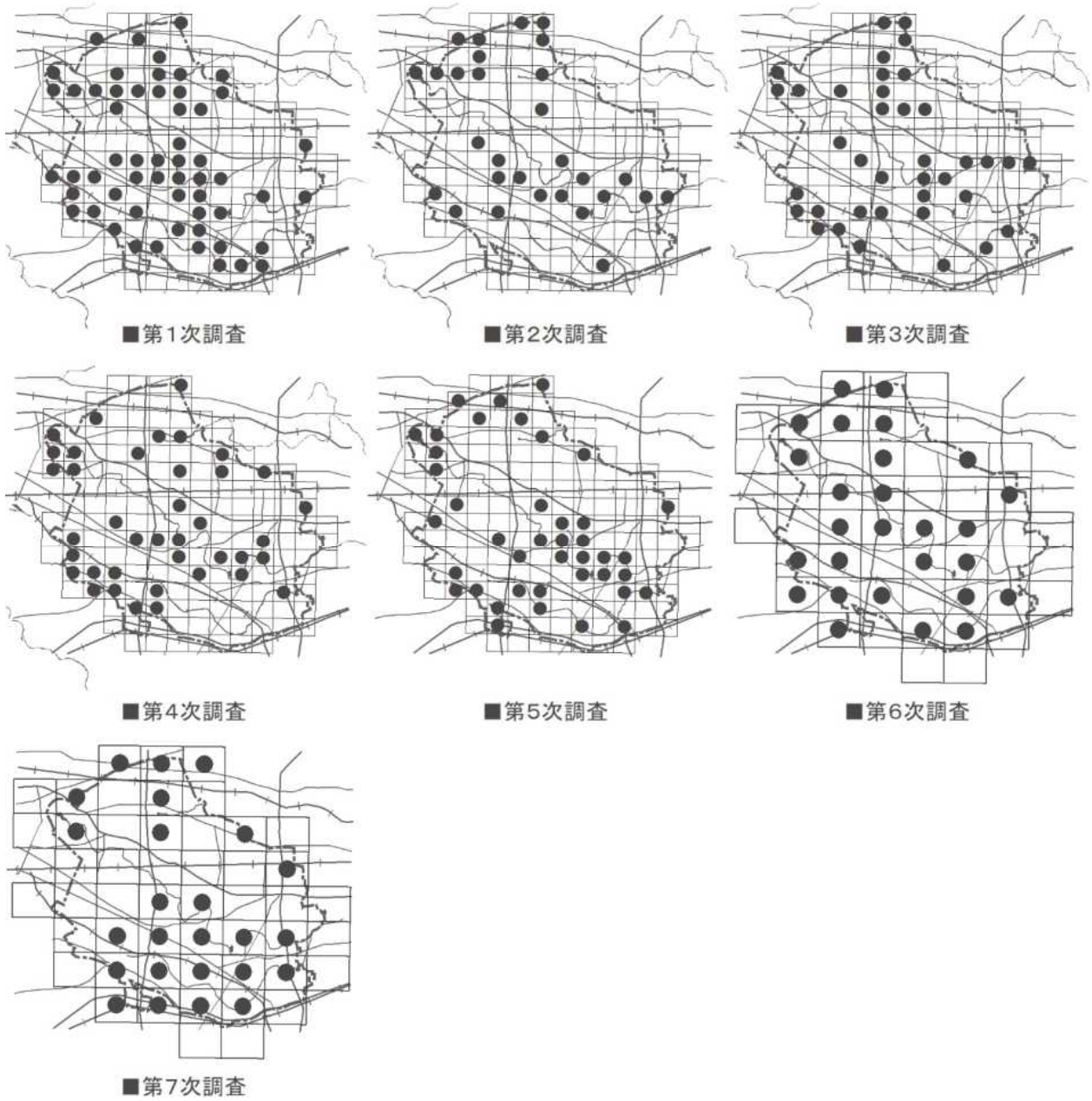
凡例 ●：第1から第4次ではカメ類。第5次では在来カメ類（クサガメ、ニホンイシガメ、ニホンスッポン）、第6次ではクサガメ、第7次ではニホンイシガメ、ニホンスッポン。

太枠線：外来カメ類。第5次ではカミツキガメ、ミシシippチズガメ、フロリダアカハラガメ、アカミミガメ、ミシシippアカミミガメ、キバラガメ、第6次ではミシシippアカミミガメ、第7次ではミシシippアカミミガメ、クサガメ。

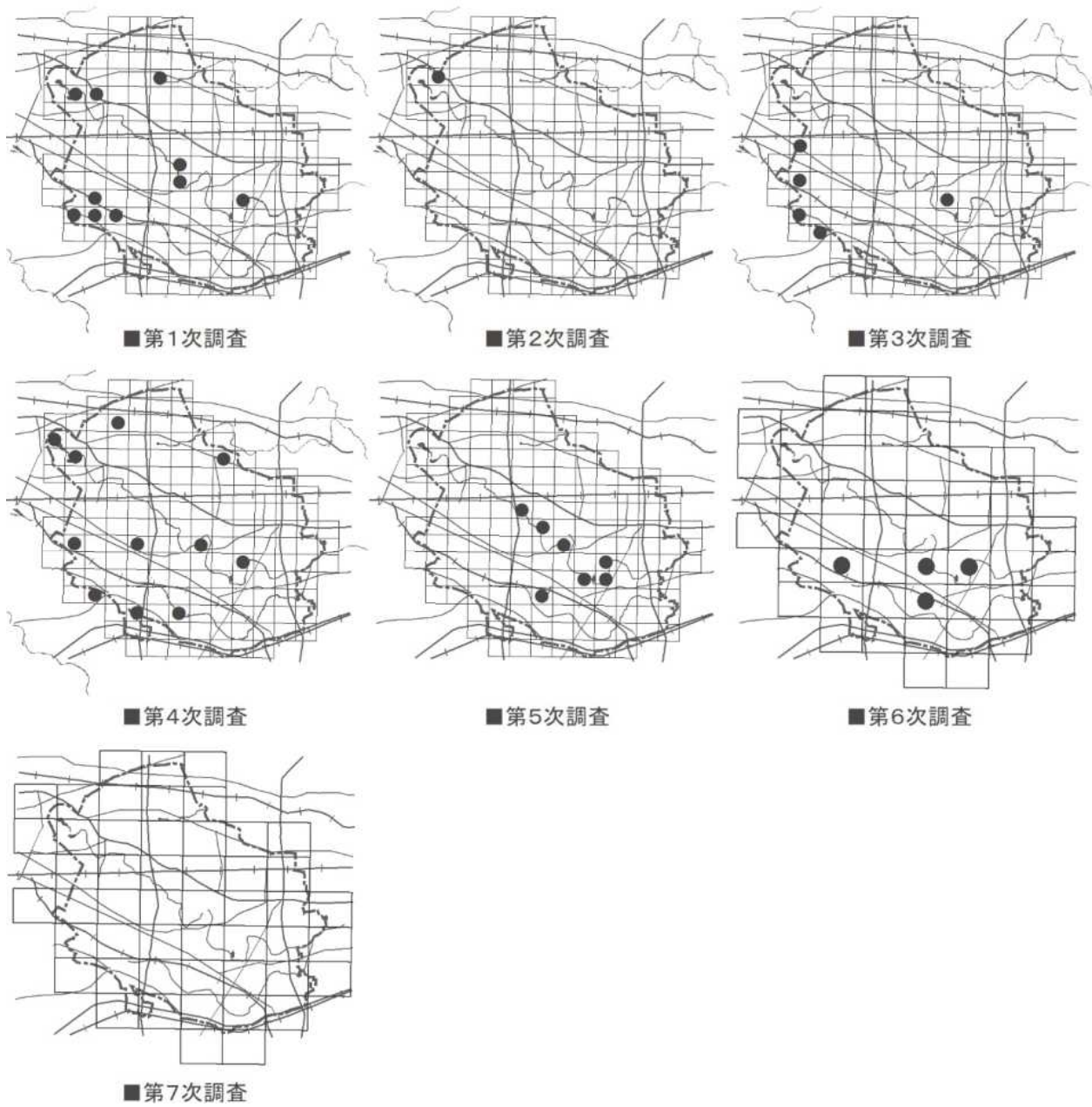
図Ⅲ-2-45 カメ類の分布の推移



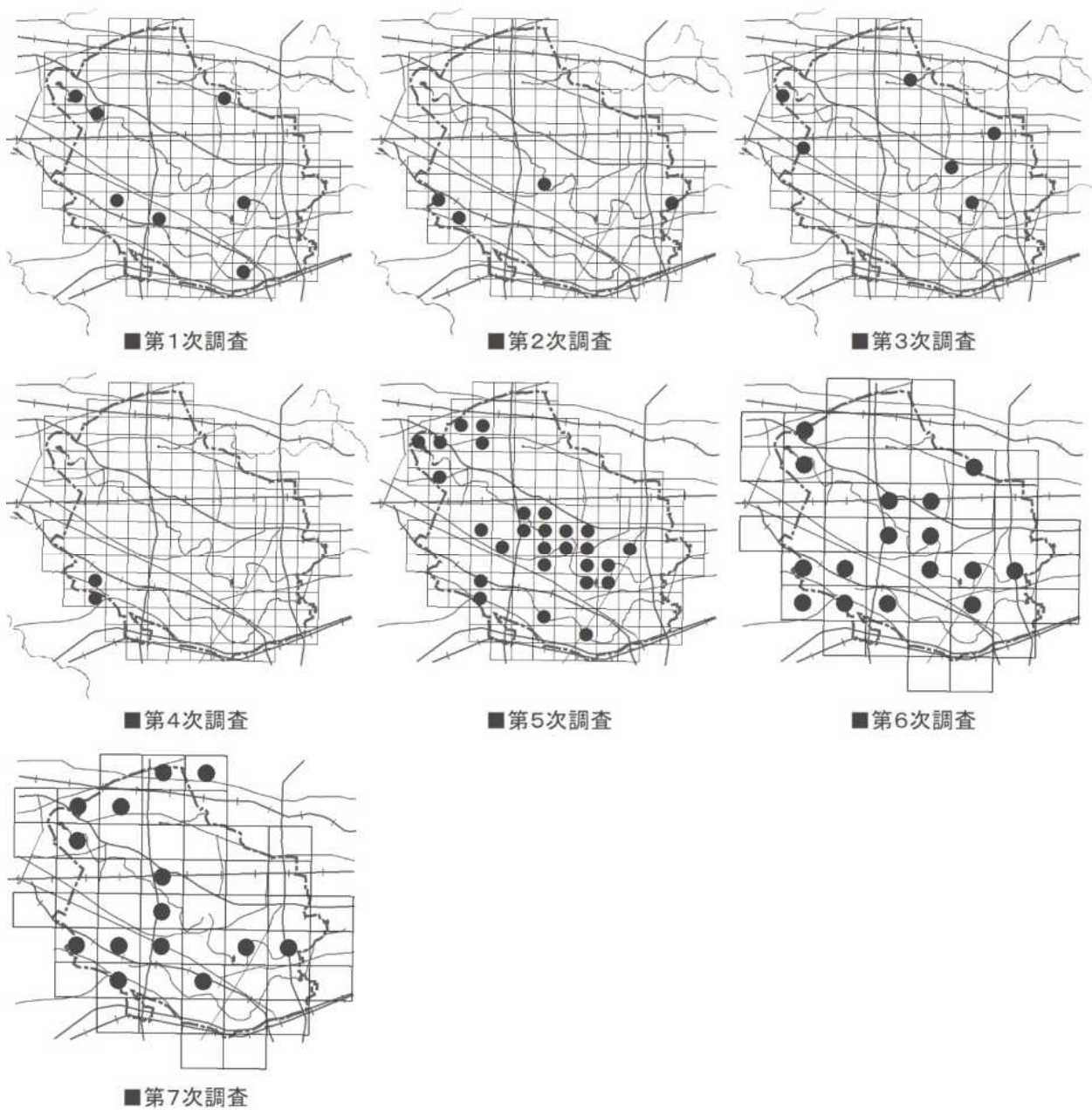
図Ⅲ-2-46 ニホンヤマモリの分布の推移



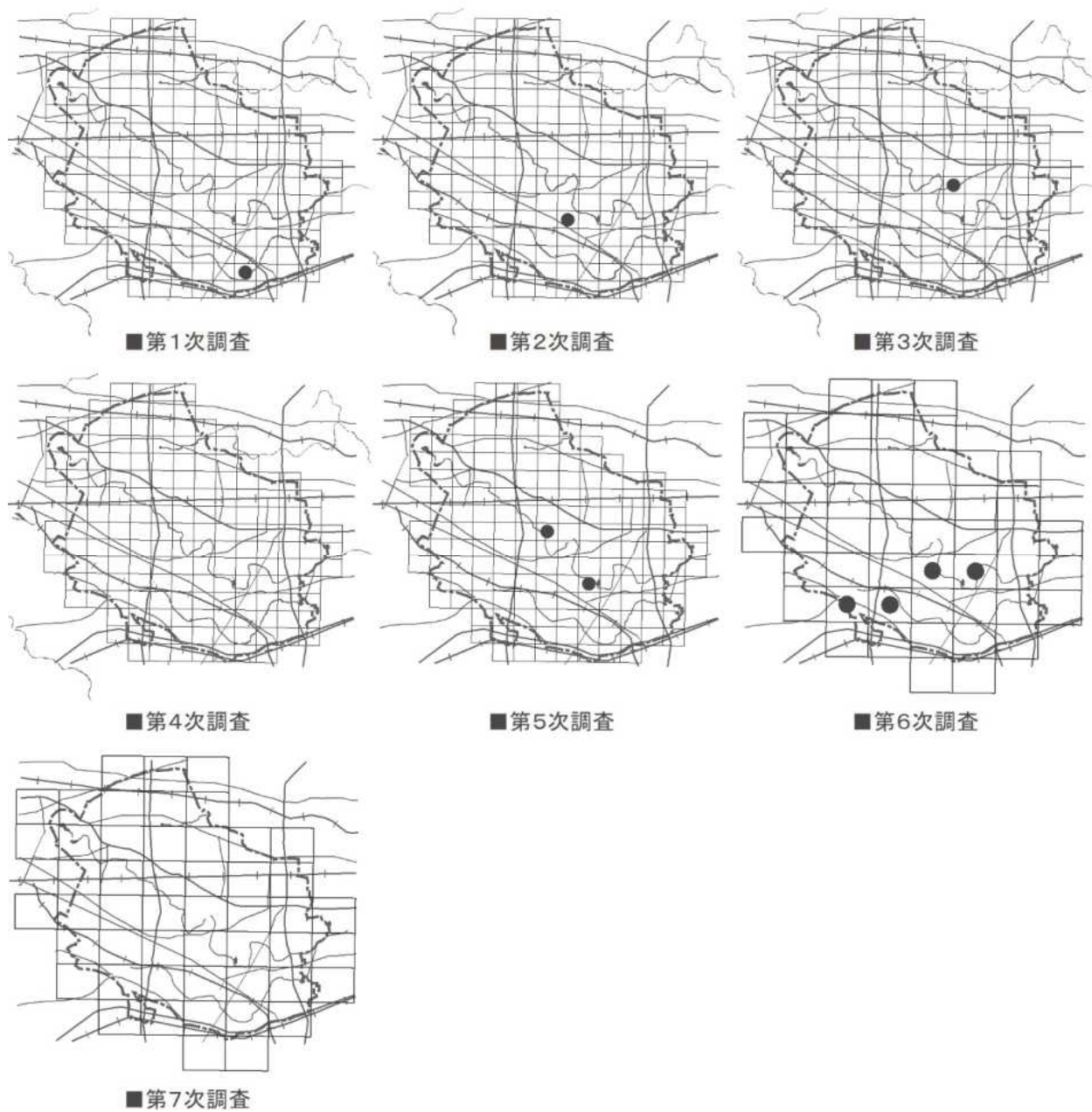
図Ⅲ-2-47 トカゲ類の分布の推移



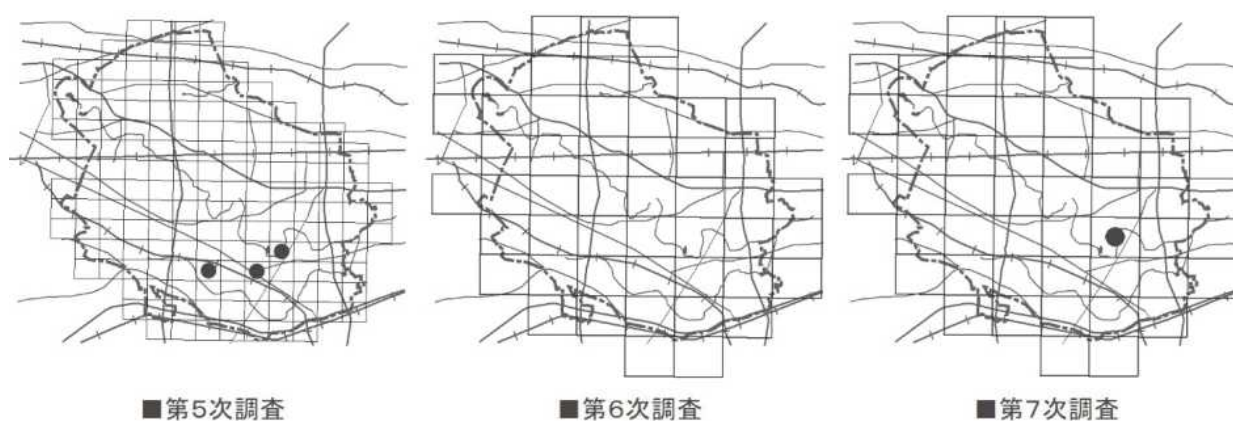
図Ⅲ-2-48 シマヘビの分布の推移



図Ⅲ-2-49 アオダイショウの分布の推移



図Ⅲ-2-50 ヤマカガシの分布の推移



図Ⅲ-2-51 ヒバカリの分布の推移

2) 杉並区における爬虫類の特性

第7次調査で出現した爬虫類は、ニホンイシガメ、ニホンスッポン、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ヒバカリの2目6科7種の在来種と外来のカメ2種類（クサガメ、ミシシippアカミミガメ）であった。

爬虫類のうち最も広く確認された種は、市街地でも生息可能なニホンヤモリであった。これは、杉並区が都市化された環境であると同時に、本種が住处とする古い家屋が残されていることや、市街地の中の緑が比較的維持されており、本種が餌とする昆虫相が豊富であることが要因と考えられる。しかし、本種は近年減少傾向にあると考えられるため、今後の動向に注意が必要である。

第7次調査で確認された爬虫類のうち、在来種の7種はいずれも東京都のレッドリスト（区部）におけるランクに該当する。特に今回確認されたヒバカリや、今回は確認されなかったがこれまでにシマヘビやヤマカガシが発見されていることは注目に値する。これらはいずれも水辺環境への依存度が高く、善福寺川や神田川、玉川上水などの付近にはこれらの種類が生息可能な良好な水辺環境が維持されていると考えられる。

カメ類は水辺に依存するため、池のある公園や河川などを含むメッシュでの確認が多かった。ミシシippアカミミガメは、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（生態系被害防止外来種リスト）において「緊急対策外来種」に指定されており、在来のカメ類との餌資源や日光浴場所などの生息環境の競合が懸念される。本種は高密度に生息し、雑食性でさまざまな動植物を摂食することから、定着地域では水生植物、魚類、両生類、甲殻類等へ大きな影響を及ぼしていることが推測される。大量に飼育されていることから、放逐への注意を促すことが求められる。

爬虫類は食性が多様であり、ヘビ類は哺乳類から鳥類や両生類などの脊椎動物を、トカゲ類・ヤモリは昆虫類やクモ類のような節足動物を、カメ類は水辺や水中の動物を餌とする。このため多様な爬虫類が生息するには餌となる様々な分類群の動物が生息していることが必要となる。また、ネズミ類などの小型哺乳類や鳥類を主な採食の対象とする動物は、ヘビ類を除いて杉並区にはほとんど生息していないことから、食物網における高次消費者としてのヘビ類が果たす生態的役割は大きいと考えられる。

(4) 哺乳類

1) 調査結果および考察

① 第7次調査結果

第7次調査で確認された哺乳類は、アズマモグラ、アブラコウモリ、タヌキ、ハクビシン、クマネズミ、ドブネズミの4目5科6種であった。表Ⅲ-2-71 にこれらが確認されたメッシュ数を示し、図Ⅲ-2-52 に種別の分布状況を示した。

表Ⅲ-2-71 第7次調査における哺乳類の確認状況

目	科	和名	学名	確認 メッシュ数	確認メッシュ 比率(%) ^{*2}	注目種 東京都RL ^{*3}	杉並区 指標種 ^{*4}
食虫	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>	6	12.0	*	b
翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	19	38.0		a
食肉	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonides</i>	6	12.0		
	ジャコウネコ	ハクビシン ^{*1}	<i>Paguma larvata</i>	13	26.0		
齧歯	ネズミ	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	9	18.0		
		ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	1	2.0		
4目5科5種(及び外来種1種類)						1種	2種

注) ・学名及び分類順は「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」(環境庁自然保護局, 1997)に拠った。

・灰色の塗りつぶしはアンケート用紙に例示した調査対象種。

*1 ハクビシン: 外来種。

*2 確認メッシュ比率: 全調査範囲の50メッシュに占める確認メッシュ数の割合。

*3 東京都RL (区部におけるランク)。

*: 留意種

*4 杉並区指標種: 指標する環境についてはP. 190以降に詳解した。

a: 自然環境の質を指標する種 b: 環境変化を指標する種

確認された哺乳類の中で、注目種はアズマモグラ1種であった。また、アズマモグラは都市化による環境の変化を指標する種類に、アブラコウモリは緑の多い住宅地の環境の質を指標する種類にそれぞれ選定されている。

種別の分布状況を見ると、アブラコウモリの確認メッシュ数は19、全調査範囲における確認メッシュ比率は38.0%と最も高く、次いでハクビシンの確認メッシュ数が13、確認メッシュ比率は26.0%、クマネズミの確認メッシュ数が9、確認メッシュ比率は18.0%、アズマモグラとタヌキの確認メッシュ数がそれぞれ6、確認メッシュ比率は12.0%であった。

最も多く確認されたアブラコウモリは、飛翔昆虫を捕食することから、これらの昆虫が発生する公園や、河川遊歩道、社寺での確認例が多かった。

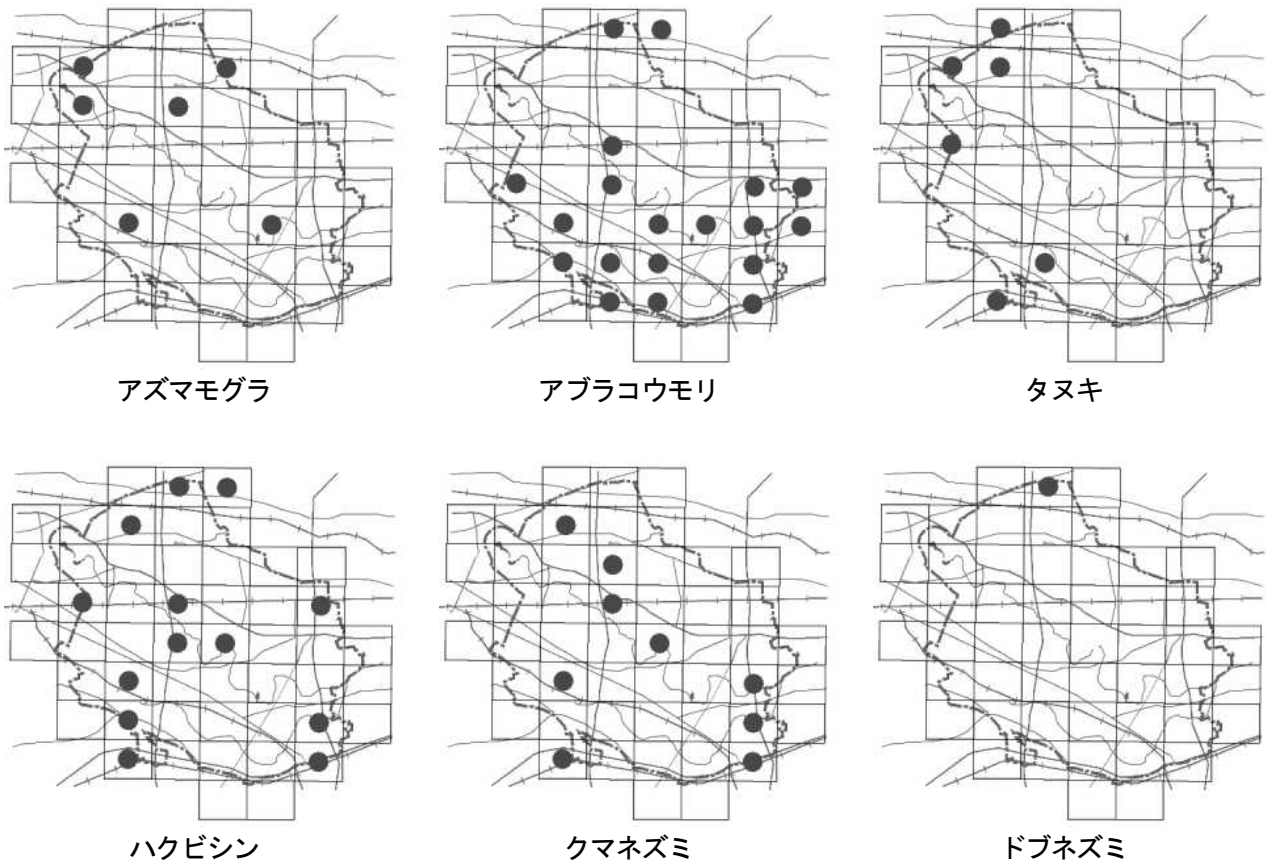
一方、土中を生息空間とするアズマモグラは、アスファルトやコンクリートで舗装された地面や固く締まった土壌では生息できず、これまでも公園や芝生、畑などが存続しているメッシュでの確認が多かった。第7次調査では北西部の善福寺公園、南部の玉川上水や神田川沿いの緑地のほか、東部の植栽樹群を伴う公園で確認され、市街化が進んでいる地域での分布は少なかった。

ネズミ類では、クマネズミが9メッシュで確認された。ネズミ類は市街地も含め様々な環境で生息できるため、区内でも確認メッシュ数が比較的多く、大きな偏りなく分布がみられた。

タヌキは雑食性で、人家の軒下などでも繁殖できることから、近年、都区内での分布拡大が注目されている(吉野, 2006 など)。第7次調査での確認メッシュ数は6であり、第6次調査の半分以上であった。

外来種ではハクビシンが確認された。ハクビシンは雑食性で繁殖力が強いいため、今後、区内での分布拡大が

懸念される。第7次調査における本種の確認メッシュ数13は、体のサイズに近いタヌキに比べて多く、分布はこれまでより拡大した。



図Ⅲ-2-52 第7次調査で確認された哺乳類の分布状況

② 既往調査（第1次から第6次）との比較

哺乳類の生息状況の推移を把握するため、第1次から第7次までの調査で確認された哺乳類の種類別確認メッシュ数および確認メッシュ比率を表Ⅲ-2-72に示し、種類別確認メッシュ比率の推移を図Ⅲ-2-53に示した。また、種類ごとに分布の推移を図Ⅲ-2-54から図Ⅲ-2-58に示した。

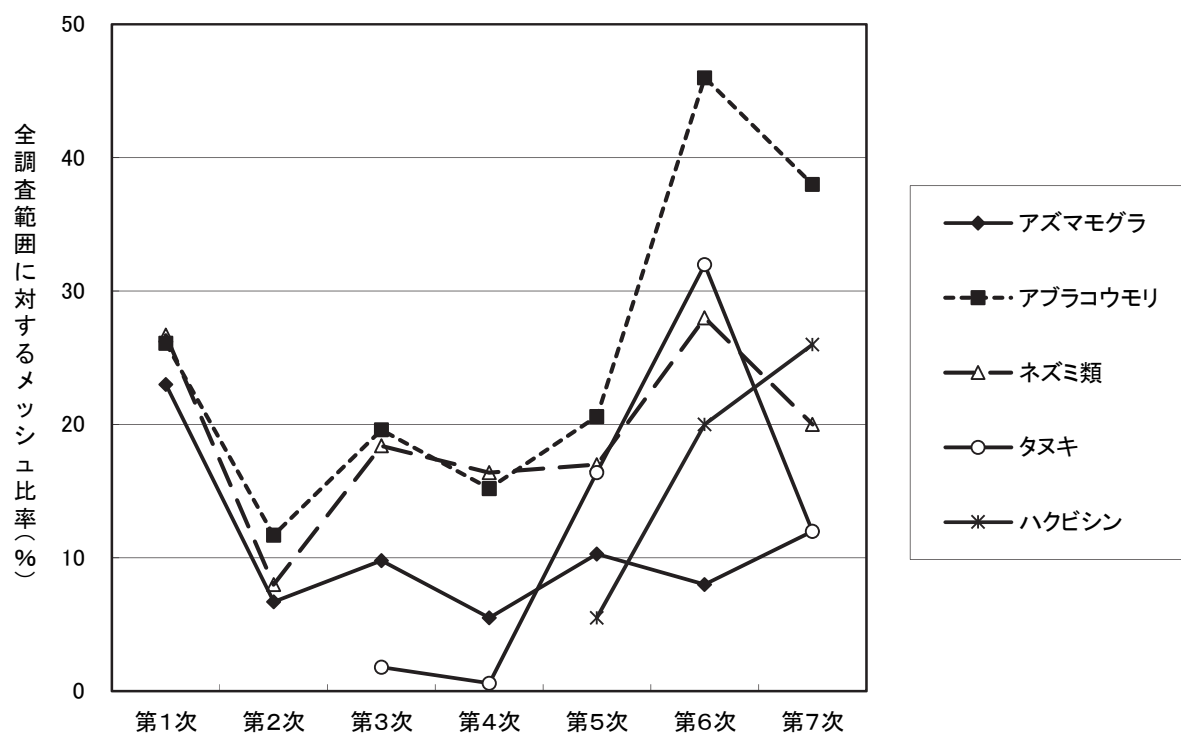
表Ⅲ-2-72 哺乳類の種類別年次別の確認メッシュ数と比率(%)^{*1}

種名	第1次		第2次		第3次		第4次		第5次		第6次		第7次	
	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)	確認メッシュ数	比率(%)
アズマモグラ	37	23.0	11	6.7	16	9.8	9	5.5	17	10.3	4	8.0	6	12.0
アブラコウモリ	42	26.1	19	11.7	32	19.6	25	15.2	34	20.6	23	46.0	19	38.0
タヌキ					3	1.8	1	0.6	27	16.4	16	32.0	6	12.0
ハクビシン									9	5.5	10	20.0	13	26.0
アライグマ									2	1.2				
シマリス									1	0.6				
ネズミ類 ^{*2}	43	26.7	13	8.0	30	18.4	27	16.4	28	17.0	14	28.0	10	20.0

*1 比率：確認メッシュ数の調査範囲内の全メッシュ数に対する比率。メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降の調査では標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用した。調査範囲内の全メッシュ数は第1次から第5次までは161～165メッシュ、第6次以降は50メッシュとして計算した。第1次から第5次までの結果は各年次の報告書に拠った。

*2 ネズミ類：ハツカネズミ、ドブネズミ、クマネズミ、ネズミ、ネズミ sp、ネズミ類として回答のあったものをまとめた。

注) 第5次調査で記録されたイタチ属の1種は、該当するメッシュが不明のため本表に掲載しなかった。



注) メッシュ地図は第1次から第5次までの調査では杉並区動植物調査用メッシュ地図を、第6次以降の調査では標準地域メッシュ第3次地域区画をそれぞれ使用しているため、第6次以降のメッシュ比率と第1次から第5次までのメッシュ比率との単純な比較ができない点に注意を要する。

図Ⅲ-2-53 哺乳類の種類別確認メッシュ比率の推移

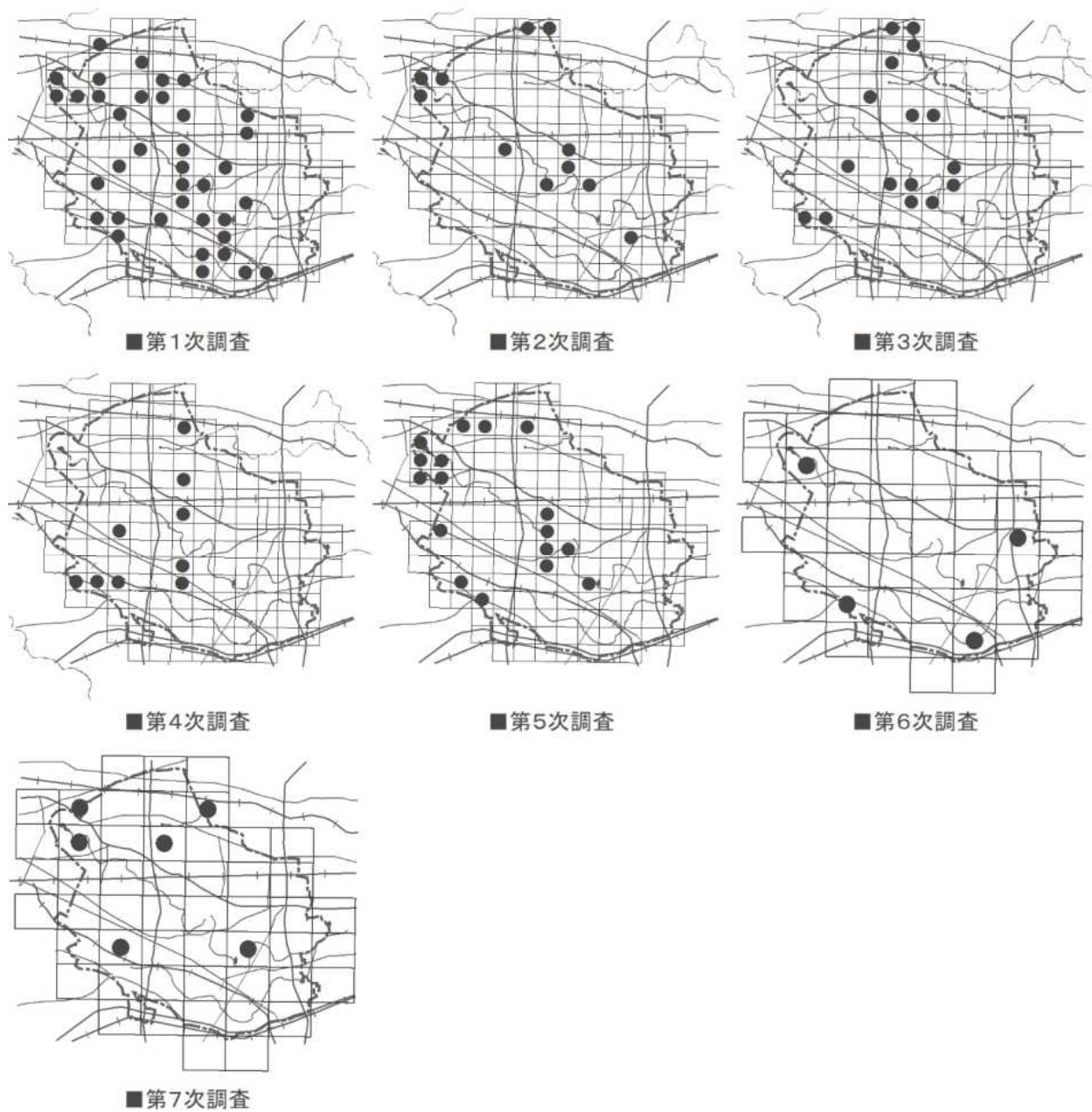
種類別に生息状況の推移を見ると、アズマモグラの確認メッシュ比率は、第1次に23.0%を記録した後、第2次から第6次にかけて概ね10%以下で推移したが、第7次には若干増加し12.0%となった。

アブラコウモリについては、第1次に26.1%を記録した後、第2次から第5次にかけて概ね20%以下で推移したが、第6次に46.0%まで大きく増加し、第7次には38.0%であった。本種は河川沿いに多く分布する傾向が続いている。

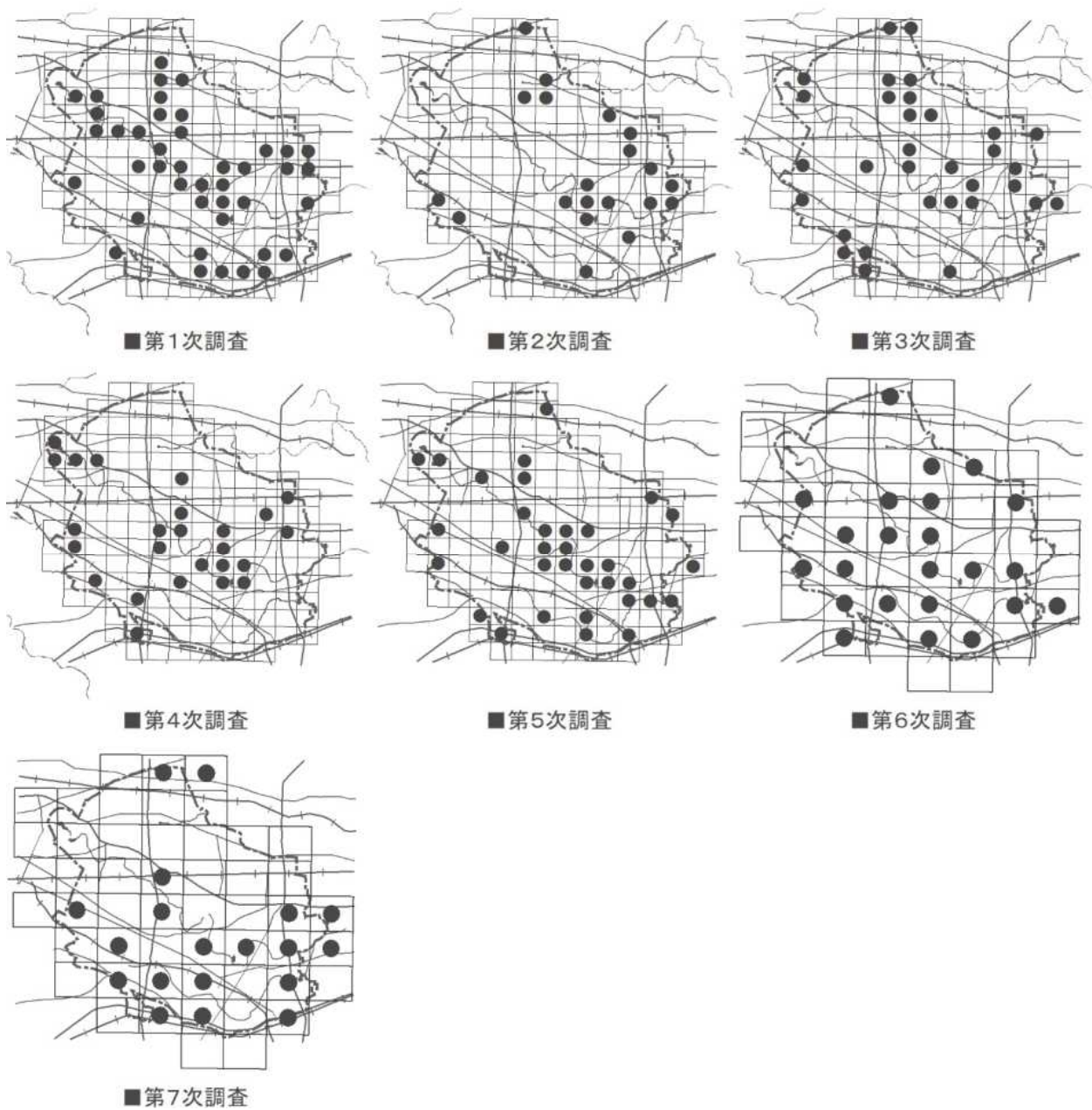
ネズミ類も台1次に26.7%を記録した後、第2次に低下し、第5次にかけて20%未満で推移した後、第6次に28%まで大きく増加し、第7次には再び20.0%まで低下した。区内のネズミ類は、市街地を含め広く分布し偏りは小さい。

タヌキについては、第1次および第2次調査ではペットが逃げ出した記録として整理されたため、分布の情報がなかった。その後、第3次に3メッシュ、第4次には1メッシュのみで確認され、第5次に27メッシュ(16.4%)に増加し、分布は著しく拡大した。第6次にも16メッシュ(32.0%)と多く確認されたが、第7次には6メッシュ(12.0%)に減少した。また第6次における分布範囲は全域に広がっていたが、第7次には再び西部に偏る傾向がみられた。本種は杉並区以外の都区内でも分布が拡大しており、多摩地域から、あるいは都心部の大規模な公園や社寺林(明治神宮や自然教育園など)からの分布が拡大した結果、杉並区内に分布するようになったと推測されている(須田孫七, 2007)。

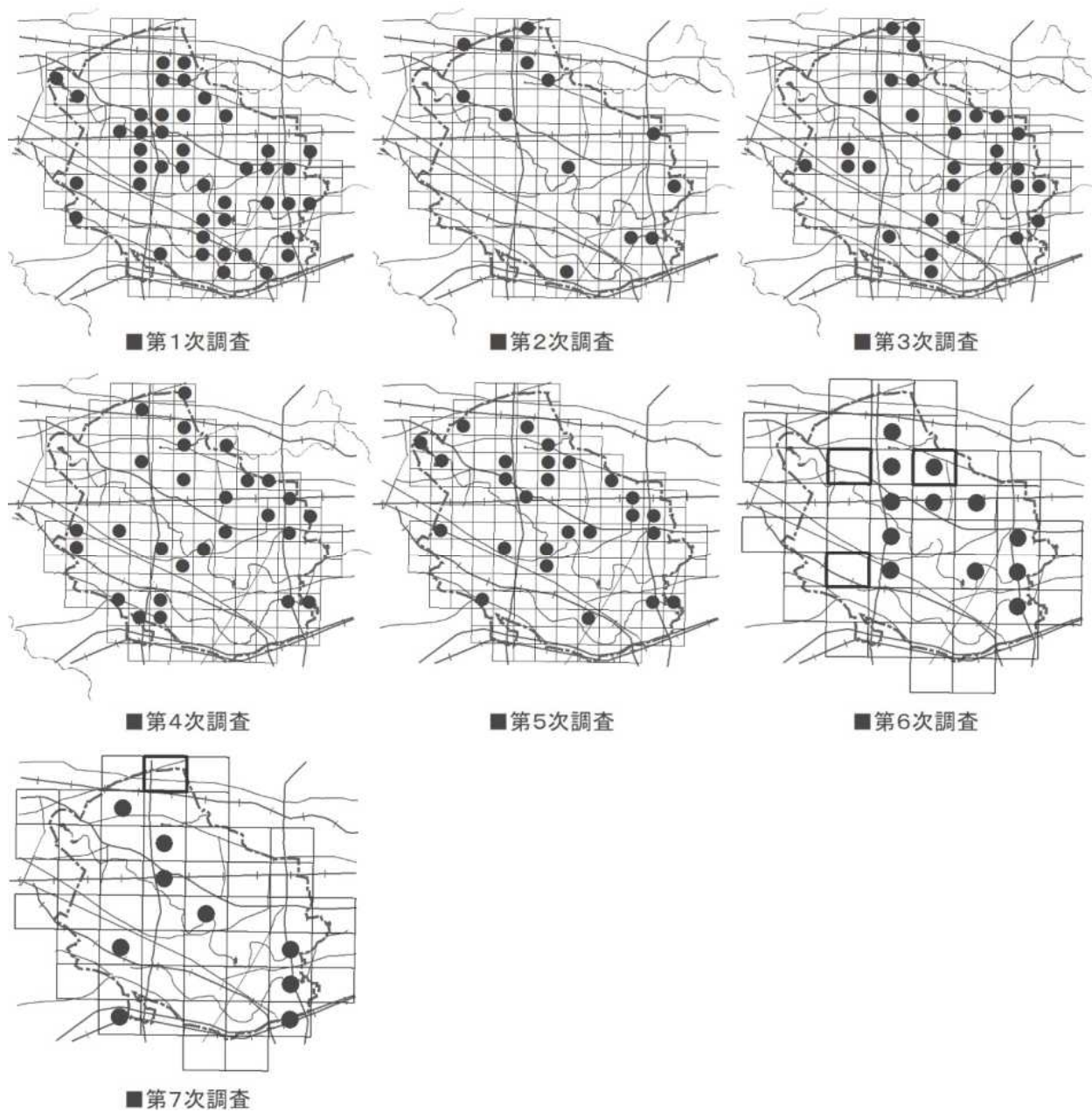
外来種であるハクビシンは第5次調査で初めて確認されて以降、第7次まで続けて確認された。第5次調査では、同じく外来種であるアライグマとシマリスが確認されたが、これらは第6次以降では確認されなかった。ハクビシンとアライグマは雑食性で繁殖力も強く、農作物被害や人家への侵入などにより人間社会との軋轢が生じる上に、他の動物を捕食するため、タヌキなどの在来生物と競合し脅威となる恐れがある。このため、今後もこれらの外来種の区内での生息状況の推移や、定着地域での在来生物への影響の有無について注意していく必要がある。



図Ⅲ-2-54 アズマモグラの分布の推移

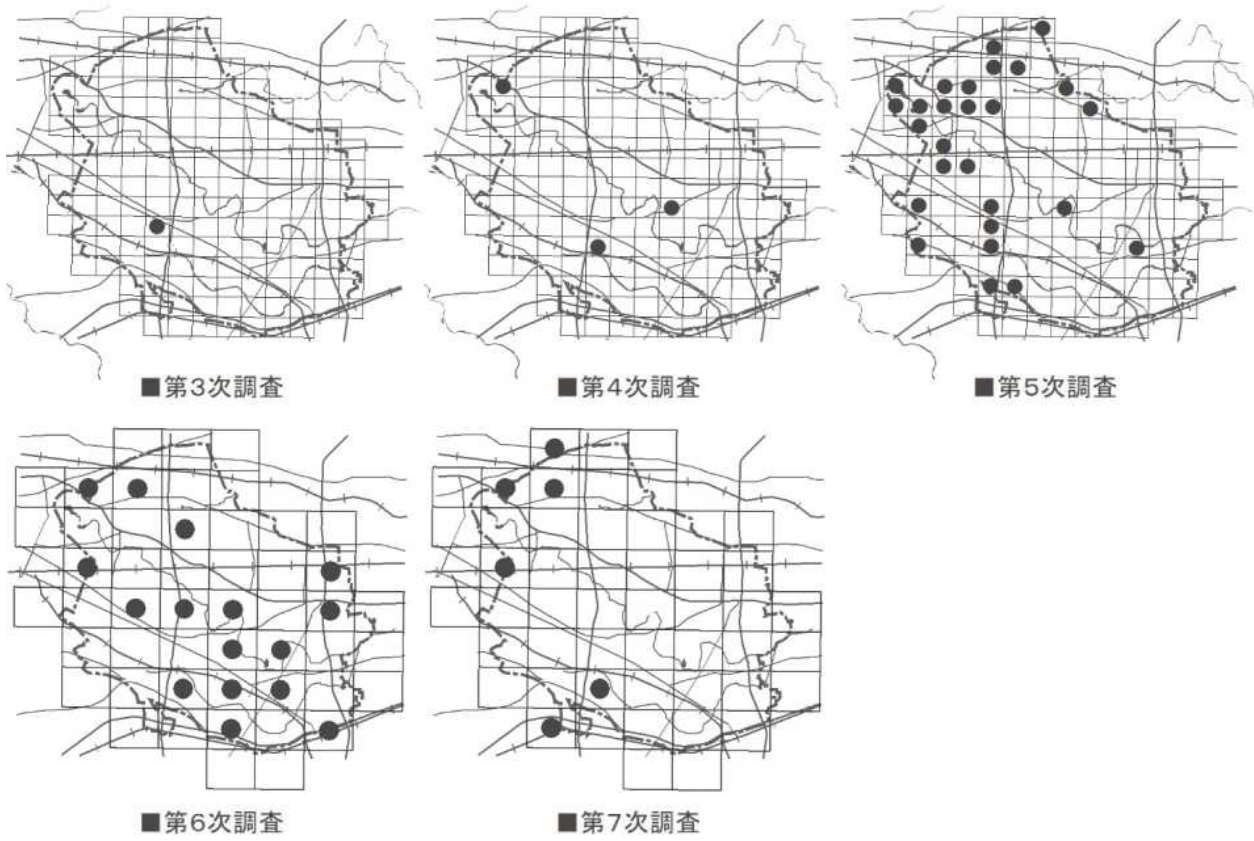


図Ⅲ-2-55 アブラコウモリの分布の推移

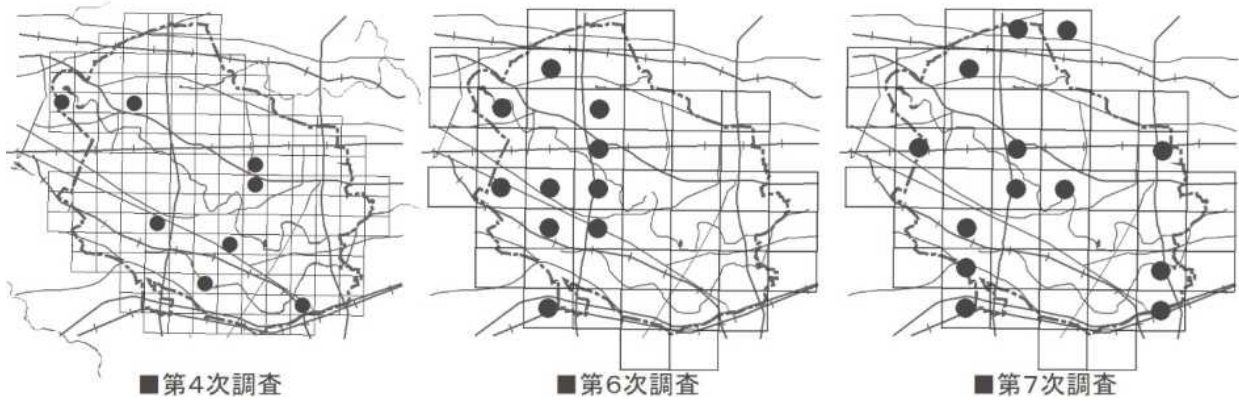


凡例 ●：第1次から第5次ではネズミ類、第6次・第7次ではクマネズミ。
太枠線：ドブネズミ *Rattus norvegicus*、ネズミとして回答のあったメッシュ。

図Ⅲ-2-56 ネズミ類の分布の推移



図Ⅲ-2-57 タヌキの分布の推移



図Ⅲ-2-58 ハクビシンの分布の推移

2) 杉並区における哺乳類の特性

第7次調査では、アズマモグラ、アブラコウモリ、タヌキ、クマネズミ、ドブネズミの5種類の在来種と1種類の外来種ハクビシンが確認された。

これらの中には、アズマモグラのようにかつて区内に広く分布していたが著しく減少した種類、タヌキのように第5次調査をピークに減少傾向にある種類、アブラコウモリやネズミ類のように分布域の増減にはっきりした傾向が見られない種類、また外来種のハクビシンのように近年分布が拡大している種類が含まれている。

特に減少傾向が明らかなアズマモグラについては、生物相が豊富な農地や緑地などの都市化による減少の影響を強く受け、分布が局所的になってきていると考えられる。本種は、哺乳類の中で特に移動能力が低いため、生息地の分断化により個体群の孤立化が進み、さらに減少する恐れがある。

一方、最近分布が拡大している外来種のハクビシンは第6次調査では10メッシュ（20.0%）で確認され、在来種のタヌキへの影響や農作物の食害の被害も懸念されるため、今後の動向に注意が必要である。

哺乳類は、移動能力が種によって大きく異なり、生息できる環境の幅も様々である。このため、今後も区内の哺乳類相は徐々に変化していくことが予想される。

3. 杉並区の生物相の特性

(1) 生物の生育・生息環境の特徴と変化

① 生物の生育・生息環境の特徴

地形・地質

杉並区は全体が武蔵野台地にあって概ね平坦な地形となっており、台地に源流を持つ小河川が台地を侵食し、河川沿いに低地や斜面をつくっている。標高の最も高いところは約 50m、低いところは約 30m で、その差は 20m 程度である。

台地部は関東ローム層、低地部は沖積層で、これらの下層は礫層となり地下水の帯水層となっている。

水系

杉並区には北から妙正寺川（上流部：井草川（暗渠））、桃園川（暗渠）、善福寺川、神田川の 4 つの自然河川と、人工河川である玉川上水（下流部暗渠）がある。妙正寺川の上流部には妙正寺池が、また善福寺川の源流と中流部にそれぞれ善福寺池と和田堀池があり、最上流部では仙川上水の導水が放流されている。

気候

杉並区は、温暖で比較的晴天が少ない海洋性の気候（東京など）と、気温の日較差や年較差が大きく冬期は乾燥した晴天が続く内陸性の気候（八王子など）との中間的な気候となっている。

みどり

杉並区には、善福寺川上流側の善福寺公園周辺や下流側の和田堀公園周辺などの樹林地や水辺のある比較的まとまりのある緑地、その他河川沿いの斜面樹林を中心とした緑地、台地部に小規模で点在している樹林地や植栽地または農地などのように、少ないながらも多様なみどりが見られる。樹林地や緑地は広いもので 10ha 前後であり、善福寺川や神田川沿いにややまとまっているものの、それぞれ散在し孤立している。そのほか小規模な社寺林や屋敷林、また公園やグラウンドなどの植栽地や緑の比較的多い住宅団地なども区内に点在している。杉並区の周辺にも、西側の武蔵野市や三鷹市には、玉川上水と連続する神田川の源流である井の頭池を有する井の頭公園が、北側の練馬区には、三宝寺池を有する石神井公園などのまとまりのある緑地があるが、それらはいずれも孤立している。

② 環境の変化

杉並区は遅くとも明治時代のころには「武蔵野の雑木林」のある農村であり、生き物のにぎわいのある豊かな里の自然が広がっていた。その後は徐々に市街化が進み、現在では区内のほとんどが市街地となり、善福寺川や神田川沿いに断片的に緑地が残っているという状態にまで変化した。残された緑地にも人為の影響が大きく加わり、単純な構成になりつつある。また、地球温暖化やヒートアイランド現象による気温の上昇や、さらに地下水位の低下や湿度の低下などにより、土地の乾燥化が進みつつあると考えられる。一方、近年の都市域での建築行為時の緑化指導等により植栽地が増えていることや、河川における水質の改善や遅野井親水施設の開園（2018）などの生物に配慮した整備や管理、また多自然型の区立柏の宮公園の開園（2004 年）や区立桃井原っぱ公園の開園（2011 年）などにより、区内の自然環境が改善されつつある。このような環境条件の変化に伴い、植物や動物などの生き物たちの状況も様々に変化している。

(2) 生物相の特徴と変化

① 生物相の特徴

〈植物〉

現在、区内に広く分布する植物は、都市に多い環境である路傍、路上、空き地、人家の庭などに生育するオニタビラコ、ツユクサ、カタバミ、コナスビ、スギナなどの種類である。これらの種類の他に、雑木林などに生育するキンラン、ギンランなど、湿生林を構成するハンノキ、ヤナギ類などや、湿地に生育するヒメガマ、ヘラオモダカなどのように、比較的良好な自然環境の構成種も種類数や個体数が少ないながらも残存している。一方、第7次調査において確認された帰化植物は、前回第6次に続き、これまでの調査で最も多い172種類（帰化率は22.9%）であり、さらに今後も注意を要する。

〈動物〉

体が小さいクモ類や昆虫類では、都市環境に生息できる種類や移動能力の高いもの（都市型のチョウ類など）が区内で広く見られる傾向にある。一方、特定の環境に依存する種類（樹林に依存するチョウ類やアリ類など）や、移動能力が低い種類（林床を利用する徘徊性の昆虫類や、地表や地中を利用するコモリグモ類など）は、区内でも生息地が限定されている。このような場所は、まとまった緑地のある公園や社寺に多いが、小面積で環境が維持されている場所でも、こういった種類が安定して生息していることが確認された。また人の関与によって生息条件が整えられたことによって、生息状況が改善された種類（トンボ類、草地性のバッタ類など）も見られた。

比較的大きい両生類、爬虫類、哺乳類では、区内での分布が局所的な種類と、比較的広く分布する種類（アズマヒキガエル、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、アブラコウモリなど）とが見られた。しかし分布が広い種類についても緑地周辺への偏りや、線路や道路などの人工物による分布の分断が見られ、都市化の影響を受けていると考えられる。一方、水辺環境への依存度が高いヒバカリが第7次調査で確認されていることは、区内で生息可能な水辺環境が維持されているものと考えられる。しかし、同様に水辺環境への依存度が高いヤマカガシ、シマヘビは第6次まで継続的にみられたが、今回第7次には確認されなかったことから、これらの生息状況や水辺環境の状態について、今後はさらに留意が必要である。また移動性の高い哺乳類の外来種ハクビシンの確認範囲が広がる一方で、在来種タヌキの確認範囲が狭まっていることについても、今後の留意が必要と考えられる。

翼を持ち移動能力が大きい鳥類については、ヒヨドリ、カワラバト、スズメ等の都市環境にも生息可能な種類が区内に広く見られたほか、緑地や水辺などにはアオサギ、カワセミ、カルガモなどの自然的な環境に生息する種類の個体数の増加が見られた。これらの鳥類にとって、河川沿いの樹林や池のある公園等の水辺を有する緑地が重要な生息環境となっている。

地域的に見ると、各河川と河川沿いにある公園などのまとまりのある緑地が区内での様々な生物の生息拠点となり、それ以外の区域では各地に残存している小規模な緑地や草地、農地が、生物に生息地を提供していると考えられる。また杉並区内では、広い面積をもつ公園や緑地だけでなく、雑木林や屋敷林のような小面積の緑地も重要であることが示されている。まとまりのある緑地では、特に柏の宮公園において区民自らが公園の管理に取り組み、多自然型の公園として維持管理を行ってきたことにより、植物相及び動物相が豊かになり、区内での生物相の拠点として重要な役割を果たしている。今後も生物の生育・生息環境の整備や保全への取り組みが継続されることが望まれる。

② 生物相の変化

〈植物〉

第5次調査では、カントウタンポポのようにかつて杉並区全体で普通に見られた種類の分布の縮小や、樹林地における植生遷移の進行に伴うアオキ、シュロ等の増加傾向が報告され、第6次調査では多くの調査地で在来種の種類数の増加が認められた。今回第7次には、第6次と比べ植栽種の種類数の増加が目立った。またその差は大きくないものの、第6次と比べ在来種が減少し、帰化植物が増加したため、第6次に続き帰化率が上昇した。

調査地別では、東京女子大学、三井の森公園、善福寺公園上池、和田堀公園などの多くの調査地で在来種の種類数の増加がみられ、第7次調査における全18カ所の調査地の中の、第6次と同一の調査地16カ所のうち10カ所で在来種種類数の増加がみられた。これらの地点では帰化植物の種類数も同時に増加した。一方、柏の宮公園においては第6次から第7次にかけて在来種の種類数は同数であったが、帰化植物の種類数が若干減少した。

前回第6次調査では、柏の宮公園や善福寺公園などで第5次調査の後に行われるようになった、区民団体による雑木林管理や植物保全管理などの効果が認められ、新たに多くの在来種が確認された。今回第7次にも自然林や暗い林床の生育種ではリョウメンシダ、トウゴクシダ等、雑木林の生育種ではハリガネワラビ、ノゲヌカスゲ、アオイスマレ等、林縁の生育種ではイワヒメワラビ、ヤワラスゲ、シンミズヒキ等、草地の生育種ではコヒロハハナヤスリ、ノジトラノオ、カセンソウ等、水辺の生育種ではコウガイゼキショウ、ホタルイ、サンカクイ等が確認され、植生管理の継続による効果が続いていることが確認された。

多くの調査地では、在来種とともに帰化植物の種類数が増加した。ハイコヌカグサ、ヒメコバンソウ、ツルズズメノカタビラ、コゴメバオトギリ、イヌコハコベ、ツボミオオバコ、ハビコリハコベ等の22種類が、今回第7次調査で新たに確認された。

以上のように杉並区の植物相は、市民による里山環境の復元活動や植物保全活動などに支えられ、豊かな在来種の生育が維持されている。一方、多様な人間活動や都市化の進行に伴う植栽植物や帰化植物の増加もみられ、帰化率はこれまでで最高の22.9%であったことから、今後も区内の様々な場所で植物の生育状況をよく観察し、植物の良好な生育環境を維持していくことが重要と考えられる。

〈動物〉

クモ類や昆虫類では、杉並区に残された良好な自然に依存している種類から都市環境に生息できる種類まで多様な種類が見られ、動物相の確認種類数は増加傾向にある。これは、近年の都市域での環境の改善により戻ってきた種類や都市域の緑に適応するようになった種類、温暖化の影響により定着出来るようになった種類、人為的な移入種の増加などの複合的な要因によるものと考えられる。また鳥類では、樹林性のエナガ、コゲラなどの増加傾向が続くとともに、ツミ、オオタカなどの猛禽類も第6次から続けて確認された。

一方、土壌性のクモ類の減少、スズメやツバメなどの鳥類の個体数の減少、アズマモグラなどのようにかつて広域に分布していた哺乳類・爬虫類・両生類の分布の縮小が第6次以降も続けて確認された。これらについては都市化などによる環境の変化、及び生息地の縮小や分断化などが要因になっていると考えられる。

個々の生息地に注目すると、場所によっては特定の環境に依存する種類(樹林に依存するチョウ類や樹林性のアリ類)や、移動能力が低い種類(林床を利用する徘徊性の昆虫類・地表や地中を利用するクモ類など)が、継続して生息している。また、適正な植生管理や、保護、生息環境復元を目的とした活動などの人の関わり方によって、草地性のバッタ類や止水域に生育するトンボ類などの確認種類数が第5次調査以降回復し、その傾向は現在も続いている。特に区立柏の宮公園はこれらの種の生息場所として、杉並区における重要な拠

点になっていると考えられる。

これらの動物相の変化は、個々の動物の生息環境が人間活動によって直接的に悪化させられたり、あるいは改善されたりした結果であると同時に、区内の気候の温暖化やそれに伴う土壌の乾燥化などのように間接的かつ大局的な変動の影響もあると考えられる。

(3) 共通調査地からみた生物相の特徴

① 評価内容および方法

第7次調査では、区内にみられる環境要素を整理し、それを元に選出された区内の環境を代表する場所を、分類群（植物、クモ類、昆虫類、鳥類）共通の調査地として設定した（表Ⅲ-3-1）。同じ場所で各分類群を調査することにより、その場所の生物相や生態系、自然環境の様子をより明確に捉えることができる。

評価方法としては、第7次調査で確認された種類を、それらが生育生息する環境タイプに分類した（表Ⅲ-3-2）。なお、分類群ごとに利用する環境が異なるため、環境タイプには違いがある。

各環境タイプに出現する種類数により、それらの生育生息状況から見た環境タイプの充実度をレーダーグラフとして図Ⅲ-3-1に示した。なお、クモ類と鳥類は第7次調査確認種全種を評価したが、植物は植栽と逸出を除いた在来種、昆虫類はトンボ類、バッタ類、チョウ類を対象として評価した。

表Ⅲ-3-1 環境区分ごとの共通調査地一覧と環境要素

区分	調査地	環境要素					備考
		台地	斜面	低地	池	河川	
大規模緑地	善福寺公園	△	○	○	○	△	都立公園
	和田堀公園	△	○	○	○	○	都立公園
色々な環境要素がある公園緑地	塚山公園	○	○	○	△	外側	区立公園
	柏の宮公園	○	○	△	△		区立公園
斜面樹林	三井の森公園	○	○	△			区立公園
	済美山自然林	○	○				都立公園
	大宮八幡	○	△			外側	社寺
台地上の常緑樹林を有する緑地	観泉寺	○					社寺
おもに植栽地	善福寺川緑地	△	○	○		○	都立公園
住宅地（一部に小規模な緑地）	南荻窪4丁目域	○					住宅地

環境要素凡例：○ 要素として十分備わっている

△ 規模は小さいが備わっている

表Ⅲ-3-2 各分類群の生育・生息環境タイプ

分類群	生育・生息環境タイプ					
植物	暗い樹林	落葉樹林・雑木林	林縁	二次草原	水辺	路傍草地
クモ類	樹林地	樹林地・草地	草地	水辺、草地・水辺	市街地、その他	家屋、人工構造物
昆虫	樹林地	林縁	樹林地・草地	草地	路傍、草地・路傍	水辺
鳥類	樹林地	樹林地・草地	水辺・樹林地・草地	水辺・草地	水辺（池・河川）	市街地、その他

② 結果および考察

i 植物

柏の宮公園では、ほとんどの環境タイプの出現種類数割合が他の調査地に比べて多く、次いで善福寺公園、和田堀公園で出現種類数割合が多かった。これらの調査地では、緑地内に多様な環境要素を有し、それぞれの環境に特徴的な多くの種類の植物が生育し、豊かな植物相が形成されていると考えられる。柏の宮公園と善福寺公園では、ボランティア団体による植生管理が行われており、多様な環境が維持されることが多様な植物種の生育に寄与していると考えられる。塚山公園は柏の宮公園と同様に色々な環境要素を含むにも関わらず、各環境タイプの出現種類数割合が柏の宮公園に比べて小さい。この要因として、塚山公園では頻繁に行われる草刈りや林床の下刈りにより単調な植生が多いことや、植栽種が多いこと、水辺においては外来種であるキシウブの繁茂などによる水生植物の単調化が考えられる。

斜面樹林に位置する済美山自然林、三井の森公園、大宮八幡、常緑樹林を有する緑地である観泉寺についてはそれぞれの樹林の状況に応じて、「暗い樹林」、「落葉樹林・雑木林」や「林縁」の環境タイプの出現種類数割合が40～50%を占めた。済美山自然林および三井の森公園は、「落葉樹林・雑木林」タイプの出現種類数割合が高く、どちらも雑木林が緑地のほとんどを占めているうえ、定期的な下刈り管理が行われていることで、雑木林に特有の植物相が維持されていると考えられる。一方、大宮八幡と観泉寺は常緑樹の社寺林を有するため、「暗い樹林」タイプの出現種類数割合が大きい傾向にある。

主に植栽地である善福寺川緑地、住宅地である南荻窪4丁目域は、人の利用の影響が大きく反映されていると考えられ、「路傍草地」タイプが大きく、次いで「林縁」タイプが大きいといった同様のレーダーグラフとなった。

ii クモ類

クモ類は、大規模緑地である善福寺公園でレーダーグラフが大きく、面積の広い善福寺池を反映して特に「水辺」、「水辺・草地」タイプの出現種類数割合は100%であった。クモ類の生息には、厚く堆積した落葉層や、適潤～やや湿った土壌層が重要であり、済美山自然林など乾燥化の傾向にある調査地や、住宅地である南荻窪4丁目域ではレーダーグラフは全体的に小さくなる傾向がみられた。一方、大宮八幡や観泉寺では、水辺や草地に関係する環境タイプは少ないものの「樹林地」、「家屋、人工構造物」、「市街地、その他」の環境タイプの出現種類数割合が大きく、社寺林において落葉層や土壌層が発達していることや古くからの建造物が存在していることが要因として考えられることから、これらがクモ類の生育にとって重要であると考えられる。

iii 昆虫類

昆虫類はトンボ類、バッタ類、チョウ類のみを対象にしているため部分的な評価になるが、柏の宮公園のレーダーグラフが最も大きく、全ての環境タイプの出現種類数割合が80%を超えていた。次いで、多様な環境要素を持つ善福寺公園や和田堀公園の大規模緑地のレーダーグラフが大きかった。大宮八幡、観泉寺のレーダーグラフは著しく小さく、今回対象とした種類は社寺林や境内においてはほとんど確認されなかった。植栽された植物が多い善福寺川緑地、塚山公園では、「林縁」タイプが大きくなる傾向が見られた。住宅地である南荻窪4丁目域は、「樹林」、「林縁」、「草地」の環境タイプの出現種類数割合が40%以上で比較的大きく、花卉・花木類が多く植栽されていることから、吸蜜を訪れるチョウ類が確認されたと考えられる。また、「水辺」の環境タイプも40%弱であり、これは個人邸の池などに飛来するトンボ類を反映していると考えられる。

iv 鳥類

鳥類は、大規模緑地である善福寺公園でレーダーグラフが大きく、面積の広い善福寺池を反映して特に「水辺・樹林・草地」、「水辺（池・河川）」、「水辺・草地」の環境タイプの出現種類数割合が85%以上であった。次いで、和田堀公園、善福寺川緑地のレーダーグラフが大きかったが、善福寺川緑地に比べ「樹林」、「水辺（池・河川）」、「水辺・草地」の環境タイプの出現種類数割合は少なかった。善福寺川緑地は、サギ類やセキレイ類などが含まれる「水辺・樹林・草地」タイプの出現種類数割合が高い傾向を示したが、これは善福寺川とその周辺の緑地を利用する種類が確認されたためである。その他の地域では、スズメやカラスなどが含まれる「市街地、その他」、次いで「樹林地・草地」の環境タイプの出現種類数割合が高く、似た傾向が見られた。

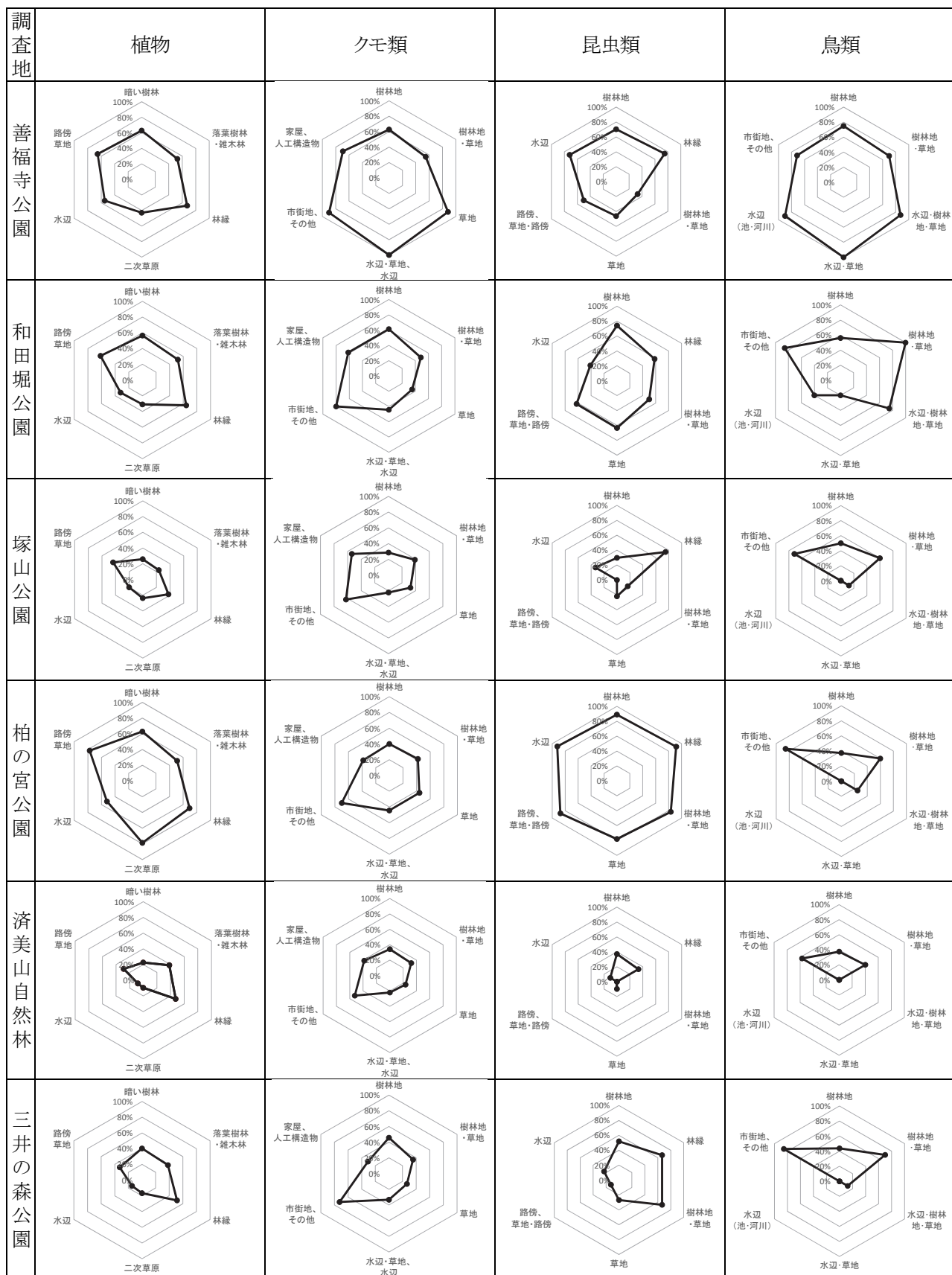
v 各調査地の生物相の特徴

4つの分類群を通して各調査地を評価すると、多様な環境要素を有す大規模緑地である善福寺公園と和田堀公園はレーダーグラフの種類数割合は全体的に大きい傾向にあった。

色々な環境要素がある公園緑地である塚山公園、柏の宮公園については、特に柏の宮公園において植物や昆虫類のレーダーグラフの出現種類数割合が大規模緑地よりも大きく、植物保護や稲作が行われるなど区民による管理の取組が反映されていると考えられる。同様に色々な環境要素がある塚山公園においては、柏の宮公園に比べ各分類群の出現種類数割合が小さかった。しかしポテンシャルはあり、林床植生の改善、落葉層や腐植土層の形成、池の再生整備等を進めていくことで種類数が豊かになり、レーダーグラフが拡大すると考えられる。

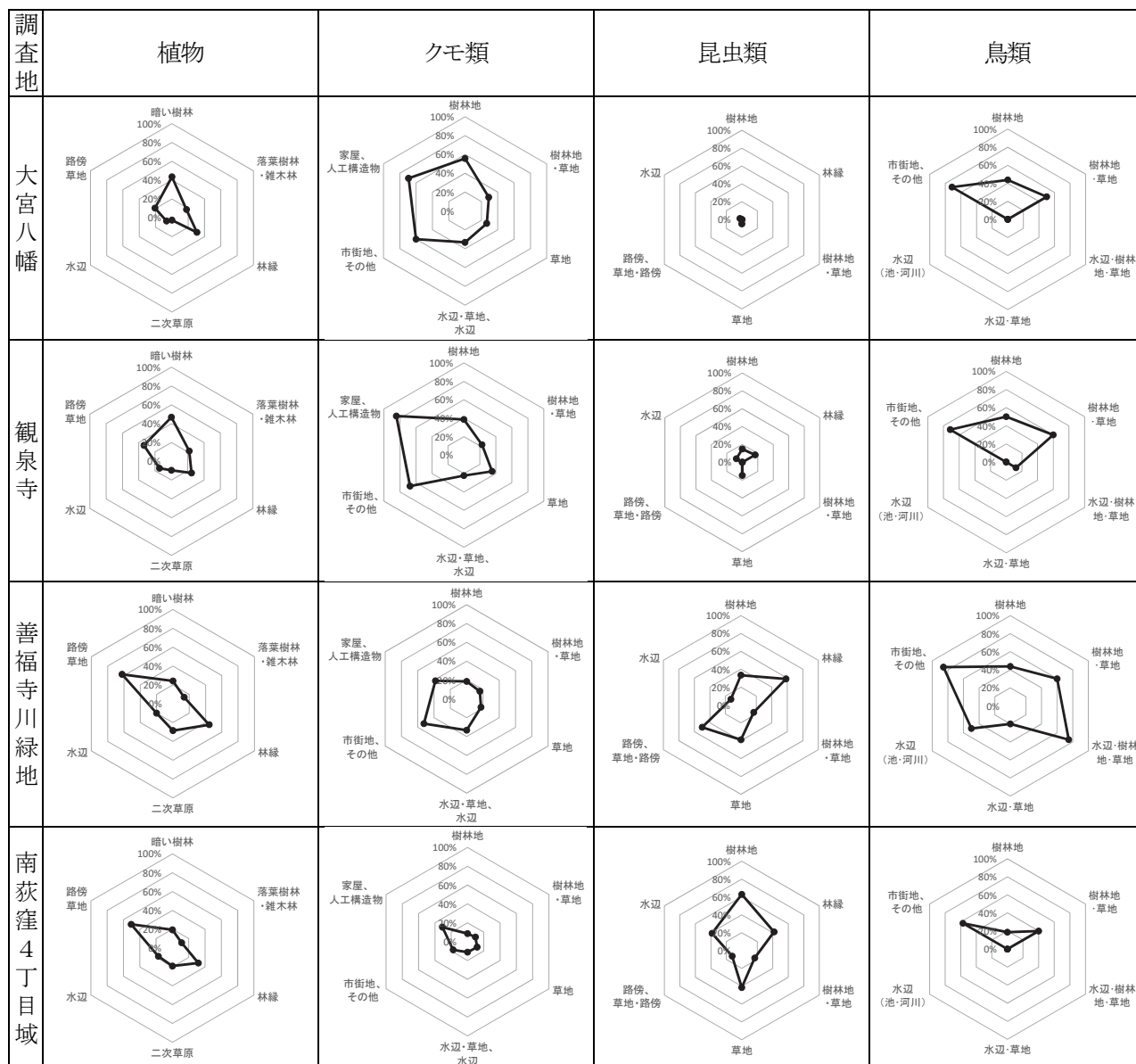
斜面樹林に位置する済美山自然林、三井の森公園、大宮八幡や、常緑樹林を有する緑地である観泉寺については、樹林や林縁に関する環境タイプの出現種類数割合が大きくなる傾向が見られた。大宮八幡、観泉寺など社寺林では昆虫類が少ない一方、クモ類の「樹林地」、「家屋、人口構造物」、「市街地、その他」の環境タイプの出現種類数割合が大きく、クモ類の生息環境として古くからある社寺は重要であることが示された。

住宅地である南荻窪4丁目域は、昆虫類の出現種類数割合が比較的大きくなった。住宅地には植栽された花卉・花木類が多く、池のある個人邸もあることから、チョウ類やトンボ類が見られた。住宅地においても、こうした水辺や花壇等の小規模でも自然的な環境が、杉並区の生物相の多様性に寄与していると考えられる。



グラフの種類数割合 (%) は、共通調査地全体で確認された各環境タイプに属する種類の総数を 100% として、調査地点で確認された各環境タイプに属する種類数割合を示す。

図Ⅲ-3-1 共通調査地における出現種類数割合 (1)



グラフの種類数割合 (%) は、共通調査地全体で確認された各環境タイプに属する種類の総数を100%として、調査地点で確認された各環境タイプに属する種類数割合を示す。

図Ⅲ-3-1 共通調査地における出現種類数割合 (2)

(4) 絶滅危惧種

本調査では、環境省レッドリストおよび東京都レッドリストの掲載種のほか、杉並区独自の注目種（杉並区内でもともと希少である生物種や近年減少傾向にある生物種）を絶滅危惧種とし、調査分類群ごとに、その確認状況を整理した。

① 環境省レッドリスト掲載種

これまでの調査で確認された環境省レッドリスト掲載種の種類数および該当種の出現有無を、表Ⅲ-3-3～4に示した。これまでに確認された環境省レッドリスト掲載種は、維管束植物 22 種類、クモ類 4 種類、昆虫類 13 種類、鳥類 4 種類、合計 43 種類であった。この中で、維管束植物 11 種類、クモ類 3 種類、昆虫類 9 種類、鳥類 3 種類、合計 26 種類が第 7 次調査で確認された。

昆虫類では、移入種の再検討を行った結果、第 6 次の該当種が減り、今回第 7 次調査での該当種類数が最多となった。また鳥類では第 5 次調査以降の種類数は 3 種類が続いている。維管束植物とクモ類については、いずれも第 6 次調査で最多の種類数が確認され、今回第 7 次調査では 1 種類ずつ減少した。なお前回第 6 次以前では、とくに維管束植物と昆虫類において、第 5 次から第 6 次にかけて種類数が大きく増加していた。

② 東京都レッドリスト掲載種

これまでの調査で確認された東京都レッドリスト掲載種（区部におけるランク）の種類数および該当種の出現有無を、表Ⅲ-3-5～6に示した。東京都レッドリスト掲載種は、調査を行った全ての分類群で確認され、これまでに維管束植物 124 種類、クモ類 9 種類、昆虫類 91 種類、鳥類 24 種類、哺乳類 1 種類、爬虫類 10 種類、両生類 5 種類、合計 264 種類が確認された。またこの中で、維管束植物 47 種類、クモ類 5 種類、昆虫類 52 種類、鳥類 16 種類、哺乳類 1 種類、爬虫類 8 種類、両生類 5 種類、合計 134 種類が第 7 次調査において確認された。

維管束植物と昆虫類については、第 4 次から第 5 次にかけて該当種類数が大きく増加し、その後の第 7 次にかけての変化は小さかった。維管束植物については、第 5 次調査では 16 地点の植物相調査に加え 34 地点の希少植物確認調査が行われたことが、この間の種類数の増加と関係していると考えられる。また、その後第 6 次以降の調査で調査地点数が大きく減少したにも関わらず、種類数の減少がみられなかったことは、柏の宮公園における里山保全管理や善福寺公園における植物保全管理による効果によるところが大きいと考えられる。

両生類についても、第 4 次までアズマヒキガエル 1 種類のみが確認されていたが、第 5 次から第 6 次にかけてはツチガエルとニホンアカガエルが加えて確認され、今回第 7 次には、さらにトウキョウダルマガエルとニホンアマガエルが加えて確認され、緩やかな増加傾向がみられた。ただし、アズマヒキガエル以外のカエル類は人為的に持ち込まれた可能性がある。

クモ類の該当種の種類数は、第 5 次から第 6 次にかけて比較的大きく増加したが、今回第 7 次には若干減少した。

鳥類については、第 1 次から第 2 次にかけて該当種の種類数は半数以下に減少したが、その後、次第に回復し、第 6 次以降は第 1 次と同じ 15 種類以上が確認されている。また哺乳類については、第 1 次調査以降、アズマモグラ 1 種が継続して確認されている。

このほか、前回第 6 次には維管束植物と昆虫類において絶滅種（EX）が確認されたことが特筆すべき点として挙げられたが、今回第 7 次には、維管束植物と昆虫類に続き、鳥類においても同様に絶滅種（EX）サンコウチョウが確認された。本種は杉並区において第 1 次調査以来の再確認となった。

③ 杉並区独自の注目種

これまでの調査で確認された杉並区独自の注目種の種類数および該当種の出現有無を、表Ⅲ-3-7～8 に示した。これまでに確認された杉並区独自の注目種は、維管束植物 52 種類、クモ類 14 種類、昆虫類 1 種類、合計 67 種類となった。この中で、維管束植物 25 種類、クモ類 10 種類、昆虫類 1 種類が、第 7 次調査で確認された。なお、第 6 次調査まで維管束植物の注目種であったカニクサについては確認頻度の増加が続き、今回第 7 次までに広く区内で確認されるようになったため、注目種から除外した。

クモ類該当種の種類数は、第 6 次調査で大きく増加し、今回第 7 次調査でさらに増加が続いた。また、昆虫類該当種マユタテアカネは第 5 次以降確認が続いている。これらに対し維管束植物の種類数は、第 3 次調査以降、減少傾向が続いている。

表Ⅲ-3-3 杉並区で確認された環境省レッドリスト該当種の種類数

分類群	カテゴリ	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	合計
維管束植物 ^{*1}	絶滅危惧ⅠB類(EN)		1	1		1			1
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	2	2	2	2	2	7	6	10
	準絶滅危惧種(NT)	2	2	3	1	4	5	5	11
	合計	4	5	6	3	7	12	11	22
クモ類	準絶滅危惧種(NT)	3	3	2	3	2	4	3	4
	合計	3	3	2	3	2	4	3	4
昆虫類	絶滅危惧ⅠB類(EN)							1	1
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)							1	1
	準絶滅危惧種(NT)		1	2	2	1	5	5	7
	情報不足(DD)					2	3	2	4
	合計		1	2	2	3	8	9	13
鳥類	準絶滅危惧種(NT)				1	2	2	3	3
	情報不足(DD)			1	1	1	1		1
	合計			1	2	3	3	3	4
総計		7	9	11	10	15	27	26	43

*1 維管束植物：種類数は、該当する在来種の種類数を示す（移植を含む）。

表Ⅲ-3-4 杉並区で確認された環境省レッドリスト該当種の一覧

分類群	カテゴリ	種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*1
										東京都RL	杉並区注目種	
維管束植物*2	絶滅危惧ⅠB類(EN)	アキノハハコグサ		●	●		●			EX		
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	オニイノデ						●		・		移植
		タマノカンアオイ		○				●	●	DD		
		キンラン	●	●	●	●	●	●	●	VU	2	
		クゲヌマラン						●	●			
		マヤラン						●	●			
		ノカラマツ						●		EX		
		イヌハギ							●	VU		
		ヤナギヌカボ				●	●			CR		
		ノジトラノオ						●	●	EW		
		オナモミ	●	●	●					EX		
	準絶滅危惧種(NT)	マツバラシ						●	●	-		
		イトトリゲモ						●	●	-		
		エビネ	●	●	●	●	●	●	●	VU	2	一部移植・植栽
		ミクリ	○	○	○	○		●	○	NT		植栽
		タマミクリ			●						1	
		ナガエミクリ					●		●	NT		
		カザグルマ					●			EX		
		タコノアシ	●	●	●					NT	2	
		カワヂシャ					●					
		ミゾコウジュ						●		NT		
		フジバカマ			○		○	○	●	DD		移植・植栽
クモ類	準絶滅危惧種(NT)	キノボリタテグモ						●		VU		
		キシノウエタテグモ	●	●	●	●	●	●	●	VU		
		カネコタテグモ	●	●		●		●	●	VU		
		ワスレナグモ	●	●	●	●	●	●	●	NT		
昆虫類	絶滅危惧ⅠB類(EN)	ツマグロキチョウ							●	EX		偶産
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	トゲアリ							●			
		スキバホウジャク				●						
	準絶滅危惧種(NT)	ベニイトシボ					●	●	●	VU		
		ババアメンボ						●	●	DD		
		エサキアメンボ						●	●	DD		
		シロヘリツチカメムシ			●	●						
		ヤネホソバ		●	●			●	●			
		コシロシタバ						●	●			
	情報不足(DD)	オオセイボウ						●	●			
		モンズメバチ						●	●			
		ヤマトスナハキバチ					●					
		クズハキリバチ					●	●				
鳥類	準絶滅危惧種(NT)	チュウサギ				●	●		●	VU		
		ハイタカ						●	●	EN		
		オオタカ					●	●	●	CR		
	情報不足(DD)	オシドリ			●	●	●	●		EN		

*1 備考：第7次調査における生育由来または生育状況を示す。

*2 維管束植物：○印は植栽株のみが確認されたことを示す。

表Ⅲ-3-5 杉並区で確認された東京都（区部）レッドリスト該当種の種類数

分類群	カテゴリ	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	合計
維管束植物*1	絶滅種(EX)	4	11	9	6	10	5	4	28
	野生絶滅(EW)		1				1	1	2
	絶滅危惧ⅠA類(CR)			3	2	1	3	4	9
	絶滅危惧ⅠB類(EN)	2	2	2	2	2	3	2	4
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	15	17	19	15	17	13	18	30
	準絶滅危惧(NT)	8	8	7	4	6	7	6	15
	情報不足(DD)	2	3	3	1	2	7	6	9
	データ無し(-)	1	1	2		1	3	3	7
	非分布(・)	5	10	8	3	4	6	3	20
合計		37	53	53	33	43	48	47	124
クモ類*2	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	2	2	2	2	2	5	3	5
	準絶滅危惧(NT)	1	1	1	1	1	1	1	1
	データ無し(-) (本土部 準絶滅危惧(NT))			1					1
	(本土部 情報不足(DD))					1	2	1	2
合計		3	3	4	3	4	8	5	9
昆虫類*3	絶滅種(EX)				1	2	2	1	5
	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)		1	1		1		1	3
	絶滅危惧ⅠA類(CR)	3	1	2	2	4	3	2	10
	絶滅危惧ⅠB類(EN)	1	2	2	3	3	8	5	10
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	4	3	3	6	11	12	11	16
	準絶滅危惧(NT)	5	2	3	6	17	12	14	20
	情報不足(DD)	4	4	4	5	9	11	13	21
	留意種	1	1		1	2	3	2	3
	データ無し(-) (本土部 留意種)						1	1	1
	(ランク外) (本土部 準絶滅危惧(NT))	(1)	(1)		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
合計		19	15	15	26	51	54	52	91
鳥類	絶滅種(EX)	2						1	2
	絶滅危惧ⅠA類(CR)	1				2	2	2	2
	絶滅危惧ⅠB類(EN)	1		1	2	2	3	3	4
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	9	5	6	7	8	9	9	13
	準絶滅危惧(NT)	2	1	1	1	1	1	1	2
	留意種			1		1			1
合計		15	6	9	10	14	15	16	24
哺乳類	留意種	1	1	1	1	1	1	1	1
	合計	1	1	1	1	1	1	1	1
爬虫類	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)		1	1	1	2	1	2	2
	絶滅危惧ⅠA類(CR)	2	2	2	1	2	2	1	3
	絶滅危惧Ⅱ類(VU)	1	2	2	2	2	2	3	3
	準絶滅危惧(NT)	1	1	1	1	1	1	1	1
	情報不足(DD)		1			1	1	1	1
合計		4	7	6	5	8	7	8	10
両生類	絶滅危惧ⅠA類(CR)					1	1	2	2
	絶滅危惧ⅠB類(EN)					1	1	2	2
	準絶滅危惧(NT)	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		1	1	1	1	3	3	5	5
総計		80	86	89	79	124	136	134	264

*1 維管束植物：種類数は、該当する在来種の種類数を示す（移植を含む）。

*2 クモ類：区部のデータ無し（-）の3種については、本土部のカテゴリに該当する種類数を示した。

*3 昆虫類：区部のデータ無し（-）の1種およびランク外の2種については、本土部のカテゴリに該当する種類数を示した。

表Ⅲ-3-6 杉並区で確認された東京都（区部）レッドリスト該当種の一覧（1）

分類群	カテゴリ*1		種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*2
	区部	本土部									環境省 RL	杉並区 注目種	
維管束植物*3	絶滅種 (EX)		サジオモダカ					●					
			アヤメ		○	○		○	●	●			移植・植栽・逸出
			ヤマラッキョウ			●							
			マツバスゲ					●					
			ミノボロスゲ				●						
			キケマン		●			●		●			移植
			カザグルマ					●			NT		
			ノカラマツ						●		VU		
			カワラケツメイ		●								
			マキエハギ						●	●			
			ミズ	●	●		●	●					
			トモエソウ			○		○	●				
			ハタザオ		●	●							
			フシグロセンノウ		●								
			クサレダマ						○	●			移植・植栽
			クルマムグラ					●					
			アイナエ		●			○					
			イガホオズキ				●	●					
			ミズハコベ					●					
			サワトウガラシ				●						
			シソクサ				●						
			スズメノトウガラシ			●	●						
			ヒキオコシ		●								
			モリアザミ			●	○						
			アキノハハコグサ		●	●		●			EN		
			オナモミ	●	●	●					VU		
			オミナエシ	●	●	●				○		1	植栽
			ツルカノコソウ	●	●	●		●	●				
	野生絶滅 (EW)		ノジトラノオ						●	●	VU		
			ラショウモンカズラ		●								
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)		タチクラマゴケ						●	●			
			ナツノハナワラビ			●							
			ハリガネワラビ						●	●			
			ハンゲショウ	○	○	○	○	○	●	○			植栽
			ノハナショウブ			●	○		○	○			植栽
			ヤマブキソウ		○	●	●		○			1	
			ヤナギヌカボ				●	●			VU		
			ミツガシワ						○	●			移植・植栽
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)		カセンソウ							●			
			ヒロハハナヤスリ					●	●				
			イカリソウ	●	●	●	●	○	●	●		2	移植
			チダケサシ	●	●	●	●	●				2	
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		シロバナサクラタデ						●	●			一部移植
			コヒロハハナヤスリ						●	●			
			コハナヤスリ	●	●	●	●	●				1	
			アスカイノデ					●	●	●			
			ウマノスズクサ	●	●	●	●	●	●	●			一部移植・植栽
			ショウブ	○	○	○	○		○	●			移植・植栽
			エビモ					●					
			アマナ	●	●	●	●	●	●	●		2	移植・植栽
			カタクリ	●	●	●	●	●		●		1	
			ヤマジノホトギス	○		●							
			ホトギス	●	●	●	●	●	●	●			移植・植栽
			エビネ	●	●	●	●	●	●	●	NT	2	一部移植・植栽
			ギンラン	●	●	●	●	●	●	●		2	
			キンラン	●	●	●	●	●	●	●	VU	2	
			ササバギンラン					●	●	●			
			オニノヤガラ							●			
			キツネノカミソリ	●	●	●	●					2	
			ワニグチソウ	●	●	●		●				2	
			アマドコロ	●	●	●	●	●	●	●			一部移植・植栽
			ホソバヒカゲスゲ						●	●			
			シロガヤツリ		●	●							
			マツカサススキ					●					
			クサネム	●	●								
			キハギ	●	●	●	●	●	●	●			一部植栽
			イヌハギ							●	VU		
			カテンソウ	●	●	●	●						
			ゴキツル				●						
			ハンノキ	●	●	●	●	●	●	●			一部植栽
			ツノハシバミ			●							
			ネコヤナギ			●		●	○	●			一部植栽
			サクラタデ		●	●	●			○			植栽

表Ⅲ-3-6 杉並区で確認された東京都（区部）レッドリスト該当種の一覧（2）

分類群	カテゴリ*1		種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*2
	区部	本土部									環境省 RL	杉並区 注目種	
維管束植物*3	準絶滅危惧 (NT)		ヘラオモダカ	●	●	●	●	●					
			ミクリ	○	○	○	○		●	○	NT		植栽
			ナガエミクリ					●		●	NT		
			ホソイ	●					●				
			アオガヤツリ	●	●				●	●			
			メアゼテンツキ							●			
			ササクサ	●	●	●							
			マコモ	●	●	●	●	●	●	●		2	
			ニリンソウ	●	●	●	●	●	●	●		2	一部植栽
			タコノアシ	●	●	●					NT	2	
			ニシキソウ	●	●	●	●		●	●			
			ジャヤナギ						○	○			植栽
			ツリフネソウ					●					
			キバナアキギリ		●	●							
			ミゾコウジュ						●		NT		
	情報不足 (DD)		イワヒメワラビ						●	●			
			ハシゴシダ						●				
			トウゴクシダ						●	●			
			マメヅタ	●	●	●		●	●	●			
			タマノカンアオイ		○			●	●	●	VU		移植
			クサスゲ					●	●				
			ヒカゲスミレ		●	●	●						
			ハグロソウ	●	●	●			●	●			
			フジバカマ			○		○	○	●	NT		移植・植栽
	データ無し (-)		ヒカゲノカズラ			●							
			アカハナワラビ						●	●	NT		
			マツバラン						●	●			
			ヤマドリゼンマイ		○	●							
			イトトリゲモ						●	●	NT		
			ヤナギモ	●	●							2	
	非分布 (・)		アズマザサ					●					
			コシダ			●							
			カラフトミヤマシダ			●							
			オニノデ						●		VU		
			オオチゴユリ		●			●					
			キジカクシ	●	●	●							
			コメススキ		●								
			ミチシバ		●								
			サラシナショウマ	●	●	●	●					2	
			ノアズキ	●	●	●	●					2	
			エビガライチゴ					●	●	●			移植
			ミヤマニガウリ						●				
			シハイスミレ	●	●	●	○						
			コゴメヤナギ							●			
			シバヤナギ						●	●			
			カワラナデシコ		●	●	●			○			植栽
			ナンバンハコベ	●	●								
			コイケマ					●					
			レモンエゴマ						●	○			植栽
			オオニガナ		●	●							
			タムラソウ					●	●				
クモ類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	NT	キノボリタテゲモ						●		NT		
			キシノウエタテゲモ	●	●	●	●	●	●	●	NT		
			カネコタテゲモ	●	●		●		●	●	NT		
			コガネグモ						●				
			コアシダカグモ			●		●	●	●			
	準絶滅危惧 (NT)	NT	ワスレナグモ	●	●	●	●	●	●	●	NT		
	データ無し (-)	NT	ムツトゲイセキグモ			●							
		DD	トゲグモ						●				
			アワセグモ					●	●	●			
昆虫類	絶滅種 (EX)	EX	ツマグロキチョウ							●	EN		偶産
		EN	ヤナギハムシ						●				
		NT	ヒゲナガゴマフカミキリ					●					
			カッコーカミキリ						●				
	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)		クモガタヒョウモン				●	●					偶産
		DD	ウラギンヒョウモン			●		●					偶産
			ウラナミアカシジミ							●			偶産
			クスサン		●								偶産

表Ⅲ-3-6 杉並区で確認された東京都（区部）レッドリスト該当種の一覧（3）

分類群	カテゴリ*1		種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*2
	区部	本土部									環境省 RL	杉並区 注目種	
昆虫類	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	CR	クルマバッタ	●									
		EN	セスジイトトンボ	●	●	●	●						
			オオイトトンボ				●						
			カトリヤンマ	●									偶産
			アカアシオオアオカミキリ					●	●				
		VU	クロタマムシ					●					
		NT	ミイデラゴミムシ					●					
			ウバタマムシ						●	●			
			オオアメンボ					●	●	●			
			ヤマトクロスジヘビトンボ			●							
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	EN	キイトトンボ			●	●	●	●				
			ヨツボシトンボ						●	●			偶産
			オツネトンボ						●				偶産
		VU	キアシマルガタゴミムシ		●	●				●			
			マメガムシ						●				
			ヒメトラハナムグリ				●	●	●	●			
		NT	アオカミキリ						●				
			トラフカミキリ						●				
			ヒゲブトラハナムグリ				●	●	●				
			クロカナブン	●	●	●			●	●			
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	VU	ベニイトトンボ					●	●	●	NT		
			ショウリョウバッタモドキ				●	●	●	●			
		NT	ハラビロトンボ				●	●	●	●			偶産
			シオヤトンボ					●		●			偶産
			エリザハンミョウ						●				
			ヒラタクワガタ	●	●	●	●	●	●	●			
			クロカミキリ						●	●			
			マルクビケマダラカミキリ		●								
			ブドウトラカミキリ	●				●					
			ハグロトンボ				●	●	●	●			
			ミヤマアカネ				●	●	●	●			偶産
			スジクワカ	●									
			マダダクロホシタマムシ						●				
			キシジトラカミキリ	●				●	●	●			
			センノカミキリ			●		●	●	●			
			オオミズアオ		●	●	●	●	●	●			
			マイコアカネ					●	●	●			
	準絶滅危惧 (NT)	VU	ホソミオツネントンボ	●				●	●	●			偶産
		NT	チョウトンボ		●			●	●	●			
			トックリゴミムシ					●					
			ウスバカミキリ				●	●	●	●			
			ノコギリカミキリ					●					
			タケトラカミキリ	●		●	●	●	●	●			
			オナガサナエ					●		●			偶産
			コオニヤンマ						●	●			偶産
			オニヤンマ	●		●	●	●	●	●			偶産
			リスアカネ			●	●	●	●	●			
			ヒグラシ	●	●	●	●	●	●	●			
			ミズカマキリ					●					
			シマアメンボ					●					
			コハンミョウ					●	●	●			
			マイマイカブリ					●					
			アオヘリホソゴミムシ					●		●			
			ノコギリクワガタ	●			●	●		●			
			ベニバハナカミキリ						●				
			シラオビゴマフケシカミキリ						●	●			
	情報不足 (DD)	NT	コヤマトンボ				●						偶産
		DD	モノサシトンボ	●	●	●	●	●	●	●			
			ヒメコオロギ					●					
			カヤコオロギ	●	●								偶産
			ヒロバネカンタン					●	●	●			
			キンヒバリ					●	●	●			偶産
			ババアメンボ						●	●	NT		
			エサキアメンボ						●	●	NT		
			ハッカハムシ						●	●			
			キボシトックリバチ		●				●	●			

表Ⅲ-3-6 杉並区で確認された東京都（区部）レッドリスト該当種の一覧（4）

分類群	カテゴリ*1		種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*2
	区部	本土部									環境省 RL	杉並区 注目種	
昆虫類	情報不足 (DD)		ハネナシコロギス				●						
			アシクロツユムシ					●	●				偶産
			ヘリクロツユムシ					●					偶産
			ヒゲシロスズ							●			偶産
			トゲアシゴモクムシ						●	●			
			ゴイシシジミ	●	●	●				●			偶産
			アカシジミ				●	●	●	●			
			オオミドリシジミ							●			偶産
			オオウラギンズシホウモン			●							偶産
			イチモンジチョウ			●		●					偶産
			ヒオドリシチョウ	●			●	●	●	●			偶産
	留意	留意	クロベッコウハナアブ						●				
			ミズイロオナガシジミ	●	●		●	●	●	●			
	データ無し(-) (該当なし)	留意	コムラサキ					●	●	●			
		留意	ハチモドキハナアブ						●	●			
哺乳類	留意種		アズマモグラ	●	●	●	●	●	●	●			
			アオイトトンボ	●	●		●	●	●	●			
鳥類	絶滅種 (EX)		ウチワヤンマ	●	●		●	●	●	●			
			サンコウチョウ	●						●			
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)		コサメビタキ	●									
			ツミ	●				●	●	●			
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)		オオタカ					●	●	●	NT		
			オシドリ			●	●	●	●	●	DD		
			ハイタカ						●	●	NT		
			アオゲラ						●	●			
			チョウゲンボウ	●			●	●	●	●			
			ダイサギ	●		●	●	●	●	●			
			チュウサギ				●	●	●	●	NT		
鳥類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		コサギ	●	●	●	●	●	●	●			
			バン	●	●	●	●	●	●	●			
			オオバン						●				
			ヒメアマツバメ							●			
			コチドリ							●			
			イソシギ	●				●					
			カワセミ	●	●		●	●	●	●			
			モズ	●	●	●	●	●	●	●			
			ヤマガラ	●		●		●	●				
			オオヨシキリ	●					●				
			セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●			
	準絶滅危惧 (NT)		カイツブリ	●	●	●	●	●	●	●			
			トビ	●									
爬虫類	留意種		スズガモ			●		●					
	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)		ニホンスッポン					●		●			
			ヒガシニホトカゲ			●	●	●	●	●			
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)		シマヘビ	●	●	●	●	●	●				
			ヤマカガシ	●	●	●		●	●				
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		ニホンイシガメ							●			
			ニホンヤモリ	●	●	●	●	●	●	●			
			ニホンカナヘビ		●	●	●	●	●	●			
	準絶滅危惧 (NT)		ヒバカリ							●			
			アオダイショウ	●	●	●	●	●	●	●			
両生類	情報不足 (DD)		クサガメ		●			●	●	●			外来種
			ツチガエル					●	●	●			
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)		トウキョウダルマガエル							●			
			ニホンアマガエル							●			
	準絶滅危惧 (NT)		ニホンアカガエル					●	●	●			
両生類	留意種		アズマヒキガエル	●	●	●	●	●	●	●			
			アズマヒキガエル	●	●	●	●	●	●	●			

*1 カテゴリ：クモ類と昆虫類については、区部と本土部の該当種を示し、それ以外の分類群については、区部の該当種を示す。

*2 備考：第7次調査における生育由来または生育状況を示す。

*3 維管束植物：○印は植栽株のみが確認されたことを示す。

表Ⅲ-3-7 杉並区の注目種に該当する生物の種類数

分類群	カテゴリ	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	合計
維管束植物 ^{*1}	希少種(1)	8	10	12	7	5	3	5	12
	減少種(2)	40	38	34	29	24	24	20	40
	合計	48	48	46	36	29	27	25	52
クモ類 ^{*2}	23区内		1				6	10	13
	北方系種	1			1				1
	合計	1	1		1		6	10	14
昆虫類 ^{*3}	注目種					1	1	1	1
	合計					1	1	1	1
総計		49	49	46	37	30	34	36	67

*1 維管束植物：種類数は、該当する在来種の種類数を示す（移植を含む）。

*2 クモ類カテゴリの凡例

23 区内：東京 23 区内において確認記録が稀な種。

北方系種：元来北方に生息する種。

*3 昆虫類カテゴリの凡例

注目種：環境省および東京都レッドリスト該当種以外で、区内において注目されると判断された種。

表Ⅲ-3-8 杉並区の注目種に該当する生物 (1)

分類群	カテゴリ	種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*1
										環境省 RL	東京都 RL	
維管束植物*2	希少種 (1)	コハナヤスリ	●	●	●	●	●				VU	
		タチシノブ	●	●	●		●	●				
		カタクリ	●	●	●	●	●		●		VU	
		タマミクリ			●					NT		
		ヤマブキソウ		○	●	●		○			CR	
		ミズタマソウ	●	●	●		●					
		ナツトウダイ	●	●	●	●						
		オドリコソウ		●	●	●		●	●			移植
		オヤマボクチ		●	●	●						
		オミナエシ	●	●	●				○		EX	植栽
		ハリギリ	●	●	●	●	●		●			
		ムラサキミツバ	●	●	●			●	●			一部移植
	減少種 (2)	オオハナワラビ	●	●	●	●	●	●	●			
		オオバノイノモトソウ	●	●	●	●	●	●	●			
		クマワラビ	●		●	●		●	●			
		ヒトリシズカ	●	●	●	●	●	●	●			一部植栽
		フタリシズカ	●	●	●	●	●	●	●			一部移植
		クロモジ	●	●	●		●	○	○			植栽
		ヤナギモ	●	●							-	
		エンレイソウ	●	●	○							
		アマナ	●	●	●	●	●	●	●		VU	移植・植栽
		ヤマホトトギス	●	●	●	●	●	●	●			
		エビネ	●	●	●	●	●	●	●	NT	VU	一部移植・植栽
		ギンラン	●	●	●	●	●	●	●		VU	
		キンラン	●	●	●	●	●	●	●	VU	VU	
		シュンラン	●	●	●	●	●	●	●			
		キツネノカミソリ	●	●	●	●					VU	
		ナルコユリ	●	●	●	●	●	●	●			一部移植
		ワニグチソウ	●	●	●		●				VU	
		コナギ	●	●								
		ヒメガマ	●	●	●	●	●	●	●			一部植栽
		マコモ	●	●	●	●	●	●	●		NT	
		イカリソウ	●	●	●	●	○	●	●		EN	移植
		ニリンソウ	●	●	●	●	●	●	●		NT	一部植栽
		イチリンソウ	●	●	●	●		●				
		イヌショウマ	●	●	●	●	●					
		サラシナショウマ	●	●	●	●					・	
		ヒメウズ	●	●	●		●	●	●			一部移植
		チダケサシ	●	●	●	●	●				EN	
		タコノアシ	●	●	●					NT	NT	
		ノアズキ	●	●	●	●					・	
		ツリバナ	●	●			●	●	●			
		ヒトツバハギ	●	●	●	●	●					
		オニシバリ	●									
		ヤマゴボウ	●	●	●							
		アキノタムラソウ	●	●	●	●	●	●	●			移植
		ツリガネニンジン	●	●	●	●	●	●	●			
		ホタルブクロ	●	●	●	●	●	●	●			一部移植・植栽
		ガンクビソウ	●	●	●	●		●				
		ノアザミ	●	●	●	●		●				
		ノハラアザミ	●	●	●	●						
		モミジガサ	●	●								

表Ⅲ-3-8 杉並区の注目種に該当する生物 (2)

分類群	カテゴリ	種名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	重複カテゴリ		備考*1
										環境省 RL	東京都 RL	
クモ類*3	23区内	ナシジカレハグモ						●	●			
		スジブトコモリグモ							●			
		カガリビコモリグモ							●			
		クリチャササグモ							●			
		サダモトヒメグモ							●			
		オオイオリヒメサラグモ						●	●			
		ヤマトウジヌカグモ						●	●			
		カラカラグモ							●			
		オオクマヒメドヨウグモ						●				
		スズミグモ		●								
		ナカムラオニグモ							●			
		シノノメトンビグモ						●	●			
		イワテハエトリ						●				
昆虫類*4	北方系種	コオニグモモドキ	●			●						
	注目種	マユタテアカネ					●	●	●			

*1 備考：第7次調査における生育由来または生育状況を示す。

*2 維管束植物：○印は植栽株のみが確認されたことを示す。第6次まで減少種(2)の注目種であったカニクサは、杉並区内で大きく増加したため注目種から除外した。

*3 クモ類カテゴリの凡例

23区内：東京23区内において確認記録が稀な種。

北方系種：元来北方に生息する種。

*4 昆虫類カテゴリの凡例

注目種：環境省および東京都レッドリスト該当種以外で、区内において注目されると判断された種。

(5) 今後の取り組み

第6次調査報告書において、今後杉並区において生きものたちのにぎわいを取り戻すためには、それまでの取り組みを継続すると共に新たな取り組みも必要とされ、以下のように、短期・中期的な取り組みと長期的な取り組みが提案された。

第7次調査の結果を受け、これらの取り組み案を今後も引き継ぎ、実現していくことが望まれる。

① 短期・中期的取り組み

- i 生物の生育・生息の拠点(公園、緑地、主要な河川、個人宅など)の保全
- ii 新たな生育・生息地の創出
- iii 外来種の放逐、拡大を防止
- iv 取り組みを評価するための自然環境調査の計画・実施
- v 保全活動を支える区民の育成と普及啓発

i 生物の生育・生息の拠点(公園、緑地、主要な河川、個人宅など)の保全

これまでの調査から、杉並区では市街化された場所にも適応できる種類が広く生育・生息している一方、残された緑地や水辺などに依存している種類も比較的多く確認されている。まとまりのある比較的大規模な緑地では、多様な種類が生育・生息している環境を維持し質を高めること、すなわち生育・生息地の保全をすることが求められる。その一例として、区民自らが公園の管理に取り組んできた区立柏の宮公園においては、生物相が豊かになり、区内での生物多様性の拠点として重要な役割を果たしていることから、今後、他の緑地でも生物の生育・生息環境の整備や保全への取り組みが行われていくことが望まれる。

中小規模の緑地であっても、社寺林や屋敷林、雑木林などにおいて腐植土層や林床植生、林縁環境などを回復させ、水辺や草地においては多様な草本類が生育する環境となるよう、生物相に配慮した適切な管理が行われていくことが望まれる。

公園、緑地、主要な河川、個人宅などの残された緑地や水辺だけでなく、小さな面積であっても環境の質が維持されていれば、体の小さい昆虫類やクモ類にとっては良好な生息地となることから、生育・生息している種類の特性を踏まえた保全方針が必要である。例えば、落ち葉掃きなどの林床管理は、林床植物や地上性クモ類、徘徊性コウチュウ類、水辺の植生管理は、抽水植物やトンボなどの動植物の生育・生息状況を踏まえた上で実施するのが望ましく、人の立入や利用についても生物の観点からの制限が必要である。なお、生物の生育・生息地の維持には、私有地が果たす役割も大きく、今後は個人の善意や意識のみに頼るのではなく、こうした土地所有者を支援する社会的制度の整備も充実していく必要があると考えられる。

ii 新たな生育・生息地の創出

杉並区のように市街化された地域では、既存の生育・生息地の質を高めていくと同時に、新たな生育・生息地を創出していく取り組みも重要である。例えば、両生類のアズマヒキガエルを保全するために、公園等に産卵用の池を設置することや、杉並区では少ない流水性のトンボ類の生息場所となるような緩やか流れの流水路を整備することも考えられる。昆虫類では自然移入と考えられる偶産種が多く確認され、これらが定着できるような環境を創出していくことも重要である。小規模でも水域と水辺の緑が一体となったビオトープを数多く創出していくことが望まれる。

iii 外来種の放逐、拡大を防止

不用意な外来種の導入も留意すべき事項である。国内国外を問わず外来種の増加は、様々な競合関係によって在来種の生育・生息状況を悪化させる。更に近縁あるいは同種の移入個体によって、地域特有の遺伝子をもつ個体群の独自性を失うことを引き起こしかねず、遺伝子の多様性、種の多様性、さらにはその結果として生態系の多様性にも脅威を与える。無差別な放逐行為は、厳に慎むべきである。そのためには、外来種問題について広く区民に理解してもらう取り組みが必要である。特に生態系のみならず人間社会にもしばしば多大な負の影響を与える侵略的外来種（区内確認種ではオオブタクサやアレチウリ、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ、アライグマ等）には一層の注意が必要である。

iv 取り組みを評価するための自然環境調査の計画・実施

生物の生育・生息状況は自然にあるいは人間の活動に影響されて絶えず変化することから、定期的に自然環境調査を実施し、その結果を保全方針に反映させていく順応的管理を行っていくことが重要である。また回復傾向にある区内の生物相の自然環境調査を実施し、多様な動植物が生育・生息できる環境を維持・保全する取り組みを評価していくことが望まれる。

v 保全活動を支える区民の育成と普及啓発

生物多様性を維持・保全する取り組みを支えていくためには、区民の関心を高め、区民と行政との協働で取り組むことが重要であり、様々な情報を整備し、それを活用した取組や、普及活動を通じて有効な情報を提供していくことで、現在活動している団体の活動を広く区民に伝え、区民参加による活動が推進されることが望まれる。

将来を担う子供たちが参加できるよう、自然とふれあえる場所や自然観察会などの活動を進めていくことが重要である。また学校を核として、学校ビオトープ作りを含め、環境教育を進めていくことも重要である。

② 長期的取り組み

- i 拠点となる緑地や水辺を、周囲の自然性が高い場所と連続させること
- ii 取り組みを評価できる手法開発や仕組みづくり、データベースづくり
- iii 区民に対して自然環境の情報を広く普及・教育活動を推進する

i 拠点となる緑地や水辺を、周囲の自然性が高い場所と連続させること

孤立化した個体群は遺伝的な多様性が失われたり、偶発的な原因によって絶滅したり、回復不可能なまでに縮小したりする危険性がある。また、そのような個体群は危機に陥った際に、周辺から新たに個体の供給をされる可能性が低い。こういった危険性は、特に体のサイズが小さく、移動能力が低い種類にとっては特に重大である。

取り組みとしては生物多様性の拠点となる比較的大規模な緑地を、中小規模の緑地を含めて連続させていくことが重要となる。ただし、安易に連続させた結果、それを伝って侵略的外来種が広がる恐れもあり、図らずも孤立化によって守られてきた在来生態系が脅かされる可能性もあることから、実施する場合には事前調査を実施し、その結果を踏まえた計画を立案し順応的に取り組む必要がある。

ii 取り組みを評価できる手法開発や仕組みづくり、データベースづくり

上記の取り組みを計画・評価するためには、連続している緑地と孤立している緑地の質の比較を行う必要があり、今後の自然環境調査ではこうした評価をすることを念頭に置いて実施するのが望ましい。また、自然環境調査結果のデータベース化を図るなどして誰もが簡単に閲覧することができるようにすることが望ましい。

iii 区民に対して自然環境の情報を広く普及・教育活動を推進する

このような取り組みを推進しても、気候の温暖化などのような、より大局的な環境の変化によって、生物を取り巻く現状が変化してしまうことも考えられる。その場合は、生物に関する取り組みのみで解決できる問題ではなく、杉並区全体の都市計画や個々人のライフスタイルの転換も必要になると考えられる。そのため、杉並区の自然が置かれている現状や将来に関して、区民に対して広く普及・教育活動を推進していく必要がある。

4. 杉並区における指標生物

第1次から第6次にわたる調査結果を踏まえ、各生物分類群（植物、クモ類、昆虫類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類）の中から、その生物が存在することによってその場所の環境の質を知ることができる種類を指標生物として選定した。指標生物は、環境をはかる“ものさし”として活用することが可能である。

指標生物の選定基準は以下のとおりである。本調査においては、一般区民にとってのわかりやすさを重視し、環境に対する指標性が高く、区内の特定の環境に比較的広くみられ、また一般の人が種類を見分けやすいものとした。ただし一部、一般の人にとって見つけることが困難と思われても、高い指標性をもっている種類についてはこれを選定した。

指標生物の選定基準

- ・その種類がある環境を指標する
- ・一般の人が見て種類を見分けやすい
- ・記録が得られやすい（分布が稀でない）

表Ⅲ-4-1 杉並区の指標生物一覧

			維管束植物		クモ類	昆虫類	鳥類	哺乳類	両生類	爬虫類	
自然環境の質（環境の豊かさを指標する種）	樹林	屋敷林 社寺林	フタリス ^カ ハエト ^ク ソウ ホウチャクソウ	ヤブ ^{コウシ} ノキシ ^{ノブ}	コガ ^{タコガ} ネグ ^モ オニグ ^モ キン ^{メツキ} コ ^{ミグ} モ	カラスアゲ ^ハ	サトキマタ ^{ラヒカケ}	－	－	－	
		雑木林		ガ ^{マズミ} ヌスビ ^{トハキ}	ワキグ ^{ロサツマノミダ} マシ ジョロウグ ^モ カグ ^{ヤヒメグ} モ		クワガタムシ類	－	－	－	
		豊かな林床	－	キンラン キンラン シュンラン	スネグ ^{ロオチハヒメグ} モ フシ ^{イコモリグ} モ ウラシマグ ^モ 類 イタチグ ^モ		アシナガ ^{アリ}	－	アズ ^{マヒキカ} エル	－	
	林縁		キイチコ ^類 (モミシ ^{イチコ} ・ニカ ^{イチコ} 等) サルトリイバラ ミツハ ^{アケビ} クス ^モ		ジョロウグ ^モ ワキグ ^{ロサツマノミダ} マシ ヒ ^シ ジョニグ ^モ チャイロアサヒハエトリ ワカバ ^グ モ	ウラキン ^{シジミ}	モズ ^モ	－	－	トカゲ ^類	
	草地		ススキ チガ ^ヤ ヤブ ^{カンゾウ} ・ノカンゾウ ワレモコウ カントウタンボ ^ボ	コモリグ ^モ 類 ナガ ^{コガ} ネグ ^モ ササグ ^モ ハナグ ^モ コハナグ ^モ	ヘ ^{ニシジミ}	－		－			
	水辺	水生植物の生える水辺	ガ ^マ 類 イ ^(イグサ) ※ ヨシ セリ ミツ ^{ソハ} オキ [※]		オオシロカネグ ^モ アシナカ ^グ モ	ハク ^{ロトンボ} ショウ ^ウ ジョウ ^{トンボ}	カルガ ^モ	－	－	－	
		木陰の多い水辺	－	－	－	オオシオカ ^{ラトンボ}	－	－	－	－	
	緑の多い住宅地		－	－	コクサグ ^モ ジョロウグ ^モ ササグ ^モ	クロアゲ ^ハ	ウケ ^{イス}	アブ ^{ラコウモリ}	アズ ^{マヒキカ} エル	ニホンヤモリ	
	環境変化	大気汚染		スキ [※] (大気汚染に弱い)	－	－	ヒゲ ^{ラン}	－	－	－	－
		水質汚染		オランダ ^{ガラシ} ※	－	－	アメンボ ^類	－	－	－	－
都市化		セイヨウタンボ ^ボ ※ ハルシ ^{オン} ※ ヒメシ ^{ョオン} ※ チチコグ ^{サモト} ※ ウラシ ^{ロチチコグ} サ※ ナカミ ^{ヒナゲシ} ※ オオア ^{タクサ} ※ ワルナスビ [※]		キシ ^{ノウエ} タテグ ^モ イエユ ^{ウレ} イグ ^モ ネコハグ ^モ シロホシ ^{ヒメグ} モ※ マタ ^{ラヒメグ} モ※ サト ^{ヒメグ} モ イエオ ^{ニグ} モ	チャト ^{クカ}	ツバ ^メ	アズ ^{マモ} グラ	－	ニホンヤモリ アオダ ^{イショウ}		
温暖化		開花・紅葉・落葉の時期 南方系植物の野生化 (シュロ・ヤツデ・アオキ)		アダン ^{ソノ} ハエトリ クロマル ^{イン} ウロウグ ^モ マルコ ^{ミグ} モ スズ ^{ミグ} モ ミヤシ ^{タイ} ソウウグ ^モ アシタ ^{カグ} モ ヤカ ^{タアリ} グ ^モ マタ ^{ラフ} クログ ^モ	クマセ ^ミ アオト ^{ウカ} ネ ムラサキツバ ^メ クロコ ^{ノマ} チョウ セミ類の発生時期	渡り鳥の 去来の 時期	－	両生類の 産卵時期	－		

* 凡例

外：外来種

※：杉並区の地名の由来となっている種類

斜字：生育・生息することが「環境変化」の進行を指標する動植物

(1) 環境タイプの質(環境の安定性・生物相の豊かさ)を指標する生物

① 樹林の環境を指標する生物

i 樹林全般(屋敷林・社寺林・雑木林)の指標生物

植物：フタリシズカ、ハエドクソウ、ホウチャクソウ

比較的まとまりのある樹林の明るい落葉広葉樹林からやや暗い常緑広葉樹林まで様々な樹林の林床に生育する、比較的耐陰性のある樹林性草本である。

昆虫類：カラスアゲハ

林縁や林内の空間など日影と日向が交わる環境を好むことから、このような条件が備わるだけの、ある程度の面的なまとまりを持った樹林が主要な生息地となっている。食餌植物が生育していれば樹林の構成樹種は問わないことから、樹林全般の指標となる。

鳥類：コゲラ

樹林に依存するキツツキ類で、巣穴を樹勢の弱った樹木に掘ることから、古木もふくめた様々な樹齢の樹木が生育する樹林の指標となる。また、採餌も樹林で行うことから餌となる昆虫類やクモ類の生物相の豊かさや実のなる樹木の多様さも指標する。

鳥類：ウグイス

林床植生が発達した樹林に依存する種類で、低木層の発達した樹林や林床にササ類の繁茂した樹林の指標となる。

ii 屋敷林・社寺林の指標生物

植物：ヤブコウジ

暖温帯の照葉樹林内に広く分布する常緑性小低木で、12月頃に赤い実を付けるため、マンリョウ(万両)やセンリョウ(千両)と並んでジュウリョウ(十両)という別名を持つ。

植物：ノキシノブ

樹木の幹に着生する常緑性のシダ植物である。幹に着生する生態から、鬱閉度が高いことにより高い空中湿度が維持されている常緑樹の多い樹林環境を指標していると考えられる。

クモ類：コガタコガネグモ、オニグモ、ギンメッキゴミグモ

樹間や家屋、寺社に垂直円網を張り、様々な昆虫や小動物を捕食するため、餌動物の多い生活空間が維持された屋敷林・社寺林の指標となる。

昆虫類：サトキマダラヒカゲ

幼虫は林床や林縁に生育するアズマネザサなどのササ類を食草とする。成虫も林内を好み、小規模であっても古くからの林が残存している場所が主要な生息地となっていることから、住宅地に点在する屋敷林や社寺林などの指標となる。

iii 雑木林の指標生物

植物：ガマズミ

おもに落葉広葉樹林の林床に生育する夏緑性低木で、秋に赤い実を付ける。

植物：ヌスビトハギ

雑木林の林床に生育するマメ科の夏緑性草本植物で、盗人の足跡の形にたとえられる特徴的な形をした実は、人やけものに付きやすく、それによって運ばれる。

クモ類：ワキグロサツマノミダマシ、ジョロウグモ、カグヤヒメグモ

樹間に垂直円網や不規則網を張るための林内に空間が必要であり、雑木林のように比較的開けた樹林の指標となる。

昆虫類：クワガタムシ類

成虫は樹液に集まり、幼虫は朽木を利用することから、生息のためには主要な樹種であるクヌギやコナラなどが残されているだけでなく、林内の環境や多様性も保たれていることが必要であることから、良好な雑木林の指標となる。

iv 豊かな林床が維持された樹林の指標生物

植物：キンラン、ギンラン、シュンラン

林床管理がなされなくなると個体数が減ったり、消失したりするため豊かな林床が維持された樹林の指標植物となる。またキンラン、ギンランはコナラ等のブナ科の樹種と菌根菌と三者共生することが知られている。

クモ類：地表・落葉性クモ類

スネグロオチバヒメグモ・コモリグモ類・ウラシマグモ類・イタチグモなどの地表・落葉性クモ類は、舗装や人の立入による踏み固めなどの土壌の硬化、落ち葉掃きなどの管理などによる攪乱、土壌の乾燥化の影響を受けやすく、豊かな林床の指標となる。

昆虫類：アシナガアリ

湿度の保たれた林床環境のよい樹林にのみ生息することから、そのような環境の指標となる。なお、アシナガアリはカタクリとの結びつきが強い種類でもあることから、かつてカタクリが自生したような古くから残る豊かな林床植生を持つ樹林を指標するとも考えられる。

両生類：アズマヒキガエル

アズマヒキガエルは上記の地表性の昆虫やクモ類など小動物を採餌することから、それらの生物相の豊富さを示す指標となる。また、土壌の乾燥化の影響を受けやすく、安定した林床の指標となる。

② 林縁や草地の環境を指標する生物

i 林縁・草地の指標生物

鳥類：モズ

モズは林縁から草地、農耕地などの開けた環境に生息する種類で、繁殖も開けた環境がまわりにある藪や垣根などで行う。また、モズは小型の鳥類からトカゲ、カエルなどの両生・爬虫類、昆虫類やクモ類など様々

な小動物を餌にすることから、様々な分類群の動物相の豊富さを示す指標となる。

爬虫類：トカゲ類

ニホンカナヘビやニホントカゲなどのトカゲ類は林縁と草地、農耕地などがパッチ状に組み合わさっている環境に生息する種類で、昆虫類やクモ類など様々な小動物を餌にすることから、様々な分類群の動物相の豊富さを示す指標となる。

ii 林縁の指標生物

植物：キイチゴ類（モミジイチゴ、ニガイチゴ等）、サルトリイバラ、ミツバアケビ、クズ

林縁は、日照、風衝、踏圧などの外圧の弱い林内とそれらが強い林外との境界に位置する特殊な環境にあり、このような場所には、主に夏緑性低木とつる植物からなる特有の群落（マント群落）が見られる。林縁を指標するもののうち、夏緑性低木としてはキイチゴ類（モミジイチゴ、ニガイチゴ等）、つる植物としてはサルトリイバラ、ミツバアケビ、クズが挙げられる。

クモ類：ジョロウグモ、ワキグロサツマノミダマシ、ビジョオニグモ、チャイロアサヒハエトリ、ワカバグモ

林縁に垂直円網を張るための空間が必要であり、明るく開けた林縁の指標となる。また徘徊性クモ類の餌となる昆虫類が十分に生息していなければならないことから、昆虫類相の豊かさの指標となる。

昆虫類：ウラギンシジミ

幼虫はフジやクズなどマメ科のつる植物を食草として好むため、それらが繁茂する林縁が主要な生息地となっており、その指標となる。また、成虫は風当たりの弱い場所にある常緑広葉樹の葉裏に静止して越冬するため、その条件を満たす林があることも必要である。

iii 草地の指標生物

植物：ススキ

定期的に管理された草地において、比較的刈取り頻度の低い高茎草地の優占種となる植物である。

植物：チガヤ

定期的に管理された草地において、比較的刈取り頻度の高い低茎草地の優占種となる植物である。

植物：ヤブカンゾウ、ノカンゾウ

ともに、日当たりのよい野原などに生える植物である。ヤブカンゾウはノカンゾウの変種であり、両者ともオレンジ色の大型の花を咲かすが、ヤブカンゾウは八重咲き、ノカンゾウは一重咲きである。一般にノカンゾウの方がより人為の影響の弱い場所に生育する。

植物：ワレモコウ

明るい高茎草地にススキなどとともに生える夏緑性草本植物で秋に紅紫色の花を咲かせる。かつては杉並に広く分布していたと考えられるが、現在では減少している。

植物：カントウタンポポ

同属の帰化植物であるセイヨウタンポポが都市環境に生育するのに対し、在来種である本種は都市化され

ていない野原に生育する。

クモ類：ナガコガネグモ

草間や低木の間に円網を張るため、草地など開けた明るい環境を好んで生息することから、草地環境の指標となる。

クモ類：コモリグモ類、ササグモ、ハナグモ、コハナグモ

地表面や落葉上、葉上や花の上などで獲物を待ち伏せするため、草地など開けた明るい環境に生息することから、草地環境の指標となる。

昆虫類：ベニシジミ

日当たりがよく、スイバやギンギシなどの食餌植物の生育するある程度の面的な広がりがある草地に生息し、高茎の外来植物に覆われたり、過度の草刈などが行われるとみられなくなる。適度に人手が入り、自然度の保たれた草地環境の指標となる。

③ 水辺環境を指標する生物

i 水生植物の生える水辺の指標生物

植物：ガマ類、ヨシ

いずれも池などの止水に生育する大型の抽水植物である。ガマ類はより水深の深い場所に生育し、茶色の円柱型の穂（花序）が特徴的である。ヨシは比較的浅い場所から池の縁の湿地まで生育する。

植物：オギ

ススキによく似た植物であるが、本種はやや湿った場所に生育する。本来の主な生育環境は川沿いの土手などであるが、そのような環境は現在の杉並区にはほとんどない。

植物：ミゾソバ、セリ、イ（イグサ）

湿地に生育する夏緑性草本植物である。

クモ類：アシナガグモ、オオシロカネグモ

水辺の樹間や草間に水平円網を張ることから、水生植物が繁茂する水辺を指標する。

昆虫類：ハグロトンボ

河川などの流水域に生息する。やわらかい水生植物の葉茎に産卵し、幼虫もその茂みなどの中で暮らすため、水生植物が生育する良好な流水環境の指標となる。また、未熟期や休息時には周辺の樹林の中で過ごすため、川に接して樹林が残されていることも必要である。

昆虫類：ショウジョウトンボ

明るい池沼や湿地に生息する。小規模な水域や人工的な水域であっても水生植物があれば生息しているが、大規模な水域や自然水域でも水生植物がないとみられないことから、水生植物が生育する良好な止水環境の指標となる。

鳥類：カルガモ

雑食性であるが植物質もよく採食することから、水生植物が繁茂する水辺を指標する。

ii 木陰の多い水辺の指標生物

昆虫類：オオシオカラトンボ

周辺に木立や木陰のある池沼や湿地を好むことからその指標となる。小規模な水域や人工的な水域にもみられ、水生植物はなくても生息できるが、水底に泥や落葉などが適度にあり、羽化する際に登れる場所が備わっていることが必要である。

④ 緑の多い住宅地の環境を指標する生物

クモ類：ジョロウグモ、コクサグモ、ササグモ

昆虫類をはじめとした多様な動物を餌動物にする種類であることから、緑の多い住宅地の指標となる。

昆虫類：クロアゲハ

幼虫は人家に植えられるミカン類やサンショウなどを好むため住宅地にも広くみられる。本来は樹林性の種であるが、樹木や緑の多い住宅地ではより多いことからその指標となる。

鳥類：ウグイス

樹林内の低木や藪などを好み、住宅の庭の茂みなどにも現れるので、樹木の多い住宅地の指標ともなる。

両生類：アズマヒキガエル

アズマヒキガエルは地表性の昆虫やクモ類など小動物を採餌することから、住宅地でのそれらの生物相の豊富さを示す指標となる。また、土壌の乾燥化の影響を受けやすく、安定した林床や土壌の指標となる。

両生類：ニホンヤモリ

ニホンヤモリは人家の隙間を住处とし、住宅地で光に集まる昆虫類を採餌する。このため住宅地の緑が減少して餌となる昆虫が減少したり、立て替えなどで新建材の住宅になったりすると住处がなくなり人家周辺での生息が困難になる。このため、緑の多い住宅地の指標になる。

哺乳類：アブラコウモリ

アブラコウモリは人家の隙間を住处とし、住宅地や河川沿いで発生する飛翔性の昆虫類を採餌する。このため住宅地の緑が減少して餌となる飛翔性昆虫が減少したり、立て替えなどで新建材の住宅になったりすると住处がなくなり人家周辺での生息が困難になる。このため、緑の多い住宅地の指標になる。

(2) 環境変化を指標する生物

以下に示す指標生物のうち下線付き斜体字の種名は、生息することが「環境変化」の進行を指標する種を示す。

① 大気汚染の指標生物

植物：スギ

枯損や落葉が大気汚染を指標するとされる（(財)日本自然保護協会，1994）。杉並区の区名の由来ともなっている植物で、腐植質に富む黒ボク土に広く覆われる杉並区においては、かつては「四谷丸太」の産地としてスギ植林が盛んであったが、現在では少なくなり、点在している程度である。

昆虫類：ヒグラシ

ヒグラシは成虫・幼虫共にスギやヒノキなどの常緑針葉樹に強く依存している。これらの樹木は大気汚染に弱いことが知られており、ヒグラシは樹勢が衰えてくると木が枯れるよりも早くいなくなってしまうことが多い。そのため大気汚染による影響の指標となる。さらに湿度の高い環境を好むため、都市温暖化に基づく乾燥化の影響を強く受けやすいことから、その指標ともなる。

② 水質汚染の指標生物

植物：オランダガラシ

帰化植物ではあるが、水質がきれいな水域を好んで生育するため、水質汚染の指標となる。

昆虫類：アメンボ類

水面で生活し、洗剤などの界面活性剤が水に含まれると浮くことができなくなるため、化学的な水質汚染の指標となる。

③ 都市化の指標生物

植物：セイヨウタンポポ

自然性の高い草地の指標種であるカントウタンポポと対照的に、本種は人為的攪乱の強い都市環境に適応している。その一因として、カントウタンポポが両性生殖しか行わないのに対し、本種は単為生殖を行うことが知られている。

植物：ハルジオン、ヒメジョオン

セイヨウタンポポ同様、一般の認知度が比較的高い植物である。杉並区における侵入時期は大正末～昭和10年代とされる（杉並区，1988）、比較的古い帰化植物である。両者はよく似ているが、花期は、ハルジオンは4～6月、ヒメジョオンは6～10月とずれがある。

植物：チチコグサモドキ、ウラジロチチコグサ

同属の在来種であるチチコグサが都市から離れた土手などに生育するのに対し、帰化植物であるチチコグサモドキやウラジロチチコグサは、都市周辺に帰化している。チチコグサモドキやウラジロチチコグサは、チチコグサに比較し、葉の幅が広い。特にウラジロチチコグサは最近の都市域での拡大傾向が著しく、杉並区においても、第2次調査時には49%の調査地点で確認されていたのみであったが、その後に生育範囲を広げている。

植物：ナガミヒナゲシ

杉並区においては昭和60年代に侵入したとされる（杉並区，1988）、比較的新しい帰化植物であり、在来植物には少ない濃いオレンジ色の花が目立つ。第2次調査時には32%の調査地点で確認されていたのがその後に生育範囲を広げている。

植物：オオブタクサ

都市化が進んだ空き地などに群生する。高さ約3m位にもなるため在来の植物の生育に悪影響を与える。

植物：ワルナスビ

荒地、路傍、畑など人為的な影響があった場所に生育する刺のある帰化植物である。

クモ類：キシノウエトタゲモ

元来、東京には生息していなかったクモで、江戸時代初期に江戸城改築や大名屋敷新設に伴って、京都、大坂周辺から運ばれてきた植物、庭石、土、などについて東京に入ってきた建造物周辺の選好種の代表的種類。他所においても、城郭、旧大名屋敷、豪商屋敷跡、寺院、庭園などに生息している。山地や自然環境の豊かな場所にはほとんど出現しないことから、都市化の指標種とされる。

クモ類：イエユウレイグモ、ネコハグモ、シロホシヒメグモ、マダラヒメグモ、サトヒメグモ、イエオニグモ

人家や倉庫、塀やフェンス、商店やレストラン、駅などの周辺や灯りの回りなど、人の生活と共に暮らし、人に害する昆虫、ダニなどを捕獲している。建物ができることによって増加する種類であることから、都市化の進行を示す指標となる。

昆虫類：チャドクガ

ツバキやサザンカの植栽によって住宅地にも生息するようになった種類で、現在ではむしろ都市環境に多くみられる。その増加は重要な捕食者であるシジュウカラなどの昆虫食の鳥類の減少も要因のひとつとして考えられることから、都市化の進行を示す指標となる。

鳥類：ツバメ

ツバメは人家やビルの軒先などに営巣するため、住宅地に入り込んで生活する種類である。しかし、巣材となる泥を調達できる場所や、餌となる飛翔性昆虫を捕食する環境など、色々な環境要素が必要なため、再開発などで過度の都市化が進むと、生息や繁殖に必要な条件がそろわなくなる。そのため、ツバメ(特に繁殖の有無)は、都市化による昆虫相の減少や土壌が露出している場所の消失の指標となる。

爬虫類：アオダイショウ

アオダイショウは鳥類やネズミなどの小型哺乳類を餌とし、樹上傾向が強いことから人家の隙間に入り込んで生活することもできる種類である。しかし、食物連鎖の上位に位置していることから住宅地の緑が減少して餌となる小動物が減少したり、立て替えなどで新建材の住宅になったりすると人家周辺での生息が困難になる。そのため、アオダイショウは都市化による小型の動物相の減少の指標となる。

爬虫類：ニホンヤモリ

ニホンヤモリは人家の隙間を住处とし、夜行性であるため夜間に住宅地内の昆虫類やクモ類を採餌する。住宅地の緑が減少して餌となる動物が減少したり、立て替えなどで新建材の住宅になったりすると人家周辺での生息が困難になる。そのため、ニホンヤモリは都市化による昆虫相の減少などの指標となる。

哺乳類：アズマモグラ

有機物の多い土壌で昆虫やミミズなどを餌とすることから、地表面が舗装や住宅開発などで人工物に覆われると少なくなり、都市化が進むと生息が困難になる種類である。このため、アズマモグラは都市化による農地や緑地などの生物が豊富な土壌の減少を示す指標になる。

④ 温暖化の指標生物

植物：開花・紅葉・落葉の時期

温度変化により植物も個体の様子に変化をみせるため、その時期を確認することにより温暖化の指標とな

る。(例：ソメイヨシノの開花時期、イチョウの黄葉時期、ケヤキの落葉時期など)

植物：南方系植物の野生化(シュロ、ヤツデ、アオキ)

温暖化とともに生育範囲を広げる種であるため、温暖化の指標となる。

クモ類：アシダカグモ、アダンソンハエトリ

2年前は年平均気温 15 度の等温線に沿って分布していた種類で有ったが、温暖化によって徐々に北上し、アシダカグモは 23 区内南部に、アダンソンハエトリは東京都全域に分布するようになった。ただしアシダカグモの杉並区内での記録はきわめて少ない。

クモ類：マルゴミグモ、スズミグモ、クロマルイソウロウグモ、マダラフクログモ、ミヤンタイソウロウグモ、ヤガタアリグモ

これらはもともと南方の暖地に由来を持つ種で、1970 年代までは静岡県が北限となっていたが、その後の地球温暖化により急速な北上傾向を示し、現在は東京都を通過して埼玉県まで北進している。マルゴミグモ、マダラフクログモは区内のほぼ全域に生息している。

昆虫類：クマゼミ、アオドウガネ、ムラサキツバメ、クロコノマチョウ

これらはもともと南方の暖地に由来を持つ種類で、杉並区では近年になり記録が増加し分布が拡大している種類である。種によっては自然飛来だけでなく、樹木の植栽などに伴う人為移入もあると考えられ、餌資源など他の要因との関係も考えられることから、単純に温暖化のみが記録や分布の増加に影響しているとはいえないが、温度条件に大きく左右される「越冬可能域の拡大」という視点においては、気候の温暖化を示す指標となる。

昆虫類：セミ類の発生時期

これまでの結果から、セミ類の終認時期は年を経るごとに遅延している傾向にあり、これは夏から秋にかけての気温が低下しないことに由来していると考えられる。また、現在のところ顕在化していないが、今後セミの発生時期の早期化といった現象が起こる可能性もあり、このようなセミ類の発生時期は気候の温暖化を示す指標となる。

鳥類：渡り鳥の去来の時期

現在杉並区では顕在化していないが、気候の温暖化で渡り鳥が早く渡来したり、季節が過ぎても遅くまで残存していたり、あるいは渡りを行わないといった現象が起こる可能性がある。このような渡り鳥の去来の時期の変動は、気候の温暖化を示す指標となる。また、鳥類では温暖化によって繁殖期が早くはじまるといった影響が考えられ、このためウグイスの初鳴きの時期が早くなるなどといった指摘もある。

両生類：両生類の産卵時期

これまでの結果からは区内では明らかではないが、同じ東京都内で両生類の温暖化に伴う繁殖開始時期の早期化が報告されており(草野・井上, 2006)、今後区内でも両生類の産卵時期の早期化といった現象が起こる可能性もある。このような両生類の産卵時期は、気候の温暖化を示す指標となる。

引用・参考文献等

- 井口豊重. 2014. 第6次杉並区自然環境調査 野鳥調査結果から すぎなみの街と自然 第118号
- 石田昇三・石田勝義・小島圭三・杉村光俊. 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説. 東海大出版会
- 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 日本帰化植物写真図鑑 第2巻. 全国農村教育協会
- 奥富清・奥田重俊・辻誠治・星野義延. 1987a. 東京都現存植生図 1987年版. 東京都
- 奥富清・奥田重俊・辻誠治・星野義延. 1987b. 東京都の植生. 東京都植生調査報告書. 東京都
- 尾園暁・川島逸郎・二橋亮. 2012. ネイチャーガイド日本のトンボ. 文一総合出版
- 環境庁. 1988. 日本の重要な植物群落Ⅱ 南関東版. 大蔵省
- 環境省. 2019. レッドリスト 植物Ⅰ(維管束植物). 生物多様性情報システムホームページ
- 環境省. 2019. レッドリスト その他無脊椎動物. 生物多様性情報システムホームページ
- 環境省. 2019. レッドリスト 昆虫類. 生物多様性情報システムホームページ
- 環境省. 2019. レッドリスト 鳥類. 生物多様性情報システムホームページ
- 環境省. 生態系被害防止外来種リスト. 環境省自然環境局ホームページ
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>
- 国土庁土地局・東京都. 1976. 土地分類図13(東京都)
- 国立環境研究所. 侵入生物データベース <http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/index.html>.
- 清水建美. 2001. 図説 植物用語事典. 八坂書房
- 新海栄一. 1998. クモ類による環境の評価. KISHIDAIA(74):33-100
- 新海栄一. 2017. ネイチャーガイド日本のクモ 増補改訂版. 文一総合出版
- 杉並区. 1977. 杉並区勢概要 昭和52年度版. 杉並区
- 杉並区. 1982. 新修杉並区史(上巻). 杉並区
- 杉並区. 1993. 杉並区自然環境調査報告書(第2次). 杉並区
- 杉並区. 1998a. 杉並区自然環境調査報告書(第3次). 杉並区
- 杉並区. 2003. 杉並区自然環境調査報告書(第4次). 杉並区
- 杉並区. 2008. 杉並区自然環境調査報告書(第5次). 杉並区
- 杉並区. 2015. 杉並区自然環境調査報告書(第6次). 杉並区
- 杉並区. 2005. 杉並区河川の生物―第五次河川生物調査報告書― 平成16年度版. 杉並区
- 杉並区. 2010. 杉並区河川の生物―第六次河川生物調査報告書― 平成21年度版. 杉並区
- 杉並区. 1998b. 平成9年度緑化基本調査報告書. 杉並区
- 杉並区. 2008. 杉並区環境白書 平成19年度版. 杉並区
- 杉並区. 2017. 杉並区環境白書 平成29年度版. 杉並区
- 杉並区. 2018. 杉並区環境白書 平成30年度版. 杉並区
- 杉並区. 杉並区統計書(平成25年度版) 杉並区区政資料. 杉並区ホームページ
- 杉並区. 杉並区統計書(平成30年度版) 杉並区区政資料. 杉並区ホームページ
- 杉並区. 2003. 平成14年度みどりの実態調査報告書. 杉並区
- 杉並区. 2012. 平成24年度みどりの実態調査報告書. 杉並区
- 杉並団体研究会. 2007. 杉並の地形・地質と水環境のうつりかわり. 杉並区郷土博物館

- 須田孫七. 2014. 第6次杉並区自然環境調査・昆虫類調査結果について すぎなみの街と自然 第117号
- 千国安之輔. 1989. 写真・日本クモ類大図鑑. 偕成社
- 東京都. 1998. 東京都現存植生図. 東京都
- 東京都. 2000. 平成11年度東京都環境白書(資料編). 東京都
- 東京都. 2010. 荒川水系神田川流域河川整備計画. 東京都
- 東京都. 2010. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト2010年版. 東京都環境局ホームページ
- 東京都. 2013. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト2010年版(2013年5月修正版). 東京都環境局ホームページ
- 東京都. 2019. 東京都環境白書2019. 東京都
- 東京都. 2013. 東京都下水道事業 経営計画2013. 東京都下水道局
- 東京都. 2018. 東京の土地利用(平成28年東京都区部). 東京都
- 東京都. 2019. 東京の土地利用(平成29年多摩・島しょ地域). 東京都
- 東京都. カラス対策 生息数等の推移(取組状況). 東京都環境局ホームページ
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/animals_plants/crow/
- 東京都産鳥類目録作成委員会. 2009. 東京都産鳥類目録2000・自治体編・Ver.1
- 西多摩昆虫同好会. 1991. 東京都の蝶. けやき出版
- 西多摩昆虫同好会. 2012. 新版・東京都の蝶. けやき出版
- 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂版第7版
- 日本爬虫両棲類学会. 2019. 日本産爬虫両生類標準和名リスト 2019年11月7日版
- 三上修、三上かつら、松井晋、森本 元、上田 恵介. 2013. 日本におけるスズメ個体数の減少要因の解明：近年建てられた住宅地におけるスズメの巣の密度の低さ. Bird Research
- 米倉浩司. 2012. 日本維管束植物目録(邑田仁 監修). 北隆館

資 料

資料1	植物の年次別確認状況	1
資料2	植物の地点別確認状況	22
資料3	クモ類の年次別確認状況	82
資料4	クモ類の地点別確認状況	87
資料5	昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況	101
資料6	昆虫類の年次別確認状況	116
資料7	鳥類のルート別確認状況	143
資料8	鳥類の月別確認状況	153
資料9	区民を対象にしたアンケート調査結果	163

資料1 植物の年次別確認状況(1/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> L.			●								3
2		イワヒバ	カタヒバ	<i>Selaginella involvens</i> (Sw.) Spring	○	○			○						1
3			イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i> Hieron.						○		1	植栽		
4			タチクラマゴケ	<i>Selaginella nipponica</i> Franch. et Sav.						●	●	3	在来		4
5			クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i> Spring	○	○	○	○		●	●	2	在来		1
6			イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i> (P.Beauv.) Spring		○	○	○							
7			コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i> (Desv.) Spring	●	●	●								
8		ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		2
9			アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i> Makino						●	●	1	在来		2
10			フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		4
11			ナツノハナワラビ	<i>Botrychium virginianum</i> (L.) Sw.			●								2
12			コヒロハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i> Hook.						●	●	3	在来		4
13			コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Kom. var. <i>nipponicum</i> (Miyabe et Kudō) M.Nishida	●	●	●	●	●						4
14			ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i> L.					●	●					4
15		マツバラン	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i> (L.) P.Beauv.						●	●	1	在来		1
16		トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
17			トクサ	<i>Equisetum hyemale</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		1
18			イヌドクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i> Desf.	●	●									5
19		ゼンマイ	オニゼンマイ	<i>Osmunda claytoniana</i> L.						○	○	1	植栽		
20			ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		2
21			ヤマドリゼンマイ	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> (L.) C.Presl var. <i>fokiense</i> (Copel.) Tagawa		○	●								5
22		ウラジロ	コシダ	<i>Dicranopteris linearis</i> (Burm.f.) Underw.			●								4
23		ガニクサ	ガニクサ	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunb.) Sw.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		3
24		コバノイシカグマ	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (Sw.) Mett.			●	●	●	●	●	1	在来		2
25			イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i> (Thunb.) Mett. ex Kuhn						●	●	2	在来		3
26			フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i> (Panzer) C.Chr.					●	●	●	2	在来		1
27			ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) A. et D.Löve	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
28		イノモトソウ	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i> L.						●	●	2	逸出		
29			ハコネシダ	<i>Adiantum monochlamys</i> D.C.Eaton						●					1
30			クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i> L.			○		○						2
31			イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i> Hieron.				○							1
32			イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels		●	○	○	○	●	●	1	在来		1
33			タチシノブ	<i>Onychium japonicum</i> (Thunb.) Kunze	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		3
34			オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		1
35			イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i> Poir.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		1
36			アイイノモトソウ	<i>Pteris x pseudosefuricola</i> Ebihara, Nakato et S.Matsumoto					●						1
37		チャセンシダ	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium anogrammoides</i> Christ ex H.Lév.					●	●	●	1	在来		1
38			トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.			●		●	●	●	3	在来		2
39		ヒメシダ	ホシダ	<i>Thelypteris acuminata</i> (Houtt.) C.V.Morton					●	●	●	1	在来		2
40			ゲジゲジシダ	<i>Thelypteris decursivopinnata</i> (H.C.Hall) Ching	●	●			●	●	●	2	在来		2
41			イヌケホシダ	<i>Thelypteris dentata</i> (Forssk.) E.P.St.John						●	●	5	逸出		4
42			ハシゴシダ	<i>Thelypteris glanduligera</i> (Kunze) Ching						●					2
43			ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching						●	●	2	在来		2
44			ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i> (Salisb.) Schott						●	●	1	移植		5
45			ミノシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> (Lag.) C.V.Morton subsp. <i>mollissima</i> (Fisch. ex Kunze) C.V.Morton						●	●	1	在来		2
46			ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana</i> (Gaudich.) Alston var. <i>calvata</i> (Baker) K.Iwats.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		2
47			ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa					●	●	●	8	在来		3
48		メンシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i> (Mett.) Y.C.Liu, W.L.Chioi et M.Kato	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
49			ニシキシダ	<i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance f. <i>metallicum</i> (Makino) Honda						●					3
50			カラフトミヤマシダ	<i>Athyrium spinulosum</i> (Maxim.) Milde			●								
51			ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i> (Franch. et Sav.) Nakai		●	●	●		●					2
52			ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i> (Franch. et Sav.) Christ	●					●	●	1	在来		2
53			ホンバシゲシダ	<i>Deparia conillii</i> (Franch. et Sav.) M.Kato		●	●	●		●	●	1	在来		2
54			シゲシダ	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M.Kato	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		2
55			オオヒメワラビ	<i>Deparia okuboana</i> (Makino) M.Kato		●									
56		コウヤワラビ	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Tod.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植・植栽		5
57			コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植・植栽		5
58		オシダ	リュウモンシダ	<i>Arachniodes standishii</i> (T.Moore) Ohwi		●				●	●	4	一部移植・植栽		1
59			ナガバヤブソテツ	<i>Cyrtomium devexiscapulae</i> (Koidz.) Ching						●	●	11	在来		
60			オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i> (L.f.) C.Presl subsp. <i>falcatum</i>	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		6
61			ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm. var. <i>clivicola</i> (Makino)						●					1
62			ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm. var. <i>fortunei</i>	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		1
63			テリハヤブソテツ	<i>Cyrtomium laetevirens</i> (Hiyama) Nakaike						●	●	3	在来		1
64			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i> (Baker) C.Chr.	●		●	●		●	●	2	在来		1
65			ミサキカグマ	<i>Dryopteris chinensis</i> (Baker) Koidz.					●	●	●	1	在来		2
66			ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		1
67			ミドリベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze f. <i>viridisor</i> (Nakai ex H.Itō) H.Itō						●		1	在来		1
68			キノクニベニシダ	<i>Dryopteris kinokuniensis</i> Sa.Kurata						●	●	1	在来		1
69			クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i> (Thunb.) Kuntze	●		●	●		●	●	2	在来		2
70			ミヤマベニシダ	<i>Dryopteris monticola</i> (Makino) C.Chr.		○	○	○							
71			トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i> Koidz.						●	●	1	在来		1
72			オオイタチシダ	<i>Dryopteris pacifica</i> (Nakai) Tagawa					●						1
73			オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino					●	●	●	6	在来		2
74			アスカイノデ	<i>Polystichum fibrillosopaleaceum</i> (Kodama) Tagawa					●	●	●	4	在来		1
75			イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i> (Roem. ex Kunze) C.Presl			●	●	●	●	●	2	在来		1
76			オニイノデ	<i>Polystichum rigens</i> Tagawa						●					1
77			ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i> (Kunze) C.Presl	●	●			○						1
78		タマシダ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) C.Presl		○	○	○		●	○	1	植栽		
79		シノブ	シノブ	<i>Davallia mariesii</i> T.Moore ex Baker				○		●	●	2	植栽・逸出		1
80		ウラボシ	マメヅタ	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i> C.Presl	●	●	●		●	●	●	2	在来		1
81			ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i> (Franch. et Sav.) Ching						●	●				6
82			ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching	●	●	●	●	●	●	●	11	在来	1	1

資料1 植物の年次別確認状況(2/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
83			ヒトツバ	<i>Pyrosia lingua</i> (Thunb.) Farw.						○	○	1	植栽		1
84	裸子植物	ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.		○	○	○	○	○	○	3	植栽		
85		イチヨウ	イチヨウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	17	植栽		
86		マツ	モミ	<i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	4	一部植栽		1
87			アトラスシーダー	<i>Cedrus atlantica</i> (Endl.) Manetti ex Carrière					○						
88			ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i> (Roxb.) G.Don	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		
89			レバノンシーダー	<i>Cedrus libani</i> A.Rich.					○						
90			カラマツ	<i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carrière		○	○								
91			ドイツトウヒ	<i>Picea abies</i> (L.) Karst.		○	○	○	○	○	○	4	植栽		
92			トウヒ	<i>Picea jezoensis</i> (Siebold et Zucc.) Carrière var. <i>hondoensis</i> (Mayr) Rehder	○	○	○	○	○	○					
93			アカマツ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	13	一部植栽		2
94			タギョウショウ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc. 'Umbraculifera'		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
95			ダイオウショウ	<i>Pinus palustris</i> Mill.			○	○	○						
96			ゴウマツ	<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>parviflora</i>			○	○	○	○	○	2	植栽		
97			リギダマツ	<i>Pinus rigida</i> Mill.			○	○							
98			クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i> Parl.	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		6
99			ベイマツ	<i>Pseudotsuga menziesii</i> (Mirbel) Franco				○							
100			コメツガ	<i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.		○									
101		マキ	ナギ	<i>Nageia nagi</i> (Thunb.) Kuntze	○	○						2	植栽		
102			ラカンマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Sweet f. <i>macrophyllus</i>	○		○		○						
103			イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Sweet f. <i>spontaneus</i> H. Ohba et S. Akiyama	○	○	○	○	○	●	●	8	一部植栽		1
104		コウヤマキ	コウヤマキ	<i>Sciadopitys verticillata</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.	○	○	○	○		○	○	3	植栽		
105		ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	○	○	○	○	○	○	○	15	植栽		
106			カマクラヒバ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Breviramea'	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
107			オウゴンクジャクヒバ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Filicoides-aurea'			○	○	○						
108			キンヒバ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Ougonchabohiba'			○	○		○	○	1	植栽		
109			サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	○	○	○	○	○	○	○	16	植栽		
110			ヒヨクヒバ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl.		○	○	○	○	○	○	4	植栽		
111			オウゴンシノブヒバ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Plumosa Aurea'			○	○	○	○	○	1	植栽		
112			ヒムロ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl. 'Squarrosa'	○	○	○	○							
113			オウゴンサワラ	<i>Chamaecyparis</i> sp.	○	○	○								
114			スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D. Don	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽	10	1
115			コウヨウザン	<i>Cunninghamia lanceolata</i> (Lamb.) Hook.	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
116			タマイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> L. 'Globosa'			○	○	○			1	植栽		
117			カイヅカイブキ	<i>Juniperus chinensis</i> L. 'Kaizuka'	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽		
118			イブキ	<i>Juniperus chinensis</i> L. var. <i>chinensis</i>	○	○	○					1	植栽		6
119			タチビャクシン	<i>Juniperus chinensis</i> L. var. <i>jacobiana</i> Beiss	○										
120			ハイビャクシン	<i>Juniperus chinensis</i> L. var. <i>procumbens</i> Siebold ex		○	○	○				1	植栽		
121			ハインズ	<i>Juniperus conferta</i> Parl.		○	○	○				1	植栽		
122			ネズミサシ	<i>Juniperus rigida</i> Siebold et Zucc.	○	○			○						
123			メタセコイア	<i>Metasequoia glyptostroboides</i> Hu et W.C. Cheng	○	○	○	○	○	○	○	9	植栽		
124			コノテガシワ	<i>Platycladus orientalis</i> (L.) Franco	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽		
125			ラクウショウ	<i>Taxodium distichum</i> (L.) Rich.	○	○	○	○	○	○	○	3	植栽		
126			タチラクウショウ	<i>Taxodium distichum</i> (L.) Rich. var. <i>imbricatum</i> (Nutt.) Croom					○	○	○	1	植栽		
127			ニオイヒバ	<i>Thuja occidentalis</i> L.		○	○	○		○	○	6	植栽		
128			イトヒバ	<i>Thuja orientalis</i> L. 'Flagelliformis'					○						
129			アスナロ	<i>Thujopsis dolabrata</i> (L.f.) Siebold et Zucc.						○	○	2	植栽		
130			ヒノキアスナロ	<i>Thujopsis dolabrata</i> (L.f.) Siebold et Zucc. var. <i>hondae</i> Makino	○	○	○	○							
131			レイランドヒノキ	<i>x Cuprocyparis leylandii</i> (A.B. Jacks. et Dallim.) Farjon						○	○	1	植栽		
132		イチイ	チョウセンマキ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K. Koch 'Fastigiata'							○	1	植栽		
133			イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K. Koch var. <i>harringtonia</i>	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		1
134			イチイ	<i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
135			キヤラボク	<i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc. var. <i>nana</i> Hort. ex Rehder		○	○	○	○	○	○	7	植栽		
136			カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	9	一部植栽		1
137	被子植物	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i> DC.		○	○	○	○	○	○	2	植栽		5
138			園芸スイレン	<i>Nymphaea</i> cvs.					○	○	○	4	植栽		
139			ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi				○							5
140		マツブサ	シキミ	<i>Illicium anisatum</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	2	植栽		1
141			サネカズラ	<i>Kadsura japonica</i> (L.) Dunal	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		1
142		マツモ	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i> L.			○								5
143		センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i> (A.Gray) H. Ohba et	●	●	●	●	●	●	●	4	一部植栽		2
144			フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植	2	1
145			センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai	●	●	○	○	○	○	○	10	植栽・逸出		
146		ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
147			ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	○	○	○	○	○	●	○	5	植栽		5
148		ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部移植・植栽		4
149			フタバアオイ	<i>Asarum caulescens</i> Maxim.			○			●	○	1	移植		1
150			カンアオイ	<i>Asarum nipponicum</i> F. Maek. var. <i>nipponicum</i>		○	●	●		●					2
151			ヒメカンアオイ	<i>Asarum takaoi</i> F. Maek. var. <i>takaoi</i>					○	○	○	1	植栽		
152			タマノカンアオイ	<i>Asarum tamaense</i> Makino		○				●	●	1	移植		2
153		モクレン	ユリノキ	<i>Liriodendron tulipifera</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	10	植栽		
154			オガタマノキ	<i>Magnolia compressa</i> Maxim.		○	○	○	○	○	○	3	植栽		1
155			ハクモクレン	<i>Magnolia denudata</i> Desr.		○	○	○	○	○	○	9	植栽		
156			カラタネオガタマ	<i>Magnolia figo</i> (Lour.) DC.				○	○	○	○	4	植栽		
157			タイサンボク	<i>Magnolia grandiflora</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽		
158			コブシ	<i>Magnolia kobus</i> DC.	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		2
159			モクレン	<i>Magnolia liliiflora</i> Desr.	○	○	○	○	○	○	○	5	植栽		
160			ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽		2

資料1 植物の年次別確認状況(3/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
161			オオヤマレンゲ	<i>Magnolia sieboldii</i> K.Koch subsp. <i>japonica</i> K.Ueda			○			○	○	1	植栽		
162			シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.					○	○	○	1	植栽		
163			ニシキモクレン	<i>Magnolia x soulangeana</i> Soul.-Bod.					○						
164		ロウバイ	ロウバイ	<i>Chimonanthus praecox</i> (L.) Link	○	○	○	○	○	○	○	9	植栽		
165			ソシンロウバイ	<i>Chimonanthus praecox</i> (L.) Link f. <i>concolor</i> (Makino) Makino					○	○	○	2	植栽		
166		クスノキ	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i> (L.) J.Presl	○	○	○	○	○	●	●	17	植栽・逸出		
167			ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i> Meisn.		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
168			ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum yabunikkei</i> H.Ohba	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		1
169			グツケイジュ	<i>Laurus nobilis</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	6	植栽		
170			ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume					●	●	●	2	一部植栽		2
171			アブラチャン	<i>Lindera praecox</i> (Siebold et Zucc.) Blume	●	●	●	●	●	○	○	1	植栽		
172			クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	●	●	●	●	○	○	○	1	植栽		2
173			タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	○	○	6	植栽		1
174			イヌガシ	<i>Neolitsea aciculata</i> (Blume) Koidz.		○	○								1
175			シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽		1
176		ショウブ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	3	移植・植栽		5
177			セキショウ	<i>Acorus gramineus</i> Sol. ex Aiton	●	●	●	●	●	○	○	8	植栽		5
178		サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> (Lodd.) Spach					○	○					
179			マムシグサ	<i>Arisaema japonicum</i> Blume	●	●	●	●	●	●	●	1	植栽		1
180			ミミガタテンナンショウ	<i>Arisaema linbatum</i> Nakai et F.Maek.							○	1	植栽		
181			ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott					○	○	○	4	植栽・逸出		1
182			ウランソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> Blume subsp. <i>urashima</i> (H.Hara) H.Ohashi et J.Murata	●	●	●	●	●	●	●	6	一部植栽		1
183			アオウキクサ	<i>Lemna auvikusa</i> Beppu et Murata		●	●	●	●	●	●	1	在来		5
184			カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		4
185			オオハンゲ	<i>Pinellia tripartita</i> (Blume) Schott						●	●	2	逸出		1
186			ウキクサ	<i>Spirodela polyrrhiza</i> (L.) Schleid.			●		●	●	●	1	在来		5
187			ザゼンソウ	<i>Symplocarpus renifolius</i> Schott ex Tzvelev		○	○								
188			オランダカイウ	<i>Zantedeschia aethiopica</i> (L.) Spreng.		○	○			○					
189		チシマゼキショウ	チャボゼキショウ	<i>Toffeldia coccinea</i> Richards. var. <i>gracilis</i> (Franch. et Sav.) T.Shimizu					○						
190		オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i> A.Braun et C.D.Bouché	●	●	●	●	●						5
191			サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> L. var. <i>orientale</i> Sam.					●						5
192			オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i> L.	○	○	○	○		●	●	1	在来		5
193		トチカガミ	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i> Planch.	●	●	●	●	●	●	●	4	帰化・植栽		
194			トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i> (Blume) Backer						○					5
195			イトリグモ	<i>Najas gracillima</i> (A.Braun ex Engelm.) Magnus						●	●	1	在来		5
196		ヒルムシロ	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i> L.					●						5
197			ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i> Miq.	●	●									5
198		ヤマノイモ	タチドコロ	<i>Dioscorea gracillima</i> Miq.	●	●	●								3
199			ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		3
200			ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i> Turcz.						●	●	1	逸出		
201			カエデドコロ	<i>Dioscorea quinquelobata</i> Thunb.		●	●		●	●					3
202			キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i> Thunb.	●	●	●		●						3
203			ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i> Franch. et Sav.	●	●	●	●	●	●					3
204			オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		3
205		シュロソウ	ショウジョウバカマ	<i>Helonias orientalis</i> (Thunb.) N.Tanaka		○	○								
206			ツクバネソウ	<i>Paris tetraphylla</i> A.Gray		○	○								
207			エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i> Makino	●	●	○								
208		イヌサフラン	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> D.Don ex Schult. et Schult.f.	●	●	●	●	●	●	●	9	在来	2	1
209			チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i> A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	4	一部移植		2
210			オオチゴユリ	<i>Disporum viridescens</i> (Maxim.) Nakai		●			●						
211		サルトリイバラ	サルマメ	<i>Smilax biflora</i> Siebold ex Miq. var. <i>trinervula</i> (Miq.) Hatus. ex T.Koyama			●								
212			サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	9	一部移植・植栽	5	3
213			シオデ	<i>Smilax riparia</i> A.DC.	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		2
214			ヤマカシユウ	<i>Smilax sieboldii</i> Miq.	●	●	●	○	○	○	○	1	植栽		2
215		ユリ	アマナ	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	●	●	●	●	●	●	●	2	移植・植栽		4
216			ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	1	移植		2
217			カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		2
218			バイモ	<i>Fritillaria thunbergii</i> Miq.					○	○	○	3	植栽		
219			ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		2
220			タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i> A.Wallace						●	●	4	帰化		
221			オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i> Thunb.	○	○	○	○	○	●	●	5	植栽・逸出		4
222			コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook.f. f. <i>pseudotigrinum</i> (Carrière) H.Hara et Kitam.		○	○	○							
223			テッポウユリ	<i>Lilium longiflorum</i> Thunb.		○	○	○							
224			スカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> Thunb.		○	○	○							
225			クルマユリ	<i>Lilium medeoloides</i> A.Gray			○								
226			カノコユリ	<i>Lilium speciosum</i> Thunb.	○	○	○	○							
227			シンテッポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i> Hort.					●						
228			タケシマラン	<i>Streptopus streptopoides</i> (Ledeb.) Frye et Rigg subsp. <i>japonicus</i> (Maxim.) Utech et Kawano			○								
229			ヤマジノホトギス	<i>Tricyrtis affinis</i> Makino	○		●								2
230			タイワンホトギス	<i>Tricyrtis formosana</i> Baker					○	●	●	9	植栽・逸出		
231			ホトギス	<i>Tricyrtis hirta</i> (Thunb.) Hook.	●	●	●	●	●	●	●	5	移植・植栽		2
232			ジョウロウホトギス	<i>Tricyrtis macrantha</i> Maxim.		○	○								
233			ヤマホトギス	<i>Tricyrtis macropoda</i> Miq.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		2
234		ラン	シラン	<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rehb.f.	○	○	○	○	○	○	○	12	植栽・逸出		4
235			エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部移植・植栽		2
236			キエビネ	<i>Calanthe striata</i> R.Br.					○	○	○	1	植栽		
237			ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>erecta</i>	●	●	●	●	●	●	●	5	在来	4	2
238			ギンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	●	●	●	●	●	●	●	6	在来	4	2
239			ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume					●	●	●	2	在来		2
240			クゲヌマラン	<i>Cephalanthera longifolia</i> (L.) Fritsch						●	●	1	在来		6
241			サイハイラン	<i>Crematropa appendiculata</i> (D.Don) Makino var. <i>variabilis</i> (Blume) I.D.Lund			●	●	●	●	●	1	在来		2
242			シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i> (Rehb.f.) Rehb.f.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来	4	2
243			マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i> Lindl.					●	●	●	2	在来		1
244			クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.	○	○									1

資料1 植物の年次別確認状況(4/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
245			オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i> Blume							●	3	在来		2
246			ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M.Bieb.) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		4
247			アキネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M.Bieb.) H.Hara f. <i>autumnus</i> H.Tsukaya						●					4
248		アヤメ	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crocsmia x crocosmiiflora</i> (Lemoine) N.E.Br.	●	●	●	●	●	●	●	11	帰化・植栽		
249			クロッカス	<i>Crocus vernus</i> (L.) Hill						○		2	植栽		
250			ヒメヒオウギアヤメ	<i>Freesia laxa</i> (Thunb.) Goldblatt & J.C.Manning						●		1	逸出		
251			ヒオウギ	<i>Iris domestica</i> (L.) Goldblatt et Mabb.		○	○	○							
252			ハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>ensata</i>						○		2	植栽		
253			ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai ex Makino et Nemoto			●	○		○	○	2	植栽		5
254			ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A.Gray				○		○					
255			シャガ	<i>Iris japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	17	植栽・逸出		1
256			カキツバタ	<i>Iris laevigata</i> Fisch.	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		5
257			キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	6	帰化・植栽		
258			アヤメ	<i>Iris sanguinea</i> Hornem.		○	○	○	○	●	●	1	移植・植栽・逸出		4
259			ヒオウギアヤメ	<i>Iris setosa</i> Pall. ex Link		○	○								
260			イチハツ	<i>Iris tectorum</i> Maxim.				○	○						
261			ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i> E.P.Bicknell	●	●	●	●	●	●	●	7	帰化		
262			オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium</i> sp.						●	●	3	帰化		
263		ススキノキ	ゼンテイカ	<i>Hemerocallis dumortieri</i> C.Morren var. <i>esculenta</i> (Koidz.) Kitam. ex M.Matsuoka et M.Hotta			○	○							
264			ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>disticha</i> (Donn ex Ker Gawl.) M.Hotta	●	●	●	●	●	●	●	2	移植・植栽	6	4
265			ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel	●	●	●	●	●	●	●	8	一部移植・植栽	6	4
266		ヒガンバナ	ムラサキキンシラン	<i>Agapanthus africanus</i> (L.) Hoffmanns.						○		4	植栽		
267			ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
268			ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i> G.Don			●								4
269			アリウム・トリケトラム	<i>Allium triquetrum</i> L.						●	●	3	植栽・逸出		
270			ニラ	<i>Allium tuberosum</i> Rottler ex Spreng.		○	○	○	●		●	7	逸出		
271			ギョウジャニンニク	<i>Allium victorialis</i> L. subsp. <i>platyphyllum</i> Hultén			○								
272			ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Baker		○	○	○	○	○					6
273			アフリカハマユウ	<i>Crinum bulbispermum</i> (Burm.) Milne-Redh. et							○	2	植栽		
274			スノードロップ	<i>Galanthus nivalis</i> L.						○		1	植栽		
275			ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i> (Graham) Raf.	○	○	●	●	●	●	●	13	帰化		
276			オオマツユキソウ	<i>Leucojum aestivum</i> L.						●	●	3	植栽・逸出		
277			ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb.	●	●	●	●	●	●	●	15	一部植栽		3
278			キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i> Maxim. var. <i>sanguinea</i>	●	●	●	●							3
279			シロバナマンジュシャゲ	<i>Lycoris x albiflora</i> Koidz.						○	○	1	植栽		3
280			キズイセン	<i>Narcissus jonquilla</i> L.						○		1	植栽		
281			ラッパズイセン	<i>Narcissus pseudonarcissus</i> L.							○	2	植栽		
282			スイセン	<i>Narcissus tazetta</i> L.					○	○	○	3	植栽		
283			ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i> (Dryand.) Stearn			●	●		●					
284			タマシダレ	<i>Zephyranthes candida</i> (Lindl.) Herb.					○	●	●	4	帰化・植栽		
285		キジカクシ	クサスギカズラ	<i>Asparagus cochinchinensis</i> (Lour.) Merr.						●	●	1	在来		6
286			オランダキジカクシ	<i>Asparagus officinalis</i> L.	●	●	○		●	●	●	1	帰化		
287			キジカクシ	<i>Asparagus schoberioides</i> Kunth	●	●	●								
288			ハラシ	<i>Aspidistra elatior</i> Blume					○	○	○	15	植栽		
289			ツルボ	<i>Barnardia japonica</i> (Thunb.) Schult. et Schult.f.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
290			オリヅラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques						○		1	植栽		
291			スズラン	<i>Convallaria majalis</i> L. var. <i>manshurica</i> Kom.	○	○	○		○	○	○	1	植栽		
292			オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl.	●	●	●	●	●	●	●	2	移植・植栽		2
293			タチギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram var. <i>rectifolia</i> (Nakai) H.Hara		○	○								
294			コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram var. <i>sieboldii</i> f. <i>spathulata</i> (Miq.) W.G.Schmid			○			○	●	4	一部植栽		4
295			ツリガネズイセン	<i>Hyacinthoides hispanica</i> (Mill.) Rothm.						●	●	6	帰化・植栽		
296			ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
297			ヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		1
298			フイリヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey f. <i>variegata</i> (L.H.Bailey) H.Hara					○	○	○	5	植栽		
299			コヤブラン	<i>Liriope spicata</i> Lour.	●	●	●								
300			マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i> (A.W.Wood) A.Nelson et J.F.Macbr.	○	○									
301			ユキザサ	<i>Maianthemum japonicum</i> (A.Gray) LaFrankie			○								
302			ムスカリ	<i>Muscari neglectum</i> Guss. ex Ten.						●		1	帰化		
303			ノシラン	<i>Ophiopogon jaburan</i> (Siebold) Lodd.			○		●	●	○	6	植栽・逸出		
304			タマリユウ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. 'Gyokuryu'						○		2	植栽		
305			ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl.	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		1
306			ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.					●	●	●	11	一部植栽		1
307			オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i> Nakai		●	●	●	●	●	●	5	在来		1
308			ホソバオオアマナ	<i>Ornithogalum orthophyllum</i> Ten.						●	●	4	帰化		
309			オオアマナ	<i>Ornithogalum umbellatum</i> L.					●	●	●	5	帰化・植栽		
310			ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	2	一部移植		3
311			ワニグチソウ	<i>Polygonatum involucreatum</i> (Franch. et Sav.) Maxim.	●	●	●	●							2
312			アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植・植栽		3
313			キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i> (Andrews) Kunth	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		1
314			オモト	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth	●	●	●	●	●	●	●	9	一部植栽		1
315			ナギイカダ	<i>Ruscus aculeatus</i> L.		○	○		○	○	○	2	植栽		
316			オオツルボ	<i>Scilla peruviana</i> L.						●	○	2	植栽		
317			アツバキミヨラン	<i>Yucca gloriosa</i> L.						●	●	6	帰化・植栽		
318		ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume		○	○								
319			シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H.Wendl.	●	●	●	●	●	●	●	17	植栽・逸出	8	
320			トウシュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i> Hort. ex Becc.	○		○	○	○	○	○	5	植栽		
321		ツユクサ	マルバツユクサ	<i>Commelina benghalensis</i> L.						●		1	在来		4
322			ツユクサ	<i>Commelina communis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		4
323			ヤブミョウガ	<i>Polia japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
324			ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i> Vell.	○	○	○	●	●	●	●	14	帰化		

資料1 植物の年次別確認状況(5/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
325			ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohimensis</i> Raf.	○	○	●	●	●	●	●	6	帰化・植栽		
326			ムラサキゴテン	<i>Tradescantia pallida</i> (Rose) D.R.Hunt							○	1	植栽		
327			オオムラサキツユクサ	<i>Tradescantia virginiana</i> L.							○	1	植栽		
328		ミズアオイ	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms			●		●	○	○	1	植栽		
329			コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm.f.) C.Presl ex Kunth	●	●									5
330		バショウ	バショウ	<i>Musa basjoo</i> Siebold ex linuma							○	1	植栽		
331		ショウガ	ハナショウガ	<i>Alpinia japonica</i> (Thunb.) Miq.							●	1	在来		1
332			ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe	○	○	○		○	○	○	14	植栽・逸出		
333		ガマ	ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i> Pers.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽	7	5
334			ガマ	<i>Typha latifolia</i> L.			●	●	●	○				7	5
335			コガマ	<i>Typha orientalis</i> C.Presl				●	●	●	●	1	在来	7	5
336		ミクリ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	○	○	○	○		○	○	1	植栽		5
337			タマミクリ	<i>Sparganium glomeratum</i> (Beurl. ex Laest.)			●								
338			ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert					●		●	1	在来		5
339		イグサ	イ	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽	7	5
340			コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> R.Br. subsp. <i>leschenaultii</i> (J.Gay ex Laharpe) Kirschner							●	1	在来		5
341			ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i> Buchenau var. <i>effusoides</i> Buchenau	●						●				5
342			コゴメイ	<i>Juncus</i> sp.							●	1	帰化		
343			クサイ	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		4
344			スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
345			ヤマスズメノヒエ	<i>Luzula multiflora</i> (Ehrh.) Lejeune					●	●	●	1	移植		4
346		カヤツリグサ	シラスゲ	<i>Carex alopecuroides</i> D.Don ex Tilloch et Taylor var. <i>chlorostachya</i> C.B.Clarke					●	●	●	4	在来		2
347			エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.					●	●	●	6	一部移植		2
348			マツバスケ	<i>Carex biwensis</i> Franch.					●						5
349			メアオスゲ	<i>Carex candolleana</i> H.Lév. et Vaniot					●	●	●	2	在来		4
350			ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i> Boott	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		2
351			ナルコスゲ	<i>Carex curvicolis</i> Franch. et Sav.		●	●	●							
352			アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i> Steud.				●		○	○	1	植栽		5
353			カサスゲ	<i>Carex dispalata</i> Boott		●		●		○	○	1	植栽		5
354			オオタマツリスゲ	<i>Carex filipes</i> Franch. et Sav. var. <i>rouyana</i> (Franch.) Kük.					●						2
355			マスクサ	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
356			ホソバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H.Lév. et Vaniot)					●	●	●	1	在来		2
357			カワラスゲ	<i>Carex incisa</i> Boott	●	●				●	●	1	在来		3
358			ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i> Steud.					●	●	●	3	在来		2
359			ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i> Thunb.	●	●	●		●	●	●	9	一部移植		2
360			テギリスゲ	<i>Carex kiotensis</i> Franch. et Sav.	●	●	●	●							1
361			ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i> Boott			●	●	●	●	●	1	在来		2
362			ナギリスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don var. <i>lenta</i>	●	●	●	●	●	●	●	16	一部植栽		2
363			アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i> Bunge	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		4
364			ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> Miq.					●	●					5
365			ノゲヌカスゲ	<i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i> Ohwi						●	●	2	在来		2
366			ピロードスゲ	<i>Carex miyabei</i> Franch.						○	○	1	植栽		5
367			カンスゲ	<i>Carex morrowii</i> Boott	●		●	○		○	○	1	在来		1
368			ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i> Ohwi var. <i>multifolia</i>						○					2
369			ミコシガヤ	<i>Carex neurocarpa</i> Maxim.		●					●	1	在来		4
370			ミノボロスゲ	<i>Carex nubigena</i> D.Don ex Tilloch et Taylor subsp. <i>albata</i> (Boott ex Franch. et Sav.) T.Koyama				●							5
371			コジュズスゲ	<i>Carex parviflora</i> Boott var. <i>macroGLOSSA</i> (Franch. et Sav.) Ohwi					●						2
372			コカンスゲ	<i>Carex reinii</i> Franch. et Sav.	●	●									
373			ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i> Franch. et Sav.	●	●	●	●		●	●	8	在来		3
374			クサスゲ	<i>Carex rugata</i> Ohwi					●	●					2
375			タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i> Hance	●	●	●	●							6
376			アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> Steud.	●		●	●		○					5
377			ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i> Boott					●	●		1	在来		3
378			モエギスゲ	<i>Carex tristachya</i> Thunb.			●	●							2
379			チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i> Maxim.	●	●		●		●	●	5	在来		4
380			アイダクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>brevifolius</i>						●					4
381			ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>leirolepis</i> (Franch. et Sav.) T.Koyama	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		4
382			クグガヤツリ	<i>Cyperus compressus</i> L.		●	●	●							4
383			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i> L.	●	●	●	●	●						5
384			メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i> Lam.					●	●	●	7	帰化		
385			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i> R.Br.		●				●					5
386			アゼガヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i> Retz.	●	●	●			●	○	1	植栽		5
387			ヌマガヤツリ	<i>Cyperus glomeratus</i> L.		●									5
388			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		4
389			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i> Steud.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		4
390			アオガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> Franch. et Sav.	●	●				●	●	2	在来		5
391			シロガヤツリ	<i>Cyperus pacificus</i> (Ohwi) Ohwi			●	●							5
392			イガガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i> Rottb.		●									6
393			ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i> L.	●	●	●	●		●	●	3	在来		4
394			ヒラボガヤツリ	<i>Cyperus x mihassii</i> T.Koyama	●										4
395			マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem. et Schult. var. <i>longiseta</i> Svenson					●						5
396			クグテンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>diphylla</i> (Retz.) T.Koyama		●									5
397			ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i> Gaudich.						●	●	1	在来		5
398			メアゼテンツキ	<i>Fimbristylis velata</i> R.Br.							●	1	在来		5
399			ヒンジガヤツリ	<i>Lipocarpa microcephala</i> (R.Br.) Kunth							●	1	在来		5
400			ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i> (Ohwi) J.D.Jung et H.K.Choi						●	●	1	在来		5
401			カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i> (Roxb.) J.D.Jung et H.K.Choi						○	○	1	植栽		5
402			フトイ	<i>Schoenoplectus tabernaemontani</i> (C.C.Gmel.) Palla	○	○	○	○	○	○	○	3	一部植栽		5
403			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetus</i> (L.) Palla						●	●	1	在来		5
404			ノグサ	<i>Schoenus apogon</i> Roem. et Schult.				○							5
405			マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino					●						5
406		イネ	ヤマヌカバ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>clavata</i>			●			●					2

資料1 植物の年次別確認状況(6/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
407			ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>nukabo</i> Ohwi			●	●	●	●	●	5	在来		4
408			コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i> Roth	●	●	●	●	●	●	●	1	帰化		
409			クロコヌカグサ	<i>Agrostis nigra</i> With.	●										
410			ハイコヌカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i> L.							●	1	帰化		
411			ノハラスズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>aequalis</i>					●						4
412			スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Kom.)	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
413			メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.				●	●	●	●	8	帰化		
414			ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L.		●					●	1	帰化		
415			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		5
416			トダシバ	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
417			カラスムギ	<i>Avena fatua</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
418			コメススキ	<i>Avenella flexuosa</i> (L.) Drejer		●									
419			ヤマカモジグサ	<i>Brachypodium sylvaticum</i> (Huds.) P.Beauv. var. <i>miserum</i> (Thunb.) Koidz.							●	1	在来		2
420			コバンソウ	<i>Briza maxima</i> L.	●	●	○	●	●	●	●	2	帰化		
421			ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i> L.							●	1	帰化		
422			イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化		
423			スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i> Thunb.			●								4
424			キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i> (Steud.) Ohwi						●	●	2	在来		4
425			カラスノチャヒキ	<i>Bromus secalinus</i> L.					●						
426			ウマノチャヒキ	<i>Bromus tectorum</i> L.						●					
427			ノガリヤス	<i>Calamagrostis brachytricha</i> Steud.	●				●	●	●	1	在来		2
428			カンチク	<i>Chimonobambusa marmorea</i> (Mitford) Makino			○	○	○						
429			オヒゲシバ	<i>Chloris virgata</i> Sw.		●									
430			チョウセンガリヤス	<i>Cleistogenes hackelii</i> (Honda) Honda						●					3
431			ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	5	帰化・植栽		
432			オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis</i> (J.Presl) A.Camus var. <i>goeringii</i> (Steud.) Hand.-Mazz.	●	●	●								4
433			ギョウギンバ	<i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers.	●			●	●	●	●	3	一部植栽		4
434			カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化		
435			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
436			コメシバ	<i>Digitaria radicata</i> (J.Presl) Miq.	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		4
437			アキメシバ	<i>Digitaria violascens</i> Link	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		4
438			アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) A.Camus	●										4
439			ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>aristata</i> Gray	●	●					●	1	在来		4
440			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>crus-galli</i>	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
441			ヒメイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>praticola</i>						●	●	2	在来		4
442			ヒエ	<i>Echinochloa esculenta</i> (A.Braun) H.Scholz						●	●	1	逸出		4
443			タイヌビエ	<i>Echinochloa oryzicola</i> (Vasing.) Vasing.							●	2	在来		5
444			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
445			アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev					●	●	●	7	在来		4
446			カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
447			シバムギ	<i>Elytrigia repens</i> (L.) Desv. ex B.D.Jackson	●	●	●								
448			スズメガヤ	<i>Eragrostis cilianensis</i> (All.) Link ex Janchen						●	●	2	在来		4
449			シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i> (Schrud.) Nees	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
450			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P.Beauv.	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		4
451			コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i> Host						●	●	5	帰化		
452			ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
453			ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i> (Thunb.) Kunth	●	●	●								4
454			ウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i> L.		●									
455			トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i> Steud.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		2
456			ウラハグサ	<i>Hakonechloa macra</i> (Munro ex S.Moore) Makino ex Honda				●							
457			ウシノシツペイ	<i>Hemarthria sibirica</i> (Gandog.) Ohwi	●	●	●								5
458			シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i> L.			●								
459			ムギクサ	<i>Hordeum murinum</i> L.					●	●	●	3	帰化		
460			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽	6	4
461			チゴザサ	<i>Isachne globosa</i> (Thunb.) Kuntze	●	●	●	●	●	●					5
462			サヤヌカグサ	<i>Leersia savanuka</i> Ohwi					●						5
463			ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i> Franch. et Sav. var. <i>japonicum</i>					●	●	●	10	在来		3
464			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i> Lam.	●	●	●	●	●	●	●	7	帰化		
465			ホソムギ	<i>Lolium perenne</i> L.	●	●	●	●		●	●	3	帰化		
466			ネズミホソムギ	<i>Lolium x hybridum</i> Hausskn.						●	●	1	帰化		
467			ササクサ	<i>Lophatherum gracile</i> Brongn.	●	●	●								3
468			ミチシバ	<i>Melica oncei</i> Franch. et Sav.		●									2
469			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus f. <i>vimineum</i>	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		4
470			ヒメアシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A.Camus f. <i>willdenowianum</i> (Nees) Osada	●	●			●	●	●	11	在来		3
471			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.	●	●	●	●	●	●	●	6	一部移植・植栽	7	5
472			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽	6	4
473			イトススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson f. <i>gracillimus</i> (Hitche.) Ohwi							○	1	植栽		
474			ネズミガヤ	<i>Muhlenbergia japonica</i> Steud.	●	●	●	●		●	●	9	在来		4
475			チヂミザサ	<i>Opismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		3
476			ケチヂミザサ	<i>Opismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>undulatifolius</i> f. <i>undulatifolius</i>						●	●	13	在来		3
477			ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		5
478			オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
479			シマスズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i> Poir.	●	●	●	●	●	●	●	7	帰化		
480			アメリカスズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i> Flügge						●					
481			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud.	●	●	●	●		●	●	5	在来		4
482			ダチスズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i> Steud.						●		1	帰化		
483			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		4
484			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i> L.	●		●	●	●	●	●	2	在来		5
485			カナリークサヨシ	<i>Phalaris canariensis</i> L.						●	●	3	帰化		
486			アワガエリ	<i>Phleum paniculatum</i> Huds.	●	●				●					4
487			オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i> L.							●	1	帰化		
488			ヨシ	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来	7	5
489			ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i> Steud.			●								5

資料1 植物の年次別確認状況(7/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
490			ホテイチク	<i>Phyllostachys aurea</i> Carrière ex A. et C.Rivière	○	○	○	○							
491			モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i> (Carrière) Houz.	○	○	○	○	○	●	●	6	植栽・逸出		
492			ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd. ex Loud.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean ex Mitford) Stapf ex Rendle	○	○	○	○		○					
493			クロチク	<i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd. ex Loud.) Munro var. <i>nigra</i>		○	○	○	○						
494			マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i> (Rupr.) K.Koch	○	○	○	○	○	○	○	3	植栽		
495			アズマネザサ	<i>Pleiolobatus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		2
496			タイミンチク	<i>Pleiolobatus gramineus</i> (Bean) Nakai			○								
497			カンザンチク	<i>Pleiolobatus hindsii</i> (Munro) Nakai		○	○	○							
498			メダケ	<i>Pleiolobatus simonii</i> (Carrière) Nakai	●	●	●								3
499			ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i> Steud.						●	●	16	在来		3
500			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		4
501			ツルスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L. var. <i>reptans</i> Hausskn.							●	8	帰化		
502			オオイチゴツナギ	<i>Poa nipponica</i> Koidz.	●	●	●			●	●	1	在来		4
503			ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i>	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
504			イチゴツナギ	<i>Poa sphondyliodes</i> Trin.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
505			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> L.						●	●	8	帰化		
506			ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i> Nees ex Steud.						●	●	1	在来		5
507			ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino ex Nakai	●	●	●	●	●	○	○	2	植栽		3
508			ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino et Shibata		○	○	○	○						
509			クマザサ	<i>Sasa veitchii</i> (Carrière) Rehder	○	○	●	○	○	○	○	11	植栽		
510			ヒメノ	<i>Sasaella kogasensis</i> (Nakai) Nakai ex Koidz. var. <i>gracillima</i> Sad.Suzuki				○	○	○	○	1	植栽		
511			アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino					●						2
512			オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i> (Scop.) Holub						●	●	3	帰化		
513			ナリヒラダケ	<i>Semiarundinaria fastuosa</i> (Mitford) Makino ex Nakai	○	○	○	○							
514			イヌアワ	<i>Setaria chondrachne</i> (Steud.) Honda		●				●	●	1	在来		4
515			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
516			コツブキンエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i> (Schumach.) Stapf et C.E.Hubb.							●	1	在来		4
517			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i> (Poir.) Roem. et Schult.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
518			エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
519			ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv. f. <i>misera</i> Honda	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
520			オオエノコロ	<i>Setaria x pycnocoma</i> (Steud.) Henrard						●					4
521			オカメザサ	<i>Shibataea kumasaca</i> (Zoll. ex Steud.) Nakai	○	○	●	●	●	○	○	9	植栽		
522			セイバンモロコシ	<i>Sorghum propinquum</i> (Kunth) Hitchc.	●	●	●	●	●	●	●	5	帰化		
523			ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> (Steud.) Clayton	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
524			メガルカヤ	<i>Themeda triandra</i> Forssk. var. <i>japonica</i> (Willd.)	●	●	●	●							4
525			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi	●	●			●	●	●	2	在来		4
526			ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> (L.) C.C.Gmel.					●	●	●	1	帰化		
527			マコモ	<i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Turcz. ex Stapf	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		5
528			シバ	<i>Zoysia japonica</i> Steud.	●	●	●	●	●	●	●	9	一部植栽		4
529			オニシバ	<i>Zoysia macrostachya</i> Franch. et Sav.	●	●									
530			コウライシバ	<i>Zoysia pacifica</i> (Goudswaard) M.Hotta et Kuroki		○	○	○		○	○	6	植栽		6
531			フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i> Siebold et Zucc.						○	○	1	植栽		
532		ケシ	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植		3
533			ジロボウエンゴサク	<i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.					●						2
534			キケマン	<i>Corydalis heterocarpa</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi		●			●		●	1	移植		3
535			ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		3
536			ヤマエンゴサク	<i>Corydalis lineariloba</i> Siebold et Zucc.			●								2
537			ミヤマキケマン	<i>Corydalis pallida</i> (Thunb.) Pers. var. <i>tenuis</i> Yatabe		○	○								
538			シラユキゲシ	<i>Eomecon chionantha</i> Hance							●	4	植栽・逸出		
539			ヤマブキソウ	<i>Hylomecon japonica</i> (Thunb.) Prantl et Kündig		○	●	●		○					
540			タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R.Br.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		3
541			ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化	9	
542			ヒナゲシ	<i>Papaver rhoeas</i> L.			●								
543		アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.	●	●	●	●	●	●	●	11	一部植栽		2
544			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	●	●	●	●	●	●	●	7	在来	5	3
545			ゴウアケビ	<i>Akebia x pentaphylla</i> (Makino) Makino						●	●	2	在来		2
546			ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decne.	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽・逸出		3
547		ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		3
548			ツツラフジ	<i>Sinomenium acutum</i> (Thunb.) Rehder et E.H.Wilson	●	●	●	●	●	●	●				2
549		メギ	ヒロハヘビノボラス	<i>Berberis amurensis</i> Rupr.		○									
550			ナリヒラヒラギナンテン	<i>Berberis confusa</i> (Sprague) Laferr.							○	1	植栽		
551			ホソバヒラギナンテン	<i>Berberis fortunei</i> Lindl.	○	○	○		○	○	○	5	植栽		
552			ヒラギナンテン	<i>Berberis japonica</i> (Thunb.) R.Br.	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽・逸出		
553			メギ	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	●	●	●	●	●	●	○	4	植栽		3
554			サンカヨウ	<i>Diphylleia gravi</i> F.Schmidt					○						
555			イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> C.Morren var. <i>thunbergianum</i> (Miq.) Nakai	●	●	●	●	○	●	●	1	移植		2
556			トキワイカリソウ	<i>Epimedium sempervirens</i> Nakai ex F.Maek.		○	○	○							
557			ナンテン	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	○	○	○	○	○	●	●	17	植栽・逸出		
558			オタフクナンテン	<i>Nandina domestica</i> Thunb. 'Otafukunanten'							○	4	植栽		
559		キンボウゲ	ハナトリカブト	<i>Aconitum chinense</i> Siebold ex Paxton		○	○								
560			フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i> Franch.						○	○	2	植栽		1
561			ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> F.Schmidt	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽		2
562			シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i> (Lemoine) Lemoine var. <i>japonica</i> (Thunb.) Bowles et Stearn						○	○	2	植栽		
563			イチリンソウ	<i>Anemone nikoensis</i> Maxim.	●	●	●	●		●					2
564			キクザキイチゲ	<i>Anemone pseudoaltaica</i> H.Hara						○		1	植栽		
565			アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i> Regel		○									
566			レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i> Siebold et Zucc.		○	○	○							
567			エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> H.Hara					○						
568			リュウキンカ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>nipponica</i> H.Hara		○									
569			イヌショウマ	<i>Cimicifuga biternata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	●	●	●	●	●						2
570			サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i> (DC.) Wormsk. ex Turcz.	●	●	●	●							2
571			ミヤマハンショウヅル	<i>Clematis alpina</i> (L.) Mill. subsp. <i>ochotensis</i> (Pall.) Kuntze var. <i>fusijamana</i> Kuntze						○					
572			ボタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>apiifolia</i>	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		3
573			コボタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>biternata</i> Makino						●	●	2	在来		3

資料1 植物の年次別確認状況(8/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
574			カザグルマ	<i>Clematis patens</i> C.Morren et Decne.					●						3
575			センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i> DC.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		3
576			セリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>major</i> (Miq.) Satake	○	○	○	○							
577			セリバヒエンソウ	<i>Delphinium anthriscifolium</i> Hance	●	●	●	●	●	●	●	8	帰化		
578			ヒメユウキンカ	<i>Ficaria verna</i> Huds.						●		2	帰化		
579			クリスマスローズ	<i>Helleborus niger</i> L.							○	4	植栽		
580			ミスミソウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreb. var. <i>japonica</i> Nakai		○	○		○						
581			オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Berchtold et J.Presl							○	1	植栽		
582			イトキツネノボタン	<i>Ranunculus arvensis</i> L.						●					
583			ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.						●	●	5	在来		5
584			ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.		●	●	●	●						4
585			トゲミノキツネノボタン	<i>Ranunculus muricatus</i> L.	●	●				●	●	3	帰化		
586			タガラシ	<i>Ranunculus sceleratus</i> L.	●	●									5
587			キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i> H.Lév. var. <i>glaber</i> (H.Boissieu) Tamura		●	●	●		●	●	1	在来		5
588			ヒメウズ	<i>Semiaquilegia adoxoides</i> (DC.) Makino	●	●	●		●	●	●	7	一部移植		3
589			カラマツソウ	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>intermedium</i> Nakai	○	○	○	○		○					
590			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	●	●		●	●	●	●	2	移植		4
591			ノカラマツ	<i>Thalictrum simplex</i> L. var. <i>brevipes</i> H.Hara						●					4
592			キンバインソウ	<i>Trollius hondoensis</i> Nakai		○									
593		アワブキ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i> Siebold et Zucc.	●	●									2
594			ヤマビワ	<i>Meliosma rigida</i> Siebold et Zucc.			○								
595		ハス	ハス	<i>Nelumbo nucifera</i> Gaertn.						○	○	2	植栽		
596		スズカケノキ	アメリカスズカケノキ	<i>Platanus occidentalis</i> L.		○		○		○	○	3	植栽		
597			スズカケノキ	<i>Platanus orientalis</i> L.	○	○	○	○	○	○					
598			モミジバズカケノキ	<i>Platanus x acerifolia</i> (Aiton) Willd.	○	○		○	○	○	○	5	植栽		
599		ヤマグルマ	ヤマグルマ	<i>Trochodendron aralioides</i> Siebold et Zucc.					○						
600		ツゲ	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonica</i> (Mü ll.Arg. ex Miq.) Rehder et E.H.Wilson		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
601			ヒメツゲ	<i>Buxus microphylla</i> Siebold et Zucc. var. <i>microphylla</i>		○	○	○		○	○	1	植栽		
602			セイヨウツゲ	<i>Buxus sempervirens</i> L.						○	○	1	植栽		
603			フッキソウ	<i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	6	植栽		
604		フウ	フウ	<i>Liquidambar formosana</i> Hance						○	○	1	植栽		
605			モミジバフウ	<i>Liquidambar styraciflua</i> L.				○	○	○	○	1	植栽		
606		マンサク	ヒュウガミズキ	<i>Corylopsis pauciflora</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		
607			トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	5	植栽		
608			マルバノキ	<i>Disanthus cercidifolius</i> Maxim.				○	○						
609			イスノキ	<i>Distylium racemosum</i> Siebold et Zucc.						○	○	2	植栽		1
610			マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	4	植栽		
611			シナマンサク	<i>Hamamelis mollis</i> Oliv.			○								
612			トキワマンサク	<i>Loropetalum chinense</i> (R.Br.) Oliv.						○	○	3	植栽		
613			ベニバナトキワマンサク	<i>Loropetalum chinense</i> (R.Br.) Oliv. var. <i>rubrum</i> Yieh						○	○	6	植栽		
614		カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult.	○	○	○	○	○	○	●	11	植栽・逸出		1
615		ユズリハ	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.	○	○	○	○	○	●	●	16	植栽・逸出		1
616			ヒメユズリハ	<i>Daphniphyllum teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz						○	○	1	植栽		1
617		ボタン	ヤマシキヤクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda				○							
618		スグリ	コマガタケスグリ	<i>Ribes japonicum</i> Maxim.				○							
619			フサスグリ	<i>Ribes rubrum</i> L.				○	○						
620		ユキノシタ	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	●	●	●	●	●						4
621			トリアシショウマ	<i>Astilbe odontophylla</i> Miq.				○							1
622			アカショウマ	<i>Astilbe thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Miq. var. <i>thunbergii</i>							○	1	植栽		
623			ハルユキノシタ	<i>Saxifraga nipponica</i> Makino			○								
624			ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Curtis	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		2
625		ベンケイソウ	ベンケイソウ	<i>Hylotelephium erythrostictum</i> (Miq.) H.Ohba		○	○	○							
626			キリンソウ	<i>Phedimus aizoon</i> (L.) t Hart var. <i>floribundus</i> (Nakai) H.Ohba		○	○	○							6
627			コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		5
628			メノマンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> Siebold ex Miq. subsp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	●	●	●	●	●						6
629			タイトゴメ	<i>Sedum japonicum</i> Siebold ex Miq. subsp. <i>oryzifolium</i> (Makino) H.Ohba	○	○	○								
630			オノマンネングサ	<i>Sedum lineare</i> Thunb.	●	●	●	●							
631			マルバマンネングサ	<i>Sedum makinoi</i> Maxim.					●	●	●	2	一部植栽		2
632			メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i> Britton	●	●	●	●			●	1	帰化		
633			ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i> Bunge	●	●	●	●			●	2	帰化		
634			ヨコハママンネングサ	<i>Sedum</i> sp.						●	●	3	帰化		
635		タコノアシ	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i> Pursh	●	●	●								5
636		アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i> (Vell.) Veldc.					●	●	●	3	帰化		
637		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		3
638			ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
639			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		2
640			ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i> Pulliat ex Planch.		○	○								
641			エビツル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge	●	●	●	●		●	●	4	在来		3
642			サンカクツル	<i>Vitis flexuosa</i> Thunb.					●						3
643			ブドウ	<i>Vitis</i> spp.							○	1	植栽		
644		フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化		
645			ゲンナスイフウロ	<i>Geranium onoei</i> Franch. et Sav. var. <i>onoei</i> f. <i>onoei</i>				○							
646			ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i> L.						●	●	1	逸出		
647			ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		3
648		ミツバウツギ	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	●	●	●	●	●	●	●	6	一部移植・植栽		2
649			ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i> DC.			●	●	●	○	○	2	植栽		2
650		キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc.		●	●	●	●	●	○	3	植栽		3
651		ミソハギ	サルスベリ	<i>Lagerstroemia indica</i> L.		○	○	○	○	○	○	15	植栽		
652			ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i> (Koehne) Makino	○	○	○			○	○	1	植栽		5
653			エゾミソハギ	<i>Lythrum salicaria</i> L.						○	○	1	植栽		5
654			ザクロ	<i>Punica granatum</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	5	植栽		

資料1 植物の年次別確認状況(9/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
655		アカバナ	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	●	●	●		●						2
656		アカバナ	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.					●		●	1	在来		5
657		アカバナ	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim. subsp. <i>epilobioides</i>							●	1	在来		5
658		アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	8	帰化		
659		アカバナ	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i> Micheli	●	●	●	●							
660		アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i> Hill		●	●	●	●	●	●	3	帰化		
661		アカバナ	アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i> L.						●					
662		アカバナ	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér. ex Aiton		○	●	●	●	●	●	8	帰化		
663		アカバナ	ヒルザギツキミノウ	<i>Oenothera speciosa</i> Nutt.		○	○	○	●	●	●	4	帰化		
664		アカバナ	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i> Ledeb. ex Link	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
665		フトモモ	フェイジョア	<i>Acca sellowiana</i> (O.Berg) Burret							○	1	植栽		
666		フトモモ	ブラシノキ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) Sweet		○	○				○	1	植栽		
667		フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.							○	1	植栽		
668		マメ	ギンウアカシア	<i>Acacia bailevana</i> F.Muell.							○	2	植栽		
669		マメ	フサアカシア	<i>Acacia dealbata</i> Link					○						
670		マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i> L.	●	●									5
671		マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		3
672		マメ	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i> L.		○	○	○							
673		マメ	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) H.Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliv.)	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		3
674		マメ	ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i> L.	●	●	●	●							
675		マメ	ハナズオウ	<i>Cercis chinensis</i> Bunge	○	○	○	○	○	○	○	5	植栽		
676		マメ	カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i> (Makino) H.Ohashi		●									4
677		マメ	エニシダ	<i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link		○	○	○		○	○	1	植栽		
678		マメ	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.					●	●	●	6	帰化		
679		マメ	ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		2
680		マメ	ノアズキ	<i>Dunbaria villosa</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●							3
681		マメ	サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	○	○	○	●		●	●	1	逸出		6
682		マメ	ツルマメ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohashi	●	●	●		●						3
683		マメ	フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i> (Oliv.) H.Ohashi & R.R.Mill	●	●	●	●			●	2	一部植栽		2
684		マメ	ヌスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill var. <i>japonicum</i> (Miq.) H.Ohashi	●	●	●	●	●	●	●	4	一部植栽	3	2
685		マメ	ヤブハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H.Ohashi & R.R.Mill var. <i>mandshuricum</i> (Maxim.) H.Ohashi & R.R.Mill		●				●					2
686		マメ	トウコマツナギ	<i>Indigofera bungeana</i> Walp.					●		○	1	植栽		
687		マメ	コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.	●	●	●		●	●	●	3	一部植栽		4
688		マメ	マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i> (Maxim.) Makino					●						4
689		マメ	ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		4
690		マメ	ヒロハルシリソウ	<i>Lathyrus latifolius</i> L.					●	○		1	植栽		
691		マメ	ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽		3
692		マメ	キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i> Miq.	●	●	●	●	●	●	●	2	一部植栽		3
693		マメ	メダハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G.Don	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
694		マメ	ハイメダハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G.Don var. <i>serpens</i> (Nakai) Ohwi ex Shimabuku						●		1	在来		4
695		マメ	マルバハギ	<i>Lespedeza cvrtobotrya</i> Miq.	●	●			●	○	○	1	植栽		3
696		マメ	ツクシハギ	<i>Lespedeza homoloba</i> Nakai						○		1	植栽		
697		マメ	ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
698		マメ	シラハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>thunbergii</i> f. <i>alba</i> (Nakai) H.Ohashi et K.Ohashi											
699		マメ	ビツチュウヤマハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>thunbergii</i> f. <i>angustifolia</i> (Nakai) Ohwi							○	1	植栽		
700		マメ	ミヤギノハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> (DC.) Nakai subsp. <i>thunbergii</i> f. <i>thunbergii</i>	○	○	○	○	○	○	○	4	植栽		
701		マメ	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb.) Siebold ex Maxim.							●	1	在来		4
702		マメ	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i> (Thunb.) DC.						●	●	1	在来		4
703		マメ	ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> L. var. <i>japonicus</i> Regel		●	●								4
704		マメ	イヌエンジュ	<i>Maackia amurensis</i> Rupr. et Maxim.					○	○	○	2	植栽		3
705		マメ	コマツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i> L.		●									
706		マメ	ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i> L.	●	●									
707		マメ	ムラサキウマゴヤシ	<i>Medicago sativa</i> L.		●									
708		マメ	クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	●	●	●	●	●	●	●	10	在来	5	3
709		マメ	ハナエンジュ	<i>Robinia hispida</i> L.		○	○								
710		マメ	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	○	○	○	○	○	●	●	9	帰化・植栽		
711		マメ	トゲナシハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i> L. f. <i>inermis</i> (Mirb.) Rehder	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		
712		マメ	ハナセンナ	<i>Senna corimbosa</i> (Lam.) H.S.Irwin et Barneby						○	○	1	植栽		
713		マメ	クララ	<i>Sophora flavescens</i> Aiton				●							4
714		マメ	エンジュ	<i>Styphonolobium japonicum</i> (L.) Schott	○	○	●	○	○	●	●	12	植栽・逸出		
715		マメ	クスタマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i> Schreb.				●							
716		マメ	コマツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.							●	1	帰化		
717		マメ	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化		
718		マメ	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	13	帰化		
719		マメ	スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i> (L.) Gray	●	●	●	●	●	●	●	5	一部移植		4
720		マメ	ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
721		マメ	カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i> (L.) Schreb.		●	●	●	●	●	●	2	一部移植		4
722		マメ	ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i> A.Braun	●	●	●	●	●	○		1	植栽		3
723		マメ	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et H.Ohashi var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et H.Ohashi	●	●	●	●							4
724		マメ	フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		3
725		バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		4
726		バラ	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i> (Siebold et Zucc.) Endl. ex Walp.			○								2
727		バラ	ジュンベリー	<i>Amelanchier canadensis</i> (L.) Medik.							○	1	植栽		
728		バラ	アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.	○	○									
729		バラ	セイウミザクラ	<i>Cerasus avium</i> (L.) Moench			○								
730		バラ	カンヒザクラ	<i>Cerasus campanulata</i> (Maxim.) A.V.Vassil.				○	○	○	○	2	植栽		
731		バラ	マメザクラ	<i>Cerasus incisa</i> (Thunb.) Loisel. var. <i>incisa</i>	○	○	○				○	1	植栽		2
732		バラ	イトザクラ	<i>Cerasus itosakura</i> (Siebold) H.Ohta et S.Akiyama var. <i>itosakura</i> f. <i>itosakura</i>		○	○	○	○	○	○	5	植栽		

資料1 植物の年次別確認状況(10/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
733			エドヒガン	<i>Cerasus itosakura</i> (Siebold) Masam. et S.Suzuki var. <i>itosakura</i> f. <i>ascendens</i> (Makino) H.Ohba et H.Ikeda						○	○	1	植栽		3
734			ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura</i> (Siebold ex Koidz.) H.Ohba	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽		2
735			カワヅザクラ	<i>Cerasus lannesiana</i> Carrière 'Kawazu-zakura'							○	4	植栽		
736			スルガダイニオイ	<i>Cerasus lannesiana</i> Carrière 'Surugadai-odora' Miyoshi							○	1	植栽		
737			カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i> (Koehne) H.Ohba		○					○	1	植栽		2
738			コバザクラ	<i>Cerasus parvifolia</i> (Matsum.) H.Ohba						○					
739			オオヤマザクラ	<i>Cerasus sargentii</i> (Rehder) H.Ohba var. <i>sargentii</i>							○	1	植栽		
740			サトザクラ	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don	○	○	○	○	○	○	○	4	植栽		
741			サトザクラ(普賢象)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Albo-rosea'					○	○	○	2	植栽		
742			サトザクラ(御衣黄)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Goiko'						○	○	2	植栽		
743			サトザクラ(鬱金桜)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Grandiflora'					○	○					
744			サトザクラ(旗桜)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Hatazakura'					○						
745			サトザクラ(一葉)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Hisakura'							○	1	植栽		
746			サトザクラ(妹背)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Imose'						○	○	1	植栽		
747			サトザクラ(関山)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Kanzan'						○	○	1	植栽		
748			サトザクラ(紅華)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Kouka'					○	○	○	1	植栽		
749			サトザクラ(松月)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Superba'						○	○	1	植栽		
750			サトザクラ(八重曙)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Yae-akebono'					○	○	○	2	植栽		
751			サトザクラ(陽光)	<i>Cerasus serrulata</i> (Lindl.) G.Don 'Yokou'						○	○	1	植栽		
752			シラハタザクラ	<i>Cerasus</i> sp1.				○							
753			ハヤザキオオシマザクラ	<i>Cerasus</i> sp2.						○	○	1	植栽		
754			ヤエベニシダレ	<i>Cerasus spachiana</i> Lavalee ex H.Otto f. <i>spachiana</i> 'Yaebeishidare'						○	○	1	植栽		
755			コマツオトメ	<i>Cerasus spachiana</i> Lavalee ex H.Otto 'Komatsu-					○		○	1	植栽		
756			オオシマザクラ	<i>Cerasus speciosa</i> (Koidz.) H.Ohba	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽		2
757			コシノヒガンザクラ	<i>Cerasus subhirtella</i> (Miq.) Masam. et S.Suzuki f. <i>koshiensis</i> (Koidz.) T.Katsuki et H.Ikeda					○						
758			ジュウガツザクラ	<i>Cerasus subhirtella</i> (Miq.) Sokolov 'Autumnalis'			○	○		○	○	1	植栽		
759			オモイガワ	<i>Cerasus x subhirtella</i> 'Omoigawa'					○		○	1	植栽		
760			ソメイヨシノ	<i>Cerasus x yedoensis</i> (Matsum.) A.V.Vassil.	○	○	○	○	○	○	○	16	植栽		
761			ショウワザクラ	<i>Cerasus x yedoensis</i> (Matsum.) A.Vassiliev 'Shōwazakura'							○	1	植栽		
762			ジンダイアケボノ	<i>Cerasus x yedoensis</i> (Matsum.) Masam. & Suzuki 'Jindai-akebono'						○	○	1	植栽		
763			ヨウシュン	<i>Cerasus</i> 'Yoshun'						○					
764			クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		4
765			ボケ	<i>Chaenomeles speciosa</i> (Sweet) Nakai	○	○	○	○	○	○	○	13	植栽		
766			ベニシダン	<i>Cotoneaster horizontalis</i> Decne.		○	○	○	○						
767			サンザシ	<i>Crataegus cuneata</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○					
768			セイヨウサンザシ	<i>Crataegus laevigata</i> (Poir.) DC.		○	○	○							
769			ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.	○	○	○	○	○	●	●	15	植栽・逸出		
770			リキュウバイ	<i>Exochorda racemosa</i> (Lindl.) Rehder					○			1	植栽		
771			シモツクソウ	<i>Filipendula multijuga</i> Maxim.		○	○	○							
772			ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb.			●	●							3
773			ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.	●	●	●	●	●	●	○	14	植栽		1
774			ヤエヤマブキ	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC. f. <i>plena</i> C.K.Schneid.					○		○	2	植栽		
775			ハナカイドウ	<i>Malus halliana</i> Koehne			○	○	○	○	○	7	植栽		
776			ミカイドウ	<i>Malus micromalus</i> Makino			○	○							
777			イヌリンゴ	<i>Malus prunifolia</i> (Willd.) Borkh.		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
778			セイヨウリンゴ	<i>Malus pumila</i> Mill.					○	○	○	1	植栽		
779			カイドウ	<i>Malus</i> sp.	○	○	○	○	○						
780			ズミ	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold ex de Vriese			○	○							
781			ニワウメ	<i>Microcerasus japonica</i> (Thunb.) M.Roem.		○	○								
782			ユスラウメ	<i>Microcerasus tomentosa</i> (Thunb.) G.V.Eremin et	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		
783			コゴメウツギ	<i>Neillia incisa</i> (Thunb.) S.H.Oh	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		3
784			イヌザクラ	<i>Padus buergeriana</i> (Miq.) T.T.Yü et T.C.Ku	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		2
785			ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽		2
786			カナメモチ	<i>Photinia glabra</i> (Thunb.) Maxim.	○	○	○	○	○	○	○	12	植栽		
787			オオカナメモチ	<i>Photinia serratifolia</i> (Desf.) Kalkman						○	○	3	植栽		
788			レッドロビン	<i>Photinia x fraseri</i> W.J.Dress 'Red Robin'			○	○	○	○	○	7	植栽		
789			オヘビイチゴ	<i>Potentilla anemonifolia</i> Lehm.	●	●	●	●	●	●		1			4
790			キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	●	●	●	●	●	●	●	1	移植		4
791			ミツバツグリ	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
792			ヘビイチゴ	<i>Potentilla heblichigo</i> Yonek. et H.Ohashi	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
793			ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i> (Andrews) Th.Wolf	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		4
794			カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>	●	●			●	●	●	4	一部植栽		2
795			ベニスモモ	<i>Prunus cerasifera</i> Ehrh. var. <i>atropurpurea</i>						○		1	植栽		
796			セイヨウスモモ	<i>Prunus domestica</i> L.			○								
797			ウメ	<i>Prunus mume</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	15	植栽		
798			コウバイ	<i>Prunus mume</i> Siebold et Zucc. 'Benichidori'						○	○	2	植栽		
799			モモ・ハナモモ	<i>Prunus persica</i> (L.) Batsch	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽		
800			スモモ	<i>Prunus salicina</i> Lindl.			○		○	○	○	2	植栽		
801			カリン	<i>Pseudocarya sinensis</i> (Thouin) C.K.Schneid.		○	○	○	○	○	○	4	植栽		
802			タチバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i> (Franch.) C.K.Schneid.	○		○	○		●	●	7	帰化・植栽		
803			トキワサンザシ	<i>Pyracantha coccinea</i> M.Roem.		○	○	○	○	○	●	7	帰化・植栽		
804			カザンデマリ	<i>Pyracantha crenulata</i> (D.Don) M.Roem.						○					
805			ナシ	<i>Pyrus pyrifolia</i> (Burm.f.) Nakai var. <i>culta</i> (Makino)	○	○					○	1	植栽		
806			シャリンバイ	<i>Raphiolepis indica</i> (L.) Lindl. var. <i>umbellata</i> (Thunb.) H.Ohashi	○	○	○	○	○	●	●	13	植栽・逸出		1
807			マルバノシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino f. <i>ovata</i> (Briot) C.K.Schneid.		○				○					
808			シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○	○	●	○	10	植栽		
809			モッコウバラ	<i>Rosa banksiae</i> R.Br.						○	○	4	植栽		
810			デリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i> Rochebr. et Franch. ex Crép.		●			●						3
811			ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		3
812			ハマナス	<i>Rosa rugosa</i> Thunb.		○									6
813			クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge	●	●	●	●	●	●					3
814			クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	8	一部移植		3
815			バライチゴ	<i>Rubus illecebrosus</i> Focke	○	○	○	○	○						
816			ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i> L.f.	●	●		●	●	●	●	7	在来	5	3

資料1 植物の年次別確認状況(11/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
817			モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>coptophyllus</i> (A.Gray) Kuntze ex Koidz.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来	5	3
818			ナガバモミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>palmatus</i>		●	●	○	○	○					
819			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	6	一部移植		3
820			エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i> Maxim.					●	●	●	1	移植		3
821			カジイチゴ	<i>Rubus trifidus</i> Thunb.	○	○	●	○	○	○	○	6	一部植栽		3
822			ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	1	移植	6	4
823			ホザキナナカマド	<i>Sorbaria sorbifolia</i> (L.) A.Braun var. <i>stellipila</i> Maxim.	○	○	○	○							
824			ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl.		○	○	○	○	○					
825			コデマリ	<i>Spiraea cantoniensis</i> Lour.	○	○	○	○	○	○	○	10	植栽		
826			イブキシモツケ	<i>Spiraea dasyantha</i> Bunge	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
827			シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> L.f.	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽		3
828			トサシモツケ	<i>Spiraea nipponica</i> Maxim. var. <i>tosaensis</i> (Yatabe) Makino					○	○	○	1	植栽		
829			シジミバナ	<i>Spiraea prunifolia</i> Siebold et Zucc.		○	○	○		○					
830			ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i> Siebold ex Blume	○	○	○	○	○	●	●	13	植栽・逸出		
831		グミ	ツルグミ	<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.		●	●	●	●	●	●	2	一部植栽		3
832			オオバグミ	<i>Elaeagnus macrophylla</i> Thunb.					○	○	○	1	植栽		
833			ナツグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		2
834			ダイオウグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>gigantea</i> Araki						○					
835			トウグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb. var. <i>hortensis</i> (Maxim.) Servett.	○	○				○	○	2	植栽		2
836			ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.	○	○	○	○	○	●	●	7	植栽・逸出		3
837			アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> Thunb. var. <i>umbellata</i>					○	●	●	1	在来		3
838		クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zucc.		●									3
839			ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i> Thunb.						○	○	1	植栽		1
840			ナツメ	<i>Ziziphus jujuba</i> Mill. var. <i>inermis</i> (Bunge) Rehder	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
841		ニレ	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai	○	○	○	○		○					
842			ヨーロッパニレ	<i>Ulmus minor</i> Mill.							○				
843			アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i> Jacq.	○	○	○	○	○	○	●	11	植栽・逸出		
844			ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		1
845		アサ	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		2
846			エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		2
847			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		3
848		クワ	ツルコウゾ	<i>Broussonetia kaempferi</i> Siebold		●				○		1	植栽		
849			ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i> Hance	●	●	●	●	●	●	●	10	一部植栽		3
850			カシノキ	<i>Broussonetia papyrifera</i> (L.) L'Hér. ex Vent.						○	○	1	植栽		3
851			コウゾ	<i>Broussonetia x kazinoki</i> Siebold	○	○	●	●		○					3
852			クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
853			イチジク	<i>Ficus carica</i> L.		○	○	○		○	○	3	植栽・逸出		
854			イヌビワ	<i>Ficus erecta</i> Thunb. var. <i>erecta</i>			●	●	●	●	●	7	一部植栽		2
855			イタビカズラ	<i>Ficus sarmentosa</i> Buch.-Ham. ex Sm. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) H.Ohashi						○					1
856			ヒメイタビ	<i>Ficus thunbergii</i> Maxim.						○	●	3	植栽・逸出		3
857			ハリグワ	<i>Maclura tricuspidata</i> Carrière						○	○	1	植栽		
858			マクワ	<i>Morus alba</i> L.	○	○	○	●	●	○	○	2	植栽		
859			シダレグワ	<i>Morus alba</i> L. 'Pendula'						○	○	1	植栽		
860			ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		3
861		イラクサ	オニヤブマオ	<i>Boehmeria arenicola</i> Satake	●	●	●								
862			ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> (L.f.) Miq. var. <i>longispica</i> (Steud.) Yahara	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		3
863			アオカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>concolor</i> Makino						●	●	1	在来		3
864			カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>concolor</i> Makino f. <i>nipponnivea</i> (Koidz.) Kitam. ex H.Ohba	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		3
865			ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>nivea</i>					●	●	●	1	在来		3
866			メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i> (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright		●	●		●	●					3
867			アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i> (Pamp.) W.T.Wang	●	●	●	●							1
868			コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i> (Thunb.) Thunb.	●	●	●	●	●						1
869			ラセイタソウ	<i>Boehmeria splitgerbera</i> Koidz.				●							6
870			ウワバミソウ	<i>Elatostema involucreatum</i> Franch. et Sav.	●	●	●	●	●		○	1	植栽		1
871			ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i> (Siebold et Zucc.) Wedd.	●	●	●	●	●						1
872			ガテンソウ	<i>Nanocnide japonica</i> Blume	●	●	●	●							1
873			ミズ	<i>Pilea hamaoi</i> Makino	●	●	●	●	●						3
874			アオミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		3
875			イラクサ	<i>Urtica thunbergiana</i> Siebold et Zucc.					●						2
876		ウリ	ゴキソウ	<i>Actinostemma tenerum</i> Griff.				●							5
877			アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		2
878			ヒョウタン	<i>Lagenaria siceraria</i> (Molina) Standl. var. <i>siceraria</i>							○	1	植栽		
879			ミヤマニガウリ	<i>Schizopepon bryoniifolius</i> Maxim.						●					3
880			ハヤトウリ	<i>Sechium edule</i> (Jacq.) Sw.							○	1	植栽		
881			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化		
882			カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
883			キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		3
884			スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y.Liu	●	●	●		●		●	2	在来		5
885		シュウカイドウ	シュウカイドウ	<i>Begonia grandis</i> Dryand.					○	●					
886		ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		2
887			ツブラジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky	○	○	○								1
888			スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		1
889			ブナ	<i>Fagus crenata</i> Blume					○	○	○	1	植栽		
890			イヌブナ	<i>Fagus japonica</i> Maxim.		○	○	○	○	○	○				
891			マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		
892			アカガシ	<i>Quercus acuta</i> Thunb.	●	●	●	●	●		○	1	植栽		1
893			クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.	●	●	●	●	●	●	●	15	一部植栽		2
894			ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i> Blume		○		○			○	1	植栽		2
895			カシワ	<i>Quercus dentata</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
896			イチイガシ	<i>Quercus gilva</i> Blume					○						1
897			アラカシ	<i>Quercus glauca</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	13	一部植栽		1

資料1 植物の年次別確認状況(12/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
898			シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		1
899			アメリカガシワ	<i>Quercus palustris</i> Münchh.						○	○	1	植栽		
900			ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i> A.Gray	○	○	○	○	○	○	○	9	植栽		
901			オウシュウナラ	<i>Quercus robur</i> L.						○	○	1	植栽		
902			ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i> Blume		●	●	●							1
903			コナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray	●	●	●	●	●	●	●	14	一部植栽		2
904	ヤマモモ	ヤマモモ		<i>Morella rubra</i> Lour.		●	○	○	○	○	○	12	植栽		1
905	クルミ	ベカン		<i>Carva illinoensis</i> (Wangenh.) K.Koch	○	○	○								
906		オニグルミ		<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Komatsu) Kitam.	●	●	●	●	●	●	●	7	一部移植・植栽		5
907		カシグルミ		<i>Juglans regia</i> L.			○	○	○	○	○	1	植栽		
908		サワグルミ		<i>Pterocarya rhoifolia</i> Siebold et Zucc.				●							
909		シナサワグルミ		<i>Pterocarya stenoptera</i> C.DC.					○	○	○	1	植栽		
910	カバノキ	ハンノキ		<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽		5
911		シラカンバ		<i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.)	○	○	○	○	○	○	○	3	植栽		
912		クマシデ		<i>Carpinus japonica</i> Blume	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		2
913		アカシデ		<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		2
914		シダレアカシデ		<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume f. <i>pendula</i> (Miyoshi) Sugim.						○					
915		イヌシデ		<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	●	●	●	●	●	●	●	14	一部植栽		2
916		ハシバミ		<i>Corylus heterophylla</i> Fisch. ex Besser var. <i>thunbergii</i> Blume	○	○									2
917		ツノハシバミ		<i>Corylus sieboldiana</i> Blume var. <i>sieboldiana</i>			●								
918	ニシキギ	ツルウメモドキ		<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>orbiculatus</i>	○	●	●	●	●	●	●	5	在来		2
919		ニシキギ		<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>alatus</i>	○	○	○	○	○	○	●	8	移植・植栽		2
920		コマユミ		<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold var. <i>alatus</i> f. <i>striatus</i> (Thunb.) Makino	●	●	●		●	●	●	2	一部植栽		2
921		ツルマサキ		<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.-Mazz.	●	●	●			●	●	2	一部植栽		2
922		マサキ		<i>Euonymus japonicus</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	12	植栽		6
923		フイリマサキ		<i>Euonymus japonicus</i> Thunb. f. <i>aureovariegatus</i> (Regel) Rehder			○				○	2	植栽		
924		ツリバナ		<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>oxyphyllus</i>	●	●			●	●	●	1	在来		2
925		オオツリバナ		<i>Euonymus planipes</i> (Koehne) Koehne						○					
926		マユミ		<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	●	●	●	●	●	●	●	11	一部植栽		2
927	カタバミ	イモカタバミ		<i>Oxalis articulata</i> Savigny			●	●	●	●	●	11	帰化・植栽		
928		ハナカタバミ		<i>Oxalis bowiei</i> Herb.	●	●	●		●	●	●	1	帰化		
929		ペニカタバミ		<i>Oxalis braziliensis</i> Lodd. ex Knowles et Westcott						●	●	2	帰化		
930		カタバミ		<i>Oxalis corniculata</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
931		ウスアカカタバミ		<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>atropurpurea</i> (Planch.) Van Houtte ex Hegi	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		4
932		アカカタバミ		<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> (Makino) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		4
933		ムラサキカタバミ		<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig	●	●	●	●	●	●	●	17	帰化		
934		オッドチカタバミ		<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.	○				●	●	●	17	帰化		
935		ミヤマカタバミ		<i>Oxalis griffithii</i> Edgew. et Hook.f.			○	○							
936		オオキバナカタバミ		<i>Oxalis pes-caprae</i> L.			●			●	●	4	帰化		
937		フウカタバミ		<i>Oxalis purpurea</i> L.						○		1	植栽		
938	ホルトノキ	ホルトノキ		<i>Elaeocarpus zollingeri</i> K.Koch						○	○	2	植栽		1
939	トウダイグサ	エノキグサ		<i>Acalypha australis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
940		オオバベニガシワ		<i>Alchornea davidii</i> Franch.				○	○		○	1	植栽		
941		ニシキソウ		<i>Chamaesyce humifusa</i> (Willd. ex Schldtl.) Prokh.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
942		コニシキソウ		<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化		
943		オオニシキソウ		<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small	●	●	●	●	●	●	●	4	帰化		
944		ハイニシキソウ		<i>Chamaesyce prostrata</i> (Aiton) Small		●				●	●	1	帰化		
945		ショウジョウソウ		<i>Euphorbia cyathophora</i> Murray						●	●	4	植栽・逸出		
946		トウダイグサ		<i>Euphorbia helioscopia</i> L.					●						4
947		タカトウダイ		<i>Euphorbia lasiocaula</i> Boiss.	●	●	●		●	●					3
948		ナツトウダイ		<i>Euphorbia sieboldiana</i> C.Morren et Decne.	●	●	●	●							3
949		アカメガシワ		<i>Mallotus japonicus</i> (L.f.) Müll.Arg.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
950		シラキ		<i>Neoshirakia japonica</i> (Siebold et Zucc.) Esser						○					
951		ナンキンハゼ		<i>Triadica sebifera</i> (L.) Small					○	●	○	3	植栽		
952		アブラギリ		<i>Vernicia cordata</i> (Thunb.) Airy Shaw				○							
953	ミカンソウ	ヒトツバハギ		<i>Flueggea suffruticosa</i> (Pall.) Baill.	●	●	●	●	●						3
954		キダチコミカンソウ		<i>Phyllanthus amarus</i> Schumacher					●	●	●	3	帰化		
955		コミカンソウ		<i>Phyllanthus lepidocarpus</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		4
956		ナガエコミカンソウ		<i>Phyllanthus tenellus</i> Roxb.						●	●	10	帰化		
957		ヒメミカンソウ		<i>Phyllanthus ussuriensis</i> Rupr. et Maxim.						●	●	2	在来		4
958	アマ	アマ		<i>Linum usitatissimum</i> L.						●					
959	オトギリソウ	トモエソウ		<i>Hypericum ascyron</i> L. subsp. <i>ascyron</i> var. <i>ascyron</i>			○		○	●					4
960		セイヨウキンシバイ		<i>Hypericum calycinum</i> L.			○	○		○					
961		オトギリソウ		<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
962		ヒメオトギリ		<i>Hypericum japonicum</i> Thunb.	○	○	●	●							
963		コケオトギリ		<i>Hypericum laxum</i> (Blume) Koidz.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		5
964		ビヨウヤナギ		<i>Hypericum monogynum</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	9	植栽		
965		キンシバイ		<i>Hypericum patulum</i> Thunb.		○	○	○	○	○	○	3	植栽		
966		ヒベリクム・ヒドコート		<i>Hypericum patulum</i> Thunb. 'Hidcote'			○		○	○	○	3	植栽		
967		コゴメバオトギリ		<i>Hypericum perforatum</i> L. subsp. <i>chinense</i> N.Robson						●		1	帰化		
968	スミレ	エゾノタチツボスミレ		<i>Viola acuminata</i> Ledeb.						○	○				
969		アリアケスミレ		<i>Viola betonicifolia</i> Sm. var. <i>albescens</i> (Nakai) F.Maek. et T.Hashim.	●	●	●	●	●	●					4
970		ナガバノスミレサイシン		<i>Viola bissetii</i> Maxim.	●	●	●	●							1
971		ヒゴスミレ		<i>Viola chaerophylloides</i> (Regel) W.Becker var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino		○			○	○					2
972		エイザンスミレ		<i>Viola elzanensis</i> (Makino) Makino	○	○	○	○							2
973		タチツボスミレ		<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i>	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		2
974		サクラスミレ		<i>Viola hirtipes</i> S.Moore			○								
975		アオイスミレ		<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu						●	●	1	在来		2
976		ヒメスミレ		<i>Viola inconspicua</i> Blume subsp. <i>nagasakiensis</i> (W.Becker) J.C.Wang et T.C.Huang					●	●	●	4	在来		4
977		コスミレ		<i>Viola japonica</i> Langsd. ex DC.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		3
978		マルバズミレ		<i>Viola keiskei</i> Miq.	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		2
979		スミレ		<i>Viola mandshurica</i> W.Becker	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		4

資料1 植物の年次別確認状況(13/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
980			ニオイタチツボスミレ	<i>Viola obtusa</i> Makino	●	●	●		●						4
981			ニオイスマレ	<i>Viola odorata</i> L.	○	○	○	●	●	●					
982			アカネスマレ	<i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.						●					4
983			フモトスミレ	<i>Viola sieboldii</i> Maxim.		●	○	○							2
984			アメリカスミレサイシン	<i>Viola sororia</i> Willd.					●	●	●	12	帰化・植栽		
985			スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i> Maxim.		○	○	○	○						
986			ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		5
987			シハイスミレ	<i>Viola violacea</i> Makino var. <i>violacea</i>	●	●	●	○							2
988			ノジスミレ	<i>Viola vedoensis</i> Makino				●		●	●	3	在来		4
989			ヒカゲスミレ	<i>Viola vezoensis</i> Maxim.		●	●	●							1
990	ヤナギ		イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.	●	●	●	●	●	●	●	9	一部植栽		2
991			セイヨウハコヤナギ	<i>Populus nigra</i> L. var. <i>italica</i> (Duroi) Koehne	○	○	○	○		○					
992			シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽		
993			ウンリウヤナギ	<i>Salix babylonica</i> L. var. <i>matsudana</i> (Koidz.) H. Ohashi et Yonek. 'Tortuosa'	○	○	○	○		○	○	1	植栽		
994			バコヤナギ	<i>Salix caprea</i> L.					●						3
995			オオバヤナギ	<i>Salix cardiophylla</i> Trautv. et C.A.Mey. var. <i>urbaniana</i> (Seemen) Kudô			○	○							
996			アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i> Kimura	●	●		●	●	●	●	2	在来		5
997			コゴメヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i> Seemen subsp. <i>serissifolia</i> (Kimura) H. Ohashi et H. Nakai							●	1	在来		5
998			ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i> Franch. et Sav.					●	○	○	1	植栽		5
999			ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i> Miq.			●		●	○	●	3	一部植栽		5
1000			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i> Thunb.					●	○	○	2	植栽		5
1001			シバヤナギ	<i>Salix japonica</i> Thunb.							○	1	在来		1
1002			カワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> Seemen subsp. <i>gymnolepis</i> (H.Lév. et Vaniot) H. Ohashi et Yonek.					●	●	●	1	在来		5
1003	トケイソウ		トケイソウ	<i>Passiflora caerulea</i> L.							○	1	植栽		
1004	アブラナ		セイヨウカラシナ	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.	●	●		●		●	●	2	帰化		
1005			セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i> L.		●	●		●	●	●	5	帰化・植栽		
1006			アブラナ	<i>Brassica rapa</i> L. var. <i>oleifera</i> DC.	○	○	○	●	●						
1007			ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		4
1008			ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.					●	●	●	12	帰化		
1009			ジャニンジン	<i>Cardamine impatiens</i> L.			●	●							1
1010			タネツケバナ	<i>Cardamine scutella</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		5
1011			イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i> L.	●	●	●	●	●						4
1012			ヒメゲンバイナズナ	<i>Lepidium apetalum</i> Willd.		●									
1013			カラクサナズナ	<i>Lepidium didymum</i> L.					●						
1014			マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	8	帰化		
1015			オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i> R.Br.			●	●	●	●	●	3	帰化	11	
1016			ショカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O.E.Schulz	●	●	●	●	●	●	●	11	帰化・植栽		
1017			ミチバタガラシ	<i>Rorippa dubia</i> (Pers.) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1018			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		4
1019			スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i> (L.) Besser				●	●	●	●	3	在来		5
1020			ノハラガラシ	<i>Sinapis arvensis</i> L.		●									
1021			カキネガラシ	<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop.		●			●						
1022			イヌカキネガラシ	<i>Sisymbrium orientale</i> L.	●	●			●		●	1	帰化		
1023			グンバイナズナ	<i>Thlaspi arvense</i> L.		●	●	●							4
1024			ハタザオ	<i>Turritis glabra</i> L.		●	●								4
1025	ウルシ		スモークツリー	<i>Cotinus coggygria</i> Scop.							○	1	植栽		
1026			ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T.Yamaz.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		3
1027			ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> Greene	●	●			●						
1028			ハゼノキ	<i>Toxicodendron succedaneum</i> (L.) Kuntze	○	○	○	○	○	●	●	10	植栽・逸出		3
1029			ヤマハゼ	<i>Toxicodendron sylvestri</i> (Siebold et Zucc.) Kuntze					○	○	●	1	在来		2
1030			ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i> (Miq.) Kuntze	●	●	●	●	●	●	●				2
1031			ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i> (Stokes) F.A.Barkley	○	○	○								
1032	ムクロジ		オオモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carrière	○	○				○	○	6	植栽		
1033			ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carrière var. <i>matsumurae</i> (Koidz.) K.Ogata	○	○	○			○					
1034			チリメンカエデ	<i>Acer amoenum</i> Carrière var. <i>matsumurae</i> (Koidz.) K.Ogata 'Dissectum'						○					
1035			トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i> Miq.	○	○	○	○	○	○	●	13	植栽・逸出		
1036			チドリノキ	<i>Acer carpinifolium</i> Siebold et Zucc.						○		1	植栽		
1037			ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i> (Siebold et Zucc.) K.Koch			○	○							
1038			ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i> Siebold et Zucc.					○						2
1039			カジカエデ	<i>Acer diabolicum</i> Blume ex K.Koch			○	○							
1040			ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i> Thunb.	○	○	○			○	○	1	植栽		
1041			メグスリノキ	<i>Acer maximowiczianum</i> Miq.	○	○	○			○	○	1	植栽		
1042			エンコウカエデ	<i>Acer mono</i> Maxim. var. <i>dissectum</i> (Wesm.) Honda				○	○	○	○	1	植栽		
1043			イタヤカエデ	<i>Acer mono</i> Maxim. var. <i>heterophyllum</i> (Nakai) Hassegawa	○	○		○	○	○	○	1	植栽		2
1044			トネリコバノカエデ	<i>Acer negundo</i> L.		○	○	○		○	○	1	植栽		
1045			イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		1
1046			ベニシダレモミジ	<i>Acer palmatum</i> Thunb. var. <i>dissectum</i> Koidz.						○	○	1	植栽		
1047			ノムラカエデ	<i>Acer palmatum</i> Thunb. var. <i>sanguineum</i> Nakai						○	○	4	植栽		
1048			オニイタヤ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i> (Pax) H. Ohashi			○			○					
1049			ハナノキ	<i>Acer pycnanthum</i> K.Koch		○	○	○							
1050			サトウカエデ	<i>Acer saccharum</i> Marshall						○					
1051			オオイタヤメイゲツ	<i>Acer shirasawanum</i> Koidz.		○	○	○							
1052			コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i> Miq.		○					○	1	植栽		
1053			マロニエ	<i>Aesculus hippocastanum</i> L.		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1054			トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume	○	○	○	○	○	○	○	10	植栽		
1055			フウセンカズラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i> L.					○	●	●	4	植栽・逸出		
1056			モクゲンジ	<i>Koeleruteria paniculata</i> Laxm.	○	○	○	○							
1057			ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.	○	○	○	○	○	●	●	9	植栽・逸出		
1058	ニガキ		ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	○	○	○	○	○	●	●	3	帰化・植栽		
1059			ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i> (D.Don) Benn.	○	○	○	○	○	●	●	4	一部植栽		2
1060	センダン		センダン	<i>Melia azedarach</i> L.	○	○	○	○	○	●	●	14	植栽・逸出		
1061			チャンチン	<i>Toona sinensis</i> (A.Juss.) M.Roem.					○	○					
1062	ミカン		ダイダイ	<i>Citrus aurantium</i> L.	○	○									

資料1 植物の年次別確認状況(14/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1063			ハナユ	<i>Citrus hanayu</i> Hort. ex Shirai							○	1	植栽		
1064			キンカン	<i>Citrus japonica</i> Thunb.			○		○	○	○	3	植栽		
1065			ユズ	<i>Citrus junos</i> (Makino) Siebold ex Tanaka			○	○	○	○	○	3	植栽		
1066			ナツミカン	<i>Citrus natsudaikai</i> Hayata	○	○	○	○	○	●	●	9	植栽・逸出		
1067			カラタチ	<i>Citrus trifoliata</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1068			ウンシュウミカン	<i>Citrus unshiu</i> (Swingle) Marcow.		○	○	○	○	○	○	2	植栽		
1069			コクサギ	<i>Orixa japonica</i> Thunb.	●					●	●	1	移植		1
1070			キハダ	<i>Phellodendron amurense</i> Rupr.					○						
1071			ツルシキミ	<i>Skimmia japonica</i> Thunb. var. <i>intermedia</i> Komatsu f. <i>repens</i> (Nakai) Ohwi		○	○								
1072			ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>				○							1
1073			カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	4	一部植栽		3
1074			イワザンショウ	<i>Zanthoxylum beecheyanum</i> K.Koch var. <i>beecheyanum</i>							○	1	植栽		
1075			サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	●	●	●	●	●	●	●	15	一部植栽		2
1076			アサクラザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC. f. <i>inerme</i> (Makino) Makino		○	○	○							
1077			イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.			●	●		●					3
1078		アオイ	ウキツリボク	<i>Abutilon megapotamicum</i> A.St.Hil. et Naudin							○	1	植栽		
1079			タチアオイ	<i>Alcea rosea</i> L.						●	●	4	植栽・逸出		
1080			カボック	<i>Ceiba pentandra</i> (L.) Gaertn.							○	1	植栽		
1081			カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植		4
1082			アオギリ	<i>Firmiana simplex</i> (L.) W.F.Wight	○	○	●	○	○	○	○	9	植栽・逸出		
1083			モミジアオイ	<i>Hibiscus coccineus</i> Walter			○	○			○	3	植栽		
1084			フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i> L.	○	○	○	○	○	○	●	7	植栽・逸出		
1085			スイフヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i> L. 'Versicolor'					○	○	○	1	植栽		
1086			ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	13	植栽		
1087			ゼニアオイ	<i>Malva mauritiana</i> L.						●	●	1	植栽・逸出		
1088			フユアオイ	<i>Malva verticillata</i> L.						●					
1089			アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i> L.						●					
1090			シナノキ	<i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonk.		○	○	○	○						
1091			ボダイジュ	<i>Tilia miqueliana</i> Maxim.	○	○	○	○	○	○	○	2	植栽		
1092		ジンチョウゲ	ジンチョウゲ	<i>Daphne odora</i> Thunb.		○	○	○	○	○	○	7	植栽		
1093			オニシバリ	<i>Daphne pseudomezereum</i> A.Gray	●										2
1094			ミツマタ	<i>Edgeworthia chrysantha</i> Lindl.	○	○	○					1	植栽		7
1095		ビャクダン	ヤドリギ	<i>Viscum album</i> L. subsp. <i>coloratum</i> Kom.					●						2
1096		ギョリュウ	ギョリュウ	<i>Tamarix tenuissima</i> Nakai			○	○							
1097		タデ	シャクチリソバ	<i>Fagopyrum dibotrys</i> (D.Don) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化・植栽		
1098			ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i> Moench			●			●					
1099			イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	9	一部移植・植栽		3
1100			ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i> (Thunb.) Haraldson	○	○			●	●	●	1	帰化		
1101			ワイヤーブランツ	<i>Muehlenbeckia complexa</i> (A.Cunn.) Meisn.			●	●	●		○	1	植栽		
1102			ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross	●	●	●	●	●	●	●	5	帰化・植栽		
1103			ツルソバ	<i>Persicaria chinensis</i> (L.) H.Gross	●	●	○	○							4
1104			ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		3
1105			ギンミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee f. <i>albiflora</i> (Hiyama) Yonek.			●	●	●	●	●	3	在来		3
1106			ヤナギヌカバ	<i>Persicaria foliosa</i> (H.Lindb.) Kitag. var. <i>paludicola</i> (Makino) H.Hara				●	●						5
1107			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Delarbre	●	●	●	●			●	1	移植		5
1108			シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> (Meisn.) Nakai ex Ohki						●	●	2	一部移植		5
1109			サナエタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Delarbre var. <i>incana</i> (Roth) H.Hara						●	●	1	在来		4
1110			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Delarbre var. <i>lapathifolia</i>	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
1111			イヌタデ	<i>Persicaria longisetia</i> (Brujin) Kitag.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
1112			ハルタデ	<i>Persicaria maculosa</i> Gray subsp. <i>hirticaulis</i> (Danser) S.Ekman et T.Knutsson var. <i>pubescens</i> (Makino)		●	●	●							4
1113			シンミズヒキ	<i>Persicaria neofiliformis</i> (Nakai) Ohki						●	●	1	移植		3
1114			サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> (Lour.) Sojak subsp. <i>conspicua</i> (Nakai) Yonek.		●	●	●			○	1	植栽		5
1115			オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i> (L.) Spach	●	●	●	●	●	●	●	1	帰化		
1116			イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H.Gross	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		4
1117			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross	●	●	●	●	●	●	●	9	在来		3
1118			ボントクタデ	<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	2	移植・植栽		5
1119			ウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> (L.) H.Gross var. <i>sibirica</i> (Meisn.) Miyabe				●							5
1120			ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i> (Meisn.) H.Gross	●	●	●	●	●	●	●				4
1121			ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross	●	●	●	●	●	●	○	1	植栽	7	5
1122			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> L. subsp. <i>aviculare</i>	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
1123			スイバ	<i>Rumex acetosa</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1124			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L. subsp. <i>pyrenaicus</i> (Pourret ex Lapeyr.) Akeroyd	●	●	●	●		●	●	1	帰化		
1125			アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray	●	●	●	●	●	●	●	7	帰化		
1126			ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i> L.	●	●	●			●	●	2	帰化		
1127			ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1128			エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i> L.				●	●	●	●	7	帰化		
1129		ナデシコ	ノミツツリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i> L.	●	●	●		●	●	●	6	在来		4
1130			ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1131			オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化		
1132			カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams		●	●	●			○	1	植栽		4
1133			ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		4
1134			ハマツメクサ	<i>Sagina maxima</i> A.Gray				●		●	●	3	在来		4
1135			ムシトナデシコ	<i>Silene armeria</i> L.	●	●	●	●			●	1	帰化		
1136			ナンバンハコベ	<i>Silene baccifera</i> (L.) Roth var. <i>japonica</i> (Miq.) H.Ohashi et H.Nakai	●	●									3
1137			スイセンノウ	<i>Silene coronaria</i> (L.) Clairv.							○	1	植栽		
1138			フシグロセンノウ	<i>Silene miqueliana</i> (Rohrb.) H.Ohashi et H.Nakai		●									2
1139			ノハラツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> L. var. <i>arvensis</i>						●					
1140			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
1141			コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		4

資料1 植物の年次別確認状況(15/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1142			ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i> Weihe	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
1143			イヌハコベ	<i>Stellaria pallida</i> (Dumort.) Crép.							●	2	帰化		
1144			ハノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulata</i> (Thunb.) Fenzl	●	●	●	●							4
1145		ヒユ	ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>fauriei</i> (H.Lév. et Vaniot)		●	●	●	●	●	●	16	在来		3
1146			ヒカゲイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miq.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		3
1147			イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		4
1148			ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
1149			アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i> L.	●		●	●							
1150			ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i> L.		●	●								
1151			ヒユ	<i>Amaranthus tricolor</i> L. var. <i>mangostanus</i> (L.) Aellen				●							
1152			ホナガイヌビユ	<i>Amaranthus viridis</i> L.	●	●	●	●		●	●	4	帰化		
1153			シロザ	<i>Chenopodium album</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
1154			アカザ	<i>Chenopodium album</i> L. var. <i>centrorubrum</i> Makino	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
1155			コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i> Sm.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		4
1156			ホソバアカザ	<i>Chenopodium stenophyllum</i> (Makino) Koidz.			●								4
1157			アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i> (L.) Mosyakin et Clemants				●			●	2	帰化		
1158			ケアリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i> (L.) Mosyakin et Clemants var. <i>pubescens</i>	●	●	●	●	●						
1159			アメリカアリタソウ	<i>Dysphania anthelmintica</i> (L.) Mosyakin et Clemants		●									
1160			ゴウシュウアリタソウ	<i>Dysphania pumilio</i> (R.Br.) Mosyakin et Clemants					●			7	帰化		
1161		ザクロソウ	ザクロソウ	<i>Mollugo stricta</i> L.	●	●	●	●		●	●	5	在来		4
1162			クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i> L.						●	●	3	帰化		
1163		スベリヒユ	マツバボタン	<i>Portulaca grandiflora</i> Hook.						○		1	植栽		
1164			スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		4
1165			ハナスベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i> L. x <i>P. pilosa</i> L. subsp. <i>grandiflora</i> (Hook.) R.Geesink						●					
1166		ハゼラン	ハゼラン	<i>Talinum paniculatum</i> (Jacq.) Gaertn.	○	○	○	●	●	●	●	6	帰化・植栽		
1167		ハマミズナ	マツバギク	<i>Lampranthus spectabilis</i> (Haw.) N.E.Br.						○		1	植栽		
1168			ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i> (Pall.) Kuntze			○								6
1169		ヤマゴボウ	ヤマゴボウ	<i>Phytolacca acinosa</i> Roxb.	●	●	●								
1170			ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	17	帰化		
1171		オシロイバナ	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	12	帰化・植栽		
1172		ミズキ	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> (Siebold et Zucc.) Harms var. <i>trilobatum</i> (Miq.) Ohwi						○					1
1173			ミズキ	<i>Cornus controversa</i> Hemsl. ex Prain	●	●	●	●	●	●	●	16	一部植栽		2
1174			アメリカヤマボウシ	<i>Cornus florida</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	12	植栽		
1175			ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> Buerger ex Hance subsp. <i>kousa</i>		○	●	●	●	●	○	10	植栽		6
1176			クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i> Wall.					●		●	2	一部植栽		2
1177			サンシュユ	<i>Cornus officinalis</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	6	植栽		
1178		アジサイ	ギンバイソウ	<i>Deinranthe bifida</i> Maxim.				○							
1179			ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	6	一部植栽		3
1180			サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc. f. <i>plena</i> (Maxim.) C.K.Schneid.						○	○	1	植栽		
1181			ヒメウツギ	<i>Deutzia gracilis</i> Siebold et Zucc.		●		○	○	○	○	1	植栽		3
1182			マルバウツギ	<i>Deutzia scabra</i> Thunb.		●	●	●		●	○	3	植栽		3
1183			アメリカノリノキ	<i>Hydrangea arborescens</i> L.						○					
1184			タマアジサイ	<i>Hydrangea involucrata</i> Siebold		●	●		●		○	1	植栽		1
1185			セイウアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>hortensia</i> (Lam.) Rehder						○	○	3	植栽		
1186			アジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>macrophylla</i>	○	○	○	○	○	○	○	15	植栽		
1187			ガクアジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>normalis</i> (E.H.Wilson) H.Hara	○	○	○	○	○	○	○	13	植栽		3
1188			ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold		○				○	○	1	植栽		
1189			カシワバアジサイ	<i>Hydrangea quercifolia</i> W.Barttram						○	○	3	植栽		
1190			ヤマアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>serrata</i>			●		●	●	○	2	植栽		6
1191			アマチャ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>thunbergii</i> (Siebold) H.Ohba	○	○									
1192			キレンゲショウマ	<i>Kirengeshoma palmata</i> Yatabe			○								
1193			バイカウツギ	<i>Philadelphus satsumi</i> Siebold ex Lindl. et Paxton		○									
1194		ヌマミズキ	ハンカチノキ	<i>Davidia involucreata</i> Baill.					○	○					
1195		ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.	●	●	●	●	●	●	○	1	植栽		1
1196			ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i> Miq.					○						5
1197			アフリカホウセンカ	<i>Impatiens walleriana</i> Hook.f.					○	●					
1198		ハナシノブ	シバザクラ	<i>Phlox subulata</i> L.							○	3	植栽		
1199		モッコク	サカキ	<i>Clethera japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	○	4	植栽		1
1200			ハマヒサカキ	<i>Eurva emarginata</i> (Thunb.) Makino		○	○	○	○	○	○	7	植栽		6
1201			ヒサカキ	<i>Eurva japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		1
1202			モッコク	<i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.) Bedd.	○	○	○	○	○	○	○	17	植栽		1
1203		カキノキ	リュウキュウマメガキ	<i>Diospyros japonica</i> Siebold et Zucc.						●	○	2	植栽		1
1204			カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	14	植栽・逸出		2
1205			マメガキ	<i>Diospyros lotus</i> L.	○	○	○	○	○	○	○	6	植栽・逸出		
1206			ツクバネガキ	<i>Diospyros rhombifolia</i> Hemsl.						○					
1207		サクラソウ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims	●	●	●	●	●	●	●	18	一部植栽		1
1208			ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽	1	1
1209			ノジトラノオ	<i>Lysimachia barystachys</i> Bunge						●	○	1	在来		4
1210			オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i> Duby	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
1211			コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
1212			クサレタマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R.Knuth						○	●	2	移植・植栽		5
1213			タイミンタチバナ	<i>Myrsine seguinii</i> H.Lév.	○	○	○								
1214			オトメザクラ	<i>Primula malacoides</i> Franch.						○					
1215			サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i> E.Morren		○					○	1	植栽		5
1216		ツバキ	オトメツバキ	<i>Camellia japonica</i> L. f. <i>otome</i> Makino		○	○	○	○	○	○	3	植栽		
1217			キンギョツバキ	<i>Camellia japonica</i> L. 'Kingyobatsubaki'						○					
1218			ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	一部植栽		1
1219			トウツバキ	<i>Camellia reticulata</i> Lindl.							○				
1220			サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	15	植栽		
1221			カンツバキ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb. 'Shishigashira'		○	○	○	○	○	○	4	植栽		
1222			チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	●	●	●	○	○	○	○	9	一部植栽		1
1223			ツバキ	<i>Camellia</i> cvs.				○	○	○	○	6	植栽		
1224			ヒメシヤラ	<i>Stewartia monadelphica</i> Siebold et Zucc.			○	○	○	○	○	2	植栽		

資料1 植物の年次別確認状況(16/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1225			ナツツバキ	<i>Stewartia pseudocamellia</i> Maxim.		○	○	○	○	○	○	3	植栽		
1226			ヒコサンヒメシヤラ	<i>Stewartia serrata</i> Maxim.					○						
1227		ハイノキ	クロキ	<i>Symplocos kuroki</i> Nagam.		○	○								
1228			クロバイ	<i>Symplocos prunifolia</i> Siebold et Zucc.	○	○	○								
1229			サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagam.	●	●	●	●	●	●	●	6	一部植栽		2
1230		エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	12	一部植栽		2
1231			ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○	○	○	○	9	一部植栽		2
1232		マタタビ	オニマタタビ	<i>Actinidia chinensis</i> Planch. var. <i>setosa</i> H.L.Li	○	○	○	○	○	○	○	13	帰化・植栽		
1233		リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	○	3	植栽		2
1234		ツツジ	ヤチツツジ	<i>Chamaedaphne calyculata</i> (L.) Moench		○									
1235			ベニサラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) G.Nicholson var. <i>palibinii</i> (Craib) Bean		○	○								
1236			ドウダンツツジ	<i>Enkianthus perulatus</i> (Miq.) C.K.Schneid.	○	○	○	○	○	○	○	16	植栽		
1237			アメリカシヤクナゲ	<i>Kalmia latifolia</i> L.		○	○	○	○	○	○	6	植栽		
1238			アメリカイワナンテン	<i>Leucothoe fontanesiana</i> (Steud.) Sleumer			○	○	○	○	○	1	植栽		
1239			イワナンテン	<i>Leucothoe keiskei</i> Miq.			○								
1240			ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara							●	1	在来		2
1241			アセビ	<i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. <i>japonica</i>	○	○	●	●	●	●	●	13	一部植栽		2
1242			ハクサンシヤクナゲ	<i>Rhododendron brachycarpum</i> D.Don ex G.Don			○	○							
1243			アズマシヤクナゲ	<i>Rhododendron degronianum</i> Carrière		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1244			ミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> Miq. var. <i>dilatatum</i>		○	○	○	○	○	○	5	植栽		2
1245			セイヨウシヤクナゲ	<i>Rhododendron hybrids</i>			○	○	○	○	○	5	植栽		
1246			サツキ	<i>Rhododendron indicum</i> (L.) Sweet	○	○	○	○	○	○	○	15	植栽		
1247			ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>	●	●	●	●	●	○	○	4	植栽		2
1248			モチツツジ	<i>Rhododendron macrosepalum</i> Maxim.			○			○	○	2	植栽		
1249			ホソバシヤクナゲ	<i>Rhododendron makinoi</i> Tagg ex Nakai						○					
1250			レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> (Blume) G.Don subsp. <i>japonicum</i> (A.Gray) K.Kron	○	○	○	○		○	○	1	植栽		
1251			シロヤシオ	<i>Rhododendron quinquefolium</i> Bisset et S.Moore			○								
1252			ウンゼンツツジ	<i>Rhododendron serpyllifolium</i> (A.Gray) Miq. var. <i>serpyllifolium</i>		○	○	○							
1253			ニオイツツジ	<i>Rhododendron viscosum</i> (L.) Torr.					○	○	○	2	植栽		
1254			リュウキュウツツジ	<i>Rhododendron x mucronatum</i> (Blume) G.Don			○	○	○	○					
1255			キシマツツジ	<i>Rhododendron x obtusum</i> (Lindl.) Planch.			○	○	○	○	○	4	植栽		
1256			クルメツツジ	<i>Rhododendron x obtusum</i> (Lindl.) Planch. 'Sakamotoi'			○	○	○	○	○	7	植栽		
1257			ヒラドツツジ	<i>Rhododendron x pulchrum</i> Sweet					○	○	○	3	植栽		
1258			オオムラサキ	<i>Rhododendron x pulchrum</i> Sweet 'Oomurasaki'	○	○	○	○	○	○	○	17	植栽		
1259			ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i> Miq.				●			○	1	植栽		2
1260			ブルーベリー	<i>Vaccinium</i> cvs.				○	○	○	○	2	植栽		
1261		アオキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	16	一部植栽	8	1
1262		アカネ	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i> L.							●	1	帰化		
1263			ヒメヨツバムグラ	<i>Galium gracilens</i> (A.Gray) Makino	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1264			クルマムグラ	<i>Galium japonicum</i> Makino							●				
1265			ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Desp.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		3
1266			ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i> A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		3
1267			クチナシ	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		
1268			ヤエクチナシ	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis 'Flore-pleno'						○	○	2	植栽		
1269			コクチナシ	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis var. <i>radicans</i> (Thunb.) Makino ex H.Hara	○	○	○	○		○	○	1	植栽		
1270			シチョウゲ	<i>Leptodermis pulchella</i> Yatabe							○	1	植栽		
1271			ハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> (L.f.) W.H.Lewis var. <i>hirsuta</i>	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		2
1272			ハクソカズラ	<i>Paederia foetida</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		3
1273			アカネ	<i>Rubia argyi</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener et D.K.Ferguson	○	○	○	○	○	○	○	2	一部移植		3
1274			ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i> (Thunb.) Thunb.	○	○	○	○	○	○	○	10	植栽		
1275			ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i> L.							●	2	帰化		
1276		マチン	アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R.Br.		●			○						4
1277		リンドウ	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.		●					●	1	在来		4
1278			フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawc.					●						2
1279		キョウチクトウ	チョウジソウ	<i>Amsonia elliptica</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	○	○	○	○							4
1280			ニチニチソウ	<i>Catharanthus roseus</i> (L.) G.Don							○	2	植栽		
1281			イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim.		○	○	○							3
1282			コイケマ	<i>Cynanchum wilfordii</i> (Maxim.) Hook.f.					●						2
1283			キジョラン	<i>Marsdenia tomentosa</i> C.Morren et Decne.	○	○	○	○							1
1284			ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		4
1285			キョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L. var. <i>indicum</i> (Mill.) O.Deg. et Greenwell	○	○	○	○	○	○	○	7	植栽		
1286			テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		3
1287			オオカモメソル	<i>Tylophora aristolochioides</i> Miq.			●	●		●					2
1288			ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i> L.					○	●	●	5	帰化・植栽		
1289			ヒメツルニチニチソウ	<i>Vinca minor</i> L.							○	1	植栽		
1290			タチカモメソル	<i>Vincetoxicum glabrum</i> (Nakai) Kitag.	○	○	○								
1291			コバノカモメソル	<i>Vincetoxicum sublaeolatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>sublaeolatum</i>	●	●			●						5
1292		ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		4
1293			イヌムラサキ	<i>Lithospermum arvense</i> L.					●						
1294			ムラサキ	<i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zucc.		○	○								4
1295			ホタルカズラ	<i>Lithospermum zollingeri</i> A.DC.							○	1	植栽		
1296			ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i> (L.) Hill							●	1	帰化		
1297			ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	4	帰化		
1298			キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) F.B.Forbes et Hemsl.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
1299		ヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
1300			ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		4
1301			セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i> L.	●	●					●	1	帰化		
1302			アオイゴケ	<i>Dichondra micrantha</i> Urb.	●	●				●	●	5	植栽・逸出		
1303			マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i> L.			○	●		●	●	5	帰化		
1304			アメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> Jacq.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化・植栽		
1305			マルバアメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> Jacq. var. <i>integriscula</i> A.Gray				●		●	●	2	帰化		
1306			マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i> L.		○	○	●	●	●					

資料1 植物の年次別確認状況(17/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1307			アサガオ	<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth					○	●					
1308			マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化・植栽		
1309			ルコウソウ	<i>Ipomoea quamoclit</i> L.							●	1	帰化		
1310			ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i> L.							●	1	帰化		
1311			モミジルコウ	<i>Ipomoea x multifida</i> (Raf.) Shinnars						●					
1312		ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia latifolia</i> Benth.							○	1	植栽		
1313			チョウセンアサガオ	<i>Datura metel</i> L.	●	●	●				○	1	植栽		
1314			ヨウシュチョウセンアサガオ	<i>Datura stramonium</i> L.	●	●									
1315			クコ	<i>Lycium chinense</i> Mill.	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽		3
1316			トマト	<i>Lycopersicon esculentum</i> Mill.						●	○	1	植栽		
1317			ミニトマト	<i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. var. <i>cerasiforme</i> (Dunal) A.Gray							●	2	逸出		
1318			イガホオズキ	<i>Physalis elaeagnifolia</i> (Yatabe) Makino				●	●						
1319			ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Mast.) Makino	○	○	○	●	●	●	○	3	植栽		
1320			センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i> L. var. <i>angulata</i>	●	●	●	●	●	●					
1321			デリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i> Mill.	●	●	●	●	●	●	●	8	帰化		
1322			ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	7	帰化	9	
1323			ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		3
1324			マルバノボロシ	<i>Solanum maximowiczii</i> Koidz.				●	●						
1325			オオイヌホオズキ	<i>Solanum nigrescens</i> M.Martens et Galeotti						●					
1326			イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i> L.	○	○	○	●	●	●	●	9	在来		4
1327			タマサンゴ	<i>Solanum pseudocapsicum</i> L.	○	○	○	○	●	●	●	8	帰化		
1328			アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i> Dunal	●	●	●		●	●	●	9	帰化		
1329			ケイヌホオズキ	<i>Solanum sarrachoides</i> Sendtn.	●	●	●			●	●	1	帰化		
1330			ハダカホオズキ	<i>Tubocapsicum anomalum</i> (Franch. et Sav.) Makino		●	●	●			●	1	在来		2
1331		モクセイ	ヒトツバタゴ	<i>Chionanthus retusus</i> Lindl. et Paxton		○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1332			レンギョウ	<i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl	○	○	○	○	○	○	○	3	植栽		
1333			シナレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i> Lindl.	○	○	○	○	○	○	○	8	植栽		
1334			チョウセンレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i> Lindl. var. <i>koreana</i> Rehder		○			○	○					
1335			シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B.Clarke						●	●	4	植栽・逸出		
1336			トネリコ	<i>Fraxinus japonica</i> Blume ex K.Koch	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1337			アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata		○	○	○	●	●	●	1	在来		2
1338			キンケイ	<i>Jasminum humile</i> L. var. <i>revolutum</i> (Sims) Stokes			○	○							
1339			オウバイ	<i>Jasminum nudiflorum</i> Lindl.			○	○							
1340			ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.						○	○	4	植栽		
1341			ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	14	一部植栽		1
1342			トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	○	○	○	○	○	○	○	18	帰化・植栽		
1343			イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	●	●	●	12	一部植栽		2
1344			セイヨウイボタ	<i>Ligustrum vulgare</i> L.						●	○	2	植栽		
1345			オリーブ	<i>Olea europaea</i> L.			○				○	2	植栽		
1346			キンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino	○	○	○	○	○	○	●	15	植栽・逸出		
1347			ギンモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i>						○	○	3	植栽		
1348			ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i> (G.Don) P.S.Green	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		1
1349			ヒイラギモクセイ	<i>Osmanthus x fortunei</i> Carrière	○	○	○	○	○	○	○	11	植栽		
1350			ハシドイ	<i>Syringa reticulata</i> (Blume) H.Hara				○							
1351			ムラサキハシドイ	<i>Syringa vulgaris</i> L.		○	○	○	○	○	○	3	植栽		
1352		オオバコ	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i> Engelm. ex Hegelm.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		2
1353			ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i> L.					●						5
1354			ツタバウンラン	<i>Cymbalaria muralis</i> P.Gaertn., B.Mey. et Scherb.						●	●	4	帰化		
1355			サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T.Yamaz.				●							5
1356			シソクサ	<i>Linnophila chinensis</i> (Osbeck) Merr. subsp. <i>aromatica</i> (Lam.) T.Yamaz.				●							5
1357			ホンバウンラン	<i>Linaria vulgaris</i> Mill.						●	●	1	帰化		
1358			マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i> (L.) D.A.Sutton						●	●	3	帰化		
1359			オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
1360			トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i> Franch. et Sav.					●						6
1361			ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.	●	●		●	●	●	●	2	帰化		
1362			ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i> L.						●	●	1	帰化		
1363			タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化		
1364			フラサハソウ	<i>Veronica hederifolia</i> L.						●	●	7	帰化		
1365			ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i> L.		●			●	●	●	6	在来		5
1366			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i> Poir.	●	●	●	●	●	●	●	13	帰化		
1367			ルリトラノオ	<i>Veronica subsessilis</i> (Miq.) Carrière				○							
1368			カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.					●						5
1369			クガイソウ	<i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T.Yamaz. var. <i>japonicum</i>				○							
1370		ゴマノハグサ	フサフジウツギ	<i>Buddleia davidii</i> Franch.							○	1	植栽		
1371			フジウツギ	<i>Buddleia japonica</i> Hemsl.	○	○									
1372			ヒロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i> L.	●	●	●			●					
1373		アゼナ	スズメノトウガラシ	<i>Lindernia crustacea</i> (L.) Alston	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		5
1374			ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i> (L.) F.Muell.	●	●	●	●	●	●	●				4
1375			アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>major</i> (Pursh) Pennell					●	●	●	1	帰化		
1376			アゼトウガラシ	<i>Lindernia micrantha</i> D.Don			●	●							5
1377			アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i> (Krock.) Borbás	●	●	●	●		●	●	1	在来		5
1378			トレニア	<i>Torenia fourieri</i> Linden ex E.Fourn.						○	○	1	植栽		
1379		シソ	キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		3
1380			ジュウニヒトエ	<i>Ajuga nipponensis</i> Makino	●	●	●	●	●	●	●	3	一部移植		3
1381			セイヨウジュウニヒトエ	<i>Ajuga reptans</i> L.						○	○	2	植栽		
1382			ジュウニキランソウ	<i>Ajuga x mixta</i> Makino						●	●	1	在来		2
1383			コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i> (Lour.) K.Koch	○	○	○	○	○	●	○	9	植栽		5
1384			シロミコムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i> (Lour.) K.Koch f. <i>albifructa</i> Okuyama					○		○	2	植栽		5
1385			ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	14	一部植栽		2
1386			シロキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i> f. <i>albibacca</i> H.Hara						○	○	1	植栽		2
1387			オオムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb. var. <i>luxurians</i> Rehder				○							2
1388			ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.				●			●	1	在来		2
1389			ボタンクサギ	<i>Clerodendrum bungei</i> Steud.					○	●	●	5	植栽・逸出		
1390			ヒギリ	<i>Clerodendrum japonicum</i> (Thunb.) Sweet			○								
1391			クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		3

資料1 植物の年次別確認状況(18/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1392			トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze		●	●		●	●	●	11	在来		4
1393			イストウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) H.Hara var. <i>micranthum</i>	●	●	●	●	●	●	○	1	植栽		3
1394			ヤマトウバナ	<i>Clinopodium multicaule</i> (Maxim.) Kuntze						●					6
1395			ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hyl.	●	●	●	●	●	●					4
1396			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A.Gray)	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		3
1397			ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudō				●							2
1398			ヒキオコシ	<i>Isodon japonicus</i> (Burm.f.) H.Hara		●									2
1399			シモバシラ	<i>Keiskea japonica</i> Miq.			○								2
1400			オドリコソウ	<i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.		●	●	●		●	●	1	移植		3
1401			ホトケノザ [#]	<i>Lamium amplexicaule</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	12	在来		4
1402			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化		
1403			ラベンダー	<i>Lavandula angustifolia</i> Mill.							○	1	植栽		
1404			メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i> Houtt.	●	●	●	●		●	●	3	一部移植・植栽		3
1405			ミカエリソウ	<i>Leucosceptrum stellipilum</i> (Miq.) Kitam. et Murata			○	○							
1406			シロネ	<i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth.						○	○	1	植栽		5
1407			ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i> (Miq.) Makino		●									1
1408			ヨウシュハッカ	<i>Mentha arvensis</i> L.						●					
1409			ハッカ	<i>Mentha canadensis</i> L.	●	●	●	●		●	●	2	在来		5
1410			マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i> Ehrh.		●	●	●		●	●	3	帰化・植栽		
1411			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i> (Buch.-Ham. ex Roxb.) Maxim.	●	●	●	●	●						4
1412			イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i> (Thunb.) C.Y.Wu et H.W.Li	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		4
1413			イヌハッカ	<i>Nepeta cataria</i> L.	●	●	●								
1414			レモンエゴマ	<i>Perilla citrodora</i> (Makino) Nakai						●	○	1	植栽		3
1415			シソ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Benth.) W.Deane					○	●	●	6	逸出		
1416			アオジソ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Benth.) W.Deane f. <i>viridis</i> (Makino) Makino						●		1	逸出		
1417			エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>						●		1	逸出		
1418			ハナトラノオ	<i>Physostegia virginiana</i> (L.) Benth.		●	●			○		2	植栽		
1419			ローズマリー	<i>Rosmarinus officinalis</i> L.						○		2	植栽		
1420			ケショウサルビア	<i>Salvia farinacea</i> Benth.					○	●	○	1	植栽		
1421			サルビア・ガラニチカ	<i>Salvia guaranitica</i> A.St.-Hil. ex Benth.					○	●	●	4	植栽・逸出		
1422			アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	1	移植		2
1423			アマジストセージ	<i>Salvia leucantha</i> Cav.						○		1	植栽		
1424			チェリーセージ	<i>Salvia microphylla</i> Kunth 'Hot Lips'						●		4	植栽・逸出		
1425			キバナアキギリ	<i>Salvia nipponica</i> Miq.		●	●								1
1426			ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeia</i> R.Br.						●					5
1427			ヒゴロモソウ	<i>Salvia splendens</i> Sellow ex Roem. et Schult.						○		1	植栽		
1428			タツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> L.	●	●	●	●	●	○	○	2	植栽		3
1429			コバノタツナミ	<i>Scutellaria indica</i> L. var. <i>parvifolia</i> (Makino) Makino						●	○	1	植栽		3
1430			ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.	●	●			●	●	●	3	一部移植		2
1431			イブキジャコウソウ	<i>Thymus quinquecostatus</i> Celak.		○	○								
1432			カリガネソウ	<i>Tripura divaricata</i> (Maxim.) P.D.Cantino			○			○	●	1	逸出		1
1433		ハエドクソウ	ハビコリハコベ	<i>Glossostigma elatinoide</i> (Benth.) Benth. ex Hook.f.						●	●	4	帰化		
1434			ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara)	●	●	●	●	●	●	●	10	在来	2	1
1435			ナガバハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam. f. <i>oblongifolia</i> (Koidz.) Ohwi						●	●	4	在来		1
1436		サギゴケ	ムラサキサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> Makino	●	●	●	●	●	●	●	7	在来		4
1437			トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i> (Burm.f.) Steenis	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
1438		キリ	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.	○	○	○	○	○	●	●	7	植栽・逸出		
1439		ハマウツボ	ナンノハギセル	<i>Aeginetia indica</i> L.						●		1	移植		4
1440			コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz	●	●									4
1441		タヌキモ	オオバナイトタヌキモ	<i>Utricularia gibba</i> L.					●	●	●	1	帰化		
1442		キツネノマゴ	ハアザミ	<i>Acanthus mollis</i> L.						○		2	植栽		
1443			キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>procumbens</i>	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
1444			ハグロソウ	<i>Peristrophe japonica</i> (Thunb.) Bremek. var. <i>subrotunda</i> (Matsuda) Murata et Terao	●	●	●			●	●	1	在来		1
1445		ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i> (Thunb.) K.Schum.					○	●	●	3	植栽・逸出		
1446			アメリカノウゼンカズラ	<i>Campsis radicans</i> (L.) Seem.					○	○	○	2	植栽		
1447			キササゲ	<i>Catalpa ovata</i> G.Don	○	○	○								
1448		クマツヅラ	ビジョザクラ	<i>Glandularia x hybrida</i> (Voss ex Groenland et Rümpler) G.L.Nesom et Pruski						●					
1449			ヒメワダレソウ	<i>Phyla canescens</i> (Kunth) Greene						○		2	植栽		
1450			イワダレソウ	<i>Phyla nodiflora</i> (L.) Greene						○		1	植栽		
1451			ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i> L.						●		1	帰化		
1452		ハナйкаダ	ハナйкаダ	<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F.Dietr.		●				●					1
1453		モチノキ	セイヨウヒイラギ	<i>Ilex aquifolium</i> L.	○	○	○			○					
1454			ヤバネヒイラギモチ	<i>Ilex cornuta</i> Lindl. et Paxton						○	○	2	植栽		
1455			マメツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. f. <i>bullata</i> Rehder						○		5	植栽		
1456			イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. var. <i>crenata</i>	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽		2
1457			モチノキ	<i>Ilex integra</i> Thunb.	●	●	○	○	○	○	●	16	一部植栽		1
1458			タラヨウ	<i>Ilex latifolia</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	●	6	植栽・逸出		
1459			アオハダ	<i>Ilex macropoda</i> Miq.						●	●	1	在来		2
1460			ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i> Miq.	○	○				○	○	8	植栽		1
1461			クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	●	10	植栽・逸出		1
1462			ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i> Thunb.	○	○	○	○	○	○	●	1	一部植栽		5
1463			クロソヨゴ	<i>Ilex suzerokii</i> Maxim. var. <i>suzerokii</i>						○					
1464			オウゴンモチノキ	<i>Ilex integra</i> Thunb. 'Ougon'						○		2	植栽		
1465		キキョウ	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i> (Siebold et Zucc.) Miq.		○	○								
1466			ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara	●	●	●	●	●	●					3
1467			シデシヤジン	<i>Asyneuma japonicum</i> (Miq.) Briq.		○									
1468			ヤマホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>hondoensis</i> (Kitam.) Ohwi					●	●	●	2	一部移植		3
1469			ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>punctata</i>	●	●	●	●	●	●	●	9	一部移植・植栽		3
1470			キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC.		○	○	○		○		2	植栽		4
1471			キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i> (L.) Nieuwl.			●	●	●	●	●	5	帰化		
1472		ミツガシワ	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.						○	●	2	移植・植栽		5
1473			アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (S.G.Gmel.) Kuntze				○	○						5

資料1 植物の年次別確認状況(19/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1474		キク	ノギリソウ	<i>Achillea alpina</i> L. var. <i>longiligulata</i> H.Hara	○	○	○	○							4
1475			ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	●				●	●	●	2	一部植栽		2
1476			マルバフジバカマ	<i>Ageratina altissima</i> (L.) R.M.King et H.Rob.					●	●	●	1	帰化		
1477			カッコウアザミ	<i>Ageratum conyzoides</i> L.					●	●	●	1	帰化		
1478			キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.Bip.			●								1
1479			ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
1480			オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化		
1481			クソニンジン	<i>Artemisia annua</i> L.	●	●	●								4
1482			ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		4
1483			シロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>ageratoides</i>	●	●	●	●	●	●	●	3	一部植栽		2
1484			ユウガギク	<i>Aster inumae</i> Kitam.	○	○	●	●	●	●					4
1485			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Soejima et Mot.Ito	●	●	●	●	●	●	●	5	在来		4
1486			ミヤマヨメナ	<i>Aster savatieri</i> Makino	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		
1487			シラヤマギク	<i>Aster scaber</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	2	一部移植		2
1488			シオン	<i>Aster tataricus</i> L.f.	○	○	○	○	○						
1489			ヨメナ	<i>Aster yomena</i> (Kitam.) Honda	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		4
1490			カントウヨメナ	<i>Aster yomena</i> (Kitam.) Honda var. <i>dentatus</i> (Kitam.) H.Hara	●	●	●	●	●	●	●	4	在来		4
1491			コバノセンダングサ	<i>Bidens bipinnata</i> L.	●	●									
1492			センダングサ	<i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merr. et Sherff	●	●	●	●	●						5
1493			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	11	帰化		
1494			コシロノセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff	●	●	●	●	●	●	●				
1495			コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	●	●	●	●	●	●	●	12	帰化		
1496			ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	8	在来		2
1497			ガクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i> Siebold et Zucc. var.	●	●	●	●	●	●	●				1
1498			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i> (L.) A.Braun et Asch.	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1499			イエギク	<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.						○	○	2	植栽		
1500			イソギク	<i>Chrysanthemum pacificum</i> Nakai			○	○							6
1501			シロバナアブラギク	<i>Chrysanthemum x leucanthum</i> (Makino) Makino						○		1	植栽		
1502			オニアザミ	<i>Cirsium borealinipponense</i> Kitam.				○							
1503			モリアザミ	<i>Cirsium dipsacolepis</i> (Maxim.) Matsum.			●	○							
1504			ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> Fisch. ex DC.	●	●	●	●	●	●					3
1505			アズマヤマアザミ	<i>Cirsium microspicatum</i> Nakai var. <i>microspicatum</i>	●	●	●	●	●						
1506			トネアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam.					●	●	●	2	一部移植		3
1507			ノハラアザミ	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	●	●	●	●							3
1508			ヤマアザミ	<i>Cirsium spicatum</i> (Maxim.) Matsum.	●	●	●	○							
1509			ゼンブクジアザミ(新称)	<i>Cirsium verum</i> Kadota (未発表)						●		2	在来・移植		2
1510			アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.		●	●		●	●	●	7	帰化		
1511			ハルシヤギク	<i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.		●	○	●	●	●	●	1	逸出		
1512			コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i> Cav.						●	○	2	植栽		
1513			キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i> Cav.						●	●	6	帰化・植栽		
1514			ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S.Moore	●	●	●	●	●	●	●	2	帰化		
1515			ヤクソウ	<i>Crepidastrium denticulatum</i> (Houtt.) J.H.Pak et	●	●	●	●	●	○		1	植栽		3
1516			ヤグルマギク	<i>Cyanus segetum</i> Hill						○		1	植栽		
1517			コダチダリア	<i>Dahlia imperialis</i> Roetz ex Ortgies						○		4	植栽		
1518			ヒゴタイ	<i>Echinops setifer</i> Iljin			○	○							
1519			アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.					●	●	●	6	帰化		
1520			タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i> Bunge	●	●	●	●	●	●	●				5
1521			ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolius</i> (L.) Raf. ex DC.	●	●	●	●	●	●	●	12	帰化		
1522			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	●	●	●	●	●	●	●	17	帰化	9	
1523			アレチノギク	<i>Erigeron bonariensis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	5	帰化		
1524			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化		
1525			ペラペラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i> DC.					●	○		1	植栽		
1526			ハルジョオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	18	帰化	9	
1527			ヤナギバヒメジョオン	<i>Erigeron pseudoannuus</i> Makino	●	●			●						
1528			ヘラバヒメジョオン	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.						●					
1529			オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.	●	●	●	●	●	●	●	18	帰化		
1530			チチコグサ	<i>Euchiton japonicus</i> (Thunb.) Anderb.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		4
1531			ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i> F.Schmidt ex Trautv.				●	●						
1532			フジバカマ	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb.			○		○	○	●	4	移植・植栽		4
1533			サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i> DC. var. <i>lindleyanum</i>					○						5
1534			ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara	●	●	●	●	●	●	●	2	移植・植栽		3
1535			ユリオブス デージー	<i>Euryps pectinatus</i> (L.) Cass.						○		1	植栽		
1536			ツワブキ	<i>Fartugium japonicum</i> (L.) Kitam.	○	○	○	○	○	○	○	14	植栽・逸出		1
1537			ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.	●	●	●	●	●	●	●	15	帰化		
1538			タチチコグサ	<i>Gamochaeta calviceps</i> (Fernald) Cabrera					●	●	●	5	帰化		
1539			ウラジロチチコグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i> (Willd.) Kerguelen	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化	9	
1540			チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i> (Willd.) Cabrera	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化	9	
1541			ヒマワリ	<i>Helianthus annuus</i> L.						○		4	植栽		
1542			キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	3	帰化・植栽		
1543			キツネアザミ	<i>Hemisteptia lyrata</i> (Bunge) Fisch. et C.A.Mey.	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		4
1544			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.			●			●	●	4	帰化		
1545			カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.						●		1	在来		4
1546			ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>dentatum</i>	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1547			オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burn.f.) Nakai	●	●			●	●	●	4	一部移植		4
1548			ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.		●			●	●	●	1	在来		4
1549			イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i> A.Gray	●	●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1550			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	13	在来		4
1551			ホソバアキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L. var. <i>laciniata</i> (Hputt) H.Hara f. <i>ivdivisa</i> (Maxim.) H.Hara			●								4
1552			コオニタビラコ	<i>Lapsanastrum apogonoides</i> (Maxim.) J.H.Pak et K.Bremer	●	●	●	●							4
1553			ヤブタビラコ	<i>Lapsanastrum humile</i> (Thunb.) J.H.Pak et K.Bremer				●	●	●	●	4	在来		3
1554			カイタカラコウ	<i>Ligularia kaialpina</i> Kitam.				○							
1555			コシカギク	<i>Matricaria matricarioides</i> (Less.) Ced.Porter ex Britton						●					
1556			メランボジウム	<i>Melampodium paludosum</i> Kunth							○	1	植栽		
1557			オオニガナ	<i>Nabalus tanakae</i> Franch. et Sav. ex Y.Tanaka et Ono		●	●								5
1558			モミジガサ	<i>Parasenecio delphinifolius</i> (Siebold et Zucc.)	●	●									2

資料1 植物の年次別確認状況(20/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{#1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{#2}	主な生育環境タイプ ^{#3}
1559			カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Makino		●									2
1560			ニオイカントウ	<i>Petasites fragrans</i> (Vill.) C.Presl							●	1	逸出		
1561			フキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	●	●	●	●	●	●	●	16	在来		4
1562			コウブリナ	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov	●	●			●	●	●	4	一部植栽		4
1563			ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i> (D.Don) Anderb.	●	●	●	●	●	●	●	15	在来		4
1564			アキノハハコグサ	<i>Pseudognaphalium hypoleucum</i> (DC.) Hilliard et B.L.Burt		●	●		●						4
1565			オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.	●										
1566			シロタエギク	<i>Senecio bicolor</i> (Willd.) Tod. subsp. <i>cineraria</i> (DC.) Chater							○	1	植栽		
1567			ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	8	帰化		
1568			タムラソウ	<i>Serratula coronata</i> L. subsp. <i>insularis</i> (Iljin) Kitam.					●	●					4
1569			メナモミ	<i>Sigesbeckia pubescens</i> (Makino) Makino	●	●					●	1	在来		4
1570			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化		
1571			オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) McNeill	●	●	●	●	●						
1572			アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai ex H.Hara) Kitam. ex H.Hara	●	●	●	●							3
1573			メリケントギンソウ	<i>Soliva sessilis</i> Ruiz et Pav.							●	2	帰化		
1574			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	●	●	●	●	●	●	●	14	帰化		
1575			ハチジョウナ	<i>Sonchus brachyotus</i> DC.				○							4
1576			アイノゲシ	<i>Sonchus oleaceo-asper</i> Makino						●					4
1577			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	●	●	●	●	●	●	●	17	在来		4
1578			ヒロハハウキギク	<i>Symphytotrichum subulatum</i> (Michx.) G.L.Nesom var. <i>squamatum</i> (Spreng.) S.D.Sundberg					●	●	●	3	帰化		
1579			ハウキギク	<i>Symphytotrichum subulatum</i> (Michx.) G.L.Nesom var. <i>subulatum</i>	●	●	●	●	●	●	●	1	帰化		
1580			ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i> (Thunb.) Maxim.	●	●	●	●	●	●	○	2	植栽		2
1581			オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i> (Franch. et Sav.) Kitam.		●	●	●							3
1582			マリーゴールド	<i>Tagetes erecta</i> L.							○	2	植栽		
1583			シロバナタンポポ	<i>Taraxacum albidum</i> Dahlst.	○	○	○	●	●	●	●	1	移植		4
1584			アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i> (Willd.) DC.	●	●	●	●							
1585			セイウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	●	●	●	●	●	●	●	16	帰化		
1586			アイノコセイウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg. x <i>T. platycarpum</i> Dahlst.							●	3	帰化		
1587			カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来	6	4
1588			外来性タンポポ種群	<i>Taraxacum</i> spp.						●	●	2	帰化		
1589			イヌカミツレ	<i>Tripleurospermum maritimum</i> (L.) Sch.Bip. subsp. <i>inodorum</i> (L.) Applegate							●	1	帰化		
1590			オオオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> L. subsp. <i>orientale</i>	●										
1591			オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> L. subsp. <i>sibiricum</i> (Patrin ex Widder) Greuter	●	●	●								4
1592			オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	●	●	●	●	●	●	●	18	在来		4
1593		レンブクソウ	ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i> Lindl.	●	●	●	●			●	2	在来		3
1594			ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.)	●	●	●	●	●	●	●	12	一部植栽		3
1595			ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	8	一部移植・植栽	3	2
1596			コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●				2
1597			オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i> Blume ex Maxim.	○	○	○	○	○						
1598			サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker Gawl. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel	○	○	○	○	○	●	○	15	植栽		1
1599			カンボク	<i>Viburnum opulus</i> L. var. <i>sargentii</i> (Koehne) Takeda			○								
1600			オオデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. var. <i>plicatum</i> f. <i>plicatum</i>	○	○	○				○	2	植栽		
1601			ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. var. <i>tomentosum</i> Miq.			●				●	1	在来		2
1602		スイカズラ	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc. var. <i>spathulata</i>	○	○	○	○	○	○	○	1	植栽		2
1603			ハナゾノツクバネウツギ	<i>Abelia x grandiflora</i> (Rovelli ex André) Rehder	○	○	○	○	○	○	○	13	植栽		
1604			ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq.	●	●	●	●	●	●	●	8	一部移植・植栽		2
1605			ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>							○	1	植栽		
1606			スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		3
1607			キンギンボク	<i>Lonicera morrowii</i> A.Gray		○									
1608			オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir.	●	●	●				○	1	植栽		4
1609			キンレイカ	<i>Patrinia triloba</i> (Miq.) Miq. var. <i>palmata</i> (Maxim.) H.Hara				○							
1610			オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		3
1611			ツルカノソウ	<i>Valeriana flaccidissima</i> Maxim.	●	●	●	●	●	●	●				2
1612			ハコネウツギ	<i>Weigela coraeensis</i> Thunb.	○	○	○	○	○	●	○	5	植栽		3
1613			ニシキウツギ	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai		○	○	○	○	○	○				3
1614			タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> (Siebold et Zucc.) K.Koch			○	○	○	○	○	2	植栽		
1615		ウコギ	ウド	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	●	●	●	●	●	●	●	3	在来		3
1616			タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	●	●	●	●	●	●	●	5	一部植栽		3
1617			コシアブラ	<i>Chengioanax sciadophylloides</i> (Franch. et Sav.) C.B.Shang et J.Y.Huang			○								
1618			カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i> (Thunb.) Makino ex H.Hara	○	○	○	○	○	●	●	9	一部植栽		1
1619			ヤマウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu	●	●	●	●							2
1620			オカウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu var. <i>japonicus</i> (Franch. et Sav.) H.Ohba							●	2	一部植栽		2
1621			ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	●	●	●	●	●	●	●	17	一部植栽	8	1
1622			カナリーキツタ	<i>Hedera canariensis</i> Willd.						●	●	5	植栽・逸出		
1623			セイウキツタ	<i>Hedera helix</i> L.					○	●	●	5	植栽・逸出		
1624			キツタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	●	●	●	●	●	●	●	14	在来		1
1625			オオバチドメ	<i>Hydrocotyle javanica</i> Thunb.		●	●								2
1626			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i> Honda	●	●	●	●	●	●	●	6	在来		5
1627			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i> Maxim.		●	●	●	●	●	●	2	在来		4
1628			チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.	●	●	●	●	●	●	●	10	在来		4
1629			ヒメチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i> Makino var. <i>yabei</i>		●	●	●	●	●	●	5	在来		2
1630			ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz.	●	●	●	●	●	●	●	1	在来		2
1631			カミヤツデ	<i>Tetrapanax papyrifer</i> (Hook.) K.Koch			○	○							
1632		トベラ	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i> (Thunb.) W.T.Aiton	○	○	○	○	○	●	●	11	一部植栽		6
1633		セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	●	●	●	●	●	●	●	1	移植		2
1634			アシタバ	<i>Angelica keiskei</i> (Miq.) Koidz.	○	○	○	○	○	●	●	8	植栽・逸出		6
1635			シシウド	<i>Angelica pubescens</i> Maxim.		●									3
1636			ジャク	<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm. subsp. <i>sylvestris</i>		○	●	○							

資料1 植物の年次別確認状況(21/21)

NO.	分類群	科名	種名 ^{*1}	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第7次出現地点数	第7次生育由来	杉並区指標種 ^{*2}	主な生育環境タイプ ^{*3}
1637			セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	●	●	●	2	一部移植		2
1638			ミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> (L.) DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	●	●	●	●	●	●	●	8	一部植栽		2
1639			ムラサキミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz. f. <i>atropurpurea</i> (Makino) Yonek.	●	●	●			●	●	2	一部移植		2
1640			マツバゼリ	<i>Cyclospermum leptophyllum</i> (Pers.) Sprague ex Britton et P.Wilson						●	●	1	帰化		
1641			ハナウド	<i>Heracleum sphondylium</i> L. var. <i>nipponicum</i> (Kitag.) H.Ohba					●						4
1642			ゼリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	●	●	●	●	●	●	●	7	一部植栽	7	5
1643			ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb.	●	●	●		●	●	●	4	在来		3
1644			ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i> (Miq.) Nakai					●	●					6
1645			ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge			●	●			●	1	在来		2
1646			ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.	●	●	●	●	●	●	●	11	在来		3
1647			オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.			●				●	2	在来		3
		176科	1647種		792	977	985	866	868	1072	1140				

凡例

●: 野生(在来、帰化、移植、一部植栽・移植を含む)

○: 植栽

科の配列はAPG分類体系に従い、科内の配列は学名のアルファベット順とした。その際、米倉浩司・梶田忠(2003-)を参考にした。

*1 種、亜種、変種、品種、雑種等を含む。

*2 杉並区指標種

1: 屋敷林・社寺林、2: 屋敷林・社寺林・雑木林、3: 雑木林、4: 豊かな林床、5: 林縁、6: 草地、7: 水生植物の生える水辺、8: 温暖化、9: 都市化、10: 大気汚染、11: 水質汚濁

*3 在来種の主な生育環境タイプ

1: 自然林・暗い樹林、2: 二次林・明るい樹林、3: 林縁、4: 草地、5: 水辺、6: その他、7: 不明

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(6/60)

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(7/60)

No.	種名	1							2							3							4				5				6							7-14		8-13・54	9-12・54
		東京女子大学							善福寺上池							善福寺下池							井草八幡				荻窪八幡				観音寺							個人邸			
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次		
691	ヤマハギ				●			1	1					C																							●		●		
692	キハギ																																			●					
693	メライハギ	1	1		1					1																															
694	ハルバハギ														N																										
695	マルバハギ	+				●																																			
696	ツクシハギ																										1									●		●			
697	ネコハギ	+	1		+																															●					
698	シラハギ																																			●		●			
699	ピンチュウヤマハギ																																					●			
700	ミヤギノハギ		1	1											C																							●			
701	イヌハギ																																								
702	マキエハギ																																								
703	ミヤコグサ																																								
704	イヌエンジュ																																								
705	コメツブウマゴヤシ																																								
706	ウマゴヤシ																																								
707	ムラサキウマゴヤシ																																								
708	クズ	1	1	1	1	●		N	3	1	1	1	●	●	N	2	1	1		●	●	N														●		●			
709	ハナエンジュ																																								
710	ハリエンジュ		1	2	1	●	●	I		1	3	3	●	●	I			2	2																●		●				
711	トゲナシハリエンジュ									1	1	4		●		C	1	1	4																	●		●			
712	ハナセンナ													●	●	C																					●				
713	クララ																																								
714	エンジュ	1	1	1	1	●			1	1		1	●	●		1	2	2	3	●	●	C	1	1	1	3		+					+			C	●	●			
715	クスダマツメクサ																																					●			
716	コメツブツメクサ																																					●			
717	ムラサキツメクサ																																					●			
718	シロツメクサ	2	2		2	●	●	I		●	1		1	++	●	I		1	1	2	●	●	I												●		●				
719	スズメノエンドウ																																					●			
720	ヤハズエンドウ	●	1	1	+	●	●	N																											●	N	●				
721	カスミザクラ																																					●			
722	ナシテンハギ																																					●			
723	ヤブツルアズスキ																																					●			
724	フジ	+	1	2	2	●	●	N	2	+	+		●	●	C	1	1			●	●																	●			
725	キシミズヒキ		1	1	1	●		N																														●			
726	ザイリボク																																					●			
727	ジューンベリー																																					●			
728	アズキナシ																																					●			
729	セイヨウミザクラ																																					●			
730	カンムザクラ																																					●			
731	マメザクラ																																					●			
732	イトザクラ		+	2	1	●																																●			
733	エドヒガン																																					●			
734	ヤマザクラ																																					●			
735	カワヅザクラ	1	1	3	2																																	●			
736	スルガダイニオイ																																					●			
737	カスミザクラ																																					●			
738	コバザクラ																																					●			
739	オオヤマザクラ																																					●			
740	サトザクラ		1	2	1																																	●			
741	サトザクラ(常磐葉)																																					●			
742	サトザクラ(御衣黄)																																					●			
743	サトザクラ(鬱金桜)					●																																●			
744	サトザクラ(旗桜)																																					●			
745	サトザクラ(一葉)																																					●			
746	サトザクラ(妹背)																																					●			
747	サトザクラ(閑山)																																					●			
748	サトザクラ(紅葉)					●																																●			
749	サトザクラ(松月)																																					●			
750	サトザクラ(八重曙)																																					●			
751	サトザクラ(陽光)																																					●			
752	シラハタザクラ																																					●			
753	ハヤザキオオシマザクラ																																					●			
754	ヤエベニシダレ																																					●			
755	コマツオトメ																																					●			
756	オオシマザクラ					●							●	●	C																						●				
757	コシノヒガンザクラ																																					●			
758	ジュウガツザクラ																																								

[illegible]

—資料30—

—資料31—

No.	種名								2			3			4			5			6			7-14			8-13・9-12・54														
		東京女子大学							善福寺上池				善福寺下池				井草八幡			荻窪八幡			観泉寺				個人邸														
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次								
1151	ヒユ																																								
1152	ホナガイヌビユ	●													● +			I												●		●									
1153	シロサ	●	1	+ 1	●	N	1	1	1	1	●	●	N	1	1	1	+	●	●	N							1	1	●	●	●	●	●								
1154	アカザ																											1	1	●	●	●	●								
1155	コアカザ									+								N													●		●								
1156	ホソバアカザ																														●		●								
1157	アリタソウ														I																		●								
1158	ケアリタソウ	+	1	+	+				1	1		●				2	1	+	+												●	●	●	●							
1159	アメリカアリタソウ																																●	●							
1160	ゴウシュウアリタソウ													I																I			●	●							
1161	ザクロンソウ	●																															●	●							
1162	クルマバザクロソウ																														●	N	●	●							
1163	マツハボタン																																	●							
1164	スベリヒユ	●	1	+	+							●	N																	1	+	1	1	●	N	●	●	●			
1165	ハナスベリヒユ																																	●	●	●					
1166	ハゼラン				+	+												●															●	●	●						
1167	マツハギク																																		●						
1168	ツルナ																																		●						
1169	ヤマゴボウ	+																																							
1170	ヨウシュヤマゴボウ	1	1	+	1	●	●	I	1	1	1	+	●	●	I	1	1	2	1	●	●	I	+	1	1	1		+	1	+	+	●	+	2	1	●	I	●	●	●	●
1171	オシロイバナ	●	1	+	3			I	●	●	+	1	●	●	I	●	+	+	2	●	●	I													I	●	●	●	●		
1172																																									

[illegible]

—資料34—

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(15/60)

No.	種名	1							2							3							4				5				6							7-14	8-13・54	9-12・54			
		東京女子大学							善福寺上池							善福寺下池							井草八幡				荻窪八幡				観泉寺							個人邸					
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次			
1611	ツルカノコソウ																																										
1612	ハコネウツギ	+	●	1				C		●	2	1	●	●	C		1	+																									
1613	ニシキウツギ									2	2	●					1	+	+		●																						
1614	タニウツギ					●				2	2	●	●	C							●																						
1615	ウド	+	1	1	+	●		●	+	1	+	O				●	1	+	+			N																					
1616	タラノギ					●				1	2	●				+	+	+			●			1																			
1617	コシアブラ																																										
1618	カクレミノ												●										+	●	1	1	●	●	●														
1619	ヤマウコギ																																										
1620	オカウコギ																																										
1621	ヤツデ	3	1	2	2	●	●	N	1	2	2		●	●	N	1	●	+	2	●	●	N	1	1	2	3	●	1	2	2	1	2	+	+	2	●	N	●		●	●	●	
1622	カナリーキツタ																																										
1623	セイヨウキツタ					●																																					
1624	キツタ	3	1	1	1	●	●	N	●	1	1	1		●	N		1	●	●	N	2	1	1	2	●	2	●	2	2	1	1	2	1	●	N	●	●	●	●	●	●	●	
1625	オオバチドメ																																										
1626	ノチドメ					●		N	●	1			●	●	N		+																										
1627	オオチドメ										+																																
1628	チドメグサ		1	1	1				1	1	1	2	●				1	1	1		●			1	1	1		●	+	1	2		+	1	2		●	N	●		●	●	●
1629	ヒメチドメ																																										
1630	ハリギリ																																										
1631	カミヤツデ																																										
1632	トベラ				1																																						
1633	ノダケ								1	1							1	●	+		●	●	C																				
1634	アシタバ			+	1										C						●	●	C																				
1635	シシウド																																										
1636	ジャク																																										
1637	セントウソウ				+	2		●	N																																		
1638	ミツバ		1	+	+	●	●	N	1	1	+		●	●	N	1	●				●	N		+	+																		
1639	ムラサキミツバ																				●	N																					
1640	マツバゼリ																																										
1641	ハナウド																																										
1642	ゼリ				+		●																																				
1643	ヤブニンジン					●	●			1		●	●	N	1	+	1	1	1	●	●	N																					
1644	ヤマゼリ													●	●	●	●	●	●	●	●	N																					
1645	ウマノミツバ			+	+																																						
1646	ヤブジラミ					●	N						●	N							●	N																					
1647	オヤブジラミ																																										

注1 第1次～第5次の表中の値は被度を示し、●は被度データはないが生育を確認していることを示す。
 注2 第6次の表中の記号は以下の通り。
 O:希少 ++:非常に多い ●:上記以外で生育を確認
 注3 第7次の表中の記号は以下の通り。
 N:在来 I:帰化 E:逸出 C:植栽 T:区内の他の自生地からの移植
 注4 61～85その他希少植物調査確認地点には以下の調査地を含む。
 61高井戸地域区民センター、62杉並上水所周辺、63個人宅、64高井戸1丁目、65個人宅(上井草2丁目)、66個人宅(今川2丁目)、67円福寺、
 68アパート(今川4丁目)、69旧富士銀行グラウンド、70農芸高校果樹園、71岩通ガーデン、72郷土博物館付近、73郷土博物館裏保存林、
 74久我山1丁目の団地、75農芸高校第一圃場、76高井戸駅周辺、77井の頭線沿い、78個人宅、79善福寺1丁目、80善福寺2丁目、
 81善福寺3丁目、82善福寺4丁目、83今川町4丁目、84旧三井グラウンド(東側)周辺、85善福寺川各地
 注5) 第5次調査では上記の25カ所以外に以下の調査地でも希少植物調査が行われている。これらの調査地における確認種は各調査地の第5次の欄に表示した。
 6観泉寺、15玉川上水、24わんぱく広場、28真盛寺、32塚山公園、34神田川、39-41善福寺川

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(17/60)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

No.	種名	15				16				17				18	19				19'	19	20				21				22								
		玉川上水				大蔵省グラウンド				浴風園				三泉湧公園	三井が ラウンド 南側	三井が ラウンド 南・西	三井が ラウンド 西側	三井の森公園	善福寺川緑地(1)				善福寺川緑地(2)				和田堀公園										
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次
461	チゴザサ	●	1	1	1																																
462	サヤスカグサ																																				
463	ササガサ																																				
464	ネズミムギ				1																																
465	ホソムギ																																				
466	ネズミホソムギ																																				
467	ササカサ																																				
468	ミチシバ																																				
469	アシボソ	●	1	1	1		●	+	1	1	●	1	1	1	1	●		●	1	1	1	1	●														
470	ヒメアシボソ	0.0													++	N		●																			
471	オギ																																				
472	ススキ	2	1	1	2		2	2			1	1	●	●			1	1	2	1	1	1	1	1													
473	イトススキ																																				
474	ネズミガヤ																																				
475	チヂミザサ	2	1		3		2	+	2	2	2	1	2	2	++	●	N	1		1	2	2	3	+	+	●											
476	ケチチミザサ																																				
477	スカキビ	●			+		1						1	+		++	●	N			1	+	1														
478	オオクサキビ																																				
479	シマスズメノヒエ				2					1																											
480	アメリカスズメノヒエ																																				
481	スズメノヒエ		1	1	+					</																											

資料2 植物の地点別確認状況(21/60)

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(22/60)

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(23/60)

No.	種名	15				16				17				18	19				19'	19	20						21						22						
		玉川上水				大蔵省グラウンド				浴風園				三泉湖公園	三井グループ南側	三井グループ南・西	三井グループ西側	三井の森公園	善福寺川緑地(1)						善福寺川緑地(2)						和田堀公園								
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
806	シャリンバイ												O		C																								
807	マルバシャリンバイ																																						
808	シロヤマブキ																																						
809	モッコウバラ																																						
810	デリハノイバラ																																						
811	ノイバラ	1	1	1	1		+	1	+	1	1																												
812	ハマナス																																						
813	クマイチゴ																																						
814	クサイチゴ																																						
815	バライチゴ																																						
816	ニガイチゴ																																						
817	モミジイチゴ																																						
818	ナガバモミジイチゴ																																						
819	ナワシロイチゴ	3	1	2	1																																		
820	エビガライチゴ																																						
821	カシイチゴ																																						
822	ワレモコウ	1	1	1	1																																		
823	ホザキナナカマド																																						
824	ナナカマド																																						
825	コデマリ																																						
826	イブキシモツケ																																						
827	シモツケ																																						
828	トサシモツケ																																						
829	シジミバナ																																						
830	ユキヤナギ																																						
831	ツルグミ																																						
832	オオバグミ																																						
833	ナツグミ																																						
834	ダイオウグミ																																						
835	トウグミ																																						
836	ナワシログミ																																						
837	アキグミ																																						
838	クマヤナギ																																						
839	ケンボナシ																																						
840	ナツメ																																						
841	ハルニレ																																						
842	ヨーロッパニレ																																						
843	アキニレ																																						
844	ケヤキ	1	1	1	1		+		1	1	1	2	1																										
845	ムクノキ	1	1	1	1		1	1	1	1	1	2	1																										
846	エノキ	+	1	2	2		1	1	1	1	1	1	1																										
847	カナムグラ	2	1	+	1		1	1	2	3	3	1	2																										
848	ツルコウゾ																																						
849	ヒメコウゾ																																						
850	カシノキ																																						
851	コウゾ																																						
852	クワカサ	1	1	+	+																																		
853	イチシク																																						
854	イヌビワ																																						
855	イタビカズラ																																						
856	ヒメイタビ																																						
857	ハルグワ																																						
858	マクワ																																						
859	シダレグワ																																						
860	ヤマグワ	1	+	+	+		+	+	+	+	+	1	+																										
861	オニヤブマオ																																						
862	ヤブマオ	1	1	3	2		1	+	+		1</																												

資料2 植物の地点別確認状況(24/60)

No.	種名	15				16				17				18	19				19'	19	20				21				22									
		玉川上水				大蔵省グラウンド				浴風園				三泉湖公園	三井グランド南側	三井グランド南・西	三井グランド西側	三井の森公園	善福寺川緑地(1)				善福寺川緑地(2)				和田堀公園											
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
921	ツルマサキ																																					
922	マサキ																																					
923	アイリマサキ																																					
924	ツリバナ																																					
925	オオツリバナ																																					
926	マユミ	+	+	+	1	+	1	1	+						O	C	1	1	+	+	+	+	1															
927	イモカタバミ														++	++	1																					
928	ハナカタバミ																																					
929	ベニカタバミ																																					
930	カタバミ	1	1	2		1	1	1	1	1	1	1	1		●	●	N	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	●	●	N	●	1	3	3	●	●	N
931	ウスアカカタバミ																																					
932	アカカタバミ																																					
933	ムラサキカタバミ	1	1	+		1	1	1	1	2	1	1	1		●	●	1	●	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
934	オッタチカタバミ																																					
935	ミヤマカタバミ																																					
936	オオキバナカタバミ																																					
937	フユカタバミ																																					
938	ホルトノキ																																					
939	エノキグサ	●	1	1	1	●	1	1	1	1	1	2	2	●	●	N	1	●	+	+++	1	1	N	1	1	1	1	1	●	●	N	+	2	2	1	●	N	
940	オオバベニガシワ																																					
941	ニシキソウ																																					
942	コニシキソウ	●																																				
943	オオニシキソウ																																					
944	ハイニシキソウ																																					
945	ショウジョウソウ																																					
946	トウダイグサ																																					
947	タカトウダイ																																					
948	ナツトウダイ	1	2	1	1																																	
949	アカメガシワ	1	1	1	+																																	
950	シラギ																																					
951	ナンキンハゼ																																					
952	アブラギリ																																					
953	ヒトツバハギ	1	+	+	+	●																																
954	キダチコミカンソウ																																					
955	コミカンソウ																																					
956	ナガエコミカンソウ																																					
957	ヒメカンソウ																																					
958	アマ																																					
959	トモエソウ																																					
960	セイヨウキンシロバイ																																					
961	オトギリソウ																																					
962	ヒメオトギリ																																					
963	コケオトギリ																																					
964	ビヨウヤナギ																																					
965	ギンシロバイ																																					
966	ヒペリクム・ヒドコート																																					
967	コゴメバオトギリ																																					
968	エゾノタチツボスミレ																																					
969	アリアケスミレ																																					
970	ナガバノスミレサイシン																																					
971	ヒゴスミレ																																					
972	エイザンスミレ																																					
973	タチツボスミレ	1	2	2	2	●	1	+	+	2	+	1	●	●	N	●	●	1	1	1	●	●	N	1	1	1	1											
974	サクサスミレ																																					
975	アオイスミレ																																					
976	ヒメスミレ																																					
977	コスミレ																	</																				

資料2 植物の地点別確認状況(25/60)

[illegible]

No.	種名	15				16				17				18	19				19'	19	20				21				22										
		玉川上水				大蔵省グラウンド				浴風園				三泉湧公園	三井カウヱント南・西	三井カウヱント南・西	三井カウヱント西側	三井の森公園	善福寺川緑地(1)				善福寺川緑地(2)				和田堀公園												
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次		
1151	ヒユ																																						
1152	ホナガイヌビユ																																						
1153	シロサ	1	1	+	1	●	1	1	+	1	1	+	1	●	●	N	1				+			1	2	+	1	●	1	1	1	1	1	1	1	1	1	●	N
1154	アカサ															O	N							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	●	N
1155	コアカサ				+								+	●	●										1	1	●												
1156	ホソバアカサ																																						
1157	アリタソウ																																						
1158	ケアリタソウ						1	+	1	●	1													1	1	+	+										1		
1159	アメリカアリタソウ																																						
1160	ゴウシュウアリタソウ															O																							
1161	ザクロソウ						1	1	1	●	1	+		●																								N	
1162	クルマバザクロソウ						1	1	1	●	1	+		●																									
1163	マツバボタン																																						
1164	スベリヒユ						1	1	1	1	1			●	N	1									1	+	●	N	●	1	1	1						●	
1165	ハナスベリヒユ																																						
1166	ハゼラン												+	●	●	1									1													●	1
1167	マツバギク																																						
1168	ツルナ																																						
1169	ヤマゴボウ																																						
1170	ヨロシユヤマゴボウ	1	●	+	+		+	1	1	1																													

資料2 植物の地点別確認状況(27/60)

[illegible]

[illegible]

—資料50—

資料2 植物の地点別確認状況(30/60)

No.	種名	15				16				17				18	19				19'	19	20				21				22			
		玉川上水				大蔵省グラウンド				浴風園				三泉園公園	三井グラウンド南側	三井グラウンド南・西	三井グラウンド西側	三井の森公園	善福寺川緑地(1)				善福寺川緑地(2)				和田堀公園					
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	
1611	ツルカノコソウ				●														1													
1612	ハコネウツギ																															
1613	ニシキウツギ																			1	1											
1614	タニウツギ																			1	1											
1615	ウド	●	+	+	1		1	1	2											1	1											
1616	タラノギ																															
1617	コシアブラ																															
1618	カクレミノ																															
1619	ヤマウコギ																															
1620	オカウコギ																															
1621	ヤツデ	1	2	1	1		1	1	1		●	N		1	1	1+1	1+2	2+2	2	●	N	●		1	2		●	N				
1622	カナリーキツタ											●	E																			
1623	セイヨウキツタ																															
1624	キツタ			1			1	1	1	2			●																			
1625	オオバチドメ											4	+																			
1626	ノチドメ																															
1627	オオチドメ		1	+									+		●	N																
1628	チドメグサ										1		1	1	●	N																
1629	ヒメチドメ										1		1			N																
1630	ハリギリ																															
1631	カミヤツデ																															
1632	トベラ																															
1633	ノダケ																															
1634	アシタバ																															
1635	シシウド																															
1636	ジャク																															
1637	セントウソウ																															
1638	ミツバ																															
1639	ムラサキミツバ																															
1640	マツバゼリ																															
1641	ハナウド																															
1642	セリ		1																													
1643	ヤブニンジン																															
1644	ヤマゼリ																															
1645	ウマノミツバ																															
1646	ヤブジラミ	5	3	3	3						+			1	O	N		●	2	2	2	++	●	N		1		N				
1647	オヤブジラミ																			1				N								

注1 第1次～第5次の表中の値は被度を示し、●は被度データはないが生育を確認していることを示す。

注2 第6次の表中の記号は以下の通り。
O:希少 ++:非常に多い ●:上記以外で生育を確認

注3 第7次の表中の記号は以下の通り。

N:在来 I:帰化 E:逸出 C:植栽 T:区内の他の自生地からの移植

注4 61～85その他希少植物調査確認地点には以下の調査地を含む。

61高井戸地域区民センター、62杉並上水所周辺、63個人宅、64高井戸1丁目、65個人宅(上井草2丁目)、66個人宅(今川2丁目)、67円福寺、68アパート(今川4丁目)、69旧富士銀行グラウンド、70農芸高校果樹園、71岩通ガーデン、72郷土博物館付近、73郷土博物館裏保存林、74久我山1丁目の団地、75農芸高校第一圃場、76高井戸駅周辺、77井の頭線沿い、78個人宅、79善福寺1丁目、80善福寺2丁目、81善福寺3丁目、82善福寺4丁目、83今川町4丁目、84旧三井グラウンド(東側)周辺、85善福寺川各地

注5) 第5次調査では上記の25カ所以外に以下の調査地でも希少植物調査が行われている。これらの調査地における確認種は各調査地の第5次の欄に表示した。

6観泉寺、15玉川上水、24わんぱく広場、28真盛寺、32塚山公園、34神田川、39-41善福寺川

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(32/60)

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(33/60)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

—資料59—

—資料60—

[illegible]

—資料62—

[illegible]

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(44/60)

No.	種名	23							24							25							26				27	28				29				30	31				32						
		大宮八幡							わんぱく広場							済美山自然林							富士銀行グ ラウンド				済美山 教育研 究所	真盛寺				妙法寺				築地本 願寺	和田堀公園観 察の森				塚山公園						
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次							
1496	ヤブタバコ	+	1	2	2	●	●	N	●	1	+	3																																			
1497	ガクシソウ	●	●		+		●		●	1				●	1	1	3	●	●	●	N	●	+																			●					
1498	ハネギク				+																																										
1499	ハネギク																																														
1500	イソギク																																														
1501	シロバナアブラギク																																														
1502	オニアザミ																																														
1503	モリアザミ																																														
1504	ノアザミ																																									●					
1505	アズマヤマアザミ																																														
1506	トネアザミ																																														
1507	ノハラアザミ													+																																	
1508	ヤマアザミ																																														
1509	ゼンブクシアザミ(新称)																																														
1510	アメリカオニアザミ																																														
1511	ハルシヤギク																																														
1512	コスモス																																														
1513	キバナコスモス																																									●					
1514	ペニバナボロギク																																									I					
1515	ヤクシソウ																																														
1516	ヤグルマギク																																														
1517	コダチダリア																																														
1518	ヒゴタイ																																														
1519	アメリカカサプロウ																																									I					
1520	タカサブロウ																																									●					
1521	ダンドボロギク	●	●		+		●																																								
1522	ヒメジョオン	●	1	+	2		●	I	2	1	1	+		●	1	1																										●					
1523	アレチノギク	●	1	1	1																								</																		

資料2 植物の地点別確認状況(45/60)

No.	種名	23							24							25							26				27	28				29					30	31				32						
		大宮八幡							わんぱく広場							済美山自然林							富士銀行グ ラウンド				済美山 教育研 究所	真盛寺				妙法寺					築地本 願寺	和田堀公園観 察の森				塚山公園						
		第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第6 次	第7 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第6 次	第7 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第1 次	第2 次	第3 次	第4 次	第5 次	第6 次	第7 次							
1611	ツルカノコソウ																																															
1612	ハコネウツギ																																															
1613	ニンシキウツギ			1	1																																					+ 1						
1614	タニウツギ																																															
1615	ウド			2	+																																											
1616	タラノキ																																										N					
1617	コンアブラ																																															
1618	カクレミノ																																															
1619	ヤマウコギ																																										C					
1620	オカウコギ																																															
1621	ヤツデ	1	1	1	1																																						N					
1622	ナナリーキツタ																																															
1623	セイヨウキツタ																																															
1624	キツタ	2	1	1	1																																											
1625	オオバチドメ																																															
1626	ノチドメ	1																																														
1627	オオチドメ																																															
1628	チドメグサ			1	1																																											
1629	ヒメチドメ																																															
1630	ハリギリ	1	+	+																																												
1631	カミヤツデ																																															
1632	トベラ			2																																												
1633	ノダケ																																															
1634	アシタバ																																															
1635	ジンソド																																															
1636	シヤク																																															
1637	センノウソウ																																															
1638	ミズバ																																															
1639	ムラサキミツバ																																															
1640	マツハゼリ																																															
1641	ハナウド																																															
1642	セリ																																															
1643	ヤブニンジン																																															
1644	ヤマゼリ																																															
1645	ウマノミツバ																																															
1646	ヤブジラミ																																															
1647	オヤブジラミ																																															

注1 第1次～第5次の表中の値は被度を示し、●は被度データはないが生育を確認していることを示す。

注2 第6次の表中の記号は以下の通り。
○:希少 ++:非常に多い ●:上記以外で生育を確認

注3 第7次の表中の記号は以下の通り。
N:在来 I:帰化 E:逸出 C:植栽 T:区内の他の自生地からの移植

注4 61~85その他希少植物調査確認地点には以下の調査地を含む。

61 高井戸地域区民センター、62杉並上水所周、63個人宅、64高井戸1丁目、65個人宅(上井草2丁目)、66個人宅(今川2丁目)、67円福寺、68アピア(今川4丁目)、69日富士銀行グラウンド、70農芸高校果樹園、71岩通ガーデン、72草葉博物館付近、73都立博物館裏保存林、74久我山3丁目の団地、75農芸高校第一園地、76高井戸駅南口、77井の頭緑地、78個人宅、79善喜寺1丁目、80善喜寺2丁目、81善喜寺3丁目、82善喜寺4丁目、83今川4丁目、84日比谷公園(東側)園地、85個人宅(三軒木)

注5) 第5次調査では上記の25カ所以外に以下の調査地でも希少植物調査が行われた。これらの調査地における確認種は各調査地の第5次の欄に表示した。

資料2 植物の地点別確認状況(46/60)

No.	種名	33-38		34-35	39-43		39-41	44		45-49		45	55		59		60		60'	86	87	61-85			
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線		井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)		柏の宮 公園		蜷糸の森 公園	どんべり 山児童 園	農芸 高校	南荻窪 4丁目	その他希少 植物調査確 認地点	
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次
1	ヒカゲノカズラ																								●
2	カタヒバ																								
3	イヌカヒバ																								
4	タチカラマゴケ																								
5	クラマゴケ																								
6	イワヒバ																								
7	コンテリタラムゴケ																								
8	オオハナワラビ																								
9	アカハナワラビ																								
10	フユノハナワラビ																								
11	ナツノハナワラビ																								●
12	コヒロハハナヤスリ																								
13	コハナヤスリ																								●
14	ヒロハハナヤスリ																								●
15	マツバラシ																								
16	スギナ	●	●	●	●	●	●	●		1	1	3	2	●	●	●	N	●	●	●	●	N	N		
17	トクサ					●	●	●				1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	N	C		
18	イズドクサ					●	●						●	●	●	●									
19	オニゼンマイ																								
20	ゼンマイ		●	●	●						+	●	●	●		●	●	O	N		●	O	N		●
21	ヤマドリゼンマイ																								
22	ソウダ																								
23	カニクサ		●	●		●	●	●	●					●	●	●	O								
24	イヌシダ													●	●	●	N				●	N	N		●
25	イヅミワラビ													●	●	●	O	N							●
26	フモトシダ																								●
27	ワラビ																								
28	ホウライシダ					●		●																	
29	ハコネシダ																								
30	クジャクシダ																								
31	イワガセゼンマイ																								
32	イワガネソウ																								
33	タチシノブ																								●
34	オオハナイノモトソウ					●	●																		●
35	イノモトソウ	●	●	●	●	●	●	●		+	+	1	2	●	●	●	N		●	N	●	N	N	N	●
36	アイノモトソウ													●	●	●					●	N	N		●
37	コハレノキシダ																								●
38	トラノオシダ																								●
39	ホシダ																								
40	ゲジガシダ																								
41	イヌケホシダ																								
42	ハシゴシダ																								
43	ハリガネワラビ																								
44	ヒメシダ																								
45	ミジシダ																								</

資料2 植物の地点別確認状況(47/60)

[illegible]

—資料69—

資料2 植物の地点別確認状況(49/60)

[illegible]

—資料71—

資料2 植物の地点別確認状況(51/60)

No.	種名	33-38		34-38		34-35		39-43		39-41		44		45-49		45		55		59		60		60'		86		87		61-85					
		神田川					善福寺川					妙正寺川					井の頭線					井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)		柏の宮 公園		蚕糸の森 公園		どんべり 山児童 園		農芸 高校		南荻窪 4丁目		その他希少 植物調査確 認地点	
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次				
576	セリバオウレン																																		
577	セリバヒュンソウ																							I					I						
578	クレマチス																																		
579	ミズマズローズ																																		
580	ミズミズ																					C													
581	オキナグサ																																		
582	イトクツネノボタン																																		
583	ケキツネノボタン																																		
584	ウマノアシガタ			●	●				●						●																				
585	トゲミノキツネノボタン																																		
586	タガラシ							●																											
587	キツネノボタン			●																															
588	ヒメウス					●			●	●											O	T								N					
589	カラマツソウ														●	●	●																		
590	アキカラマツ							●																											
591	ノカラマツ														●					●	O	T													
592	キンバイソウ																																		
593	アワブキ																																		
594	ヤマビロ																																		
595	ハス																				●	C													
596	アメリカスズカケノキ									●															C										
597	スズカケノキ														●	3	●							●											
598	モミジバズカケノキ																●	●	●	C				●	●	C									
599	ヤマグルマ																●	●	●	C				●	●	C									
600	ツゲ																																		
601	ヒメツゲ			●					●																										
602	セイヨウツゲ			●	●																														
603	フッキソウ			●	●																●	C								C					
604	フウ																								●	C									
605	モミジバフウ																							●	C										
606	ヒュウガミズキ			●	●	●											●	●	●	C	●	●	C	●	●	C									
607	トサミズキ																●	●	●	C	●	●	C	●	●	C		●	C	C					
608	マルバノキ																●	●	●	C				●	●	C									
609	イスノキ																													C					
610	マンサク																							●											
611	シナマンサク																								●										
612	トウリマンサク																								●	C									
613	ペニバサトキワマンサク																								●	C									
614	カツラ			●	●				●	●								●	●	●	C							●	C	C					
615	ユズリハ		●	●	●				●	●								●	●	●	C						●	●	●	C					
616	ヒメユズリハ														●	1	●	●	●	C	●	O	E	●	●	++	C		●	E					
617	ヤマシャクヤク																										●	●	●	C					
618	コマガタケスグリ																																		
619	フサスグリ																																		
620	チダケサシ																																		
621	トリアシショウマ																																		
622	アカシヨウマ																																		
623	ハルユキノシタ																																		
624	ユキノシタ		●	●	●			●	●	●			●	1	+			●	●						●										
625	ペンケイソウ									●			+	+																					
626	キンソウ																																		
627	コマチマンネングサ	●	●	●	●			●	●	●			●	+				+																	
628	メマンネングサ	●	●	●	●			●	●	●			+	1	+	1	●	●	●				●	N				●	N	N					
629	タイトゴメ	●	●	●				●																											
630	オノマンネングサ	●	●	●	●			●	●	●			1	1			●	●	●																
631	マルバマンネングサ																																		
632	メキシコマンネングサ	●	●	●	●			●	●	●				+	+	+	●	●												C					
633	ツルマンネングサ	●						●	●	●				1	+	+		●	●																
634	ヨコハママンネングサ																													I					
635	タコノアシ																																		
636	オオフサモ									●																				I					
637	ノブドウ	●	●	●	●			●	●	●																									
638	ヤブカラシ	●	●	●	●	●		●	●	●			2	1	2	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	N					
639	ツタ	●	●	●	●	●		●	●	●				+	4	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	N					
640	ヤマブドウ																																		
641	エビヅル	●	●	●	●			●	●	●				+			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●						
642	サンカクツル																																		
643	ブドウ																																		
644	アメリカフウロ	●	●	●	●	●		●	●	●			1				●	●		+	●	I	●	I	I		●	I	I						
645	クシフウロ																																		
646	ヒメフウロ																																		
647	ゲンシショウコ							●	●	●				+				●	●																
648	ゴンズイ																	1	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●						
649	ミジバウツギ			●	●	●			●	●															●		N								
650	ギボシ																							●	●	●	●	●	●						
651	サルズベリ			●	●				●	●															●	●	●	●	C	C					
652	ミヅハギ																																		
653	エゾミソハギ																																		
654	ザクロ									●				+																					
655	ミズタマソウ																													C					
656	アカハダ																		</																

資料2 植物の地点別確認状況 (52/60)

No.	種名	33-38				39-43				44				45-49				45				55				59				60				60'				86				87				61-85			
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線				井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)				柏の宮 公園				蜜糸の森 公園				じんぐり 山児童 園				農芸 高校				南荻窪 4丁目				その他希少 植物調査確 認地点							
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次														
691	ヤマハギ		●																				●	●																									
692	ギンギ							●	●	●														●	●																								
693	オドハギ	●	●	●				●	●	●						●								●	●	N			●	C																			
694	ハイズドハギ																							●	●	N																							
695	マルバハギ																							●	●	C																							
696	ツクシハギ																							●	●	C																							
697	ネコハギ							●	●							●	●	●							●	●	N							O	N														
698	シラハギ														●	●	●																	N															
699	ビッチュウヤマハギ																									C																							
700	ミヤギノハギ	●																																	C														
701	イヌハギ																																																
702	マキエハギ																										O	N																					
703	ミヤコグサ																																																
704	イヌエンジュ																							●	●	C																							
705	コメツブウマゴヤシ																																																
706	ウマゴヤシ									●	+																																						
707	ムラサキウマゴヤシ																																																
708	クズ	●	●	●	●		●	●	●	●				3	●	●	●	●	●					●	●	N							●																
709	ハナエンジュ																																																
710	ハリエンジュ																																			C													
711	トゲナシハリエンジュ																																																
712	ハナセンナ																																																
713	クララ																																																
714	エンジュ	●			●		●	●	●	●		+	+		●	●	●							●	E		●	C			●	E																	
715	クスタマツメクサ																																																
716	コメツブツメクサ																																			I													
717	ムラサキツメクサ	●	●	●	●		●	●	●	●					●	●	●	●						●	●	I	●	●	I				●	I															
718	シロツメクサ	●	●	●	●		●	●	●	●		2	1	1	1	●	●	●	●	●	●	●	++	1	●	●	I	●	I				●	I															
719	スズメノエンドウ	●	●	●	●		●	●	●	●		●	1	+	+	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	I	●	I						N		●													
720	ヤハズエンドウ	●	●	●	●		●	●	●	●		●	1	+	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	N	●	●	N		N		●	N															
721	カヌメグサ														+	+	●	●	●					O	I																								
722	ナシナシハギ																																																
723	ヤブツルアズキ																																																
724	フジ	●	●	●	●		●	●	●					+	●	●	●	●	●	●	●	1	+	●	●	N		●	N	●	●	N	●	●	C	NC													
725	キスミズヒキ				●		●	●	●																																								
726	ザイフリボク				●		●							+			●							●	N																								
727	ジュースベリー																																			C													
728	アズキナシ																																																
729	セイヨウミザクラ			●																																													
730	カンヒザクラ													+																																			
731	マメザクラ																																			C													
732	イトザクラ			●	●			●				2	2																							C													
733	エドヒガン																										●	●	●																				
734	ヤマザクラ			●	●																						●	●	●																				
735	カワヅザクラ																●							●	●	C	●	●	N																				
736	スルガダイニオイ																										●	●	C																				
737	カスミザクラ																																																
738	コハザクラ																																																
739	オオヤマザクラ																																																
740	サトザクラ								●			+	+					●	1	●							●							●															
741	サトザクラ(晋賢象)																																																
742	サトザクラ(御衣黄)																																																
743	サトザクラ(豊金桜)														+																																		
744	サトザクラ(旗桜)																																																
745	サトザクラ(一葉)																																																
746	サトザクラ(妹背)																																																
747	サトザクラ(閑山)																																																
748	サトザクラ(紅葉)																																																
749	サトザクラ(松月)																																																
750	サトザクラ(八重曙)																																																
751	サトザクラ(陽光)																																																
752	シラハザクラ							●																																									
753	ハヤザキオオシマザクラ																											●	C																				
754	ヤエベニシダレ																																																
755	コマツオトメ																																																
756	オオシマザクラ																							●	C	●	●	C	●	●	C																		
757	コシノヒガンザクラ																										●	●	C	●	●	C																	
758	ジュウガツザクラ																																																
759	オモイガワ																																																
760	ソメイヨシノ	●	●	●	●		●	●	●					</																																			

資料2 植物の地点別確認状況(53/60)

No.	種名	33-38					34-38					39-43					39-41					44					45-49					45					55					59					60					60'					86					87					61-85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		神田川					善福寺川					妙正寺川					井の頭線					井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)					柏の宮公園					蜷糸の森公園					どんぶり山児童園					農芸高校					南荻窪4丁目					その他希少植物調査確認地点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次	第11次	第12次	第13次	第14次	第15次	第16次	第17次	第18次	第19次	第20次	第21次	第22次	第23次	第24次	第25次																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
806	シャリンバイ		●	●	●																							●	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

資料2 植物の地点別確認状況(54/60)

No.	種名	33-38				39-43				44				45-49				55				59				60				60				86				87				61-85			
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線				井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)				柏の宮 公園				飯糸の森 公園				どんぐり 山児童 園				農芸 高校				南荻窪 4丁目				その他希少 植物調査確 認地点			
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次										
921	ツルマサキ																																												
922	マサキ		●	●	●									+						●	1	●												●		C									
923	アイリマサキ																																			C									
924	ツリバナ																																												
925	オオツリバナ																																												
926	マユミ																			●	●				●	●	●	NC					●		N										
927	イモカタバミ																																												
928	ハナカタバミ				●			●																												I									
929	ベニカタバミ																																												
930	カタバミ	●	●	●	●			●	●	●	●			3	1	2	2	●	●	●	●	●	●	+	●	●	N	●	●	N	●	●	N	●	●	N	N								
931	ウスアカカタバミ	●	●	●	●			●	●	●	●						1	1	1	●	●	●	●	+	●	●																			
932	アカカタバミ	●	●	●	●			●	●	●	●						1	1	1	●	●	●	●	+	●	●										N									
933	ムラサキカタバミ	●	●	●	●			●	●	●	●			1	1	1	1	●	●	●	●	+	●	●	1	●	●	1	●	●						I	I								
934	オウタチカタバミ	●	●	●	●			●	●	●	●			1	1	1	1	●	●	●	●	+	●	●	1	●	●	1	●	●						●	I								
935	ミヤマカタバミ																									●	1	●	●	1							●	I							
936	オオキバナカタバミ							●																																					
937	フユウカタバミ																																												
938	ホルトノキ																																			●	C								
939	エンゲイサ	●	●	●	●			●	●	●	●			2	+	+	+	●	●	●	●	+	●	●	N	●	●	N		●	N				●	N	N								
940	オオバベニガシワ																	+	+																										
941	ニシキソウ	●	●	●	●			●	●	●	●							+	+																										
942	ロニシキソウ	●	●	●	●			●	●	●	●			2	1	1	1	+	+					+			●	●	●	1					●	N	O								
943	オオニシキソウ							●	●	●	●			1	+																					●	I								
944	ハイニシキソウ																																												
945	ショウショウソウ																																												
946	トウダイグサ																																												
947	タカトウダイ																																												
948	ナツトウダイ			●	●																																								
949	アカメガシワ	●	●	●	●			●	●	●	●			+				●	●	●	●	●	3	●	●	●	N	●	●	N	●	●	●	●	N										
950	シラキ																																												
951	ナツキンハゼ																																												
952	アツタギ																																												
953	トツムハギ																																												
954	キダチコミカンソウ																																												
955	コミカンソウ																																												
956	ナガエコミカンソウ																																												
957	ヒメカンソウ																																												
958	アマ																																												
959	トモエソウ																																												
960	セイヨウキンシバイ				●	●																																							
961	オトギリソウ																																												
962	ヒメオトギリ	●																																											
963	コケオトギリ																																												
964	ビヨウヤナギ				●	●								+	1	+																													
965	キンシバイ				●	●								+																							C								
966	ヒペリカム・ヒドコート				●	●																																							
967	ロゴメバオトギリ																																												
968	エゾノタチツボスミレ																																												
969	アリアケスミレ							●		●	●																																		
970	ナガバノスミレサイシン																																												
971	ヒゴスミレ																																												
972	エイザンスミレ				●	●																																							
973	タチツボスミレ	●	●	●	●			●	●	●	●																																		
974	サクラスミレ																																												
975	アオイスミレ																																												
976	ヒメスミレ																																												
977	コスミレ			●	●	●				●	●	+																																	
978	マルバースミレ				●	●				●	●	+																																	
979	スミレ	●	●	●	●			●	●	●	●						1																												
980	ニオイタチツボスミレ																																												
981	ニオイスミレ			●	●	●				●	●	1	+	+																															
982	アカネスミレ																																												
983	フモトスミレ																																												
984	アリアケスミレサイシン																																												
985	スミレサイシン		●		●					●	●	+																																	
986	ウボスミレ							●	●	●	●																																		
987	シハイスミレ							●	●	●	●	+																																	
988	ハジスミレ																																												

資料2 植物の地点別確認状況(55/60)

No.	種名	33-38				34-35	39-43				39-41	44				45-49				45	55				59				60				60'	86	87	61-85
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線				井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)	柏の宮 公園				蚕糸の森 公園	どんぐり 山児童 園				農芸 高校	南荻窪 4丁目	その他希 有植物調査 認地点						
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次		第3次	第4次	第1次	第2次		第3次	第4次	第5次	第6次				第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	
1036	チドリノキ																																			
1037	ミツデカエデ																																			
1038	クリカエデ																																			
1039	カシカエデ																																			
1040	ハナチワカエデ																																			
1041	メグスリノキ																																			
1042	エンコウカエデ																																			
1043	イタヤカエデ																																			
1044	トネリコバノカエデ																																			
1045	イロハモミジ																																			
1046	ベニシダレモミジ																																			
1047	ハムカエデ																																			
1048	オニイタヤ																																			
1049	ハナノキ																																			
1050	サトウカエデ																																			
1051	オオイタヤマゲタ																																			
1052	コハナチワカエデ																																			
1053	マロニエ																																			
1054	トチノキ																																			
1055	フウセンカズラ																																			
1056	モクゲンジ																																			
1057	ムクロジ																																			
1058	ニワウルシ																																			
1059	ニガキ																																			
1060	センダン																																			
1061	チャンチン																																			
1062	ダイダイ																																			
1063	ハナユ																																			
1064	キンカン																																			
1065	ユズ																																			
1066	ナツミカン																																			
1067	カラダチ																																			
1068	ウシシュミカン																																			
1069	コクサギ																																			
1070	キハダ																																			
1071	ツルシキミ																																			
1072	ミヤマシキミ																																			
1073	カラスザンショウ																																			
1074	イワザンショウ																																			
1075	ササバショウ																																			
1076	アサカザンショウ																																			
1077	イズザンショウ																																			
1078	ウキツリボク																																			
1079	タチアオイ																																			
1080	カボック																																			
1081	カラスノゴマ																																			
1082	アオサギ																																			
1083	モミジアオイ																																			
1084	フヨウ																																			
1085	スイフヨウ																																			
1086	ムクゲ																																			
1087	ゼニアオイ																																			
1088	フユアオイ																																			
1089	アメリカキンゴジカ																																			
1090	シナノキ																																			
1091	ボダイジュ																																			
1092	ジンチョウゲ																																			
1093	オニシバリ																																			
1094	ミツマタ																																			
1095	ヤドリギ																																			
1096	ギョリュウ																																			
1097	シャクチリソバ																																			
1098	ソバ																																			
1099	イタドリ																																			
1100	ツルドクダミ																																			
1101	ワイヤーブランツ																																			
1102	ヒメツルソバ																																			
1103	ツルソバ																																			
1104	ミズヒキ																																			
1105	ギンミズヒキ																																			
1106	ヤナギスカボ																																			
1107	ヤナギタデ																																			
1108	シロバナサクラタデ																																			
1109	サナエタデ																																			
1110	オオシタデ																																			
1111	イヌタデ																																			
1112	ハルタデ																																			
1113	ギンミズヒキ																																			
1114	サクラタデ																																			
1115	オオケタデ																																			
1116	イシミカワ																																			

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況(57/60)

No.	種名	33-38			34-35	39-43			39-41	44			45-49			45	55			59			60	60'	86	87	61-85				
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線			井草森公園 (旧機械技術研究所跡地)			柏の宮公園			猿糸の森公園		ビンベリ山児童園	農芸高校	南荻窪4丁目	その他希少植物調査確認地点			
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次	第6次	第7次	第5次			
1266	ヨシバムグラ																										●				
1267	クサシ		●	●	●				●	●				1	1				●	●	C	●	●	C			C	C			
1268	ギョウチンシ		●	●	●				●	●																	C	C			
1269	シショウゲ								●	●						●							●								
1270	ハンカゲサ																								C						
1271	ヘクサズラ	●	●	●	●				●	●				2	1	2	3	●	●	●	●	3	●	●	N	●	●	N	N		
1272	アカネ								●	●									●	2					O	●	N	N			
1274	ハクショウゲ		●	●	●				●	●				2	2		●	●	●	1			●	C		●	C	●			
1275	ハナヤエムグラ																						●	C	I						
1276	アイナエ																														
1277	リンドウ																					N									
1278	フデリンドウ																														
1279	チョウジソウ																														
1280	ニチニチソウ																							C			C				
1281	イケマ																									C					
1282	コイケマ																														
1283	キジョラン																	●	●												
1284	ガガイモ			●				●	●	●	●							+				●	●						●		
1285	キョウチクトウ																	●	1			C						C			
1286	テイカカズラ	●		●	●									+			●						●	N			●	C			
1287	オオカモメヅル																										C				
1288	ツルニチニチソウ																										C				
1289	ヒメツルニチニチソウ																										C				
1290	タチカモメヅル																														
1291	コバナカモメヅル																	1													
1292	ハナイバナ			●				●	●	●								+			N	●	N		N	●	N	N		●	
1293	イヌムラサキ																														
1294	ムラサキ																														
1295	ホタルカズラ																														
1296	ノハラムラサキ																														
1297	ヒレハリソウ		●	●	●	●		●	●	●	●				+	1	●	●	●	●	●	+	●	●	N	●	●	N	N	I	
1298	キュウリソウ	●	●	●	●	●		●	●	●	●				●	●	3	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	I	
1299	コヒルガオ	●	●	●	●	●		●	●	●	●				3	1	2	1	●	●	●	1	●	●	●	●	●	●	●	N	
1300	ヒルガオ	●	●	●	●	●		●	●	●	●				+	3	+	2	●	●	●	●	2	●	●	●	●	●	●	N	
1301	セイヨウヒルガオ																													I	
1302	オオヒルガ																													C	
1303	マルバハロシ		●					●	●						+	+							●	E			●	I	1	I	
1304	アメリカアサガオ																	●									●	I	1	I	
1305	マルバアメリカアサガオ																	3												I	
1306	マメアサガオ			●																							●				
1307	アサガオ																										●				
1308	マルバアサガオ				●			●	●					2	3			●	●		+						●				
1309	ルコウソウ																														
1310	ホシアサガオ																											I			
1311	モミジルコウ																														
1312	ニオイハシマツリ																										●				
1313	チョウセンアサガオ																											C			
1314	ヨウシュチョウセンアサガオ	●																													
1315	クロ	●	●	●	●	●		●	●	●	●			1	+	2	2	●	●	●	●	●	1	●		●	●	C			
1316	トマト																											●		C	
1317	ミニトマト																													E	
1318	イガホオズキ																+		●	●	●										
1319	ホオズキ		●	●	●			●	●					+	+			●	●	●					●	C				C	
1320	センブリホオズキ																								●	C					
1321	デリミイヌホオズキ		●	●	●	●		●	●	●	●				+			●	●	●		1			I				I	I	
1322	ワルバズビ	●	●	●	●			●	●	●	●					+	●	●	●	●								●	I	I	
1323	ヒヨドリジョウゴ												●																		
1324	マルバノホシ																+					●	+	●	N	●	●	N		●	N
1325	オオイヌホオズキ																											●			
1326	イヌホオズキ	●	●	●	●			●	●	●	●			+		+	1		●					●	●	●	●	●	●	N	N
1327	タマシゴ			●	●			●	●	●	●			●															I	I	
1328	アメリカイヌホオズキ							●														●	I		●	●	●	●	●	I	
1329	ケイスホオズキ																														
1330	ハダカホオズキ																+		●	●											
1331	ヒトツバタゴ																														
1332	レンギョウ		●	●	●			●	●					+	+	+	+			●	1	●			●	C			●	C	
1333	シナレンギョウ																						●	●	C						
1334	チョウセンレンギョウ																														
1335	シオバネリコ																													C	
1336	トネリコ																														
1337	アサダモ																														
1338	キノケイ																														
1339	オウバエ																+														
1340	ハゴロモジャスミン																														
1341	ネズミモチ	●		●				●	●	●	●				+	+	+	●	●	●	●	●	3	●	●	●	N	●	●	●	NC
1342	トウネズミモチ	●	●	●	●			●	●	●	●			3	+	1	1	●	●	●	●	●	2	●	●	●	C	●	●	●	●
1343	イボタノキ		●	●	●			●	●	●	●											1	●	●	●	N	●	●	●	●	●
1344	セイヨウイボタ																														
1345	オリブ																														
1346	ギンモクセイ		●	●	●			●	●								+	●	●	●	●	2	●	●	C	●	●	E	●	●	C
1347	ギンモクセイ																														

No.	種名	33-38				34-	34-	39-43				39-	44				45-49				45	55						59			60			60 [*]	86	87	61-85	
						38	35					41										(旧機械技術研 究所跡地)						柏の宮 公園			蜜糸の森 公園			どんぐり 山児童 園	農芸 高校	南荻窪 4丁目	その他希少 植物調査確 認地点	
		第 1次	第 2次	第 3次	第 4次	第 5次	第 1次	第 2次	第 3次	第 4次	第 5次	第 1次	第 2次	第 3次	第 4次	第 1次	第 2次	第 3次	第 4次	第 1次	第 2次	第 3次	第 4次	第 5次	第 6次	第 7次	第 5次	第 6次	第 7次	第 5次	第 6次	第 7次	第 5次					
1381	セイヨウジュウニヒトエ																								O	N												
1382	コムラサキ																								C	C								C				
1384	シロミノコムラサキ																																	C				
1385	ムラサキシキブ					●																												C				
1386	シロシキブ																																					
1387	オオムラサキシキブ																																					
1388	ヤブムラサキ				●																																	
1389	ボタンクサギ																																					
1390	ヒギリ																																					
1391	クサギ	●	●	●	●		●	●	●	●		1	+	+	1	●	●	●	●	●	●	●	●	1	●	●	N		O	N				N				
1392	トウバナ																										●	N						N				
1393	イヌトウバナ	●																									●	N										
1394	ヤマトウバナ																																					
1395	ナギナタコウシュ																											●	O									
1396	カキノオシ						●	●	●	●		1				●	●	●																N				
1397	ヤマハッカ																																	N				
1398	ヒキオコシ																																					
1399	シモバシラ																																					
1400	オドリコソウ																																					
1401	ホトケノザ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	2	2	2	●	●	●	●	●	●	●	●	1	●	●	N		●					●				
1402	ヒメオドリコソウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	1	1	1	●	●	●	●	●	●	●	●	1	●	●	I		●									

資料2 植物の地点別確認状況(59/60)

[illegible]

資料2 植物の地点別確認状況 (60/60)

No.	種名	33-38				39-43				44				45-49				55				59				60				60'				86				87				61-85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		神田川				善福寺川				妙正寺川				井の頭線				井草森公園 (旧機械技術研 究所跡地)				柏の宮公 園				葦糸の森 公園				どんぐり 山児童 園				農芸 高校				南荻窪 4丁目				その他希 少植物調 査調査 認地点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1611	ツルカノソウ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

- 注1 第1次～第5次の表中の値は被度を示し、●は被度データはないが生育を確認していることを示す。
- 注2 第6次の表中の記号は以下の通り。
O:希少 ++:非常に多い ●:上記以外で生育を確認
- 注3 第7次の表中の記号は以下の通り。
N:在来 I:帰化 E:逸出 C:植栽 T:区内の他の自生地からの移植
- 注4 61～85その他希少植物調査確認地点には以下の調査地を含む。
61高井戸地域市民センター、62杉並上水所周辺、63個人宅、64高井戸1丁目、65個人宅(上井草2丁目)、66個人宅(今川2丁目)、67円福寺、68アパート(今川4丁目)、69旧富士銀行グラウンド、70農芸高校果樹園、71岩通ガーデン、72郷土博物館付近、73郷土博物館裏保存林、74久我山1丁目の団地、75農芸高校第一圃場、76高井戸駅周辺、77井の頭線沿い、78個人宅、79善福寺1丁目、80善福寺2丁目、81善福寺3丁目、82善福寺4丁目、83今川町4丁目、84旧三井グラウンド(東側)周辺、85善福寺川各地
- 注5) 第5次調査では上記の25カ所以外に以下の調査地でも希少植物調査が行われている。これらの調査地における確認種は各調査地の第5次の欄に表示した。
6観音寺、15玉川上水、24わんぱく広場、28真盛寺、32塚山公園、34神田川、39-41善福寺川

資料3 クモ類の年次別確認状況(1/5)

科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動様式	生息環境区分*1
トタテグモ	キノボリタテグモ	<i>Conothele fragaria</i>						○		樹皮	定住性	
	キシノウエタテグモ	<i>Latouchia typica</i>	○	○	○	○	○	○	○	地中	定住性	6
カネコタテグモ	カネコタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i>	○	○		○		○	○	地中	定住性	1
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschii</i>	○	○	○	○	○	○	○	地中	定住性	6
ワスレナグモ	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i>	○	○	○	○	○	○	○	地中	定住性	3
エンマグモ	ミヤグモ	<i>Ariadna lateralis</i>	○	○		○		○	○	樹皮・壁面造網	造網性	6
ユウレイグモ	イエユウレイグモ	<i>Pholcus phalangoides</i>	○		○	○	○	○	○	空間造網	造網性	7
	ユウレイグモ	<i>Pholcus zichyi</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	1
	シモングモ	<i>Spermophora senoculata</i>	○	○	○	○		○		空間造網	造網性	
ヤマシログモ	ユカタヤマシログモ	<i>Scytodes thoracica</i>	○	○	○	○	○	○	○	壁面徘徊	徘徊性	7
タマゴグモ	ダニグモ	<i>Gamasomorpha cataphracta</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	ナルトミダニグモ	<i>Ischnothyreus narutomii</i>		○	○					地上・落葉徘徊	徘徊性	
	シャラクダニグモ	<i>Opopaea syarakui</i>	○				○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	1
	オキツハネグモ	<i>Orchestina okitsui</i>							○	壁面徘徊	徘徊性	6
	アカハネグモ	<i>Orchestina sanguinea</i>	○					○	○	葉上徘徊	徘徊性	1
ハグモ	ナシジカレハグモ	<i>Brommella punctosparsa</i>						○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	ネコハグモ	<i>Dictyna felis</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上・壁面造網	造網性	7
	ヒナハグモ	<i>Dictyna foliicola</i>							○	葉上・壁面造網	造網性	3
	カレハグモ	<i>Lathys annulata</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	1
	ヤマトカレハグモ	<i>Lathys maculosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	1
	ムツメカレハグモ	<i>Lathys sexoculata</i>							○	樹皮・壁面造網	造網性	1
チリグモ	チリグモ	<i>Oecobius navus</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	7
ウズグモ	マネキグモ	<i>Miagrammopes orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	1
	トウキョウウズグモ	<i>Octonoba sinensis</i>	○	○	○	○				空間造網	造網性	
	カタハリウズグモ	<i>Octonoba sybotides</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	1
	ウズグモ	<i>Octonoba varians</i>	○		○	○	○	○	○	空間造網	造網性	1
ヤチグモ	アズマヤチグモ	<i>Coelotes kitazawai</i>	○					○		草木根元・地表造網	造網性	
	シモフリヤチグモ	<i>Iwogumoa insidiosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	6
	ヒメシモフリヤチグモ	<i>Iwogumoa interuna</i>							○	樹皮・壁面造網	造網性	6
	メガネヤチグモ	<i>Pireneitega luctuosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	6
コタナグモ	コタナグモ	<i>Cicurina japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	暗渠・地中間造網	造網性	6
タナグモ	クサグモ	<i>Agelena silvatica</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上・葉裏造網	造網性	6
	コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上・葉裏造網	造網性	6
	ヤマタナグモ	<i>Tegeocoelotes corasides</i>	○	○				○		葉上・葉裏造網	造網性	
ハタケグモ	ハタケグモ	<i>Hahnina corticicola</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
コモリグモ	スジプトコモリグモ	<i>Alopecosa virgata</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	カガリビコモリグモ	<i>Arctosa depectinata</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujii</i>	○	○	○	○	○			地上・落葉徘徊	徘徊性	
	ハラクロコモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	イナダハリゲコモリグモ	<i>Pardosa agraria</i>						○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	5
	ウツキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	ハリゲコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	テジロハリゲコモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i>		○						地上・落葉徘徊	徘徊性	
	キバラコモリグモ	<i>Piratura subpiraticus</i>			○					地上・落葉徘徊	徘徊性	
	ヒノマルコモリグモ	<i>Tricca japonica</i>		○	○			○		地上・落葉徘徊	徘徊性	
	アライトコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>		○						地上・落葉徘徊	徘徊性	
キンダグモ	アオグロハシグモ	<i>Dolomedes raptor</i>							○	暗渠・壁面徘徊	徘徊性	5
	イオウイロハシグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>	○	○	○	○		○	○	葉上徘徊	徘徊性	5
	アズマキンダグモ	<i>Pisaura lama</i>					○			葉上徘徊	徘徊性	
ササグモ	クリチャササグモ	<i>Oxyopes licenti</i>							○	葉上徘徊	徘徊性	2
	ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
ヒラタグモ	ヒラタグモ	<i>Uroctea compactilis</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面造網	造網性	6
センショウグモ	センショウグモ	<i>Ero japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	クモ捕食	徘徊性	1
ヒメグモ	アシトヒメグモ	<i>Anelosimus crassipes</i>			○	○	○	○	○	葉上・葉裏造網	造網性	1
	シロカネイソウロウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>	○		○	○	○	○	○	居候・クモ捕食	徘徊性	6
	チリイソウロウグモ	<i>Argyrodes kumadai</i>			○	○	○	○	○	居候・クモ捕食	徘徊性	6

資料3 クモ類の年次別確認状況(2/5)

科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動様式	生息環境区分*1
	オナガグモ	<i>Ariamnes cylindrogaster</i>		○	○			○		空間造網	造網性	
	ホシミドリヒメグモ	<i>Chrysso foliata</i>				○		○		葉上・葉裏造網	造網性	
	ヤホシヒメグモ	<i>Chrysso octomaculata</i>	○	○		○				葉上・葉裏造網	造網性	
	イワマヒメグモ	<i>Cryptachaea riparia</i>	○							空間造網	造網性	
	シモフリミジグモ	<i>Diplocephalus punctisparsa</i>	○	○	○	○	○	○	○	アリ捕食	徘徊性	1
	カレハヒメグモ	<i>Enoplognatha abrupta</i>						○	○	樹皮・壁面造網	造網性	6
	ヒシガタグモ	<i>Episinus affinis</i>			○	○	○	○		空間造網	造網性	
	ムラクモヒシガタグモ	<i>Episinus nubilus</i>	○	○		○	○	○	○	空間造網	造網性	1
	ハラナガヒシガタグモ	<i>Moneta caudifer</i>		○	○					空間造網	造網性	
	フタオイソウロウグモ	<i>Neospintherus fur</i>		○					○	居候・クモ捕食	徘徊性	1
	ヒメグモ	<i>Nihonhimea mundula</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	6
	ハイロヒメグモ	<i>Paidiscura subpallens</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	6
	ツリガネヒメグモ	<i>Parasteatoda angulithorax</i>		○	○	○	○	○	○	崖地空間	造網性	1
	キヒメグモ	<i>Parasteatoda asiatica</i>	○	○	○			○	○	葉上・葉裏造網	造網性	3
	カグヤヒメグモ	<i>Parasteatoda culicivola</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	1
	コンビラヒメグモ	<i>Parasteatoda komprensus</i>	○		○	○	○		○	葉上・葉裏造網	造網性	2
	キヨヒメグモ	<i>Parasteatoda oculiprominentis</i>			○	○		○	○	空間造網	造網性	6
	リュウキュウヒメグモ	<i>Parasteatoda ryukyu</i>							○	空間造網	造網性	1
	ハモンヒメグモ	<i>Parasteatoda simulans</i>						○	○	空間造網	造網性	1
	オオツリガネヒメグモ	<i>Parasteatoda tabulata</i>		○	○	○		○	○	崖地空間	造網性	1
	オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidariorum</i>	○	○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	6
	ハラダカツネグモ	<i>Phoroncidia altiventris</i>		○	○				○	葉上・葉裏造網	造網性	1
	キベリミジグモ	<i>Phycosoma flavomarginatum</i>			○					アリ捕食	徘徊性	
	カニミジグモ	<i>Phycosoma mustelinum</i>	○	○	○	○	○	○	○	アリ捕食	徘徊性	1
	サトヒメグモ	<i>Platnickina mneon</i>	○	○	○	○	○	○	○	壁面造網・クモ捕食	徘徊性	7
	ムナボシヒメグモ	<i>Platnickina sterninotata</i>	○	○	○	○	○	○	○	クモ捕食	徘徊性	1
	ヤリグモ	<i>Rhomphaea sagana</i>				○			○	居候・クモ捕食	徘徊性	2
	クロマルイソウロウグモ	<i>Spheropistha melanosoma</i>						○	○	居候・クモ捕食	徘徊性	6
	ミヤシタイソウロウグモ	<i>Spheropistha miyashitai</i>						○		居候・クモ捕食	徘徊性	
	ハンゲツオスナキグモ	<i>Steatoda cingulata</i>				○		○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
	シロホシヒメグモ	<i>Steatoda grossa</i>				○	○		○	暗渠・壁面造網	造網性	7
	マダラヒメグモ	<i>Steatoda triangulosa</i>						○	○	暗渠・壁面造網	造網性	7
	スネグロオチバヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	バラギヒメグモ	<i>Takayus chikunii</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上・葉裏造網	造網性	1
	ヒロハヒメグモ	<i>Takayus latifolius</i>						○		葉上・葉裏造網	造網性	
	シモフリヒメグモ	<i>Takayus lyricus</i>						○	○	草木根元・地表造網	造網性	2
	サダモトヒメグモ	<i>Takellina sadamotoi</i>							○	葉上・葉裏造網	造網性	1
	ムナグロヒメグモ	<i>Theridion pinastri</i>		○	○	○	○	○	○	空間造網	造網性	6
	ボカシミジグモ	<i>Yaginuma castrata</i>			○	○		○	○	アリ捕食	徘徊性	1
	コアカクシミジグモ	<i>Yaginuma mutilata</i>	○	○					○	アリ捕食	徘徊性	2
	コケヒメグモ	<i>Yunohamella subadulta</i>	○	○	○	○		○		樹皮・壁面造網	造網性	
ホラヒメグモ	コホラヒメグモ	<i>Nesticella brevipes</i>							○	草木根元・地表造網	造網性	1
	チビホラヒメグモ	<i>Nesticella mogera</i>			○					暗渠・地中間造網	造網性	
サラグモ	タマヤミサラグモ	<i>Arcuphantes tamaensis</i>				○	○			空間造網	造網性	
	ザラアカムネグモ	<i>Asperthorax communis</i>	○				○			草木根元・地表造網	造網性	
	ニホンウスイロサラグモ	<i>Asthenargus nipponius</i>							○	草木根元・地表造網	造網性	1
	カマクラスガグモ	<i>Baryphyma kamakuraensis</i>	○	○						草木根元・地表造網	造網性	
	テナガグモ	<i>Bathypantes gracilis</i>	○	○	○	○	○	○		草木根元・地表造網	造網性	
	ハラジロムナキグモ	<i>Diplocephaloides saganus</i>	○		○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
	デーニツサラグモ	<i>Doenitzius peniculus</i>		○	○				○	草木根元・地表造網	造網性	1
	コデーニツサラグモ	<i>Doenitzius pruvus</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	ノゴリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>	○	○				○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
	ハナサラグモ	<i>Floronia exornata</i>			○					空間造網	造網性	
	ニセアカムネグモ	<i>Gnathonarium exsiccatum</i>	○	○	○	○	○	○		草木根元・地表造網	造網性	
	クロナンキングモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>	○	○	○	○	○			葉上・葉裏造網	造網性	
	クロケシグモ	<i>Meioneta nigra</i>		○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	3

資料3 クモ類の年次別確認状況(3/5)

科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動様式	生息環境区分*1
	タテヤマテナガグモ	<i>Microbathyphantes tateyamaensis</i>	○	○	○	○		○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	チビアカサラグモ	<i>Nematogmus sanguinolentus</i>	○			○	○		○	草木根元・地表造網	造網性	1
	ヘリジロサラグモ	<i>Nerienne oidedicata</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	2
	ナナメケシグモ	<i>Nippononeta obliqua</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	2
	ゴカクケシグモ	<i>Nippononeta pentagona</i>							○	草木根元・地表造網	造網性	2
	ツノケシグモ	<i>Nippononeta projecta</i>	○	○	○	○	○			草木根元・地表造網	造網性	
	イマダテテングスカグモ	<i>Oia imadatei</i>						○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	スソグロサラグモ	<i>Ostearius melanopygius</i>		○	○	○	○			草木根元・地表造網	造網性	
	テングスカグモ	<i>Paikiniiana mira</i>	○	○			○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	オオイオリヒメサラグモ	<i>Syedra oii</i>						○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	スガナミヤマジコナグモ	<i>Tapinocyba suganamii</i>							○	草木根元・地表造網	造網性	6
	ヤマトトウジスカグモ	<i>Tojinium japonicum</i>						○	○	草木根元・地表造網	造網性	1
	ユノハマサラグモ	<i>Turinyphia yunohamensis</i>	○		○					空閣造網	造網性	
	コトガリアカムネグモ	<i>Ummeliata angulituberis</i>							○	草木根元・地表造網	造網性	3
	トウキョウアカムネグモ	<i>Ummeliata feminea</i>	○	○	○	○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
	セスジアカムネグモ	<i>Ummeliata insecticeps</i>	○		○	○				草木根元・地表造網	造網性	
	オオサカアカムネグモ	<i>Ummeliata osakaensis</i>						○		草木根元・地表造網	造網性	
	チョビヒゲスカグモ	<i>Walckenaeria golovatchi</i>	○	○	○	○	○			草木根元・地表造網	造網性	
カラカラグモ	ヤマジグモ	<i>Ogulnius pullus</i>						○		空閣造網	造網性	
	カラカラグモ	<i>Theridiosoma epeiroides</i>							○	空閣造網	造網性	1
コツブグモ	ナンブコツブグモ	<i>Mysmenella pseudojobi</i>	○	○	○					草木根元・地表造網	造網性	
ナゲナワグモ	オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne akirai</i>						○		空閣造網	造網性	
アシナガグモ	オオクマヒメドヨウグモ	<i>Diphya okumae</i>						○		空閣造網	造網性	
	オオシロカネグモ	<i>Leucauge celebesiana</i>			○	○	○	○		空閣造網	造網性	
	コシロカネグモ	<i>Leucauge subblanda</i>	○	○		○	○	○	○	空閣造網	造網性	2
	キララシロカネグモ	<i>Leucauge subgemmea</i>	○	○	○		○	○	○	空閣造網	造網性	3
	メガネドヨウグモ	<i>Metleucauge yunohamensis</i>	○	○	○	○		○	○	空閣造網	造網性	5
	ヨツボシヒメアシナガグモ	<i>Pachygnatha quadrimaculata</i>	○	○		○	○	○	○	草木根元・地表造網	造網性	3
	ヒメアシナガグモ	<i>Pachygnatha tenera</i>	○							草木根元・地表造網	造網性	
	トガリアシナガグモ	<i>Tetragnatha caudicula</i>			○			○		空閣造網	造網性	
	ヤサガタアシナガグモ	<i>Tetragnatha maxillosa</i>		○	○			○	○	空閣造網	造網性	5
	ミドリアシナガグモ	<i>Tetragnatha pinicola</i>		○						空閣造網	造網性	
	アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	5
	ウロコアシナガグモ	<i>Tetragnatha squamata</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	1
	エゾアシナガグモ	<i>Tetragnatha yesoensis</i>							○	空閣造網	造網性	1
ジョロウグモ	ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	6
コガネグモ	ハツリグモ	<i>Acusilas coccineus</i>	○	○				○	○	空閣造網	造網性	1
	キザハシオニグモ	<i>Araneus abscissus</i>	○	○	○	○	○		○	空閣造網	造網性	3
	ヤエノオニグモ	<i>Araneus macacus</i>				○	○		○	空閣造網	造網性	2
	ビジョオニグモ	<i>Araneus mitificus</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	1
	マメオニグモ	<i>Araneus nojimai</i>			○					空閣造網	造網性	
	アオオニグモ	<i>Araneus pentagrammicus</i>		○		○	○	○		空閣造網	造網性	
	マルゾメオニグモ	<i>Araneus semilunaris</i>						○		空閣造網	造網性	
	カラオニグモ	<i>Araneus tsurusakii</i>		○	○	○		○	○	空閣造網	造網性	1
	オニグモ	<i>Araneus ventricosus</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	6
	ムツボシオニグモ	<i>Araniella yaginumai</i>			○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	1
	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>						○		空閣造網	造網性	
	ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichi</i>	○	○		○	○	○		空閣造網	造網性	
	コガタコガネグモ	<i>Argiope minuta</i>		○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	1
	ヤマトカナエグモ	<i>Chorizopes nipponicus</i>	○	○		○				居候・クモ捕食	徘徊性	
	シロゴミグモ	<i>Cyclosa alba</i>							○	空閣造網	造網性	1
	ギンメツギゴミグモ	<i>Cyclosa argenteoalba</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	6
	ヤマトゴミグモ	<i>Cyclosa japonica</i>						○	○	空閣造網	造網性	1
	キジロゴミグモ	<i>Cyclosa laticauda</i>						○		空閣造網	造網性	
	ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	○	○	○	○		○	○	空閣造網	造網性	6
	ヨツデゴミグモ	<i>Cyclosa sedeculata</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閣造網	造網性	1

資料3 クモ類の年次別確認状況(4/5)

科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動様式	生息環境区分*1
	マルゴミグモ	<i>Cyclosa vallata</i>						○	○	空閑造網	造網性	6
	スズミグモ	<i>Cyrtophora ikomosanensis</i>		○						空閑造網	造網性	
	サガオニグモ	<i>Eriophora astridae</i>		○			○	○		空閑造網	造網性	
	カラフトオニグモ	<i>Eriophora sachalinensis</i>	○	○	○		○	○	○	空閑造網	造網性	1
	トガリオニグモ	<i>Eriovixia pseudocentrodes</i>					○			空閑造網	造網性	
	トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhlii</i>						○		空閑造網	造網性	
	ヨツボシショウジョウグモ	<i>Hypsosinga pygmaea</i>				○				空閑造網	造網性	
	シロスジョウジョウグモ	<i>Hypsosinga sanguinea</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閑造網	造網性	2
	ナカムラオニグモ	<i>Larinioides cornutus</i>							○	空閑造網	造網性	4
	ドヨウオニグモ	<i>Neoscona adianta</i>						○		空閑造網	造網性	
	ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona mellottei</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閑造網	造網性	1
	イエオニグモ	<i>Neoscona nautica</i>						○	○	空閑造網	造網性	7
	コゲチャオニグモ	<i>Neoscona punctigera</i>	○	○	○				○	空閑造網	造網性	1
	サツマノミダマシ	<i>Neoscona scyloides</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閑造網	造網性	1
	ムツゲイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i>			○					投げ縄式	徘徊性	
	コオニグモモドキ	<i>Pronoides brunneus</i>	○			○				空閑造網	造網性	
	ズグロオニグモ	<i>Yaginomia sia</i>	○	○	○	○	○	○	○	空閑造網	造網性	7
シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>	○	○		○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
アワセグモ	アワセグモ	<i>Selenops bursarius</i>					○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	6
アシダカグモ	アシダカグモ	<i>Heteropoda venatoria</i>						○	○	壁面徘徊	徘徊性	7
	コアシダカグモ	<i>Sinopoda forcipata</i>			○		○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	6
エビグモ	キンイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	6
	キエビグモ	<i>Philodromus emarginatus</i>						○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	キハダエビグモ	<i>Philodromus spinatarsis</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	6
	アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	シャコグモ	<i>Tibellus japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	4
カニグモ	キハダカニグモ	<i>Bassaniana decorata</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	コカニグモ	<i>Coriarachne fulvipes</i>	○	○		○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	コハナグモ	<i>Diaea subdola</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	クマダハナグモ	<i>Ebelingia kumadai</i>		○	○	○		○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	ハナグモ	<i>Ebrechtella tricuspidata</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	アマガエビスグモ	<i>Lysiteles coronatus</i>	○	○	○	○		○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
	マツモトオチバカニグモ	<i>Oxyptila matsumotoi</i>		○	○	○		○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	1
	ニッポンオチバカニグモ	<i>Oxyptila nipponica</i>	○	○	○	○	○		○	地上・落葉徘徊	徘徊性	1
	ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
	ガザミグモ	<i>Pistius undulatus</i>						○		葉上徘徊	徘徊性	
	フノジグモ	<i>Synema globosum</i>	○							葉上徘徊	徘徊性	
	アズチグモ	<i>Thomisus labefactus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	トラフカニグモ	<i>Tmarus piger</i>	○		○	○	○	○		葉上徘徊	徘徊性	
	セマルトラフカニグモ	<i>Tmarus rimosus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
	ヤミイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	1
	ゾウシカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>		○	○	○				葉上徘徊	徘徊性	
ワシグモ	エビチャヨリケムリグモ	<i>Drassyllus sanmenensis</i>					○			地上・落葉徘徊	徘徊性	
	メクリグモ	<i>Gnaphosa kompirensis</i>			○				○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	シノノトシグモ	<i>Hitobia asiatica</i>						○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	ヒトオビトシグモ	<i>Hitobia unifascigera</i>	○	○						地上・落葉徘徊	徘徊性	
	ナミトシグモ	<i>Sanitubius anatolicus</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	ホシジロトシグモ	<i>Sergiolus hosiziro</i>					○		○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	マエトビケムリグモ	<i>Sernokorba pallidipatellis</i>			○	○			○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i>		○			○	○		地上・落葉徘徊	徘徊性	
イタチグモ	イタチグモ	<i>Itatsina praticola</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	1
ネコグモ	ネコグモ	<i>Trachelas japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
ウラシマグモ	オトヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	コムラウラシマグモ	<i>Otacilia komurai</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	1
	イナズマウラシマグモ	<i>Phrurolithus claripes</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	キレオビウラシマグモ	<i>Phrurolithus coreanus</i>							○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3

資料3 クモ類の年次別確認状況(5/5)

科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	生活型	採餌行動様式	生息環境区分*1
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	ヤバネウラシマグモ	<i>Phrurolithus pennatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	6
コマチグモ	アシナガコマチグモ	<i>Cheiracanthium eutittha</i>		○		○			○	葉上徘徊	徘徊性	2
	カバキコマチグモ	<i>Cheiracanthium japonicum</i>	○	○	○	○	○			葉上徘徊	徘徊性	
	ヤマトコマチグモ	<i>Cheiracanthium lascivum</i>			○	○				葉上徘徊	徘徊性	
	ヤサコマチグモ	<i>Cheiracanthium unicum</i>	○	○	○	○	○			葉上徘徊	徘徊性	
フログモ	マダラフログモ	<i>Clubiona deletrix</i>						○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	ヤマトフログモ	<i>Clubiona japonica</i>			○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	ハマキフログモ	<i>Clubiona japonicola</i>					○		○	葉上徘徊	徘徊性	3
	ヤバズフログモ	<i>Clubiona jucunda</i>	○	○	○		○	○		樹皮・壁面徘徊	徘徊性	
	ヒメフログモ	<i>Clubiona kurilensis</i>							○	葉上徘徊	徘徊性	3
	トビイロフログモ	<i>Clubiona lena</i>	○	○	○	○	○			葉上徘徊	徘徊性	
	マユミフログモ	<i>Clubiona mayumiae</i>		○	○	○				葉上徘徊	徘徊性	
	カギフログモ	<i>Clubiona pseudogermanica</i>						○	○	葉上徘徊	徘徊性	5
	マイコフログモ	<i>Clubiona rostrata</i>			○		○		○	葉上徘徊	徘徊性	1
	ムナアカフログモ	<i>Clubiona vigil</i>	○	○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
ハエトリグモ	マツモトハエトリ	<i>Bristowia heterospinosa</i>						○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	ウデブトハエトリ	<i>Harmochirus insulanus</i>	○						○	葉上徘徊	徘徊性	3
	アダンソンハエトリ	<i>Hasarius adansonii</i>						○	○	壁面徘徊	徘徊性	7
	コジャバラハエトリ	<i>Heliciscylindricus</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	エキスハエトリ	<i>Laufēia aenea</i>		○		○		○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	オオハエトリ	<i>Marpissa milleri</i>						○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>	○	○	○	○	○	○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	3
	オスクロハエトリ	<i>Mendoza canestrinii</i>						○		葉上徘徊	徘徊性	
	ヤバズハエトリ	<i>Mendoza elongata</i>			○	○			○	葉上徘徊	徘徊性	3
	シラヒゲハエトリ	<i>Menemerus fulvus</i>	○	○	○	○	○	○	○	壁面徘徊	徘徊性	7
	ヤガタアリグモ	<i>Myrmarachne elongata</i>						○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	タイリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>	○	○	○			○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
	ヤサアリグモ	<i>Myrmarachne inermichelis</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	クワガタアリグモ	<i>Myrmarachne kuwagata</i>							○	葉上徘徊	徘徊性	2
	チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	1
	マガネアサヒハエトリ	<i>Phintella arenicolor</i>					○		○	葉上徘徊	徘徊性	2
	メガネアサヒハエトリ	<i>Phintella linea</i>		○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	3
	メスジロハエトリ	<i>Phintella versicolor</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	デーニッツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	6
	チャスジハエトリ	<i>Plexippus paykulli</i>							○	壁面徘徊	徘徊性	7
	ミスジハエトリ	<i>Plexippus setipes</i>	○	○	○	○	○	○	○	壁面徘徊	徘徊性	6
	ヤガタハエトリ	<i>Pseudeuophrys erratica</i>							○	葉上徘徊	徘徊性	1
	イワテハエトリ	<i>Pseudeuophrys iwataensis</i>						○		地上・落葉徘徊	徘徊性	
	イナズマハエトリ	<i>Pseudicius vulpes</i>		○	○	○	○	○	○	樹皮・壁面徘徊	徘徊性	1
	ヒメカラスハエトリ	<i>Rhene albiger</i>	○	○	○	○	○	○		葉上徘徊	徘徊性	
	カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>	○	○	○	○	○	○	○	葉上徘徊	徘徊性	2
	キレワハエトリ	<i>Sibianor pullus</i>	○	○	○			○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	アオオビハエトリ	<i>Siler cupreus</i>	○	○	○	○		○	○	地上・落葉徘徊	徘徊性	2
	ヒトリコゲチャハエトリ	<i>Sitticus avocator</i>						○		樹皮・壁面徘徊	徘徊性	
	モンシロコゲチャハエトリ	<i>Sitticus fasciger</i>							○	壁面徘徊	徘徊性	6
	シラホシコゲチャハエトリ	<i>Sitticus penicillatus</i>					○			地上・落葉徘徊	徘徊性	
	アメイロハエトリ	<i>Synagelides agoriformis</i>					○			地上・落葉徘徊	徘徊性	
	ウススジハエトリ	<i>Yaginumaella striatipes</i>					○			葉上徘徊	徘徊性	
41科	276種		142	154	156	152	140	183	197	-	-	

*1 生息環境区分は第7次調査確認種のみ行った。 1;樹林地、2;樹林地・草地、3;草地、4;草地・水辺、5;水辺、6;市街地、その他、7;家屋、人工構造物
 ※第1次から第5次で確認されたワスレナグモ、第5次で確認されたナガゴガネグモ及びサツマノミダマシは調査地点以外での記録

資料4 クマ類の地点別確認状況(1/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(2/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(3/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(4/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(5/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(6/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(7/14)

科	種名	善福寺公園							井草八幡							観泉寺							今川2-15							妙正寺公園							荻窪八幡							久我山稲荷							玉川上水周辺							善福寺川緑地							和田堀公園																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	アオサゼハエトリ	○	○	○		○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

資料4 クマ類の地点別確認状況(8/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(9/14)

[illegible]

資料4 ヌ王類の地点別確認状況(10/14)

[illegible]

資料4 クマ類の地点別確認状況(11/14)

[illegible]

資料4 ヌ王類の地点別確認状況(12/14)

[illegible]

資料4 ヌ王類の地点別確認状況(13/14)

[illegible]

資料4 ク王類の地点別確認状況(14/14)

[illegible]

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(1/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
カゲロウ	マダラカゲロウ	アカマダラカゲロウ						○							○			
	コカゲロウ	シロハラコカゲロウ							○					○				
		フタバカゲロウ							○					○				
	ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ				○									○			
トンボ	アオイトトンボ	アオイトトンボ			○			○						○	○		○	
		オオアオイトトンボ	○		○			○				○	○		○			
		ホソミオツネイトンボ	○					○				○			○		偶産	
	カワトンボ	ハグロトンボ	○	○		○	○	○			○			○	○			
	モノサシトンボ	モノサシトンボ	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○			
	イトトンボ	ホソミイトトンボ			○			○					○		○			
		キイトンボ			○	○	○	○					○		○			
		ベニイトトンボ			○			○	○				○	○	○			
		アジイトトンボ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○			
		アオモンイトトンボ	○		○			○	○			○	○	○	○			
		クロイトトンボ	○		○		○	○			○	○	○	○	○			
		ムスジイトトンボ							○						○			
	ヤンマ	マルタンヤンマ			○			○	○					○	○	○		
		クロスジギンヤンマ	○			○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	
		ギンヤンマ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○			
		ヤブヤンマ			○			○	○				○	○	○			
	サナエトンボ	オナガサナエ	○					○					○			○	偶産	
		コオニヤンマ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		偶産	
		ウチワヤンマ			○								○					
	オニヤンマ	オニヤンマ						○							○		偶産	
	ヤマトンボ	オオヤマトンボ			○			○					○		○			
	トンボ	ヨツボシトンボ						○									○	偶産
		ハラビロトンボ							○						○			偶産
		シオカラトンボ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		シオヤトンボ							○								○	偶産
		オオシオカラトンボ	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ショウジョウトンボ	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コフキトンボ			○									○				
		コノシメトンボ	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	
		ナツアカネ	○		○	○		○					○	○		○		
		マユタテアカネ			○		○	○						○		○		
		アキアカネ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ノシメトンボ	○		○			○			○	○	○		○			
		マイコアカネ			○				○					○		○		
		ミヤマアカネ						○								○		偶産
		リスアカネ							○							○		
		ネキトンボ			○				○					○		○		
		ウスバキトンボ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
		チョウトンボ			○				○					○		○		
		コシアキトンボ	○		○	○	○	○			○	○	○		○			
ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	外来	
		ヤマトゴキブリ						○							○			
	チャバネゴキブリ	チャバネゴキブリ							○		○		○	○			外来	
		モリチャバネゴキブリ							○		○			○	○			
ウスヒラタゴキブリ									○					○			人為移入	
カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○		
		コカマキリ	○		○			○	○		○	○	○	○	○			
		チョウセンカマキリ			○			○						○		○		
		オオカマキリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
シロアリ	ミゾガシラシロアリ	ヤマトシロアリ						○							○			
	バッタ	カマドウマ	クラズミウマ	○										○		○		
キリギリス		カマドウマ						○								○		
		ヤブキリ	○	○					○				○			○		
		ヒガシキリギリス	○	○											○			人為移入
		クビキリギス	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
		ウスイロササキリ	○		○				○					○	○	○		
		ホシササキリ							○							○		偶産
		ハヤシノウマオイ	○										○					
ツユムシ		ツユムシ	○					○	○							○		
		セスジツユムシ			○			○	○					○		○		
		サトクダマキモドキ							○			○	○			○		
コオロギ		エンマコオロギ	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○		
		ハラオカメコオロギ							○	○	○	○		○	○	○		
		ミツカドコオロギ	○											○				
		モリオカメコオロギ	○	○	○			○								○		
		ツツレサセコオロギ	○	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(2/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
	マツムシ	アオマツムシ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来	
		ヒロバネカントダン	○											○				
		カントダン						○							○			
	ヒバリモドキ	キンヒバリ			○			○					○		○		偶産	
		カヤヒバリ						○			○	○			○		偶産	
		ウスグモスズ						○							○			
		マダラスズ	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○		
		ヒゲシロスズ						○							○		偶産	
		シバスズ	○	○	○			○			○	○	○	○	○			
	カネタタキ	カネタタキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	アリツカコオロギ	アリツカコオロギ	○									○						
	ケラ	○				○				○	○		○	○				
	ノミバツタ	ノミバツタ	○					○			○	○			○	○		
	ヒシバツタ	トゲヒシバツタ						○							○			
		ハネナガヒシバツタ	○									○						
		コバネヒシバツタ						○								○		
		ハラヒシバツタ	○					○	○	○	○				○	○	○	
	オンブバツタ	オンブバツタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	バツタ	ツチイナゴ		○											○			
		コバネイナゴ						○	○							○		
		ショウリョウバツタ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		
		ショウリョウバツタモドキ						○							○			
		マダラバツタ						○			○	○			○			
		トノサマバツタ	○				○				○	○			○		偶産	
		クルマバツタモドキ	○				○	○			○	○		○	○			
		イボバツタ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○			
		ナナフシ	ナナフシ	○		○	○		○		○	○	○		○			
ハサミムシ	マルムネハサミムシ							○						○				
	ヒゲジロハサミムシ	○		○	○	○	○				○	○		○				
カミムシ	オオハサミムシ							○						○				
	コナチャタテ	カツブシチャタテ							○				○			外来		
カメムシ	チャタテ	オオチャタテ						○			○				○			
	アブラムシ	クヌギミツアブラムシ						○							○			
		エゴノネコシアブラムシ						○							○			
		イスオオムネアブラムシ			○								○					
		エノキワタアブラムシ						○			○				○			
		マメアブラムシ					○								○			
		マメクロアブラムシ						○							○	外来		
		ニワトコアブラムシ						○							○			
		ホウセンカヒゲナガアブラムシ						○							○			
		キスゲフクレアブラムシ						○							○			
		ミツバウツギフクレアブラムシ						○							○			
		ソラメフクレアブラムシ						○							○			
		カンゾウコブアブラムシ						○							○			
		ニワトコヒゲナガアブラムシ						○							○			
		ムギヒゲナガアブラムシ						○							○			
		イバラヒゲナガアブラムシ						○							○			
		スイカズラヒゲナガアブラムシ						○							○			
		セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ						○			○	○			○	外来		
		クリオオアブラムシ						○							○			
	カタカイガラムシ	ヒモワタカイガラムシ						○							○			
	ワタフキカイガラムシ	オオワラジカイガラムシ					○	○			○				○	○		
		イセリアカイガラムシ								○	○			○			外来	
	キジラミ	ヤマトキジラミ						○							○			
	セミ	ニイニイゼミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		クマゼミ	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		アブラゼミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		ツクツクボウシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ヒグラシ		○		○			○	○		○	○	○	○	○				
ミンミンゼミ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
アワフキムシ	マツアワフキ						○							○				
	シロオビアワフキ						○			○				○				
トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ					○	○			○	○			○				
ヨコバイ	ミズク						○							○				
	コミミズク	○					○				○			○				
	ツマグロオオヨコバイ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	オオヨコバイ	○		○			○	○		○	○	○	○	○				
	クワキヨコバイ				○		○							○				
	クロスジホソサジヨコバイ						○							○				

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(3/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		ツマグロヨコバイ						○							○			
		クロヒラタヨコバイ							○						○			
		カシヒメヨコバイ	○												○			
	テングスケバ	テングスケバ			○		○	○	○				○	○	○			
	グンバイウンカ	ミドリグンバイウンカ				○	○				○				○			
	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	○		○		○	○		○	○	○	○		○	○		
	ハゴロモ	スケバハゴロモ			○			○					○		○			
		ベッコウハゴロモ	○	○				○			○	○		○	○			
		アミガサハゴロモ	○		○			○				○	○		○			
	ミズムシ	ミズムシ						○								○		
		コミズムシ							○						○			
	マツモムシ	マツモムシ							○						○			
	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ						○								○		
	カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ							○					○				
	アメンボ	オオアメンボ			○	○	○				○		○		○			
		アメンボ	○		○	○	○				○	○	○	○	○			
		ババアメンボ						○								○		
		コセアカアメンボ						○								○		
		ヤスマツアメンボ						○								○		
		ヒメアメンボ			○	○			○	○			○	○	○			
		エサキアメンボ						○								○		
	カスミカメムシ	ケブカキベリナガカスミカメ						○								○		
		ハギメンガタカスミカメ						○								○		
		ツヤクロカスミカメ						○								○		
		ウスモンミドリカスミカメ						○			○					○		
	グンバイムシ	イネホソミドリカスミカメ		○											○			
		ブラタナスグンバイ	○		○								○	○	○		外来	
		アワダチソウグンバイ			○									○			外来	
		ヘクソカズラグンバイ	○									○					外来	
		ナシグンバイ						○			○					○		
	ツツジグンバイ	○										○						
	マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	○	○				○				○		○	○			
	サシガメ	アカシマサシガメ	○					○	○		○	○		○	○			
		ヨコヅナサシガメ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○		外来	
		アカサシガメ	○					○				○				○		
		オオトビサシガメ						○								○		
		シマサシガメ	○		○							○	○	○				
		ヤニサシガメ						○			○	○				○		
	ヒラタカメムシ	トビイロオオヒラタカメムシ						○								○		
	ヒゲナガカメムシ	ヒゲナガカメムシ			○			○		○	○	○		○				
	ヒョウタンナガカメムシ	マツヒラタナガカメムシ	○					○				○				○		
		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ						○			○	○				○		
		サビヒョウタンナガカメムシ						○									○	
		キベリヒョウタンナガカメムシ	○									○						
		コバネヒョウタンナガカメムシ			○								○					
		オオモンシロナガカメムシ	○		○			○			○	○	○	○	○			
		シロヘリナガカメムシ						○								○		
		コバネナガカメムシ	○					○				○				○		
	オオメナガカメムシ	ヒメオオメナガカメムシ	○								○							
	マダラナガカメムシ	セスジナガカメムシ					○			○	○				○			
	ヒメジュウジナガカメムシ						○								○			
	ヒメナガカメムシ						○		○					○				
メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ							○				○						
イトカメムシ	イトカメムシ	○		○			○				○	○		○				
オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	○									○			○				
ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ			○									○					
	ニセヒメクモヘリカメムシ						○								○			
	ホソヘリカメムシ	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			
ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	○		○			○		○	○	○	○	○					
	スカシヒメヘリカメムシ	○		○			○	○			○	○	○	○				
ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○				
	マツヘリカメムシ						○								○	人為移入		
	オオツマキヘリカメムシ									○					○			
	ツマキヘリカメムシ	○				○									○			
	ミナミトゲヘリカメムシ						○								○			
	ホソハリカメムシ	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○				
	ハリカメムシ	○	○			○	○			○	○		○	○				
	ヒメハリカメムシ			○			○	○		○		○	○	○				
	キバラヘリカメムシ			○			○					○		○				
	ハラビロヘリカメムシ	○	○								○		○					

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(4/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考	
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部			
		オオクモヘリカメムシ	○			○		○					○			○			
		ホシハラビロヘリカメムシ	○	○				○					○		○	○			
	クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	○			○		○					○			○			
		クヌギカメムシ	○		○			○				○	○	○	○				
	マルカメムシ	マルカメムシ	○	○			○	○				○	○		○	○			
	ツチカメムシ	ヨコヅナツチカメムシ			○		○							○		○			
		ヒメツチカメムシ							○						○				
		コツチカメムシ			○									○					
		ツチカメムシ					○	○								○			
		マルツチカメムシ						○	○						○	○			
		ミツボシツチカメムシ	○	○	○			○					○	○	○	○			
	キンカメムシ	オオキンカメムシ			○				○				○	○	○			偶産	
		アカスジキンカメムシ	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○			
	カメムシ	シロヘリクチブトカメムシ	シロヘリクチブトカメムシ						○								○		
			ウズラカメムシ	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○		
			チャバネアオカメムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			クサギカメムシ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			ブチヒゲカメムシ		○			○	○							○	○		
			ムラサキシラホシカメムシ				○		○				○	○			○		
			マルシラホシカメムシ						○							○			
			シラホシカメムシ			○			○						○		○		
			キマダラカメムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来
			ウシカメムシ	○					○					○			○		
			ナカボシカメムシ						○				○	○			○		
			ツヤアオカメムシ	○					○					○			○		
			アオクサカメムシ					○									○		
			ミナミアオカメムシ		○			○	○	○		○				○	○		
			ヒメナガメ						○				○			○	○		
			ナガメ		○		○	○	○	○		○			○	○			
			アカスジカメムシ						○								○		
			オオクロカメムシ														○		
		ツノカメムシ	フトハサミツノカメムシ	○					○					○			○		
			セアカツノカメムシ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○			
			オオツノカメムシ			○								○					
			ヒメハサミツノカメムシ						○								○		
			ハサミツノカメムシ	○					○				○				○		
			アオモンツノカメムシ						○			○			○	○			
			ヒメツノカメムシ						○								○		
			セグロヒメツノカメムシ			○									○				
	エサキモンキツノカメムシ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○				
	ラクダムシ	ラクダムシ	ラクダムシ					○								○			
アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	アシマダラヒメカゲロウ						○							○				
	クサカゲロウ	アミメクサカゲロウ										○	○						
		ヨツボシクサカゲロウ	○						○				○		○				
		ヤマトクサカゲロウ	○		○		○	○					○	○		○			
		スズキクサカゲロウ						○								○			
		カオマダラクサカゲロウ						○								○			
		モイワウスバカゲロウ						○								○			
	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ	○		○			○	○			○	○		○	○	○		
		カスリウスバカゲロウ						○								○			
		ホシウスバカゲロウ						○			○				○	○			
コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		コハンミョウ	○					○					○			○			
	オサムシ	クロカタビロオサムシ						○								○		人為移入	
		アオオサムシ							○								○		
		セアカヒラタゴミムシ							○								○		
		キアシマルガタゴミムシ			○									○					
		マルガタゴミムシ	○	○	○			○			○	○	○	○	○				
		ヒメツヤマルガタゴミムシ	○									○				○			
		コマルガタゴミムシ	○				○	○				○				○			
		トゲアシゴモクムシ						○								○			
		オオゴモクムシ			○									○					
		ハコダテゴモクムシ															○		
		ケウスゴモクムシ							○								○		
		ヒメケゴモクムシ						○			○	○		○	○				
		ウスアカクロゴモクムシ		○											○				
		コゴモクムシ					○	○								○			
		アオヘリホソゴミムシ						○								○			
	シデムシ	オオヒラタシデムシ	○				○	○				○			○				
	ハネカクシ	アオバアリガタハネカクシ		○											○				

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(5/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考	
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部			
		アカバトガリオオズハネカクシ						○				○	○			○			
	マルハナノミ	トビイロマルハナノミ			○									○		○			
	クワガタムシ	コクワガタ	○		○		○	○				○	○	○	○	○			
		ノコギリクワガタ			○			○						○		○			
		ヒラタクワガタ			○			○						○		○			
	ムネアカセンチコガネ	ムネアカセンチコガネ						○								○			
	センチコガネ	オオセンチコガネ						○									○	人為移入	
		センチコガネ	○					○			○	○	○			○			
	コガネムシ	クロマルエンマコガネ						○									○		
		コブマルエンマコガネ	○					○					○				○		
		ツヤエンマコガネ						○									○		
		クロツツマグソコガネ																○	
		ヒメカンショコガネ						○										○	
		ナガチャコガネ						○										○	
		クロコガネ		○								○	○			○			
		オオクロコガネ						○										○	
		コクロコガネ						○										○	
		オオコフキコガネ						○	○							○	○		
		コフキコガネ	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		アシナガコガネ					○	○									○		
		アカビロウドコガネ						○				○	○					○	
		ビロウドコガネ			○			○				○		○	○	○			
		ヒメビロウドコガネ	○		○			○	○				○	○	○	○			
		マルガタビロウドコガネ							○							○			
		ワタリビロウドコガネ						○									○		
		コイチャコガネ										○	○						
		アオドウガネ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ドウガネブイブイ	○					○					○				○		
		ヒメコガネ	○					○					○				○		
		セマダラコガネ	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
		ヒメスジコガネ			○									○					
		スジコガネ							○									○	
		マメコガネ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			
		ヒラタハナムグリ	○						○			○	○					○	
		ヒメトラハナムグリ	○	○			○	○	○				○			○	○		
		コアオハナムグリ	○	○		○	○	○	○			○	○			○	○		
		シラホシハナムグリ	○		○		○	○	○			○	○	○	○	○			人為移入
		シロデンハナムグリ	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			
		カナブン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クロカナブン			○									○		○			
		カブトムシ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	タマムシ	ヒメヒラタタマムシ						○			○	○				○			
		ウバタマムシ						○								○			
		ムツボシタマムシ				○											○		
		タマムシ			○			○						○		○			
		クロナガタマムシ						○								○			
		ムネアカナガタマムシ	○					○				○				○			
		クズノチビタマムシ	○					○				○				○			
		コウゾチビタマムシ						○								○			
		ウメチビタマムシ									○	○							
ヤノナミガタチビタマムシ							○								○				
コメツクムシ	ヒゲコメツク	○									○								
	サビキコリ	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○					
	ムナビロサビキコリ							○							○				
	トラフコメツク			○			○	○					○	○	○				
	クロツヤクシコメツク						○								○				
	クシコメツク	○	○				○				○			○	○				
	クロクシコメツク						○								○				
	アカアシオオクシコメツク						○								○				
	オオクロクシコメツク						○								○				
ジョウカイボン	セボシジョウカイ	○					○				○			○					
カツオブシムシ	ヒメマルカツオブシムシ				○	○	○	○		○	○		○	○					
シバンムシ	ジンサンシバンムシ							○					○			外来			
ヒョウホンムシ	ナガヒョウホンムシ						○							○		外来			
コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト						○								○				
ケシキスイ	ナガコゲチャケシキスイ						○								○				
	オオヒラタケシキスイ			○									○						
	アカマダラケシキスイ			○			○						○		○				
	ウスオビカケシキスイ						○									○			
	ムネアカチビケシキスイ			○									○						

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(6/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考	
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部			
		ヨツボシケシキスイ	○		○			○					○	○		○			
	オオキシウムシ	ヨツボシオオキシイ			○								○						
	オオキノコムシ	アカハバヒロオオキノコムシ						○								○			
	テントウムシ	ムツボシテントウ						○									○		
		アミダテントウ	○										○						
		コクロヒメテントウ	○	○								○				○			
		ヒメアカホシテントウ	○					○	○							○	○		
		アカホシテントウ			○			○					○			○			
		ヨツボシテントウ			○								○						
		モンクチビルテントウ	○					○					○				○		
		ベダリアテントウ	○						○				○			○		外来	
		アカイロテントウ							○								○		
		アカヘリテントウ							○								○		
		カメノコテントウ							○								○		
		ムーアシロホシテントウ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				
		ナナホシテントウ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				
		ナミテントウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
		キイロテントウ	○					○	○	○		○	○		○	○			
		ダンドラテントウ	○	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○			
		ウスキホシテントウ							○									○	
		ヒメカメノコテントウ			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○			
		クモガタテントウ										○	○					外来	
		トホシテントウ	○					○	○				○				○		
		ニジウヤホシテントウ	○		○			○	○	○		○	○	○	○	○			
		ムネアカオオクロテントウ	○										○						
		カミキリモドキ	アオグロカミキリモドキ							○								○	
	カトウカミキリモドキ								○								○		
	ゴミムシダマシ	エチゴキバネハムシダマシ						○	○								○		
		オオメキバネハムシダマシ				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
		アラヒゲブトゴミムシダマシ							○								○		
		ヒゲブトゴミムシダマシ							○			○					○		
		ホンドクロオオクチキムシ							○								○		
		ナミチキムシ							○								○		
		クリイロクチキムシ	○												○				
		ホンドトビイロクチキムシ							○								○		
		ムネビロスナゴミムシダマシ							○									○	
		ベニモンキノコゴミムシダマシ							○									○	
		ルリゴミムシダマシ							○									○	
		コマルキマワリ							○									○	
		ヒメキマワリ	○										○						
		ニホンキマワリ	○						○				○		○	○			
		セスジナガキマワリ							○								○		
		カミキリムシ	ウスバカミキリ	○		○				○					○	○	○		
			クロカミキリ							○								○	
			アカハナカミキリ										○						○ 人為移入
	キマダラミヤマカミキリ		○						○				○				○		
	テツイロヒメカミキリ				○				○					○		○		外来	
	ヒメスギカミキリ								○								○		
	タケトラカミキリ		○										○		○				
	フタオビミドリトラカミキリ								○			○					○		
キスジトラカミキリ	○							○				○				○			
ヒメクロトラカミキリ																○			
カタシロゴマフカミキリ	○							○							○	○			
ゴマフカミキリ				○									○						
ナガゴマフカミキリ	○							○				○				○			
アトモンサビカミキリ								○								○			
アトジロサビカミキリ	○											○							
センノキカミキリ	○							○				○				○			
ゴマダラカミキリ								○								○			
キボシカミキリ	○						○	○			○	○		○	○		外来		
シラオビゴマフケンカミキリ								○								○			
ルリカミキリ											○					○			
リンゴカミキリ	○							○				○				○			
キクスイカミキリ											○	○				○			
ハムシ	キベリクビボソハムシ			○			○	○					○			○			
	キバラルリクビボソハムシ			○				○	○					○	○	○			
	アカクビボソハムシ			○			○						○			○			
	ヤマイモハムシ							○	○		○					○			
	キイロクビナガハムシ							○	○							○			
	アカクビナガハムシ							○			○					○			

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(7/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		バラリリツツハムシ						○							○			
		カシワツツハムシ						○							○			
		クロボシツツハムシ					○	○			○				○			
		アカガネサルハムシ									○				○			
		アオバネサルハムシ						○							○			
		イモサルハムシ		○			○	○			○			○	○	○		
		コフキケブカサルハムシ	○									○						
		ドウガネサルハムシ		○	○		○	○			○		○	○	○			
		ヨモギハムシ					○	○							○			
		ハッカハムシ					○				○	○			○			
		コガタリハムシ			○								○					
		ヤツボシハムシ	○					○				○			○			
		ダイコンサルハムシ									○			○	○			
		ヤナギルリハムシ			○			○					○		○			
		ウリハムシモドキ	○					○							○	○		
		ウリハムシ	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○		
		クロウリハムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クワハムシ	○										○					
		イタドリハムシ						○			○				○			
		イチモンジハムシ							○						○			
		サンゴジュハムシ	○		○		○	○			○		○	○	○			
		ニレハムシ						○								○		
		エノキハムシ	○					○				○			○			
		アカバナカミナリハムシ						○								○		
		デントウノミハムシ	○				○					○				○		
		ヘリグロデントウノミハムシ	○		○	○	○	○	○			○	○			○	○	
		ルリマルノミハムシ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			
		セモンジンガサハムシ	○										○					
		イノコヅチカメノコハムシ			○									○				
		ヒメカメノコハムシ	○									○						
		イチモンジカメノコハムシ						○								○		
	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ						○							○			
		カオジロヒゲナガゾウムシ						○							○			
		エゴヒゲナガゾウムシ	○					○						○	○			
	オトシブミ	ヒメクロオトシブミ			○								○					
		カシルリオトシブミ						○							○			
		ハイイロチョッキリ	○		○			○				○	○		○			
	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ						○							○	外来		
		コクゾウムシ							○					○		外来		
	イネゾウムシ	イネミズゾウムシ						○							○	外来		
	ゾウムシ	オビモンハナゾウムシ						○							○			
		クヌギシギゾウムシ			○			○					○		○			
		カシワノミゾウムシ						○							○			
		アルファルファタコゾウムシ									○	○				外来		
		ケブカヒメカタゾウムシ						○			○				○			
		ケブカクチブトゾウムシ	○		○			○				○	○		○			
		チビヒョウタンゾウムシ									○				○			
		カシワクチブトゾウムシ						○							○			
		ヒレルクチブトゾウムシ	○	○				○			○	○		○	○			
		ヒメシロコブゾウムシ						○							○			
	ツノヒゲボソゾウムシ						○							○				
	コフキゾウムシ	○					○			○	○			○				
	サビヒョウタンゾウムシ	○		○		○	○			○	○	○		○				
	スグリゾウムシ	○		○			○	○			○	○	○	○				
ハチ	キクイムシ	クリノミキクイムシ					○							○				
	キバチ	クロヒラアシキバチ					○							○				
	ミフシハバチ	アカスジチュウレンジ						○						○				
		チュウレンジバチ		○				○			○	○		○	○			
		ルリチュウレンジ	○				○	○			○	○		○	○			
	コンボウハバチ	アケビコンボウハバチ					○							○				
	マツハバチ	マツノキハバチ					○							○				
	ハバチ	ハグロハバチ					○	○			○				○			
		セグロカブラハバチ						○	○		○			○	○			
		ニホンカブラハバチ	○		○	○		○			○	○	○		○			
		イヌノフグリハバチ						○							○			
		カブラハバチ					○	○			○			○	○			
		コブシハバチ									○			○				
		チャイロハバチ						○							○			
		サクラヒメハバチ					○								○			
オスグロハバチ						○	○							○				

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(8/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		オオクロハバチ	○										○					
		アジサイハバチ						○	○					○	○			
		クロムネアオハバチ						○							○			
		トガリハチガタハバチ						○							○			
	コマユバチ	アオムシサムライコマユバチ									○			○				
	ヒメバチ	ヒメキアシヒラタヒメバチ						○							○			
		エゾオナガバチ						○							○			
		オオホシオナガバチ			○								○					
		ホウネンタワラチピアメバチ					○								○			
		シロスジヒメバチ					○								○			
		マダラヒメバチ	○										○					
		シリアゲコバチ	○										○					
		タマバチ	○										○					
		クヌギハマルタマバチ	○										○					
		クヌギエダイガタマバチ	○										○					
	セイボウ	ハラアカマルセイボウ						○								○		
		オオセイボウ						○								○		
	ツチバチ	コモンツチバチ		○				○	○		○	○		○	○			
		アカスジツチバチ						○								○		
		オオモンツチバチ	○									○	○					
		キオビツチバチ	○	○			○	○	○		○	○		○	○	○		
		ヒメハラナガツチバチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		オオハラナガツチバチ						○								○		
		キンケハラナガツチバチ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		シロオビハラナガツチバチ			○	○	○		○		○		○	○	○			
	アリ	イトウオアリ					○									○		
		クロオアリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
		クサオアリ										○				○		
		ヨツボシオアリ	○		○		○	○					○	○		○		
		クロヤマアリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		キイロケアリ						○								○		
		クロクサアリ		○	○			○						○	○			
		トビイロケアリ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来	
		ヒラアシクサアリ					○	○								○		
		アメイロケアリ	○					○						○	○			
		アメイロアリ							○					○				
		サムライアリ	○					○				○			○			
		トゲアリ	○										○					
		アシナガアリ						○								○		
		ハリブトシリアゲアリ		○	○									○	○			
		キイロシリアゲアリ		○											○			
		テラニシシリアゲアリ	○		○			○				○	○		○			
		クボミシリアゲアリ			○								○					
		クロナガアリ						○	○		○	○		○	○			
		オオズアリ						○								○		
		アミメアリ	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	
		トフシアリ		○	○									○	○			
		トビイロシワアリ	○		○							○	○	○	○			
		オオハリアリ			○			○					○			○		
	クモバチ	オオモンクロクモバチ						○	○						○	○		
モンクモバチ							○							○				
オオシロフクモバチ							○							○				
スズメバチ	オオフトアオビドロバチ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○				
	キボシトックリバチ			○									○					
	ミカドトックリバチ	○					○				○				○			
	エントツドロバチ	○			○						○				○			
	スズバチ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	カタグロチビドロバチ										○				○			
	キオビチビドロバチ			○				○				○	○					
	ムモンホソアシナガバチ	○		○			○					○	○		○			
	セグロアシナガバチ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	キボシアシナガバチ				○		○								○			
	キアシナガバチ			○		○	○			○		○			○			
	コアシナガバチ			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	コガタスズメバチ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○				
	モンズズメバチ	○		○			○					○	○		○			
	ヒメスズメバチ	○			○		○					○			○			
	チャイロスズメバチ			○			○						○		○			
	オオスズメバチ	○	○	○		○	○				○	○	○	○				
	キイロスズメバチ	○		○		○	○	○			○	○	○	○				
	クロスズメバチ			○		○	○	○		○		○	○	○				

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(9/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
	セナガアナバチ	サトセナガアナバチ			○			○						○		○		外来
	アナバチ	コクロアナバチ			○									○				
		クロアナバチ	○		○			○		○	○	○	○	○	○	○		
	ドロバチモドキ	ハクサンツヤアナバチ						○								○		
	ギングチバチ	マルモンツチスガリ						○								○		
	コハナバチ	アカガネコハナバチ						○									○	
		ニッポンカタコハナバチ						○									○	
		シロスジカタコハナバチ						○			○	○					○	
		コガタシロスジハナバチ				○											○	
		アオスジハナバチ						○									○	
	ヒメハナバチ	キバナヒメハナバチ	○					○			○	○		○	○			
	ハキリバチ	トモンハナバチ						○								○		
		ハラアカヤドリハキリバチ						○									○	
		ヤマトガリハナバチ						○	○					○	○			
		バラハキリバチ						○	○		○	○					○	
		オオハキリバチ						○	○		○	○					○	
		ツルガハキリバチ						○	○								○	
		ムナカタハキリバチ			○		○	○			○	○	○			○		
	ミツバチ	ウシヅノキマダラハナバチ	○											○				
		ギンランキマダラハナバチ	○					○						○			○	
		ハリマキマダラハナバチ							○							○		
		ダイミョウキマダラハナバチ	○		○		○	○				○	○	○	○	○		
		ナシモンキマダラハナバチ						○									○	
		ニッポンヒゲナガハナバチ	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○		
		シロスジヒゲナガハナバチ						○									○	
		ヤマトツヤハナバチ						○									○	
		キムネクマバチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コマルハナバチ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クロマルハナバチ	○					○			○	○				○		人為移入
		ニホンミツバチ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
		セイウミツバチ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	外来
ハエ		ガガンボ	ベッコウガガンボ						○								○	
	ホリカワクシヒゲガガンボ		○		○			○			○	○	○		○			
	キゴシガガンボ							○								○		
	キイロホソガガンボ		○		○		○	○			○	○	○		○	○		
	マエキガガンボ							○								○		
	キリウジガガンボ		○		○	○	○	○			○	○	○		○			
	マダラガガンボ							○			○	○				○		
	ヤチノコギリガガンボ				○							○						
	ジェーンアシワガガンボ	○					○				○				○			
	ケバエ	メスアカケバエ						○								○		
		ハグロケバエ	○					○	○				○			○		
	トゲナシケバエ	クロトゲナシケバエ						○								○		
	チョウバエ	クロハネビロチョウバエ						○									○	
		オオケチョウバエ							○									外来
		ホシチョウバエ							○							○		外来
	カ	ヒトスジシマカ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来
		アカイエカ							○						○			
	ユスリカ	オオユスリカ			○										○			
		セスジユスリカ						○	○							○		
	ミズアブ	アメリカミズアブ					○	○	○							○	外来	
	ツリアブ	コウヤツリアブ			○			○							○		○	
		ビロウドツリアブ	○		○			○					○	○		○		
		クロバネツリアブ		○				○	○	○					○	○	○	
	ムシヒキアブ	アオメアブ	○					○	○				○		○	○		
		シオヤアブ	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ナミマガリケムシヒキ	○			○	○	○	○		○	○		○	○			
		シロスジヒメムシヒキ	○		○			○				○	○			○		
		ヒサマツムシヒキ						○									○	
		サキグロムシヒキ				○	○	○			○						○	
	アシナガバエ	マダラホソアシナガバエ						○								○		
	ハナアブ	クロヒラタアブ	○					○	○				○		○	○		
		フタスジヒラタアブ							○								○	
		マルヒラタアブ							○								○	
		ヨコジマオオヒラタアブ							○								○	
		ホソヒラタアブ		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
		フタホシヒラタアブ	○					○	○		○	○		○	○			
		ナミホシヒラタアブ							○	○		○			○	○	○	
		コマバムツホシヒラタアブ							○			○	○			○		
		ミナミヒメヒラタアブ						○	○		○	○				○		

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(10/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		ホソヒメヒラタアブ			○			○		○				○		○	○	
		ヤマトヒラタアブ	○					○	○			○	○			○		
		フタモンヒラアシヒラタアブ						○								○		
		スイセンハナアブ	○					○	○			○	○			○		外来
		ハチモドキハナアブ							○							○		
		キゴシハナアブ			○				○	○				○	○	○		
		シマハナアブ							○	○					○			
		ナミハナアブ		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		アシプトハナアブ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
		タカサゴハラプトハナアブ							○							○		
		シマアシプトハナアブ							○							○		
		オオハナアブ	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○		
	メバエ	ムネグロメバエ	○						○				○			○		
	ミバエ	ミスジミバエ	○							○			○		○			
		クロホソスジハマダラミバエ							○							○		
	ベッコウバエ	ベッコウバエ			○				○	○				○	○	○		
	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ							○								○	
	ツヤホソバエ	ヒトデツツヤホソバエ	○	○									○		○			
	ハモグリバエ	ナモグリバエ		○	○					○				○	○			
	ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ							○	○					○	○		外来
	フンバエ	キアシフンバエ							○							○		
		ヒメフンバエ	○		○				○				○	○		○		
	イエバエ	ミドリイエバエ							○							○		
		セマダライエバエ							○							○		
	クロバエ	オオクロバエ		○	○				○	○				○	○	○		
		キンバエ	○						○				○			○		
		ミドリキンバエ							○							○		
		クロキンバエ							○							○		外来
		オビキンバエ							○							○		
		ツマグロキンバエ	○		○				○			○	○	○	○	○		
	ニクバエ	センチニクバエ	○		○				○					○	○	○		
		ナミニクバエ		○	○									○	○			
	ヤドリバエ	ブランコヤドリバエ		○					○						○	○		
		カイコノウジバエ							○							○		
		ヨコジマオオハリバエ			○				○					○		○		
	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ							○							○		
		シマトビケラ			○									○				
		セリーシマトビケラ							○							○		
		マルバネトビケラ							○							○		
		ホソバトビケラ								○					○			
ヒゲナガトビケラ					○			○			○				○			
ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	○					○			○	○			○				
チョウ	ヒゲナガガ	ウスキヒゲナガ						○							○			
		クロハネシロヒゲナガ	○									○						
		ホソオビヒゲナガ							○							○		
	ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ	○						○				○			○		
		オオミノガ	○		○		○	○			○	○	○		○			
		チャミノガ							○							○		
	ミノガ	ニトベミノガ	○						○				○			○		
		クロツヤミノガ	○		○				○			○		○	○	○		
		コナガ							○			○				○	○	
	ヒゲナガキバガ	ゴマフシロハビロキバガ	○						○				○			○		
		キベリハイヒゲナガキバガ	○						○				○			○		
	キバガ	ソバカスキバガ							○							○		
	セミヤドリガ	セミヤドリガ			○									○		○		
	イラガ	ヒメクロイラガ							○			○	○			○		
		イラガ	○									○	○					
		デングイラガ							○							○		
		ヒロヘリアオイラガ	○						○				○			○		外来
	マダラガ	タケノホソクロバ	○		○		○	○	○				○	○	○	○		外来
		ウメスカシクロバ	○		○	○	○	○				○	○	○		○		
		リンゴハマキクロバ										○				○		
		ブドウスカシクロバ										○	○					
		ホタルガ	○						○		○	○	○		○	○	○	
		ミノウスバ				○	○	○								○		
	スカシバガ	コシアカスカシバ			○									○				
		オオモモブトスカシバ						○	○	○					○	○		
	ハマキガ	コスカシバ	○						○	○		○	○		○	○		
		ブライヤハマキ							○							○		
		ナカジロハマキ							○							○		

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(11/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考		
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部				
		ミダレカクモンハマキ		○				○	○				○	○		○	○			
		トビモンコハマキ							○								○			
		ビロードハマキ	○							○			○				○			
		クロサンカクモンヒメハマキ								○							○			
		スネブトヒメハマキ								○							○			
		クロテンツマキヒメハマキ			○									○						
		クローバヒメハマキ								○							○			
		ニレコヒメハマキ	○										○							
		バラシロヒメハマキ											○	○						
		クロネハイイロヒメハマキ								○							○			
		サンカクモンヒメハマキ	○										○							
	ハマキモドキガ	コウゾハマキモドキ							○								○			
		イヌビワハマキモドキ							○								○			
		ゴボウハマキモドキ							○	○							○			
	トリバガ	ブドウトリバ							○								○			
		ナカノホソトリバ							○								○			
		ヒルガオトリバ										○	○			○				
	メイガ	トビイロシマメイガ							○								○			
		フタスジシマメイガ							○								○			
		ウスベニトガリメイガ	○						○				○				○			
		カバイロトガリメイガ							○								○			
		ナカアオフトメイガ							○								○			
		ヒメアカマダラメイガ							○								○			
		アカマダラメイガ							○								○			
		シロスジツトガ							○								○			
	ツトガ	シバツトガ						○	○								○		外来	
		ツトガ							○								○			
		カニクサシダメイガ							○	○						○	○			
		ハイマダラノメイガ	○													○				
		キムジノメイガ							○								○			
		トガリキノメイガ	○										○							
		ヒメトガリノメイガ							○								○			
		ウスジロキノメイガ							○								○			
		アワノメイガ	○						○				○		○	○				
		フキノメイガ							○								○			
		ヒメハナダカノメイガ							○								○			
		ミツテンノメイガ							○								○			
		シロオビノメイガ		○	○			○	○	○		○	○	○	○	○				
		ヨスジノメイガ							○								○			
		コブノメイガ							○								○			
		シロモンノメイガ			○									○						
		シロテンキノメイガ							○								○			
		オオキノメイガ							○								○			
		ホソミスジノメイガ					○										○			
		ワタノメイガ							○								○			
		モモノゴマダラノメイガ							○								○			
		オオツチイロノメイガ							○								○			
		マエアカスカシノメイガ	○						○	○		○	○		○	○				
		ワタヘリクロノメイガ		○												○				
		ツゲノメイガ				○			○			○					○	○		
		マメノメイガ			○				○					○			○			
		ワモンノメイガ							○			○	○				○			
		アカウスグロノメイガ							○								○			
		モンキクロノメイガ							○								○			
		クロモンキノメイガ							○			○	○				○			
	セセリチョウ	アオバセセリ	○										○						偶産	
		ダイミョウセセリ			○	○		○						○			○			
		キマダラセセリ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
		チャバネセセリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		イチモンジセセリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○				
		カラスアゲハ	○		○				○		○	○	○	○	○	○				
		モンキアゲハ	○										○							
		キアゲハ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○			
		ナガサキアゲハ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○				
		クロアゲハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		アゲハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		アオスジアゲハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		ツマグロキチョウ							○								○		偶産	
		キタキチョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(12/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
	シジミチョウ	モンキチョウ	○	○					○	○		○	○	○	○	○		
		ツマキチョウ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
		スジグロシロチョウ			○	○	○	○			○	○	○		○			
		モンシロチョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来
		ゴイシシジミ							○							○		偶産
		ウラギンシジミ	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ムラサキツバメ	○	○	○				○	○	○		○	○	○	○		
		ムラサキシジミ	○		○				○	○		○	○	○	○	○		
		ミズイロオナガシジミ	○		○			○	○				○	○		○		
		アカシジミ	○		○				○				○	○		○		
		ウラナミアカシジミ	○						○				○		○	○		偶産
		オオミドリシジミ			○										○			偶産
		トラフシジミ	○										○					
		ベニシジミ	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		
	ウラナミシジミ	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ヤマトシジミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ツバメシジミ	○	○				○	○			○	○		○	○			
	ルリシジミ	○	○		○	○	○				○	○		○	○			
	タテハチョウ	テングチョウ	○		○			○	○	○			○	○	○	○		偶産
		アサギマダラ							○	○					○	○		偶産
		ミドリヒョウモン							○			○			○	○		偶産
		ツマグロヒョウモン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ホシミスジ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		人為移入
		コムスジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		キタテハ		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒオドシチョウ			○				○	○				○	○	○		偶産
		ルリタテハ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
		ヒメアカタテハ	○	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○		
		アカタテハ		○	○			○	○			○	○	○	○	○		
		コムササキ		○	○			○	○					○	○	○		
		アカボシゴマダラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外来
		ゴマダラチョウ	○		○			○	○	○		○	○	○	○	○		
		ヒメウラナミジャノメ			○									○				
		ヒカゲチョウ	○	○	○	○			○			○	○	○	○	○		
		サトキマダラヒカゲ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		ヒメジャノメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クロコノマチョウ			○				○	○				○	○	○		
	カギバガ	ヤマトカギバ					○	○								○		
		マユミタガリバ						○								○		
	シャクガ	ユウマダラエダシャク							○			○	○			○		
		マエキオエダシャク							○							○		
		モンオビオエダシャク							○							○		
		ハグルマエダシャク							○							○		
		フタテンオエダシャク							○							○		
		ウスオエダシャク							○							○		
		ツマジロエダシャク		○					○						○	○		
		ウメエダシャク	○	○				○	○		○	○	○		○	○	○	
		フタヤマエダシャク							○							○		
		クロクモエダシャク							○							○		
		シロテンエダシャク							○							○		
ヨモギエダシャク		○						○			○	○			○			
オオトビスジエダシャク											○	○						
フトオビエダシャク								○							○			
ウスバミスジエダシャク		○						○				○			○			
ハミスジエダシャク							○								○			
ヒロバフユエダシャク		○						○				○			○			
シロフフユエダシャク		○			○			○				○			○			
クロスジフユエダシャク								○							○			
チャバネフユエダシャク								○							○			
シモフリトゲエダシャク					○										○			
シロトゲエダシャク											○	○						
オカモトトゲエダシャク				○			○	○					○		○			
チャエダシャク				○				○					○		○			
トビモンオオエダシャク		○										○			○			
ハスオビエダシャク		○						○				○			○			
ニトベエダシャク								○							○			
アトジロエダシャク								○							○			
ツマキリウスエダシャク								○							○			
ウスキツバメエダシャク								○							○			
クロバネフユシャク								○							○			

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(13/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		シロオビフユシヤク	○					○					○			○		
		ウスバフユシヤク	○		○	○		○			○	○	○			○		
		ウスモンフユシヤク						○								○		
		クロテンフユシヤク	○		○	○		○				○	○			○		
		ホソウスバフユシヤク						○								○		
		ウスキヒメアオシヤク	○										○					
		ヒメツバメアオシヤク						○								○		
		ヘリグロヒメアオシヤク	○										○					
		コヨツメアオシヤク						○								○		
		フタナミトビヒメシヤク						○								○		
		フトベニスジヒメシヤク						○								○		
		ベニスジヒメシヤク						○								○		
		ギンバネヒメシヤク			○			○					○			○		
		ウスキクロテンヒメシヤク						○								○		
		マエキヒメシヤク						○								○		
		ナミスジチビヒメシヤク	○					○					○			○		
		ウスキヒメシヤク						○								○		
		オイワケヒメシヤク					○	○								○		
		ミジンキヒメシヤク			○			○				○	○	○		○		
		ウスベニスジナミシヤク			○			○					○			○		
		アトスジグロナミシヤク						○								○		
		ウスミドリナミシヤク		○	○	○		○			○	○	○	○	○	○		
		フタトビスジナミシヤク						○								○		
		フトジマナミシヤク						○				○				○		
		トビスジヒメナミシヤク						○								○		
		モンキキナミシヤク						○								○		
		セスジナミシヤク						○								○		
		シロシタトビイロナミシヤク										○				○		
		ナミスジフユナミシヤク						○								○		
		イチモジフユナミシヤク						○								○		
		クロオビフユナミシヤク						○								○		
		ソトカバナミシヤク						○								○		
		トシマカバナミシヤク	○									○	○					
		ソトシロオビナミシヤク					○	○								○		
		カレハガ	マツカレハ			○		○	○					○		○		
		カイコガ	クワコ	○					○			○	○		○	○		
		ヤママユガ	オオミズアオ			○			○			○	○	○		○		
		スズメガ	エビガラスズメ							○					○			
			シモフリスズメ	○					○			○	○			○	○	
			クロスズメ						○							○		
			コエビガラスズメ						○							○		
			サザナミスズメ	○				○	○				○			○		
			モモスズメ			○			○	○		○	○	○	○	○	○	
			クチバスズメ	○					○				○			○		
			コウチスズメ									○	○			○		
			ウンモンズズメ	○					○				○			○		
			オオスカシバ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
			クルマスズメ						○							○		
			ブドウスズメ									○				○		
			ホシヒメホウジャク	○			○		○							○	○	
			ホシホウジャク	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		
			ベニスズメ						○							○		
			コスズメ						○	○		○	○		○	○		
		キイロスズメ						○							○			
		セスジスズメ	○		○		○	○			○	○	○		○			
	シャチホコガ	シャチホコガ						○							○			
		ツマキシヤチホコ						○							○			
		モンクロシャチホコ	○		○	○	○	○			○	○	○		○			
		キシヤチホコ						○							○			
		セダカシャチホコ						○							○			
		オオアオシャチホコ						○							○			
		アオシャチホコ						○							○			
	ドクガ	スギドクガ						○							○			
		ヒメシロモンドクガ				○		○							○			
		キアシドクガ						○			○				○	○		
		ウチジロマイマイ						○			○				○			
		マイマイガ						○			○				○			
		モンシロドクガ	○			○					○	○			○			
		ゴマフリドクガ					○	○							○			
		チャドクガ	○				○	○			○	○		○	○			

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(14/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
	ヒトリガ	ムジホソバ						○								○		
		ヤネホソバ							○		○				○	○		
		キマエホソバ						○								○		
		キシタホソバ						○			○					○		
		スジベニコケガ	○					○	○			○			○	○		
		アメリカシロヒトリ			○			○					○			○	外来	
		シロヒトリ						○								○		
		キハラゴマダラヒトリ	○		○			○			○	○	○			○		
		アカハラゴマダラヒトリ						○								○		
		スジモンヒトリ						○								○		
	カノコガ						○								○			
	コブガ	カマフリンガ						○								○		
		アカスジアオリンガ						○								○		
		マエキリンガ						○								○		
		キノカワガ						○								○		
	ヤガ	フタテンアツバ					○	○									○	
		マエテンアツバ						○									○	
		フタキボシアツバ						○									○	
		シラホシコヤガ	○												○			
		コテングアツバ						○									○	
		ナミテンアツバ						○									○	
		アオアツバ	○					○				○					○	
		タイワンキシタアツバ						○									○	
		ミツボシツマキリアツバ	○					○				○					○	
		ソトウスグロアツバ	○					○				○					○	
		ニセアカマエアツバ						○									○	
		オオシラナミアツバ			○								○					
		カキバトモエ	○					○							○	○		
		アケビコノハ						○									○	
		ワタアカキリバ						○									○	
		アカキリバ						○									○	
		コシロシタバ			○			○						○			○	
		アミメキシタバ						○									○	
		キシタバ			○									○				
		ホソオビアシブトクチバ	○					○				○	○			○	○	
		オオウンモンクチバ			○							○		○			○	
		ムクゲコノハ						○									○	
		ハガタクチバ	○					○					○				○	
		フサヤガ						○									○	
		キクキンウワバ	○				○	○					○				○	
		イラクサギンウワバ						○									○	
		エゾギクキンウワバ		○				○				○				○	○	
		イチジクキンウワバ				○		○									○	
		ウリキンウワバ						○									○	
		セアカキンウワバ						○									○	
		ギンスジキンウワバ						○									○	
		ヒメネジロコヤガ						○									○	
		フタトガリアオイガ			○			○						○			○	
		フクラスズメ						○									○	
		サクラケンモン	○					○					○				○	
		オオケンモン						○									○	
		アサケンモン						○									○	
		ナシケンモン					○	○			○	○					○	
		シマケンモン						○									○	
		トビイロトラガ						○			○	○					○	
オオウスツマカラスヨトウ							○									○		
ナンカイカラスヨトウ		○		○					○		○	○				○		
オオシマカラスヨトウ		○					○			○	○					○		
オオタバコガ			○				○								○	○		
ツメクサガ				○							○	○	○					
チャオビヨトウ		○										○						
キスジツマキリヨトウ							○									○		
キノコヨトウ					○	○									○			
スジキリヨトウ						○									○			
ハスモンヨトウ	○					○					○				○			
コウスイロヨトウ						○									○			
シロスジアオヨトウ						○				○	○				○			
アカガネヨトウ						○									○			
ギシギシヨトウ						○									○			
キバラモクメキリガ	○				○	○			○	○					○			

資料5 昆虫類の第7次調査における主要地点別確認状況(15/15)

目	科	種名	主要調査地点										地域区分					備考
			1	2	3	5	6	8	9	12	その他	東部	西部	中部	南部	北部		
		ヨスジノコメキリガ	○					○					○			○		
		クロチャマダラキリガ						○								○		
		チャマダラキリガ						○								○		
		キマエキリガ						○								○		
		ヤマノモンキリガ						○								○		
		スギタニモンキリガ						○								○		
		フサヒゲオビキリガ	○					○					○			○		
		カシワオビキリガ	○					○					○			○		
		ノコメタガリキリガ						○								○		
		シマキリガ						○								○		
		ニレキリガ						○								○		
		ホソバキリガ						○				○	○			○		
		スモモキリガ	○					○				○	○		○	○		
		アカバキリガ						○								○		
		カバキリガ				○		○								○		
		クロテンキリガ						○								○		
		シロヘリキリガ						○								○		
		チャイロキリガ						○								○		
		ブナキリガ						○								○		
		ヨトウガ	○					○	○			○	○		○	○		
		フタスジヨトウ										○	○					
		クサシロキヨトウ						○								○		
		アワヨトウ						○								○		
		ハマオモトヨトウ					○	○								○		
		ニセタマナヤガ						○								○		外来
		タマナヤガ						○								○		
カブラヤガ						○				○				○	○			
オオバコヤガ						○								○				
ウスチャヤガ						○								○				
17目	189科	1009種	361	124	297	116	233	823	188	66	314	405	301	311	866	90		

主要調査地点： 1;和田堀公園・大宮八幡およびその周辺、2;善福寺川緑地およびその周辺、3;善福寺公園およびその周辺、5;塚山公園及びその周辺、6;神田川周辺(高井戸駅～塚山公園間遊歩道、JP高井戸レクリエーションセンター)、8;柏の宮公園、三井の森公園およびその周辺、9;南荻窪4丁目域、12;観泉寺

※和名については、河川水辺の国勢調査ための生物リスト(H30版)に基本的に準拠した

※出来るだけ最新の分類体系に則した。

※和名については、亜種区分されているものについての亜種表記を省略した

※外来:侵入生物データベース(国立環境研究所)に示されている種

資料6 昆虫類の年次別確認状況(1/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
カゲロウ	トビイロカゲロウ	ナミトビイロカゲロウ	<i>Paraleptophlebia japonica</i>					○			
	モンカゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>				○	○			
	マダラカゲロウ	アカマダラカゲロウ	<i>Teleganopsis punctisetae</i>							○	
	コカゲロウ	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>					○		○	
		フタバカゲロウ	<i>Cloeon dipterum</i>					○	○	○	
ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>						○		○	
トンボ	アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>				○	○	○	○	
		オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>				○	○	○	○	
		ホソミオツネイトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>	○				○	○	○	偶産
		オツネイトンボ	<i>Sympecma paedisca</i>						○		偶産
	カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>				○	○	○	○	
モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Copera annulata</i>		○	○	○	○	○	○	○	
		グンバイトンボ	<i>Platycnemis foliacea sasakii</i>				○				人為移入
	イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>						○	○	
		リュウキュウベニイトトンボ	<i>Ceriagrion auranticum ryukyuanum</i>				○				人為移入
		キイトンボ	<i>Ceriagrion melanurum</i>				○	○	○	○	
		ベニイトトンボ	<i>Ceriagrion nipponicum</i>					○	○	○	
		アジイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
アオモンイトトンボ	アオモンイトトンボ	<i>Ischnura senegalensis</i>				○	○	○	○	○	
クロイトトンボ	クロイトトンボ	<i>Paracercion calamorum calamorum</i>		○	○	○	○	○	○	○	
		セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	○	○	○	○				
		ムスジイトトンボ	<i>Paracercion melanotum</i>							○	
		オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>				○				
ヤンマ	マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>			○		○	○	○	○	
	クロスジヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>		○							偶産
	ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>					○	○	○	○	
サナエトンボ	オナガサナエ	<i>Meligomphus viridicostus</i>						○		○	偶産
	コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>							○	○	偶産
	ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>		○	○		○	○	○	○	
	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		○		○	○	○	○	○	偶産
	エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>				○				偶産
ヤマトンボ	オオヤマトンボ	<i>Epophthalmia elegans elegans</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	トンボ	ヨソボシトンボ	<i>Libellula quadrimaculata asahinai</i>							○	偶産
		ハラビロトンボ	<i>Lyrithemis pachygastra</i>				○	○	○	○	偶産
		シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>					○		○	偶産
		オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	○	○	○	○	○	○	○	
ショウジョウトンボ	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>			○	○	○	○	○	○	
	コフキトンボ	<i>Deilelia phaon</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>				○	○	○	○	○	
	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>			○	○	○	○	○	○	
	マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>						○	○	○	
アキアカネ	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>		○		○	○	○	○	○	
	マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>						○	○	○	
	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>					○	○	○	○	偶産
	リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>					○	○	○	○	
ネキトンボ	ネキトンボ	<i>Sympetrum speciosum speciosum</i>					○	○	○	○	
	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>		○	○	○	○	○	○	○	
	チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>			○				○	○	
	コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>		○	○	○	○	○	○	○	
ゴキブリ	ゴキブリ	ワモンゴキブリ	<i>Periplaneta americana</i>				○				外来
		クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
		ヤマトゴキブリ	<i>Periplaneta japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	チャバネゴキブリ	チャバネゴキブリ	<i>Blattella germanica</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
		モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>		○			○		○	
カマキリ	カマキリ	ウスヒラタゴキブリ	<i>Megamareta pallidiola pallidiola</i>							○	人為移入
		ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>	2	○	○	○	2	○	○	
		チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>				○	○		○	
		オオカマキリ	<i>Tenodera sinensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
シロアリ	ミノガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
バッタ	コロギス	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>				○				
	カマドウマ	クラズミウマ	<i>Diestrammena asynmora</i>							○	
		マダラカマドウマ	<i>Diestrammena japonica</i>		○		○	○	○		
		カマドウマ	<i>Atachycines apicalis apicalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	キリギリス	ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis</i>					○	○	○	
		ヒガシキリギリス	<i>Gampsocleis mikado</i>							○	人為移入
		ヒメギス	<i>Eobiana engelhardti subtropica</i>			○					
		カヤキリ	<i>Pseudorhynchus japonicus</i>					○			人為移入

資料6 昆虫類の年次別確認状況(2/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ヒメクササキリ	<i>Ruspolia dubia</i>				○				
		クササキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>					○	○		
		クビキリギス	<i>Euconocephalus varius</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>					○	○	○	
		オナガササキリ	<i>Conocephalus exemptus</i>			○					偶産
		ホシササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>					○	○	○	偶産
		ササキリ	<i>Conocephalus melaenus</i>			○		○	○		偶産
		ハヤシノウマオイ	<i>Hexacentrus hareyamae</i>	○				○	○	○	
		ハタケノウマオイ	<i>Hexacentrus japonicus</i>				○	○	○		
	クツワムシ	クツワムシ	<i>Mecopoda niponensis</i>					○			人為移入
	ツユムシ	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>					○	○	○	
		アシグロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>					○	○		偶産
		セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		サトクダマキモドキ	<i>Holochlora japonica</i>		○		○	○	○	○	
		ヘリグロツユムシ	<i>Psyrana japonica</i>					○			偶産
	コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメコオロギ	<i>Comidoblemmus nipponensis</i>					○			
		ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>	○	○		○	○	○	○	
		ミツカドコオロギ	<i>Loxoblemmus doenitzi</i>	○	○	○		○	○	○	
		モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>						○	○	
		ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
	マツムシ	カヤコオロギ	<i>Euscyrus japonicus</i>	○	○						偶産
		スズムシ	<i>Meloidomorpha japonica</i>					○			人為移入
		ヒロバネカンタン	<i>Oecanthus euryelytra</i>					○	○	○	
		カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>	○	○	○			○	○	
		キンヒバリ	<i>Natula matsuurai</i>					○	○	○	偶産
	ヒバリモドキ	カヤヒバリ	<i>Natula pallidula</i>							○	偶産
		クサヒバリ	<i>Sivistella bifasciata</i>		○	○		○	○		
		キアシヒバリモドキ	<i>Trigonidium japonicum</i>					○			
		ウスグモズ	<i>Amusurgus genji</i>					○	○	○	
		ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i>					○			偶産
		マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>	○	○		○	○	○	○	
		ヒゲシロスズ	<i>Polionemobius flavoantennalis</i>							○	偶産
		シバスズ	<i>Polionemobius mikado</i>	○	○	○		○	○	○	
		カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	アリツカコオロギ	アリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus sapporensis</i>					○		○	
		テラニシアリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus teranishii</i>					○			
	ケラ	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>	○	○	○		○	○	○	
	ノミバツタ	ノミバツタ	<i>Xya japonica</i>		○		○	○	○	○	
	ヒシバツタ	トゲヒシバツタ	<i>Crietotix japonicus</i>							○	
		ハネナガヒシバツタ	<i>Euparotettix insularis</i>							○	
		コバネヒシバツタ	<i>Formosatettix larvatus</i>					○	○	○	
		ハラヒシバツタ	<i>Tetrix japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		オンブバツタ	<i>Atractomorpha lata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	バツタ	ツチイナゴ	<i>Patanga japonica</i>		○	○		○	○	○	
		ハネナガイナゴ	<i>Oxya japonica</i>	○				○	○		偶産
		コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ショウリウウバツタ	<i>Acrida cinerea</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ショウリウウバツタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>				○	○	○	○	
		マダラバツタ	<i>Aiolopus thalassinus tamulus</i>						○	○	
		トノサマバツタ	<i>Locusta migratoria</i>		○	○		○	○	○	偶産
		クルマバツタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>	○							
		クルマバツタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>	○					○	○	
		イボバツタ	<i>Trilophidia japonica</i>	○				○	○	○	
		ナナフシ									
	ナナフシ	ナナフシモドキ	<i>Ramulus mikado</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		エダナナフシ	<i>Phraortes elongatus</i>		○						
		ニホントビナナフシ	<i>Micadina phluctainoides</i>					○		○	
	ハサミムシ	マルムネハサミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>	○	○	○	○	○	○		
		コバネハサミムシ	<i>Euborellia annulata</i>				○	○		○	
		ヒゲジロハサミムシ	<i>Anisolabella marginalis</i>		○		○	○	○	○	
		オオハサミムシ	<i>Labidura riparia</i>	○	○		○	○	○	○	
	カジリムシ	クギヌキハサミムシ	<i>Anechura harmandi</i>	○							
		コナチャタテ									
		ヒラタチャタテ	<i>Liposcelis bostrychophilus</i>		○						外来
		カツブシチャタテ	<i>Liposcelis entomophilus</i>	○						○	外来
		チャタテ									
	カメムシ	オオチャタテ	<i>Longivalvus nubilus</i>						○	○	
		スジチャタテ	<i>Pseudocercastis tokyoensis</i>						○		
		ヒトジラミ	<i>Pediculus humanus</i>								
		ミカンコナジラミ	<i>Dialeurodes citri</i>			○					
		オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i>			○	○				外来
		アブラムシ									
		クヌギミツアブラムシ	<i>Kurisakia onigurumi querciphila</i>							○	
		エゴノネコアシアブラムシ	<i>Ceratovacuna nekoashi</i>		○					○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(3/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		イスオオムネアブラムシ	<i>Nipponaphis distychii</i>							○	
		トウネズミモチハマキワタムシ	<i>Prociophilus ligustrifoliae</i>						○		
		リンゴワタムシ	<i>Eriosoma lanigerum</i>				○				外来
		トウキョウカマガタアブラムシ	<i>Yamatocallis tokyoensis</i>		○						
		エノキワタアブラムシ	<i>Shivaphis celti</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヤナギクロケアブラムシ	<i>Chaitophorus saliniger</i>		○						
		モミジニタイケアブラムシ	<i>Periphyllus californiensis</i>	○	○				○		
		マメアブラムシ	<i>Aphis craccivora craccivora</i>		○					○	
		マメクロアブラムシ	<i>Aphis fabae</i>							○	外来
		ワタアブラムシ	<i>Aphis gossypii</i>						○		
		ニワトコアブラムシ	<i>Aphis horii</i>							○	
		キョウチクトウアブラムシ	<i>Aphis nerii</i>						○		
		ギンギシアブラムシ	<i>Aphis rumicis</i>	○	○	○	○	○	○		
		コミカンアブラムシ	<i>Toxoptera aurantii</i>	○							
		ハスクビレアブラムシ	<i>Rhopalosiphum nymphaeae</i>	○	○						
		ムギクビレアブラムシ	<i>Rhopalosiphum padi</i>		○						外来
		エンドウヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon pisum</i>		○				○		
		ジャガイモヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon solani</i>		○						
		ダイコンアブラムシ	<i>Brevicoryne brassicae</i>		○	○			○		
		キクメダカアブラムシ	<i>Colorado rufomaculata</i>		○						
		ホウセンカヒゲナガアブラムシ	<i>Impatiens impatiens</i>							○	
		キスダマアブラムシ	<i>Indomegoura indica</i>		○					○	
		ミツバウツギフクレアブラムシ	<i>Indomegoura nigrotibiae</i>							○	
		ニセダイコンアブラムシ	<i>Lipaphis erysimi</i>		○						
		キクヒメヒゲナガアブラムシ	<i>Macrosiphoniella sanborni</i>		○						
		ソラマメフクレアブラムシ	<i>Megoura crassicauda</i>							○	
		ニワウメクロコブアブラムシ	<i>Myzus cerasi</i>					○			
		カンゾウコブアブラムシ	<i>Myzus hemerocallis</i>						○	○	
		ウメコブアブラムシ	<i>Myzus numecola</i>		○						
		モモアカアブラムシ	<i>Myzus persicae</i>		○		○	○	○		
		ニワトコヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon magnoliae</i>	○	○		○		○	○	
		ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon nipponicum</i>				○				
		クスオナガアブラムシ	<i>Sinomegoura citricola</i>	○							
		ムギヒゲナガアブラムシ	<i>Sitobion akebiae</i>							○	
		イバラヒゲナガアブラムシ	<i>Sitobion ibarae</i>		○		○	○	○	○	
		スイカズラヒゲナガアブラムシ	<i>Trichosiphonaphis lonicerae</i>						○	○	
		セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	<i>Uroleucon nigrotuberculatum</i>						○	○	外来
		クリオオアブラムシ	<i>Lachnus tropicalis</i>		○				○	○	
		ヤノクチナガオオアブラムシ	<i>Stomaphis yanonis</i>						○		
	カタカイガラムシ	ツノロウムシ	<i>Ceroplastes ceriferus</i>	○	○	○		○	○		
		カメノロウムシ	<i>Ceroplastes japonicus</i>	○	○	○					
		ルビーロウムシ	<i>Ceroplastes rubens</i>	○	○	○			○		外来
		タマカタカイガラムシ	<i>Lecanium kunoensis</i>			○					
		ヒモワタカイガラムシ	<i>Takahashia japonica</i>					○		○	
	マルカイガラムシ	ミカンマルカイガラムシ	<i>Pseudaonidia duplex</i>						○		
	フクロカイガラムシ	サルスベリフクロカイガラムシ	<i>Eriococcus lagerstroemiae</i>					○	○		
	ワタフキカイガラムシ	オオワラジカイガラムシ	<i>Drosicha corpulenta</i>					○	○	○	
		イセリアカイガラムシ	<i>Icerya purchasi</i>	○		○	○	○	○	○	外来
	キジラミ	ヤマトキジラミ	<i>Accizia jamatonica</i>							○	
		クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>	○				○	○		
		グミキジラミ	<i>Psylla elaeagni</i>					○	○		
	セミ	ニイニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コエゾゼミ	<i>Auritibicen bihamatus</i>						○		人為移入
		クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>		○	○	○	○	○	○	
		アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		エノハルゼミ	<i>Terpnosia nigricosta</i>						○		人為移入
		ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	アワフキムシ	マツアワフキ	<i>Aphrophora flavipes</i>							○	
		シロオビアワフキ	<i>Aphrophora intermedia</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		マエキアワフキ	<i>Aphrophora pectoralis</i>					○			
		ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>		○						
		マダラアワフキ	<i>Awafukia nawae</i>			○					
		マルアワフキ	<i>Lepyronia coleoptrata</i>						○		
		テングアワフキ	<i>Philagra albinotata</i>					○			
	トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ	<i>Hindoloides bipunctata</i>	○	○	○			○	○	
		タケウチトゲアワフキ	<i>Machaerota takeuchii</i>						○		
	ツノゼミ	トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>	○							
	ヨコバイ	ミミズク	<i>Ledra auditura</i>	○				○	○	○	
		コミミズク	<i>Ledropsis discolor</i>					○	○	○	
		ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	○	○	○	○	○	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(4/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>	○	○	○		○	○	○	
		マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>	○				○	○		
		クワキヨコバイ	<i>Pagaronia guttigera</i>	○					○	○	
		クロスジホソサジヨコバイ	<i>Sophonia orientalis</i>					○	○	○	
		アオズキンヨコバイ	<i>Batracomorphus mundus</i>	○	○		○	○	○		
		クロサジヨコバイ	<i>Planaphrodes nigricans</i>					○	○		
		ツマグロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>		○		○	○		○	
		トバヨコバイ	<i>Alobaldia tobae</i>					○			
		イナズマヨコバイ	<i>Maestas dorsalis</i>		○						
		カスリヨコバイ	<i>Balclutha punctata</i>					○			
		ヒメフタデウスバヨコバイ	<i>Macrostelus strilifrons</i>					○			
		ヒシモンヨコバイ	<i>Hishimonus sellatus</i>		○			○	○		
		クロヒラタヨコバイ	<i>Penthimia nitida</i>		○		○	○	○	○	
		ブチミヤクヨコバイ	<i>Drabescus nigrifemoratus</i>	○							
		タケナガヨコバイ	<i>Bambusana bambusae</i>					○			
		コチャイロヨコバイ	<i>Matsumurella kogotensis</i>	○							
		チャイロヨコバイ	<i>Matsumurella praesul</i>					○			
		フタスジトガリヨコバイ	<i>Futasujinus candidus</i>						○		
		ミスジトガリヨコバイ	<i>Japananus hyalinus</i>					○	○		
		オビヒメヨコバイ	<i>Naratettix zonatus</i>					○	○		
		チマダラヒメヨコバイ	<i>Tautoneura mori</i>	○							
		ヤマシロヒメヨコバイ	<i>Zygina yamashiroensis</i>						○		
		カシヒメヨコバイ	<i>Aguriahana quercus</i>					○	○	○	
		ミドリヒメヨコバイ	<i>Edwardsiana flavescens</i>				○				
		シロヒメヨコバイ	<i>Eurhadina betularia</i>					○	○		
	ウンカ	ホソミドリウンカ	<i>Saccharosydne procerus</i>	○							
		ゴマフウンカ	<i>Cemus nigroclypeatus</i>					○			
		ヒメトビウンカ	<i>Laodelphax stratiellus</i>					○			
		トビイロウンカ	<i>Nilaparvata lugens</i>					○			外来
		セジロウンカ	<i>Sogatella furcifera</i>					○			外来
	テングスケバ	テングスケバ	<i>Dictyophara patruelis</i>					○	○	○	
	グンバイウンカ	ミドリグンバイウンカ	<i>Kallitaxila sinica</i>						○	○	
		オスギグンバイウンカ	<i>Mesepora onukii</i>					○	○		
	アオハバハゴロモ	アオハバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	ハゴロモ	スケバハゴロモ	<i>Euricania fascialis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>		○	○	○	○	○	○	
		アミガサハゴロモ	<i>Pochazia albomaculata</i>		○	○	○	○	○	○	
	クビナガカメムシ	ヒメクビナガカメムシ	<i>Hoplitocoris lewisi</i>					○			
	タイコウチ	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>					○			
	ミズムシ	ミズムシ	<i>Hesperocorixa distanti distanti</i>							○	
		コミズムシ	<i>Sigara substriata</i>				○	○		○	
	マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>						○	○	
		コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>					○			
	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>					○	○	○	
	カタビロアメンボ	ケンシカタビロアメンボ	<i>Microvelia douglasi</i>				○	○	○	○	
		マダラケンシカタビロアメンボ	<i>Microvelia reticulata</i>					○			
	アメンボ	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>					○			
		オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>					○	○	○	
		アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ババアメンボ	<i>Gerris babai</i>						○	○	
		コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>					○	○	○	
		ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>					○	○	○	
		ヒメアメンボ	<i>Gerris latidominis</i>		○	○	○	○	○	○	
		エサキアメンボ	<i>Limnoporus esakii</i>							○	
	ミズギワカメムシ	ミズギワカメムシ	<i>Saldula saltatoria</i>						○		
	カスミカメムシ	ケブカキベリナガカスミカメ	<i>Dryophilocoris miyamotoi</i>					○	○	○	
		キベリナガカスミカメ	<i>Dryophilocoris saigusai</i>					○			
		オオクロナガトビカスミカメ	<i>Psallus pullus</i>						○		
		ナカグロカスミカメ	<i>Adelphocoris suturalis</i>	○							
		ブチヒゲクロカスミカメ	<i>Adelphocoris triannulatus</i>	○							
		フタモンカスミカメ	<i>Adelphocoris variabilis</i>					○			
		フタモンアカカスミカメ	<i>Apolygus hilaris</i>	○	○						
		ヒメセダカスミカメ	<i>Charagochilus angusticollis</i>					○	○		
		アカホシカスミカメ	<i>Creontiades coloripes</i>	○							
		メンガタカスミカメ	<i>Eurystylus coelestialium</i>					○			
		ハギメンガタカスミカメ	<i>Eurystylus sauteri</i>							○	
		ムモンミドリカスミカメ	<i>Lygocoris idoneus</i>		○	○					
		ツヤクロカスミカメ	<i>Philostephanus glaber</i>						○	○	
		ウスモンミドリカスミカメ	<i>Taylorilygus apicalis</i>						○	○	
		イネホソミドリカスミカメ	<i>Trigonotylus caelestialium</i>		○			○	○	○	
	ハナカメムシ	クロハナカメムシ	<i>Anthocoris japonicus</i>					○	○		
		ナミヒメハナカメムシ	<i>Orius sauteri</i>	○							

資料6 昆虫類の年次別確認状況(5/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>					○	○		
		ユミアシハナカメムシ	<i>Physopleurella armata</i>					○	○		
	ゲンバイムシ	ウチワゲンバイ	<i>Cantacader lethierryi</i>						○		
		プラタナスゲンバイ	<i>Corythucha ciliata</i>						○	○	外来
		アワダチソウゲンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>							○	外来
		ヤブガラシゲンバイ	<i>Cysteocheila consuetata</i>	○				○	○		
		ヘクソカズラゲンバイ	<i>Dulinius conchatus</i>							○	外来
		ヤナギゲンバイ	<i>Metasalis populi</i>					○			
		ナシゲンバイ	<i>Stephanitis nashi</i>	○	○	○		○	○	○	
		ツツジゲンバイ	<i>Stephanitis pyrioides</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		シキミゲンバイ	<i>Stephanitis svensoni</i>					○			
		トサカゲンバイ	<i>Stephanitis takeyai</i>	○					○	○	
		ヒメゲンバイ	<i>Uhlrites debilis</i>					○	○		
		クルマミゲンバイ	<i>Uhlrites latiorus</i>	○							
	マキバサシガメ	アカマキバサシガメ	<i>Gorpsis brevilineatus</i>						○		
		ハネナガマキバサシガメ	<i>Nabis stenoferus</i>					○	○	○	
	サシガメ	アカシマサシガメ	<i>Haematoleocha nigrorufa</i>		○			○	○	○	
		マダラカモドキサシガメ	<i>Empicoris rubromaculatus</i>					○	○		
		ヨロヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>					○	○	○	外来
		アカサシガメ	<i>Cydnocoris russatus</i>							○	
		オオトビサシガメ	<i>Isyndus obscurus</i>							○	
		アカヘリサシガメ	<i>Rhynocoris rubromarginatus</i>					○	○		
		ヒゲナガサシガメ	<i>Serendiba staliana</i>						○		
		シマサシガメ	<i>Sphedanolestes impressicollis</i>						○	○	
		ヤニサシガメ	<i>Velinus nodipes</i>			○	○	○	○	○	
	ヒラタカメムシ	クロヒラタカメムシ	<i>Brachyrhynchus taiwanicus</i>						○		
		トビイロオオヒラタカメムシ	<i>Neuroctenus castaneus</i>						○	○	
	ヒゲナガカメムシ	ヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>			○		○	○	○	
	ヒョウタンナガカメムシ	マツヒラタナガカメムシ	<i>Gastrodes grossipes japonicus</i>							○	
		ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	<i>Gyndes pallicornis</i>					○		○	
		サビヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera inconspicua</i>					○		○	
		キベリヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera lateralis</i>					○		○	
		スコットヒョウタンナガカメムシ	<i>Pamerana scotti</i>					○			
		クロアシホソナガカメムシ	<i>Paromius jejunus</i>						○		
		コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>			○		○	○	○	
		オオモンシロナガカメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>					○	○	○	
		シロヘリナガカメムシ	<i>Panaorus japonicus</i>					○	○	○	
	コバネナガカメムシ	ヒメコバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus bicoloripes</i>						○		
		ニッポンコバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus japonicus</i>							○	
		コバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>					○	○		
	オオメナガカメムシ	ヒメオオメナガカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>					○		○	
		オオメナガカメムシ	<i>Geocoris varius</i>		○	○	○	○	○		
		ホソコバネナガカメムシ	<i>Macropes obnubilus</i>	○				○	○		
	マダラナガカメムシ	ムラサキナガカメムシ	<i>Pylorgus colon</i>					○	○		
		セスジナガカメムシ	<i>Arocatus melanostoma</i>					○	○	○	
		ジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax cruciger</i>					○	○		
		ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax sinensis</i>						○	○	
		ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebeius</i>					○	○	○	
	ヒメヒラタナガカメムシ	ヒメヒラタナガカメムシ	<i>Cymus aurescens</i>						○		
	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	<i>Chauliops fallax</i>					○	○	○	
	イトカメムシ	ヒメイトカメムシ	<i>Metacanthus pulchellus</i>	○	○	○	○	○	○		
		イトカメムシ	<i>Yemma exilis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>					○	○	○	
		ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta parviceps</i>					○			
	ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>					○	○		
	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>	○			○	○		○	
		ヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius unicolor</i>						○		
		ニセヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius vulgaris</i>							○	
		キベリヘリカメムシ	<i>Megalotomus costalis</i>				○				
		ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>		○	○	○	○	○	○	
	ヒメヘリカメムシ	アカヘリカメムシ	<i>Leptocoris augur</i>					○			
		アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>			○		○	○	○	
		スカシヒメヘリカメムシ	<i>Liorhyssus hyalinus</i>			○		○	○	○	
		ブチヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus punctatonevrosus</i>					○			
	ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	<i>Acanthocoris sordidus</i>		○	○		○	○	○	
		マツヘリカメムシ	<i>Leptoglossus occidentalis</i>						○	○	人為移入
		オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>					○	○	○	
		ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia opaca</i>					○	○	○	
		ヘリカメムシ	<i>Coreus marginatus orientalis</i>					○			
		ミナミトゲヘリカメムシ	<i>Paradasynus spinosus</i>						○	○	
		ホソヘリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>		○	○		○	○	○	
		ハリカメムシ	<i>Cletus schmidtii</i>	○			○	○	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(6/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ヒメハリカメムシ	<i>Cletus trignonus</i>				○	○		○	
		キバハラヘリカメムシ	<i>Plinactus bicoloripes</i>	○				○	○	○	
		ハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus dilatatus</i>					○	○	○	
		アズキヘリカメムシ	<i>Homoeocerus marginiventris</i>					○			
		オオクモヘリカメムシ	<i>Homoeocerus stricornis</i>					○	○	○	
		ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>				○	○	○	○	
	クヌギカメムシ	アシブトヘリカメムシ	<i>Anoplocnemis phasiana</i>						○		
		ヘラクヌギカメムシ	<i>Urostylis annulicornis</i>						○	○	
		クヌギカメムシ	<i>Urostylis westwoodii</i>		○		○	○	○	○	
	マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>		○	○	○	○	○	○	
	ツチカメムシ	ヒメツヤツチカメムシ	<i>Chilocoris nigricans</i>					○			
		ヨコヅナツチカメムシ	<i>Adrisa magna</i>						○	○	
		ヒメツチカメムシ	<i>Fromundus pygmaeus</i>			○		○	○	○	
		コツチカメムシ	<i>Macroscytus fraterculus</i>		○		○		○	○	
		ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		マルツチカメムシ	<i>Microporus nigrita</i>			○		○	○	○	
		ミツボシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>			○		○	○	○	
		シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>			○	○				
	キンカメムシ	オオキンカメムシ	<i>Eucorysses grandis</i>				○			○	偶産
		アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>	○			○	○	○	○	
	ノコギリカメムシ	ノコギリカメムシ	<i>Megymenum gracilicorne</i>						○		
	カメムシ	シロヘリクチブトカメムシ	<i>Andrallus spinidens</i>						○	○	
		クチブトカメムシ	<i>Picromerus lewisi</i>					○			
		ルリクチブトカメムシ	<i>Zicrona caerulea</i>						○		
		ウズラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>	○	○			○	○	○	
		チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クサギカメムシ	<i>Halymorpha halys</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>					○	○	○	
		トゲカメムシ	<i>Carbula abbreviata</i>					○			
		ムラサキシシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>	○				○	○	○	
		マルシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris guttigerus</i>		○		○	○	○	○	
		シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>		○	○	○	○	○	○	
		ミヤマカメムシ	<i>Hermolaus amurensis</i>					○	○		
		タマカメムシ	<i>Sepontiella aenea</i>					○			
		キマダラカメムシ	<i>Erthesina fullo</i>							○	外来
		ウシカメムシ	<i>Alcimocoris japonensis</i>					○	○	○	
		スコットカメムシ	<i>Menida disjuncta</i>						○		
		ナカボシカメムシ	<i>Menida musiva</i>						○	○	
		ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>					○	○	○	
		アオクサカメムシ	<i>Nezara antennata</i>			○	○	○	○	○	
		ミナミアオカメムシ	<i>Nezara viridula</i>						○	○	
		ヒメナガメ	<i>Eurydema dominulus</i>							○	
		ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>				○				
		ハナダカカメムシ	<i>Dybowskyia reticulata</i>					○	○		
		アカスジカメムシ	<i>Graphosoma rubrolineatum</i>		○	○		○	○	○	
		オオクロカメムシ	<i>Scotinophara horvathi</i>							○	
	ツノカメムシ	フトハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma crassicaudum</i>						○	○	
		セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>				○	○	○	○	
		オオツノカメムシ	<i>Acanthosoma firmatum</i>					○	○	○	
		ヒメハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma forcicula</i>					○	○	○	
		ハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma labiduroides</i>						○	○	
		アオモンツノカメムシ	<i>Elasmotherus nubilus</i>					○	○	○	
		ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>							○	
		セグロヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha signoreti</i>							○	
		エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>	○	○		○	○	○	○	
		モンキツノカメムシ	<i>Sastragala scutellata</i>		○			○			
	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>			○					
	ラクダムシ	ラクダムシ	<i>Inocellia japonica</i>					○	○	○	
	アミメカゲロウ	カマキリモドキ	<i>Mantissa japonica japonica</i>					○			
		ヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>					○			
		アシマダラヒメカゲロウ	<i>Micromus calidus</i>							○	
		シロタヒメカゲロウ	<i>Micromus dissimilis</i>					○			
		ホソバヒメカゲロウ	<i>Micromus linearis</i>					○			
		チャバネヒメカゲロウ	<i>Micromus numerosus</i>					○			
	クサカゲロウ	アミメクサカゲロウ	<i>Apochrysa matsumurae</i>						○	○	
		セアカクサカゲロウ	<i>Italochrysa japonica</i>			○					
		クサカゲロウ	<i>Chrysopa intima</i>			○	○		○		
		ヨツボシクサカゲロウ	<i>Chrysopa pallens</i>		○	○	○	○		○	
		アカスジクサカゲロウ	<i>Chrysoperla furcifera</i>					○			
		ヤマトクサカゲロウ	<i>Chrysoperla nipponensis</i>					○	○	○	
		スズキクサカゲロウ	<i>Chrysoperla suzuki</i>							○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(7/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		カオマダラクサカゲロウ	<i>Mallada desjardinsi</i>							○	
		イツホシアカマダラクサカゲロウ	<i>Pseudomallada cognatellus</i>					○			
		ヨソボシアカマダラクサカゲロウ	<i>Pseudomallada parabolus</i>					○			
	ウスバカゲロウ	マダラウスバカゲロウ	<i>Dendroleon pupillaris</i>	○							
		モイワウスバカゲロウ	<i>Epacanthaclis moiwana</i>							○	
		ウスバカゲロウ	<i>Baliga micans</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		カスリウスバカゲロウ	<i>Distoleon nigricans</i>						○	○	
		ホシウスバカゲロウ	<i>Paraglenurus japonicus</i>				○		○	○	
コウチュウ	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i>					○			
	ハンミョウ	エリザハンミョウ	<i>Cylindera elisae elisae</i>						○		
		ニワハンミョウ	<i>Cicindela japana</i>	○							
		トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cylindera kaleea yedoensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コハンミョウ	<i>Myriochile specularis</i>					○	○	○	
	オサムシ	クロカタビロオサムシ	<i>Calosoma maximowiczi</i>							○	人為移入
		エゾカタビロオサムシ	<i>Campalita chinense</i>					○			
		アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		マイマイカブリ	<i>Carabus blaptoides oxuroides</i>					○			
		チビヒョウタンゴミムシ	<i>Dyschirius ordinatus</i>					○			
		ホソヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites acutidens</i>						○		
		ナガヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites terricola pacificus</i>		○						
		メダカチビカワゴミムシ	<i>Asaphidion semilucidum</i>					○	○		
		アトモンミズギワゴミムシ	<i>Bembidion niloticum batesi</i>			○					
		ウスイロコミズギワゴミムシ	<i>Paratachys pallescens</i>					○	○		
		ヨツモンコミズギワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>					○			
		キアシヌレチゴミムシ	<i>Archipatrobus flavipes</i>					○	○		
		オオゴミムシ	<i>Lesticus magnus</i>					○	○		
		ヨリトモナガゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>					○			
		セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>	○	○	○		○	○	○	
		オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>					○			
		マルガツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>		○			○			
		クロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus cycloderus</i>					○	○		
		ヒメツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus dulcigradus</i>					○			
		オオクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus</i>					○	○		
		キアシマルガタゴミムシ	<i>Amara ampliata</i>		○	○				○	
		マルガタゴミムシ	<i>Amara chalcites</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コアオマルガタゴミムシ	<i>Amara chalcophaea</i>		○	○					
		ニセマルガタゴミムシ	<i>Amara congrua</i>					○	○		
		オオマルガタゴミムシ	<i>Amara gigantea</i>		○						
		ナガマルガタゴミムシ	<i>Amara macronota ovalipennis</i>		○				○		
		ヒメツヤマルガタゴミムシ	<i>Amara nipponica</i>					○	○	○	
		コマルガタゴミムシ	<i>Amara simplicidens</i>					○	○	○	
		ニセコマルガタゴミムシ	<i>Amara sinuaticollis</i>					○			
		ホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>		○		○	○	○		
		ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>	○	○	○		○	○		
		マルガタゴモクムシ	<i>Harpalus bungii</i>					○			
		トゲアシゴモクムシ	<i>Harpalus calceatus</i>						○	○	
		オオゴモクムシ	<i>Harpalus capito</i>							○	
		ハコダテゴモクムシ	<i>Harpalus discrepans</i>					○	○	○	
		オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>						○		
		ケウスゴモクムシ	<i>Harpalus griseus</i>		○	○		○	○	○	
		ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>	○				○	○	○	
		クロゴモクムシ	<i>Harpalus niigatanus</i>	○	○						
		ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>	○				○		○	
		アカアシマルガタゴモクムシ	<i>Harpalus tinctulus</i>		○	○		○			
		コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>		○	○		○		○	
		ケゴモクムシ	<i>Harpalus vicarius</i>		○						
		クビナガゴモクムシ	<i>Oxycentrus argutoroides</i>					○			
		キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>					○	○		
		マルヒメゴモクムシ	<i>Bradycellus fimbriatus</i>		○			○	○		
		ミドリマメゴモクムシ	<i>Stenolophus difficilis</i>					○			
		ムネアカマメゴモクムシ	<i>Stenolophus propinquus</i>					○			
		イツホシマメゴモクムシ	<i>Stenolophus quinquepustulatus</i>		○	○		○	○		
		オオアトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius micans</i>					○	○		
		キボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius posticalis</i>					○			
		トックリゴミムシ	<i>Lachnocrepis prolixa</i>					○			
		クロズホナシゴミムシ	<i>Perigona nigriceps</i>					○			
		クビナガゴミムシ	<i>Ophionea indica</i>						○		
		トゲアトキリゴミムシ	<i>Aephniidius adelioides</i>					○			
		ホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius prolixus</i>						○		
		イクビホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius quadraticollis</i>					○			
		ジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia retrofasciata</i>	○	○						
		コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>					○	○		外来

資料6 昆虫類の年次別確認状況(8/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ヒラタアトキリゴミムシ	<i>Parena cavipennis</i>					○	○		
		クロヘリアトキリゴミムシ	<i>Parena nigrolineata nipponensis</i>	○				○	○		
		アオヘリホソゴミムシ	<i>Drypta japonica</i>					○		○	
	ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>					○			
	コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i>						○		
	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ	<i>Hydroglyphus japonicus</i>					○			
		ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>					○			
		ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes griseus</i>		○			○	○		
		コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>		○						
	ガムシ	ホソケシガムシ	<i>Paroosternum sores</i>					○	○		
		キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>					○			
		マメガムシ	<i>Regimbartia attenuata</i>						○		
	エンマムシ	ニセドウガネエンマムシ	<i>Saprinus niponicus</i>	○							
		ヒメツヤエンマムシ	<i>Hister simplicisternus</i>					○	○		
		キノコエンマムシ	<i>Margarinotus boleti</i>					○			
		コエンマムシ	<i>Margarinotus niponicus</i>	○				○	○		
	シデムシ	ヒメエンマムシ	<i>Margarinotus weymarni</i>						○		
		コクロシデムシ	<i>Ptomascopus morio</i>	○	○	○	○	○	○		
	ハネカクシ	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		モンヒラタハネカクシ	<i>Siagonium vittatum</i>					○			
		チビクロセスジハネカクシ	<i>Anotylus latiusculus</i>					○	○		
		ルイスツヤセスジハネカクシ	<i>Anotylus lewisii</i>					○	○		
		シワバネセスジハネカクシ	<i>Anotylus mimulus</i>					○	○		
		チビツツニセユミセミゾハネカクシ	<i>Carpelimus exiguus</i>					○			
		クロヒメカワバハネカクシ	<i>Platystethus operosus</i>					○			
		ホソフタホシメダカハネカクシ	<i>Stenus alienus</i>		○						
		ニセメダカハネカクシ	<i>Stenaesthetus sunioides</i>					○			
		ヒメシリグロハネカクシ	<i>Astenus brevipes</i>					○			
		フタホシシリグロハネカクシ	<i>Astenus maculipennis</i>					○			
		オオシリグロハネカクシ	<i>Astenus suffusus</i>					○			
		クロストガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>						○	○	
		アオバアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>	○	○	○			○	○	
		クビボソハネカクシ	<i>Rugilus rufescens</i>					○			
		オオキバネナガハネカクシ	<i>Megalinus japonicus</i>					○	○		
		クロサビイロマルズオオハネカクシ	<i>Ocypus lewisii</i>					○			
		ムネスジコガシラハネカクシ	<i>Pseudohesperus rutiliventris</i>						○		
		アカバトガリオオズハネカクシ	<i>Platydacus brevicornis</i>	○	○			○	○	○	
		クロズシリホソハネカクシ	<i>Tachyporus celatus</i>					○	○		
		アカスジハラハネカクシ	<i>Autalia rufula</i>					○	○		
	アリヅカムシ	ツヤチイロアリヅカムシ	<i>Batrastibus concolor</i>					○			
	マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ	<i>Eucinetus haemorrhoidalis</i>					○			
	マルハナノミ	アカチャチビマルハナノミ	<i>Herthania japonicola</i>					○			
		コキムネマルハナノミ	<i>Sacodes nakanei</i>					○			
		キムネマルハナノミ	<i>Sacodes protecta</i>					○	○		
		トビイロマルハナノミ	<i>Scirtes japonicus</i>	○				○		○	
	クワガタムシ	イシハラチビマルハナノミ	<i>Cyphon (Cyphon) ishiharai</i>					○			
		オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i>					○			人為移入
		ミヤマクワガタ	<i>Lucanus maculiformatus maculiformatus</i>	○							人為移入
		コクワガタ	<i>Dorcus rectus rectus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		スジクワガタ	<i>Dorcus striatipennis striatipennis</i>	○							人為移入
		ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>	○			○	○		○	
		ヒラタクワガタ	<i>Dorcus titanus pilifer</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	ムネアカセンチコガネ	ムネアカセンチコガネ	<i>Bolbocerosoma nigroplagiatum</i>					○	○	○	
	センチコガネ	オオセンチコガネ	<i>Phelotrupes auratus auratus</i>							○	人為移入
		センチコガネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	コガネムシ	クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i>		○	○	○	○	○	○	
		コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		カドマルエンマコガネ	<i>Onthophagus lenzii</i>	○				○			
		ツヤエンマコガネ	<i>Parascatonomus nitidus</i>					○	○	○	
		マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i>			○	○	○	○		
		セマダラマグソコガネ	<i>Aphodius nigrotessellatus</i>					○	○		
		マグソコガネ	<i>Aphodius rectus</i>		○	○					
		クロツツマグソコガネ	<i>Saprosites japonicus</i>							○	
		ヒゲブトハナムグリ	<i>Amphicoma pectinata</i>				○	○	○		
		ヒメカンショコガネ	<i>Apogonia amida</i>				○		○	○	
		ナガチャコガネ	<i>Heptophylla picea</i>	○	○	○		○	○	○	
		クロコガネ	<i>Holotrichia kiotonensis</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオクロコガネ	<i>Holotrichia parallela</i>					○	○	○	
		コクロコガネ	<i>Holotrichia picea</i>		○	○			○	○	
		オオコフキコガネ	<i>Melolontha frater</i>							○	
		コフキコガネ	<i>Melolontha japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		オオキイロコガネ	<i>Pollaplonyx flavidus</i>					○			

資料6 昆虫類の年次別確認状況(9/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		アシナガコガネ	<i>Hoplia communis</i>				○	○	○	○	
		アカビロウドコガネ	<i>Maladera castanea</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ビロウドコガネ	<i>Maladera japonica</i>					○	○	○	
		カミヤビロウドコガネ	<i>Maladera kamiyai</i>					○	○		
		ヒメビロウドコガネ	<i>Maladera orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		マルガタビロウドコガネ	<i>Maladera secreta</i>			○	○	○		○	
		ワタリビロウドコガネ	<i>Nipponoserica peregrina</i>						○	○	
		コイチャコガネ	<i>Adoretus tenuimaculatus</i>					○	○	○	
		アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa albopilosa</i>				○	○	○	○	
		ドウガネブイブイ	<i>Anomala cuprea</i>		○	○	○	○	○	○	
		サクラコガネ	<i>Anomala daimiana</i>		○		○	○			
		ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i>					○			
		ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		チビサクラコガネ	<i>Anomala schoenfeldti</i>						○		
		セマダラコガネ	<i>Exomala orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメスジコガネ	<i>Mimela flavilabris</i>							○	
		コガネムシ	<i>Mimela splendens</i>				○	○	○		
		スジコガネ	<i>Mimela testaceipes</i>		○			○	○	○	
		ウスチャコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>						○		
		マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ナラノチャイロコガネ	<i>Proagopertha pubicollis</i>					○			
		ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>	○			○	○	○	○	
		ヒメトラハナムグリ	<i>Lasiotrichius succinctus tokushimus</i>				○	○	○	○	
		コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>	○	○		○	○	○	○	
		シラホシハナムグリ	<i>Protaetia brevitarsis brevitarsis</i>							○	人為移入
		シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis submarmorea</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		カナブン	<i>Pseudotrynorrhina japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロカナブン	<i>Rhomborhina polita</i>	○	○	○			○	○	
		カブトムシ	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
タマムシ		ヒメヒラタタマムシ	<i>Anthaxia proteus</i>	○				○	○	○	
		クロタマムシ	<i>Buprestis haemorrhoidalis japonensis</i>					○			
		ウバタマムシ	<i>Chalcophora japonica japonica</i>						○	○	
		ムツボンタマムシ	<i>Chrysobothris succedanea</i>					○	○	○	
		タマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>		○					○	
		マスダクロホシタマムシ	<i>Lamprodila vivata</i>						○		
		クロナガタマムシ	<i>Agrilus cyaneoniger</i>					○		○	
		シラホシナガタマムシ	<i>Agrilus decoloratus</i>					○	○		
		ビシモンナガタマムシ	<i>Agrilus discalis</i>	○				○	○		
		マサキナガタマムシ	<i>Agrilus euonymi</i>					○	○		
		ムネアカナガタマムシ	<i>Agrilus imitans</i>					○	○	○	
		クワナガタマムシ	<i>Agrilus komareki komareki</i>						○		
		シャシャンボナガタマムシ	<i>Agrilus shashamboe</i>					○	○		
		シロテンナガタマムシ	<i>Agrilus sospes</i>						○		
		ケヤキナガタマムシ	<i>Agrilus spinipennis</i>					○	○		
		ムネアカチビナカボソタマムシ	<i>Nalanda rutilicollis rutilicollis</i>					○			
		ヒラタチビタマムシ	<i>Habroloma subbicorne</i>			○					
		クズノチビタマムシ	<i>Trachys auricollis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コウゾチビタマムシ	<i>Trachys broussonetiae</i>					○	○	○	
		ウメチビタマムシ	<i>Trachys inconspicuus</i>				○		○	○	
		マルガタチビタマムシ	<i>Trachys ineditus</i>	○							
		ヤノミガタチビタマムシ	<i>Trachys yanoi</i>	○	○	○	○	○	○	○	
コメツクムシ		ヒゲコメツク	<i>Pectocera hige hige</i>							○	
		マダラチビコメツク	<i>Prodrasterius agnatus</i>	○	○	○		○	○		
		サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	○	○	○		○	○	○	
		ムナビロサビキコリ	<i>Agrypnus cordicollis</i>			○		○	○	○	
		ホノサビキコリ	<i>Agrypnus fuliginosus</i>					○	○		
		ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa scrofa</i>						○		
		シモフリコメツク	<i>Actenicerus pruinosus</i>					○			
		クロツヤハダコメツク	<i>Hemicrepidius secessus secessus</i>						○	○	
		ルリツヤハダコメツク	<i>Hemicrepidius subcyaneus</i>						○		
		トラフコメツク	<i>Selatossomus onerosus</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオツヤハダコメツク	<i>Stenagostus umbratilis</i>		○						
		ヒゲナガコメツク	<i>Mulsanteus junior junior</i>					○			
		クロツヤクシコメツク	<i>Melanotus annosus</i>	○					○	○	
		マルクビクシコメツク	<i>Melanotus fornumi fornumi</i>				○				
		クシコメツク	<i>Melanotus legatus legatus</i>				○	○	○	○	
		チャバネクシコメツク	<i>Melanotus seniculus</i>					○			
		クロクシコメツク	<i>Melanotus senilis senilis</i>					○	○	○	
		アカアシオオクシコメツク	<i>Spheniscosomus cete cete</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオクロクシコメツク	<i>Spheniscosomus cribricollis</i>		○	○			○	○	
		アカアシハナコメツク	<i>Dicronychus adjutor adjutor</i>					○	○		
		オオハナコメツク	<i>Dicronychus nothus</i>						○		

資料6 昆虫類の年次別確認状況(10/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
	ヒゲトコメツキ	ナガヒゲトコメツキ	<i>Aulonothroscus longulus</i>					○	○		
	ベニボタル	クロハナボタル	<i>Plateros coracinus</i>					○	○		
	ホタル	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>			○					人為移入
	ジョウカイボン	クロツマキジョウカイ	<i>Malthinus japonicus</i>					○	○		
		ヒメジョウカイ	<i>Lycocerus japonicus</i>					○			
		セボシジョウカイ	<i>Lycocerus vitellinus</i>					○	○	○	
	カツオブシムシ	トビカツオブシムシ	<i>Dermestes ater</i>					○	○		外来
		ヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus unicolor japonicus</i>					○			外来
		カマキリタマゴカツオブシムシ	<i>Thaumaglossa rufocapillata</i>	○					○		
		シロオビマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus nipponensis</i>						○		外来
		ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	ナガシクイムシ	チビタケナガシクイ	<i>Dinoderus minutus</i>	○							外来
	シバンムシ	ジンサンシバンムシ	<i>Stegobium paniceum</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
		タバコシバンムシ	<i>Lasioderma serricorne</i>		○						外来
		ヒメホリタケシバンムシ	<i>Caenocara rufitarse</i>					○	○		
	ヒョウホンムシ	ナガヒョウホンムシ	<i>Ptinus japonicus</i>			○		○		○	外来
	コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト	<i>Ancyrona haroldi</i>						○	○	
	ジョウカイモドキ	ケンジョウカイモドキ	<i>Dasytes vulgaris</i>	○							
		ツマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>	○			○	○	○		
	ケンキスイ	ムネカドデオキスイ	<i>Carpophilus acutangulus</i>						○		
		クロハナケンキスイ	<i>Carpophilus chalybeus</i>		○						
		クリヤケンキスイ	<i>Carpophilus hemipterus</i>						○		外来
		クリロデオキスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>					○			外来
		カタベニデオキスイ	<i>Urophorus humeralis</i>					○			
		クロモンムクケンキスイ	<i>Aethina flavicollis</i>					○	○		
		コゲチャセマルケンキスイ	<i>Amphicrossus japonicus</i>					○	○		
		ナガコゲチャケンキスイ	<i>Amphicrossus lewisi</i>	○					○	○	
		ヒメヒラタケンキスイ	<i>Epuraea domina</i>					○			
		モンチビヒラタケンキスイ	<i>Epuraea ocularis</i>		○			○	○		
		マメヒラタケンキスイ	<i>Epuraea paulula</i>					○			
		ナメヒラタケンキスイ	<i>Epuraea pella</i>					○			
		オオヒラタケンキスイ	<i>Epuraea pseudosoronia</i>							○	
		ニセアカマダラケンキスイ	<i>Phenolia borealis</i>					○			
		アカマダラケンキスイ	<i>Phenolia picta</i>					○	○	○	
		キボシヒラタケンキスイ	<i>Omosita colon</i>	○	○						
		ヘリグロヒラタケンキスイ	<i>Omosita discoidea</i>	○				○			
		ウスオビカクケンキスイ	<i>Pocadites dilatimanus</i>							○	
		クロモンカクケンキスイ	<i>Pocadius nobilis</i>					○			
		マルキマダラケンキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i>					○	○		
		ムネアカチビケンキスイ	<i>Meligethes flavicollis</i>							○	
		ルイスコオニケンキスイ	<i>Cryptarcha lewisi</i>	○				○	○		
		ナミモンコケンキスイ	<i>Cryptarcha strigata</i>					○			
		ヨツボシケンキスイ	<i>Glischrochilus japonicus</i>	○	○			○	○	○	
	ネスイムシ	オバケデオネスイ	<i>Mimemodes monstrosus</i>						○		
	ヒメハナムシ	キヒロアシナガヒメハナムシ	<i>Augasmus nipponicus</i>					○	○		
	ヒラタムシ	ヒレルチビヒラタムシ	<i>Placonotus hilleri</i>					○	○		
	ホソヒラタムシ	マルムネホソヒラタムシ	<i>Silvanolomus inermis</i>						○		
		ヒメフタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i>					○	○		外来
		ミツモンセマルヒラタムシ	<i>Psammoeus trimaculatus</i>					○	○		
	キシムシ	クロモンキシイ	<i>Cryptophagus decoratus</i>					○	○		
		キイロセマルキシイ	<i>Atomaria lewisi</i>					○	○		
	オオキシムシ	ヨツボシオオキシイ	<i>Helota gemmata</i>							○	
	オオキノコムシ	カタモンオオキノコムシ	<i>Aulacochilus japonicus</i>					○	○		
		アカハバヒロオオキノコムシ	<i>Neotriplax lewisi</i>					○	○	○	
		セモンホソオオキノコムシ	<i>Dacne picta</i>					○			
		ヒメオビオオキノコムシ	<i>Episcapha fortunei</i>					○	○		
		タイショウオオキノコムシ	<i>Episcapha morawitzi</i>					○			
	ミジンムシ	ナカグロミジンムシ	<i>Arthrolips lewisi</i>					○			
	テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>		○	○	○	○	○		
		ルリテントウダマシ	<i>Endomychus gorhami gorhami</i>						○		
	テントウムシ	クロツヤテントウ	<i>Serangium japonicum japonicum</i>					○	○		
		ムツボシテントウ	<i>Sticholotis punctata</i>					○	○	○	
		アミダテントウ	<i>Amida tricolor</i>							○	
		フタホシテントウ	<i>Hyperaspis japonica</i>			○		○	○		
		アトホシヒメテントウ	<i>Nephus phosphorus</i>					○			
		ハレキヒメテントウ	<i>Sasajiscymnus hareja</i>					○	○		
		クビアカヒメテントウ	<i>Sasajiscymnus sylvaticus</i>	○			○	○	○		
		チュウジョウヒメテントウ	<i>Scymnus chujoi</i>					○	○		
		ツマアカヒメテントウ	<i>Scymnus dorcatomoides</i>				○	○	○		
		オニヒメテントウ	<i>Scymnus giganteus</i>					○	○		
		クロヘリヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>					○			
		クロヒメテントウ	<i>Scymnus japonicus</i>						○		

資料6 昆虫類の年次別確認状況(11/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		カグヤヒメデントウ	<i>Scymnus kaguyahime</i>					○			
		カワムラヒメデントウ	<i>Scymnus kawamurai</i>					○	○		
		オオタヒメデントウ	<i>Scymnus ohtai</i>					○			
		コクロヒメデントウ	<i>Scymnus posticalis</i>	○	○	○		○	○	○	
		ニセツマアカヒメデントウ	<i>Scymnus rectoides</i>					○	○		
		ナガヒメデントウ	<i>Scymnus ruficeps</i>					○			
		ヒメアカホシデントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>	○	○	○		○	○	○	
		アカホシデントウ	<i>Chilocorus rubidus</i>				○	○	○	○	
		フタモンクロデントウ	<i>Cryptogonus orbiculus</i>						○		
		ヨツボシデントウ	<i>Phymatosternus lewisii</i>					○	○	○	
		モンクチビルデントウ	<i>Platynaspidium maculosus</i>							○	
		クロデントウ	<i>Telsimia nigra</i>					○	○		
		ベダリアデントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>						○	○	外来
		アカイロデントウ	<i>Rodolia concolor</i>		○			○		○	
		ベニヘリデントウ	<i>Rodolia limbata</i>						○		
		アカヘリデントウ	<i>Rodolia rufocincta</i>						○	○	
		カメノコデントウ	<i>Aiolocaria hexaspilota</i>				○	○	○	○	
		ジュウクホシデントウ	<i>Anisosticta kobensis</i>	○				○			
		ムーアシロホシデントウ	<i>Calvia muiri</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		シロジュウシホシデントウ	<i>Calvia quatuordecimguttata</i>					○	○		
		シロジュウゴホシデントウ	<i>Calvia quindecimguttata</i>	○							
		ナナホシデントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		マクガタデントウ	<i>Coccinula crotchii</i>				○				
		シロジュウロクホシデントウ	<i>Halyzia sedecimguttata</i>					○			
		ナミデントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クリサキデントウ	<i>Harmonia yedoensis</i>				○	○	○		
		キイロデントウ	<i>Kiuro koebelei koebelei</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ダングラデントウ	<i>Menochilus sexmaculatus</i>	○		○		○	○	○	
		ウスキホシデントウ	<i>Oenopia hirayamai</i>					○	○	○	
		ムツキボシデントウ	<i>Oenopia scalaris</i>						○		
		ヒメカメノコデントウ	<i>Propylea japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クモガタデントウ	<i>Psyllobora vigintimaculata</i>					○		○	外来
		シロホシデントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i>				○	○	○		
		トホシデントウ	<i>Epilachna admirabilis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		オオニジュウヤホシデントウ	<i>Henosepilachna vigintioctomaculata</i>				○	○	○		
		ニジュウヤホシデントウ	<i>Henosepilachna vigintioctopunctata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ムネアカオオクロデントウ	<i>Synona consanguinea</i>							○	
	ミジンムシダマシ	クロミジンムシダマシ	<i>Aphanoccephalus hemisphericus</i>		○	○			○		
	ヒメマキムシ	クロオビケシマキムシ	<i>Corticaria ornata</i>					○			
		ヤマトケシマキムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>					○			
		ヒメマキムシ	<i>Stephostethus chinensis</i>						○		
	ホソカタムシ	ベニモンヒメヒラタホソカタムシ	<i>Synchita rufosignata</i>					○	○		
		ツヤケシメホソカタムシ	<i>Microprius opacus</i>					○	○		
		ツヤナガヒラタホソカタムシ	<i>Pycnomerus vilis</i>					○			
	コキノコムシ	ヒレルコキノコムシ	<i>Mycetophagus hillerianus</i>						○		
	ナガクチキムシ	アカオビニセハナノミ	<i>Orchesia imitans</i>					○	○		
		カツオガタナガクチキ	<i>Synstrophus macrophthalmus</i>					○			
		オオクロホソナガクチキ	<i>Phloeotrya bellicosa</i>						○		
		クロホソナガクチキ	<i>Phloeotrya rugicollis</i>					○			
		ヨツモンヒメナガクチキ	<i>Spilotus uninotatus</i>						○		
	ハナノミ	クロハナノミ	<i>Mordella brachyura brachyura</i>						○		
		クロヒメハナノミ	<i>Mordellistena comes</i>	○							
	カミキリモドキ	アオグロカミキリモドキ	<i>Ischnomera nigrocyanea nigrocyanea</i>	○				○	○	○	
		クロアオカミキリモドキ	<i>Oedemera concolor</i>						○		
		モモブトカミキリモドキ	<i>Oedemera lucidicollis</i>				○				
		カトウカミキリモドキ	<i>Nacerdes katoi</i>							○	
		キバネカミキリモドキ	<i>Nacerdes luteipennis</i>	○							
		アオカミキリモドキ	<i>Nacerdes waterhousei</i>	○	○	○	○	○	○		
	アカハネムシ	アカハネムシ	<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>					○			
	アリモドキ	アカホソアリモドキ	<i>Stricticomus fugiens</i>					○			
		ホソクビアリモドキ	<i>Formicomus braminus coiffaiti</i>	○				○	○		
	ニセクビボソムシ	チャイロニセクビボソムシ	<i>Aderus grouvelli</i>					○			
	ハナノミダマシ	コフナガタハナノミ	<i>Anaspis funagata</i>					○			
		クロフナガタハナノミ	<i>Anaspis marseuli</i>				○	○	○		
	チビキカワムシ	ムネアカチビキカワムシ	<i>Lissodema unifasciatum</i>					○			
	ゴミムシダマシ	エチゴキバネハムシダマシ	<i>Lagria nigricollis</i>					○	○	○	
		オオメキバネハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アラメヒゲブトゴミムシダマシ	<i>Luprops cribrifrons</i>					○	○	○	
		ヒゲブトゴミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ハロルドアオバクチキムシ	<i>Allecula aeneipennis</i>					○	○		
		ホンドロクロオオクチキムシ	<i>Upinella fuliginosa</i>		○	○			○	○	
		ナミクチキムシ	<i>Upinella melanaria</i>	○				○	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(12/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		クリノウスイロクチキムシ	<i>Allecula similiola</i>					○	○		
		クリイロクチキムシ	<i>Borboresthes acicularis</i>						○	○	
		ホンドトビイロクチキムシ	<i>Borboresthes cruralis</i>						○	○	
		クロツヤバネクチキムシ	<i>Hymenalia unicolor</i>					○			
		クロホシクチキムシ	<i>Pseudocistela haagi</i>	○							
		コスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>					○			
		ムネビロスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum japonum japonum</i>					○	○	○	
		ヒメナガニジゴミムシダマシ	<i>Ceropria induta</i>					○			
		モンキゴミムシダマシ	<i>Diaperis lewisi lewisi</i>				○	○	○		
		クロツヤキノゴミムシダマシ	<i>Platydema nigroaenea</i>		○						
		ベニモンキノゴミムシダマシ	<i>Platydema subfascia subfascia</i>					○	○	○	
		ホンクロホシテントウゴミムシダマシ	<i>Derispia maculipennis</i>					○			
		テントウゴミムシダマシ	<i>Leiochrinus satzuma</i>					○			
		マルセルエグリゴミムシダマシ	<i>Uloma marseuli marseuli</i>					○	○		
		ルリゴミムシダマシ	<i>Derosphaerus subviolaceus</i>					○		○	
		クロゴミムシダマシ	<i>Neatus picipes</i>						○		
		ニジゴミムシダマシ	<i>Tetraphyllus lunuliger lunuliger</i>					○			
		コマルキマワリ	<i>Amarygmus curvus</i>		○			○		○	
		ヒメキマワリ	<i>Plesiophthalmus laevicollis</i>					○	○	○	
		ニホンキマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロツヤキマワリ	<i>Plesiophthalmus spectabilis</i>					○	○		
		セスジナガキマワリ	<i>Strongylium cultellatum cultellatum</i>					○	○	○	
	カミキリムシ	ウスバカミキリ	<i>Aegosoma sinicum sinicum</i>				○	○	○	○	
		ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>					○			
		クロカミキリ	<i>Spondylis buprestoides</i>						○	○	
		アカハナカミキリ	<i>Stictoleptura succedanea</i>					○		○	人為移入
		ベニハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspidoidea</i>						○		
		キマダラミヤマカミキリ	<i>Aeolesthes chrysothrix chrysothrix</i>		○	○		○	○	○	
		マルクビケマダラカミキリ	<i>Trichoferus campestris</i>		○						
		テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum sinicum</i>							○	外来
		アカアシオアオカミキリ	<i>Chloridolum japonicum</i>					○	○		
		アオカミキリ	<i>Schwarzerium quadricollis</i>						○		
		ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>					○	○	○	
		タケトラカミキリ	<i>Chlorophorus annularis</i>	○		○	○	○	○	○	
		フタオビミドリトラカミキリ	<i>Chlorophorus muscosus</i>						○	○	
		キスジトラカミキリ	<i>Cyrtoclytus caproides caproides</i>	○				○	○	○	
		ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta diminuta</i>	○				○	○	○	
		トラフカミキリ	<i>Xylotrechus chinensis</i>						○		
		ブドウトラカミキリ	<i>Xylotrechus pyrrhoderus pyrrhoderus</i>	○				○			
		カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa hirsuta hirsuta</i>					○	○	○	
		ゴマフカミキリ	<i>Mesosa japonica</i>						○	○	
		ナガゴマフカミキリ	<i>Mesosa longipennis</i>		○			○	○	○	
		チャゴマフカミキリ	<i>Mesosa perplexa</i>					○	○		外来
		カノコサビカミキリ	<i>Apomecyna naevia naevia</i>						○		
		シナノクロフカミキリ	<i>Asaperda agapanthina</i>					○	○		
		ヒシカミキリ	<i>Microlera ptinoides</i>					○	○		
		ニイジマチビカミキリ	<i>Egesina bifasciana bifasciana</i>					○	○		
		ワモンサビカミキリ	<i>Pterolophia annulata</i>						○		
		アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>					○	○	○	
		アトジロサビカミキリ	<i>Pterolophia zonata</i>	○				○	○	○	
		ビロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i>					○			
		センノキカミキリ	<i>Acalolepta luxuriosa luxuriosa</i>			○		○	○	○	
		ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>		○	○	○	○	○	○	
		マツノマダラカミキリ	<i>Monochamus alternatus endai</i>	○	○						
		キボシカミキリ	<i>Psacotheta hilaris hilaris</i>		○	○	○	○	○	○	外来
		ヤハズカミキリ	<i>Uraecha bimaculata bimaculata</i>					○			
		クワカミキリ	<i>Apriona japonica</i>			○		○	○		
		ヒゲナガゴマフカミキリ	<i>Palimna liturata</i>					○			
		カッコウカミキリ	<i>Miccolamia cleroides</i>						○		
		ヒトオビアラガカミキリ	<i>Rhopaloscelis unifasciatus</i>						○		
		クモガタケンカミキリ	<i>Exocentrus fasciolatus</i>					○	○		
		ガロアケンカミキリ	<i>Exocentrus galloisi</i>					○	○		
		シラオビゴマフケンカミキリ	<i>Exocentrus guttulatus</i>						○	○	
		ケンカミキリ	<i>Sciades tonsus</i>	○							
		ルリカミキリ	<i>Bacchisa fortunei japonica</i>						○	○	
		リンゴカミキリ	<i>Oberea japonica</i>						○	○	
		キクスイカミキリ	<i>Phytoecia rufiventris</i>	○				○	○	○	
	ハムシ	チャバラムメゾウムシ	<i>Borowiecius ademptus</i>					○	○		
		アズキマメゾウムシ	<i>Callosobruchus chinensis</i>		○			○			外来
		サイカチマメゾウムシ	<i>Megabruchidius dorsalis</i>					○	○		
		エンジュマメゾウムシ	<i>Megabruchidius sophorae</i>					○			
		キベリクビボソハムシ	<i>Lema adamsii</i>				○	○	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(13/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ルリクビソハムシ	<i>Lema cirscicola</i>						○		
		キハラルクビソハムシ	<i>Lema concinnipennis</i>					○	○	○	
		トホシクビソハムシ	<i>Lema decempunctata</i>	○	○			○	○	○	
		アカクビソハムシ	<i>Lema diversa</i>		○		○	○	○	○	
		ヤマイモハムシ	<i>Lema honorata</i>				○	○	○	○	
		キイロクビナガハムシ	<i>Liliocerus rugata</i>					○	○	○	
		アカクビナガハムシ	<i>Liliocerus subpolita</i>				○		○	○	
		イネクビソハムシ	<i>Oulema oryzae</i>					○			外来
		キボシルリハムシ	<i>Smaragdina aurita</i>					○			
		バラリツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>				○			○	
		カシワツツハムシ	<i>Cryptocephalus scitulus</i>			○		○	○	○	
		クロボシツツハムシ	<i>Cryptocephalus signaticeps</i>					○		○	
		ツツジムシクソハムシ	<i>Chlamisus laticollis</i>					○	○		
		ムシクソハムシ	<i>Chlamisus spilotus</i>	○				○	○		
		ドウガネツヤハムシ	<i>Oomorphoides cupreatus</i>					○			
		アカガネサルハムシ	<i>Acrothinius gaschkevitchii gaschkevitchii</i>					○	○	○	
		アオバネサルハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>					○	○	○	
		クロムナゲサルハムシ	<i>Basilepta hirticollis</i>					○			
		イモサルハムシ	<i>Colasposoma dauricum</i>	○			○	○	○	○	
		カサハラハムシ	<i>Demotina modesta</i>					○	○		
		コフキケブカサルハムシ	<i>Lypesthes ater</i>					○	○	○	
		ニホンケブカサルハムシ	<i>Lypesthes japonicus</i>						○		
		ヒメキバネサルハムシ	<i>Pagria signata</i>	○				○			
		ドウガネサルハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>	○		○	○	○	○	○	
		トビサルハムシ	<i>Trichochrysea japana</i>				○				
		ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>					○	○	○	
		ハッカハムシ	<i>Chrysolina exanthematica</i>						○	○	
		ヤナギハムシ	<i>Chrysomela vigintipunctata</i>						○		
		コガタリハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>			○	○	○	○	○	
		トホシハムシ	<i>Gonioctena japonica</i>			○					
		ヤツボシハムシ	<i>Gonioctena nigroplagiata</i>						○	○	
		フジハムシ	<i>Gonioctena rubripennis</i>						○		
		ルリハムシ	<i>Plagiosterna aenea</i>					○			
		ダイコンサルハムシ	<i>Phaedon brassicae</i>	○	○	○		○	○	○	
		ヤナギルリハムシ	<i>Plagiodera versicolora</i>				○	○	○	○	
		ハンノキハムシ	<i>Agelastica coerulea</i>	○	○	○		○	○	○	
		ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesi</i>			○		○	○	○	
		ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>				○	○	○	○	
		クワウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>	○				○	○	○	
		ジュンサイハムシ	<i>Galerucella nipponensis</i>				○				
		イタドリハムシ	<i>Gallerucida bifasciata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロウスバハムシ	<i>Luperus moorii</i>					○	○		
		ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>			○			○		
		キイロクワハムシ	<i>Monolepta pallidula</i>		○						
		イチモンジハムシ	<i>Morphosphaera japonica</i>					○	○	○	
		ブタサハムシ	<i>Ophraella communis</i>				○	○	○		外来
		アトボシハムシ	<i>Paridea angulicollis</i>	○					○		
		サンゴジュハムシ	<i>Pyrrhalta humeralis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ニレハムシ	<i>Pyrrhalta maculicollis</i>					○	○	○	
		エノキハムシ	<i>Pyrrhalta tibialis</i>					○	○	○	
		ヒゲナガウスバハムシ	<i>Stenoluperus nipponensis</i>			○			○		
		カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>		○						
		アカバナカミナリハムシ	<i>Altica oleracea</i>		○			○	○	○	
		アヤメツブノミハムシ	<i>Aphthona interstitialis</i>					○			
		テントウノミハムシ	<i>Argopistes biplagiata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヘリグロテントウノミハムシ	<i>Argopistes coccinelliformis</i>					○	○	○	
		オオアカマルノミハムシ	<i>Argopus clypeatus</i>					○	○		
		アカイロマルノミハムシ	<i>Argopus punctipennis</i>					○			
		ヒメドウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>					○			
		ヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema ingenua</i>				○				
		ナガトビハムシ	<i>Liprus punctatostriatus</i>					○			
		アダムスアシナガトビハムシ	<i>Longitarsus adamsii</i>						○		
		クロボシトビハムシ	<i>Longitarsus bimaculatus</i>					○			
		ヨクロアシナガトビハムシ	<i>Longitarsus morrisonus</i>					○			
		オオアシナガトビハムシ	<i>Longitarsus nitidus</i>					○			
		オオバコトビハムシ	<i>Longitarsus scutellaris</i>					○			
		ヨモギアシナガトビハムシ	<i>Longitarsus succineus</i>	○							
		クワノミハムシ	<i>Luperomorpha funesta</i>		○						
		クロコトビハムシ	<i>Manobia parvula</i>					○			
		カクムネチビトビハムシ	<i>Neocrepidodera recticollis</i>					○			
		ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>	○	○	○	○	2	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(14/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		コマルノミハムシ	<i>Nonarthra tibialis</i>			○		○	○		
		キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>		○		○	○			
		アサトビハムシ	<i>Psylliodes attenuata</i>					○			
		ルリナガスネトビハムシ	<i>Psylliodes brettehami</i>	○				○			
		ナトビハムシ	<i>Psylliodes punctifrons</i>	○	○	○		○	○		
		ダイコンナガスネトビハムシ	<i>Psylliodes subrugosa</i>					○			
		ツマキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma apicale</i>					○			
		キイロタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma unicolor</i>						○		
		セモンジンガサハムシ	<i>Cassida crucifera</i>						○	○	
		イノコヅチカメノコハムシ	<i>Cassida japana</i>						○	○	
		カメノコハムシ	<i>Cassida nebulosa</i>				○	○			
		ヒメカメノコハムシ	<i>Cassida piperata</i>	○	○		○	○	○	○	
		イチモンジカメノコハムシ	<i>Thlaspidia biramosa</i>						○	○	
	ヒゲナガゾウムシ	イボタロウヒゲナガゾウムシ	<i>Anthrribus niveovariegatus</i>					○	○		
	ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ	<i>Euparius oculus oculus</i>					○	○	○	
	ヒゲナガゾウムシ	カオジロヒゲナガゾウムシ	<i>Sphinctrotropis laxa</i>	○				○	○	○	
	ヒゲナガゾウムシ	スネアカヒゲナガゾウムシ	<i>Autotropis distinguenda</i>	○				○	○		
	ヒゲナガゾウムシ	エゴヒゲナガゾウムシ	<i>Exechesops leucopis</i>		○			○	○	○	
	ヒゲナガゾウムシ	ムモンチビヒゲナガゾウムシ	<i>Uncifer difficilis</i>					○			
	オトシブミ	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>		○			○	○	○	
	オトシブミ	カシハリオトシブミ	<i>Euops splendidus</i>	○				○		○	
	オトシブミ	エゴツルキオトシブミ	<i>Cynotrachelus roelofsi</i>					○			
	オトシブミ	クロクシツブチョッキリ	<i>Auletobius uniformis</i>					○	○		
	オトシブミ	ファウストハマキチョッキリ	<i>Byctiscus fausti</i>						○		
	オトシブミ	シリブトチョッキリ	<i>Chokkirius truncatus</i>						○		
	オトシブミ	チャイロチョッキリ	<i>Aderorhinus crioceroides</i>					○			
	オトシブミ	ハイロチョッキリ	<i>Cyllorhynchites ursulus</i>					○	○	○	
	オトシブミ	ヒメケブカチョッキリ	<i>Involvulus pilosus</i>					○			
	オトシブミ	グミチョッキリ	<i>Involvulus placidus</i>					○			
	オトシブミ	クチナガチョッキリ	<i>Involvulus plumbeus</i>	○							
	ホソクチゾウムシ	コゲチャホソクチゾウムシ	<i>Holotrichapion semisericeum</i>					○	○		
	ホソクチゾウムシ	ケブカホソクチゾウムシ	<i>Sergiola griseopubescens</i>					○	○		
	オサゾウムシ	トホシオサゾウムシ	<i>Aplotes roelofsi</i>						○		
	オサゾウムシ	シバオサゾウムシ	<i>Sphenophorus venatus vestitus</i>					○		○	外来
	オサゾウムシ	コケゾウムシ	<i>Sitophilus zeamais</i>							○	外来
	イネゾウムシ	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>						○	○	外来
	ゾウムシ	ウスモンカレギゾウムシ	<i>Acicnemis palliata</i>					○	○		
	ゾウムシ	オジロアシナガゾウムシ	<i>Ornatocides trifidus</i>	○				○			
	ゾウムシ	ツチイロゾウムシ	<i>Cotasteromimus morimotoi</i>					○	○		
	ゾウムシ	ハスジカツオゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>						○		
	ゾウムシ	タカオマルクチカグシゾウムシ	<i>Orochlesis takaosana</i>					○			
	ゾウムシ	ヒレアミメキイゾウムシ	<i>Choerorhinus explanatus</i>					○			
	ゾウムシ	イチゴハナゾウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>						○		
	ゾウムシ	オビモンハナゾウムシ	<i>Anthonomus rectirostris</i>							○	
	ゾウムシ	ユアサハナゾウムシ	<i>Anthonomus yuasai</i>					○			
	ゾウムシ	ジュウジチビシギゾウムシ	<i>Archarius pictus</i>	○					○		
	ゾウムシ	コナラシギゾウムシ	<i>Curculio dentipes</i>					○	○		
	ゾウムシ	クヌギシギゾウムシ	<i>Curculio robustus</i>						○	○	
	ゾウムシ	クリシギゾウムシ	<i>Curculio sikkimensis</i>					○			
	ゾウムシ	ヤナシギゾウムシ	<i>Curculio yanoi</i>					○	○		
	ゾウムシ	タバゲササラゾウムシ	<i>Demimaia fascicularis</i>					○	○		
	ゾウムシ	エノキミゾウムシ	<i>Orchestes horii</i>					○	○		
	ゾウムシ	カシワノミゾウムシ	<i>Orchestes japonicus</i>	○				○	○	○	
	ゾウムシ	ニレノミゾウムシ	<i>Orchestes mutabilis</i>						○		
	ゾウムシ	アカアシノミゾウムシ	<i>Orchestes sanguinipes</i>	○	○	○		○	○		
	ゾウムシ	ウスモンノミゾウムシ	<i>Orchestes variegatus</i>						○		
	ゾウムシ	リンゴノミゾウムシ	<i>Rhamphus pulicarius</i>					○	○		
	ゾウムシ	マダラヒメゾウムシ	<i>Baris scolopacea</i>					○			
	ゾウムシ	ツヤケシヒメゾウムシ	<i>Pellobaris melancholica</i>					○			
	ゾウムシ	クワヒメゾウムシ	<i>Moreobaris deplanata</i>						○		
	ゾウムシ	タデスジアカヒメゾウムシ	<i>Moreobaris rubricata</i>					○	○		
	ゾウムシ	ダイコンサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus albosuturalis</i>					○	○		
	ゾウムシ	ツツジゲムネサルゾウムシ	<i>Mecysmoderes fulvus</i>		○						
	ゾウムシ	アカアシクチフトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus cribricollis</i>					○			
	ゾウムシ	キイチゴゲサルゾウムシ	<i>Scleropteroides hypocrita</i>					○	○		
	ゾウムシ	ヤサシゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>		○			○	○		外来
	ゾウムシ	オオタコゾウムシ	<i>Donus punctatus</i>					○			外来
	ゾウムシ	アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera postica</i>					○	○	○	外来
	ゾウムシ	ケブカヒメカタゾウムシ	<i>Arrhaphogaster pilosa</i>							○	
	ゾウムシ	クワイロクチフトゾウムシ	<i>Cyrtapistomus castaneus</i>		○				○		
	ゾウムシ	ケブカクチフトゾウムシ	<i>Lepidepistomodes fumosus</i>						○	○	
	ゾウムシ	コカシワクチフトゾウムシ	<i>Lepidepistomodes griseoides</i>						○		

資料6 昆虫類の年次別確認状況(15/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		チビヒョウタンゾウムシ	<i>Myosides seriehispidus</i>					○	○	○	
		カシワクチフトゾウムシ	<i>Nothomylicerus griseus</i>	○			○	○	○	○	
		オオクチフトゾウムシ	<i>Phyllolytus variabilis</i>					○			
		ヒレルクチフトゾウムシ	<i>Pseudoedophrys hilleri</i>	○			○	○	○	○	
		ヒメシロコブゾウムシ	<i>Dermatoxenus caesicollis</i>							○	
		クチフトヒゲボソゾウムシ	<i>Ophryophyllobius polydrusoides</i>						○		
		ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius armatus</i>	○				○			
		ツノヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius incomptus</i>		○			○	○	○	
		ヒラズネヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius intrusus</i>					○	○		
		コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>	○		○		○	○	○	
		サビヒョウタンゾウムシ	<i>Scepticus insularis</i>		○				○	○	
		クワヒョウタンゾウムシ	<i>Scepticus konoii</i>	○							
		スグリゾウムシ	<i>Pseudocneorhinus bifasciatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		カキスグリゾウムシ	<i>Pseudocneorhinus obesus</i>					○			
		キクイムシ	クリノミキクイムシ							○	
		クイムシ	クリノミキクイムシ							○	
ハチ	ヒラタハバチ	サクラヒラタハバチ	<i>Neurotoma iridescens</i>					○	○		
		ハンノキヒラタハバチ	<i>Pamphilus confusus</i>						○		
	クキバチ	バラクキバチ	<i>Syrta similis</i>					○			
		クキバチ	ニトベクキバチ					○			
	クキバチ	クロヒラアシクキバチ	<i>Tremex apicalis</i>							○	
		ニホンクキバチ	<i>Urocerus japonicus</i>					○			
	ミフシハバチ	アカスジチュウレンジ	<i>Arge nigronodosa</i>			○			○	○	
		ニホンチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i>			○	○	○	○		
		チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i>	○	○			○	○	○	
		ルリチュウレンジ	<i>Arge similis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	コンボウハバチ	ナシアシブトハバチ	<i>Palaeocimbex carinulata</i>					○			
		アケビコンボウハバチ	<i>Abia akebiae</i>							○	
	マツハバチ	マツノキハバチ	<i>Neodiprion sertifer</i>						○	○	
	ハバチ	ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i>				○	○	○	○	
		セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>					○	○	○	
		ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>		○	○		○	○	○	
		イヌノフグリハバチ	<i>Athalia kashmirensis</i>							○	
		カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>					○	○	○	
		コブシハバチ	<i>Megabeleses crassitarsis</i>						○	○	
		チャイロハバチ	<i>Nesotaxonus flavescens</i>						○	○	
		シモツケマルハバチ	<i>Apareophora japonica</i>						○		
		ヒゲナガクロハバチ	<i>Phymatocera nipponica</i>						○		
		サクラヒメハバチ	<i>Trichiocampus pruni</i>							○	
		オオムネアカハバチ	<i>Dolerus ephippiatus</i>					○			
		オスグロハバチ	<i>Dolerus japonicus</i>							○	
		ゼンマイハバチ	<i>Strongylogaster osmundae</i>						○		
		クロムネハバチ	<i>Lagidina irritans</i>						○		
		ヒゲナガハバチ	<i>Lagidina platycerus</i>					○			
		ツマジクロハバチ	<i>Macrophya apicalis</i>					○	○		
		オオクロハバチ	<i>Macrophya carbonaria</i>					○	○	○	
		コマルクロハバチ	<i>Macrophya crassuliformis</i>				○				
		セリシマキモンハバチ	<i>Pachyprotasis serii</i>					○			
		アジサイハバチ	<i>Perineura okutanii</i>						○	○	
		キコシホソハバチ	<i>Tenthredo mortivaga</i>					○	○		
		クロムネアオハバチ	<i>Tenthredo nigropicta</i>						○	○	
		オオツマクロハバチ	<i>Tenthredo providens</i>						○		
		トガリハチガタハバチ	<i>Tenthredo smithii</i>							○	
	コマユバチ	アオムシサムライコマユバチ	<i>Cotesia glomerata</i>						○	○	
	ヒメバチ	ヒメキアシヒラタヒメバチ	<i>Coccygomimus disparis</i>							○	
		エゾオナガバチ	<i>Megarhyssa jezoensis</i>						○	○	
		オオホシオナガバチ	<i>Megarhyssa praececellens</i>				○	○	○	○	
		シロフオナガヒメバチ	<i>Rhyssa persuasoria</i>						○		
		ガロアオナガバチ	<i>Triancyra galloisi</i>						○		
		ハラボソトガリヒメバチ	<i>Apachia tenuiabdominalis</i>		○						
		ホウネンタワラチビメバチ	<i>Charops bicolor</i>						○	○	
		サキグロホシアメバチ	<i>Encospilus ramidulus ramidulus</i>					○			
		コンボウヒメバチ	<i>Acerataspis clavata</i>				○				
		キオビコシブトヒメバチ	<i>Metopius (Metopius) browni</i>						○		
		コンボウアメバチ	<i>Habronyx insidiator</i>				○				
		シロスジヒメバチ	<i>Achais oratorius albizonellus</i>							○	
		マダラヒメバチ	<i>Pterocormus generosus</i>							○	
		アゲハヒメバチ	<i>Trogus mactator</i>		○		○				
	コンボウヤセバチ	オオコンボウヤセバチ(コンボウヤセバチ)	<i>Gasteruption japonicum</i>					○	○		
	シリアグコバチ	シリアグコバチ	<i>Leucospis japonica</i>							○	
	アシトコバチ	キアシトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>					○			
	ヒラタタマバチ	ニホンヒラタタマバチ	<i>Ibalia japonica</i>						○		
		ヒラタタマバチ	<i>Ibalia leucospoides</i>					○			

資料6 昆虫類の年次別確認状況(16/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
	タマバチ	ナラメイガタマバチ	<i>Andricus mukaigawae</i>				○				
		クヌギハマルタマバチ	<i>Apheleonyx acutissima</i>							○	
		クリタマバチ	<i>Dryocosmus kuriphilus</i>		○						外来
		クヌギエダイガタマバチ	<i>Trichagalma serratae</i>					○	○	○	
	セイボウ	ツマムラサキセイボウ	<i>Chrysis splendida</i>						○		
		ハラアカマルセイボウ	<i>Hedychrum japonicum</i>						○	○	
		オカマルセイボウ	<i>Hedychrum okai</i>					○	○		
		オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i>						○	○	
	アリバチ	トゲムネアリバチ	<i>Bischoffitilla ardescens</i>			○					
		ミカドアリバチ	<i>Mutilla mikado</i>				○				
		ヤマトアリバチモドキ	<i>Taiymyrmosa nigrofasciata</i>					○			
	ツチバチ	コモンツチバチ	<i>Scolia decorata ventralis</i>					○	○	○	
		アカスジツチバチ	<i>Scolia fascinata fascinata</i>					○	○	○	
		オオモンツチバチ	<i>Scolia histrionica japonica</i>							○	
		キオビツチバチ	<i>Scolia oculata</i>				○	○	○	○	
		ヒメハラナガツチバチ	<i>Campsomeriella annulata annulata</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris grossa matsumurai</i>				○	○	○	○	
		キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		シロオビハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris schulthessi</i>		○	○	○	○	○	○	
	アリ	ルリアリ	<i>Ochetellus glaber</i>					○	○		
		ヒラフシアリ	<i>Technomyrmex gibbosus</i>						○		
		イトウオアリ	<i>Camponotus itoi</i>						○	○	
		クロオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クサオアリ	<i>Camponotus keihitai</i>							○	
		ナツヨツボシオアリ	<i>Camponotus nawai</i>				○				
		ヨツボシオアリ	<i>Camponotus quadrinotatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウメマツオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>					○	○		
		ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica hayashi</i>					○	○		
		クロヤマアリ	<i>Formica japonica (s. l.)</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		キイロケアリ	<i>Lasius flavus</i>					○	○	○	
		クロクサアリ	<i>Lasius fuji</i>	○	○		○	○	○	○	
		ハヤシケアリ	<i>Lasius hayashi</i>						○		
		トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
		カワラケアリ	<i>Lasius sakagami</i>					○			外来
		ヒラアシクサアリ	<i>Lasius spathepus</i>					○	○	○	
		アメイロケアリ	<i>Lasius umbratus</i>		○	○		○	○	○	
		アメイロアリ	<i>Nylanderia flavipes</i>			○	○	○	○	○	
		サクラアリ	<i>Paraparatrechina sakurae</i>					○	○		
		サムライアリ	<i>Polyergus samurai</i>		○		○	○		○	
		トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>							○	
		アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i>					○	○	○	
		ハリブトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>				○	○	○	○	
		ツヤシリアゲアリ	<i>Crematogaster nawai</i>	○	○	○	○	○			
		キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>		○	○		○	○	○	
		テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>					○	○	○	
		クボミシリアゲアリ	<i>Crematogaster vagula</i>						○	○	
		クロナガアリ	<i>Messor aciculatus</i>	○	○	○		○	○	○	
		ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>					○	○		
		キイロヒメアリ	<i>Monomorium triviale</i>					○	○		
		カドフシアリ	<i>Myrmecina nipponica</i>		○						
		アズマオオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>	○	○	○	○	○	○		
		オオズアリ	<i>Pheidole noda</i>				○			○	
		アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		トフシアリ	<i>Solenopsis japonica</i>							○	
		ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>		○	○	○	○			
		ムネボソアリ	<i>Temnothorax congruus</i>			○		○	○		
		トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウメマツアリ	<i>Vollenhovia emeryi</i>						○		
		オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		テラニシハリアリ	<i>Ponera scabra</i>					○			
	クモバチ	ナミヒメクモバチ	<i>Auplopus carbonarius japonicus</i>						○		
		オオモンクモバチ	<i>Anoplius samariensis</i>	○			○	○	○	○	
		モンクモバチ	<i>Batozonellus maculifrons</i>							○	
		オオシロフクモバチ	<i>Episyron arrogans</i>				○	○	○	○	
	スズメバチ	オオフタオビドロバチ	<i>Anterhynchium flavomarginatum micado</i>				○	○	○	○	
		キボシトックリバチ	<i>Eumenes fraterculus</i>		○				○	○	
		ミカドトックリバチ	<i>Eumenes micado</i>				○		○	○	
		ムモントックリバチ	<i>Eumenes rubronotatus</i>						○		
		ミカドドロバチ	<i>Euodynerus nipanicus nipanicus</i>			○					
		エントツドロバチ	<i>Orancistrocerus drewseni</i>					○	○	○	
		スズバチ	<i>Oreumenes decoratus</i>		○	○	○	○	○	○	
		カタグロチビドロバチ	<i>Stenodynerus chinensis kalinowskii</i>							○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(17/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		キオビチビドロバチ	<i>Stenodynerus frauenfeldi</i>		○		○	○	○	○	
		ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia crocea</i>					○	○	○	
		ヒメホソアシナガバチ	<i>Parapolybia varia</i>				○				
		フタモンアシナガバチ	<i>Polistes chinensis antennalis</i>	○	○	○	○	○	○		
		セグロアシナガバチ	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		キボシアシナガバチ	<i>Polistes nipponensis</i>						○	○	
		キアシナガバチ	<i>Polistes rothneyi iwatai</i>		○	○	○	○	○	○	
		コアシナガバチ	<i>Polistes snelleni</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コガタスズメバチ	<i>Vespa analis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>						○	○	
		ヒメスズメバチ	<i>Vespa ducalis</i>					○	○	○	
		チャイロスズメバチ	<i>Vespa dybowskii</i>						○	○	
		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>	○		○	○	○	○	○	
		キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>		○	○	○	○	○	○	
	セナガアナバチ	サトセナガアナバチ	<i>Ampulex dissector</i>							○	外来
	アナバチ	アメリカジガバチ	<i>Sceliphron caementarium</i>		○		○		○		外来
		クロアナバチ	<i>Isodontia nigella</i>						○	○	
		クロアナバチ	<i>Sphex argentatus fumosus</i>		○		○	○	○	○	
		サトジガバチ	<i>Ammophila vagabunda</i>		○	○	○	○	○		
	ギングチバチ	ヒメコオロギバチ	<i>Liris festinans festinans</i>						○		
		オオハヤバチ	<i>Tachytes sinensis sinensis</i>						○		
	ドロバチモドキ	ハクサンツヤアナバチ	<i>Alysson japonicus</i>						○	○	
		ヤマトスナハキバチ	<i>Bembecinus hungaricus japonicus</i>					○			
	フシダカバチ	ナミツチスガリ	<i>Cerceris hortivaga</i>					○	○		
		マルモンツチスガリ	<i>Cerceris japonica</i>					○	○	○	
	コハナバチ	アカガネコハナバチ	<i>Halictus aerarius</i>						○	○	
		ニッポンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum nipponicola</i>							○	
		シロスジカタコハナバチ	<i>Lasioglossum occidens</i>						○	○	
		エサキコンボウハナバチ	<i>Lipotrichus esakii</i>						○		
		シロオビキホリハナバチ	<i>Lithurgus collaris</i>						○		
		ミスホヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes scabricollis</i>						○		
		コガタシロスジハナバチ	<i>Lipotrichus fruhstorferi</i>							○	
		アオスジハナバチ	<i>Nomia incerta</i>					○	○	○	
	ヒメハナバチ	ヤヨイヒメハナバチ	<i>Andrena hebes</i>						○		
		キバナヒメハナバチ	<i>Andrena knuthi</i>						○	○	
		シロヤヨイヒメハナバチ	<i>Andrena luridiloma</i>						○		
		ワタセヒメハナバチ	<i>Andrena watasei</i>				○				
	ケアシハナバチ	ヤマトケアシハナバチ	<i>Melitta japonica</i>			○					
	ハキリバチ	トモンハナバチ	<i>Anthidium septemspinosum</i>						○	○	
		ハラアカヤドリハキリバチ	<i>Euaspid basal</i>					○	○	○	
		スジボソトガリハナバチ	<i>Coelioxys inermis</i>						○		
		オオトガリハナバチ	<i>Coelioxys fenestrata</i>						○		
		ヤノトガリハナバチ	<i>Coelioxys yanonis</i>				○	○	○	○	
		バラハキリバチ	<i>Megachile nipponica nipponica</i>			○	○	○	○	○	
		クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>					○	○		
		オオハキリバチ	<i>Megachile sculpturalis</i>		○	○	○	○	○	○	
		ヒメツツハキリバチ	<i>Megachile subalbata</i>						○		
		ツルガハキリバチ	<i>Megachile tsurugensis</i>					○	○	○	
		ムナカタハキリバチ	<i>Megachile willughbiella sumizome</i>						○	○	
	ミツバチ	ヤマトキマダラハナバチ	<i>Nomada calloptera</i>					○			
		ウシヅノキマダラハナバチ	<i>Nomada comparata</i>							○	
		ギンランキマダラハナバチ	<i>Nomada ginran</i>						○	○	
		ハリマキマダラハナバチ	<i>Nomada harimensis</i>							○	
		ダイミウキマダラハナバチ	<i>Nomada japonica</i>			○			○	○	
		ナシモンキマダラハナバチ	<i>Nomada pyrifera</i>						○	○	
		ニッポンヒゲナガハナバチ	<i>Eucera nipponensis</i>				○	○	○	○	
		シロスジヒゲナガハナバチ	<i>Eucera spurcatipes</i>			○		○	○	○	
		シロスジフトハナバチ	<i>Amegilla quadrifasciata</i>						○		
		ナミルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i>						○		
		キオビツヤハナバチ	<i>Ceratina flavipes</i>						○		
		ヤマトツヤハナバチ	<i>Ceratina japonica</i>							○	
		キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>					○	○		
		トラマルハナバチ	<i>Bombus diversus diversus</i>				○	○	○		
		コマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>							○	人為移入
		ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>			○	○	○	○	○	
		セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
ノミ	ヒトノミ	ネコノミ	<i>Ctenocephalides felis felis</i>	○	○	○	○	○			
ハエ	ヒメガガンボ	マダラヒメガガンボ	<i>Metalimnobia quadrimaculata</i>						○		
		オオキマダラヒメガガンボ	<i>Epiphragma subfascipenne</i>					○			

資料6 昆虫類の年次別確認状況(18/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		キバラガガンボ	<i>Eutonia satsuma</i>						○		
シリブトガガンボ	シリブトガガンボ		<i>Cylindrotoma japonica</i>	○							
ガガンボ	ベッコウガガンボ		<i>Dicentidia pictipennis pictipennis</i>					○	○	○	
	ホリカワクシヒゲガガンボ		<i>Pselliophora bifascipennis</i>						○	○	
	キゴシガガンボ		<i>Leptotarsus pulverosus</i>							○	
	キイロホソガガンボ		<i>Nephrotoma virgata</i>			○	○	○	○	○	
	マエキガガンボ		<i>Indotipula yamata yamata</i>							○	
	キリウジガガンボ		<i>Tipula aino</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	マダラガガンボ		<i>Tipula coquilletti</i>			○	○	○	○	○	
	マドガガンボ		<i>Tipula nova</i>					○			
	ヤチノコギリガガンボ		<i>Tipula serricauda</i>	○					○	○	
	ジェーンアシワガガンボ		<i>Tipulodina joana</i>							○	
ケバエ	メスアカケバエ		<i>Bibio japonica</i>	○				○	○	○	
	ニセアシブトケバエ		<i>Bibio pseudoclavipes</i>						○		
	ハグロケバエ		<i>Bibio tenebrosus</i>				○	○	○	○	
トゲナシケバエ	ヒメセアカケバエ		<i>Penthetria japonica</i>					○	○		
	クロトゲナシケバエ		<i>Plecia adistola</i>						○	○	
クロバネキノコバエ	セアカキノコバエ		<i>Sciarobezzia thoracica</i>					○	○		
チョウバエ	クロハネピロチョウバエ		<i>Brunettia spinistoma</i>							○	
	オオクチョウバエ		<i>Clogmia albipunctata</i>	○	○	○				○	外来
	ホシチョウバエ		<i>Tinearia alternata</i>	○	○	○				○	外来
ニセケバエ	ナガサキニセケバエ		<i>Coboldia fuscipes</i>	○							外来
カ	トウゴウヤブカ		<i>Aedes (Finlaya) togoi</i>						○		
	ヒトスジシマカ		<i>Aedes (Stegomyia) albopictus</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
	オオクロヤブカ		<i>Armigeres (Armigeres) subalbatus</i>		○						
	アカイエカ		<i>Culex (Culex) pipiens pallens</i>	○	○	○		○		○	
	コガタアカイエカ		<i>Culex (Culex) tritaeniorhynchus</i>	○							
ユスリカ	アカムシユスリカ		<i>Prosilocerus akamusi</i>						○		
	オオユスリカ		<i>Chironomus plumosus</i>	○	○	○		○	○	○	
	セスジユスリカ		<i>Chironomus yoshimatsui</i>	○	○	○	○	○	○	○	
ミズアブ	コウカアブ		<i>Ptecticus tenebrifer</i>	○				○	○		
	アメリカミズアブ		<i>Hermetia illucens</i>		○	○	○	○	○	○	外来
	ネグロミズアブ		<i>Craspedometopon frontale</i>					○	○		
ツリアブ	コウヤツリアブ		<i>Anthrax aygulus</i>	○					○	○	
	ピロウドツリアブ		<i>Bombylius major</i>	○	○		○	○	○	○	
	クロバネツリアブ		<i>Ligyra tantalus</i>					○	○	○	
ムシヒキアブ	ハラボソムシヒキ		<i>Dioctria nakanensis</i>	○				○			
	アオメアブ		<i>Cophinopoda chinensis</i>		○		○	○	○	○	
	シオヤアブ		<i>Promachus yesonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	トラフムシヒキ		<i>Astochia virgatipes</i>		○	○		○			
	ナミマギリケムシヒキ		<i>Neoitamus angusticornis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	シロズヒメムシヒキ		<i>Philonicus albiceps</i>					○	○	○	
	ヒサマツムシヒキ		<i>Tolmerus hisamatsui</i>							○	
	サキグロムシヒキ		<i>Machimus scutellaris</i>					○	○	○	
アシナガバエ	マダラホソアシナガバエ		<i>Condylostylus nebulosus</i>				○	○	○	○	
	アシナガキンバエ		<i>Dolichopus nitidus</i>					○	○		
ハナアブ	クロヒラタアブ		<i>Betasyrphus serarius</i>					○	○	○	
	フタスジヒラタアブ		<i>Dasysyrphus bilineatus</i>		○			○		○	
	ヘリヒラタアブ		<i>Didea alneti</i>					○	○		
	マルヒラタアブ		<i>Didea fasciata</i>						○	○	
	ヨコジマオオヒラタアブ		<i>Dideoides latus</i>					○	○	○	
	ホソヒラタアブ		<i>Episyrphus balteatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒメホソヒラタアブ		<i>Melangyna (Meligramma) cingulata</i>						○		
	カオグロオビホソヒラタアブ		<i>Meliscaeva omogensis</i>						○		
	フタホシヒラタアブ		<i>Eupeodes corollae</i>	○				○	○	○	
	ナミホシヒラタアブ		<i>Eupeodes bucculatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	コマバムツホシヒラタアブ		<i>Scaeva komabensis</i>					○	○	○	
	ミナミヒメヒラタアブ		<i>Sphaerophoria indiana</i>							○	
	ホソヒメヒラタアブ		<i>Sphaerophoria macrogaster</i>						○	○	
	キタヒメヒラタアブ		<i>Sphaerophoria philanthus</i>			○	○	○	○		
	キイロナミホシヒラタアブ		<i>Syrphus vitripennis</i>	○					○		
	ヤマトヒラタアブ		<i>Syrphus yamatonis</i>				○	○	○	○	
	ツマグロコシボソハナアブ		<i>Allobaccha apicalis</i>					○			
	ナカグロコシボソハナアブ		<i>Episyrphus nubilipennis</i>					○			
	マダラコシボソハナアブ		<i>Baccha maculata</i>						○		
	ホソツヤヒラタアブ		<i>Melanostoma mellinum</i>						○		
	ホシツヤヒラタアブ		<i>Melanostoma scalare</i>	○							
	フタモンヒラアシヒラタアブ		<i>Platycheirus rosarum</i>							○	
	キアシマヒラタアブ		<i>Paragus haemorrhous</i>					○			
	クロベッコウハナアブ		<i>Volucella nigricans</i>						○		
	シロスジベッコウハナアブ		<i>Volucella pellucens tabanoides</i>				○				
	セイヨウハイジマハナアブ		<i>Eumerus strigatus</i>					○	○		

資料6 昆虫類の年次別確認状況(19/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		スイセンハナアブ	<i>Merodon equestris</i>					○	○	○	外来
		ハチモドキハナアブ	<i>Monoceromyia pleuralis</i>						○	○	
		キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>					○	○	○	
		クロハナアブ	<i>Eristalis (Eoseristalis) japonica</i>					○			
		シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>		○	○	○	○	○	○	
		ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アシブトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		タカサゴハラブトハナアブ	<i>Mallota takasagensis</i>							○	
		シマアシブトハナアブ	<i>Mesembrius peregrinus</i>						○	○	
		オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>	○		○	○	○	○	○	
		クロハラナガハナアブ	<i>Chalcosyrphus longus</i>						○		
	ナガズヤセバエ	モンキアシナガヤセバエ	<i>Nerius femoratus</i>		○						
	メバエ	ムネグロメバエ	<i>Conops (Asiconops) opimus</i>							○	
		オオマエグロメバエ	<i>Physocephala obscura</i>						○		
		チャイロフタオレメバエ	<i>Sicus abdominalis</i>					○			
	ミバエ	ウリミバエ	<i>Bactrocera cucurbitae</i>				○				外来
		カボチャミバエ	<i>Bactrocera depressus</i>				○	○			
		ミスジミバエ	<i>Bactrocera scutellata</i>		○			○	○	○	
		クロホソスジハマダラミバエ	<i>Philophylla fossata</i>						○	○	
		ハルササハマダラミバエ	<i>Paragastrozona japonica</i>					○	○		
		ムラクモハマダラミバエ	<i>Staurella nigrescens</i>						○		
		フトハチモドキバエ	<i>Eupygota fusca</i>						○		
	デガシラバエ	ミツモンハチモドキバエ	<i>Porpomastix fasciolata</i>					○	○		
		ベッコウバエ	<i>Dryomyza formosa</i>					○	○	○	
	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>			○		○		○	
	ツヤホソバエ	ヒトデシツヤホソバエ	<i>Sepsis monostigma</i>			○		○	○	○	
	ハモグリバエ	ヨモギハモグリバエ	<i>Calycomyza artemisiae</i>	○				○			
		カトウハモグリバエ	<i>Liriomyza katoi</i>	○							
		ナモグリバエ	<i>Chromatomyia horticola</i>		○	○	○	○	○	○	
	トゲハネバエ	センチトゲハネバエ	<i>Orbellia tokyoensis</i>	○							
	ショウジョウバエ	キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>		○	○		○	○	○	外来
	フンバエ	キアシフンバエ	<i>Scopeuma mellipes</i>						○	○	
		ヒメフンバエ	<i>Scathophaga stercoraria</i>			○		○	○	○	
	ヒメイエバエ	ヒメイエバエ	<i>Fannia canicularis</i>	○					○		外来
	イエバエ	オオイエバエ	<i>Muscina stabulans</i>					○	○		
		ヒメクロバエ	<i>Hydrotaea ignava</i>	○			○				
		イエバエ	<i>Musca domestica</i>	○		○		○			
		ミドリイエバエ	<i>Neomyia timorensis</i>							○	
		セマダライエバエ	<i>Graphomyia maculata</i>					○	○	○	
	クロバエ	ケブカクロバエ	<i>Aldrichina grahami</i>		○	○	○	○	○		
		オオクロバエ	<i>Calliphora nigribarbis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		トウキョウキンバエ	<i>Hemipyrellia ligurriens</i>				○				
		キンバエ	<i>Lucilia caesar</i>	○		○	○	○	○	○	
		ミドリキンバエ	<i>Lucilia illustris</i>		○					○	
		ヒロズキンバエ	<i>Lucilia sericata</i>			○	○		○		
		クロキンバエ	<i>Phormia regina</i>							○	外来
		オビキンバエ	<i>Chrysomya megacephala</i>					○	○	○	
		ツマクロキンバエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>					○	○	○	
	ニクバエ	ゲンロクニクバエ	<i>Sarcophaga albiceps</i>						○		
		センチニクバエ	<i>Sarcophaga peregrina</i>		○	○	○	○	○	○	
		ナニクバエ	<i>Sarcophaga similis</i>		○	○	○	○	○	○	
	ヤドリバエ	ブランコヤドリバエ	<i>Exorista japonica</i>					○	○	○	
		ノコギリハリバエ	<i>Comptosia concinnata</i>	○				○	○		
		キナコハリバエ	<i>Senometopia excisa</i>						○		
		カイコノウジバエ	<i>Blepharipa zebina</i>					○		○	
		セスジハリバエ	<i>Tachina (Eudoromyia) nupta</i>						○		
		ヨコジマオオハリバエ	<i>Tachina (Servillia) jakovlevi</i>			○		○	○	○	
		アシナガハリバエ	<i>Thelaira nigripes</i>						○		
		マルボシヒラタハナバエ	<i>Gymnosoma rotundata</i>								
		アカヒョウタンハリバエ	<i>Cylindromyia (Cylindromyia) brassicaria</i>						○		
トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>							○	
	シマトビケラ	ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>							○	
		セリーシマトビケラ	<i>Hydropsyche selysi</i>							○	
	マルバネトビケラ	シロフマルバネトビケラ	<i>Phryganopsyche brunnea</i>							○	
	ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>		○					○	
	ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	<i>Mystacides azureus</i>							○	
チョウ	ヒゲナガガ	ウススキヒゲナガ	<i>Nematopogon distinctus</i>					○	○	○	
		ケブカヒゲナガ	<i>Adela praepliosa</i>				○	○			
		クロハネシロヒゲナガ	<i>Nemophora albiannellina</i>					○	○	○	
		キオビクロヒゲナガ	<i>Nemophora umbripennis</i>				○		○		
		ホソオビヒゲナガ	<i>Nemophora aurifera</i>					○	○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(20/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
	ヒロズコガ	コクガ	<i>Nemapogon granella</i>			○					外来
		マダラマルハヒロズコガ	<i>Ippa conspersa</i>					○	○	○	
		コイガ	<i>Tineola bisselliella</i>				○				外来
		イガ	<i>Tinea translucens</i>	○		○					外来
	ミノガ	オオミノガ	<i>Eumeta variegata japonica</i>		○	○		○	○	○	
		チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>					○		○	
		ニトベミノガ	<i>Mahasena aurea</i>							○	
		クロツヤミノガ	<i>Bambalina sp.</i>		○	○	○		○	○	
	スガ	ペンケイソウスガ	<i>Yponomeuta sedella</i>			○					
	コナガ	コナガ	<i>Plutella xylostella</i>			○		○	○	○	
	ヒロバキバガ	ツガヒロバキバガ	<i>Metathrinca tsugensis</i>			○					
	キヌバコガ	ヨツモンキヌバコガ	<i>Scythris sinensis</i>						○		
	マルハキバガ	クロモンベニマルハキバガ	<i>Schiffermuelleria imogena</i>					○	○		
		シロスジベニマルハキバガ	<i>Promalactis enopisema</i>					○	○		
	ヒゲナガキバガ	ゴマフシロハビロキバガ	<i>Scythriopodes leucostola</i>							○	
		キベリハイヒゲナガキバガ	<i>Homaloxestis myeloxesta</i>							○	
		カクバネヒゲナガキバガ	<i>Lecitholaxa thiodora</i>					○	○		
	ニセマイコガ	キイロマイコガ	<i>Stathmopoda auriferella</i>					○			
		ミツボシキバガ	<i>Autosticha modicella</i>					○	○		
		ネズミエグリヒラタマルハキバガ	<i>Acraia ceramitis</i>					○			
	カザリバガ	セジロトガリホソガ	<i>Labdia issikii</i>			○					
	キバガ	ソバカスキバガ	<i>Gelechia acanthopis</i>							○	
		イモキバガ	<i>Helcystogramma triannulellum</i>					○			
	セミヤドリガ	セミヤドリガ	<i>Epipomponia nawai</i>			○	○		○	○	
	イラガ	ナシイラガ	<i>Narosioideus flavidorsalis</i>			○					
		ヒメクロイラガ	<i>Scopelodes contracta</i>		○	○		○	○	○	
		イラガ	<i>Monema flavescens</i>		○	○	○	○	○	○	
		テングイラガ	<i>Microleon longipalpis</i>							○	
		アカイラガ	<i>Phrixolepia sericea</i>			○					
		クロシタアオイラガ	<i>Parasa hilarula</i>		○	○					
		ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida lepida</i>						○	○	外来
		アオイラガ	<i>Parasa consocia</i>						○		
	マダラガ	タケノホシクロバ	<i>Fuscartona martini</i>		○	○	○	○	○	○	外来
		ウメスカシクロバ	<i>Illiberis rotundata</i>						○	○	
		リンゴハマキクロバ	<i>Illiberis pruni</i>							○	
		ブドウスカシクロバ	<i>Hedina tenuis</i>			○			○	○	
		ホタルガ	<i>Pidorus atratus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ミノウスバ	<i>Pryeria sinica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	スカシバガ	コシアカスカシバ	<i>Scasiba scribai</i>							○	
		オオモモトスカシバ	<i>Melittia sangaica nipponica</i>				○	○	○	○	
		モモトスカシバ	<i>Macroscelesia japonica</i>					○			
		コスカシバ	<i>Synanthedon hector</i>			○	○	○	○	○	
		ヒメコスカシバ	<i>Synanthedon tenuis</i>						○		
	ハマキガ	ネグロハマキ	<i>Acleris nigriradix</i>				○				
		ブライヤハマキ	<i>Acleris affinatana</i>							○	
		ナカジロハマキ	<i>Acleris japonica</i>							○	
		マツアトキハマキ	<i>Archips oporana</i>		○	○					
		ミダレカクモンハマキ	<i>Archips fuscocupreana</i>					○	○	○	
		チャハマキ	<i>Homona magnanima</i>		○	○		○			
		オオギンスジハマキ	<i>Ptycholoma lechaeum</i>					○	○		
		コホソスジハマキ	<i>Neocalyptis angustilineata</i>					○	○		
		トビモシコハマキ	<i>Neocalyptis congruentana</i>							○	
		リンゴコクモンハマキ	<i>Adoxophyes orana</i>			○					
		ビロードハマキ	<i>Cerace xanthocosma</i>						○	○	
		ヘリオビヒメハマキ	<i>Cryptasasma marginifasciata</i>					○			
		クロサンカクモンヒメハマキ	<i>Cryptasasma trigonana</i>						○	○	
		イグサヒメハマキ	<i>Bactra fufurana</i>					○	○		
		スネブトヒメハマキ	<i>Phaecedaphora fimbriata</i>							○	
		クロテンツマキヒメハマキ	<i>Metendothenia atropunctana</i>							○	
		ナカオビナミスジキヒメハマキ	<i>Pseudohedya gradana</i>			○					
		クローバヒメハマキ	<i>Olethreutes doubledayanus</i>							○	
		ニセコシワヒメハマキ	<i>Neonathamna nipponica</i>					○			
		モッコクヒメハマキ	<i>Eucoenogenes ancyrota</i>						○		
		ニレコヒメハマキ	<i>Epinotia ulmicola</i>							○	
		マツズアカシムシ	<i>Retinia cristata</i>			○					
		バラシロヒメハマキ	<i>Notocelia rosaecolana</i>						○	○	
		クロネハイロヒメハマキ	<i>Rhopobota naevana</i>				○		○	○	
		ヨツズジヒメシクイ	<i>Grapholita delineaana</i>					○	○		
		ナシヒメシクイ	<i>Grapholita molesta</i>	○		○					外来
		サンカクモンヒメハマキ	<i>Cydia glandicolana</i>						○	○	
	ハマキモドキガ	コウゾハマキモドキ	<i>Choreutis hyligenes</i>						○	○	
		イヌビワハマキモドキ	<i>Choreutis japonica</i>						○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(21/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ゴボウハマキモドキ	<i>Tebenna micalis</i>							○	
トリバガ		ブドウトリバ	<i>Nippoptilia vitis</i>		○	○		○	○	○	
		ナカノホソトリバ	<i>Fuscotilla emarginata</i>							○	
		ヒルガオトリバ	<i>Emmeline argoteles</i>					○	○	○	
シンクイガ		モモシンクイガ	<i>Carposina sasakii</i>				○				
マドガ		マドガ	<i>Thyris usitata</i>			○	○	○	○		
		ヒメマダラマドガ	<i>Rhodoneura hyphaema</i>					○			
メイガ		トビイロシマメイガ	<i>Hypsopygia regina</i>		○	○		○		○	
		ウスムラサキシマメイガ	<i>Hypsopygia postflava</i>						○		
		アカシマメイガ	<i>Herculia pelagalis</i>		○	○					
		フタスジシマメイガ	<i>Orthopygia glaucinalis</i>			○			○	○	
		カシノシマメイガ	<i>Pyrallis farinalis</i>			○					外来
		ウスベニトガリメイガ	<i>Endotricha olivacealis</i>					○	○	○	
		カバイロトガリメイガ	<i>Endotricha theonalis</i>			○			○	○	
		ナカアオフトメイガ	<i>Salma elegans</i>					○	○	○	
		トビマダラメイガ	<i>Kaurava ardentella</i>				○				
		ウスアカムラサキマダラメイガ	<i>Addyme confusalis</i>			○					
		ヒメアカマダラメイガ	<i>Sciota adelphella</i>							○	
		アカマダラメイガ	<i>Oncocera semirubella</i>		○				○	○	
		ノシメダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i>			○			○		外来
ツトガ		シロツトガ	<i>Calamotropa paludella purella</i>						○		
		サツマツトガ	<i>Calamotropa okanoi</i>						○		
		シロスジツトガ	<i>Crambus argyrophorus</i>		○				○	○	
		シバツトガ	<i>Parapediasia teterella</i>			○		○	○	○	外来
		ツトガ	<i>Ancylolomia japonica</i>		○	○			○	○	
		ホソハヤマメイガ	<i>Scoparia congestalis</i>					○			
		カニクサシメガ	<i>Neomusotima fuscolinealis</i>							○	
		フタオビモンメイガ	<i>Trichophyesis cretacea</i>					○			
		ハイマダラノメイガ	<i>Hellula undalis</i>							○	
		マエキシタグロノメイガ	<i>Sitochroa umbrosalis</i>		○	○					
		タデシマノメイガ	<i>Sclerocona acutella</i>		○	○					
		キムジノメイガ	<i>Prodasynemesis inornata</i>			○		○	○	○	
		マエベニノメイガ	<i>Paliga minnehaha</i>		○	○					
		ヘリジロキンノメイガ	<i>Paliga auratalis</i>		○	○					
		トガリキノメイガ	<i>Demobotrys pervalgalis pervalgalis</i>							○	
		ウドノメイガ	<i>Udonomeiga vicinalis</i>		○	○					
		ベニフキノメイガ	<i>Pyrausta panopealis</i>			○	○				
		ヒメトガリノメイガ	<i>Anania verbascalis</i>						○	○	
		ウスジロキノメイガ	<i>Ostrinia latipennis</i>						○	○	
		アワノメイガ	<i>Ostrinia furnacalis</i>		○	○	○		○	○	
		フキノメイガ	<i>Ostrinia zaguliaevi</i>			○				○	
		コガタシロモンノメイガ	<i>Pileocera sodalis</i>					○			
		ヒメハナダカノメイガ	<i>Camptomastix septentrionalis</i>							○	
		ミツテンノメイガ	<i>Mabura charonialis</i>		○	○		○	○	○	
		ゴマダラノメイガ	<i>Pycnamon lactiferalis</i>					○			
		シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>		○	○	○	○	○	○	
		ヨスジノメイガ	<i>Pagyda quadrilineata</i>			○		○	○	○	
		コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>		○	○			○	○	
		シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>						○	○	
		シロデシキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>							○	
		ヒメクロミスジノメイガ	<i>Omiodes miseris</i>			○					
		オオキノメイガ	<i>Botyodes principalis</i>						○	○	
		タイワンウスキノメイガ	<i>Botyodes diniasalis</i>					○			
		ウスイロキンノメイガ	<i>Pleuroptya punctimarginalis</i>						○		
		ホソミスジノメイガ	<i>Pleuroptya chlorophanta</i>						○	○	
		ワタノメイガ	<i>Haritalodes derogatus</i>		○	○				○	
		モモノゴマダラノメイガ	<i>Conogethes punctiferalis</i>						○	○	
		オオツチイロノメイガ	<i>Syllepte fuscoinvalidalis</i>							○	
		ウスグロヨツモンノメイガ	<i>Lygropia yerburii nipponica</i>			○					
		マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>		○	○		○	○	○	
		ワタヘリクロノメイガ	<i>Diaphania indica</i>						○	○	
		ツゲノメイガ	<i>Cydalima perspectalis</i>	○	○	○			○	○	
		マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>		○	○		○	○	○	
		ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>						○	○	
		シロデウスグロノメイガ	<i>Bradina atopalis erectalis</i>		○	○					
		アカウスグロノメイガ	<i>Bradina angustalis pryori</i>						○	○	
		モンウスグロノメイガ	<i>Bradina geminalis</i>			○					
		マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rude</i>		○	○		○			
		ヘリグロノメイガ	<i>Herpetogramma cynarale</i>		○						
		モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosale zelleri</i>	○		○		○	○	○	
		シロアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia reticularis</i>			○					
		キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>			○					

資料6 昆虫類の年次別確認状況(22/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
セセリチョウ		クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>			○		○	○	○	
		アオバセセリ	<i>Chaospes benjaminii japonicus</i>						○	○	偶産
		ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys tethys</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コチャバネセセリ	<i>Thoressa varia</i>	○	○						
		キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus flavus</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>	○	○	○	○				
		チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>			○	○	○	○	○	
		イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アゲハチョウ	<i>Sericanus montela</i>						○		外来
		ジャコウアゲハ	<i>Atrophaneura alcinous alcinous</i>		○	○	○	○	○	○	
		カラスアゲハ	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>		○	○	○	○	○	○	
		キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon thunbergii</i>					○	○	○	
		クロアゲハ	<i>Papilio protenor demetrius</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		シロチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>							○	偶産
		キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		モンキチョウ	<i>Colias erate poliographa</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus scolymus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○	○	○	○	○	○	○	外来
		シジミチョウ	<i>Taraka hamada hamada</i>	○	○	○				○	偶産
		ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ムラサキツバメ	<i>Arhopala bazalus turbata</i>					○	○	○	
		ムラサキシジミ	<i>Arhopala japonica</i>			○	○	○	○	○	
		ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia attilia</i>	○	○		○	○	○	○	
		アカシジミ	<i>Japonica lutea lutea</i>				○	○	○	○	
		ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata saepestriata</i>							○	偶産
		オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i>							○	偶産
		トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>	○	○	○		○	○	○	
		ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヤマトシジミ	<i>Zizeeria maha argia</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ツバメシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		タテハチョウ	<i>Libythea lepita celtoides</i>	○	○	○	○	○	○	○	偶産
		アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>			○		○	○	○	偶産
		オオウラギンシジミ	<i>Argyrogonome ruslana</i>			○					偶産
		ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimana</i>	○		○	○	○	○	○	偶産
		クモガタヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene ella</i>				○	○			偶産
		ウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana adippe pallescens</i>			○		○			偶産
		ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>					○	○	○	
		イチモンジチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>			○		○			偶産
		ミスジチョウ	<i>Neptis philyra philyra</i>								人為移入
		ホシミスジ	<i>Neptis pryori hamadai</i>					○		○	人為移入
		コミスジ	<i>Neptis sappho intermedia</i>	○	○	○		○	○	○	
		キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas japonica</i>	○			○	○	○	○	偶産
		ルリタテハ	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>					○	○	○	
		アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis assimilis</i>						○	○	外来
		ゴマダラチョウ	<i>Hestina persimilis japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		オオムラサキ	<i>Susakia charonda charonda</i>	○							人為移入
		ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus argus</i>	○	○	○		○	○	○	
		ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>					○			人為移入
		ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>					○			人為移入
		ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウスイロコノマチョウ	<i>Melanitis leda leda</i>					○	○	○	偶産
		クロコノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>				○	○	○	○	
カギバガ		マンレイカギバ	<i>Microblepsis manleyi manleyi</i>				○				
		ヤマトカギバ	<i>Nordstromia japonica</i>						○	○	
		フタデンシロカギバ	<i>Ditrigona virgo</i>					○	○		
		スカシカギバ	<i>Macrauzata maxima</i>						○		
		マユミトガリバ	<i>Neoploca arctipennis</i>						○	○	
アゲハモドキガ シャクガ		アゲハモドキ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>						○		
		ヒメマダラエダシャク	<i>Abraxas nipponibia</i>			○					

資料6 昆虫類の年次別確認状況(23/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ユウマダラエダシヤク	<i>Abxas miranda miranda</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		サザナミオビエダシヤク	<i>Heterostegane hyriaria</i>		○	○		○	○		
		ウチムラサキヒメエダシヤク	<i>Ninodes splendens</i>		○	○					
		ウスアオエダシヤク	<i>Parabapta clarissa</i>						○		
		マエキオエダシヤク	<i>Plesiomorpha flaviceps</i>						○	○	
		モンオビオエダシヤク	<i>Plesiomorpha punctilinearia</i>						○	○	
		ハグルマエダシヤク	<i>Synegia hadassa hadassa</i>		○	○				○	
		クロハグルマエダシヤク	<i>Synegia esther</i>		○	○		○	○		
		フタデンオエダシヤク	<i>Chiasmia defixaria</i>	○		○		○	○	○	
		ウスオエダシヤク	<i>Chiasmia hebesata</i>						○	○	
		シャンハイオエダシヤク	<i>Macaria shanghaiaria</i>		○	○					
		ツマジロエダシヤク	<i>Krananda latimarginaria</i>			○		○	○	○	
		ウメエダシヤク	<i>Cystidia couaggaria couaggaria</i>	○	○	○		○	○	○	
		ヒロオビトンボエダシヤク	<i>Cystidia truncangulata</i>		○	○			○		
		フタヤマエダシヤク	<i>Rikiosatoa grisea</i>						○	○	
		クロクモエダシヤク	<i>Apocleora rimosa</i>							○	
		シロテンエダシヤク	<i>Cleora leucophaea leucophaea</i>							○	
		ヨモギエダシヤク	<i>Ascotis selenaria cretacea</i>		○	○		○	○	○	
		オオトビスジエダシヤク	<i>Ectropis excellens</i>							○	
		フトオビエダシヤク	<i>Hypomecis crassestrigata</i>							○	
		ウスバミスジエダシヤク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>					○	○	○	
		ハミスジエダシヤク	<i>Hypomecis roboraria displicens</i>							○	
		コヨツメエダシヤク	<i>Ophthalmitis irrorataria</i>			○					
		ヒロバフユエダシヤク	<i>Larerrannis miracula</i>						○	○	
		ナカジマフユエダシヤク	<i>Larerrannis nakajimai</i>					○			
		シロフユエダシヤク	<i>Agriopsis dira</i>					○	○	○	
		クロスジフユエダシヤク	<i>Pachyverannis obliquaria</i>					○	○	○	
		チャバネフユエダシヤク	<i>Erannis golda</i>							○	
		シモフリゲエダシヤク	<i>Phigalia sinuosaria</i>					○		○	
		シロトゲエダシヤク	<i>Phigalia verecundaria</i>							○	
		オカモトゲエダシヤク	<i>Apochima juglansaria</i>					○	○	○	
		チャエダシヤク	<i>Megabiston plumosaria</i>					○	○	○	
		トビモンシオエダシヤク	<i>Biston robustum robustum</i>						○	○	
		ハスオビエダシヤク	<i>Descoreba simplex</i>					○		○	
		ニトベエダシヤク	<i>Wilemania nitobei</i>						○	○	
		アトジロエダシヤク	<i>Pachyligia dolosa</i>					○	○	○	
		ツマトビキエダシヤク	<i>Bizia aexaria</i>				○				
		クワエダシヤク	<i>Phthonandria atrilineata atrilineata</i>			○					
		マエキトビエダシヤク	<i>Nothomiza formosa</i>		○	○		○	○		
		エグリツマエダシヤク	<i>Odontopera arida arida</i>					○			
		ツマキウスキエダシヤク	<i>Pareclipsis gracilis</i>							○	
		ウラベニエダシヤク	<i>Heterolocha aristonaria</i>			○					
		ウスキツバメエダシヤク	<i>Ourapteryx nivea</i>		○	○		○		○	
		クロバネフユシヤク	<i>Alsophila foedata</i>		○				○	○	
		シロオビフユシヤク	<i>Alsophila japonensis</i>		○			○	○	○	
		スジモンフユシヤク	<i>Alsophiloides acroama</i>		○						
		ウスバフユシヤク	<i>Inurois fletcheri</i>		○			○	○	○	
		ウスモンフユシヤク	<i>Inurois fumosa</i>							○	
		クロテンフユシヤク	<i>Inurois membranaria</i>					○	○	○	
		ホソウスバフユシヤク	<i>Inurois tenuis</i>							○	
		ウスアオシヤク	<i>Dindica virescens</i>					○			
		カギバアオシヤク	<i>Tanaorhinus reciprocata confuciaría</i>			○					
		カギシロスジアオシヤク	<i>Geometra dieckmanni</i>					○			
		クスアオシヤク	<i>Pelagodes subquadraria</i>					○			
		ナミガタウスキアオシヤク	<i>Jodis lactearia</i>			○					
		ヒメウスアオシヤク	<i>Jodis putata</i>					○			
		ウスキヒメアオシヤク	<i>Jodis urosticta</i>							○	
		ヒロバツバメアオシヤク	<i>Maxates illitirata</i>						○		
		ヒメツバメアオシヤク	<i>Maxates protrusa</i>							○	
		キバラヒメアオシヤク	<i>Hemithea aestivaria</i>	○	○	○					
		ヘリグロヒメアオシヤク	<i>Hemithea tritonaria</i>							○	
		ナミスジアオシヤク	<i>Idiochlora ussuriaria</i>			○					
		コヨツメアオシヤク	<i>Comostola subtilaria nympha</i>							○	
		フタナミトビヒメシヤク	<i>Pylargosceles steganioides steganioides</i>		○	○			○	○	
		フトベニスジヒメシヤク	<i>Timandra apicirosea</i>							○	
		コベニスジヒメシヤク	<i>Timandra comptaria</i>					○			
		ウスベニスジヒメシヤク	<i>Timandra dichela</i>			○					
		ベニスジヒメシヤク	<i>Timandra reompta prouti</i>			○			○	○	
		ギンバネヒメシヤク	<i>Scopula epiorrhoe</i>						○	○	
		ウスキクロテンヒメシヤク	<i>Scopula ignobilis</i>		○	○				○	
		モントビヒメシヤク	<i>Scopula modicaria</i>			○					
		マエキヒメシヤク	<i>Scopula nigropunctata imbella</i>			○	○		○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(24/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		ナミスジチビメシヤク	<i>Scopula personata</i>					○	○	○	
		ウスキヒメシヤク	<i>Idaea biselata</i>							○	
		オオウスモンキヒメシヤク	<i>Idaea imbecilla</i>			○		○			
		オイワケヒメシヤク	<i>Idaea invalida invalida</i>			○				○	
		ミジンキヒメシヤク	<i>Idaea trisetata</i>							○	
		ウスベニスジナミシヤク	<i>Esakiopteryx volitans</i>						○	○	
		アトスジグロナミシヤク	<i>Epilobophora obscuraria</i>		○	○			○	○	
		ウスミドリナミシヤク	<i>Episteira nigrilinearia</i>					○	○	○	
		フタトビスジナミシヤク	<i>Xanthorhoe hortensiararia</i>		○	○			○	○	
		フトジマナミシヤク	<i>Xanthorhoe saturata</i>					○	○	○	
		トビスジヒメナミシヤク	<i>Orthonama obstipata</i>					○	○	○	
		モンキキナミシヤク	<i>Idiotephria amelia</i>							○	
		セスジナミシヤク	<i>Evecliptopera illitata illitata</i>		○	○				○	
		オオハガタナミシヤク	<i>Ecliptopera umbrosaria umbrosaria</i>		○	○					
		ツマキナカジロナミシヤク	<i>Dysstroma citrata nyiwonis</i>		○	○			○		
		シロシタビロナミシヤク	<i>Heterothera postalbida</i>		○	○			○	○	
		ナミスジフユナミシヤク	<i>Operophtera brunnea</i>						○	○	
		イチモジフユナミシヤク	<i>Operophtera rectipostmediana</i>							○	
		クロオビフユナミシヤク	<i>Operophtera relegata</i>						○	○	
		ウスカバナミシヤク	<i>Eupithecia proterva</i>						○		
		ソトカバナミシヤク	<i>Eupithecia signigera</i>							○	
		トシマカバナミシヤク	<i>Eupithecia tenuisquama</i>							○	
		クロフウスアオナミシヤク	<i>Pasiphila chloerata</i>					○			
		ソトシロオビナミシヤク	<i>Pasiphila excisa</i>							○	
カレハガ		タケカレハ	<i>Euthrix albomaculata directa</i>						○		
		ヨシカレハ	<i>Euthrix potatoria bergmani</i>								
		マツカレハ	<i>Dendrolimus spectabilis</i>		○	○		○	○	○	
カイコガ		クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>						○	○	
ヤママユガ		ヤママユ	<i>Antheraea yamamai yamamai</i>					○			偶産
		クスサン	<i>Saturnia japonica japonica</i>		○						偶産
		オオミスアオ	<i>Actias aliena aliena</i>		○	○	○	○	○	○	
スズメガ		エビガラスズメ	<i>Agrius convolvuli</i>		○	○		○		○	
		シモフリスズメ	<i>Psilogramma incerta</i>		○	○	○	○	○	○	
		クロスズメ	<i>Sphinx caliginea caliginea</i>						○	○	
		コエビガラスズメ	<i>Sphinx constricta</i>				○			○	
		サザナミスズメ	<i>Dolbina tancrei</i>		○	○		○	○	○	
		トビイロスズメ	<i>Clanis bilineata tsingtaica</i>			○		○	○		
		モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>		○	○	○	○	○	○	
		クチバスズメ	<i>Marumba sperchius sperchius</i>			○		○	○	○	
		ウチスズメ	<i>Smerinthus planus planus</i>					○	○		
		コウチスズメ	<i>Smerinthus tokyonis</i>					○		○	
		ウンモンズズメ	<i>Callambulyx tatarinovii gabyae</i>		○	○	○	○	○	○	
		オオスカシバ	<i>Cephonodes hylas hylas</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		スキバホウジャク	<i>Hemaris radians</i>				○				
		クルマスズメ	<i>Ampelophaga rubiginosa rubiginosa</i>						○	○	
		ブドウスズメ	<i>Acosmeryx castanea</i>	○		○	○	○	○	○	
		ホシヒメホウジャク	<i>Neogurelca himachala sangaica</i>		○	○	○	○	○	○	
		ヒメクロホウジャク	<i>Macroglossum bombylans</i>	○	○	○		○			
		ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		クロホウジャク	<i>Macroglossum saga</i>		○	○		○			
		ホウジャク	<i>Macroglossum stellatarum</i>	○		○	○	○			
		ベニスズメ	<i>Deilephila elpenor lewisii</i>		○	○		○	○	○	
		コスズメ	<i>Theretra japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		キイロスズメ	<i>Theretra nessus nessus</i>			○	○	○	○	○	
		セスジスズメ	<i>Theretra oldenlandiae oldenlandiae</i>		○	○	○	○	○	○	
		ビロードスズメ	<i>Rhagastis mongoliana</i>			○	○	○			
シャチホコガ		ブライヤエグリシャチホコ	<i>Lophontesia pryeri</i>			○		○	○		
		オオトビモンシャチホコ	<i>Phalerodonta manleyi manleyi</i>					○			
		シャチホコガ	<i>Stauropus fagi persimilis</i>						○	○	
		ツマキシャチホコ	<i>Phalera assimilis assimilis</i>		○	○		○	○	○	
		モンクロシャチホコ	<i>Phalera flavescens</i>		○	○	○	○	○	○	
		キシャチホコ	<i>Cutuza straminea</i>					○		○	
		クビワシャチホコ	<i>Shaka atrovittatus atrovittatus</i>			○	○				
		セダカシャチホコ	<i>Euhamponia cristata</i>				○	○	○	○	
		オオアオシャチホコ	<i>Syntypistis cyanea cyanea</i>							○	
		アオシャチホコ	<i>Syntypistis japonica</i>						○	○	
ドクガ		スギドクガ	<i>Calliteara argentata</i>							○	
		ヒメシロモンドクガ	<i>Orgyia thyellina</i>		○	○		○	○	○	
		キアシドクガ	<i>Ivela auripes</i>							○	
		ウチジロマイマイ	<i>Parocneria furva</i>							○	
		マイマイガ	<i>Lymantria dispar japonica</i>		○	○		○	○	○	
		ドクガ	<i>Artaxa subflava</i>	○	○	○		○			

資料6 昆虫類の年次別確認状況(25/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		キドクガ	<i>Kidokuga piperita</i>					○			
		モンシロドクガ	<i>Sphrageidus similis</i>		○	○	○	○	○	○	
		ゴマフリドクガ	<i>Somena pulverea pulverea</i>					○		○	
		チャドクガ	<i>Arna pseudoconspersa</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	ヒトリガ	ムジホソバ	<i>Eilema deplana paveszens</i>			○			○	○	
		ヤネホソバ	<i>Eilema fuscodorsalis</i>		○	○			○	○	
		キマエホソバ	<i>Eilema japonica japonica</i>					○	○	○	
		キンタホソバ	<i>Eilema vetusta aegrota</i>						○	○	
		ゴマダラベニコケガ	<i>Barsine pulchra</i>				○				
		スジベニコケガ	<i>Barsine striata striata</i>					○	○	○	
		ハガタキコケガ	<i>Mitochrista calamina</i>	○		○			○		
		ヒトリガ	<i>Arctia caja phaeosoma</i>					○			
		アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>	○	○	○	○		○	○	外来
		シロヒトリ	<i>Chionarctia nivea</i>							○	
		キハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma lubricipedium</i>		○	○		○	○	○	
		アカハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma punctarium</i>		○	○			○	○	
		スジモンヒトリ	<i>Spilarctia seriata punctata seriata punctata</i>		○	○		○	○	○	
		オビヒトリ	<i>Spilarctia subcarnea</i>						○		
		アカヒトリ	<i>Lemyra flammeola flammeola</i>					○			
		クワゴマダラヒトリ	<i>Lemyra imparilis</i>		○	○	○	○			
		カノコガ	<i>Amata fortunei fortunei</i>	○	○	○	○	○	○	○	
	コブガ	クロスジコブガ	<i>Meganola fumosa</i>		○	○					
		カマフリンガ	<i>Macrochthonia fervens</i>					○	○	○	
		アカスジアオリンガ	<i>Pseudoips sylpha</i>		○					○	
		ネスジキノカワガ	<i>Garella ruficirra</i>			○		○	○		
		マエキリンガ	<i>Iragaodes nobilis</i>						○	○	
		アカマエアオリンガ	<i>Earias pudicana</i>		○	○					
		ベニモンアオリンガ	<i>Earias roseifera</i>		○	○					
		キノカワガ	<i>Blenina senex</i>					○	○	○	
		リュウキュウキノカワガ	<i>Risoba prominens</i>		○	○					
		デンクロアツバ	<i>Rivula sericealis</i>						○		
	ヤガ	フタデンアツバ	<i>Rivula inconspicua</i>		○	○			○	○	
		マエデンアツバ	<i>Rhesala imparata</i>			○				○	
		アトヘリヒトホシアツバ	<i>Gesonina fallax</i>					○			
		シロズアツバ	<i>Ectogonia butleri</i>			○					
		フタキボシアツバ	<i>Gynaephila maculifera</i>							○	
		シラホシコヤガ	<i>Enispa bimaculata</i>						○	○	
		カバイロシマコヤガ	<i>Corgatha argillacea</i>		○	○					
		クロキシタアツバ	<i>Hypena amica</i>		○	○		○			
		コテングアツバ	<i>Hypena pulverulenta</i>							○	
		ナミデンアツバ	<i>Hypena strigata minna</i>						○	○	
		アオアツバ	<i>Hypena subcyanea</i>					○	○	○	
		タイワンキシタアツバ	<i>Hypena trigonalis</i>		○	○		○	○	○	
		ミツボシツマキリアツバ	<i>Pangrapta vasava</i>							○	
		シロホシクロアツバ	<i>Idia curvipalpis</i>					○	○		
		ソトウスグロアツバ	<i>Hydrillodes lentis</i>			○		○	○	○	
		ニセアカマエアツバ	<i>Simplicia xanthoma</i>							○	
		オオシラナミアツバ	<i>Hipoepa fractalis</i>					○	○		
		カキバトモエ	<i>Hypopyra vespertilio</i>						○	○	
		アケビコノハ	<i>Eudocima tyrannus</i>				○	○	○	○	
		ムーアキシタクチバ	<i>Hypocala deflorata deflorata</i>						○		
		ワタアカキリバ	<i>Cosmophila flava flava</i>							○	
		アカキリバ	<i>Gonitis mesogona</i>							○	
		オオアカキリバ	<i>Rusicada privata</i>	○		○	○				
		コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>						○	○	
		ベニシタバ	<i>Catocala electa zalmunna</i>	○							
		アミメキシタバ	<i>Catocala hyperconnexa</i>							○	
		キンタバ	<i>Catocala patala</i>							○	
		ホソオビアシブトクチバ	<i>Parallelia arctotaenia</i>		○	○			○	○	
		アシブトクチバ	<i>Parallelia stuposa</i>						○		
		ナカグロクチバ	<i>Grammodes geometrica</i>						○		
		オオウンモンクチバ	<i>Mocis undata</i>			○		○	○	○	
		ウンモンクチバ	<i>Mocis annetta</i>					○			
		ムクゲコノハ	<i>Thyas junio</i>	○	○	○		○	○	○	
		ハガタクチバ	<i>Daddala lucilla</i>							○	
		フサヤガ	<i>Eutelia geyeri</i>		○	○		○		○	
		キクキンウワバ	<i>Thysanoplusia intermixta</i>		○	○	○		○	○	
		イラクサギンウワバ	<i>Trichoplusia ni</i>							○	
		エゾギクキンウワバ	<i>Ctenoplusia albostrata</i>			○			○	○	
		ミツモンキンウワバ	<i>Acanthoplusia agnata</i>			○		○	○		
		イチジクキンウワバ	<i>Chrysodeixis eriosoma</i>					○		○	
		ウリキンウワバ	<i>Anadevidia peponis</i>			○			○	○	

資料6 昆虫類の年次別確認状況(26/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		セアカキンウワバ	<i>Erythroplusia pyropia</i>							○	
		ギンスジキンウワバ	<i>Erythroplusia rutilifrons</i>							○	
		ワイギンモンウワバ	<i>Sclerogenia jessica</i>		○	○					
		タマナギンウワバ	<i>Autographa nigrisigna</i>					○			
		イネキンウワバ	<i>Plusia festucae</i>		○	○					
		ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>			○			○	○	
		ニセシロコヤガ	<i>Sugia erastroides</i>			○					
		フタトガリアオイガ	<i>Xanthodes transversa</i>			○			○	○	
		ナカジロシタバ	<i>Aedia leucomelas</i>		○	○					
		フクラスズメ	<i>Arcte coerula</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		ウスベリケンモン	<i>Anacronicta nitida</i>					○			
		サクラケンモン	<i>Acronicta adaucta</i>							○	
		リンゴケンモン	<i>Acronicta intermedia</i>			○					
		オオケンモン	<i>Acronicta major</i>							○	
		アサケンモン	<i>Acronicta pruinosa</i>							○	
		ナシケンモン	<i>Acronicta rumicis</i>			○		○	○	○	
		シマケンモン	<i>Craniophora fasciata</i>		○	○				○	
		トラガ	<i>Chelonomorpha japana japana</i>						○		
		トビイロトラガ	<i>Sarbanissa subflava</i>		○	○	○		○	○	
		ホソバセダカモクメ	<i>Cucullia pustulata fraterna</i>					○			
		オオウスツマカラスヨトウ	<i>Amphipyra erebina</i>							○	
		ナンカイカラスヨトウ	<i>Amphipyra horiei</i>							○	
		カラスヨトウ	<i>Amphipyra livida corvina</i>			○	○				
		オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>	○	○	○		○	○	○	
		オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera armigera</i>						○	○	
		ツメクサガ	<i>Heliothis maritima adaucta</i>					○	○	○	
		チャオビヨトウ	<i>Nipponyx segregata</i>			○			○	○	
		ベニモンヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>		○	○					
		シロテンクロヨトウ	<i>Prospalta cyclica</i>		○	○					
		キスジツマキリヨトウ	<i>Callopistria japonibia</i>						○	○	
		キノコヨトウ	<i>Cryphia mitsuhashii</i>						○	○	
		スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>			○		○	○	○	
		ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i>		○	○			○	○	
		シロテンウスグロヨトウ	<i>Athetis albisignata</i>					○			
		コウスイロヨトウ	<i>Athetis lepigone</i>							○	
		ヒメサビスジヨトウ	<i>Athetis stellata</i>		○	○		○			
		シロスジアオヨトウ	<i>Trachea atriplicis</i>		○	○			○	○	
		ノコメセダカヨトウ	<i>Orthogonia sera</i>						○		
		アカガネヨトウ	<i>Euplexia lucipara</i>		○	○		○		○	
		ギンギシヨトウ	<i>Atrachea nitens</i>						○	○	
		テンオビヨトウ	<i>Sesamia turpis</i>		○	○					
		キバラモクメキリガ	<i>Xylena formosa</i>					○	○	○	
		アヤモクメキリガ	<i>Xylena fumosa</i>			○					
		ハンノキリガ	<i>Lithophane ustulata</i>			○					
		ヨスジノコメキリガ	<i>Eupsilia quadrilinea</i>						○	○	
		ミツボシキリガ	<i>Eupsilia tripunctata</i>						○		
		クロチャマダラキリガ	<i>Rhynchaglaea fuscipennis</i>							○	
		チャマダラキリガ	<i>Rhynchaglaea scitula</i>							○	
		キマエキリガ	<i>Hemiglaea costalis</i>							○	
		ヤマノモンキリガ	<i>Sugitania clara</i>							○	
		スギタニモンキリガ	<i>Sugitania lepida</i>							○	
		フサヒゲオビキリガ	<i>Agrochola evelina</i>							○	
		カシワオビキリガ	<i>Conistra ardescens</i>					○		○	
		ミヤマオビキリガ	<i>Conistra griseocens</i>		○						
		ノコメトガリキリガ	<i>Telorta divergens</i>	○					○	○	
		シマキリガ	<i>Cosmia achatina</i>							○	
		ニレキリガ	<i>Cosmia affinis</i>						○	○	
		ホソバキリガ	<i>Anorthoa angustipennis</i>						○	○	
		スモモキリガ	<i>Anorthoa munda</i>							○	
		アカバキリガ	<i>Orthosia carnipennis</i>							○	
		カバキリガ	<i>Orthosia evanida</i>					○		○	
		クロテンキリガ	<i>Orthosia fausta</i>							○	
		シロヘリキリガ	<i>Orthosia limbata</i>							○	
		チャイロキリガ	<i>Orthosia odiosa</i>						○	○	
		ブナキリガ	<i>Orthosia paromoea</i>							○	
		ヨトウガ	<i>Mamestra brassicae</i>	○	○	○	○	○	○	○	
		キミヤクヨトウ	<i>Dictyestra dissecta</i>		○	○					
		フタスジヨトウ	<i>Protomiselia bilinea</i>					○	○	○	
		シロシタヨトウ	<i>Sarcopolia illoba</i>						○		
		クサシロキヨトウ	<i>Mythimna loreyi</i>						○	○	
		クロシタキヨトウ	<i>Mythimna placida</i>		○						
		カバフクロテンキヨトウ	<i>Mythimna salebrosa</i>					○			

資料6 昆虫類の年次別確認状況(27/27)

目名	科	種名	学名	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	備考
		アワヨトウ	<i>Mythimna separata</i>							○	
		ハマオモトヨトウ	<i>Brithys crini crini</i>						○	○	
		ニセタマナヤガ	<i>Peridroma saucia</i>					○	○	○	外来
		タマナヤガ	<i>Agrotis ipsilon</i>		○	○				○	
		カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>		○	○		○	○	○	
		クロクモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>		○	○			○		
		オオバコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>			○		○	○	○	
		コウスチャヤガ	<i>Diarsia deparca</i>					○			
		シロモンヤガ	<i>Xestia c-nigrum c-nigrum</i>						○		
		ウスチャヤガ	<i>Xestia dilatata</i>					○	○	○	
19目	268科	1882種		358	477	509	409	1095	1143	1009	

※学名・和名については、河川水辺の国勢調査のための生物リスト（H30版）に基本的に準拠した

※出来るだけ最新の分類体系に則し 種小名はアルファベット順で配列した

※和名については、亜種区分されているものについての亜種表記を省略した

※外来：侵入生物データベース（国立環境研究所）に示されている種

参考資料

日本昆虫目録 第2巻 旧翅類 日本昆虫目録編集委員会編，2017.

日本昆虫目録 第4巻 準新翅類 日本昆虫目録編集委員会編，2016.

日本昆虫目録 第5巻 脈翅目群，長翅目，隠翅目，毛翅目，撚翅目 日本昆虫目録編集委員会編，2016.

日本昆虫目録 第7巻 鱗翅目 第1号 セセリチョウ上科－アゲハチョウ上科 日本産昆虫目録編集委員会編，2013.

日本昆虫目録 第8巻 双翅目（第1部 長角亜目－短角亜目無額囊節） 日本昆虫目録編集委員会編，2014.

日本昆虫目録 第8巻 双翅目（第2部 短角亜目額囊節） 日本昆虫目録編集委員会編，2014.

日本昆虫目録 第9巻 膜翅目（第1部 広腰亜目） 日本昆虫目録編集委員会編，2019.

環境庁. 1995. 日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－無脊椎動物編Ⅱ. 自然環境研究センター.

神保宇嗣. 2014. List-MJ 日本産蛾類総目録 [version 2]. <http://listmj.mothprog.com/std/>

日本直翅類学会編. 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会.

資料7 鳥類のルート別確認状況 (1/10)

種名	1985年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																				
ヒドリガモ																				
マガモ					4												39			
カルガモ				4	8	2		16					5				476	10	9	
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	25			
コガモ				2				2									229			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																				
スズガモ																				
カイツブリ																	34			
キジバト	93	76	60	42	80	102	25	57	58	34	62	45	51	32	44	44	102	100	54	41
カワウ																				
ゴイサギ			1																	
アオサギ																				
ダイサギ																				
チュウサギ																				
コサギ						1														
バン																	28			
オオバン																				
ツツドリ																	1			
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイタカ																				
オオタカ																				
カワセミ					2												1			
コゲラ			1														6	2		1
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ					1															
モズ	1	1	10	1		1		2			1	2					2	1	1	1
カケス			1																	
オナガ	59	47	51	23	17	34	33	13	26	11	42	41	32	5	13		39	53	30	30
ハシボソガラス			1	2				2					2							2
ハシブトガラス	43	18	13	45	35	47	37	28	8	11	20	13	10	3	19	49	47	55	11	6
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	28	94	52	40	75	35	63	22	50	18	70	44	38	7	29	30	73	71	64	22
ツバメ	7	7	2	38	6	1	5	8	10	14	14	4	15	17	9	11	16	5	12	2
ヒヨドリ	112	82	113	46	108	154	73	125	104	57	106	85	120	30	79	48	573	238	114	69
ウグイス	5	6	3	1		1	3	1		1						5	3	2		1
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	2	22	19	1	9	1	10	4	28	9	31	21	5		12	2	7	4	16	8
オオヨシキリ																				
ムクドリ	116	171	128	81	41	100	22	45	45	31	84	119	44	18	59	79	106	87	62	132
シロハラ			3	1			2										1			
アカハラ																				
ツグミ	3	29	8	5	17	4	9	4	7	35	4	4	7	4	6	3	36	37	12	10
ルリビタキ																				
ジョウビタキ	2	4	2			4		1							1	1		2		2
エゾビタキ																				1
コサメビタキ			1		1															
キビタキ					2															
オオルリ																				
スズメ	285	227	164	209	113	274	203	305	128	205	212	192	240	99	143	291	217	309	169	391
キセキレイ				6				1									1			
ハクセキレイ	2	1		37	4		1	10			1		2	4	1		10	2	11	2
セグロセキレイ				5	3			3	1				1				2			2
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	1	35	45	22	4	2	32	30	34	14	30	52	40	17	10	11	21	55	66	33
シメ		4	3	1	6		2		2		2		1		1		6	1	2	1
ホオジロ															1					
カシラダカ					2					1										
アオジ		13	9	1	8	2	2	3	2	1	5	2			2		2	2	1	
コジュケイ		1	1		1												2	1		
カワラバト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類																				
総個体数	759	838	691	613	547	765	522	682	503	442	684	624	613	236	429	574	2105	1037	634	757

資料7 鳥類のルート別確認状況 (2/10)

種名	1986年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																				
ヒドリガモ																				
マガモ					13								7				65			
カルガモ			3	28	20	1		59					17				585			4
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	36			
コガモ			13	11	6			13					51				315			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																				
スズガモ																				
カイツブリ																		47		
キジバト	59	81	80	56	71	120	33	54	54	15	69	58	53	27	44	27	91	84	62	41
カワウ				11																
ゴイサギ																		1		
アオサギ				1																
ダイサギ			1																	
チュウサギ																				
コサギ				4		1														
バン																	52			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																	2			
アマツバメ			2																	
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ				1																
トビ				1																
ツミ																		1		
ハイタカ																				
オオタカ																				
カワセミ																				
コゲラ			3	2	2			1	3				2		2		4	9		1
アオゲラ																				
チョウゲンボウ			1				1													
サンコウチョウ																				
モズ	1	1	3	3	1	1						2					5			1
カケス			1				1													
オナガ	33	28	45	47	12	44	65	33	11	13	38	38	27	4	30		40	35	27	10
ハシボソガラス				2																
ハシブトガラス	33	29	67	78	67	56	113	12	18	5	16	10	12	25	24	26	87	88	20	9
ヤマガラス					1															
ヒガラ			1																	
シジュウカラ	32	43	72	32	37	45	53	25	46	17	60	48	31	9	37	11	102	102	56	23
ツバメ	10	6	17	28	8	12	17	8	3	4	8	8	5		5	3	21	9	13	1
ヒヨドリ	103	79	148	90	74	117	63	116	71	41	109	88	92	12	91	43	167	209	106	57
ウグイス	1	2	3	1			4	1			1				4			1		
エナガ																				
メボソムシクイ																	2			
エゾムシクイ																				1
センダイムシクイ					1								1							
メジロ	2	13	9	11	15	8	22	1	10	4	30	11	5		11		2	8	6	4
オオヨシキリ																	2			
ムクドリ	135	85	170	65	46	118	92	109	31	20	63	99	28	4	58	26	50	80	73	52
シロハラ			2														1			
アカハラ																	1			
ツグミ	3	15	11	8	11	5	10	5	7	8	4	9	2		9	1	5	17	15	6
ルリビタキ																				
ジョウビタキ			2	1				1							1			1		
エゾビタキ																				
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ			1																	
スズメ	255	251	285	339	156	305	303	384	196	169	189	215	215	114	117	217	217	433	264	350
キセキレイ			1	4				1									2			
ハクセキレイ	3		2	25	1	3	1	10		2			3	1			7	1	3	
セグロセキレイ	10			4	3			3	2				3				11	2	2	
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	5	29	28	39	8	1	32	8	30	7	17	62	8	12	6	16	22	26	46	5
シメ			10	9	2		42	5	7		4				4		3	2	1	1
ホオジロ								1												
カシラダカ																	3			
アオジ		13	13	3	11	3	3	4	1		5		1		3		3	10		
コジュケイ	4		1															1		
カワラバト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類																				
総個体数	689	675	995	904	566	840	855	853	491	305	613	648	563	208	446	370	1951	1119	694	566

資料7 鳥類のルート別確認状況 (3/10)

種名	1991年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																				
ヒドリガモ																				
マガモ																	32			
カルガモ				8	6	4		17					15				419		1	
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	19			
コガモ				1				3									260			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																				
スズガモ																				
カイツブリ																	36			
キジバト	86	76	60	44	79	96	27	53	46	32	55	42	54	36	37	35	126	96	47	45
カワウ																				
ゴイサギ																				
アオサギ																				
ダイサギ																				
チュウサギ																				
コサギ				1																
バン																	28			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハйтカ																				
オオタカ																				
カワセミ																		1		
コゲラ				1													3			1
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ																				
モズ	1	1	5	1		1					1	1					1		2	1
カケス																				
オナガ	62	41	46	19	17	34	22	12	18	9	43	40	32	3	15		34	50	26	19
ハシボソガラス				1																
ハシブトガラス	35	21	14	32	43	32	23	14	10	10	21	16	15	10	16	20	45	51	15	17
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	23	74	47	32	53	37	34	23	42	18	59	46	36	6	36	20	79	61	40	27
ツバメ	8	14	7	40	8	2	10	10	11	12	14	7	20	16	11	19	23	8	12	8
ヒヨドリ	103	78	123	41	121	133	45	99	61	64	100	75	99	32	55	35	229	190	104	44
ウグイス	2	3					1				1						2	1		3
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	4	22	20	2	12	2	9	4	19	12	37	28	11		12	1	10	26	27	10
オオヨシキリ																				
ムクドリ	144	165	126	80	31	105	15	91	39	39	76	114	56	11	55	50	122	86	58	134
シロハラ			2																	
アカハラ																				
ツグミ	7	15	7	1	17	4	8		2	6	1	4	4		2		8	19	3	9
ルリビタキ																				
ジョウビタキ	1	3				2		2									3		4	
エゾビタキ																				
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ																				
スズメ	269	183	160	189	126	238	206	266	100	155	168	149	276	114	148	243	211	313	156	300
キセキレイ				2													1			
ハクセキレイ	4		1	33	15			17	1	1	2		4	2	16		12		17	
セグロセキレイ				4				2									2			
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	6	24	29	18	5	1	28	13	25	19	33	40	17	22	23	14	14	69	51	56
シメ		1	3	1	1				1								3			
ホオジロ																				
カシラダカ																				
アオジ		6	9	1	5						2	1								
コジュケイ																				
カワラハト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類																				
総個体数	755	727	661	550	539	691	428	626	375	377	613	563	639	252	426	437	1723	970	563	674

資料7 鳥類のルート別確認状況 (4/10)

種名	1995年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																				
ヒドリガモ																				
マガモ																	17			
カルガモ				7		2		19					4				155		2	
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	36			
コガモ				10				3									26			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																	8			
スズガモ																				
カイツブリ																	29			
キジバト	87	56	65	39	62	80	30	48	49	36	38	46	46	21	35	41	84	67	57	51
カワウ																				
ゴイサギ																	3			
アオサギ																				
ダイサギ																				
チュウサギ																				
コサギ																	1			
バン																	25			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイツカ																				
オオタカ																				
カワセミ																				
コゲラ			2														5			
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ																				
モズ	2	6	3	2		2					1	1								
カケス																				
オナガ	33	31	47	26	20	46	20	16	22	12	24	10	23		26		30	51	21	22
ハシボソガラス			1	1																
ハシブトガラス	49	32	23	25	35	50	22	23	10	13	15	26	7	4	15	23	40	58	17	11
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	33	77	56	53	62	49	55	38	42	25	59	46	39	7	27	28	82	62	50	35
ツバメ	14	18	9	44	5	9	5	18	9	4	11	9	11	8	5	10	9	10	5	5
ヒヨドリ	86	90	94	55	125	88	64	125	121	49	82	43	98	31	56	34	176	121	78	66
ウグイス	4	7	5	1	1	4	4	3	1	2	1						7	3	1	2
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	12	26	22	2	10	3	21	6	32	12	26	17	3		12		9	12	26	11
オオヨシキリ																				
ムクドリ	114	155	83	74	49	111	16	68	50	43	63	65	53	13	50	79	122	60	48	94
シロハラ			2														1			
アカハラ																				
ツグミ	2	13	7		9	3	4		7	2	3		1		2		7	4	3	6
ルリビタキ																				
ジョウビタキ	1		1			3														
エゾビタキ																				
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ																				
スズメ	238	198	156	162	147	222	141	267	104	167	110	113	261	154	115	157	170	247	155	286
キセキレイ				4				2												
ハクセキレイ	7	1	2	30	13			16				1	2	1	1		10		12	
セグロセキレイ				4	3			4									1			
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	9	36	51	25	8	7	19	28	36	22	32	17	4	12	15	12	35	51	47	30
シメ		3	3		3		1		4						1		2			1
ホオジロ																				
カシラダカ																				
アオジ		4	8		5	1	3	3	3	1	1	1			1		4		1	
コジュケイ																				
カワラバト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類			2																	
総個体数	691	753	642	564	557	680	405	687	490	388	466	395	552	251	361	384	1094	746	523	620

資料7 鳥類のルート別確認状況 (5/10)

種名	1996年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																	8			
ヒドリガモ																				
マガモ					3			9					3				42			
カルガモ				4	19	5		42					3				275		2	
ハシビロガモ																				
オナガガモ								2									181			
コガモ				3	3			18					5				33			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																				
スズガモ																	1			
カイツブリ																	40			
キジバト	61	85	63	55	47	69	39	37	34	37	37	24	32	26	48	20	100	71	55	56
カワウ																	1			
ゴイサギ																	7			
アオサギ																				
ダイサギ																	2			
チュウサギ																				
コサギ				1				2									2			
バン																	28			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイタカ																				
オオタカ																				
カワセミ																				
コゲラ				1	1	3		1		1			2		1		3	5		1
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ																				
モズ		1	4	1		2		1							1		1			1
カケス			2	1																
オナガ	35	36	35	25	20	30	32	13	13	3	22	21	14	1	11	7	49	16	6	4
ハシボソガラス			3					1							3		7			
ハシブトガラス	31	31	16	18	62	38	32	35	11	9	17	13	8	10	41	24	60	32	15	27
ヤマガラ					1															
ヒガラ																				
シジュウカラ	30	69	40	38	62	49	54	27	45	25	41	46	30	4	25	14	56	46	55	32
ツバメ	9	7	4	18	7	3	5	3	6	19	14	3	12	8	5	7	6	4	12	1
ヒヨドリ	77	79	130	52	65	82	68	102	54	50	58	61	80	18	95	38	106	155	65	60
ウグイス	3	3	1		2		3	1	2		1	1			2		4		1	3
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	2	21	15	13	21	4	14	7	22	7	24	11	3		5		4	13	13	7
オオヨシキリ																				
ムクドリ	108	83	125	83	45	82	67	26	42	22	47	53	29	10	44	27	70	26	59	68
シロハラ				2			2	1									3			
アカハラ																				
ツグミ	3	16	10	5	15	3	10	4	10	2	2	2	4		4		29	5	6	8
ルリビタキ																				
ジョウビタキ	1	2	2	3	1	2									1		3			
エゾビタキ																	1			
コサメビタキ																				
キビタキ					1															
オオルリ																				
スズメ	221	208	190	197	153	178	207	285	149	161	136	155	174	115	111	207	202	131	139	236
キセキレイ				1	2			2									1			
ハクセキレイ	3	3	2	26	4	2	1	9					3	1	1		9	2	3	
セグロセキレイ				3	2			1					2				2	3	1	
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	9	20	47	34	20	4	25	19	26	15	27	15	15	6	17	10	24	109	29	31
シメ		1		1	2		4	1	1	1	1				1		5	2		
ホオジロ																				
カシラダカ																				
アオジ		6	2		9	3	1	1			4				4		7	1		
コジュケイ																				
カワラハト(ドバト)																				
ダルメインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類					3															
ムシクイ類					1												1			
ヒタキ類																				
総個体数	593	671	692	585	573	556	565	649	416	351	431	405	419	199	420	354	1373	621	461	535

資料7 鳥類のルート別確認状況 (6/10)

種名	2000年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																	3			
ヒドリガモ																				
マガモ																	24			
カルガモ				19		8		5									199		3	
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	100			
コガモ				2													33			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																	3			
スズガモ																				
カイツブリ																	25			
キジバト	47	41	48	28	42	35	17	35	33	13	34	17	28	5	21	10		40	29	34
カワウ																	7			
ゴイサギ																	15			
アオサギ																	2			
ダイサギ																	10			
チュウサギ																	2			
コサギ																	8			
バン																	27			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイタカ																				
オオタカ																				
カワセミ																	5			
コゲラ	4	5	3	3	3	1	5	7	4		2	5	3				13	2		3
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ																				
モズ	1	1	4	3		1													1	
カケス																				
オナガ	21	30	28	8	27	15	30	17	14	5	12	3	13	1	8	4	61	16	10	22
ハシボソガラス				2																
ハシトガラス	25	24	16	12	34	14	22	21	12	9	17	5	21	9	12	6	73	46	12	14
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	28	48	40	28	28	29	20	25	22	25	45	15	44	6	24	13	46	29	35	35
ツバメ	8	10	8	43	9	12	12	5	5	9	13	3	19	4	4	15		8	4	5
ヒヨドリ	87	43	77	58	59	87	31	53	42	43	41	29	35	19	35	20	77	120	53	30
ウグイス	2	3	2	1	1	1		1		1	2	2		1	1		9			2
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	8	18	7	1	21	12	6	4	13	4	17	6	11		12	5	28	11	7	11
オオヨシキリ																				
ムクドリ	117	117	93	47	38	101	31	22	22	36	71	17	16	7	21	11	56	47	55	59
シロハラ	2	4	3	1	1	3		2			1		1				12	2		1
アカハラ																				
ツグミ	5	7	6	2	2	4	6	3	12	2	2	3	2		1		11	6	3	2
ルリビタキ																				
ジョウビタキ		2				1											3			
エゾビタキ					3															
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ																				
スズメ	160	117	81	117	85	122	104	195	70	104	175	84	162	67	51	165	167	195	102	107
キセキレイ				2					1								4			
ハクセキレイ	4	1	9	16	1	2		14	1				13	1	1		9	1	5	1
セグロセキレイ				1													2			
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	8	15	22	18	17	20	11	11	1	11	18	10	12	6	15	4	17	26	23	19
シメ		1	2	1	1												3			
ホオジロ																				
カシラダカ										2										
アオジ	1	5	7	2	1	3	3	3		1	1	1		2	1	9	2	1	3	
コジュケイ																				
カワラバト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																	3			
ヒタキ類																				
総個体数	528	492	456	415	373	471	298	424	251	262	453	200	381	126	208	254	1066	551	343	348

資料7 鳥類のルート別確認状況 (7/10)

種名	2001年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																	4			
ヒドリガモ																				
マガモ								5									21			
カルガモ				26		8		23									187			
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	124			
コガモ				10													25			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																	4			
スズガモ																				
カイツブリ																	20			
キジバト	30	31	46	15	38	36	25	40	23	21	40	27	41	12	15	8		64	44	31
カワウ																	8			
ゴイサギ																	13			
アオサギ																	4			
ダイサギ																	9			
チュウサギ																				
コサギ																	9			
バン																	26			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイタカ																				
オオタカ																				
カワセミ																	1			
コゲラ	1	2	6	1	5	4	1	1	3		3	2	4		1		15	4	2	
アオゲラ																				
チョウゲンボウ		1																		
サンコウチョウ																				
モズ			2	1	1								1							
カケス																				
オナガ	21	18	30	9	18	12	18	16	13	9	17	2	17	3	7		60	8	9	20
ハシボソガラス																				
ハシトガラス	23	16	20	11	13	17	59	20	8	7	17	4	33	10	8	24	66	66	11	14
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	27	22	40	23	32	27	23	18	18	20	45	25	23	9	20	14	50	29	19	27
ツバメ	10	5	16	5	10	14	7	9	9	8	11	3	24	10	9	13		4	14	9
ヒヨドリ	53	64	91	27	60	46	43	53	25	36	29	18	46	14	23	19	109	118	55	20
ウグイス	2	4	4	1	2	3	1	2	1		2		1				9	3		1
エナガ																				
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	8	17	9	2	16	8	8	3	2	7	15	10	15		6	2	26	7	6	5
オオヨシキリ																				
ムクドリ	92	64	113	66	15	84	18	32	34	39	69	24	19	6	17	10	80	97	78	48
シロハラ	4	4	4	1	2	3		2			2		1				13	2		
アカハラ																				
ツグミ	4	8	3	3	3	4	1	2	1	3	2		2		1	1	12	3	2	2
ルリビタキ																				
ジョウビタキ																	2			
エゾビタキ													1							
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ																				
スズメ	142	124	107	88	74	88	96	148	62	101	162	64	125	58	82	123	182	171	104	111
キセキレイ																	3			
ハクセキレイ	6	6	3	16	2	5	1	7				1	14		1	1	14	2	2	2
セグロセキレイ																	2			
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	15	18	22	22	15	12	6	20	19	5	17	4	21	4	10	4	30	33	17	16
シメ			3		1												1			
ホオジロ																				
カシラダカ											2									
アオジ	3	4	8	1	2	2	2	2	1	1		1	1				10	3	1	1
コジュケイ																				
カワラバト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類													2				2			
ヒタキ類																				
総個体数	441	408	527	328	309	373	309	403	219	257	433	185	391	126	200	219	1141	614	364	307

資料7 鳥類のルート別確認状況 (8/10)

種名	2006年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																	1			
ヒドリガモ																				
マガモ																	50			
カルガモ						4		11									80			
ハシビロガモ																				
オナガガモ																	152			
コガモ								8									39			
ホシハジロ																				
キンクロハジロ																	75			
スズガモ																	1			
カイツブリ																	38			
キジバト	25	27	33	19	36	27	44	19	24	11	21	17	18	28	20	6		34	27	28
カワウ																	3			
ゴイサギ																	16			
アオサギ																	2			
ダイサギ																	8			
チュウサギ																	4			
コサギ																	8			
バン																	53			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ																				
ハイタカ																				
オオタカ																	6			
カワセミ																	10			
コゲラ	7	4	2	1	3	1	3	3	2		2	3	2				5	2	1	
アオゲラ																				
チョウゲンボウ																	1			
サンコウチョウ																				
モズ																				
カケス																				
オナガ	21	11	4	7	2	7	20	15	3	2	11	2	4		5	3	49	2	8	11
ハシボソガラス		5	8														4	1		
ハシブトガラス	10	20	1	6		5	15	9	12	6	10	3	8	8	5	9	106	14	9	7
ヤマガラス																	1			
ヒガラ																				
シジュウカラ	32	33		30	22	28	32	50	36	23	49	26	17	8	13	18	98	24	31	34
ツバメ	8	8	6	7	4	8	6	6	2	8	4		2	1	2			2	6	1
ヒヨドリ	42	33	61	72	50	74	38	35	31	37	32	30	47	15	26	16	149	63	33	28
ウグイス	6	3		1	3	1					5	3	3		2			2	1	1
エナガ																	12			
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																				
メジロ	14	23	18	4	9	6	7	4	11	6	4	9	2		14	3	44	5	8	10
オオヨシキリ																				
ムクドリ	39	48	66	34	12	47	42	47	22	18	54	8	4	1	12	2	61	13	14	48
シロハラ	1	1	5	1	3	1	1	1			1						2		1	1
アカハラ			1														1			
ツグミ	3	7	9			1	1	4	1	2	2		1	1			17	8	3	1
ルリビタキ																				
ジョウビタキ						2											2			
エゾビタキ					2															
コサメビタキ																				
キビタキ																				
オオルリ																				
スズメ	144	63	87	77	68		120	134	30	95	109	73	23	61	40	121	257	153	94	100
キセキレイ	2		1					1									2			
ハクセキレイ	1	2	4	10	2	1		21	1				6				12	1	5	1
セグロセキレイ																	1			
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	23	9	25	11	13	6	2	5	2	6	16		6	2	3	3	25	20	17	7
シメ		3	3		6								1			1	2			
ホオジロ																				
カシラダカ	2																			
アオジ	1	3	4	1		4	3	5			1		1		1		3			3
コジュケイ																				
カワラハト(ドバト)																				
ダルマインコ属																				
ガビチョウ																				
マガモ×カルガモ																				
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																	5			
ヒタキ類																				
総個体数	381	303	338	281	235	223	334	378	177	214	321	174	145	125	143	182	1405	344	258	281

資料7 鳥類のルート別確認状況 (9/10)

種名	2013年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ				1																
ヒドリガモ																				
マガモ					6	2		1									4			
カルガモ	18	21	9	92	219	106		76					24				109		55	31
ハシビロガモ																	15			
オナガガモ	2				21	79		18					36				163		85	6
コガモ						26		8					9						5	
ホシハジロ																				
キンクロハジロ					5			2									14		140	
スズガモ																				
カイツブリ					3												9			
キジバト	54	66	57	42	100	13	8	41	8	7	23	17	16	4	15	2	32	30	15	41
カワウ	2	1		3	3	7		5					2				2			
ゴイサギ	1				4												2			1
アオサギ	2	2	3	6	11	4											28			
ダイサギ				1		8											1			
チュウサギ																				
コサギ	3	3		16		16		2									6			
バン					1												14			
オオバン																	1			
ツツドリ	5																			
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ																				
コチドリ																				
イソシギ																				
トビ																				
ツミ	1			1			1		2		6	1								
ハイタカ	1																			
オオタカ	1		1	1						2	1									
カワセミ						1		1									4			1
コゲラ	2	7	15	4	21	8		18	9		8	2	3		2		10	3	3	4
アオゲラ																	1			
チョウゲンボウ																				
サンコウチョウ																				
モズ			1	1		1												1		3
カケス																				
オナガ	9	2	2	5	2	1		12	7		16	7	4		4		9	6	8	17
ハシボソガラス	8	8	38	39	5	26		18	7	2			8	10	2	16	1	7	1	5
ハシブトガラス	78	122	137	97	497	56	17	73	58	29	33	18	41	44	19	19	34	27	14	30
ヤマガラス								1									1			
ヒガラ																				
シジュウカラ	48	58	105	61	119	33	14	99	47	13	47	22	30	3	12	23	28	20	23	27
ツバメ	5	4	7	38	5	17	3	2	4	2	2	13	9		2		7	1	5	3
ヒヨドリ	144	180	234	150	137	88	47	116	120	80	162	71	79	12	55	56	68	75	43	88
ウグイス		1	8	6	1	2		1	1		2		1				2	3	1	3
エナガ	8	8	37		17	1		2					2				2		5	
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ			1																	
センダイムシクイ			1	1	2					1										
メジロ	56	36	25	48	29	32	8	47	36	26	61	11	22	1	17	11	12	24	15	23
オオヨシキリ				1																
ムクドリ	51	92	115	132	151	54	98	66	37	22	47	47	57	13	42	3	9	35	31	112
シロハラ		1		1							1									
アカハラ			1														1			
ツグミ	7	8	8	9	17	9	5	10	2	13	4	1	2		2	1	7	6	1	7
ルリビタキ				1																
ジョウビタキ		2		1																1
エゾビタキ																				
コサメビタキ																				
キビタキ	1				2															
オオルリ																				
スズメ	362	387	236	134	76	323	42	73	75	232	88	72	173	50	99	75	2	32	45	85
キセキレイ					1	1		5					1							
ハクセキレイ	20	8	9	30	19	36	3	19	5	2	1	1	21	4	1		1	5	18	5
セグロセキレイ																			1	
ビンズイ																				
アトリ																				
カワラヒワ	16	101	10	33	5	5		2	2	5				1		1		2		
シメ	1		6								1				1					1
ホオジロ																				
カシラダカ																				
アオジ	2	1	10	3	3				1		1						2	1	1	
コジュケイ																				
カワラバト(ドバト)	158	28	127	249	66	146	166	28	284	53	3	5	123	180	9	11	62	32	146	34
ダルマインコ属	41	23	4	31	14	2	10	19	47	5	8	1	4		26	8	5	6	9	16
ガビチョウ																				2
マガモ×カルガモ						1														
カルガモ×オナガガモ																				
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類																				
総個体数	1102	1170	1207	1238	1562	1104	422	765	752	492	516	290	667	322	308	226	668	316	670	546

資料7 鳥類のルート別確認状況(10/10)

種名	2018年度																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
オシドリ																				
ヒドリガモ													4							
マガモ								1									5			
カルガモ	10		3	54	88	83		110	2	95			29		107		348		52	17
ハシビロガモ																				
オナガガモ	3				1	62		1		2			16				55		30	
コガモ				2		39		5					15				2		7	
ホシハジロ																	6			
キンクロハジロ					13			2									60		125	
スズガモ																				
カイツブリ																	5			
キジバト	48	27	96	31	72	15	20	46	12	21	27	53	24	10	41	19	47	26	15	31
カワウ			2	4	2			7					1		5		3			
ゴイサギ				2	1												3			
アオサギ	1			2	3	3		3							4		28			
ダイサギ	1			2				3									1			
チュウサギ	1		1																	
コサギ		1		7	1	19		3					2		8		10			
バン																	5			
オオバン																				
ツツドリ																				
カッコウ																				
アマツバメ																				
ヒメアマツバメ						1														
コチドリ					1															
イソシギ																				
トビ																				
ツミ	2	1		1				1				1			1	1				
ハイタカ																1				
オオタカ		1		1					1							1	1			
カワセミ				3	2			9					6		2		14		1	
コゲラ	8	13	12	8	11	9	1	9	5	7	4	1			10	2	11	7	4	11
アオゲラ		1													2		1	3		
チョウゲンボウ						1														
サンコウチョウ								1												
モズ		1	1									2						1		
カケス																				
オナガ	22		21	1	5	11		15	8	2	1	1			3	32	7	2	5	11
ハシボソガラス	23	19	25	7	83	25		17	11	8	2	1	5		7	7	12	13	10	21
ハシブトガラス	85	191	61	119	647	20	10	54	52	30	16	12	18	28	172	29	45	24	19	14
ヤマガラス																				
ヒガラ																				
シジュウカラ	49	101	79	73	137	32	34	60	44	33	34	19	16	1	65	55	72	28	34	69
ツバメ	3	8	6	25	5	16	1	5	16	10	2	1	3	2	1	2	3	3	2	8
ヒヨドリ	187	168	204	195	186	69	56	50	42	52	166	85	65	8	144	79	104	104	74	129
ウグイス		3	2	1	5		1	1	2		2	1	1		4	2	7	4		
エナガ	19	11	23	7	21	2		6	1	10	6	7	1		10	1	6	6	6	21
メボソムシクイ																				
エゾムシクイ																				
センダイムシクイ																		1		
メジロ	35	44	37	51	60	28	24	25	22	43	25	32	6		58	26	19	39	29	19
オオヨシキリ																				
ムクドリ	157	53	151	93	33	176	8	82	70	50	18	59	51	5	141	25	54	50	41	97
シロハラ		1		2	3													2		
アカハラ																				
ツグミ	8	4	7	9	11	14	4	2	1	5	3	3	1		1	2	9	5	2	3
ルリビタキ				1																
ジョウビタキ		1	3	2	1		2					1			1		1			
エゾビタキ																				
コサメビタキ																				
キビタキ											1									
オオルリ																				
スズメ	197	30	117	100	15	133	120	36	50	131	60	34	52	12	253	77		15	41	37
キセキレイ		1		8	2	5		2					1		1				4	
ハクセキレイ	9	9	15	17	10	28	3	13	7	5	1		17	1	35		4	4	19	4
セグロセキレイ						1														
ビンズイ				1																
アトリ					5					36	10							13		
カワラヒワ	21	65	5	8	18	13		13	9				2	1	28	7		8		
シメ	8	6	3	5	6	6		2	1				1		5	2	2	1		3
ホオジロ			1																	
カシラダカ					4															
アオジ	5	6	9	6	9			1					2		3		4			
コジュケイ																				
カワラバト(ドバト)	102	10	191	160	140	13	41	27	78	163	35		30	171	202		103	51	135	54
ダルマインコ属	26	24	17	16	3		3	16	66	4	29	4	13	1	36	22	25	13	19	3
ガビチョウ			1																	
マガモ×カルガモ										2							1		1	
カルガモ×オナガガモ					2															
サメビタキ類																				
ムシクイ類																				
ヒタキ類																				
総個体数	1030	800	1093	1024	1605	825	328	628	500	709	442	317	382	240	1350	392	1096	410	675	552

資料8 鳥類の月別確認状況(1/10)

種名	1985年度											
	1985年						1986年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ												
ヒトリガモ												
マガモ						1		5	12	8	13	4
カルガモ	19	16	10	14	86	75	24	42	90	37	76	41
ハシビロガモ												
オナガガモ								2	8	9	6	
コガモ	23					2	9	33	42	32	85	7
ホシハジロ												
キンクロハジロ												
スズガモ												
カイツブリ	3		2	4	4	1		3	4	3	6	4
キジバト	122	123	135	114	89	94	103	99	80	74	70	99
カワウ												
ゴイサギ	1											
アオサギ												
ダイサギ												
チュウサギ												
コサギ											1	
バン	2	1	6	5	6	4		1	1	2		
オオバン												
ツツドリ						1						
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ		1						1	1			
コゲラ	1			1		3	1		2		1	1
アオゲラ												
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ						1						
モズ	2	5					5	4	1	3	1	3
カケス							1					
オナガ	51	63	54	28	47	44	35	44	61	52	65	55
ハシボソガラス	1	6			1			1				
ハシブトガラス	38	30	36	25	45	31	72	76	39	47	46	33
ヤマガラ												
ヒガラ												
シジュウカラ	87	65	121	85	76	73	70	82	76	70	47	73
ツバメ	22	40	44	46	48	3						
ヒヨドリ	189	184	157	160	131	89	193	297	328	413	122	173
ウグイス	3	2					1	3	6	7	5	5
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	11	7	8	10	8	2	12	29	52	16	23	33
オオヨシキリ												
ムクドリ	146	132	205	148	141	96	83	172	154	137	68	88
シロハラ								2	1	2	1	1
アカハラ												
ツグミ	10						3	17	45	102	27	40
ルリビタキ												
ジョウビタキ							4	5	2	3	3	2
エゾビタキ						1						
コサメビタキ						1	1					
キビタキ							2					
オオルリ												
スズメ	309	397	513	533	420	301	368	324	265	262	353	331
キセキレイ							2	1	1	1	1	2
ハクセキレイ	6	6	1	3	3	4	13	11	9	12	12	8
セグロセキレイ	3						7	4		2	1	
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	38	69	93	58	43	39	37	59	45	24	20	29
シメ								11	8	4	7	2
ホオジロ								1				
カシラダカ								3				
アオジ	8						2	12	7	6	4	16
コジュケイ	3		2				1					
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類												
総個体数	1098	1147	1387	1234	1148	866	1049	1344	1340	1328	1064	1050

資料8 鳥類の月別確認状況(2/10)

種名	1986年度											
	1986年									1987年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ												
ヒドリガモ												
マガモ							8	17	10	16	17	17
カルガモ	21	13	5	41	93	110	63	77	57	86	105	46
ハシビロガモ												
オナガガモ							3	4	6	10	12	1
コガモ	28					7	22	42	76	86	49	99
ホシハジロ												
キンクロハジロ												
スズガモ												
カイツブリ	4	3	8	5	1	2	3	2	5	3	4	7
キジバト	109	121	115	84	110	97	111	92	81	67	105	91
カワウ												11
ゴイサギ					1							
アオサギ						1						
ダイサギ												1
チュウサギ												
コサギ						1	1	1	1	1		
バン	3	6	16	14	1	1	4		1	3	2	1
オオバン												
ツツドリ												
カッコー		1	1									
アマツバメ							2					
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ									1			
トビ												1
ツミ										1		
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ												
コゲラ	1		2	1		3		5	3	4	6	4
アオゲラ												
チョウゲンボウ						2						
サンコウチョウ												
モズ							6	1	2	3	2	4
カケス							1					1
オナガ	44	65	59	35	53	78	47	40	39	37	44	39
ハシボソガラス							1		1			
ハシブトガラス	46	41	33	48	73	88	85	71	59	61	94	96
ヤマガラ									1			
ヒガラ												1
シジュウカラ	78	76	127	62	48	97	69	78	55	56	65	70
ツバメ	13	37	63	62	11							
ヒヨドリ	164	148	160	125	108	198	273	170	161	127	98	154
ウグイス	3		1	1				2	4	3	3	1
エナガ												
メボソムシクイ		1				1						
エゾムシクイ	1											
センダイムシクイ	1	1										
メジロ	4	8	10	10	1	9	20	23	29	18	28	12
オオヨシキリ		1	1									
ムクドリ	86	86	178	130	132	115	118	150	114	130	92	73
シロハラ										1	1	1
アカハラ											1	
ツグミ	15						12	28	19	13	26	38
ルリビタキ												
ジョウビタキ							1	3	1	1		
エゾビタキ												
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ							1					
スズメ	391	448	496	439	440	374	453	396	506	347	373	311
キセキレイ							2	1	1	1	2	1
ハクセキレイ	5	4	4		1	5	9	6	11	6	7	4
セグロセキレイ	1				2	1	7	7	5	3		4
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	41	45	37	39	16	16	35	32	43	29	24	50
シメ	1						2	12	11	7	16	41
ホオジロ				1								
カシラダカ	1							2				
アオジ	9						5	8	9	16	11	15
コジュケイ	1							1				
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類												
総個体数	1071	1105	1316	1097	1091	1206	1364	1271	1312	1136	1187	1195

資料8 鳥類の月別確認状況(3/10)

種名	1991年度											
	1991年									1992年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ												
ヒトリガモ												
マガモ						2	2	4	6	8	8	2
カルガモ	13	21	14	8	21	82	76	50	30	56	42	57
ハシビロガモ												
オナガガモ								8	2		9	
コガモ	26					8	11	33	29	46	31	80
ホシハジロ												
キンクロハジロ												
スズガモ												
カイツブリ	2	3	5	4	2	1	3	3	3	5	2	3
キジバト	111	128	107	106	86	109	95	98	80	95	78	79
カワウ												
ゴイサギ												
アオサギ												
ダイサギ												
チュウサギ												
コサギ	1											
バン	2	2	5	6	6	2	2	1	1	1		
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ										1		
コゲラ	1						1	1		1		1
アオゲラ												
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ												
モズ	2						6	4			1	2
カケス												
オナガ	38	65	53	32	37	44	40	29	39	64	52	49
ハシボソガラス	1											
ハシブトガラス	34	38	42	25	27	39	56	39	40	40	51	29
ヤマガラ												
ヒガラ												
シジュウカラ	73	64	111	92	57	60	49	70	50	57	56	54
ツバメ	30	49	64	45	52	8		4			8	
ヒヨドリ	161	151	156	118	125	77	142	216	210	197	137	141
ウグイス	2						1	1		4	2	3
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	14	9	15	22	20	22	21	25	34	20	34	32
オオヨシキリ												
ムクドリ	140	130	178	159	108	170	94	108	155	125	125	105
シロハラ								1			1	
アカハラ												
ツグミ	15	1						12	27	25	23	14
ルリビタキ												
ジョウビタキ							4	4	1	3	1	2
エゾビタキ												
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ												
スズメ	334	338	406	436	447	316	326	264	252	230	262	359
キセキレイ								2				1
ハクセキレイ	8	7	5	6	4	5	17	10	12	24	15	12
セグロセキレイ	2						2	4				
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	44	52	45	44	47	37	44	40	56	27	35	36
シメ								2	2	1	4	1
ホオジロ												
カシラダカ												
アオジ	6							3	5	3	4	3
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類												
総個体数	1060	1058	1206	1103	1039	982	992	1036	1034	1033	981	1065

資料8 鳥類の月別確認状況(4/10)

種名	1995年度											
	1995年									1996年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ												
ヒトリガモ												
マガモ									3	4	7	3
カルガモ	12	4	12	11	6	9	15	45	10	23	16	26
ハシビロガモ												
オナガガモ	11								2	8	7	8
コガモ	6						6	5	3	5	9	5
ホシハジロ												
キンクロハジロ										5	3	
スズガモ												
カイツブリ	2	3	2	2	4		2	3	3	2	3	3
キジバト	95	112	117	76	95	114	79	87	75	64	59	65
カワウ												
ゴイサギ	2				1							
アオサギ												
ダイサギ												
チュウサギ												
コサギ						1						
バン	2	3	3	3	3	3	1		1		3	3
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ												
コゲラ	1			1		1		2	1	1		
アオゲラ												
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ												
モズ	2						3	8	4			
カケス												
オナガ	41	50	54	42	37	34	27	31	38	44	32	50
ハシボソガラス				1				1				
ハシブトガラス	54	37	49	44	20	65	47	57	33	35	30	27
ヤマガラ												
ヒガラ												
シジュウカラ	75	77	121	122	116	78	64	59	52	59	46	56
ツバメ	12	48	34	79	45							
ヒヨドリ	161	112	122	155	124	123	169	223	136	147	124	86
ウグイス	9	1					1	5	8	8	9	5
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	9	11	15	35	34	28	22	11	37	33	16	11
オオヨシキリ												
ムクドリ	78	117	167	131	125	164	67	163	124	89	92	93
シロハラ								1	1		1	
アカハラ												
ツグミ	12							4	16	10	19	12
ルリビタキ												
ジョウビタキ								2	1	2		
エゾビタキ												
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ												
スズメ	225	293	398	336	396	421	245	266	253	271	214	252
キセキレイ							1	2		2	1	
ハクセキレイ	10			4	1	12	15	16	12	8	12	6
セグロセキレイ	2						4	2	4			
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	46	23	47	81	42	47	20	59	60	30	37	4
シメ	1						1	5	7	3	1	
ホオジロ												
カシラダカ												
アオジ	3							8	8	8	7	2
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類							2					
総個体数	871	891	1141	1123	1049	1100	791	1065	892	861	748	717

資料8 鳥類の月別確認状況(5/10)

種名	1996年度											
	1996年									1997年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ	2							2			3	1
ヒドリガモ												
マガモ								12	21	10	8	6
カルガモ	12	13	15	7	12	28	15	82	27	73	29	37
ハシビロガモ												
オナガガモ								2	120	32	23	6
コガモ	18					3	2	7	13	8	9	2
ホシハジロ												
キンクロハジロ												
スズガモ										1		
カイツブリ	4	2	4	4	7	6	1	2	2	3	3	2
キジバト	118	108	103	88	65	62	82	107	62	74	66	61
カワウ									1			
ゴイサギ	3								3	1		
アオサギ												
ダイサギ									1	1		
チュウサギ												
コサギ								2	2	1		
バン	4	4	4	2	3	2		2		3	2	2
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ	2											
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ												
コゲラ	1			4	2	1	4	2	3	2		
アオゲラ												
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ												
モズ	1						4	1	3	2		1
カケス							1	1	1			
オナガ	44	32	30	23	35	36	37	22	34	29	36	35
ハシボソガラス				1	2	1			6		4	
ハシブトガラス	42	32	36	41	21	52	86	51	71	34	36	28
ヤマガラス									1			
ヒガラ												
シジュウカラ	91	75	101	81	59	62	55	60	47	58	56	43
ツバメ	16	18	26	51	42							
ヒヨドリ	144	168	126	134	116	55	199	144	97	113	111	88
ウグイス	2						2	2	7	8	5	1
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	9	6	14	16	19	2	18	30	30	30	16	16
オオヨシキリ												
ムクドリ	93	68	88	120	122	93	84	111	126	81	65	65
シロハラ									1	5	1	1
アカハラ												
ツグミ	6	1					9	36	28	20	18	20
ルリビタキ												
ジョウビタキ							1	4	4	4	1	1
エゾビタキ							1					
コサメビタキ												
キビタキ						1						
オオルリ												
スズメ	253	341	392	376	320	296	347	336	256	228	187	223
キセキレイ							3	2			1	
ハクセキレイ	4	6	1	2		2	14	9	9	7	10	5
セグロセキレイ	3						5	1	4		1	
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	32	28	36	71	69	57	34	57	32	29	37	20
シメ							3	6	5	4	1	1
ホオジロ												
カシラダカ												
アオジ	2						2	10	7	5	5	7
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類						3						
ムシクイ類						1	1					
ヒタキ類												
総個体数	904	902	976	1021	894	763	1010	1103	1024	866	734	672

資料8 鳥類の月別確認状況(6/10)

種名	2000年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ	1								2			
ヒトリガモ												
マガモ	4							3	3	5	6	3
カルガモ	12	3	6	9	14	9	19	20	52	25	35	30
ハシビロガモ												
オナガガモ	2	2					3	5	5	36	28	19
コガモ	12			5			2	2	4	4	2	4
ホシハジロ												
キンクロハジロ	1										1	1
スズガモ												
カイツブリ	1	3	2	1	2		3	3	1	2	3	4
キジバト	56	54	43	49	40	55	46	37	39	54	40	44
カワウ	1							2	1	1	1	1
ゴイサギ	3	2	1	1		1		3	1	1	1	1
アオサギ									1		1	
ダイサギ	2							1	1	2	1	3
チュウサギ	1											1
コサギ	2	3							1		2	
バン	2	2	2	4	2	3	3	2	2	2	2	1
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ	1											
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ	2				1				1			1
コゲラ	6	3	2	3		9	7	3	7	4	7	12
アオゲラ												
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ												
モズ	2						2	4	2	1		
カケス												
オナガ	33	36	51	21	24	18	17	28	24	26	34	33
ハシボソガラス	1	1										
ハシブトガラス	28	42	45	24	28	35	23	29	44	43	22	41
ヤマガラス												
ヒガラ												
シジュウカラ	44	41	59	61	74	46	44	43	47	34	48	44
ツバメ	7	36	49	58	28	18						
ヒヨドリ	96	124	90	78	77	92	122	82	38	82	87	71
ウグイス	6							1	4	9	4	5
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	19	16	15	9	21	27	5	18	21	8	19	24
オオヨシキリ												
ムクドリ	56	100	127	91	103	75	55	65	63	73	91	85
シロハラ	8								5	12	3	5
アカハラ												
ツグミ	11							3	34	18	6	7
ルリビタキ												
ジョウビタキ									2	3	1	
エゾビタキ							3					
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ												
スズメ	223	210	202	251	244	225	170	209	205	171	150	170
キセキレイ	3	2					1					1
ハクセキレイ	9	5	7	10	2	1	5	8	4	12	6	10
セグロセキレイ	1	1						1				
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	11	28	26	14	27	29	25	33	22	29	20	20
シメ	1								2	4	1	
ホオジロ												
カシラダカ	2											
アオジ	8							4	11	13	6	4
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類		2				1						
ヒタキ類												
総個体数	677	716	727	689	687	644	555	609	649	674	628	645

資料8 鳥類の月別確認状況(7/10)

種名	2001年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ	2							1		1		
ヒトリガモ												
マガモ									3	8	9	6
カルガモ	6	2	12	6	10	21	26	23	35	38	24	41
ハシビロガモ												
オナガガモ	4						3	8	19	24	27	39
コガモ	5			5			2	2	3	4	6	8
ホシハジロ												
キンクロハジロ	1							1		1		1
スズガモ												
カイツブリ	1		1	4	2	2	1	3	1	2	3	
キジバト	44	53	49	44	38	49	51	54	43	50	55	57
カワウ	1		1			1	1	1		1	1	1
ゴイサギ	2	2				1		2	1	1	3	1
アオサギ								1	1		1	1
ダイサギ	1							1	2	2	1	2
チュウサギ												
コサギ	3					1					2	3
バン	3	2	2	4		2	2	2	2	2	2	3
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ												
カワセミ												1
コゲラ	4	7	3	1	2	5	6	7	5	7	6	2
アオゲラ												
チョウゲンボウ									1			
サンコウチョウ												
モズ							3	1	1			
カケス												
オナガ	14	25	28	20	33	28	21	41	23	21	25	28
ハシボソガラス												
ハシブトガラス	20	43	48	34	51	45	28	34	46	47	25	26
ヤマガラス												
ヒガラ												
シジュウカラ	42	43	49	42	47	34	49	46	35	45	46	33
ツバメ	13	34	49	61	26	7						
ヒヨドリ	73	124	99	68	65	83	91	62	80	61	73	70
ウグイス	8								8	11	3	6
エナガ												
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	20	25	5	12	16	20	7	14	19	4	14	16
オオヨシキリ												
ムクドリ	58	72	137	92	110	98	52	73	74	68	91	80
シロハラ	9								10	11	6	2
アカハラ												
ツグミ	12							1	13	17	10	4
ルリビタキ												
ジョウビタキ									1	1		
エゾビタキ							1					
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ												
スズメ	178	202	201	239	218	183	193	185	133	159	166	155
キセキレイ	1	2										
ハクセキレイ	5	8	9	3	5	8	10	4	8	10	10	3
セグロセキレイ									1			1
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	18	33	25	15	30	19	24	22	32	37	34	21
シメ									2	2	1	
ホオジロ												
カシラダカ	2											
アオジ	8								12	16	4	3
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類						1	3					
ヒタキ類												
総個体数	558	677	718	650	653	608	574	589	614	651	648	614

資料8 鳥類の月別確認状況(8/10)

種名	2006年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ	1											
ヒドリガモ												
マガモ	7							4	7	11	10	11
カルガモ		2	3	2	6			3	17	22	20	20
ハシビロガモ												
オナガガモ	3					3	10		39	40	30	27
コガモ	4						3	4	11	12	7	6
ホシハジロ												
キンクロハジロ	2							12	14	16	15	16
スズガモ										1		
カイツブリ	3	4	4	6	3	2	2	2	4	3	3	2
キジバト	48	61	44	51	22	27	38	19	42	49	36	27
カワウ	1										1	1
ゴイサギ			2	4	4	3				1	1	1
アオサギ									1	1		
ダイサギ	2									3	1	2
チュウサギ	2											2
コサギ								1	2	1	2	2
バン	4	3	3	7	8	3	3	3	5	4	5	5
オオバン												
ツツドリ												
カッコウ												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ	1											
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ												
ハイタカ												
オオタカ								1	1	1	1	2
カワセミ	2							1	2	2	1	2
コゲラ	3	10	2	1	4	3		5	2	3	6	2
アオゲラ												
チョウゲンボウ							1					
サンコウチョウ												
モズ												
カケス												
オナガ	18	20		12	5	3	15	17	23	26	24	24
ハシボソガラス	2	1			2			1	4	4	3	1
ハシブトガラス	29	24	25	26	18	11	9	24	25	28	19	25
ヤマガラス												1
ヒガラ												
シジュウカラ	43	52	74	85	50	40	29	46	45	56	41	43
ツバメ		2	13	25	31	10						
ヒヨドリ	60	93	52	59	47	154	110	59	47	88	80	63
ウグイス	13	1							4	5	4	4
エナガ											6	6
メボソムシクイ												
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	19	14	14	8	19	9	19	21	17	33	19	9
オオヨシキリ												
ムクドリ	53	51	46	31	60	42	54	37	86	47	43	42
シロハラ	5									7	3	4
アカハラ												2
ツグミ	7							2	13	18	16	5
ルリビタキ												
ジョウビタキ								1	2		1	
エゾビタキ	2											
コサメビタキ												
キビタキ												
オオルリ												
スズメ	156	130	187	218	212	171	106	112	136	144	146	131
キセキレイ	1								1	1	3	
ハクセキレイ	5	1	1	8	2		3	6	6	13	11	11
セグロセキレイ									1			
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	35	15	4	7	6	26	18	15	21	24	18	12
シメ	3	1					4	1		2	3	2
ホオジロ												
カシラダカ										2		
アオジ	3								6	6	8	7
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)												
ダルマインコ属												
ガビチョウ												
マガモ×カルガモ												
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類						5						
ヒタキ類												
総個体数	536	485	474	550	499	512	424	397	584	674	587	520

資料8 鳥類の月別確認状況(9/10)

種名	2013年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ				1								
ヒトリガモ												
マガモ	1								2	3	7	
カルガモ	73	38	40	53	80	69	54	79	80	72	63	59
ハシビロガモ								2	3	3	3	4
オナガガモ		3	1	1	1		1	58	100	115	87	43
コガモ	3						1	5	4	6	12	17
ホシハジロ												
キンクロハジロ	23	1	1	1	1	1	1	13	24	30	42	23
スズガモ												
カイツブリ		3		1	1				1		4	2
キジバト	70	47	37	25	33	42	36	42	45	70	58	86
カワウ		4	3			6		4	1	2	1	4
ゴイサギ	1	1		1				1	2	1		1
アオサギ	1	3	5	10	6	4	4	2	6	5	5	5
ダイサギ			1	2	1	3			1	1		1
チュウサギ												
コサギ		2	4	4	3	5	9	4	2	8	4	1
バン	1	4	5					2	1	1	1	
オオバン										1		
ツツドリ												
カッコー												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ												
コチドリ												
イソシギ												
トビ												
ツミ		1	2	1	3		1	2		1	1	
ハイタカ								1				
オオタカ						1				3	2	
カワセミ								4	1	1		1
コゲラ	7	7	15	12	4	7	12	4	7	12	17	15
アオゲラ				1								
チョウゲンボウ												
サンコウチョウ												
モズ							3	2			1	1
カケス												
オナガ	4	25	5	2	9	22	17	5	8	12	1	1
ハシボソガラス	1	3	6	10	6	25	30	18	43	12	12	35
ハシブトガラス	132	115	107	88	151	150	112	146	86	110	116	130
ヤマガラス	2											
ヒガラ												
シジュウカラ	71	54	135	53	25	68	79	66	62	71	86	62
ツバメ	16	34	49	22	6	2						
ヒヨドリ	185	51	47	49	32	27	231	414	379	261	173	156
ウグイス	6							7	5	9	2	3
エナガ	6	8	5	21		1	20		1	4	11	5
メボソムシクイ												
エゾムシクイ		1										
センダイムシクイ		5										
メジロ	59	33	31	25	12	29	56	67	63	65	53	47
オオヨシキリ		1										
ムクドリ	32	82	257	148	136	49	75	59	69	103	89	115
シロハラ									1	1		1
アカハラ	1											1
ツグミ	26							2	24	10	26	31
ルリビタキ	1											
ジョウビタキ								2	1			1
エゾビタキ												
コサメビタキ												
キビタキ		3										
オオルリ												
スズメ	264	249	369	265	184	199	167	219	206	187	135	217
キセキレイ	2						1	1	1	2	1	
ハクセキレイ	10	9	7	16	10	13	19	27	25	28	26	18
セグロセキレイ								1				
ビンズイ												
アトリ												
カワラヒワ	6	12	7	4	2	9	14	16	23	5	71	14
シメ	1								1		2	6
ホオジロ												
カシラダカ												
アオジ	7							4	1	6	4	3
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)	105	127	107	106	159	174	203	198	229	219	193	90
ダルマインコ属	21	30	22	7	21	21	32	18	38	16	21	32
ガビチョウ						2						
マガモ×カルガモ												1
カルガモ×オナガガモ												
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類												
総個体数	1138	956	1268	929	886	929	1178	1495	1546	1456	1330	1232

資料8 鳥類の月別確認状況(10/10)

種名	2018年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オシドリ												
ヒトリガモ										4		
マガモ		1	1							4		
カルガモ	44	45	61	81	79	104	85	87	61	137	132	82
ハシビロガモ												
オナガガモ	2	2	2	2	1		6	23	31	32	46	23
コガモ	10	8					6	6	9	9	16	6
ホシハジロ									6			
キンクロハジロ	2							21	51	61	30	35
スズガモ												
カイツブリ									1		4	
キジバト	55	51	43	48	44	41	47	28	66	103	91	64
カワウ	5	2	1	2	4	1	2	1	4	1	1	
ゴイサギ		1	1			1				2		1
アオサギ	1	4	1	1	6		3	5	4	8	9	2
ダイサギ		1		1	2	1			1			1
チュウサギ	1											1
コサギ	5	3	2	3	14	5	4	2	4	1	2	6
バン	1								1		1	2
オオバン												
ツツドリ												
カッコー												
アマツバメ												
ヒメアマツバメ			1									
コチドリ				1								
イソシギ												
トビ												
ツミ	2	1		1		2	1		1			
ハイタカ								1				
オオタカ		1						1		2		1
カワセミ	4		1	1	1	2	4	3	7	5	2	7
コゲラ	12	8	14	12	2	9	8	9	13	16	12	18
アオゲラ	3					1	1		1		1	
チョウゲンボウ										1		
サンコウチョウ		1										
モズ							4		1			
カケス												
オナガ	33	7	15	12	9	5	2	8	6	7	25	18
ハシボソガラス	16	16	28	20	27	28	28	27	19	25	41	21
ハシブトガラス	154	103	105	96	167	147	135	140	126	128	163	182
ヤマガラ												
ヒガラ												
シジュウカラ	91	103	108	77	33	66	99	90	93	73	100	102
ツバメ	11	16	59	31	5							
ヒヨドリ	143	78	81	82	29	17	264	390	378	366	196	143
ウグイス	4	3						2	5	7	6	9
エナガ	6	12	5	14	8	10	16	4	24	20	23	22
メボソムシクイ		1										
エゾムシクイ												
センダイムシクイ												
メジロ	30	19	31	36	15	12	50	64	110	100	86	69
オオヨシキリ												
ムクドリ	82	101	302	173	46	56	130	39	108	128	137	112
シロハラ	3									1	1	3
アカハラ												
ツグミ	20							1	4	26	21	22
ルリビタキ											1	
ジョウビタキ								7	1		4	
エゾビタキ												
コサメビタキ												
キビタキ		1										
オオルリ												
スズメ	173	134	164	90	129	70	119	118	83	160	160	110
キセキレイ						1	5	7	2	1	5	3
ハクセキレイ	5	14	5	8	2	3	18	31	34	26	26	29
セグロセキレイ			1									
ビンズイ								1				
アトリ									5	36	20	3
カワラヒワ	4	6	4	6			3	34	29	52	32	28
シメ	1							3	19	13	12	3
ホオジロ	1											
カシラダカ	1									3		
アオジ	6							5	2	11	13	8
コジュケイ												
カワラバト(ドバト)	83	79	86	92	106	71	90	239	327	181	214	138
ダルマインコ属	30	20	23	14	13	38	40	33	39	37	20	33
ガビチョウ	1											
マガモ×カルガモ			1							2	1	
カルガモ×オナガガモ							1		1			
サメビタキ類												
ムシクイ類												
ヒタキ類												
総個体数	1045	842	1146	904	742	691	1171	1430	1677	1789	1654	1307

資料9 区民を対象としたアンケート調査結果

確認地点 メッシュ番号	両生類					爬虫類							哺乳類等					その他
	アズ マヒ キガ エル	ウシ ガエル	ニホン アカガ エル	ニホン アマガ エル	ツチ ガエル	クサ ガメ	スッ ポン	ミシ シッ ピア カミ ミガ メ	ニホン イシ ガメ	アオ ダイ ショウ	ニホン カナヘ ビ	ニホン ヤモリ	ヒガシ ニホン トガケ	クマ ネズミ	タヌ キ	ハク ビシン	アズ マモ グラ	
53394408	2										1	1	3	1	2	2		
53394409												1	1					2
53394417												1						
53394418								3		1			3			1		1
53394419	3						3		1		6	6	9		1			4
53394427	1									1								
53394428	3									2	6	1	2	1		3	1	1
53394429	3		1							2	3	2	3					
53394436												1						
53394437	1											2						2
53394438												1						
53394439	3						2		1	1	3	3	3			1		2
53394447															1	1		
53394448	1																	
53394449	5				1					1		4		2		2		2
53394457	1			2		2	4	3		7	8	3	5				6	
53394458												1						
53394459	4							1			1	4	1	2			1	
53394467	1							2		1	4	5			3		3	
53394468	1									1		2		2	3	1		
53394469	1				2	1		2			3	3	1					
53394478	1					2		4	2				3		2			
53394479	2							2		1	1	3	1			1		1ドブネズミ
53394500	3										3							3
53394501	3										3							
53394502								2						1		1		2
53394510	5		1				1			2	7	4	3					6トウキョウダルマガエル
53394511								1				3	1					
53394512	1							3			3	2		1		2		3
53394520	3					1	2				9	2	1					2
53394521	6	5	1			4	3	11	3	5	9	3	5				1	4ヒバカリ
53394522	3						3			2	3	5		1				3
53394523																		1
53394530	2							2			1	2	2	2		2		
53394531	4											2						
53394532	2					2		2	1			1						1
53394533																		1
53394541	1																	
53394542											3	3				1		
53394550						1												
53394551	1										2	3						
53394560					2							4					2	
53394570	2									1		2	1			2		1
メッシュ数合計	29	1	3	1	3	7	7	13	5	14	20	31	18	9	6	13	6	19
報告件数合計	69	5	3	2	5	13	18	38	8	28	79	80	48	13	12	20	14	42

調査メッシュ別調査項目ごとの回答数を示す。

杉並区自然環境調査（第7次）の調査に協力してくださった皆様（敬称略、五十音順）

井口 豊重	島田 順一	宮内 隆夫
梅林 力	新海 栄一	森川 陽
遠藤 博	須田 真一	山崎 誠
大原 庄史	竹市 幸恵	山室 京子
笹岡 文雄	田中 耕太郎	善福寺公園植物勉強会
貞元 巳良	中村 忠昌	身のまわり調査員の皆様
佐藤 康子	橋本 健一	
佐藤 良平	萩本 房枝	

調査

植 物	： 杉並植生新研究会	橋本	健一
クモ類	： 杉並蜘蛛研究会	新海	栄一
昆虫類	： むさしの自然史研究会	須田	真一
鳥 類	： むさしの自然史研究会	中村	忠昌・井口 豊重

調査・とりまとめ

株式会社 愛植物設計事務所

杉並区自然環境調査報告書（第7次）

登録印刷物番号

31-0106

令和2年3月発行

編集・発行 杉並区環境部環境課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

TEL (03) 3312-2111 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。<http://www.city.suginami.tokyo.jp>